
川越市障害者福祉に関するアンケート調査

報 告 書

令和5年3月

川 越 市

目 次

調査の概要	1
調査結果のまとめ・見えてくる課題やニーズ	5
調査結果 1. 身体障害者	19
調査結果 2. 知的障害者	51
調査結果 3. 精神障害者	83
調査結果 4. 難病患者	115
調査結果 5. 発達障害者	147
調査結果 6. 高次脳機能障害者	179
調査結果 7. 特別支援学校高等部3年生	213
調査結果 8. 障害者支援施設利用者	241
調査結果 9. グループホーム利用者	271

※自由記述による回答については、別冊「川越市障害者福祉に関するアンケート調査報告書 自由記述編」にまとめて掲載しています。

調査の概要

調査の概要

1. 調査目的

川越市障害者支援計画（令和3年度～令和5年度）の次期計画を策定するにあたり、障害のある方等へのアンケート調査を行い、その分析データを活用することにより、障害者の生活上の課題やニーズを明らかにするものです。

2. 調査対象・回収状況

「障害者手帳所持者等」（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者）、「特別支援学校高等部3年生」、「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」を対象に調査を実施しました。

調査対象	抽出者数	調査票回収数	回収率	障害種別回答者数
障害者手帳所持者等	3,303	1,754	53.1%	-
1. 身体障害者	1,400	778	55.6%	895
2. 知的障害者	650	305	46.9%	329
3. 精神障害者	650	342	52.6%	380
4. 難病患者	400	217	54.3%	280
5. 発達障害者	181	103	56.9%	186
6. 高次脳機能障害者	22	9	40.9%	43
7. 特別支援学校高等部3年生	52	23	44.2%	-
8. 障害者支援施設利用者	85	50	58.8%	-
9. グループホーム利用者	60	35	58.3%	-
合計	3,500	1,862	53.2%	-

※ 「障害種別回答者数」は、「障害者手帳所持者等」の調査で回答があった障害種別ごとの回答者数としています。（重複して障害がある方は、それぞれに回答者数として計上しています）

3. 調査時期

令和4年10月

4. 調査方法

対象者を無作為抽出し、調査票を郵送により配布・回収

5. 調査項目

- A. 基本的な属性
 - B. 障害・介助等の状況
 - C. 健康状態や医療
 - D. 外出や余暇の過ごし方
 - E. 幼稚園・保育所、学校等
 - F. 雇用・就労
 - G. 今後の希望
 - H. 相談や情報入手
 - I. 福祉サービス
 - J. 災害時の支援等
 - K. 障害者への理解や権利擁護
 - L. 新型コロナウイルス感染症の影響
 - M. 市の取り組み等
 - N. 学校卒業後の日中の過ごし方（「特別支援学校高等部3年生」のみ）
 - O. 入所施設での生活（「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」のみ）
- ※介助者向けアンケート

6. この報告書における調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、回答率(%)で表示しています。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は $n=$ で示しています。
- ・回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため回答率(%)の合計数値は100%とはならない場合があります。
- ・回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○は複数)があり、複数回答の場合は回答率(%)の合計数値は100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフの問のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。

【クロス集計表の見方】

- ①クロス集計表は、主に障害種別と設問を組み合わせる分析を行っています。
- ②調査対象である「障害者手帳所持者等」（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者）、「特別支援学校高等部3年生」、「障害者支援施設利用者」及び「グループホーム利用者」それぞれで集計を行っています。
- ③クロス集計表の1番上の行にある「障害者手帳所持者等」は、全体の傾向をとらえるため、調査票回収数（障害重複なし）の合計としており、各障害種別の合計とは一致しません。
- ④割合の多い回答について、1番目を「濃い網掛け」、2番目を「薄い網掛け」としています。
- ⑤クロス集計表の縦軸の基となる設問で回答がなかったものについては、集計表に計上していません。

調査結果のまとめ・見えてくる課題やニーズ

調査結果のまとめ・見えてくる課題やニーズ

障害のある方等がどのような施策を望まれているかなどについて、調査結果をまとめ、見えてくる課題やニーズを整理しました。

1. 障害・介助等の状況

【調査結果のまとめ】

《介助等の状況》

- 最も多い回答が「特に介助等は受けていない」ですが、比較的若年層が多い知的障害者と発達障害者では、主な介助者として「父母」と回答した人が6割を超えています。[表1]

実際に介助等を受けている場面では「通院するとき」、「外出するとき」など、移動が伴う場面や、「書類等の手続きのとき」、「お金の管理をするとき」など、金銭管理や各種手続きなど判断能力が必要になる場面が上位となっています。

【表1】主な介助者（単一回答）

障害種別	n	父母	配偶者（夫または妻）	子ども（子どもの配偶者も含む）	ホームヘルパー	兄弟姉妹	祖父母	近所の人、知人・友人	その他の親せき	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	20.6%	18.4%	7.2%	2.2%	1.8%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	3.5%
身体障害者	895	8.7%	26.0%	12.0%	3.1%	1.5%	0.1%	0.6%	0.0%	0.1%	4.4%	31.1%	12.5%
知的障害者	329	67.8%	2.1%	0.3%	0.6%	2.7%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	4.6%	10.9%	10.3%
精神障害者	380	22.4%	15.3%	1.8%	1.8%	2.9%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	2.6%	40.0%	12.6%
難病患者	280	13.2%	18.2%	4.3%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	42.5%	15.4%
発達障害者	186	61.8%	3.2%	0.0%	0.5%	1.1%	2.2%	0.0%	0.5%	0.0%	1.6%	22.0%	7.0%
高次脳機能障害者	43	18.6%	25.6%	7.0%	4.7%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	4.7%	20.9%	16.3%
特別支援学校高等部3年生	23	69.6%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	26.1%	0%

【見えてくる課題やニーズ】

- ニーズが複合化・多様化していることから、介助等をしている家族等の負担を軽減し、障害のある方が安心して暮らせるよう、適切な支援やサービスの充実が求められています。

2. 健康状態や医療

【調査結果のまとめ】

《健康管理や医療について困ったり不便に思うこと》

- 健康管理や医療について困ったり不便を感じている方は全体で5割台となっています。内訳をみると、上位の回答「障害のために症状が正確に伝わらない」、「医療費の負担が大きい」、「通院のための交通手段が確保・利用しにくい」はいずれも1割半ばとなっています。障害種別でみると、「障害のために症状が正確に伝わらない」は知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者がいずれも4割近く、その他は約1割となっています。

《医療的ケア》

- 医療的ケアを行っている方は、すべての障害種別で「家族」が1位となっていることから、家族の負担が大きいものと推察されます。[表2]

《医療的ケアを必要な方が日常生活に必要な支援》

- 「送迎等の移動支援」、「訪問による在宅ケア（看護）の支援」がいずれも約3割と多くなっています。[表3]

[表2] 医療的ケアを行っている方（単一回答）

障害種別	n	家族	医師	看護師	(介護ヘルパー)	福祉サービスの職員	学校の担任	養護教諭	本人	その他	無回答
障害者手帳所持者等	149	44.3%	35.6%	40.9%	12.8%	12.1%	0.7%	0.0%	18.1%	4.7%	2.7%
身体障害者	111	45.0%	37.8%	44.1%	16.2%	13.5%	0.9%	0.0%	18.0%	2.7%	2.7%
知的障害者	23	60.9%	21.7%	34.8%	8.7%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	13.0%	0.0%
精神障害者	19	47.4%	36.8%	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	26.3%	0.0%	5.3%
難病患者	36	58.3%	33.3%	55.6%	13.9%	8.3%	2.8%	0.0%	11.1%	2.8%	0.0%
発達障害者	10	70.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
高次脳機能障害者	6	66.7%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%

[表3] 医療的ケアを必要な方が日常生活に必要な支援（複数回答）

障害種別	n	送迎等の移動支援	訪問による在宅ケア（看護）の支援	相談支援	訪問による在宅ケア（介護）の支援	日中に利用可能な障害福祉サービス事業所	宿泊可能な障害福祉サービス事業所	訪問による家事等の支援	外出時ヘルパー同行支援	サービスの利用調整支援	療育・発達支援	学校や通所サービスにおける看護の支援	ガイドブック等での情報提供	その他	特にない	無回答
障害者手帳所持者等	149	32.9%	28.9%	22.8%	22.1%	20.8%	15.4%	10.7%	10.1%	8.1%	7.4%	6.7%	4.7%	8.7%	20.8%	8.1%
身体障害者	111	36.9%	32.4%	24.3%	26.1%	21.6%	15.3%	10.8%	9.9%	7.2%	8.1%	8.1%	4.5%	7.2%	19.8%	5.4%
知的障害者	23	47.8%	34.8%	47.8%	34.8%	34.8%	34.8%	8.7%	26.1%	21.7%	30.4%	26.1%	4.3%	17.4%	17.4%	4.3%
精神障害者	19	26.3%	26.3%	26.3%	21.1%	21.1%	15.8%	26.3%	10.5%	15.8%	5.3%	5.3%	0.0%	15.8%	10.5%	5.3%
難病患者	36	33.3%	38.9%	27.8%	19.4%	30.6%	22.2%	2.8%	8.3%	13.9%	19.4%	16.7%	5.6%	8.3%	13.9%	5.6%
発達障害者	10	60.0%	20.0%	60.0%	30.0%	50.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%
高次脳機能障害者	6	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

【見えてくる課題やニーズ】

- 医療的ケアが必要な方や保護者・家族が安心して生活ができるよう、医療行為を行う家族の負担軽減が求められています。
- 「送迎等の移動支援」や「訪問による在宅ケア（看護）の支援」などが多くなっていることから、地域や家庭で安心して暮らせるよう、心身の状況等に応じた適切な支援が求められています。

3. 外出や余暇の過ごし方

【調査結果のまとめ】

《外出の際に特に困っていること》

- 外出の際に困っていると回答された方は、全体で6割近くとなっています。
内訳では、「家族に負担がかかる」が最多となっています。[表4]
特に、外出の手段が「車いす」と「車（乗せてもらう）」と回答された4割以上の方が回答されています。

《機会はないがほしいと思う活動》

- すべての障害種別で「旅行に出かける」が1位となり、「スポーツをする」、「友人・知人と会って交流を深める」など、人との交流や外出を伴った活動への回答が多くなっています。[表5]
また活動を行うために効果的なこととして、「一緒に活動する仲間がいること」、「活動する場所が近くにあること」、「費用を心配しなくてよいこと」の3つが上位を占めています。

【表4】 外出の際に特に困っていること（複数回答）※上位抜粋

障害種別	n	家族に負担がかかる	交通費や利用料がかかる	道路や建物・駅に階段や段差が多い	歩道が少ない・狭い	バスや鉄道などが利用しにくい	周囲の視線が気になる	困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	障害者用の駐車スペースが少ない	多機能トイレが少ない
		障害者手帳所持者等	1,754	23.3%	15.6%	14.8%	12.6%	9.2%	9.2%	8.4%
身体障害者	895	25.0%	13.5%	23.2%	14.9%	11.4%	4.8%	4.6%	13.0%	10.1%
知的障害者	329	30.4%	13.1%	8.2%	10.0%	9.4%	12.8%	16.7%	4.6%	9.1%
精神障害者	380	20.5%	25.8%	7.1%	11.1%	7.4%	19.5%	11.8%	2.1%	2.4%
難病患者	280	20.4%	12.9%	15.4%	11.8%	9.3%	3.6%	4.6%	9.3%	10.4%
発達障害者	186	26.3%	18.3%	2.2%	14.0%	10.8%	21.0%	22.6%	2.2%	4.8%
高次脳機能障害者	43	32.6%	30.2%	14.0%	18.6%	4.7%	2.3%	14.0%	2.3%	7.0%
特別支援学校高等部3年生	23	30.4%	8.7%	8.7%	13.0%	13.0%	17.4%	8.7%	0.0%	17.4%
障害者支援施設利用者	50	28.0%	4.0%	12.0%	20.0%	2.0%	8.0%	12.0%	6.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	14.3%	8.6%	2.9%	17.1%	8.6%	8.6%	11.4%	5.7%	8.6%

【表5】 機会はないがほしいと思う活動（複数回答）

障害種別	n	旅行に出かける	スポーツをする	友人・知人と会って交流を深める	趣味の活動をする	学習をする	教養・資格取得等に関する学習をする	観劇・映画・コンサート・カラオケ等に行く	地域の行事や活動に参加する	活動をする	インターネットを使った	デパートや店等を見て歩く	近所を散歩する	テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする	その他
		障害者手帳所持者等	1,754	29.9%	21.4%	20.6%	20.2%	20.2%	19.8%	17.8%	11.5%	10.3%	9.8%	3.8%	0.9%
身体障害者	895	25.7%	16.4%	17.9%	17.4%	16.3%	18.8%	14.0%	9.3%	10.9%	10.2%	4.1%	1.0%		
知的障害者	329	30.4%	24.9%	24.9%	25.5%	21.0%	21.3%	22.8%	11.9%	9.7%	11.6%	2.1%	0.9%		
精神障害者	380	45.0%	29.2%	30.3%	27.4%	31.3%	28.2%	22.4%	15.3%	12.9%	13.4%	5.8%	1.3%		
難病患者	280	28.6%	23.2%	19.6%	24.6%	20.4%	23.6%	20.0%	14.3%	10.4%	10.7%	3.9%	0.7%		
発達障害者	186	43.5%	28.5%	31.2%	25.3%	31.7%	25.8%	25.3%	17.2%	10.8%	10.2%	3.2%	0.5%		
高次脳機能障害者	43	34.9%	32.6%	23.3%	20.9%	30.2%	25.6%	20.9%	11.6%	11.6%	14.0%	7.0%	0.0%		
特別支援学校高等部3年生	23	36.5%	25.9%	23.5%	16.5%	4.7%	25.9%	30.6%	8.2%	21.2%	9.4%	3.5%	0.0%		
障害者支援施設利用者	50	36.0%	20.0%	22.0%	16.0%	2.0%	26.0%	30.0%	2.0%	22.0%	12.0%	6.0%	0.0%		
グループホーム利用者	35	37.1%	34.3%	25.7%	17.1%	8.6%	25.7%	31.4%	17.1%	20.0%	5.7%	0.0%	0.0%		

【見えてくる課題やニーズ】

- 社会や人とのつながりが生まれるよう地域で活動するための情報提供などが求められています。
- 外出時や移動の困難を解消し、自分らしい生活を送ることができるよう、バリアフリーの推進や移動支援サービスの充実等、ハード・ソフト両面からの環境整備が求められています。

4. 幼稚園・保育所、学校等

【調査結果のまとめ】

《学校で勉強する場合に希望する学習形態》

- 幼稚園や保育所、学校などに通っている人が、学校で勉強する場合に希望する学習形態について、「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」が4割半ば、発達障害者と知的障害者ではいずれも5割超え、また「障害のあるなしにかかわらず、一緒のクラスで勉強したい」では難病患者が4割半ばとなっており、障害の種別により明確な特徴が表れています。[表6]

《幼稚園・保育所、学校等に通っていて困っていること》

- 「特にない」を除くと、身体障害者、知的障害者、難病患者では、「通うための介助者を確保しにくい」が、1割から2割台で最も多くなっており、発達障害者では、「授業についていけない」が、2割台で最も多くなっています。
精神障害者では、「授業についていけない」が、4割を超え、最も多くなっています。

[表6] 希望する学習形態（単一回答）

障害種別	n	仲間強し ともな 勉強し たい	た同 じの よう なク ラス で勉 強し たい	しず 障 害 の あ る 仲 間 と 一 緒 に 勉 強 し たい	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
		障害のある仲間のクラスでない	障害のある仲間のクラスでない	障害のあるなしにかかわらず			
障害者手帳所持者等	139	43.2%	20.9%	18.0%	11.5%	2.2%	4.3%
身体障害者	31	29.0%	29.0%	25.8%	12.9%	3.2%	0.0%
知的障害者	86	52.3%	27.9%	1.2%	12.8%	2.3%	3.5%
精神障害者	12	41.7%	25.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
難病患者	32	15.6%	12.5%	46.9%	21.9%	3.1%	0.0%
発達障害者	62	53.2%	24.2%	6.5%	6.5%	1.6%	8.1%
高次脳機能障害者	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【見えてくる課題やニーズ】

- 学習形態において、障害のある子どもと障害のない子どもが同じ教室で学習できる環境など、希望する学習形態で学ぶことができる環境づくりが求められています。
- 障害のある子どもと障害のない子どもと一緒に参加する活動を通して、さらなる交流促進や共同学習の機会を増やすことが求められています。
- 学校等に通う上での困りごとを相談することができる体制の整備が求められています。

5. 雇用・就労

【調査結果のまとめ】

《1年間の収入の額》

- すべての障害種別で「年収100万円未満」が最も多くなっており、約3割から5割近くとなっています。[表7]

《障害のある人の就労を促進するために希望すること》

- 身体障害者と精神障害者では「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が、難病患者、高次脳機能障害者では「経営者の理解」が、知的障害者、発達障害者では「従業員の理解」が最多となっています。[表8]

【表7】 昨年一年間の総収入（単一回答）

障害種別	n	年収100万円未満	150万円未満	年収100万円以上	200万円未満	300万円未満	年収150万円以上	500万円未満	年収200万円以上	年収300万円以上	年収500万円以上	答えたくない・わからない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	34.8%	11.0%	7.5%	9.5%	4.3%	2.7%	12.6%	17.4%		
身体障害者	895	30.2%	10.8%	9.1%	12.7%	5.1%	2.8%	10.6%	18.7%				
知的障害者	329	48.3%	11.2%	2.4%	2.7%	0.9%	0.3%	17.0%	17.0%				
精神障害者	380	42.6%	14.7%	5.5%	4.2%	2.6%	1.3%	16.3%	12.6%				
難病患者	280	35.4%	6.1%	8.6%	9.6%	6.1%	6.4%	11.1%	16.8%				
発達障害者	186	39.8%	10.8%	4.3%	4.3%	2.2%	1.1%	21.0%	16.7%				
高次脳機能障害者	43	41.9%	7.0%	2.3%	18.6%	2.3%	0.0%	11.6%	16.3%				
障害者支援施設利用者	50	48.0%	4.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	20.0%	26.0%				
グループホーム利用者	35	57.1%	17.1%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	17.1%	5.7%				

【表8】 就労を促進するために希望すること（複数回答）

障害種別	n	障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備	経営者の理解	従業員の理解	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	ジョブコーチ等の就労定着支援	障害者が実際に働いている状況の紹介	民間企業の雇用努力	就労を支援するための施設等の増設	生活リズムや体調管理等の支援	職場環境のバリアフリー化	職場を理解するための就労体験を増やす	行政から企業への指導や罰則の強化	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	33.5%	33.2%	33.0%	21.0%	10.3%	7.2%	7.1%	6.8%	6.7%	6.1%	5.5%	4.4%	2.2%
身体障害者	895	32.0%	30.7%	26.8%	18.8%	5.7%	6.5%	7.0%	6.5%	4.9%	8.4%	3.7%	4.2%	1.8%	13.6%	24.7%
知的障害者	329	33.7%	32.5%	39.8%	25.2%	19.5%	10.3%	6.7%	10.6%	7.9%	4.0%	7.6%	4.0%	2.1%	7.3%	16.7%
精神障害者	380	38.7%	33.9%	37.4%	27.4%	13.7%	8.9%	8.4%	7.6%	12.9%	2.4%	7.1%	5.0%	3.4%	7.4%	15.5%
難病患者	280	36.8%	42.9%	37.1%	19.6%	9.6%	5.4%	7.1%	5.0%	5.4%	10.0%	4.3%	5.7%	2.5%	9.6%	18.2%
発達障害者	186	44.1%	33.9%	46.8%	27.4%	25.3%	10.8%	8.6%	10.2%	10.2%	2.7%	11.8%	7.0%	3.8%	1.6%	12.9%
高次脳機能障害者	43	34.9%	37.2%	30.2%	23.3%	11.6%	2.3%	7.0%	9.3%	7.0%	4.7%	2.3%	9.3%	4.7%	9.3%	23.3%
障害者支援施設利用者	50	28.0%	18.0%	30.0%	16.0%	14.0%	10.0%	2.0%	12.0%	24.0%	14.0%	8.0%	2.0%	2.0%	8.0%	16.0%
グループホーム利用者	35	31.4%	14.3%	37.1%	5.7%	20.0%	14.3%	8.6%	17.1%	17.1%	5.7%	11.4%	2.9%	0.0%	8.6%	17.1%

【見えてくる課題やニーズ】

- 障害のある方にとって働きやすく、長期的に働ける環境整備がされるよう、企業等の理解・サポートが求められています。また、賃金・工賃の向上に向けた取組も求められています。

6. 将来の希望

【調査結果のまとめ】

《日中どのように過ごしているか》

- 身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者で「家で過ごしている」が、知的障害者、発達障害者では「幼稚園や保育所、学校等に通っている」が最多となっています。[表9]

《近い将来（今後3年以内）に日中どのように過ごしたいか》

- 「家庭内で過ごしたい」、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が上位を占めています。[表10]
- 身体障害者、難病患者では「家庭内で過ごしたい」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が最多となっています。
- 『現在の暮らし場所』では「本人または家族の持ち家」が7割半ばとなっており、『希望する暮らし場所』では「家族と一緒に暮らしたい」が6割半ばとなっています。

【表9】 現在の日中の過ごし方（複数回答）

障害種別	n	家で過ごしている	収入を伴う仕事をしたい (福祉的就労含む)	障害者の通所施設・事業所に通っている	家の仕事を手伝っている	幼稚園や保育所、学校等に通っている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	病院等（デイケア等）で過ごしている	入所施設で過ごしている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	求職活動をしている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	その他	無回答
身体障害者	895	63.5%	13.4%	5.5%	8.8%	3.5%	12.6%	4.1%	4.5%	3.1%	1.2%	1.5%	3.6%	4.5%
知的障害者	329	21.3%	24.3%	25.5%	5.5%	26.1%	2.1%	1.2%	4.3%	0.6%	0.3%	0.0%	2.4%	4.0%
精神障害者	380	59.5%	23.4%	10.5%	11.6%	3.2%	3.7%	3.4%	1.3%	1.8%	5.5%	1.1%	3.4%	2.9%
難病患者	280	50.4%	22.9%	7.1%	2.5%	11.4%	9.3%	4.3%	1.1%	5.0%	1.4%	2.1%	3.6%	4.6%
発達障害者	186	26.3%	28.5%	16.7%	6.5%	33.3%	0.0%	1.1%	0.5%	1.1%	3.2%	0.0%	0.5%	4.3%
高次脳機能障害者	43	48.8%	23.3%	7.0%	4.7%	2.3%	25.6%	4.7%	14.0%	0.0%	7.0%	0.0%	4.7%	4.7%

【表10】 近い将来（今後3年以内）に希望する日中の過ごし方（単一回答）

障害種別	n	家庭内で過ごしたい	収入を伴う仕事をしたい (福祉的就労含む)	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	障害者の通所施設・事業所に通いたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	高齢者の通所施設・事業所に通いたい	家の仕事を手伝いたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	障害者の入所施設で過ごしたい	ボランティアなどをした	ボランティアなどをした	病院等（デイケア等）で過ごしたい	その他	無回答
身体障害者	895	47.6%	12.8%	2.9%	3.0%	2.7%	3.9%	2.9%	3.5%	2.0%	1.6%	0.9%	3.2%	13.0%	
知的障害者	329	8.2%	28.6%	19.1%	19.8%	2.1%	1.2%	1.2%	0.9%	5.8%	0.6%	0.9%	3.6%	7.9%	
精神障害者	380	20.3%	39.2%	2.1%	2.9%	4.7%	1.1%	2.6%	0.5%	2.1%	1.8%	2.4%	8.2%	12.1%	
難病患者	280	33.6%	26.8%	8.9%	5.0%	3.6%	3.2%	0.4%	1.4%	2.5%	0.7%	1.1%	2.9%	10.0%	
発達障害者	186	7.0%	42.5%	26.3%	9.1%	3.2%	0.0%	1.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.5%	1.6%	7.0%	
高次脳機能障害者	43	23.3%	39.5%	0.0%	0.0%	2.3%	9.3%	2.3%	2.3%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	11.6%	

【見えてくる課題やニーズ】

- 近い将来（今後3年以内）に、就労を希望する方が多くなっていることから、福祉的就労を含めた多様な就労の機会を確保することが求められています。
- 「家族と一緒に暮らしたい」という回答が多くなっており、障害のある方が安心して自分らしく暮らせるよう、生活環境の整備等が求められています。

7. 相談・情報入手

【調査結果のまとめ】

《生活で困っていることや悩んでいること》

- 現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「特にない」が最も多く、次いで「生活費が足りない」、「外出がしにくい」、「家族などの介助者の健康状態」となっています。[表 11]

《悩みや困ったことなどの相談先》

- 悩みや困ったことなどの相談先としては、すべての障害種別で「家族や親せき」が4割近くから7割台で最も多くなっています。[表 12]

《情報入手・コミュニケーションで困ること》

- 知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者では「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が3割台から5割を超えており最も多くなっています。身体障害者と難病患者では「特にない」を除くと、「どこを調べればよいかわからない」が最も多くなっています。

[表 11] 生活で困っていることや悩んでいること（複数回答）

障害種別	n	生活費が足りない	外出がしにくい	健康状態 家族などの 介助者の	趣味や 生きている がいが持 てない	話し相手 や相談相手 がいない	医療費の 負担が重い	働く場 がない	医療サ ービスが不 足している	必要保 健・福祉・ 教育や訓 練が十分 に受けれ ない	身の回 りの介 助者が支 援してく れない	その他	特にな い	無回 答
		障害者手帳所持者等	1,754	23.1%	21.9%	18.0%	15.6%	15.6%	14.4%	8.0%	7.8%	4.4%	2.9%	4.1%
身体障害者	895	19.6%	24.5%	19.3%	13.5%	12.6%	13.4%	5.0%	7.9%	3.5%	3.6%	3.2%	30.1%	9.9%
知的障害者	329	15.8%	21.3%	25.2%	11.2%	14.6%	5.8%	5.2%	11.2%	9.4%	3.6%	4.3%	34.3%	7.0%
精神障害者	380	42.4%	27.6%	19.7%	30.5%	31.8%	23.2%	18.9%	9.5%	6.6%	2.6%	5.5%	16.8%	5.8%
難病患者	280	17.5%	22.1%	19.3%	13.2%	11.1%	19.3%	5.4%	7.5%	2.5%	3.9%	7.9%	31.4%	6.4%
発達障害者	186	26.9%	18.8%	23.1%	15.6%	21.0%	14.0%	11.3%	10.2%	13.4%	1.1%	4.8%	26.9%	5.9%
高次脳機能障害者	43	27.9%	25.6%	30.2%	16.3%	20.9%	11.6%	16.3%	11.6%	18.6%	2.3%	4.7%	9.3%	18.6%

[表 12] 主な相談先（複数回答）※上位 10 項目

障害種別	n	家族や 親せき	病院・ 医師・ 看護師	近所 の人、 知人・ 友人	職 場 の 仲 間	職 場 の 仲 間	相 談 支 援 事 業 所	支 援 セ ン タ ー							
		障害者手帳所持者等	1,754	66.1%	20.0%	17.5%	10.8%	5.4%	5.4%	3.5%	3.2%	2.5%	2.3%	2.3%	2.3%
身体障害者	895	65.4%	17.1%	18.2%	6.9%	2.9%	3.6%	2.6%	1.3%	2.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
知的障害者	329	70.2%	11.6%	8.8%	24.6%	7.9%	14.9%	6.1%	11.6%	2.7%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%
精神障害者	380	60.3%	37.4%	21.8%	13.7%	4.5%	6.3%	7.4%	0.5%	4.7%	7.6%	7.6%	7.6%	7.6%	7.6%
難病患者	280	75.4%	20.0%	20.4%	6.1%	6.4%	3.6%	2.1%	2.1%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
発達障害者	186	69.9%	21.0%	14.5%	24.2%	10.2%	12.4%	4.3%	13.4%	3.8%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%
高次脳機能障害者	43	39.5%	23.3%	11.6%	25.6%	4.7%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別支援学校高等部3年生	23	69.6%	8.7%	13.0%	13.0%	-	8.7%	13.0%	47.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者支援施設利用者	50	54.0%	14.0%	0.0%	76.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
グループホーム利用者	35	42.9%	22.9%	11.4%	71.4%	11.4%	22.9%	5.7%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【見えてくる課題やニーズ】

- 情報の伝達や取得に困難を抱える方に対し、コミュニケーション手段の充実が求められています。
- サービス内容の紹介や利用手続き、新しい制度の説明などについて、障害のある方の特性に応じた媒体を活用するなど、情報提供の充実が求められています。

8. 福祉サービス

【調査結果のまとめ】

《福祉サービスの利用状況と今後3年以内の利用意向》

- 福祉サービスの利用者数では「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が73件と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が67件、「短期入所（ショートステイ）」が64件となっています。

[表13]

20人以上利用されているサービスの中で「同じくらい利用予定」と回答された方は「計画相談支援」が最も多く9割を超えています。

また、「増やす予定」では「短期入所（ショートステイ）」と「行動援護」がいずれも3割近くから4割近くとなっています。特に「短期入所（ショートステイ）」については2割を超える方が今後3年以内に利用したいと回答されていることから、ニーズの高さがうかがえます。

《福祉サービスの利用で困っていること・事業所に望むこと》

- サービス利用で困っていることでは「どのようなサービスが利用できるのかわからない」が2割半ばで最も多く、福祉サービス事業所に望むことでは「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」が約1割台で最も多くの方が回答されています。

[表13] 福祉サービス等の利用について（複数回答）

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定	今後3年以内に利用したい
居宅介護（ホームヘルプサービス）	73	84.9%	12.3%	2.7%	15.5%
放課後等デイサービス	67	82.1%	9.0%	9.0%	6.0%
短期入所（ショートステイ）	64	68.8%	28.1%	3.1%	22.3%
就労継続支援B型	55	83.6%	12.7%	3.6%	8.1%
生活介護	53	86.8%	11.3%	1.9%	10.0%
計画相談支援	44	90.9%	4.5%	4.5%	17.2%
就労移行支援	24	37.5%	16.7%	45.8%	12.3%
行動援護	21	57.1%	38.1%	4.8%	11.8%
就労定着支援	21	57.1%	19.0%	23.8%	11.1%
児童発達支援	18	83.3%	11.1%	5.6%	3.7%
同行援護	16	81.3%	12.5%	6.3%	5.1%
施設入所支援	16	93.8%	6.3%	0.0%	13.9%
自立訓練（機能訓練）	16	81.3%	12.5%	6.3%	13.2%
自立訓練（生活訓練）	16	75.0%	18.8%	6.3%	13.9%
共同生活援助（グループホーム）	13	84.6%	15.4%	0.0%	9.5%
就労継続支援A型	13	84.6%	15.4%	0.0%	12.8%
障害児相談支援	11	100.0%	0.0%	0.0%	3.5%
療養介護	9	100.0%	0.0%	0.0%	8.1%
重度障害者等包括支援	8	87.5%	12.5%	0.0%	4.2%
自立生活援助	8	75.0%	25.0%	0.0%	20.6%
障害児入所支援（医療型）	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.5%
重度訪問介護	3	100.0%	0.0%	0.0%	4.6%
地域定着支援	2	100.0%	0.0%	0.0%	9.7%
居宅訪問型児童発達支援	1	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%
宿泊型自立訓練	0	-	-	-	7.2%
地域移行支援	0	-	-	-	6.0%
医療型児童発達支援	0	-	-	-	1.9%
保育所等訪問支援	0	-	-	-	0.7%
障害児入所支援（福祉型）	0	-	-	-	1.4%

【見えてくる課題やニーズ】

- ニーズが高いと見込まれる障害福祉サービスについて、サービスの提供が確保できるよう努めていくことが求められています。
- 福祉サービスの手続きを簡素化することなどの環境整備や、福祉サービス利用に当たっての支援体制を整えることが求められています。

9. 災害時の支援等

【調査結果のまとめ】

《災害時に困ることや不安なこと》

- 障害の種類や等級等まで細かく分けると、「1人では避難できない」が視覚障害者(48.9%)、平衡機能障害者(51.6%)、知的障害者(療育手帳[Ⓐ](57.1%)及び療育手帳A(70.1%))、発達障害者(42.5%)などが4割を超えています。
知的障害者(療育手帳[Ⓐ])と発達障害者では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」がそれぞれ5割を超えており、平衡機能障害者では「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が5割近くと、他の障害と比べて回答が多くなっています。
障害の種類や等級により異なる対応が求められています。

《災害時にあるとよい支援》

- 災害時にあるとよいと思う支援として、「必要な医療的ケアを受けられる」は、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者でそれぞれ最も多くなっています。[表14]
- 知的障害者では避難所にたどり着く前の段階である「障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある」、「避難を手助けしてくれる」、発達障害者では「避難所でプライバシーが守られる」、「避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる」が1位、2位となっており、他の障害種別との結果に違いが見られます。

[表14] 災害時にあるとよい支援(複数回答)

障害種別	n	必要な医療的ケアを受けられる	避難所の設備(トイレ等)を充実させる	避難所でプライバシーが守られる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	避難を手助けしてくれる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	救助や避難時に声かけをしてくれる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	その他	特にない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	30.3%	24.9%	21.4%	20.5%	18.9%	17.1%	15.9%	13.3%	11.2%	8.3%	3.6%	1.5%	8.2%	15.2%
身体障害者	895	32.2%	26.1%	16.2%	22.3%	20.2%	17.9%	13.3%	11.5%	14.2%	3.9%	4.8%	1.7%	7.0%	17.8%
知的障害者	329	13.7%	20.4%	23.4%	29.8%	26.1%	19.5%	14.0%	21.9%	7.9%	18.2%	2.1%	0.9%	9.4%	13.1%
精神障害者	380	35.3%	22.6%	28.4%	11.6%	16.6%	18.7%	20.3%	15.0%	10.3%	10.5%	1.6%	1.6%	8.2%	13.7%
難病患者	280	41.4%	29.3%	18.9%	19.3%	17.1%	16.1%	16.1%	7.5%	12.9%	3.2%	8.2%	2.1%	5.7%	14.6%
発達障害者	186	17.7%	19.4%	30.6%	25.3%	19.9%	26.3%	22.6%	22.0%	8.1%	24.2%	1.6%	2.7%	3.8%	8.1%
高次脳機能障害者	43	34.9%	16.3%	18.6%	20.9%	34.9%	20.9%	14.0%	9.3%	9.3%	11.6%	2.3%	4.7%	4.7%	14.0%
特別支援学校高等部3年生	23	17.4%	26.1%	30.4%	13.0%	17.4%	8.7%	21.7%	21.7%	4.3%	17.4%	4.3%	0.0%	21.7%	8.7%

【見えてくる課題やニーズ】

- 災害時に自力で避難することが困難な方も多いことから、避難支援の充実が求められています。併せて、支援する側にも声かけなどの意識付けが求められています。
- 避難所においては、必要な医療的ケアを受けられるなどの環境整備の検討や、1人1人の障害特性が異なることを踏まえ、避難所の設備の充実も求められています。

10. 障害者への理解や権利擁護

【調査結果のまとめ】

《障害に対する市民の理解》

- 「進んでいる」と「多少進んでいる」を合わせた『進んでいる』が2割半ば、「後退している」と「多少後退している」を合わせた『後退している』が1割未満、「どちらともいえない」が3割半ばとなっています。

《障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと》

- 「学校等での障害を理解するための教育の充実」が3割近くとなっており、児童生徒への福祉教育等が求められています。[表 15]

《障害があることによって差別や嫌な思いを感じた場面》

- 「日常生活で」と回答された方が2割半ばとなっています。身体障害者と難病患者では「日常生活で」と「人との交流の場で」と回答された方は、他の種別と比べて少ない傾向にあります。

【表 15】 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと（複数回答）

障害種別	n	の学校等での障害を理解するため	障害者が積極的に社会参加を	福祉施設を地域に開かれたもの	行政から事業者への合理的配慮の周知	スポーツ・文化活動等を通じた障害者と地域の人々との交流	支援グループの育成	ボランティアの育成	障害者の活動の積極的なPR	障害福祉をテーマとした講座や講演会の開催	その他	特にない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	27.9%	14.4%	13.1%	12.4%	11.9%	11.6%	7.1%	6.5%	5.3%	2.6%	16.9%	15.8%
身体障害者	895	23.0%	12.0%	15.3%	10.3%	10.6%	11.4%	8.2%	6.5%	4.9%	2.0%	17.8%	19.7%
知的障害者	329	41.3%	16.4%	15.8%	14.6%	16.7%	13.4%	5.5%	7.9%	5.8%	3.3%	11.2%	9.7%
精神障害者	380	26.3%	17.9%	12.4%	16.3%	10.3%	10.8%	4.5%	5.3%	7.6%	3.9%	18.9%	12.4%
難病患者	280	29.6%	16.1%	14.6%	12.5%	15.4%	12.1%	7.9%	5.0%	3.9%	2.5%	12.1%	17.1%
発達障害者	186	51.6%	18.3%	12.4%	21.0%	12.9%	10.8%	4.3%	4.8%	7.0%	3.2%	10.8%	5.4%
高次脳機能障害者	43	27.9%	23.3%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	4.7%	9.3%	4.7%	4.7%	14.0%	9.3%
特別支援学校高等部3年生	23	39.1%	17.4%	13.0%	13.0%	17.4%	13.0%	4.3%	8.7%	8.7%	0.0%	8.7%	17.4%
障害者支援施設利用者	50	24.0%	10.0%	28.0%	14.0%	18.0%	12.0%	12.0%	0.0%	6.0%	4.0%	6.0%	18.0%
グループホーム利用者	35	17.1%	14.3%	11.4%	0.0%	20.0%	11.4%	14.3%	8.6%	5.7%	0.0%	31.4%	11.4%

【見えてくる課題やニーズ】

- 障害特性及び障害のある方についての理解を深めるため、学校教育における取り組みをはじめ、地域で暮らす市民の方々への周知啓発も求められています。

11. 新型コロナウイルス感染症の影響

【調査結果のまとめ】

《新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化》

- すべての障害種別で「外出がしにくくなった」が5割から6割台で最も多くなっています。社会的なつながりが制限され、日常生活において様々な影響があったことがうかがえます。[表 16]

《「新しい生活様式」の実践で難しいこと》

- 身体障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、特別支援学校高等部3年生では「特にない」が最も多くなっていますが、知的障害者と障害者支援施設利用者及びグループホーム利用者では「人との距離を確保する」が3割から5割台と最も多くなっています。

[表 16] 新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化（複数回答）

障害種別	n	外出がしにくくなった	取りづらくなった	コミュニケーションが	医療機関の受診に関する	な気分が浮き沈みが大きくなった	増えた	お金の心配が増えた	社会との壁や孤独感を	感じるようになった	遠慮することが必要な場面でも	支援が必要なものがある	がしづらくなった	障害福祉サービスの利用	身体症状が悪化した	増えた	家庭内でのトラブルが	勤務条件等が変わり働きづらくなった	その他	特にない	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	56.3%	26.3%	15.5%	15.5%	14.9%	8.7%	7.7%	7.7%	7.4%	5.7%	2.1%	2.3%	20.7%	8.7%				
身体障害者	895	58.9%	26.7%	17.3%	11.7%	10.3%	6.4%	6.6%	7.6%	7.3%	4.6%	1.6%	1.8%	19.9%	10.2%						
知的障害者	329	59.3%	24.3%	18.5%	11.6%	8.8%	7.9%	13.7%	17.0%	4.6%	7.3%	3.6%	4.0%	22.2%	5.5%						
精神障害者	380	53.9%	27.4%	15.5%	27.1%	31.1%	16.6%	9.2%	7.4%	12.1%	8.9%	2.6%	3.2%	19.2%	6.3%						
難病患者	280	61.8%	31.1%	16.8%	17.1%	13.2%	8.6%	8.2%	6.4%	6.4%	4.6%	1.8%	2.5%	16.4%	8.6%						
発達障害者	186	53.2%	31.2%	19.4%	22.6%	20.4%	13.4%	16.1%	14.0%	8.6%	5.9%	2.2%	4.3%	17.7%	5.4%						
高次脳機能障害者	43	60.5%	41.9%	16.3%	14.0%	14.0%	7.0%	14.0%	16.3%	11.6%	11.6%	4.7%	2.3%	14.0%	9.3%						
特別支援学校高等部3年生	23	47.8%	21.7%	13.0%	8.7%	4.3%	17.4%	13.0%	0.0%	17.4%	17.4%	4.3%	30.4%	4.3%	17.4%						
障害者支援施設利用者	50	76.0%	22.0%	24.0%	10.0%	2.0%	2.0%	14.0%	12.0%	8.0%	4.0%	0.0%	8.0%	8.0%	4.0%						
グループホーム利用者	35	68.6%	22.9%	8.6%	17.1%	5.7%	8.6%	8.6%	25.7%	2.9%	0.0%	8.6%	0.0%	17.1%	5.7%						

【見えてくる課題やニーズ】

- 障害の特性によって「新しい生活様式」の実践が困難に感じている方に対する理解と配慮が求められています。

12. 市の取り組み等

【調査結果のまとめ】

《市が充実させていけばよいと思う障害者施策》

- 全体で「経済的な援助」が2割半ばと最も多く、次いで「就労支援の充実」が2割近くとなっています。[表 17]

身体障害者では、「外出や移動の支援」(21.7%)が、知的障害者、発達障害者では「就労支援の充実」(知的28.0%、発達37.1%)が、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者では「経済的な援助」(精神38.4%、難病26.1%、高次脳37.2%)が最多となっています。

また、特別支援学校高等部3年生では、「差別・虐待防止の周知・対応の推進」(43.5%)が、障害者支援施設利用者では、「入所施設の整備」(48.0%)が、グループホーム利用者では、「グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備」(28.6%)が最多となっています。

《障害者施策全般の満足度》

- 障害者施策への満足度については、「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足している』が3割半ば、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた『満足していない』が1割半ば、「どちらともいえない」が4割近くとなっています。[表 18]

[表 17] 市が充実させていけばよいと思う障害者施策 (複数回答)

項目	障害者手帳所持者等 (n=1,754)	身体障害者 (n=895)	知的障害者 (n=329)	精神障害者 (n=380)	難病患者 (n=280)	発達障害者 (n=186)	高次脳機能障害者 (n=43)	特別支援学校高等部3年生 (n=23)	障害者支援施設利用者 (n=50)	グループホーム利用者 (n=35)
経済的な援助	25.1%	18.8%	18.8%	38.4%	26.1%	30.6%	37.2%	34.8%	8.0%	14.3%
就労支援の充実	19.8%	10.9%	28.0%	29.5%	20.0%	37.1%	20.9%	34.8%	4.0%	11.4%
差別・虐待防止の周知・対応の推進	19.0%	15.1%	23.4%	22.1%	17.1%	26.3%	25.6%	43.5%	16.0%	17.1%
災害時の支援体制	18.4%	21.5%	16.1%	14.5%	19.3%	13.4%	9.3%	17.4%	16.0%	11.4%
障害のある人の特性を知ってもらうための周知啓発	17.9%	12.7%	20.4%	29.2%	12.9%	30.1%	32.6%	26.1%	26.0%	11.4%
外出や移動の支援	16.6%	21.7%	14.3%	10.0%	16.8%	11.8%	14.0%	34.8%	32.0%	20.0%
利用しやすい道路や公共施設の整備	16.2%	20.1%	9.7%	14.5%	18.2%	8.1%	25.6%	8.7%	14.0%	5.7%
障害のある人の健康診断や健康相談事業	13.6%	14.0%	16.1%	15.0%	12.1%	13.4%	23.3%	26.1%	10.0%	20.0%
適切な療育や支援を受けられる体制	13.3%	11.8%	22.2%	10.3%	13.6%	18.3%	16.3%	4.3%	22.0%	2.9%
障害者医療に関する情報収集・情報提供	12.8%	14.7%	10.0%	11.8%	12.9%	13.4%	14.0%	13.0%	18.0%	0.0%
介助者への支援	10.5%	13.3%	9.7%	6.6%	13.6%	9.1%	14.0%	8.7%	18.0%	5.7%

※回答結果より10.0%以上の項目を抜粋(無回答を除く)

[表 18] 川越市の障害者施策への満足度 (単一回答)

障害種別	n	満足している	少し満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
障害者手帳所持者等	1,754	14.5%	19.4%	38.9%	8.7%	5.1%	13.3%
身体障害者	895	15.4%	19.3%	36.9%	7.0%	4.2%	17.1%
知的障害者	329	11.2%	23.4%	40.4%	13.1%	6.4%	5.5%
精神障害者	380	16.1%	17.1%	38.7%	13.7%	8.4%	6.1%
難病患者	280	9.3%	22.5%	42.5%	6.8%	5.7%	13.2%
発達障害者	186	9.1%	22.0%	43.0%	16.1%	5.4%	4.3%
高次脳機能障害者	43	11.6%	11.6%	51.2%	7.0%	4.7%	14.0%
特別支援学校高等部3年生	23	4.3%	17.4%	52.2%	8.7%	17.4%	0.0%
障害者支援施設利用者	50	12.0%	22.0%	40.0%	12.0%	8.0%	6.0%
グループホーム利用者	35	20.0%	20.0%	22.9%	8.6%	14.3%	14.3%

【見えてくる課題やニーズ】

- 「経済的な援助」、「就労支援の充実」は、多くの障害種別で求められています。また、「外出や移動の支援」、「差別・虐待防止の周知・対応の推進」、「入所施設の整備」、「グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備」の充実を求められています。

13. 介助者向けアンケート

【調査結果のまとめ】

《介助者について》

○ 介助者は無回答を除くと「配偶者（夫または妻）」、「父母」、「子ども」等の親族・家族が約9割を占めています。年齢では「無回答」を除くと「65歳以上」が2割半ばと、40歳以上と回答された方が5割を超えており、中年から高齢層の介助者が多い結果となっています。[表19]

介助者に必要と思われる支援では、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が2割半ばと最も多い回答となっており、親なき後の支援に関するニーズがうかがえます。[表20]

【表19】 介助者の年齢（単一回答）

障害種別	n	10歳未満	10歳～17歳	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	0.2%	0.3%	0.0%	0.9%	3.6%	9.5%	12.0%	5.0%
身体障害者	895	0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	1.9%	6.6%	11.2%	4.9%	30.1%	44.5%
知的障害者	329	0.3%	0.9%	0.0%	1.5%	9.4%	21.9%	21.3%	6.4%	23.7%	14.6%
精神障害者	380	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	4.2%	10.0%	10.3%	3.7%	16.8%	53.2%
難病患者	280	0.4%	0.4%	0.0%	0.7%	4.3%	8.2%	7.9%	5.4%	18.9%	53.9%
発達障害者	186	0.5%	1.1%	0.0%	1.1%	16.1%	23.7%	21.5%	6.5%	5.9%	23.7%
高次脳機能障害者	43	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.6%	14.0%	4.7%	34.9%	27.9%
特別支援学校高等部3年生	23	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	34.8%	0.0%	0.0%	17.4%
障害者支援施設利用者	50	0.0%	0.0%	0.0%	16.0%	10.0%	6.0%	18.0%	6.0%	34.0%	10.0%
グループホーム利用者	35	0.0%	0.0%	2.9%	14.3%	0.0%	8.6%	8.6%	14.3%	31.4%	20.0%

【表20】 介助者に必要と思われる支援（複数回答）

障害種別	n	家族が亡くなった後の障害のある方の支援	経済的支援	サービス利用のための簡便な手続き	災害時も含めた緊急時の支援	気軽に情報交換できる機会の紹介・提供	勤務しやすい柔軟な働き方	ケアラーに役立つ情報の提供	の確保	気軽に休息や睡眠がとれる機会の確保	電話や訪問による相談体制の整備	ケアラーの健康管理への支援	社会的なケアラー支援への理解	就労及び再就職への支援	他のケアラーと話し合えること	その他	無回答
		障害者手帳所持者等	1,754	26.2%	22.2%	19.5%	19.3%	15.1%	10.2%	10.0%	9.7%	9.3%	8.4%	6.7%	5.8%	5.5%	4.6%
身体障害者	895	18.2%	21.5%	18.0%	19.1%	16.2%	8.3%	8.0%	9.1%	8.9%	8.2%	6.1%	4.4%	3.6%	3.8%	1.2%	53.3%
知的障害者	329	64.1%	39.5%	27.4%	31.3%	25.2%	20.7%	23.1%	16.7%	17.3%	13.1%	10.6%	9.4%	13.1%	10.0%	2.7%	17.6%
精神障害者	380	28.9%	17.4%	23.2%	18.2%	12.4%	10.5%	10.5%	11.1%	8.7%	8.9%	6.6%	6.1%	6.1%	4.5%	0.8%	55.3%
難病患者	280	20.0%	20.0%	19.6%	18.2%	16.1%	10.4%	9.3%	8.2%	11.4%	11.4%	7.1%	5.7%	3.9%	4.3%	0.4%	57.5%
発達障害者	186	58.1%	37.1%	36.0%	33.9%	25.3%	26.9%	25.3%	17.2%	20.4%	17.2%	15.6%	14.0%	14.5%	10.2%	1.1%	25.3%
高次脳機能障害者	43	30.2%	41.9%	27.9%	27.9%	16.3%	18.6%	20.9%	14.0%	16.3%	14.0%	11.6%	11.6%	14.0%	11.6%	2.3%	34.9%
特別支援学校高等部3年生	23	56.5%	52.2%	39.1%	52.2%	13.0%	4.3%	30.4%	0.0%	17.4%	17.4%	4.3%	4.3%	30.4%	0.0%	0.0%	13.0%
障害者支援施設利用者	50	56.0%	30.0%	20.0%	22.0%	32.0%	12.0%	22.0%	18.0%	18.0%	10.0%	8.0%	6.0%	4.0%	4.0%	2.0%	18.0%
グループホーム利用者	35	57.1%	37.1%	20.0%	37.1%	20.0%	14.3%	8.6%	17.1%	5.7%	11.4%	2.9%	14.3%	8.6%	11.4%	0.0%	28.6%

【見えてくる課題やニーズ】

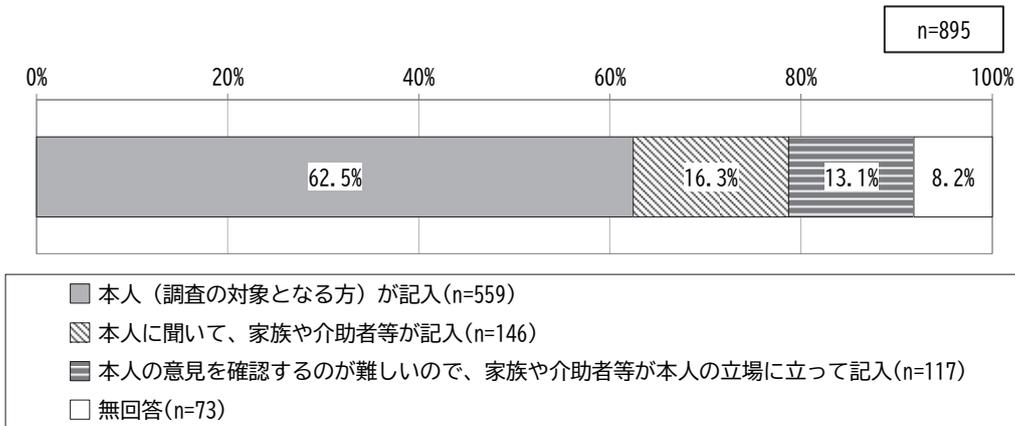
- 高齢の親の介助者が多くなっていることから、地域で安心して暮らし続けるための支援や自分らしく生活することが出来る場所の確保など、親亡き後を見据えた支援が求められています。
- 必要な人に必要なサービスが届くことで介助者の負担軽減にも繋がることから、わかりやすいサービスの周知や気軽に利用出来る相談支援体制も求められています。

調査結果 1. 身体障害者

《記入者・ご本人について》

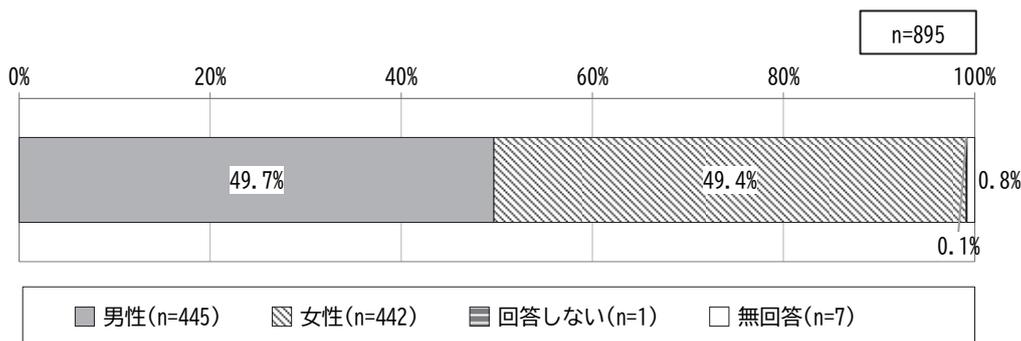
この調査票に記入する方はどなたですか。(〇は1つ)

調査票に記入された方については、「本人が記入」が62.5%と最も多く、次いで「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が16.3%となっています。



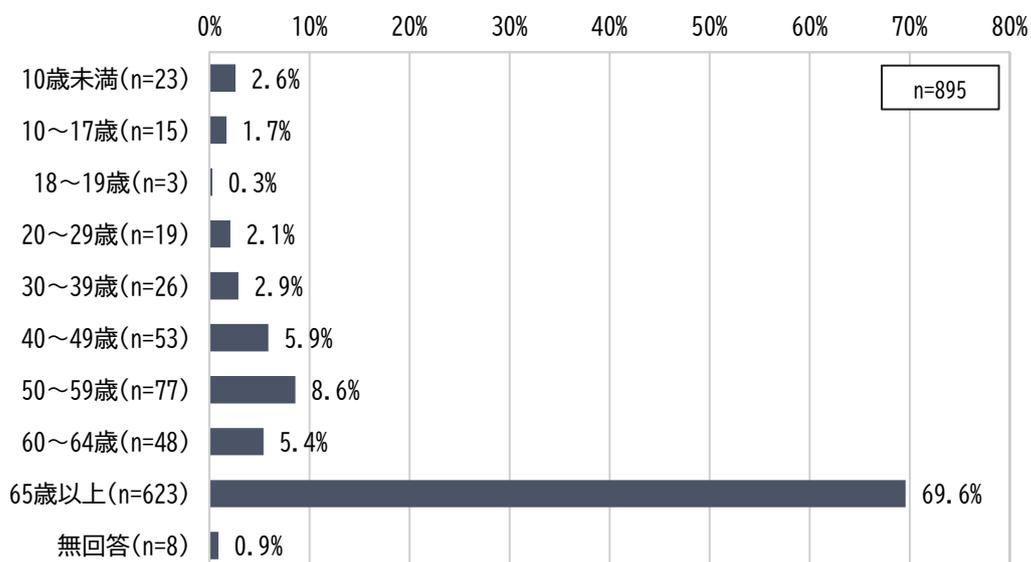
あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

性別については、「男性」が49.7%、「女性」が49.4%となっています。



あなたの年齢(令和4年9月1日現在)を記入してください。(〇は1つ)

年齢については、「65歳以上」が69.6%と最も多く、次いで「50~59歳」が8.6%となっています。



現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

暮らしている場所については、「本人または家族の持ち家」が78.9%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.8%となっています。

n=895	本人または家族の持ち家 (n=706)	民間の賃貸住宅 (n=88)	公営の賃貸住宅 (n=36)	高齢者施設(特養等) (n=24)	病院に入院中 (n=13)	障害者の入所施設 (n=12)	障害者グループホーム (n=2)	その他 (n=8)	無回答 (n=6)
	78.9%	9.8%	4.0%	2.7%	1.5%	1.3%	0.2%	0.9%	0.7%

現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

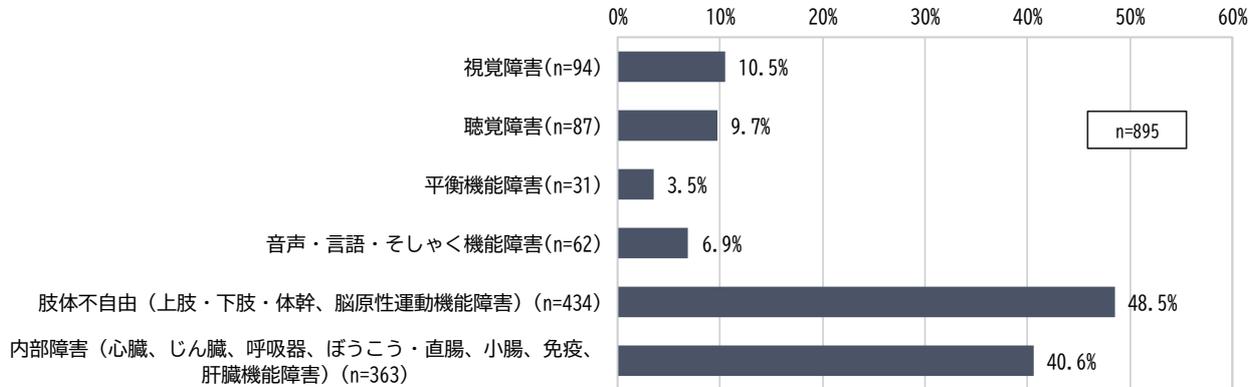
一緒に暮らしている人については、「配偶者(夫または妻)」が50.2%と最も多く、次いで「子ども(子どもの配偶者も含む)」が29.3%となっています。

年齢	n	配偶者(夫または妻)	子ども(子どもの配偶者も含む)	一人暮らし	父母	兄弟姉妹	障害者グループホーム・施設等の同居人	その他の親せき	祖父母	その他	無回答
		全体	895	50.2%	29.3%	18.5%	13.2%	7.7%	3.7%	1.1%	1.0%
10歳未満	23	0.0%	0.0%	0.0%	95.7%	73.9%	4.3%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%
10～17歳	15	0.0%	0.0%	0.0%	93.3%	80.0%	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%
18～19歳	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	19	0.0%	10.5%	5.3%	73.7%	42.1%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
30～39歳	26	23.1%	19.2%	15.4%	53.8%	11.5%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%
40～49歳	53	32.1%	32.1%	13.2%	41.5%	7.5%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
50～59歳	77	51.9%	31.2%	22.1%	23.4%	7.8%	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	1.3%
60～64歳	48	62.5%	18.8%	25.0%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	623	56.5%	32.9%	19.9%	1.1%	2.4%	3.5%	1.1%	0.3%	2.1%	0.6%

《障害の状況について》

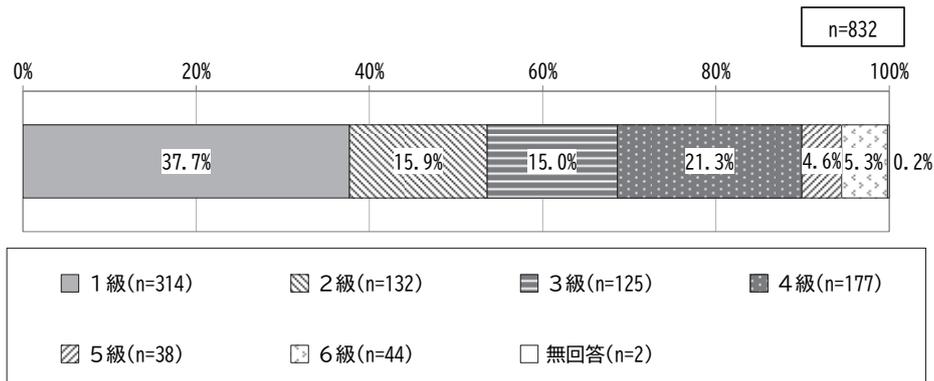
問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者の障害種別を選択した方のうち、「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、脳原性運動機能障害）」が48.5%と最も多く、次いで「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害）」が40.6%となっています。



問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

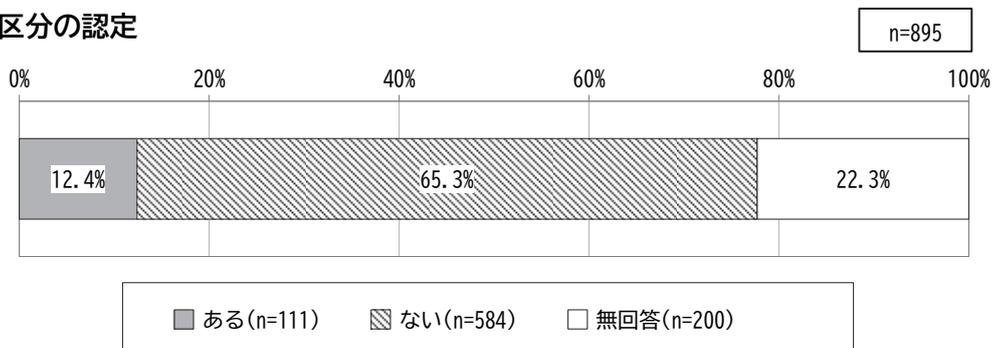
「身体障害者手帳を持っている」と回答した方のうち、手帳に記載された障害の程度は、「1級」が37.7%と最も多く、次いで「4級」が21.3%となっています。



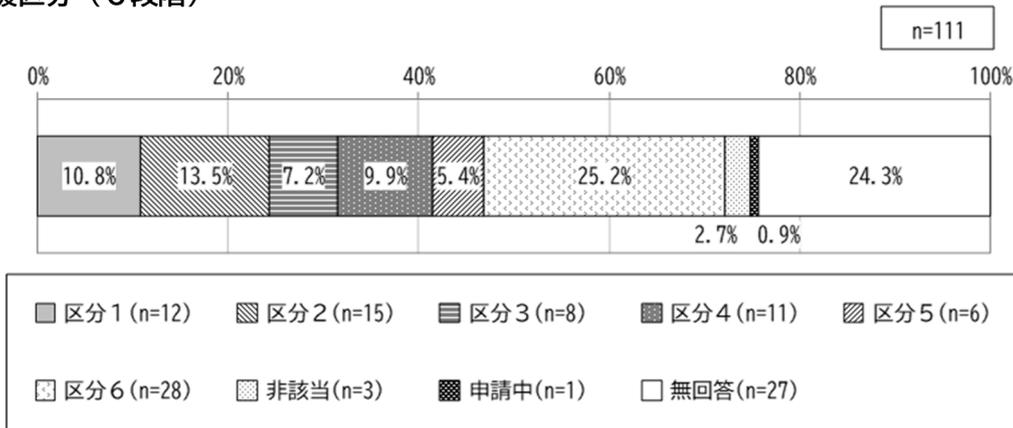
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が12.4%となっています。また、障害支援区分では「区分6」が25.2%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。（○は1つ）

主な介助者等については、「特に介助等は受けていない」が31.1%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が26.0%、「子ども（子どもの配偶者も含む）」が12.0%となっています。

年齢	n	配偶者 (夫または妻)	子ども (子どもの配偶者も含む)	父母	ホームヘルパー	兄弟姉妹	近所の人、知人・友人	祖父母	ボランティア	その他の親せき	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		全体	895	26.0%	12.0%	8.7%	3.1%	1.5%	0.6%	0.1%	0.1%	0.0%	4.4%
10歳未満	23	0.0%	0.0%	82.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	13.0%
10～17歳	15	0.0%	0.0%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	13.3%
18～19歳	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	19	0.0%	0.0%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	26.3%	15.8%
30～39歳	26	7.7%	0.0%	46.2%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	34.6%	0.0%
40～49歳	53	13.2%	1.9%	24.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	34.0%	20.8%
50～59歳	77	23.4%	0.0%	6.5%	5.2%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	51.9%	5.2%
60～64歳	48	29.2%	0.0%	2.1%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.1%	4.2%
65歳以上	623	30.3%	17.0%	0.5%	3.2%	1.6%	0.3%	0.2%	0.2%	0.0%	4.5%	28.7%	13.5%

【問4で1～10に○をつけた方にお聞きします】

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

どのようなときに介助等を受けているかについては、「通院するとき」が69.3%と最も多く、次いで「外出するとき」が61.2%となっています。

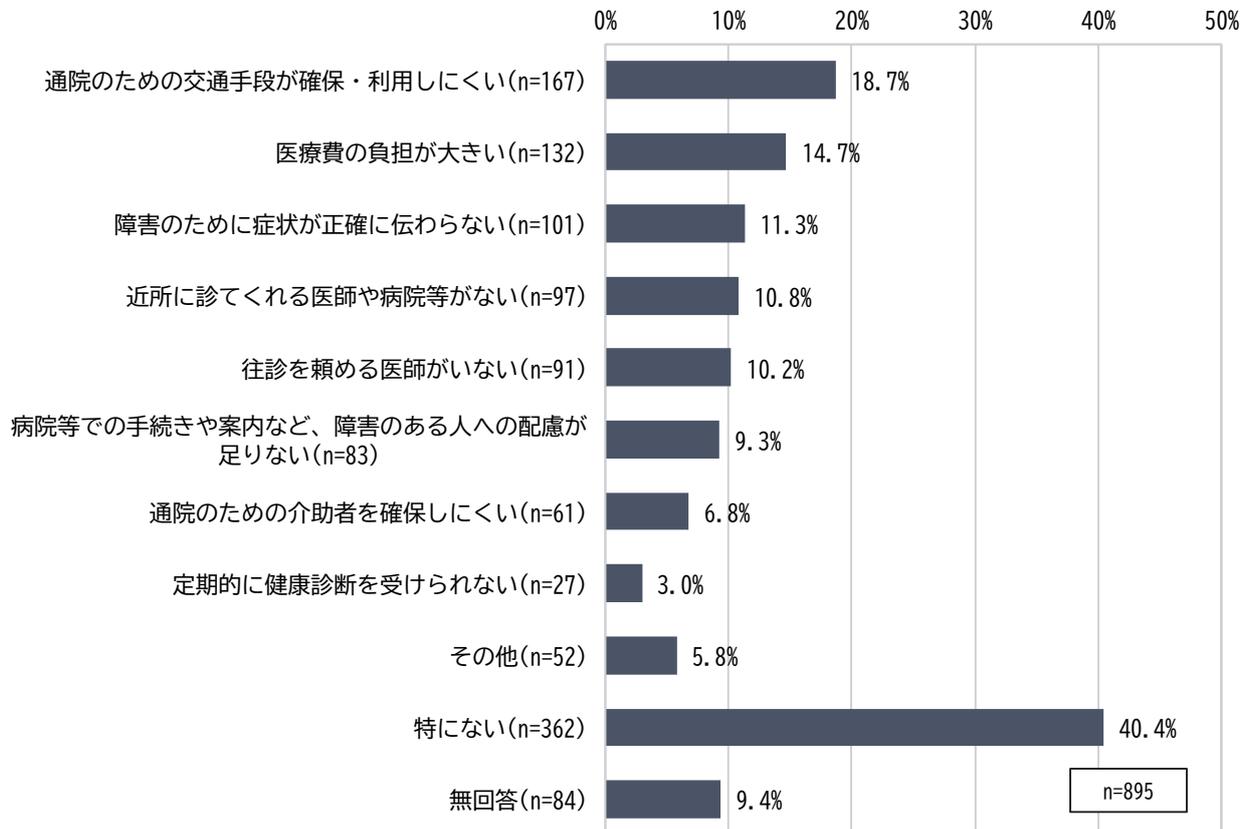
主な障害	n	通院するとき	外出するとき	書類等の手続きのとき	洗濯、掃除をするとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	お金の管理をするとき	服薬のとき	見守りが必要な状態のとき	人とコミュニケーションをとるとき	家の中を移動するとき	医療的ケア（経管栄養、痰の吸引等）の対応のとき	その他	無回答
		全体	505	69.3%	61.2%	53.7%	46.5%	41.4%	37.2%	29.7%	26.7%	20.0%	17.8%	10.7%
視覚障害	67	82.1%	73.1%	79.1%	43.3%	32.8%	50.7%	32.8%	28.4%	23.9%	10.4%	7.5%	3.0%	1.5%
聴覚障害	46	58.7%	60.9%	50.0%	34.8%	39.1%	45.7%	26.1%	32.6%	50.0%	15.2%	4.3%	10.9%	2.2%
平衡機能障害	21	76.2%	66.7%	90.5%	42.9%	57.1%	42.9%	28.6%	42.9%	33.3%	23.8%	9.5%	4.8%	4.8%
音声・言語・しゃく機能障害	42	73.8%	59.5%	69.0%	52.4%	69.0%	54.8%	42.9%	38.1%	38.1%	33.3%	26.2%	0.0%	0.0%
肢体不自由（上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害）	262	78.2%	71.8%	58.8%	55.7%	57.3%	42.0%	38.2%	35.9%	23.3%	29.0%	16.4%	5.0%	1.9%
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害）	192	63.5%	52.1%	44.3%	42.7%	31.3%	29.7%	21.9%	18.2%	12.0%	9.4%	8.3%	5.7%	7.3%

《健康状態や医療について》

【ここからは、全員にお聞きします】

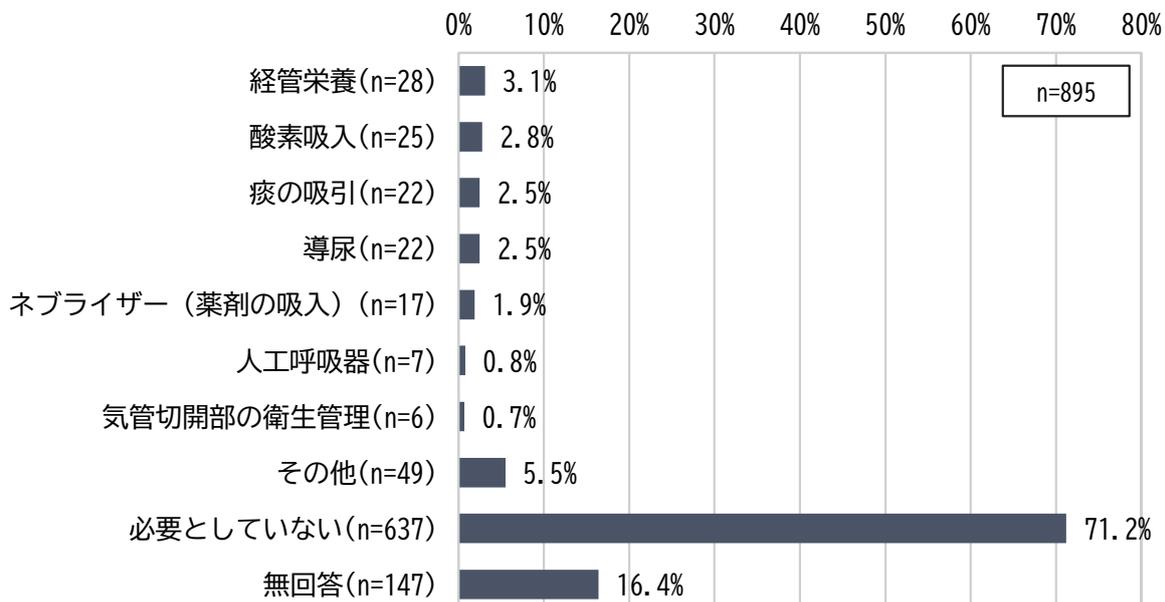
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「特にない」が40.4%と最も多く、次いで「通院のための交通手段が確保・利用しにくい」が18.7%、「医療費の負担が大きい」が14.7%、「医療費の負担が大きい」が14.7%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

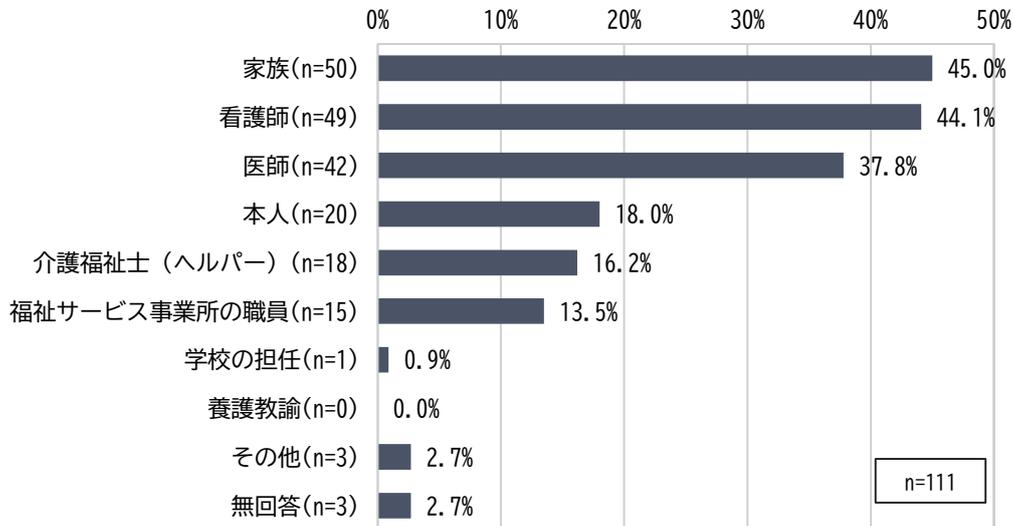
医療的ケアを必要としている方については、「経管栄養」が3.1%と最も多く、次いで「酸素吸入」が2.8%となっています。



【問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします】

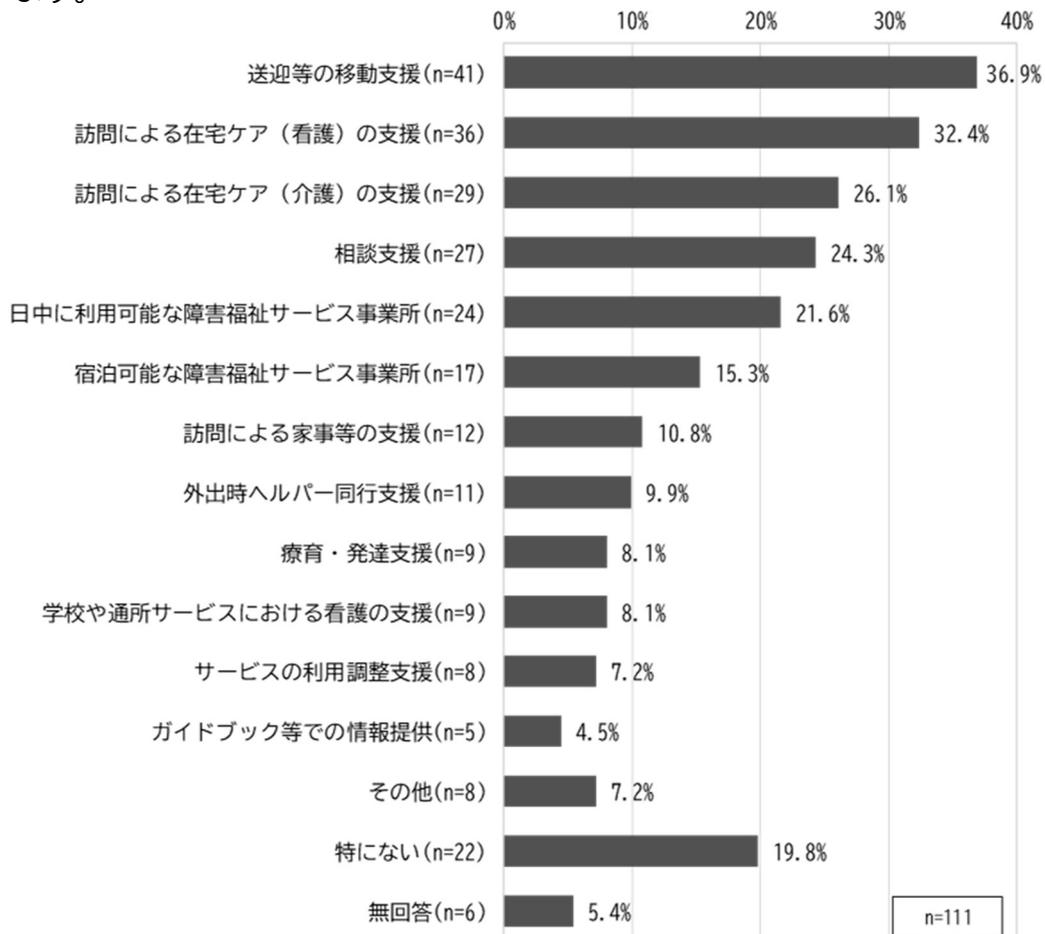
問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が45.0%と最も多く、次いで「看護師」が44.1%となっています。



問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方のうち、日常生活を送る上で必要な支援については、「送迎等の移動支援」が36.9%と最も多く、次いで「訪問による在宅ケア (看護) の支援」が32.4%となっています。

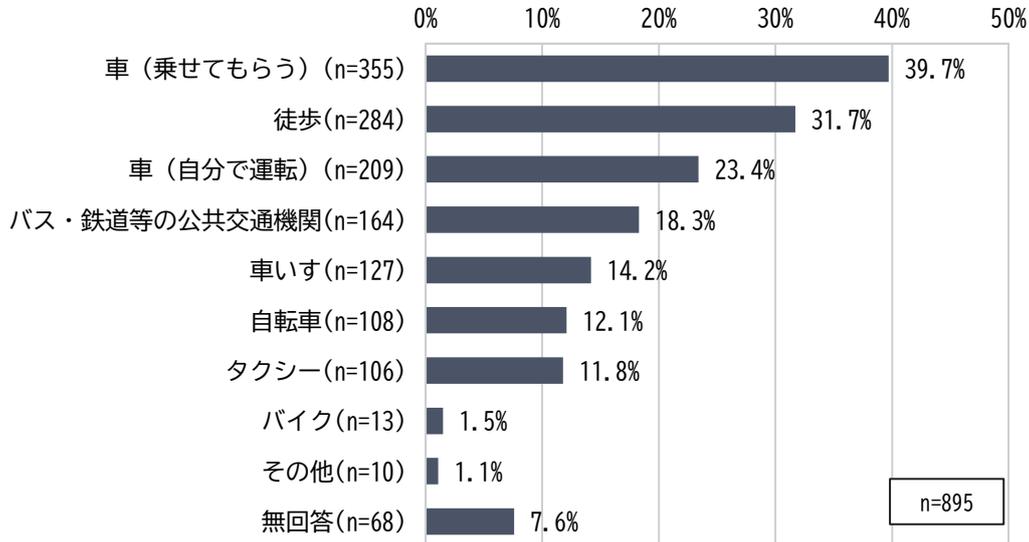


《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

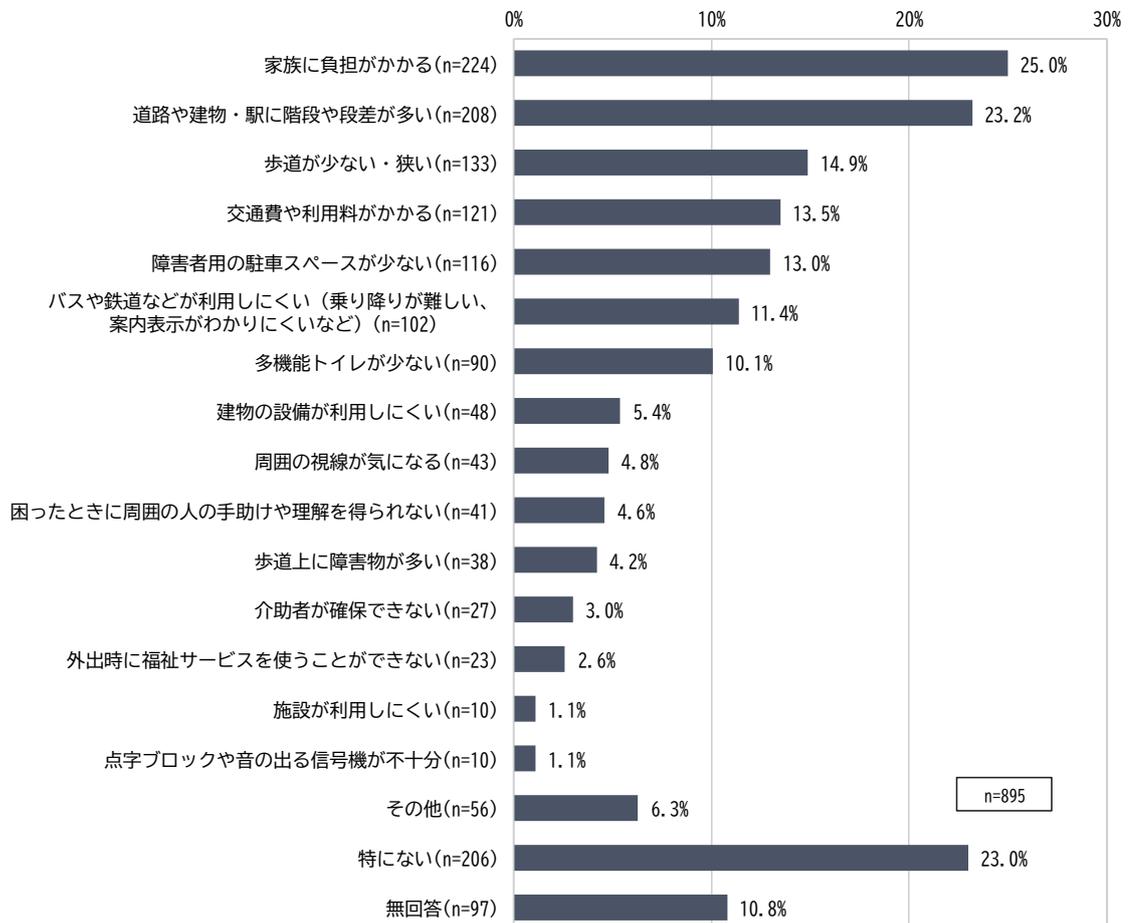
問10 外出の主な手段は何ですか。(〇は2つまで)

外出の主な手段については、「車（乗せてもらう）」が39.7%と最も多く、次いで「徒歩」が31.7%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「家族に負担がかかる」が25.0%と最も多く、次いで「道路や建物・駅に階段や段差が多い」が23.2%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

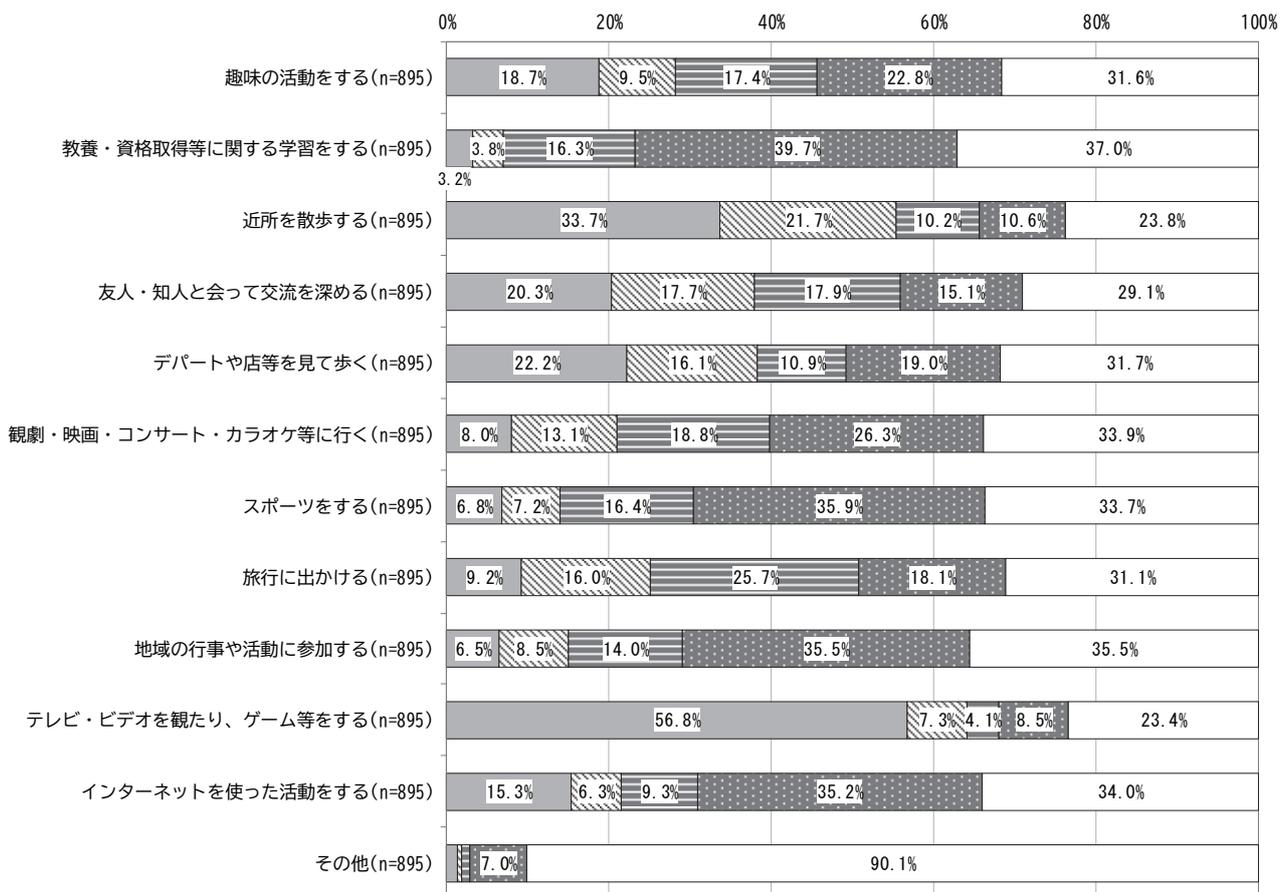
R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
道路や建物・駅に階段や段差が多い	29.2%	家族に負担がかかる	25.0%
特に困っていることはない	26.7%	道路や建物・駅に階段や段差が多い	23.2%
歩道が整備されていない	20.1%	特になし	23.0%
自動車や自転車がなくて危険を感じる	19.7%	歩道が少ない・狭い	14.9%
障害者用の駐車スペースが少ない	18.9%	交通費や利用料がかかる	13.5%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が 56.8%と最も多く、次いで「近所を散歩する」が 33.7%となっています。

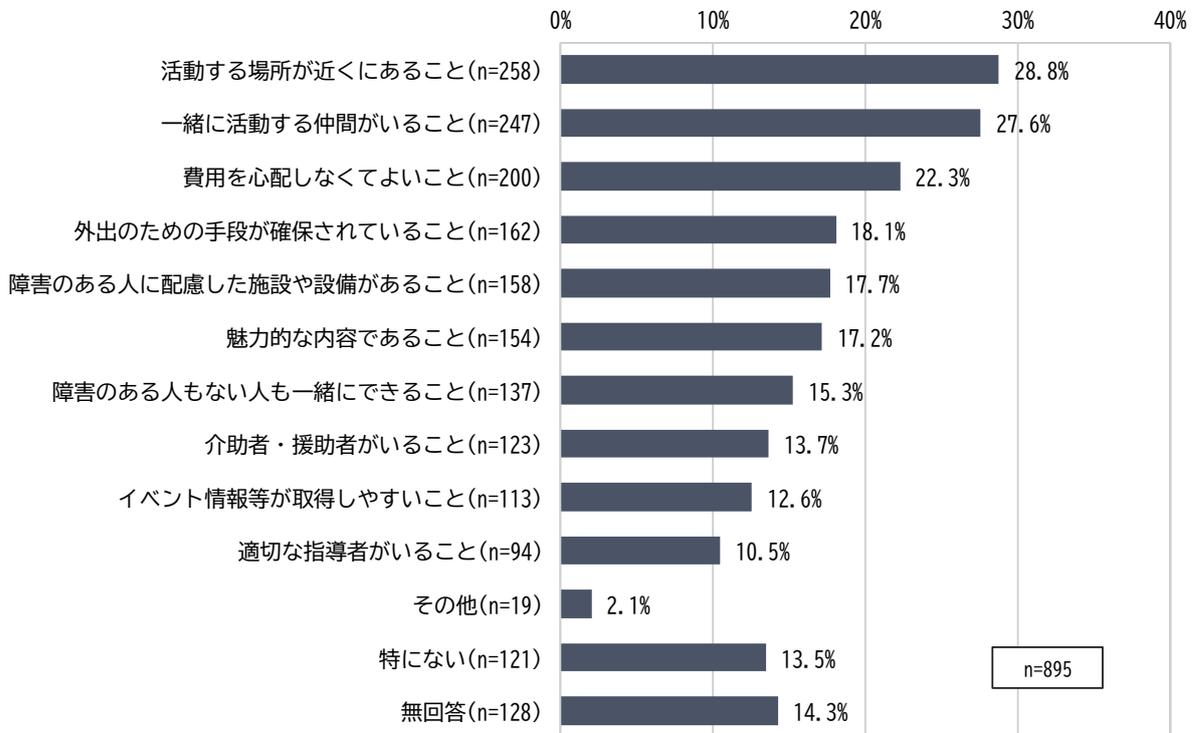
また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「旅行に出かける」が 25.7%と最も多く、次いで「観劇・映画・コンサート・カラオケ等に行く」が 18.8%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ▩ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「活動する場所が近くにあること」が28.8%と最も多く、次いで「一緒に活動する仲間がいること」が27.6%となっています。



《日中の過ごし方について》

問14 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

日中の過ごし方については、「家で過ごしている」が63.5%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」が13.4%となっています。

年齢(3区分)	n	家で過ごしている	収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)	高齢者の通所施設・事業所に通っている	家の仕事を手伝っている	障害者の通所施設・事業所に通っている	入所施設で過ごしている	病院等(デイケア等)で過ごしている	幼稚園や保育所、学校等に通っている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	求職活動をしている	その他	無回答
		全体	895	63.5%	13.4%	12.6%	8.8%	5.5%	4.5%	4.1%	3.5%	3.1%	1.5%	1.2%
18歳未満	38	18.4%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	2.6%	73.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18~64歳	226	42.0%	35.4%	3.5%	5.3%	13.7%	3.5%	4.0%	1.3%	0.9%	0.9%	3.5%	3.5%	3.1%
65歳以上	623	74.0%	6.3%	16.7%	10.3%	2.6%	4.7%	4.3%	0.0%	3.9%	1.8%	0.5%	3.9%	5.3%

■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
家庭内で過ごしている	52.4%	家で過ごしている	63.5%
収入を伴う仕事をしている	16.1%	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	13.4%
通所サービスを利用している	12.8%	高齢者の通所施設・事業所に通っている	12.6%
家の仕事を手伝っている	8.9%	家の仕事を手伝っている	8.8%
自立した日常生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための訓練を受けている	7.3%	障害者の通所施設・事業所に通っている	5.5%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《幼稚園や保育所、学校などについて》

【問15～17は、問14で「1. 幼稚園や保育所、学校等に通っている」に○をつけた方にお聞きします】

問15 主に通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育所、学校等に通っている人の通園通学先については、31件中「特別支援学校」が16件と最も多く、次いで「小学校、中学校、高等学校」が5件となっています。

n=31	特別支援学校	小学校、中学校、高等学校	幼稚園、保育所	障害児通所支援事業所	短大・大学・大学院	特別支援学級	専門学校・専修学校・高等技術専門学校等	その他	無回答
	16	5	3	2	2	1	0	2	0

問16 学校で勉強する場合にどのような学習形態を望みますか。(○は1つ)

学校で勉強する場合の学習形態については、31件中「同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい」、「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」がそれぞれ9件と最も多くなっています。

n=31	同じような障害のある仲間たちと勉強したい	障害のある仲間と勉強しながら、障害のある仲間のクラスで勉強したい	障害のある仲間と勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい	わからない	その他	無回答
	9	9	8	4	1	0

問17 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることについては、31件中「特になし」が12件と最も多く、次いで「通うための介助者を確保しにくい」、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」がそれぞれ7件となっています。

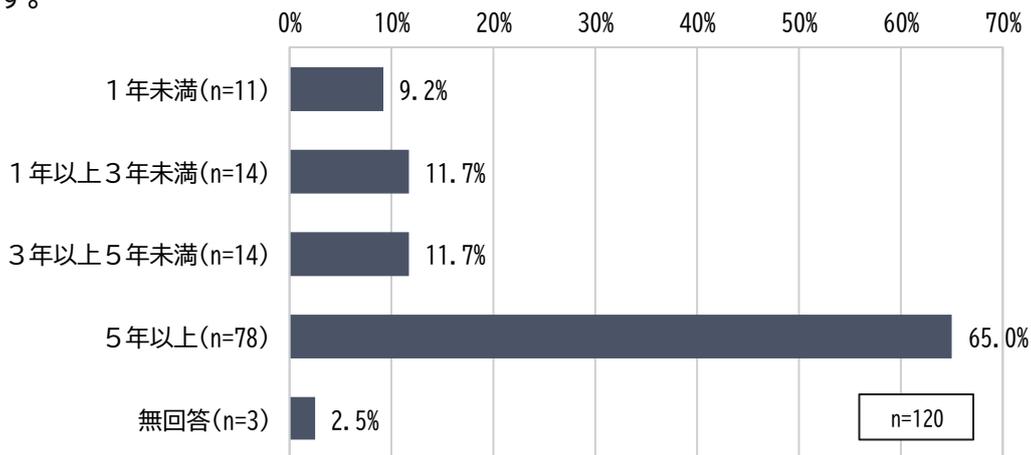
n=31	通うための介助者を確保しにくい	通うための交通手段が確保・利用しにくい	学校の数が少ない	家族の同伴を求められない	トイレなどの設備が不十分	教職員の理解が得られない	学校が入れてくれない	校内・園内での支援が不十分	医療的ケアが受けられない	授業についていけない	友だちができない	が児童・生徒の理解が得られない	通常の学級に入れない	その他	特になし	無回答
	7	7	5	4	3	3	3	2	2	0	0	0	0	3	12	0

《雇用・就労について》

[問18～21は、問14で「2. 収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」に○をつけた方にお聞きします]

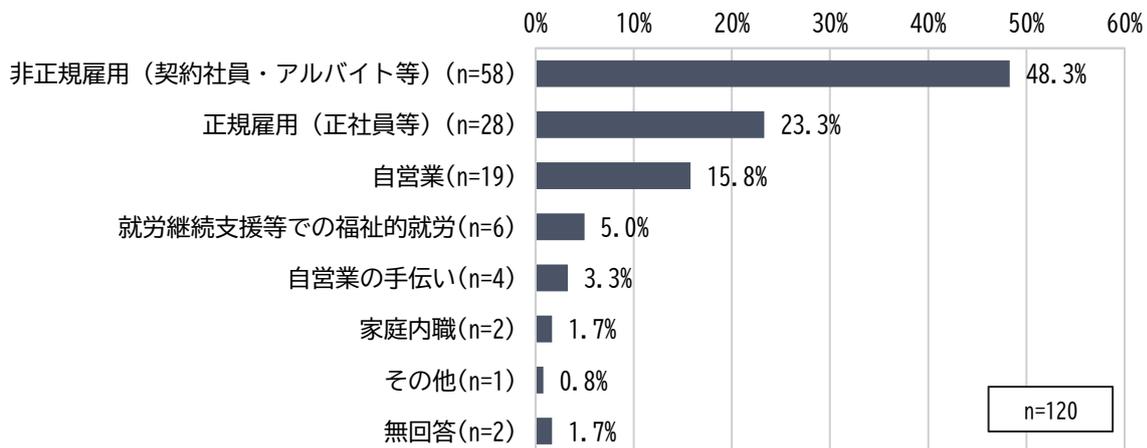
問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「5年以上」が65.0%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」がそれぞれ11.7%となっています。



問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「非正規雇用(契約社員・アルバイト等)」が48.3%と最も多く、次いで「正規雇用(正社員等)」が23.3%となっています。

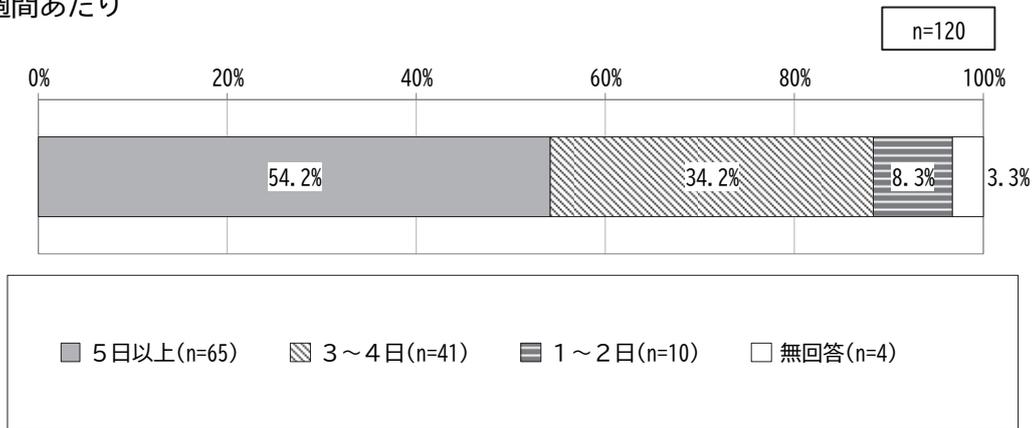


問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。((1)(2)それぞれ○は1つ)

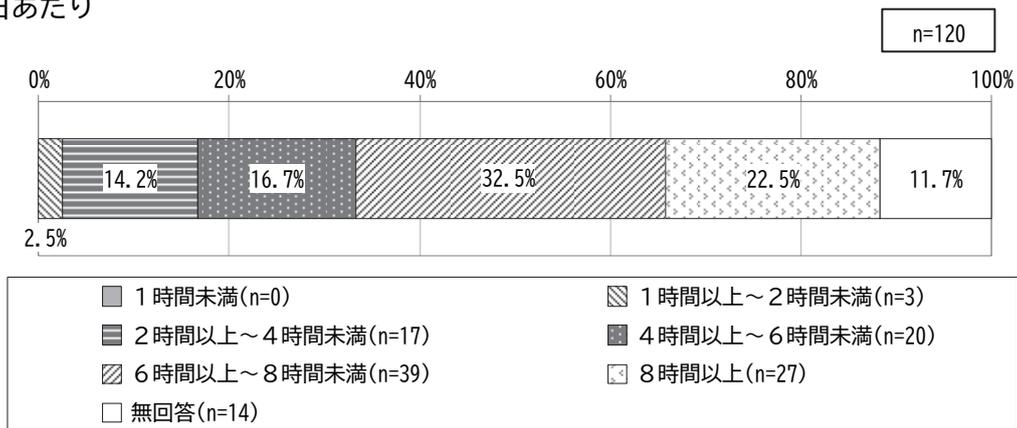
1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が54.2%と最も多く、次いで「3～4日」が34.2%となっています。

1日あたりの就労時間については、「6時間以上～8時間未満」が32.5%と最も多く、次いで「8時間以上」が22.5%となっています。

(1) 1週間あたり



(2) 1日あたり



問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

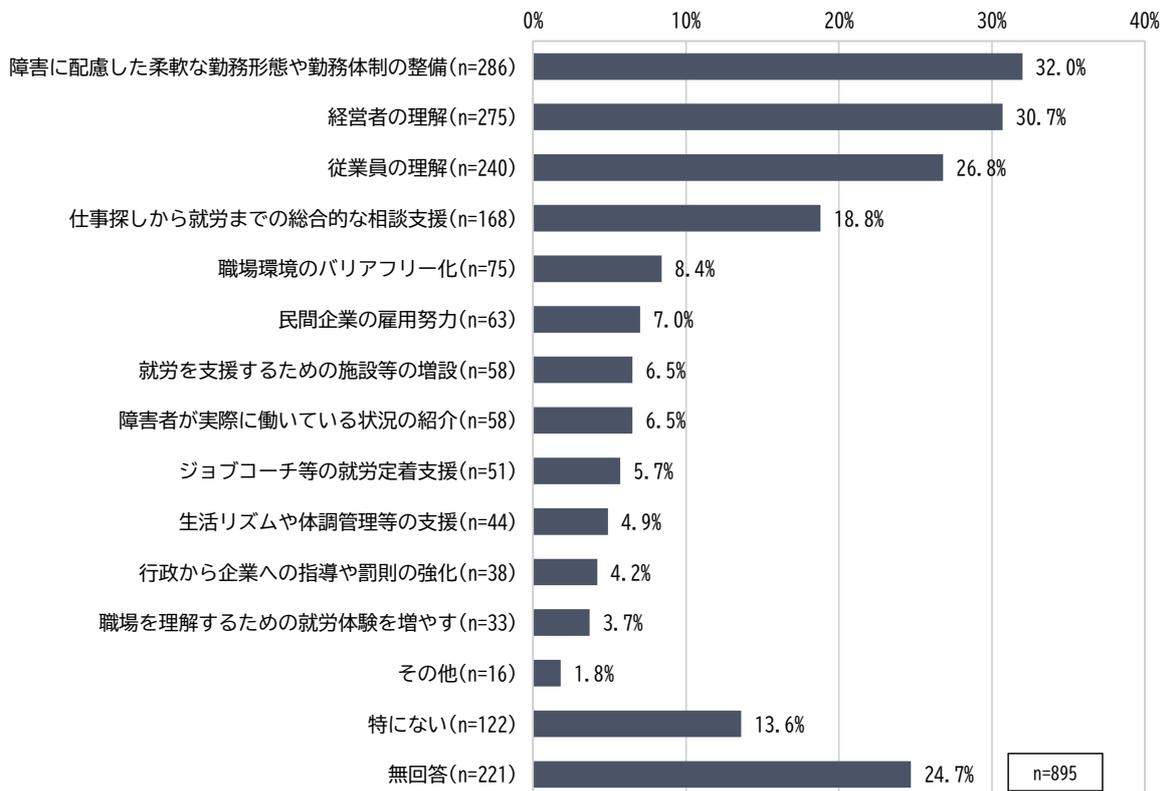
仕事をする上で困っていることについては、「収入が少ない」が33.3%と最も多く、次いで「特にない」が28.3%、「体調のコントロールが難しい」が23.3%となっています。

就労形態	n	収入が少ない	体調のコントロールが難しい	通勤が大変	職場の人間関係	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	仕事がかた	職場の理解が得られない	コミュニケーションができない	能力を發揮できない	業務内容が合わない	就業時間が合わない	その他	特にない	無回答
		全体	120	33.3%	23.3%	18.3%	15.0%	9.2%	7.5%	7.5%	6.7%	5.8%	3.3%	1.7%	5.0%
正規雇用(正社員等)	28	28.6%	17.9%	28.6%	14.3%	10.7%	14.3%	14.3%	10.7%	10.7%	7.1%	3.6%	3.6%	25.0%	0.0%
非正規雇用(契約社員・アルバイト等)	58	39.7%	17.2%	20.7%	19.0%	10.3%	3.4%	6.9%	5.2%	3.4%	1.7%	1.7%	6.9%	36.2%	0.0%
自営業	19	31.6%	47.4%	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%	5.3%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	21.1%	10.5%
自営業の手伝い	4	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
家庭内職	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	6	33.3%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【ここからは、全員にお聞きします】

問22 障害のある人の就労を促進するために、あなたはどのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が32.0%と最も多く、次いで「経営者の理解」が30.7%となっています。



問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が30.2%と最も多く、次いで「年収200万円以上300万円未満」が12.7%となっています。

	n	年収100万円未満	年収100万円以上150万円未満	年収150万円以上200万円未満	年収200万円以上300万円未満	年収300万円以上500万円未満	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
全体	895	30.2%	10.8%	9.1%	12.7%	5.1%	2.8%	10.6%	18.7%
就労形態									
正規雇用（正社員等）	28	3.6%	0.0%	3.6%	14.3%	21.4%	50.0%	3.6%	3.6%
非正規雇用（契約社員・アルバイト等）	58	22.4%	20.7%	15.5%	19.0%	15.5%	0.0%	3.4%	3.4%
自営業	19	15.8%	0.0%	15.8%	21.1%	21.1%	15.8%	5.3%	5.3%
自営業の手伝い	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
就労継続支援等での福祉的就労	6	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
主な収入									
給与・賃金	110	14.5%	10.0%	9.1%	20.0%	22.7%	17.3%	3.6%	2.7%
事業収入	24	16.7%	4.2%	12.5%	16.7%	20.8%	25.0%	4.2%	0.0%
就労継続支援施設や作業所の工賃	5	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族の収入（仕送り・援助含む）	212	59.0%	8.0%	3.8%	5.2%	1.4%	0.9%	14.2%	7.5%
年金	531	28.2%	13.2%	11.9%	18.3%	4.0%	0.4%	9.6%	14.5%
障害年金	157	36.3%	17.2%	6.4%	6.4%	8.3%	3.2%	9.6%	12.7%
生活保護	35	37.1%	17.1%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	22.9%	17.1%

問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を支えている収入については、「年金」が59.3%と最も多く、次いで「家族の収入」(仕送り・援助含む)が23.7%となっています。

年齢（3区分）	n	年金	家族の収入（仕送り・援助含む）	障害年金	給与・賃金	生活保護	事業収入	就労継続支援施設や作業所の工賃	その他	無回答
		全体	895	59.3%	23.7%	17.5%	12.3%	3.9%	2.7%	0.6%
18歳未満	38	0.0%	84.2%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%
18～64歳	226	11.5%	38.9%	40.7%	32.7%	6.2%	1.8%	1.3%	8.0%	4.4%
65歳以上	623	80.3%	14.4%	10.0%	5.5%	3.4%	3.2%	0.3%	4.2%	7.9%

《今後の希望について》

問25 近い将来（今後3年以内）に、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）に、どこで暮らしたいと思うかについては、「家族と一緒に暮らしたい」が65.4%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」が8.2%となっています。

生活場所	n	家族と一緒に暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	高齢者施設で暮らしたい	障害者施設で暮らしたい	共同生活する住居（障害者グループホーム等）で暮らしたい	その他	無回答
		全体	895	65.4%	8.2%	5.5%	2.2%	1.0%
本人または家族の持ち家	706	72.9%	6.5%	3.4%	1.1%	0.7%	4.7%	10.6%
民間の賃貸住宅	88	36.4%	19.3%	9.1%	2.3%	2.3%	17.0%	13.6%
公営の賃貸住宅	36	44.4%	19.4%	5.6%	2.8%	5.6%	11.1%	11.1%
障害者グループホーム	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の入所施設	12	8.3%	0.0%	8.3%	75.0%	0.0%	0.0%	8.3%
高齢者施設（特養等）	24	29.2%	4.2%	45.8%	0.0%	0.0%	4.2%	16.7%
病院に入院中	13	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	38.5%

問26 近い将来（今後3年以内）に、あなたは日中を主にどのように過ごしたいと思いますか。
 (○は1つ)

近い将来（今後3年以内）の日中の過ごし方については、「家庭内で過ごしたい」が47.6%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が12.8%となっています。

日中の過ごし方	n	家庭内で過ごしたい	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	家の仕事を手伝いたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	障害者の入所施設で過ごしたい	ボランティアなどをしてほしい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	その他	無回答
		全体	895	47.6%	12.8%	3.9%	3.5%	3.0%	2.9%	2.9%	2.7%	2.0%	1.6%	0.9%
幼稚園や保育所、学校等に通っている	31	3.2%	12.9%	0.0%	0.0%	3.2%	71.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%
収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	120	20.8%	56.7%	0.8%	0.8%	1.7%	0.8%	2.5%	2.5%	0.0%	0.8%	0.8%	5.0%	6.7%
無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	13	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	0.0%	23.1%	7.7%
障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	49	20.4%	6.1%	6.1%	0.0%	44.9%	2.0%	2.0%	8.2%	4.1%	0.0%	0.0%	2.0%	4.1%
高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	113	38.1%	3.5%	21.2%	8.0%	0.9%	0.0%	1.8%	2.7%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	21.2%
入所施設で過ごしている	40	17.5%	2.5%	2.5%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	2.5%	5.0%	15.0%
病院等（デイケア等）で過ごしている	37	54.1%	2.7%	8.1%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	8.1%	0.0%	18.9%
創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	28	46.4%	7.1%	7.1%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	25.0%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%
求職活動をしている	11	27.3%	45.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
家の仕事を手伝っている	79	46.8%	7.6%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	24.1%	2.5%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	10.1%
家で過ごしている	568	63.9%	5.8%	4.6%	1.9%	1.2%	0.4%	2.3%	3.0%	1.1%	1.4%	0.7%	2.6%	11.1%

■前回調査（R1）比較

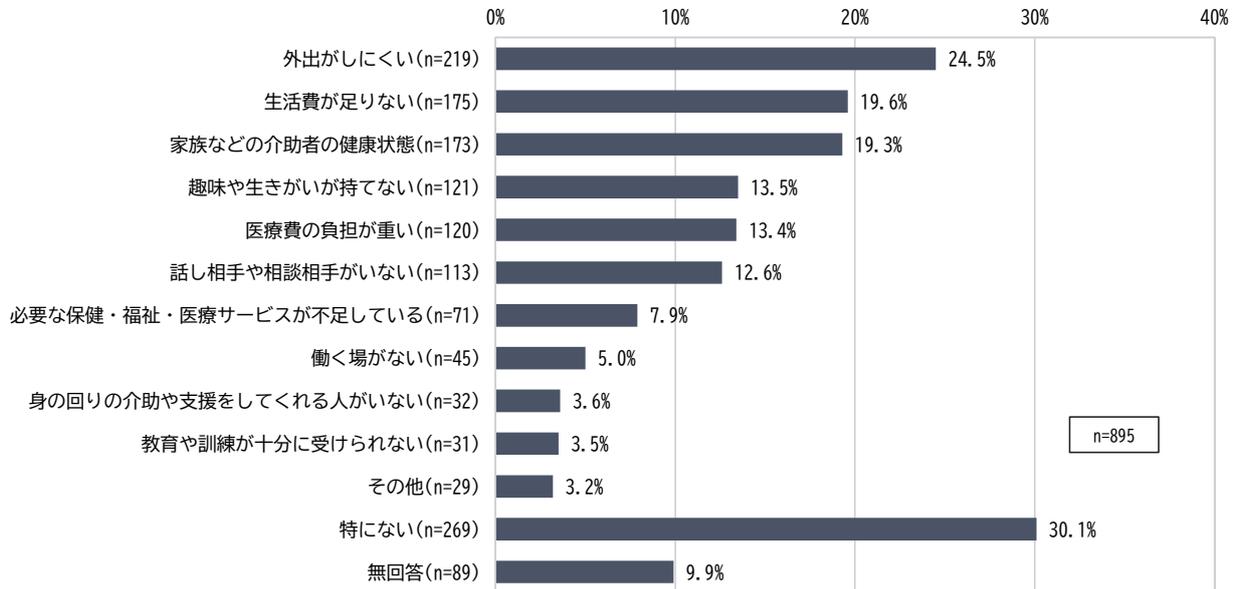
R1 調査（前回）		R4 調査（今回）	
家庭内で過ごしたい	51.6%	家庭内で過ごしたい	47.6%
自立した日常生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための必要な訓練を受けたい	12.5%	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	12.8%
一般企業などで働きたい	10.4%	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	3.9%
通所サービスを利用したい	10.1%	高齢者の入所施設で過ごしたい	3.5%
入所施設で過ごしたい	8.1%	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	3.0%

※今回（R4）調査と前回（R1）調査で、選択肢が異なる部分があります。

《相談や情報入手について》

問27 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「特にない」が30.1%と最も多く、次いで「外出がしにくい」が24.5%、「生活費が足りない」が19.6%となっています。



問28 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

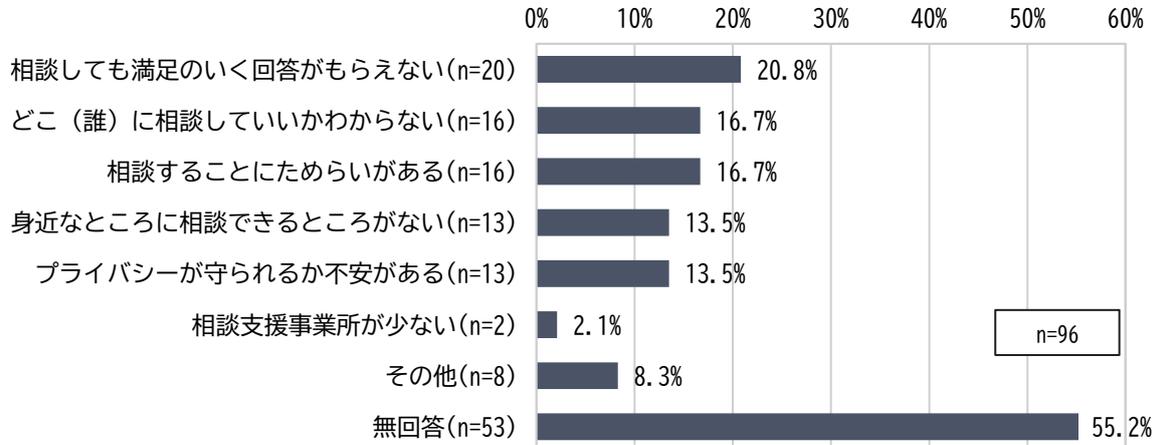
悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談するかについては、「家族や親せき」が65.4%と最も多く、次いで「近所の人、知人・友人」が18.2%となっています。

年齢	n	家族や親せき	近所の人、知人・友人	病院・医師・看護師	障害者施設や事業所の職員	相談支援事業所	職場の仲間	川越市障害者総合相談支援センター	身体障害者・知的障害者相談員	民生委員・児童委員	国・県・市などの相談窓口	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	社会福祉協議会	インターネット上のコミュニティ	ボランティア	障害者団体や家族会	医療的ケア児等コーディネーター	その他	相談したいが、できない	相談したいと思わない	無回答
		全体	895	65.4%	18.2%	17.1%	6.9%	3.6%	2.9%	2.6%	2.2%	2.2%	2.0%	1.3%	0.9%	0.9%	0.3%	0.3%	0.2%	3.4%	10.7%
10歳未満	23	65.2%	8.7%	30.4%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	13.0%
10～17歳	15	66.7%	13.3%	20.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	0.0%
18～19歳	3	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
20～29歳	19	78.9%	31.6%	15.8%	31.6%	15.8%	15.8%	21.1%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%
30～39歳	26	69.2%	30.8%	11.5%	3.8%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	11.5%	3.8%	3.8%
40～49歳	53	64.2%	15.1%	18.9%	20.8%	5.7%	1.9%	1.9%	9.4%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	22.6%	1.9%	5.7%
50～59歳	77	58.4%	26.0%	20.8%	11.7%	6.5%	11.7%	6.5%	3.9%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	16.9%	10.4%	2.6%
60～64歳	48	47.9%	16.7%	10.4%	2.1%	2.1%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	2.1%	16.7%	14.6%	4.2%
65歳以上	623	67.3%	17.2%	16.5%	5.0%	2.4%	1.1%	2.1%	1.0%	2.7%	2.2%	0.0%	0.8%	0.6%	0.5%	0.2%	0.2%	3.9%	8.5%	7.1%	10.9%

【問28で「18. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問29 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

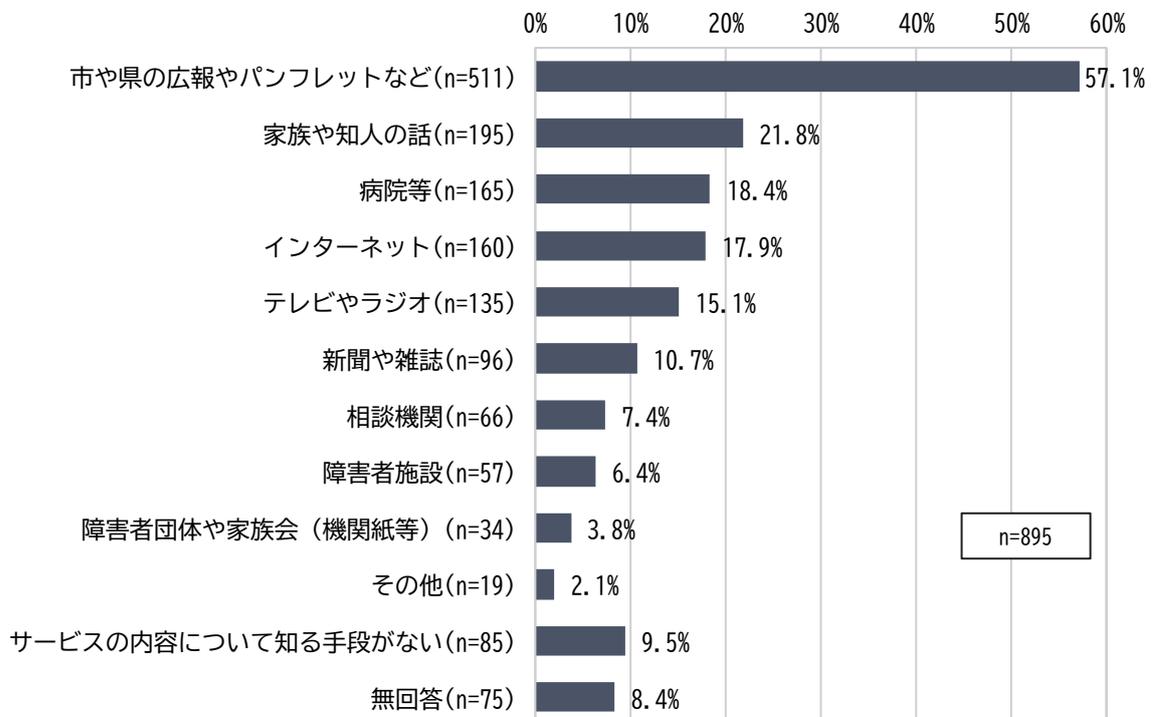
相談できない理由については、「相談しても満足いく回答がもらえない」が20.8%と最も多く、次いで「どこ（誰）に相談していいかわからない」、「相談することにためらいがある」がそれぞれ16.7%となっています。



【ここからは、全員にお聞きします】

問30 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が57.1%と最も多く、次いで「家族や知人の話」が21.8%となっています。



問31 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「特にない」が32.4%と最も多く、次いで「どこを調べればよいかわからない」が20.0%、「パソコンやスマートフォンなどの操作がわからない」が18.9%となっています。

主な障害	n	どこを調べればよいかわからない	パソコンやスマートフォンなどの操作がわからない	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	複雑な文章表現がわかりにくい	希望している福祉サービスについての情報がなく、内容がわかりにくい	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	案内表示がわかりにくい	相手の意思や情報を把握できない	相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	音声情報や点字など視覚障害に配慮した情報が少ない	文字情報やヒアリングループなど聴覚障害に配慮した情報が少ない	Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない	手話通訳者がいない	要約筆記者がいない	その他	特にない	無回答
		全体	895	20.0%	18.9%	18.5%	12.0%	11.8%	10.5%	8.6%	5.6%	4.1%	3.2%	2.8%	1.6%	1.6%	0.8%	2.8%
視覚障害	94	24.5%	22.3%	18.1%	13.8%	12.8%	13.8%	22.3%	8.5%	9.6%	23.4%	3.2%	6.4%	2.1%	2.1%	2.1%	17.0%	9.6%
聴覚障害	87	25.3%	13.8%	42.5%	16.1%	16.1%	16.1%	17.2%	9.2%	10.3%	10.3%	23.0%	3.4%	10.3%	4.6%	3.4%	10.3%	11.5%
平衡機能障害	31	35.5%	32.3%	35.5%	32.3%	16.1%	35.5%	12.9%	19.4%	16.1%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%	9.7%
音声・言語・そしゃく機能障害	62	19.4%	21.0%	30.6%	24.2%	9.7%	35.5%	8.1%	25.8%	9.7%	3.2%	3.2%	1.6%	1.6%	1.6%	6.5%	12.9%	16.1%
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳原性運動機能障害）	434	21.4%	18.7%	19.1%	12.2%	15.2%	12.0%	6.0%	6.9%	3.9%	0.7%	0.9%	0.2%	0.5%	0.2%	3.5%	30.9%	15.9%
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害）	363	18.5%	20.7%	14.9%	11.0%	9.4%	6.3%	8.5%	3.9%	1.4%	1.7%	0.8%	1.4%	1.4%	0.6%	1.9%	39.7%	10.5%

《福祉サービスについて》

問32 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。
サービス等を利用していない場合は、問33へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が58人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が86.0%となっています。次いで「短期入所（ショートステイ）」が34人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が69.7%となっています。

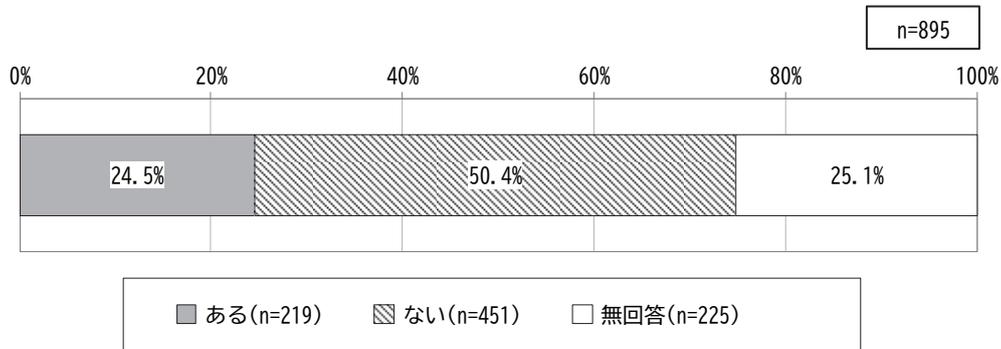
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
居宅介護（ホームヘルプサービス）	58	86.0%	10.5%	3.5%
短期入所（ショートステイ）	34	69.7%	27.3%	3.0%
生活介護	27	80.8%	15.4%	3.8%
自立訓練（機能訓練）	14	76.9%	15.4%	7.7%
同行援護	12	90.9%	9.1%	0.0%
施設入所支援	12	91.7%	8.3%	0.0%
計画相談支援	12	91.7%	0.0%	8.3%
放課後等デイサービス	12	66.7%	16.7%	16.7%
自立訓練（生活訓練）	10	77.8%	22.2%	0.0%
療養介護	7	100.0%	0.0%	0.0%
重度障害者等包括支援	6	100.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援A型	6	75.0%	25.0%	0.0%
行動援護	5	50.0%	50.0%	0.0%
就労継続支援B型	5	60.0%	20.0%	20.0%
児童発達支援	5	60.0%	20.0%	20.0%
障害児入所支援(医療型)	5	100.0%	0.0%	0.0%
自立生活援助	4	50.0%	50.0%	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	4	66.7%	33.3%	0.0%
重度訪問介護	3	100.0%	0.0%	0.0%
就労定着支援	3	66.7%	33.3%	0.0%
障害児相談支援	3	100.0%	0.0%	0.0%
就労移行支援	2	0.0%	0.0%	100.0%
地域定着支援	2	100.0%	0.0%	0.0%
居宅訪問型児童発達支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
障害児入所支援(福祉型)	0	-	-	-

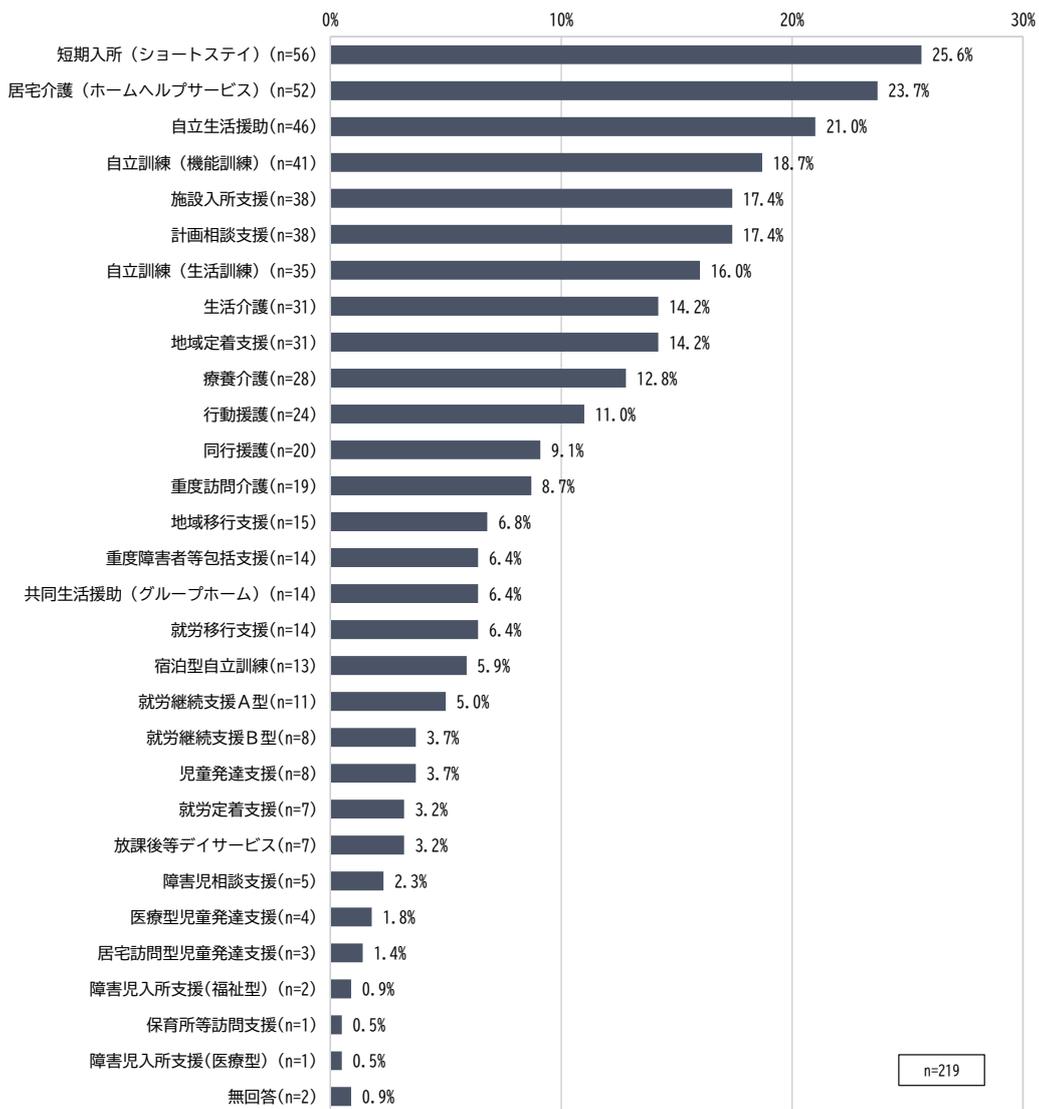
問33 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が24.5%、「ない」が50.4%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が25.6%と最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が23.7%となっています。

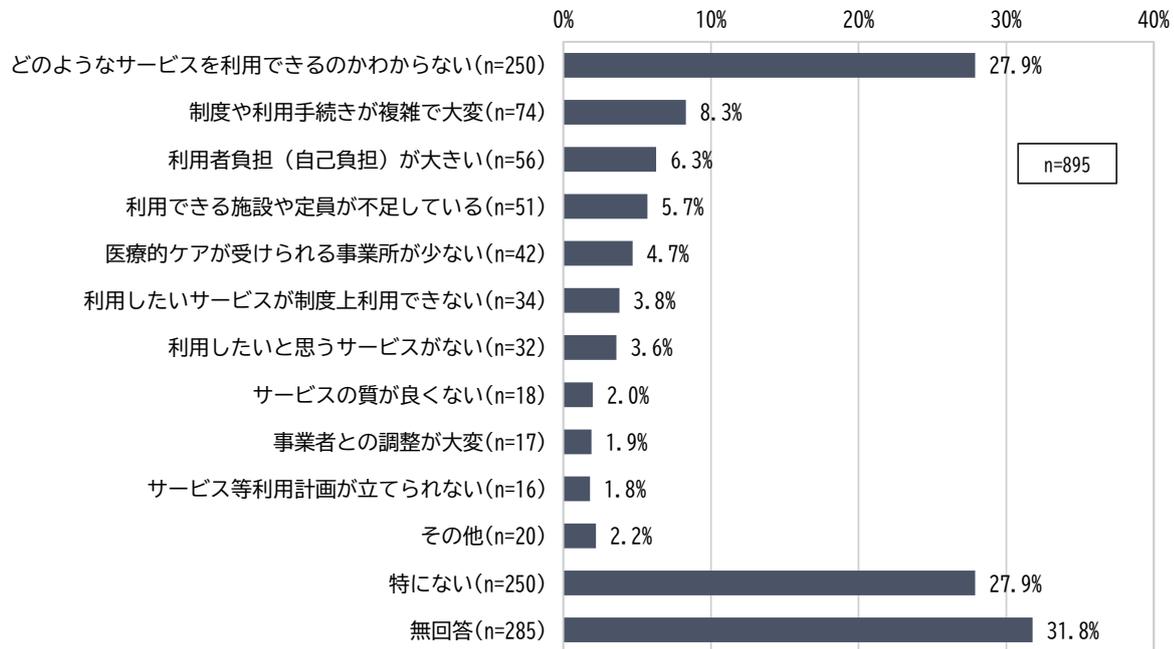


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



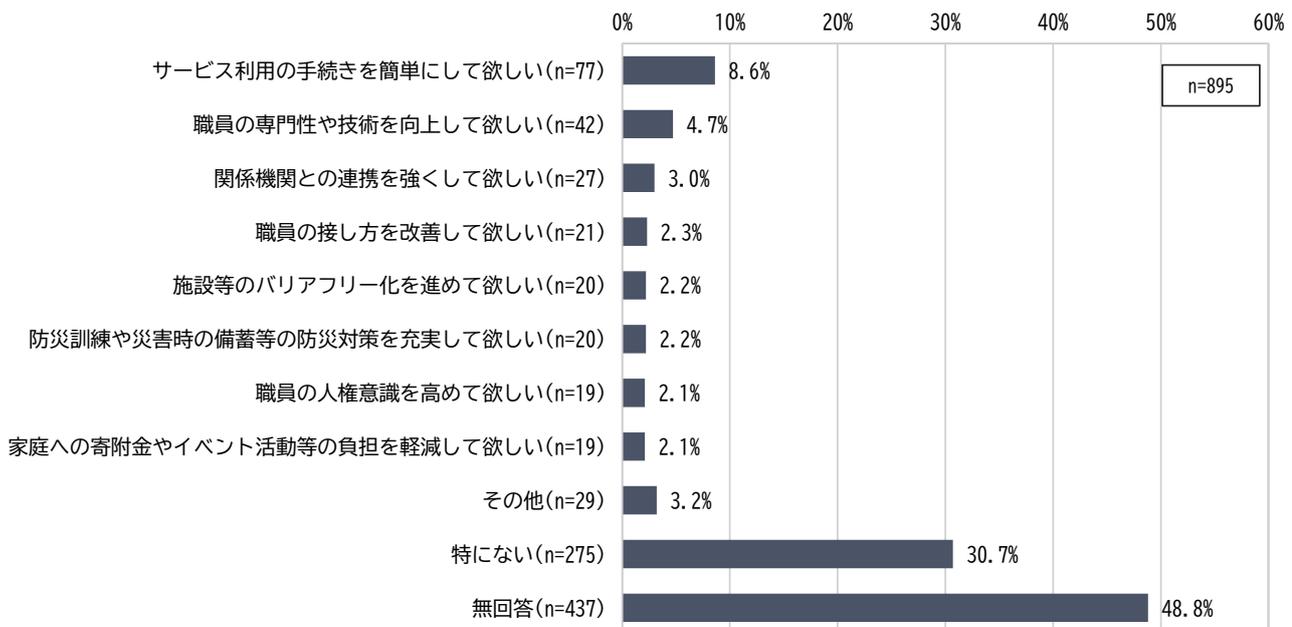
問34 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」、「特にない」がそれぞれ 27.9%と最も多く、次いで「制度や利用手続きが複雑で大変」が 8.3%となっています。



問35 障害（児）福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

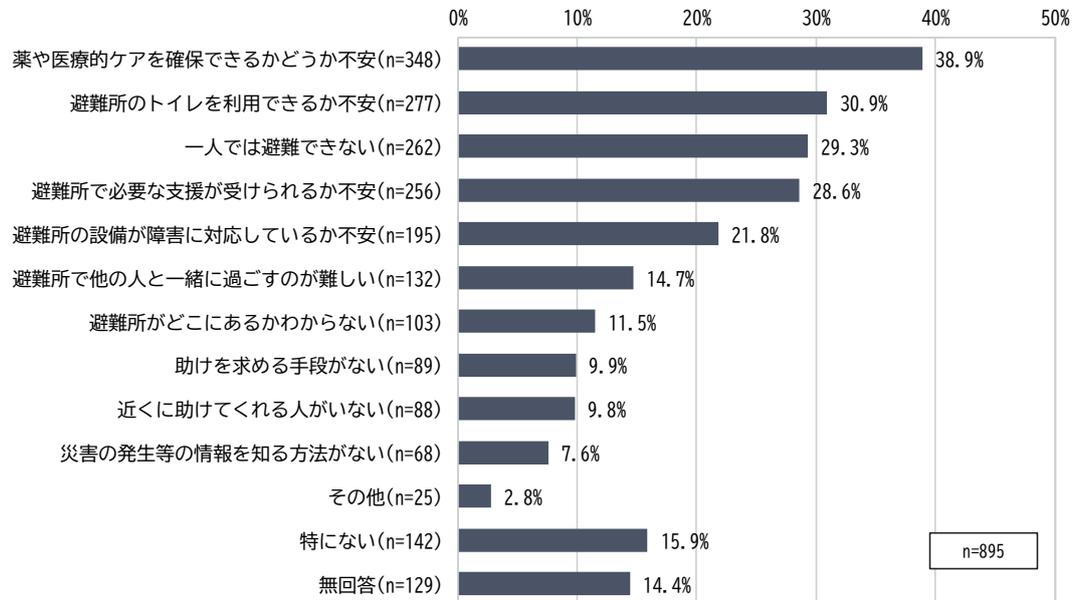
障害（児）福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が 30.7%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にしたい」が 8.6%、「職員の専門性や技術を向上して欲しい」が 4.7%となっています。



《災害時の支援等について》

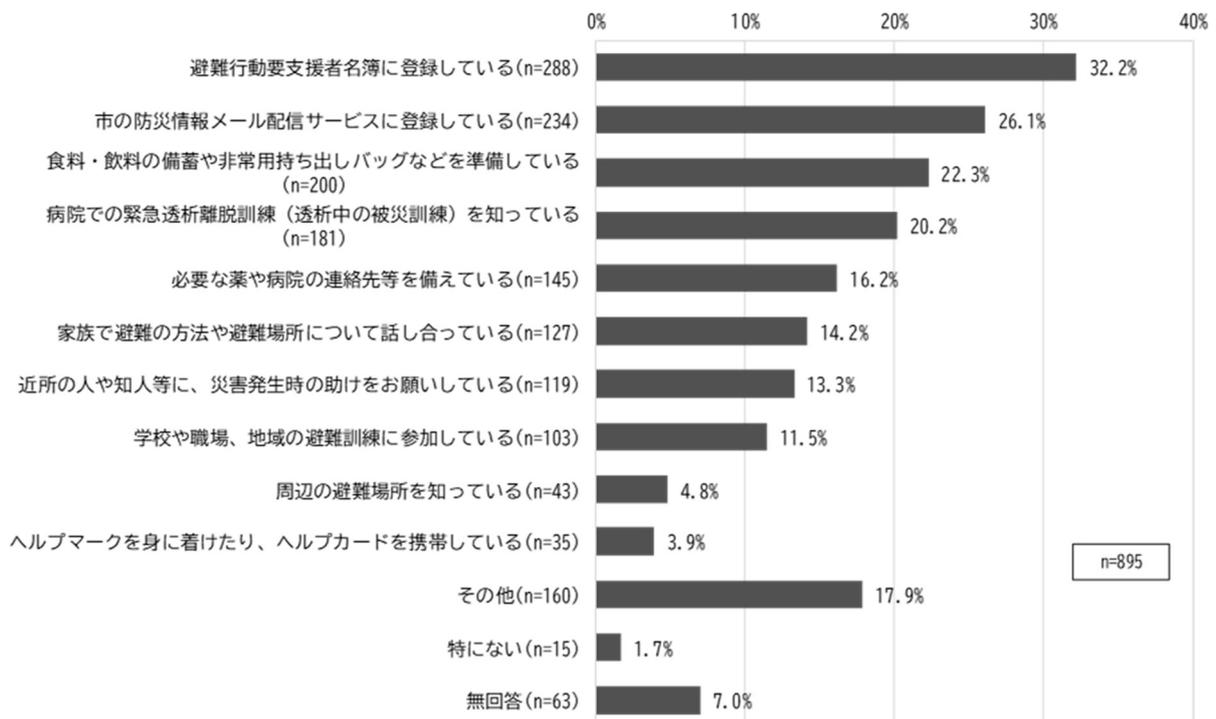
問36 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が38.9%と最も多く、次いで「避難所のトイレを利用できるか不安」が30.9%となっています。



問37 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「避難行動要支援者名簿に登録している」が32.2%と最も多く、次いで「市の防災情報メール配信サービスに登録している」が26.1%となっています。



問38 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

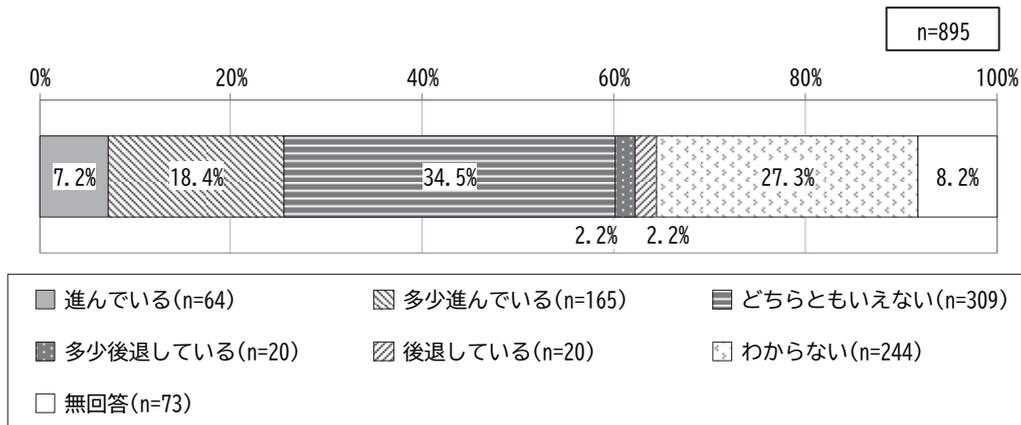
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「必要な医療的ケアを受けられる」が32.2%と最も多く、次いで「避難所の設備（トイレ等）を充実させる」が26.1%となっています。

主な障害	n	必要な医療的ケアを受けられる	避難所の設備（トイレ等）を充実させる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	避難を手助けしてくれる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	避難所でプライバシーが守られる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	救助や避難時に声をかけてくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	その他	特にない	無回答
全体	895	32.2%	26.1%	22.3%	20.2%	17.9%	16.2%	14.2%	13.3%	11.5%	4.8%	3.9%	1.7%	7.0%	17.8%
視覚障害	94	29.8%	21.3%	19.1%	27.7%	22.3%	8.5%	13.8%	10.6%	12.8%	5.3%	3.2%	2.1%	6.4%	18.1%
聴覚障害	87	29.9%	20.7%	17.2%	14.9%	19.5%	14.9%	25.3%	23.0%	18.4%	5.7%	11.5%	1.1%	2.3%	18.4%
平衡機能障害	31	19.4%	48.4%	25.8%	41.9%	25.8%	12.9%	12.9%	9.7%	6.5%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%	22.6%
音声・言語・そしゃく機能障害	62	30.6%	27.4%	17.7%	17.7%	19.4%	11.3%	27.4%	8.1%	8.1%	9.7%	8.1%	3.2%	8.1%	21.0%
肢体不自由（上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害）	434	24.9%	29.5%	25.6%	26.0%	22.1%	15.0%	12.2%	10.6%	10.6%	6.9%	2.5%	2.8%	6.0%	18.2%
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害）	363	43.5%	24.5%	21.5%	12.7%	14.9%	16.5%	15.7%	15.2%	10.2%	4.4%	2.8%	0.8%	8.0%	17.4%

《障害者への理解や権利擁護について》

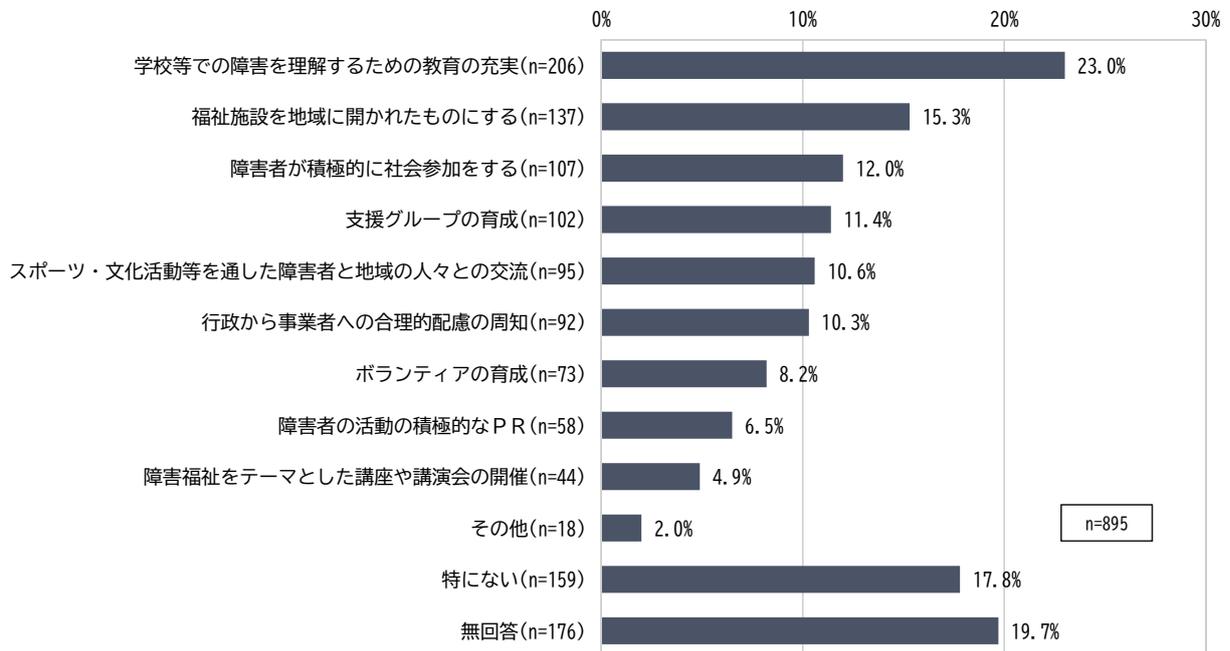
問39 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(〇は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が34.5%と最も多く、「わからない」が27.3%となっています。



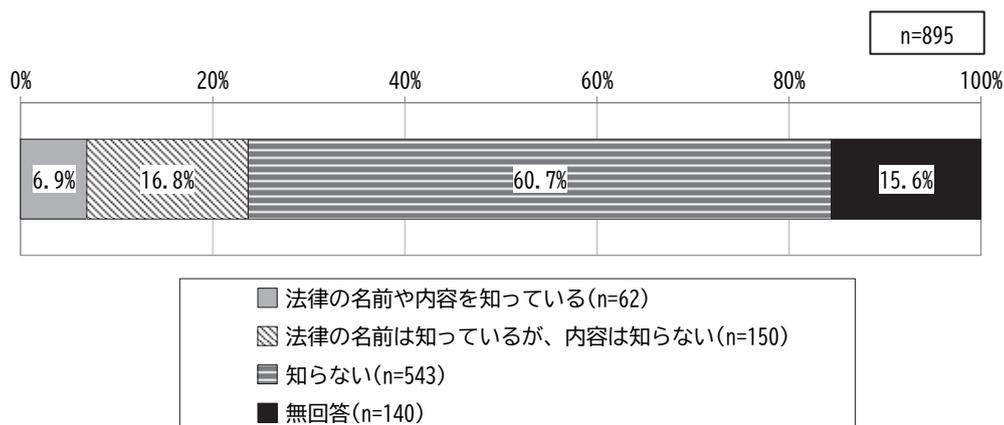
問40 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が23.0%と最も多く、次いで「特にない」が17.8%、「福祉施設を地域に開かれたものにする」が15.3%となっています。



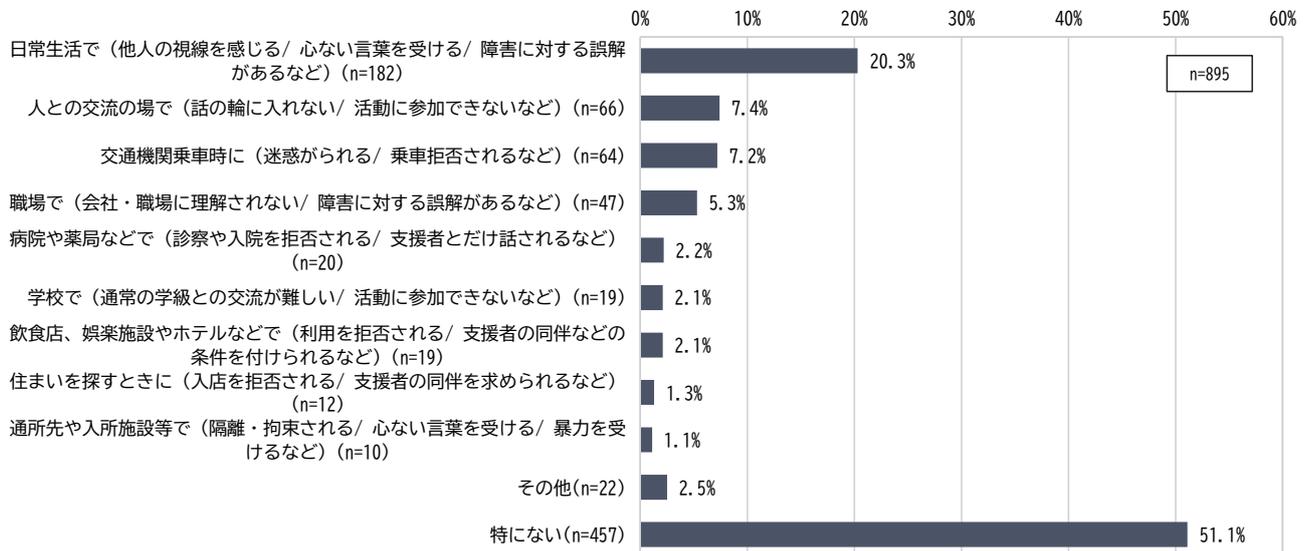
問41 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が60.7%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が16.8%となっています。



問42 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「特にない」が51.1%と最も多く、次いで「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」が20.3%、「人との交流の場で（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）」が7.4%となっています。

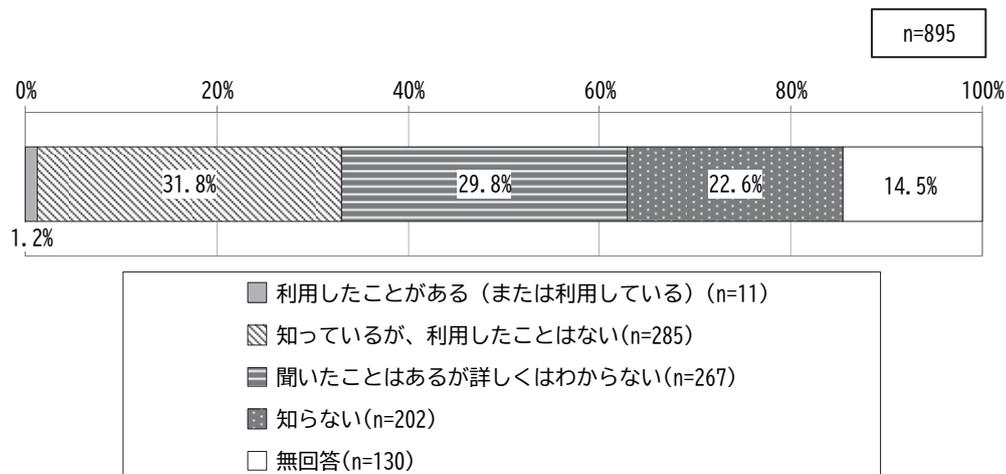


問43 経験したり、見聞きしたことのある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があったことがあったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問44 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

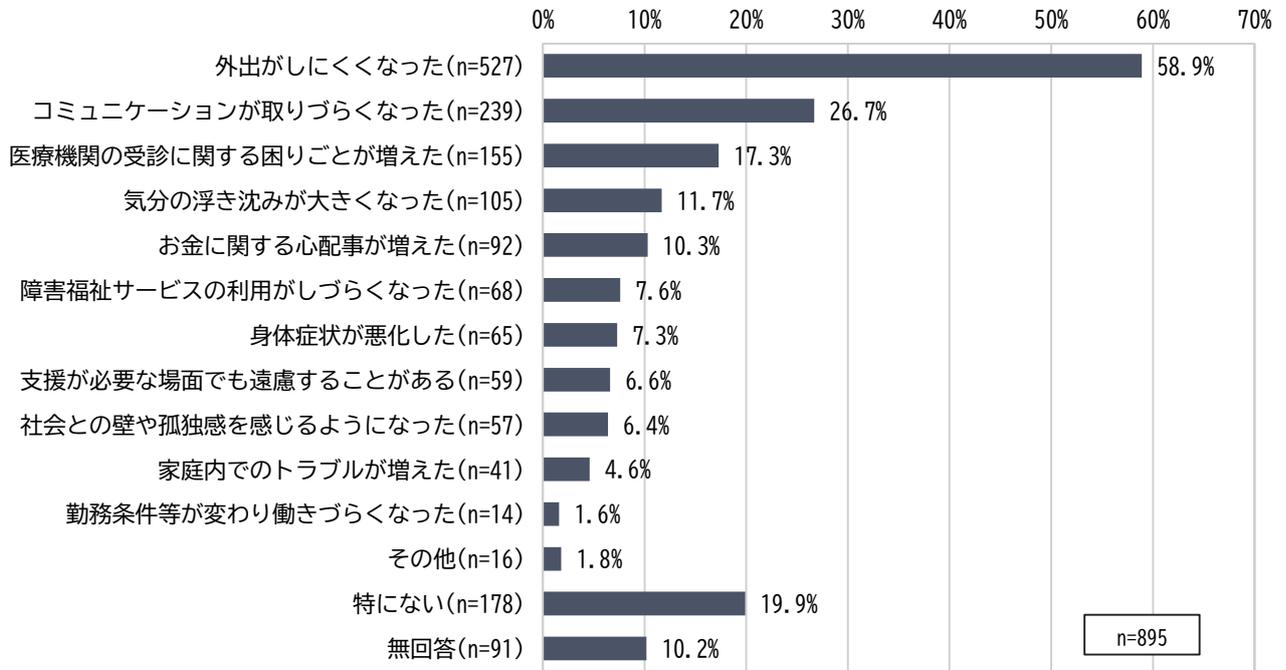
「成年後見制度」については、「知っているが、利用したことはない」が31.8%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が29.8%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

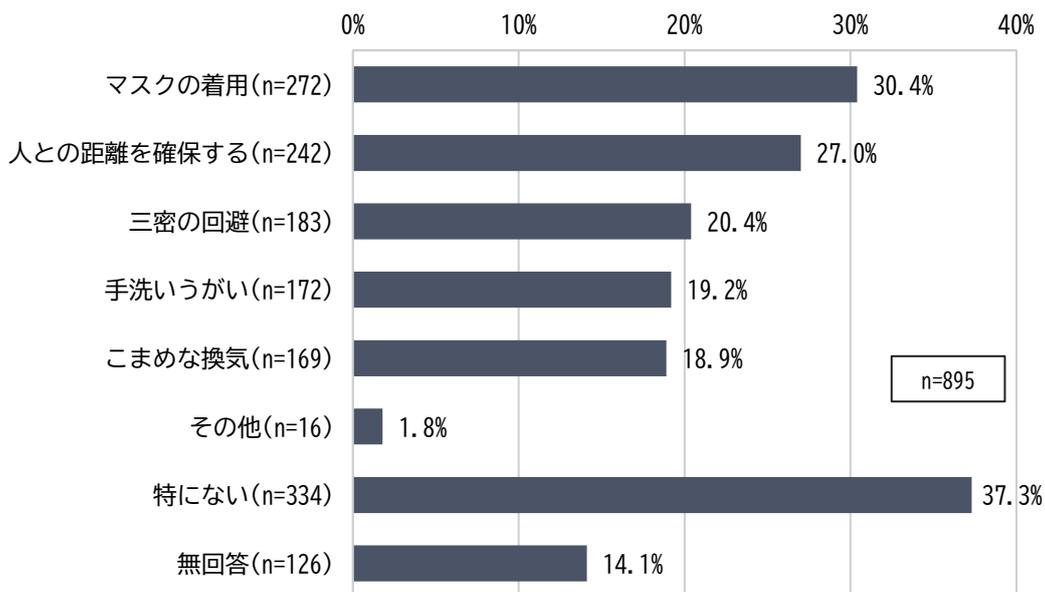
問45 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が58.9%と最も多く、次いで「コミュニケーションが取りづらくなった」が26.7%となっています。



問46 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

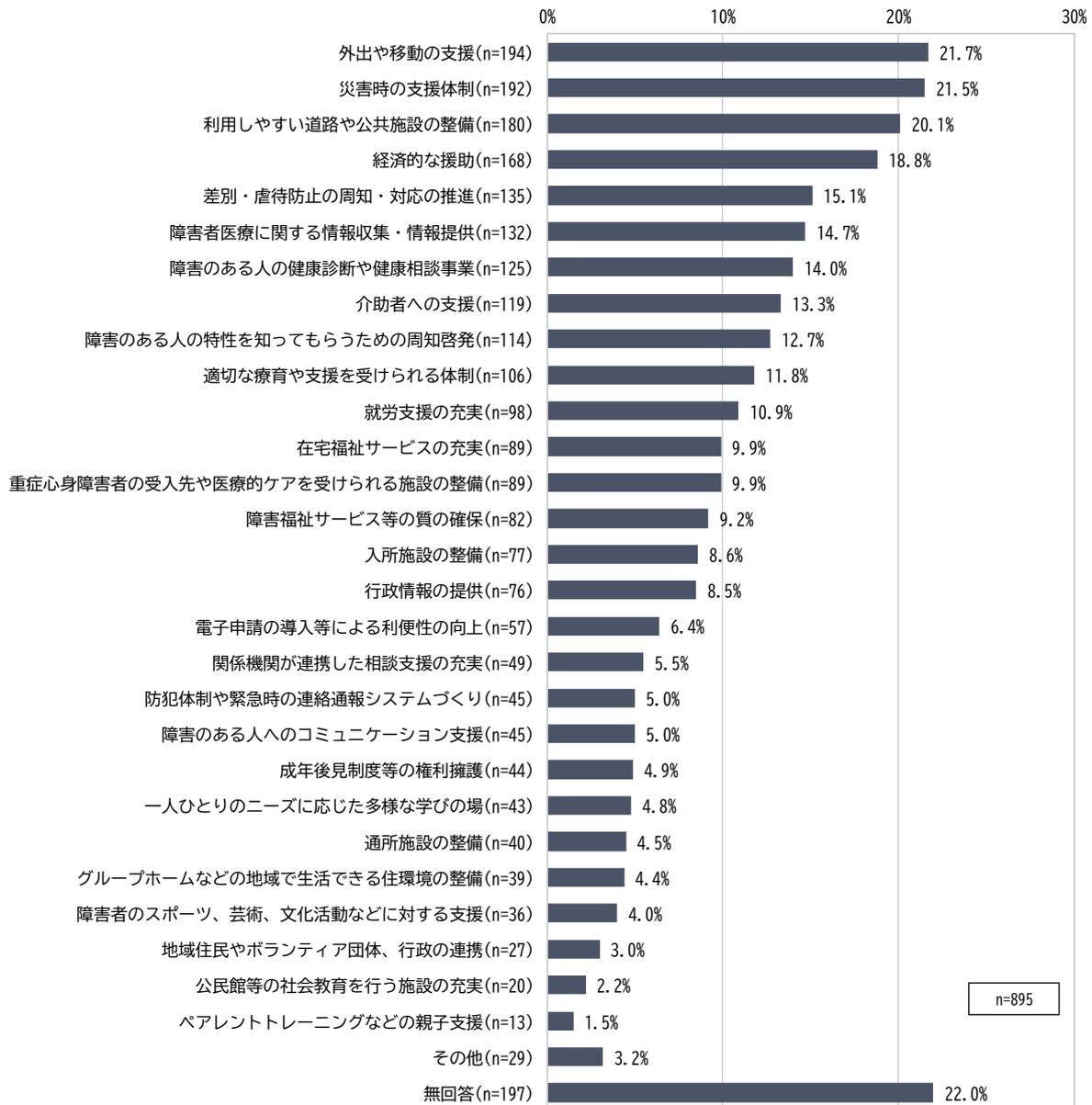
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「特にない」が37.3%と最も多く、次いで「マスクの着用」が30.4%、「人との距離を確保する」が27.0%となっています。



《市の取り組み等について》

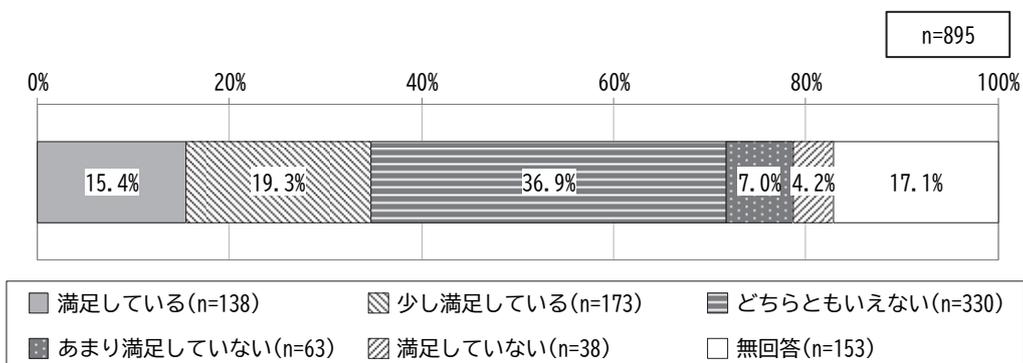
問47 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「外出や移動の支援」が21.7%と最も多く、次いで「災害時の支援体制」が21.5%となっています。



問48 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が15.4%、「少し満足している」が19.3%となっています。また、「あまり満足していない」が7.0%、「満足していない」が4.2%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

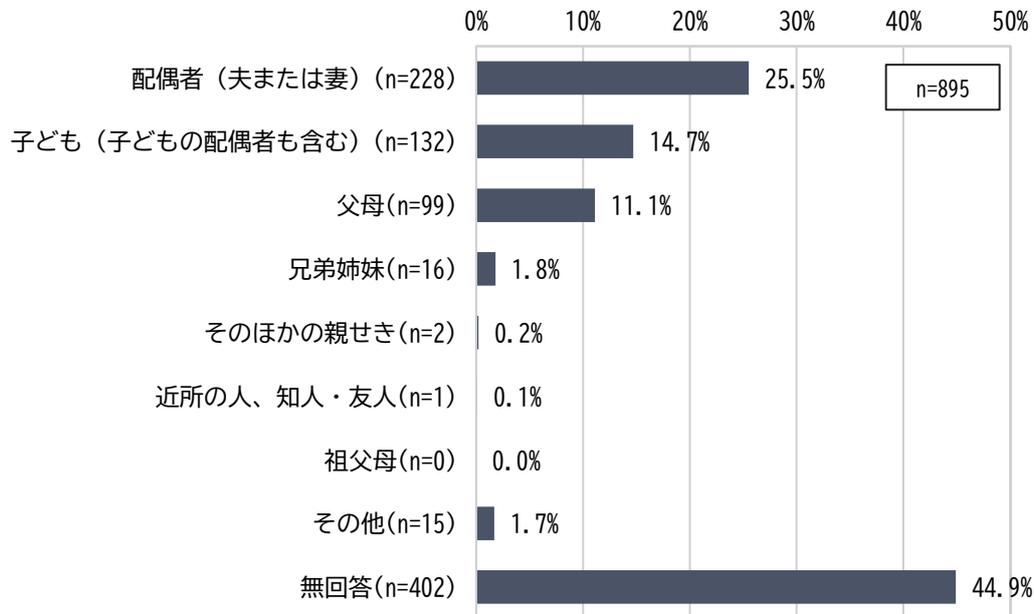
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

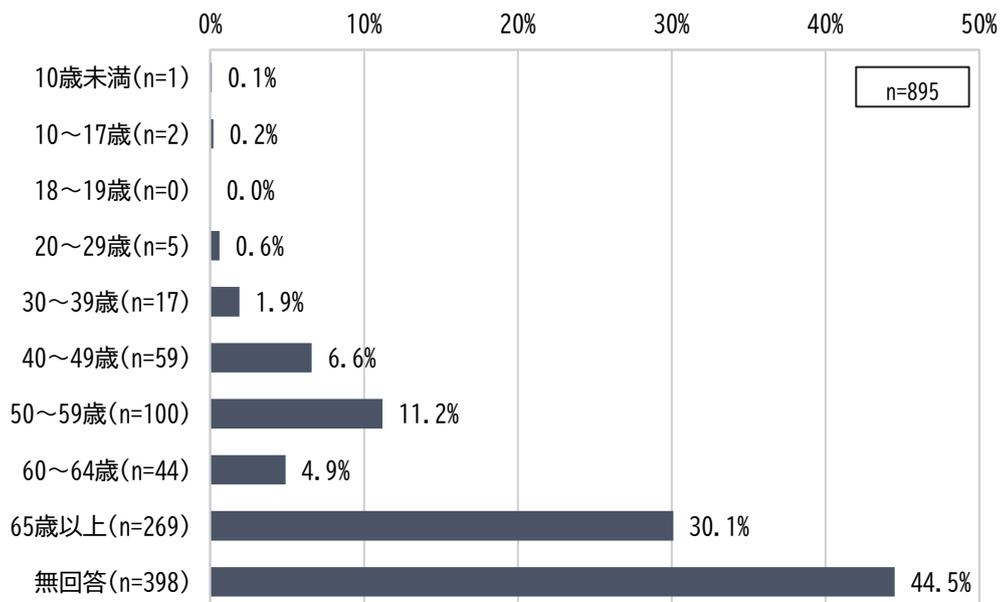
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「配偶者（夫または妻）」が25.5%と最も多く、次いで「子ども（子どもの配偶者も含む）」が14.7%となっています。



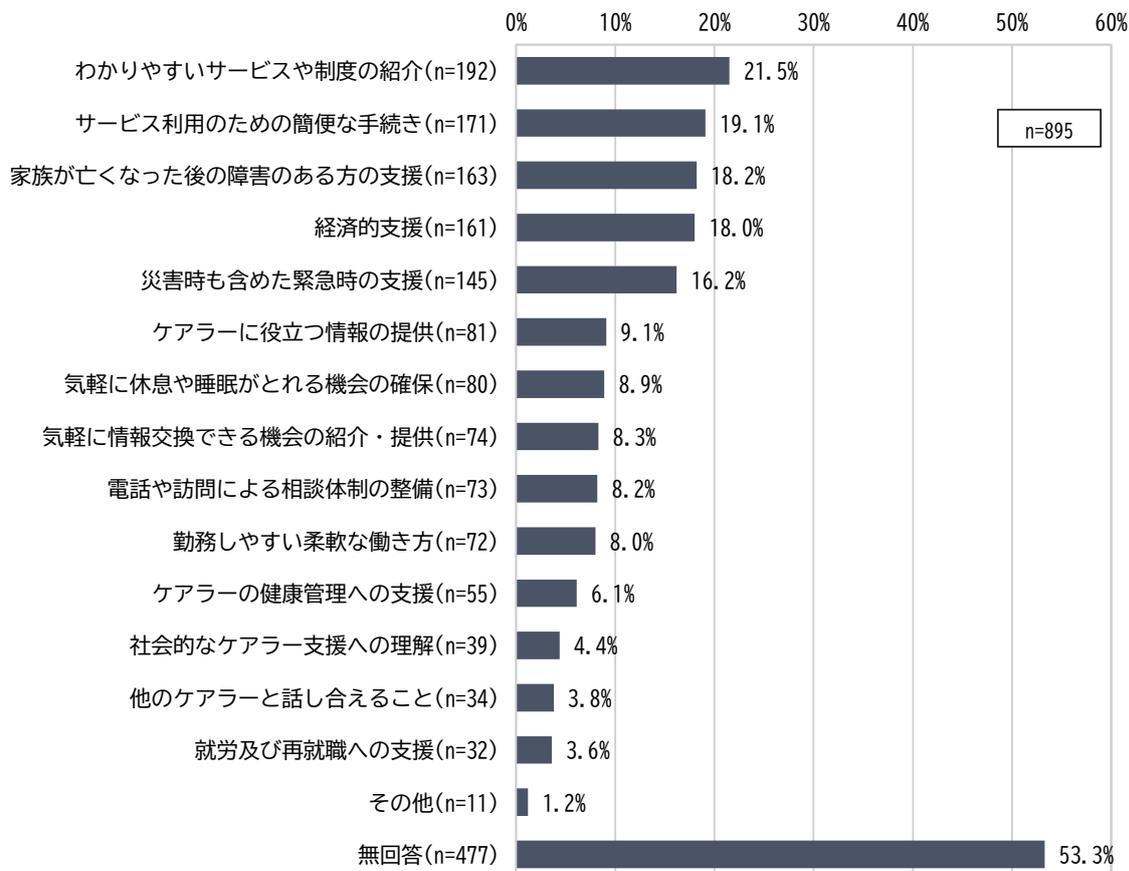
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が30.1%と最も多く、次いで「50～59歳」が11.2%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「わかりやすいサービスや制度の紹介」が21.5%と最も多く、次いで「サービス利用のための簡便な手続き」が19.1%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

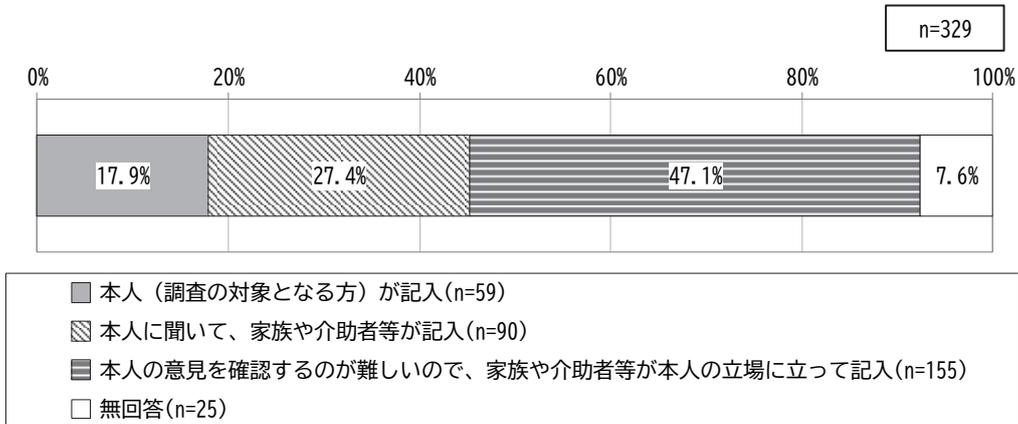
[自由記述編を参照]

調查結果 2. 知的障害者

《記入者・ご本人について》

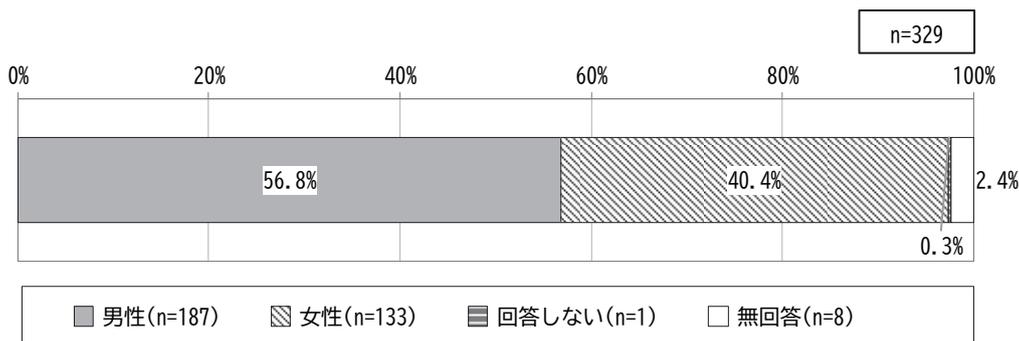
この調査票に記入する方はどなたですか。(○は1つ)

調査票に記入された方については、「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が47.1%と最も多く、次いで「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が27.4%となっています。



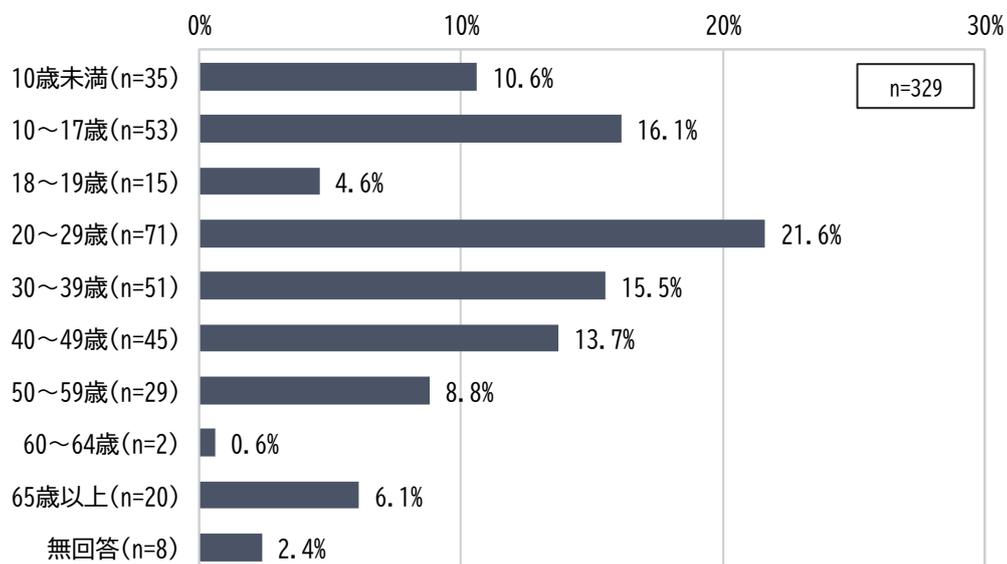
あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が56.8%、「女性」が40.4%となっています。



あなたの年齢 (令和4年9月1日現在) を記入してください。(○は1つ)

年齢については、「20～29歳」が21.6%と最も多く、次いで「10～17歳」が16.1%となっています。



現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

暮らしている場所については、「本人または家族の持ち家」が78.7%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.7%となっています。

n=329	本人または家族の持ち家 (n=259)	民間の賃貸住宅 (n=32)	障害者の入所施設 (n=9)	公営の賃貸住宅 (n=6)	障害者グループホーム (n=5)	高齢者施設(特養等) (n=4)	病院に入院中 (n=4)	その他 (n=5)	無回答 (n=5)
	78.7%	9.7%	2.7%	1.8%	1.5%	1.2%	1.2%	1.5%	1.5%

現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている人については、「父母」が78.7%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が44.1%となっています。

年齢	n	父母	兄弟姉妹	祖父母	同居障害者グループホーム・施設等の 障害者グループホーム・施設等の 同居人	配偶者(夫または妻)	子ども(子どもの配偶者も含む)	一人暮らし	その他の親せき	その他	無回答
		全体	329	78.7%	44.1%	6.7%	5.5%	4.9%	4.0%	2.1%	1.5%
10歳未満	35	88.6%	71.4%	8.6%	0.0%	2.9%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～17歳	53	94.3%	66.0%	13.2%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
18～19歳	15	93.3%	60.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
20～29歳	71	90.1%	50.7%	5.6%	4.2%	1.4%	4.2%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%
30～39歳	51	82.4%	29.4%	11.8%	5.9%	7.8%	3.9%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%
40～49歳	45	82.2%	22.2%	0.0%	6.7%	4.4%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%
50～59歳	29	58.6%	27.6%	0.0%	13.8%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%	3.4%	3.4%
60～64歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	20	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	25.0%	20.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%

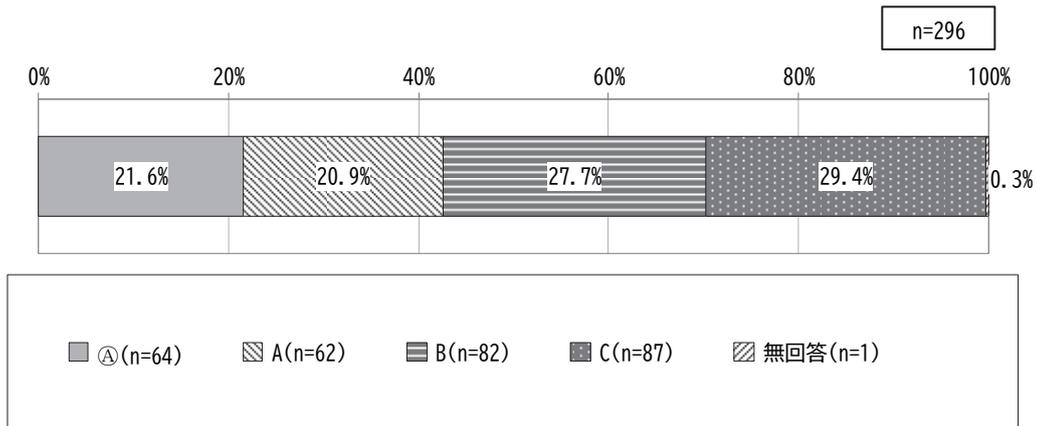
《障害の状況について》

問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

障害種別で「知的障害」と選択した方は、329人となっています。

問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

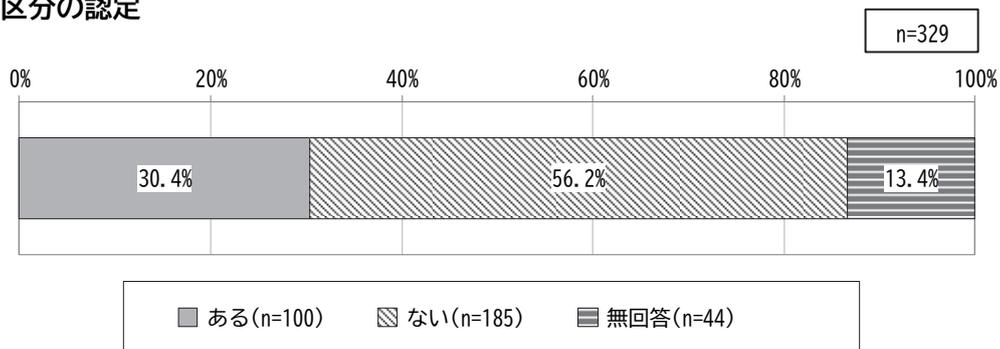
「療育手帳を持っている」と回答した方のうち、手帳に記載された障害の程度は、「C」が29.4%と最も多く、次いで「B」が27.7%となっています。



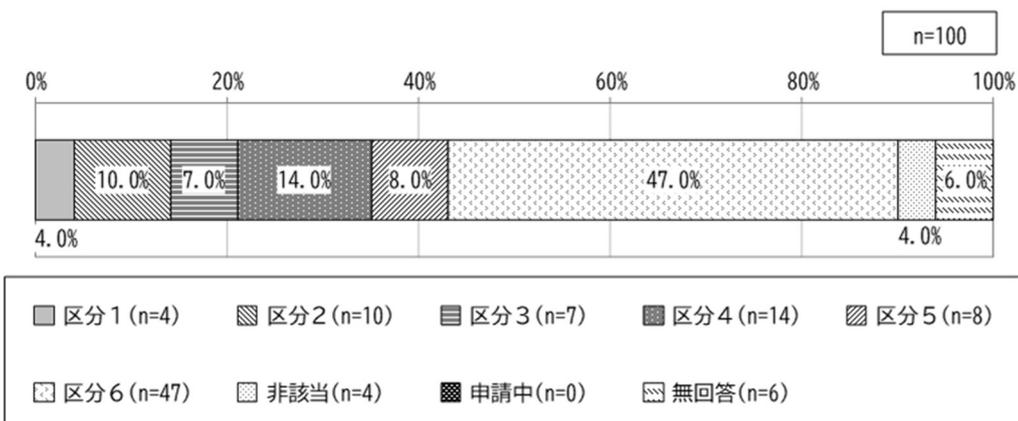
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が30.4%となっています。また、障害支援区分では「区分6」が47.0%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助者等については、「父母」が67.8%と最も多く、次いで「特に介助等は受けていない」が10.9%、「兄弟姉妹」が2.7%となっています。

年齢	n	父母	兄弟姉妹	配偶者(夫または妻)	ホームヘルパー	子ども(子どもの配偶者も含む)	祖父母	その他の親せき	近所の人、知人・友人	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		全体	329	67.8%	2.7%	2.1%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	4.6%
10歳未満	35	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
10～17歳	53	83.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	9.4%	5.7%
18～19歳	15	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20～29歳	71	70.4%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	14.1%	9.9%
30～39歳	51	62.7%	2.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	9.8%	15.7%
40～49歳	45	75.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	4.4%	11.1%
50～59歳	29	44.8%	6.9%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	17.2%	13.8%
60～64歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
65歳以上	20	5.0%	15.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	25.0%

【問4で1～10に○をつけた方にお聞きします】

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときに介助等を受けているかについては、「書類等の手続きのとき」が86.1%と最も多く、次いで「お金の管理をするとき」が79.9%となっています。

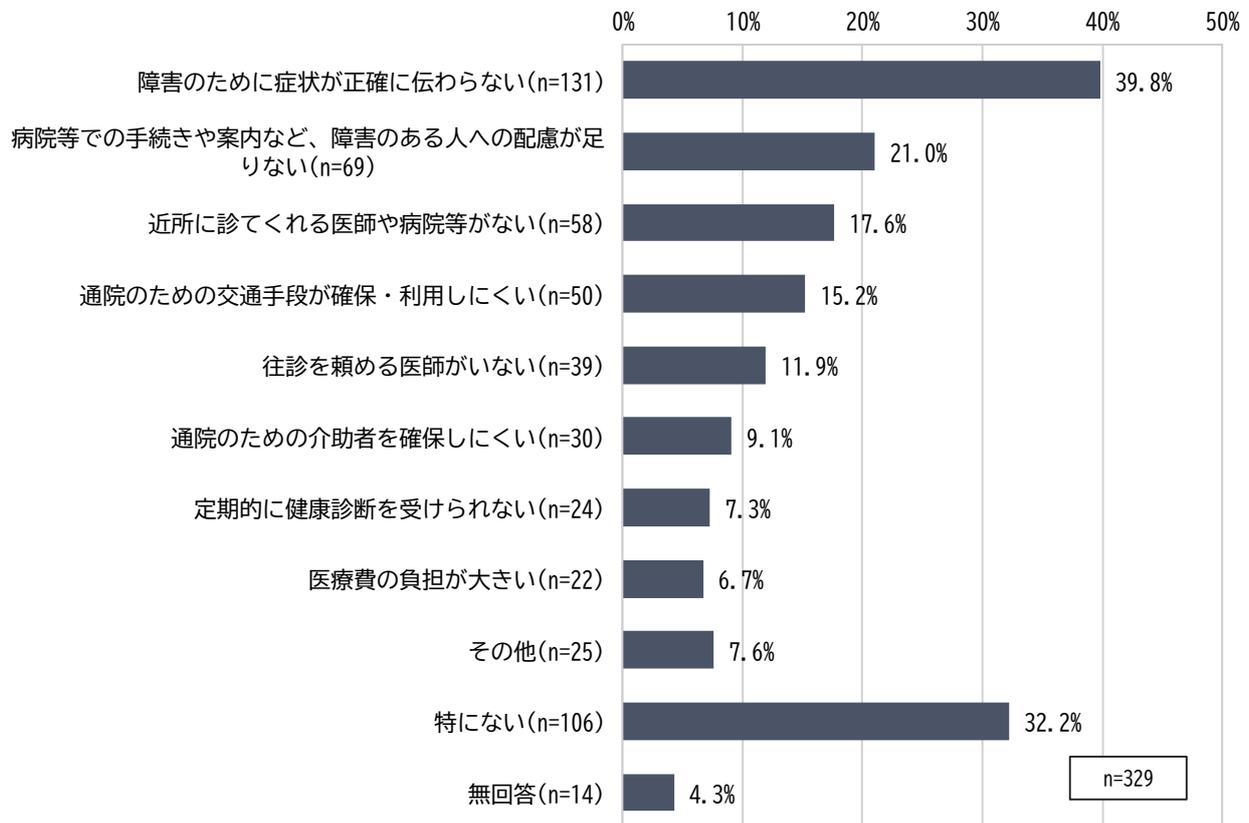
	n	書類等の手続きのとき	お金の管理をするとき	通院するとき	外出するとき	服薬のとき	見守りが必要な状態のとき	洗濯、掃除をするとき	人とコミュニケーションをとるとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	家の中を移動するとき	医療的ケア(経管栄養、痰の吸引等)の対応のとき	その他	無回答
		全体	259	86.1%	79.9%	75.3%	66.4%	58.7%	57.1%	54.8%	54.1%	50.2%	14.7%	12.0%

《健康状態や医療について》

【ここからは、全員にお聞きします】

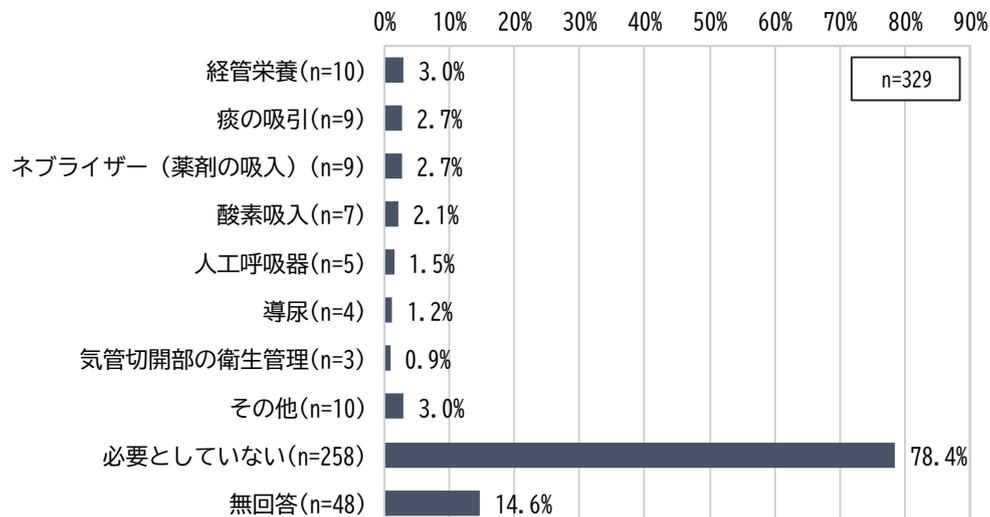
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「障害のために症状が正確に伝わらない」が39.8%と最も多く、次いで「特にない」が32.2%、「病院等での手続きや案内など、障害のある人への配慮が足りない」が21.0%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

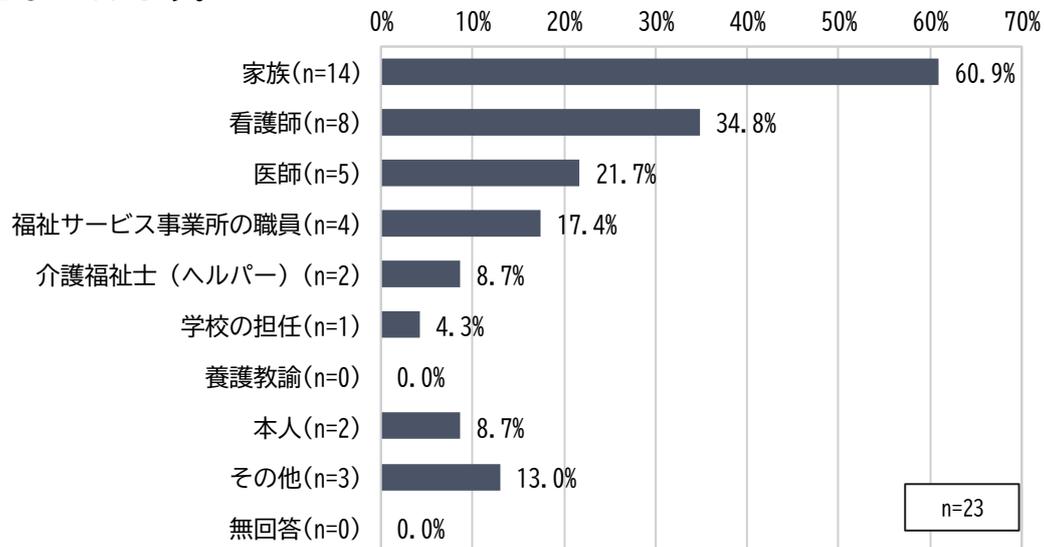
医療的ケアを必要としている方については、「経管栄養」と「その他」がそれぞれ3.0%と最も多く、次いで「痰の吸引」、「ネブライザー（薬剤の吸入）」がそれぞれ2.7%となっています。



〔問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします〕

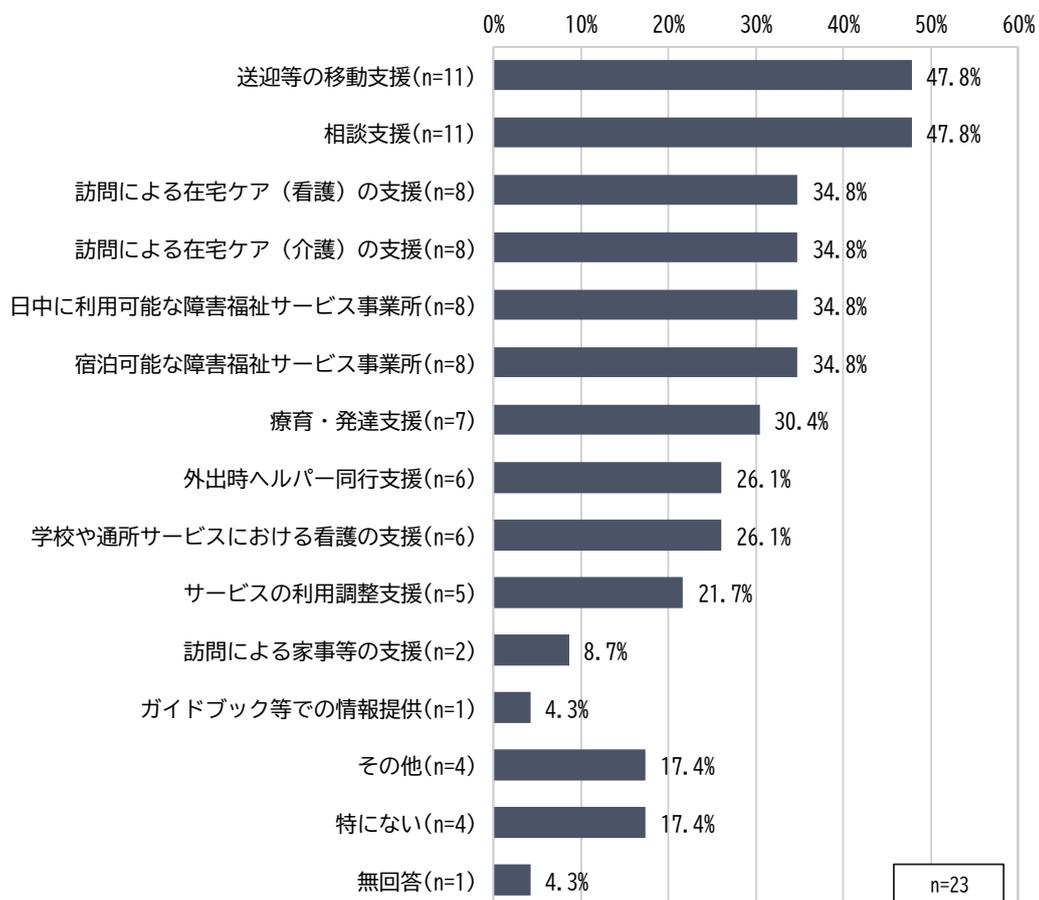
問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が60.9%と最も多く、次いで「看護師」が34.8%となっています。



問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方のうち、日常生活を送る上で必要な支援については、「送迎等の移動支援」、「相談支援」がそれぞれ47.8%と最も多くなっています。

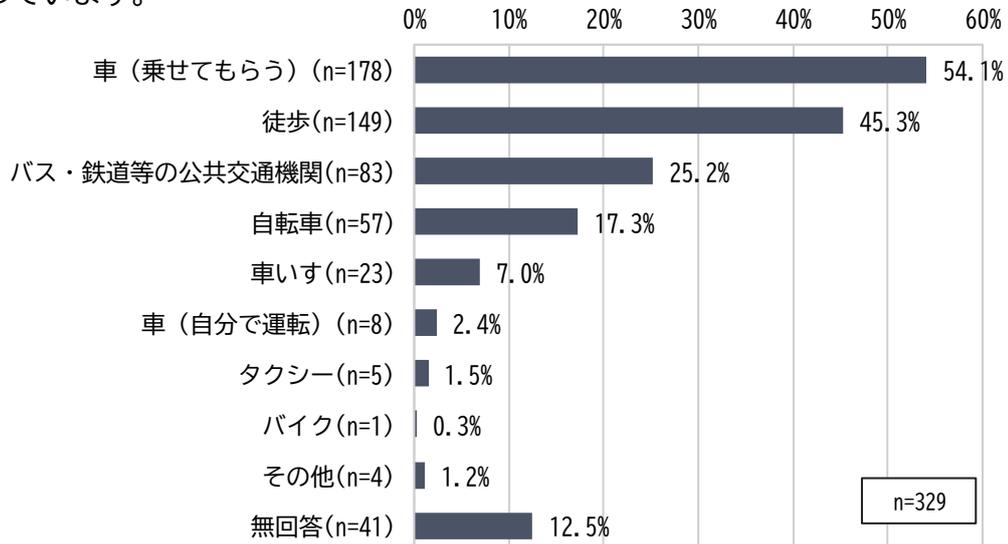


《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

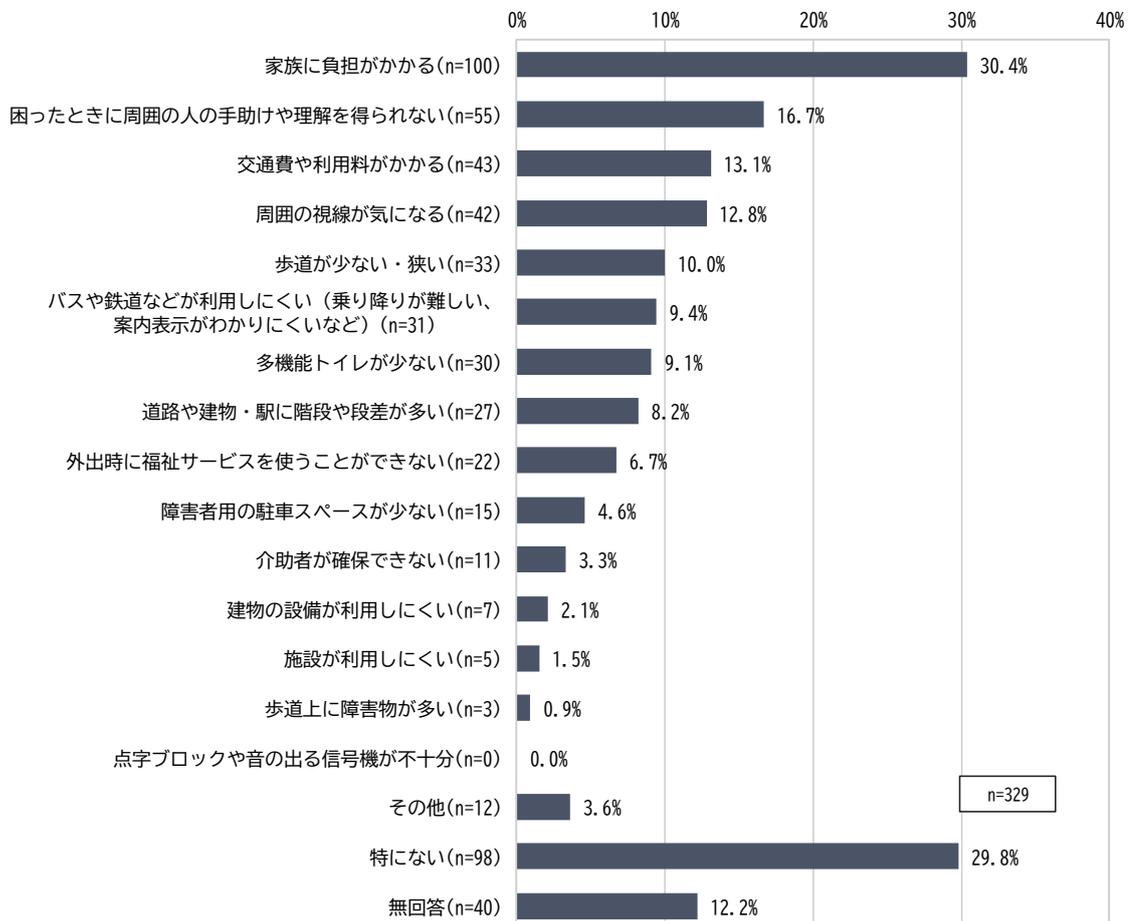
問10 外出の主な手段は何ですか。(〇は2つまで)

外出の主な手段については、「車（乗せてもらう）」が54.1%と最も多く、次いで「徒歩」が45.3%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「家族に負担がかかる」が30.4%と最も多く、次いで「特にない」が29.8%、「困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない」が16.7%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

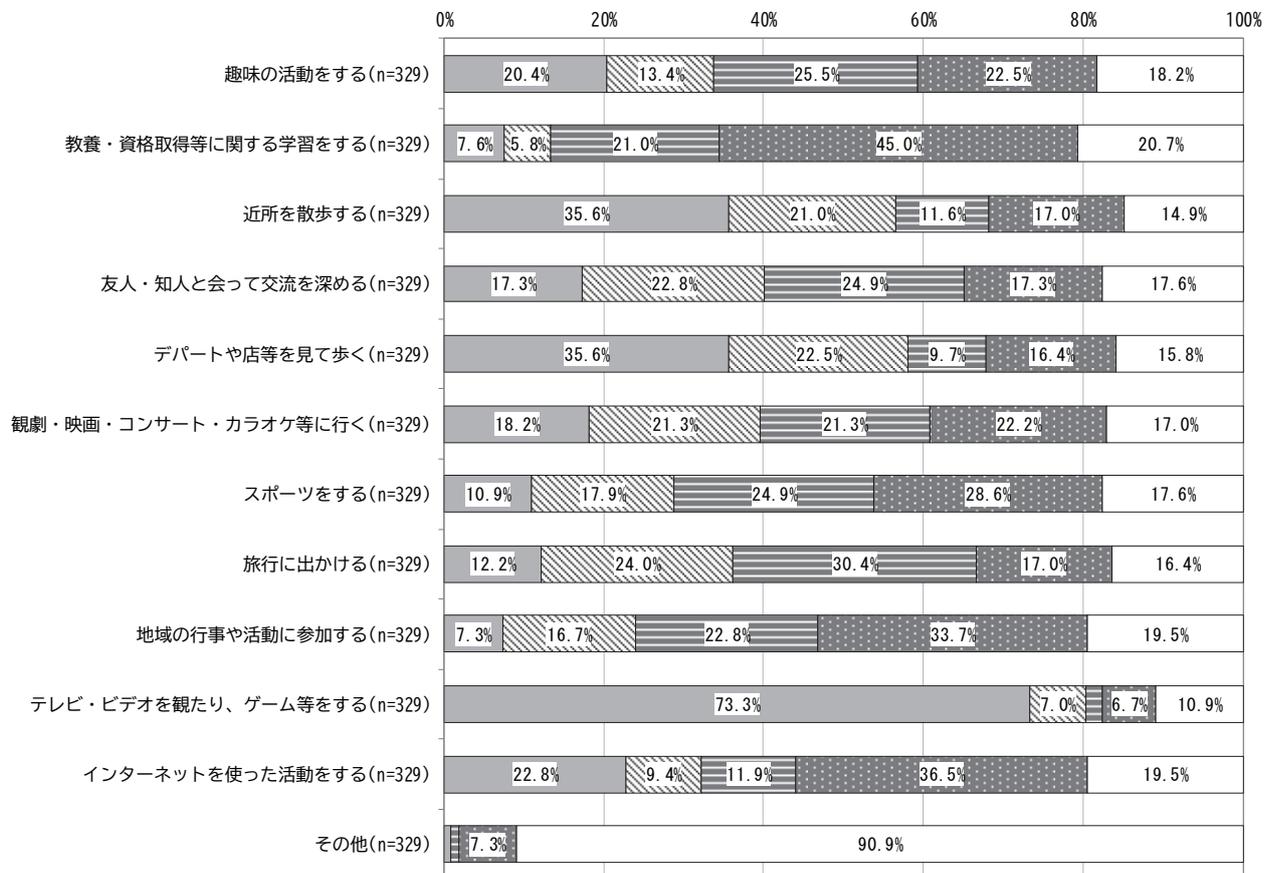
R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
特に困っていることはない	35.1%	家族に負担がかかる	30.4%
困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	16.7%	特になし	29.8%
周囲の視線が気になる/家族に負担がかかる	15.9%	困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	16.7%
自動車や自転車がなくて危険を感じる	15.5%	交通費や利用料がかかる	13.1%
道路や建物・駅に階段や段差が多い/歩道が整備されていない/発作などの突然の体調や気分の変化が心配	13.0%	周囲の視線が気になる	12.8%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が73.3%と最も多く、次いで「近所を散歩する」、「デパートや店等を見て歩く」が35.6%となっています。

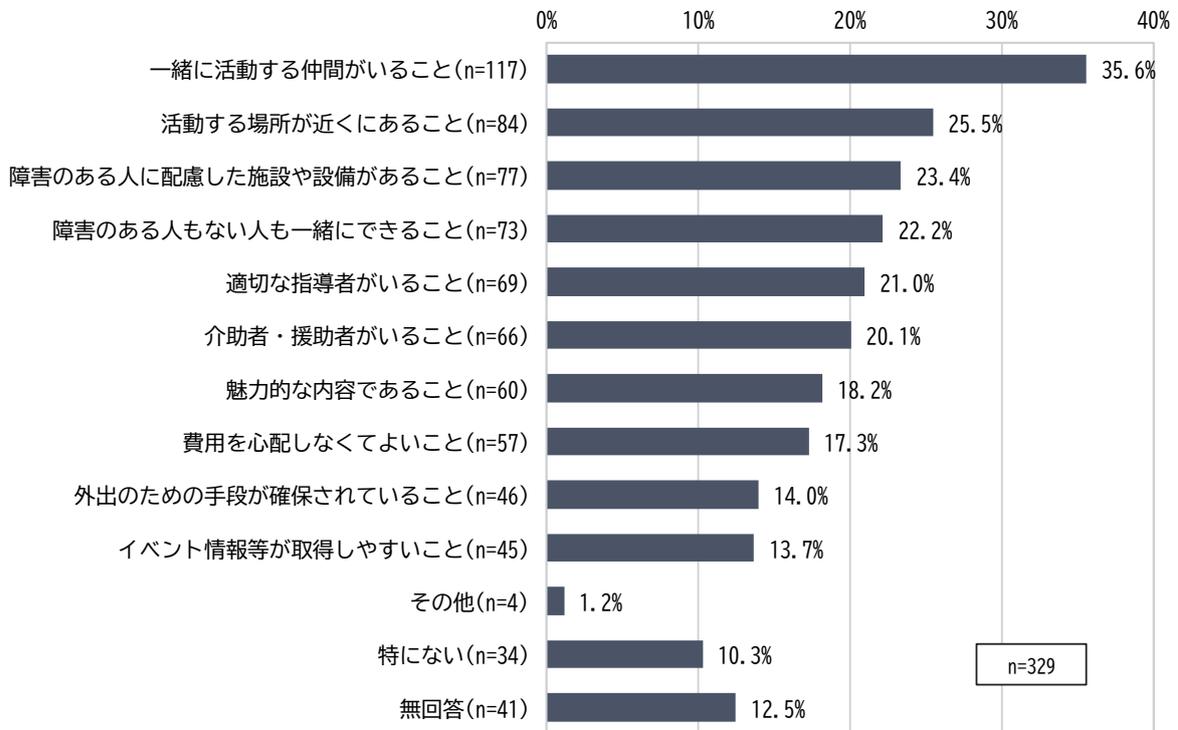
また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「旅行に出かける」が30.4%と最も多く、次いで「趣味の活動をする」が25.5%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ▩ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「一緒に活動する仲間がいること」が35.6%と最も多く、次いで「活動する場所が近くにあること」が25.5%となっています。



《日中の過ごし方について》

問14 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

日中の過ごし方については、「幼稚園や保育所、学校等に通っている」が26.1%と最も多く、次いで「障害者の通所施設・事業所に通っている」が25.5%となっています。

年齢 (3区分)	n	幼稚園や保育所、学校等に通っている	障害者の通所施設・事業所に通っている	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	家で過ごしている	家の仕事を手伝っている	入所施設で過ごしている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	病院等 (デイケア等) で過ごしている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	求職活動をしている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	その他	無回答
		全体	329	26.1%	25.5%	24.3%	21.3%	5.5%	4.3%	2.1%	1.2%	0.6%	0.3%	0.0%
18歳未満	88	95.5%	1.1%	0.0%	3.4%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
18~64歳	213	0.9%	36.2%	36.6%	26.8%	7.5%	4.7%	0.9%	1.9%	0.9%	0.5%	0.0%	2.8%	4.2%
65歳以上	20	0.0%	15.0%	0.0%	45.0%	5.0%	15.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%

■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
収入を伴う仕事をしている	28.0%	幼稚園や保育所、学校等に通っている	26.1%
家庭内で過ごしている	23.0%	障害者の通所施設・事業所に通っている	25.5%
通所サービスを利用している	19.2%	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	24.3%
幼稚園や保育所、学校などに通っている	15.9%	家で過ごしている	21.3%
家の仕事を手伝っている	14.2%	家の仕事を手伝っている	5.5%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《幼稚園や保育所、学校などについて》

【問15～17は、問14で「1. 幼稚園や保育所、学校等に通っている」に○をつけた方にお聞きします】

問15 主に通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育所、学校等に通っている人の通園通学先については、86件中「特別支援学校」が39件と最も多く、次いで「小学校、中学校、高等学校」、「特別支援学級」がそれぞれ16件となっています。

n=86	特別支援学校	小学校、中学校、高等学校	特別支援学級	障害児通所支援事業所	幼稚園、保育所	専門学校・専修学校・高等技術専門学校等	短大・大学・大学院	その他	無回答
	39	16	16	6	5	0	0	1	3

問16 学校で勉強する場合にどのような学習形態を望みますか。(○は1つ)

学校で勉強する場合の学習形態については、86件中「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」が45件と最も多く、次いで「同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい」が24件となっています。

n=86	障害のある仲間とも勉強したい	同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい	障害のある仲間と勉強したい	わからない	その他	無回答
	45	24	1	11	2	3

問17 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることについては、86件中「特にない」が39件と最も多く、次いで「通うための介助者を確保しにくい」が15件、「授業についていけない」が13件となっています。

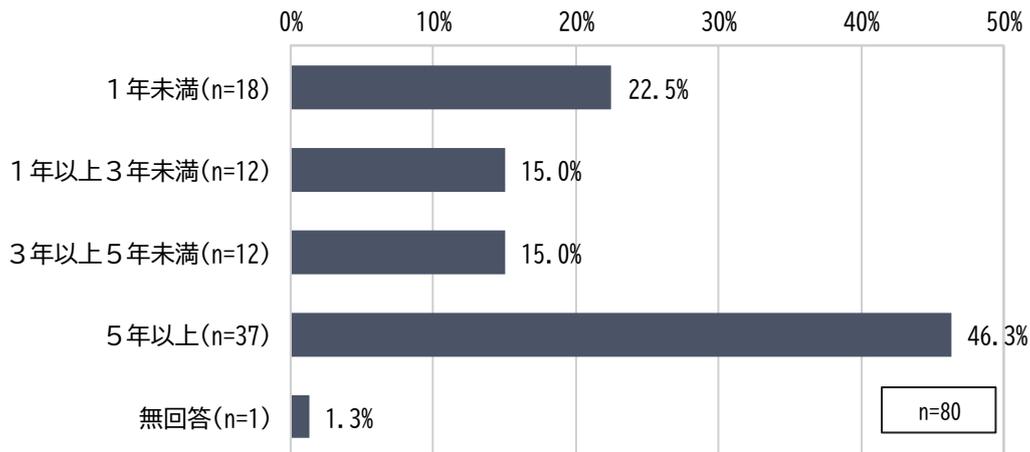
n=86	通うための介助者を確保しにくい	授業についていけない	友だちができない	家族の同伴を求められる	学校の数が少ない	通うための交通手段が確保・利用しにくい	十校内・園内での支援が不十分	児童・生徒の理解が得られない	教職員の理解が得られない	トイレなどの設備が不十分	受け入れてくれる学校がない	通常の学級に入れない	医療的ケアが受けられない	その他	特にない	無回答
	15	13	9	9	8	7	5	5	4	3	3	3	1	8	39	6

《雇用・就労について》

[問18~21は、問14で「2. 収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」に○をつけた方にお聞きします]

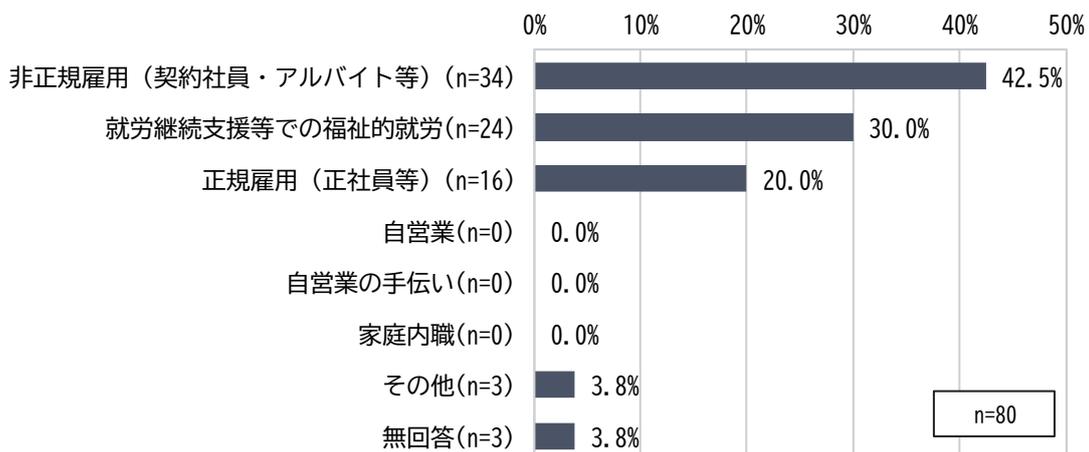
問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「5年以上」が46.3%と最も多く、次いで「1年未満」が22.5%となっています。



問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「非正規雇用(契約社員・アルバイト等)」が42.5%と最も多く、次いで「就労継続支援等での福祉的就労」が30.0%となっています。

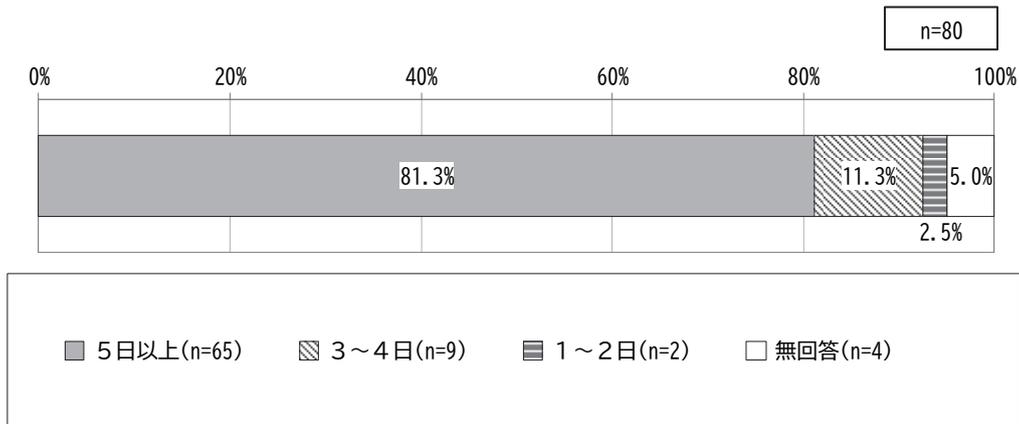


問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。((1) (2) それぞれ○は1つ)

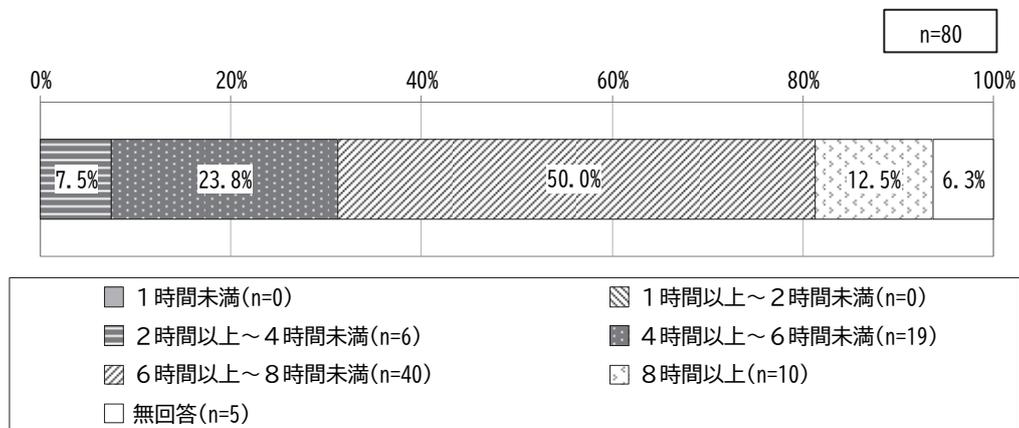
1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が81.3%と最も多く、次いで「3～4日」が11.3%となっています。

1日あたりの就労時間については、「6時間以上～8時間未満」が50.0%と最も多く、次いで「4時間以上～6時間未満」が23.8%となっています。

(1) 1週間あたり



(2) 1日あたり



問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

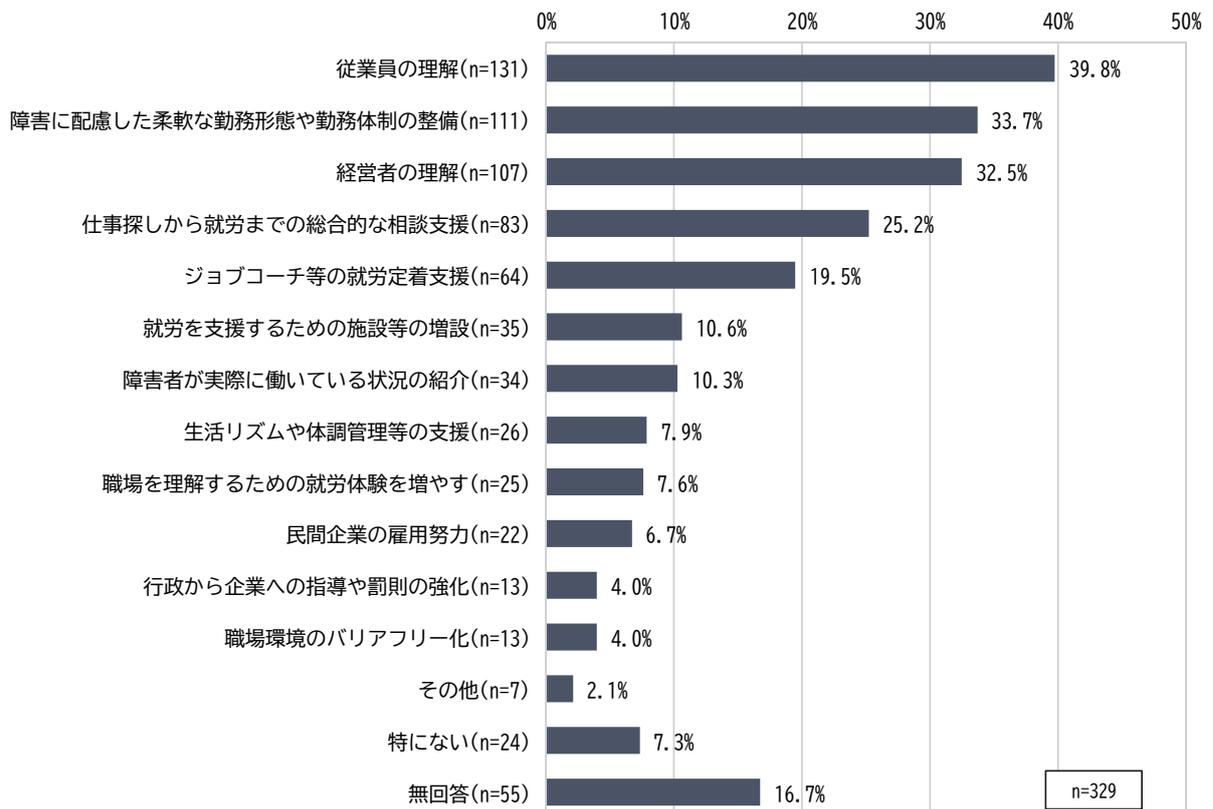
仕事をする上で困っていることについては、「特にない」が38.8%と最も多く、次いで「収入が少ない」が35.0%、「職場の人間関係」が21.3%となっています。

就労形態	n	収入が少ない	職場の人間関係	通勤が大変	コミュニケーションができない	体調のコントロールが難しい	能力を発揮できない	仕事がかた	就業時間が合わない	職場の理解が得られない	業務内容が合わない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	その他	特にない	無回答
		全体	80	35.0%	21.3%	18.8%	17.5%	8.8%	6.3%	5.0%	5.0%	3.8%	2.5%	2.5%	3.8%
正規雇用(正社員等)	16	18.8%	37.5%	18.8%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
非正規雇用(契約社員・アルバイト等)	34	29.4%	20.6%	20.6%	14.7%	8.8%	5.9%	8.8%	11.8%	5.9%	2.9%	2.9%	2.9%	41.2%	2.9%
自営業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	24	58.3%	16.7%	20.8%	20.8%	16.7%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	25.0%	0.0%

【ここからは、全員にお聞きします】

問22 障害のある人の就労を促進するために、どのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「従業員の理解」が39.8%と最も多く、次いで「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が33.7%となっています。



問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が48.3%と最も多く、次いで「わからない・答えたくない」が17.0%、「年収100万円以上から150万円未満」が11.2%となっています。

	n	年収100万円未満	年収100万円以上150万円未満	年収150万円以上200万円未満	年収200万円以上300万円未満	年収300万円以上500万円未満	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
全体	329	48.3%	11.2%	2.4%	2.7%	0.9%	0.3%	17.0%	17.0%
就労形態									
正規雇用（正社員等）	16	25.0%	18.8%	0.0%	25.0%	6.3%	0.0%	25.0%	0.0%
非正規雇用（契約社員・アルバイト等）	34	17.6%	50.0%	11.8%	8.8%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%
自営業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	24	79.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%
主な収入									
給与・賃金	70	25.7%	32.9%	10.0%	12.9%	2.9%	0.0%	14.3%	1.4%
事業収入	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援施設や作業所の工賃	29	89.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%
家族の収入（仕送り・援助含む）	180	64.4%	8.3%	1.1%	2.2%	0.0%	0.6%	14.4%	8.9%
年金	21	38.1%	14.3%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	19.0%	19.0%
障害年金	127	55.9%	17.3%	1.6%	3.1%	0.8%	0.0%	11.8%	9.4%
生活保護	11	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	18.2%

問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を支えている収入については、「家族の収入（仕送り・援助含む）」が54.7%と最も多く、次いで「障害年金」が38.6%となっています。

年齢（3区分）	n	家族の収入（仕送り・援助含む）	障害年金	給与・賃金	就労継続支援施設や作業所の工賃	年金	生活保護	事業収入	その他	無回答
		全体	329	54.7%	38.6%	21.3%	8.8%	6.4%	3.3%	0.0%
18歳未満	88	73.9%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	5.7%	19.3%
18～64歳	213	51.2%	54.9%	31.5%	12.7%	4.2%	3.8%	0.0%	4.2%	4.7%
65歳以上	20	15.0%	35.0%	5.0%	5.0%	60.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%

《今後の希望について》

問25 近い将来（今後3年以内）に、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）に、どこで暮らしたいと思うかについては、「家族と一緒に暮らしたい」が67.2%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」、「共同生活する住居（障害者グループホーム等）で暮らしたい」がそれぞれ7.9%となっています。

生活場所	n	家族と一緒に暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	共同生活する住居（障害者グループホーム等）で暮らしたい	障害者施設で暮らしたい	高齢者施設で暮らしたい	その他	無回答
		全体	329	67.2%	7.9%	7.9%	5.8%	1.8%
本人または家族の持ち家	259	72.2%	7.3%	7.3%	3.1%	1.9%	1.9%	6.2%
民間の賃貸住宅	32	71.9%	12.5%	0.0%	3.1%	0.0%	9.4%	3.1%
公営の賃貸住宅	6	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
障害者グループホーム	5	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の入所施設	9	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者施設（特養等）	4	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
病院に入院中	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%

問26 近い将来（今後3年以内）に、あなたは日中を主にどのように過ごしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）の日中の過ごし方については、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が28.6%と最も多く、次いで「障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい」が19.8%となっています。

日中の過ごし方	n	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	家庭内で過ごしたい	障害者の入所施設で過ごしたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	家の仕事を手伝いたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	ボランティアなどをしたたい	その他	無回答
		全体	329	28.6%	19.8%	19.1%	8.2%	5.8%	2.1%	1.2%	1.2%	0.9%	0.9%	0.6%
幼稚園や保育所、学校等に通っている	86	15.1%	3.5%	70.9%	2.3%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%
収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	80	68.8%	7.5%	1.3%	1.3%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	8.8%	7.5%
無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	84	16.7%	64.3%	0.0%	3.6%	6.0%	1.2%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	4.8%
高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	7	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
入所施設で過ごしている	14	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	64.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
病院等（デイケア等）で過ごしている	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%
創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
求職活動をしている	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家の仕事を手伝っている	18	33.3%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	16.7%
家で過ごしている	70	15.7%	21.4%	0.0%	27.1%	7.1%	1.4%	4.3%	5.7%	0.0%	1.4%	1.4%	7.1%	7.1%

■前回調査（R1）比較

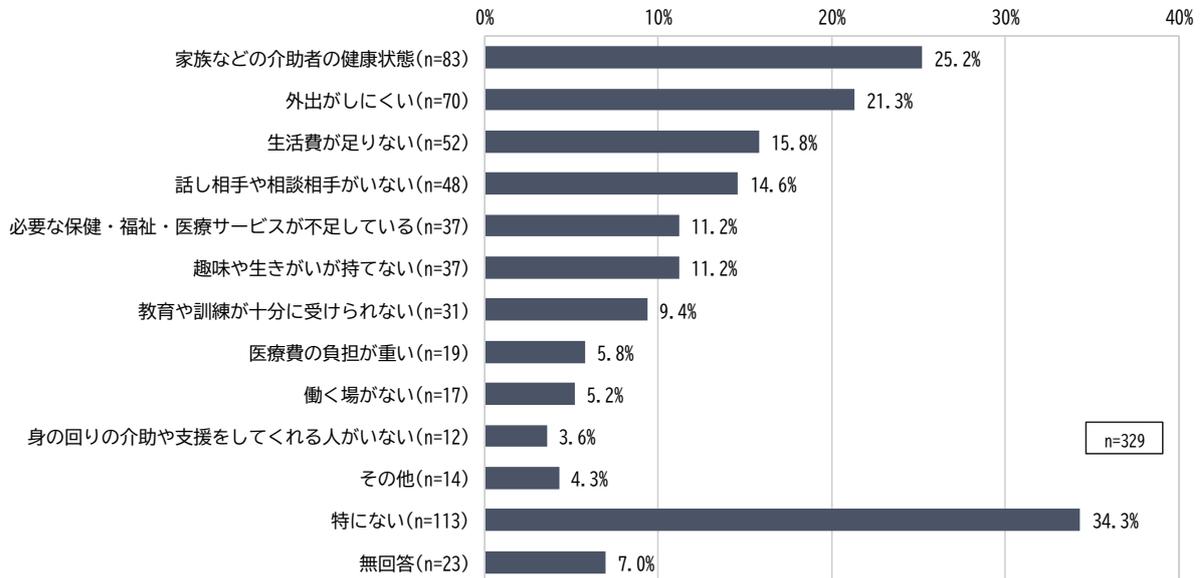
R1 調査（前回）		R4 調査（今回）	
通所サービスを利用したい	25.1%	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	28.6%
一般企業などで働きたい	22.2%	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	19.8%
施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい	20.9%	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	19.1%
家庭内で過ごしたい	18.8%	家庭内で過ごしたい	8.2%
自立した日常生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための必要な訓練を受けたい	16.3%	障害者の入所施設で過ごしたい	5.8%

※今回（R4）調査と前回（R1）調査で、選択肢が異なる部分があります。

《相談や情報入手について》

問27 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「家族などの介助者の健康状態」が25.2%と最も多く、次いで「外出がしにくい」が21.3%となっています。



問28 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

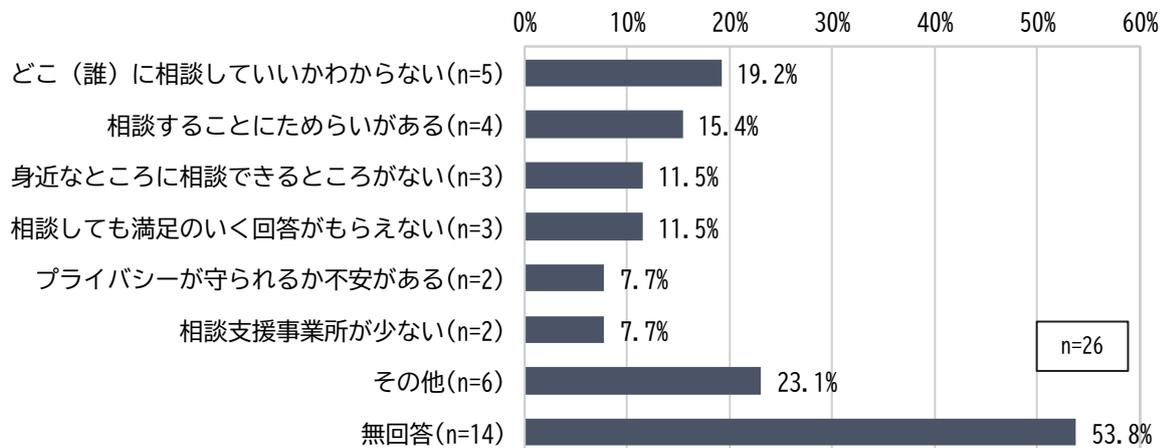
悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談するかについては、「家族や親せき」が70.2%と最も多く、次いで「障害者施設や事業所の職員」が24.6%となっています。

年齢	n	家族や親せき	障害者施設や事業所の職員	相談支援事業所	病院・医師・看護師	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	近所の人、知人・友人	職場の仲間	身体障害者・知的障害者相談員	川崎市障害者総合相談支援センター	国・県・市などの相談窓口	社会福祉協議会	インターネット上のコミュニティ	障害者団体や家族会	民生委員・児童委員	ボランティア	医療的ケア児等コーディネーター	その他	相談したいが、できない	相談したいと思わない	無回答
		全体	329	70.2%	24.6%	14.9%	11.6%	11.6%	8.8%	7.9%	7.0%	6.1%	2.7%	2.7%	1.8%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	3.3%	7.9%
10歳未満	35	74.3%	22.9%	5.7%	5.7%	51.4%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	17.1%	0.0%	5.7%
10～17歳	53	75.5%	7.5%	9.4%	9.4%	34.0%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	5.7%	9.4%	3.8%
18～19歳	15	73.3%	13.3%	20.0%	20.0%	0.0%	13.3%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
20～29歳	71	81.7%	31.0%	15.5%	7.0%	0.0%	12.7%	19.7%	9.9%	9.9%	0.0%	1.4%	1.4%	2.8%	1.4%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	1.4%	4.2%
30～39歳	51	76.5%	27.5%	23.5%	13.7%	0.0%	15.7%	5.9%	5.9%	9.8%	3.9%	5.9%	5.9%	2.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	3.9%	5.9%
40～49歳	45	66.7%	26.7%	15.6%	13.3%	2.2%	4.4%	11.1%	6.7%	11.1%	8.9%	4.4%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	8.9%	4.4%	8.9%
50～59歳	29	44.8%	34.5%	27.6%	24.1%	0.0%	6.9%	3.4%	10.3%	10.3%	6.9%	10.3%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	10.3%	10.3%	3.4%
60～64歳	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
65歳以上	20	50.0%	25.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%

【問28で「18. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問29 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

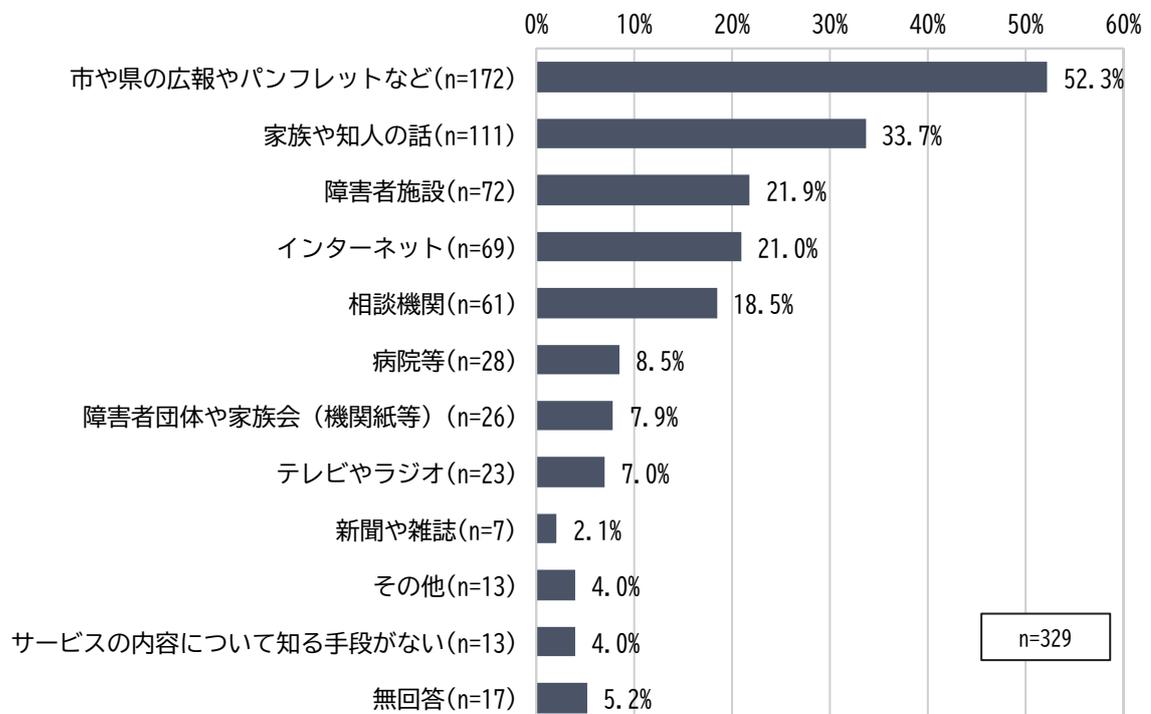
相談できない理由については、「その他」が23.1%と最も多く、次いで「どこ（誰）に相談していいかわからない」が19.2%となっています。



【ここからは、全員にお聞きします】

問30 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が52.3%と最も多く、次いで「家族や知人の話」が33.7%となっています。



問31 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が40.4%と最も多く、次いで「複雑な文章表現がわかりにくい」が38.0%となっています。

		話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	複雑な文章表現がわかりにくい	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	相手の意思や情報を把握できない	どこを調べればよいかわからない	相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	パソコンやスマートフォンなどの操作がわからない	希望している福祉サービスについての情報がない、内容がわかりにくい	案内表示がわかりにくい	音声情報や点字など視覚障害に配慮した情報が少ない	Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない	要約筆記者がいない	手話通訳者がいない	文字情報やヒアリンググループなど聴覚障害に配慮した情報が少ない	その他	特になし	無回答	
全体	n	329	40.4%	38.0%	37.4%	30.4%	24.0%	21.3%	15.5%	14.3%	8.8%	1.8%	1.5%	1.2%	0.9%	0.6%	5.2%	19.5%	10.0%

《福祉サービスについて》

問32 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。
サービス等を利用していない場合は、問33へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「放課後等デイサービス」が52人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が82.7%となっています。次いで「短期入所（ショートステイ）」が50人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が63.0%となっています。

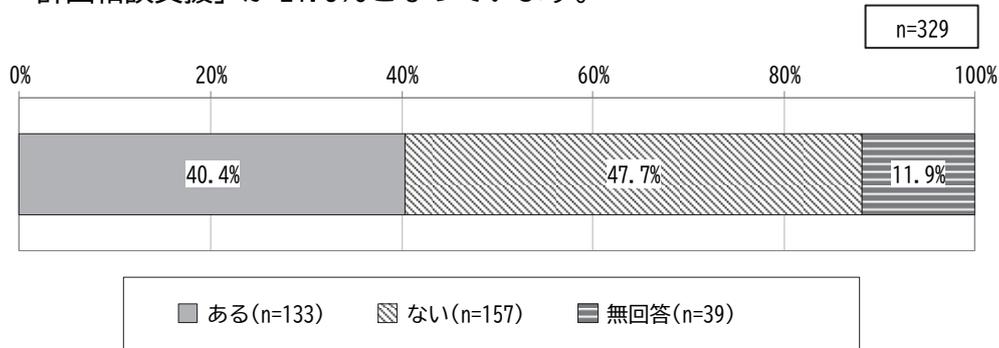
■現在の利用状況と今後3年の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
放課後等デイサービス	52	82.7%	9.6%	7.7%
短期入所（ショートステイ）	50	63.0%	34.8%	2.2%
生活介護	38	91.7%	8.3%	0.0%
就労継続支援B型	38	91.9%	5.4%	2.7%
計画相談支援	35	91.4%	5.7%	2.9%
行動援護	22	57.9%	36.8%	5.3%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	18	88.9%	11.1%	0.0%
児童発達支援	12	83.3%	8.3%	8.3%
共同生活援助（グループホーム）	8	87.5%	12.5%	0.0%
施設入所支援	8	87.5%	12.5%	0.0%
就労移行支援	8	40.0%	0.0%	60.0%
障害児相談支援	8	100.0%	0.0%	0.0%
自立訓練（生活訓練）	6	100.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援A型	6	75.0%	25.0%	0.0%
就労定着支援	6	100.0%	0.0%	0.0%
同行援護	3	66.7%	33.3%	0.0%
自立訓練（機能訓練）	3	100.0%	0.0%	0.0%
重度障害者等包括支援	2	0.0%	100.0%	0.0%
療養介護	2	100.0%	0.0%	0.0%
障害児入所支援（医療型）	2	100.0%	0.0%	0.0%
重度訪問介護	1	100.0%	0.0%	0.0%
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
居宅訪問型児童発達支援	0	-	-	-
障害児入所支援（福祉型）	0	-	-	-

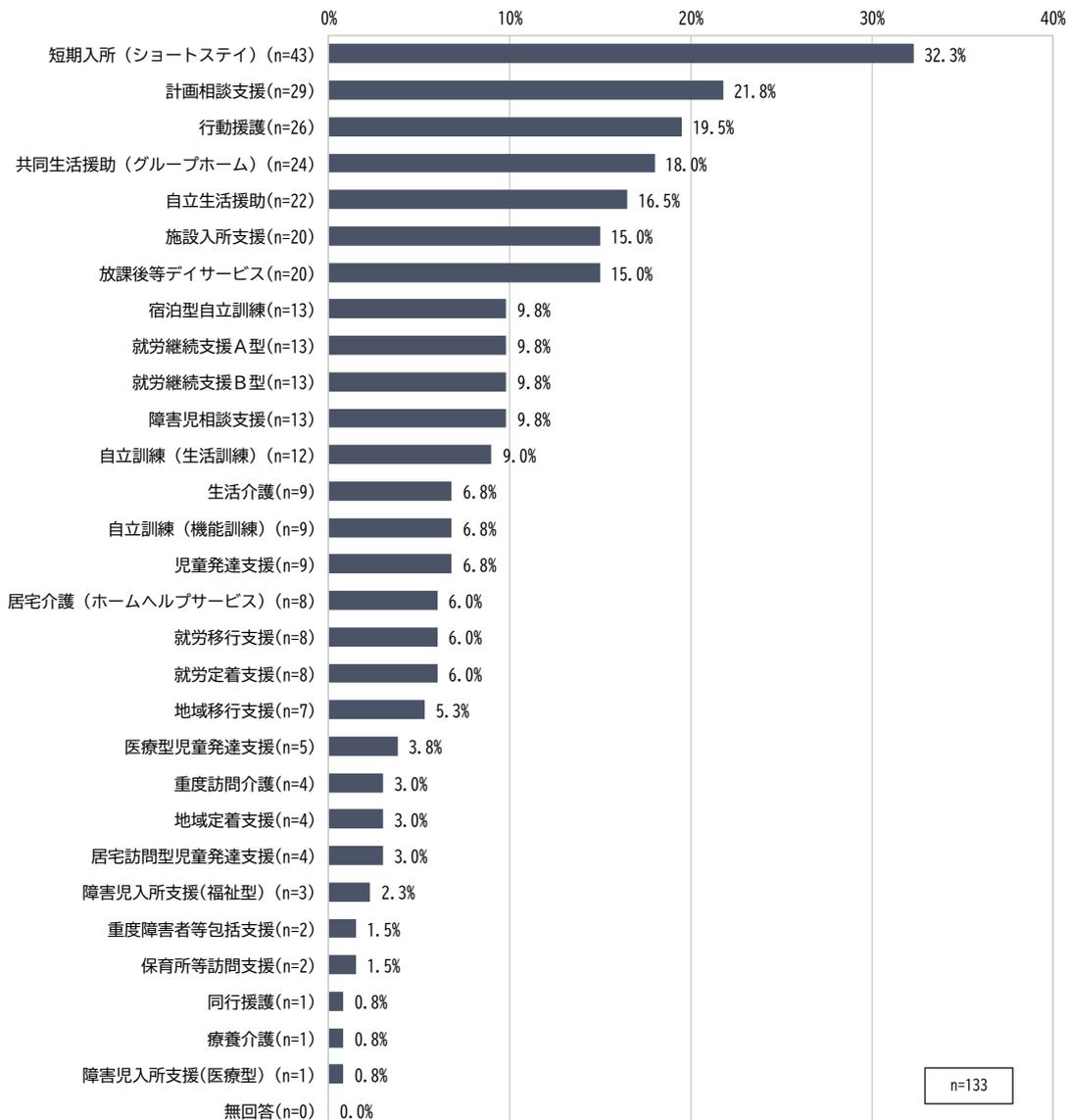
問33 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が40.4%、「ない」が47.7%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が32.3%と最も多く、次いで「計画相談支援」が21.8%となっています。

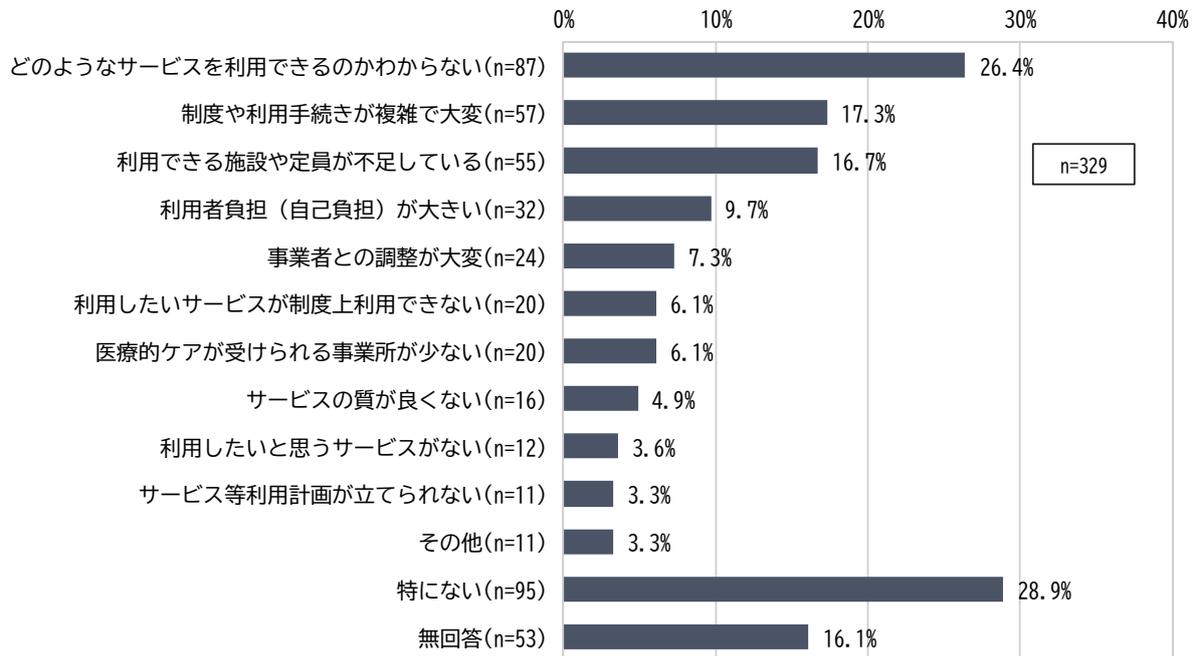


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



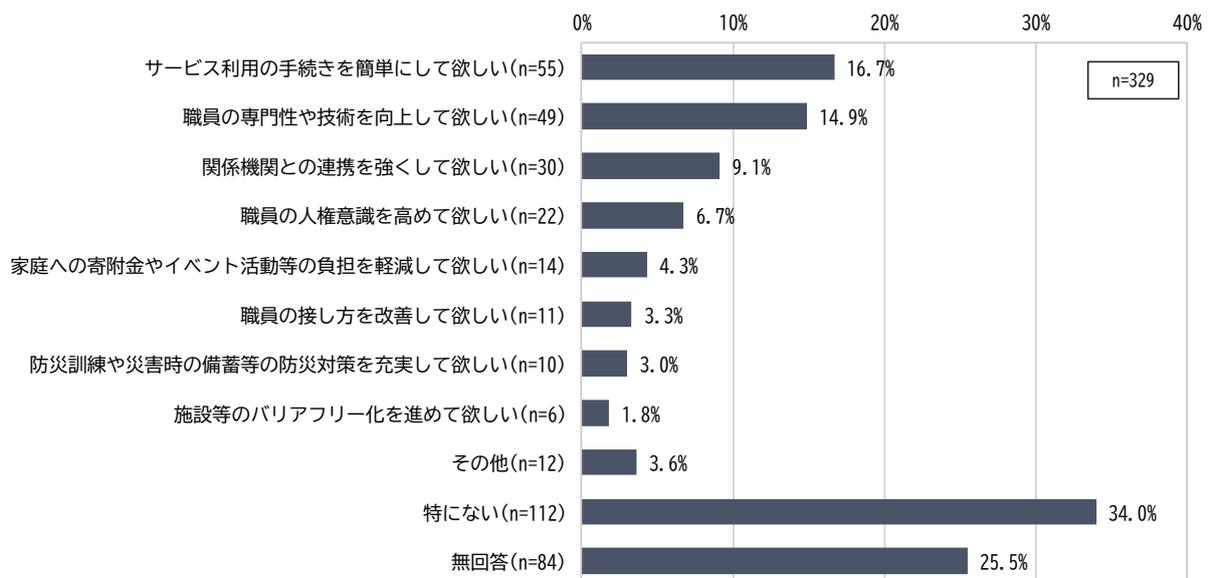
問34 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「特にない」が28.9%と最も多く、次いで「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が26.4%、「制度や利用手続きが複雑で大変」が17.3%となっています。



問35 障害（児）福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

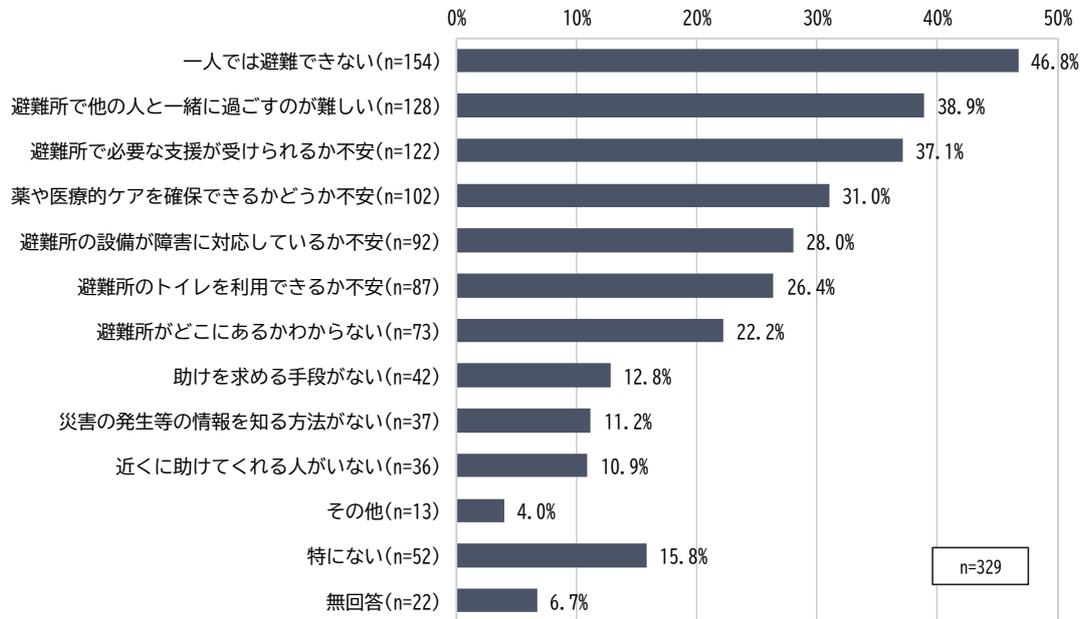
障害（児）福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が34.0%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にしたい」が16.7%、「職員の専門性や技術を向上して欲しい」が14.9%となっています。



《災害時の支援等について》

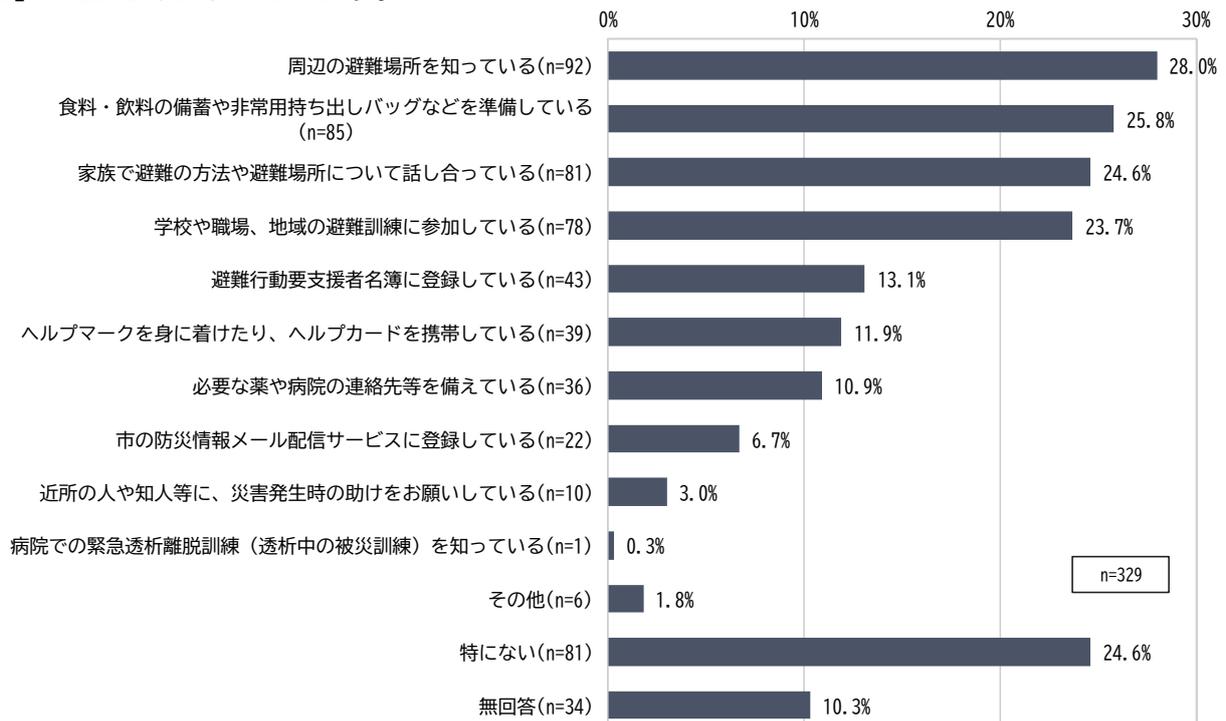
問36 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「一人では避難できない」が46.8%と最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が38.9%となっています。



問37 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「周辺の避難場所を知っている」が28.0%と最も多く、次いで「食料・飲料の備蓄や非常用持ち出しバッグなどを準備している」が25.8%となっています。



問38 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

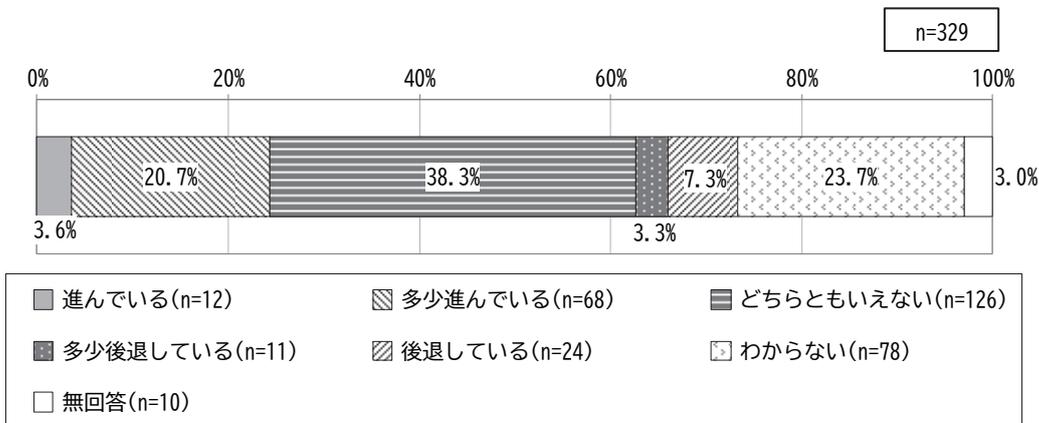
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある」が29.8%と最も多く、次いで「避難を手助けしてくれる」が26.1%となっています。

	n	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	避難を手助けしてくれる	避難所でプライバシーが守られる	救助や避難時に声かけをしてくれる	避難所の設備(トイレ等)を充実させる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	必要な医療的ケアを受けられる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	その他	特にない	無回答
全体	329	29.8%	26.1%	23.4%	21.9%	20.4%	19.5%	18.2%	14.0%	13.7%	7.9%	2.1%	0.9%	9.4%	13.1%

《障害者への理解や権利擁護について》

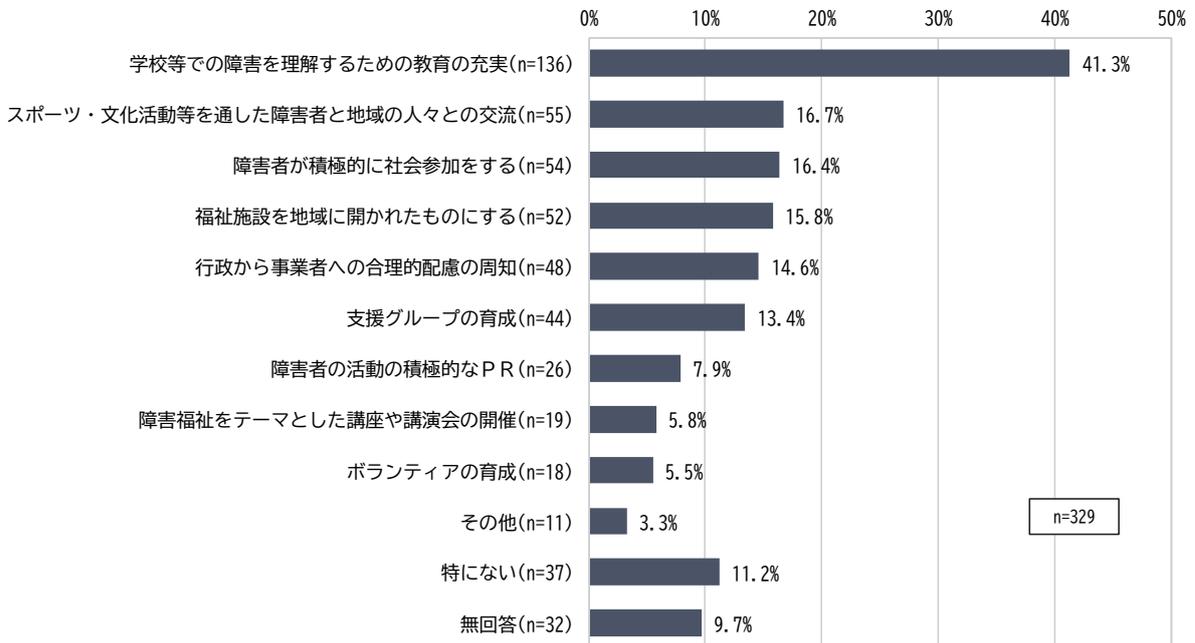
問39 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(〇は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が38.3%と最も多く、次いで「わからない」が23.7%となっています。



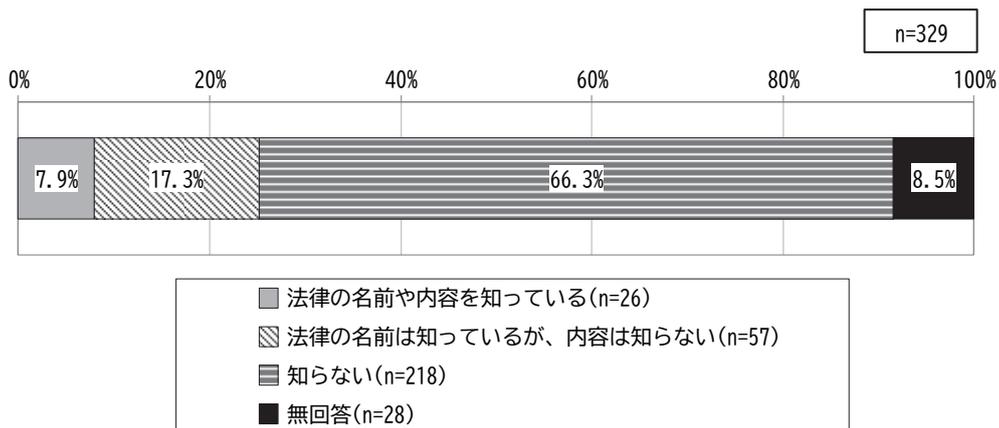
問40 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が41.3%と最も多く、次いで「スポーツ・文化活動等を通じた障害者と地域の人々との交流」が16.7%となっています。



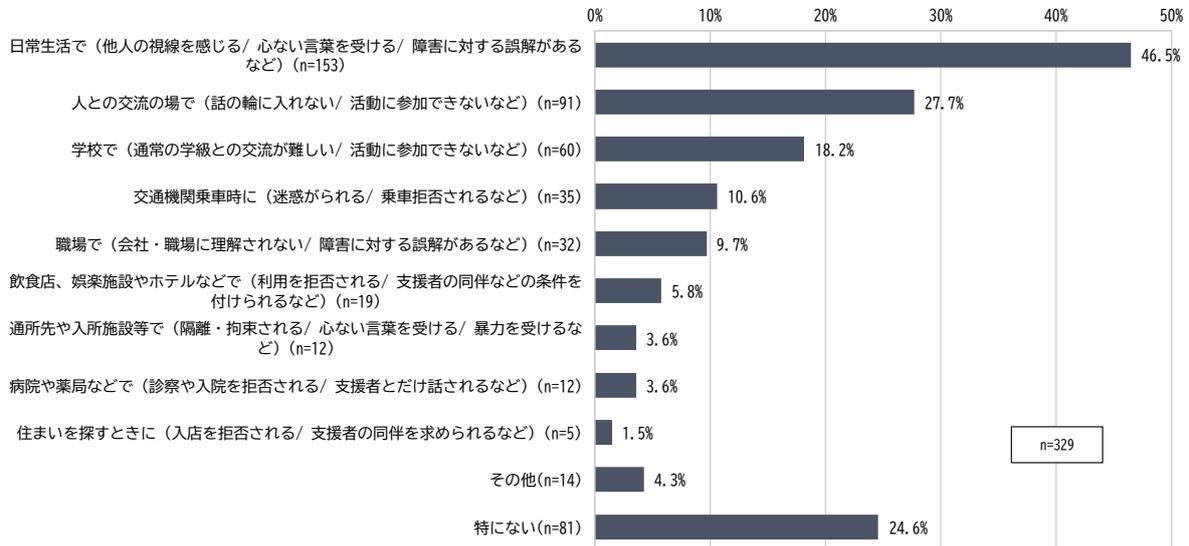
問41 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が66.3%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が17.3%となっています。



問42 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「日常生活で（他人の視線を感じる/ 心ない言葉を受ける/ 障害に対する誤解があるなど）」が46.5%と最も多く、次いで「人との交流の場で（話の輪に入れない/ 活動に参加できないなど）」が27.7%となっています。

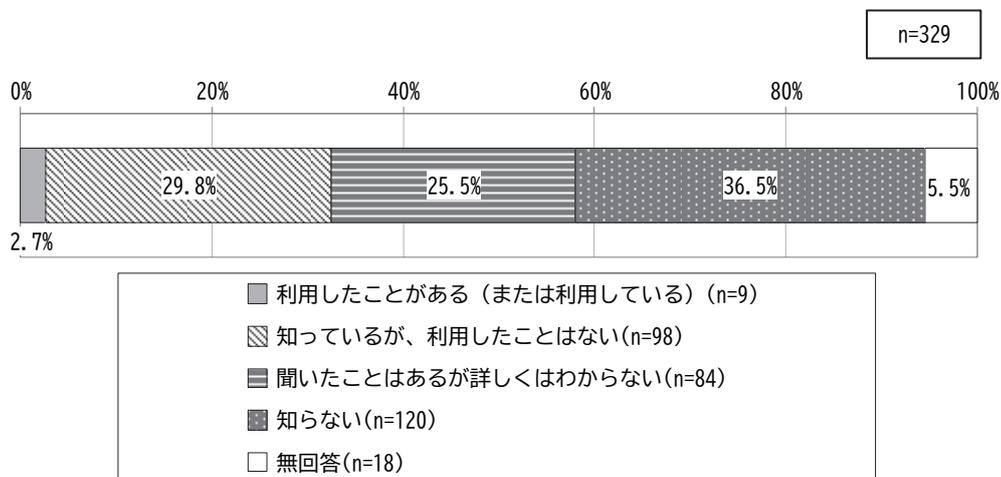


問43 経験したり、見聞きしたことがある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があった助かったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問44 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

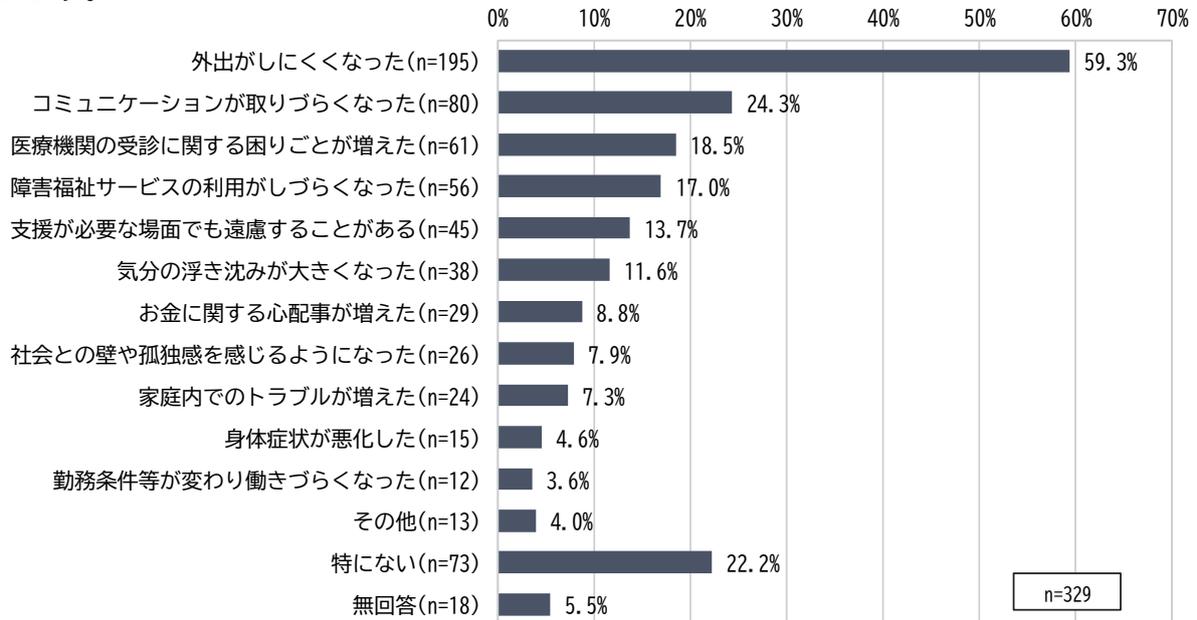
「成年後見制度」については、「知らない」が36.5%と最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が29.8%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

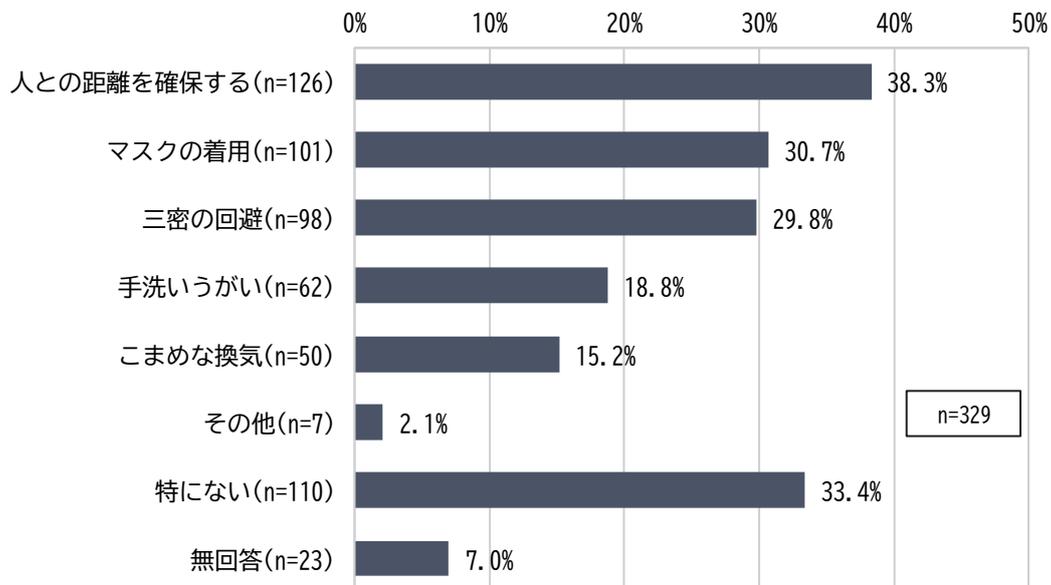
問45 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が59.3%と最も多く、次いで「コミュニケーションが取りづらくなった」が24.3%となっています。



問46 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

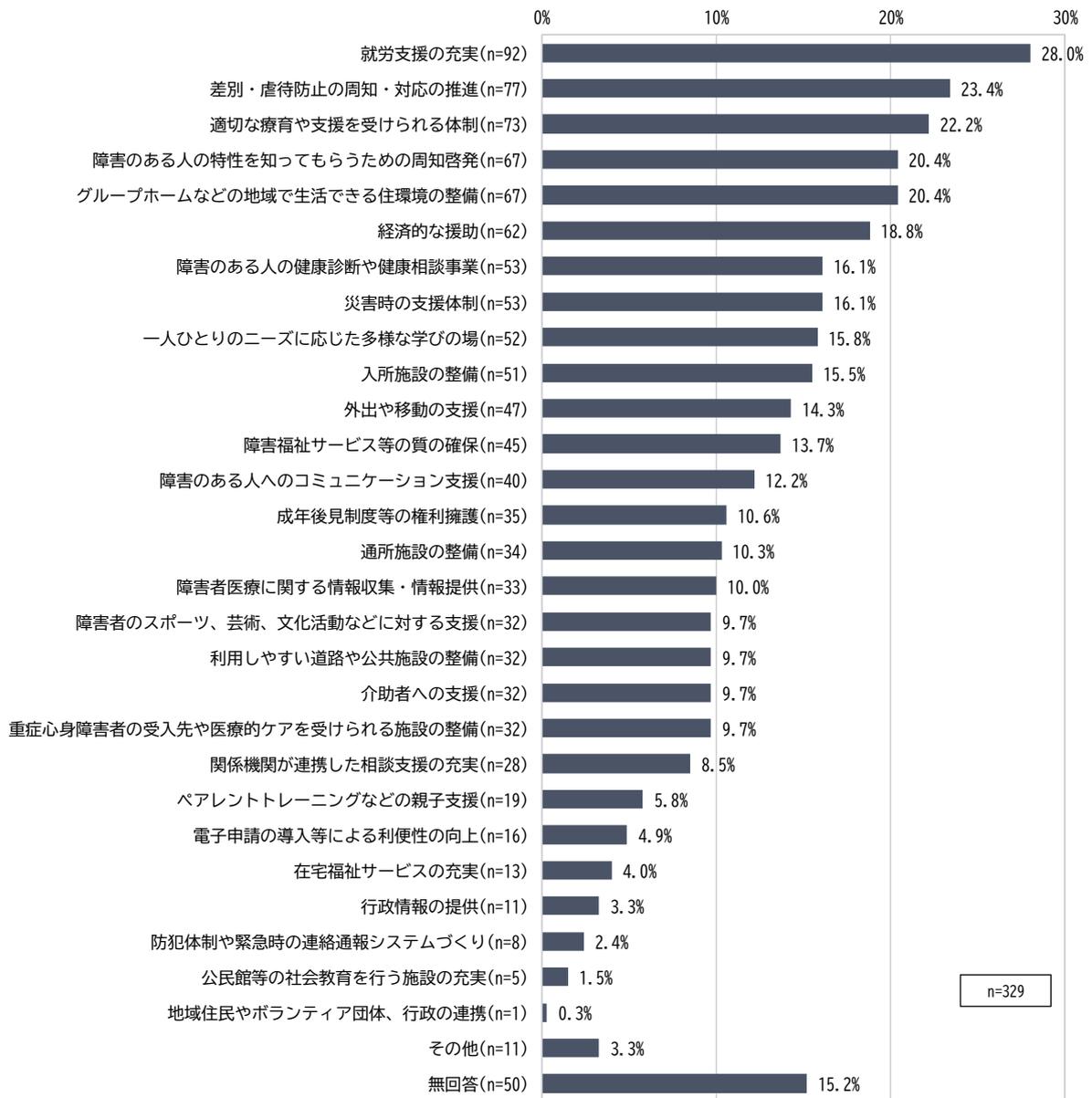
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「人との距離を確保する」が38.3%と最も多く、次いで「マスクの着用」が30.7%となっています。



《市の取り組み等について》

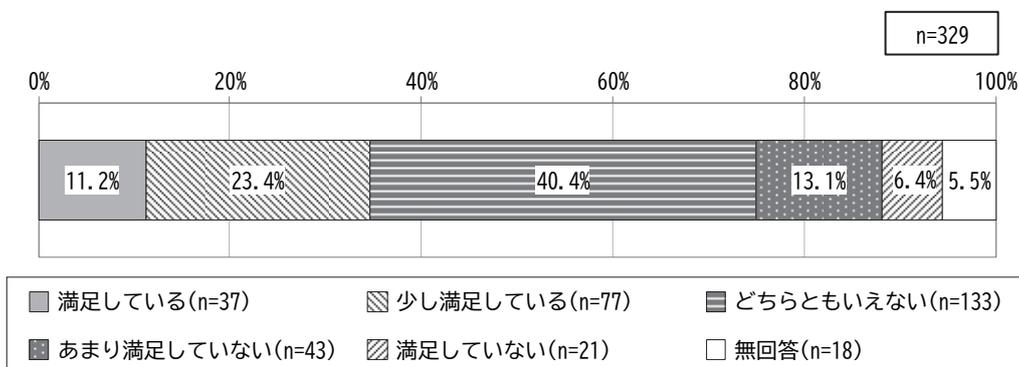
問47 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「就労支援の充実」が28.0%と最も多く、次いで「差別・虐待防止の周知・対応の推進」が23.4%となっています。



問48 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が11.2%、「少し満足している」が23.4%となっています。また、「あまり満足していない」は13.1%、「満足していない」は6.4%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

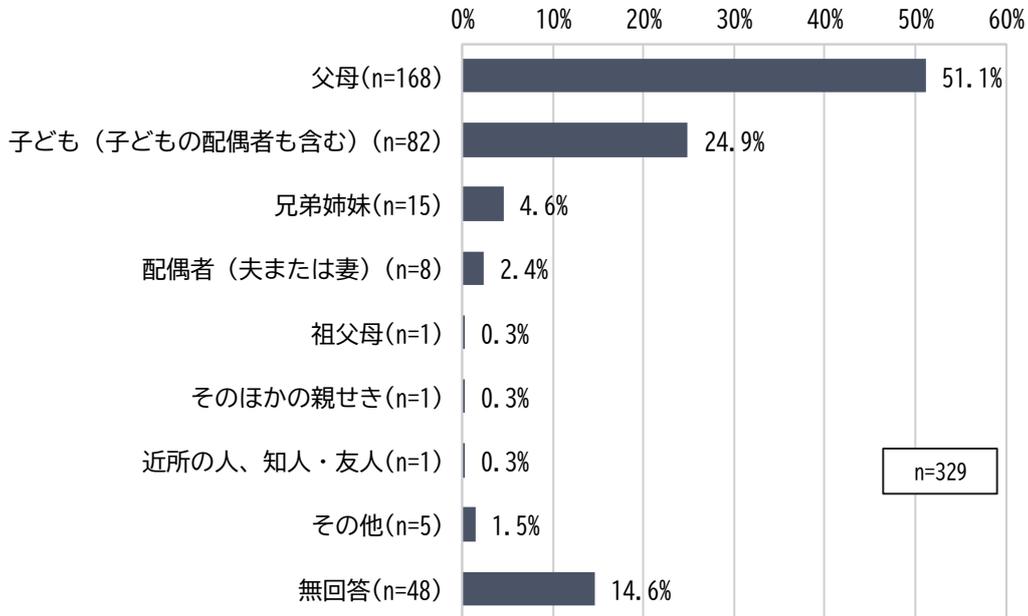
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

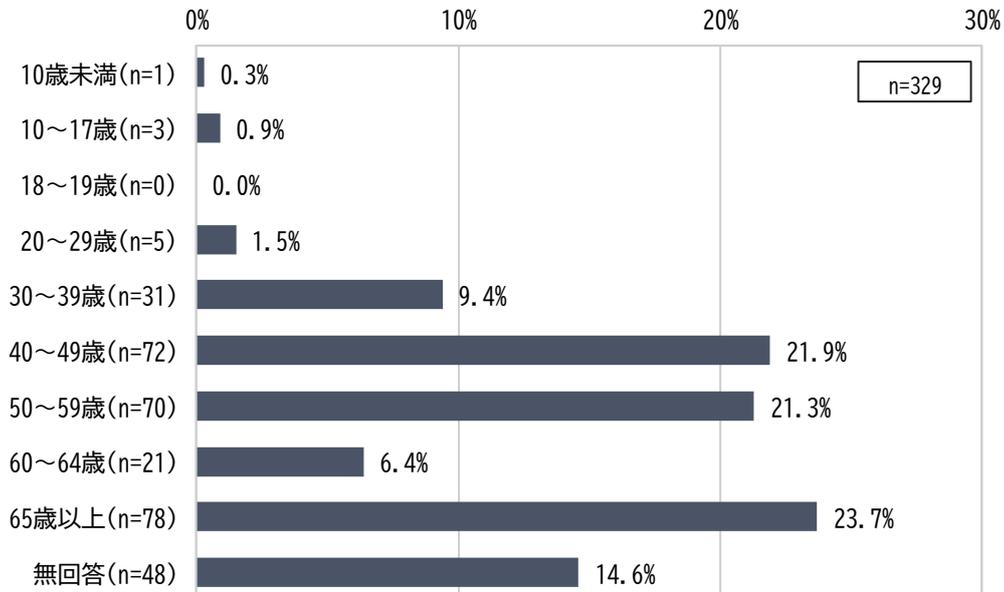
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「父母」が51.1%と最も多く、次いで「子ども（子どもの配偶者も含む）」が24.9%となっています。



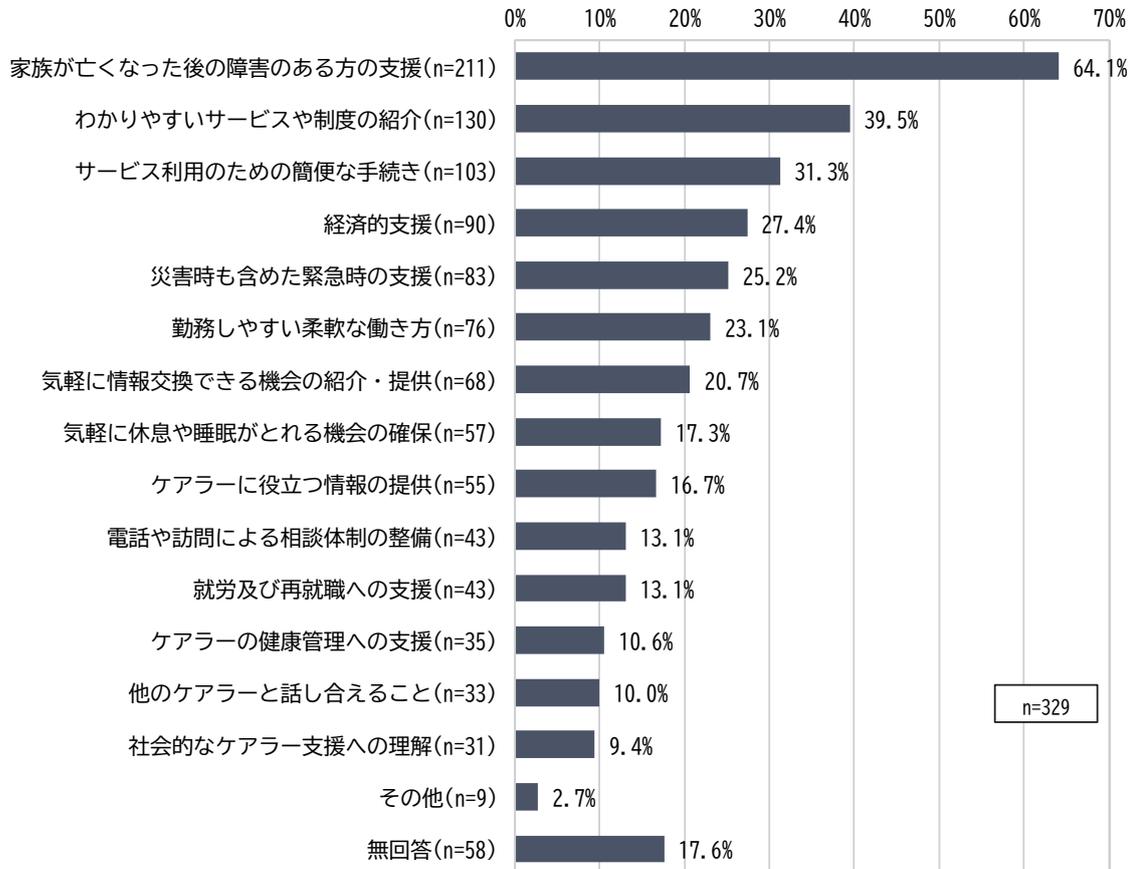
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が23.7%と最も多く、次いで「40～49歳」が21.9%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が64.1%と最も多く、次いで「わかりやすいサービスや制度の紹介」が39.5%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

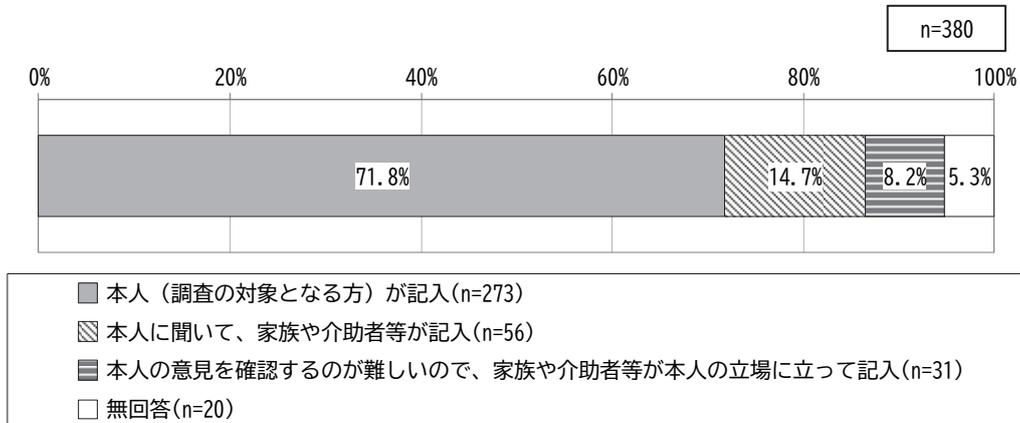
【自由記述編を参照】

調査結果 3. 精神障害者

《記入者・ご本人について》

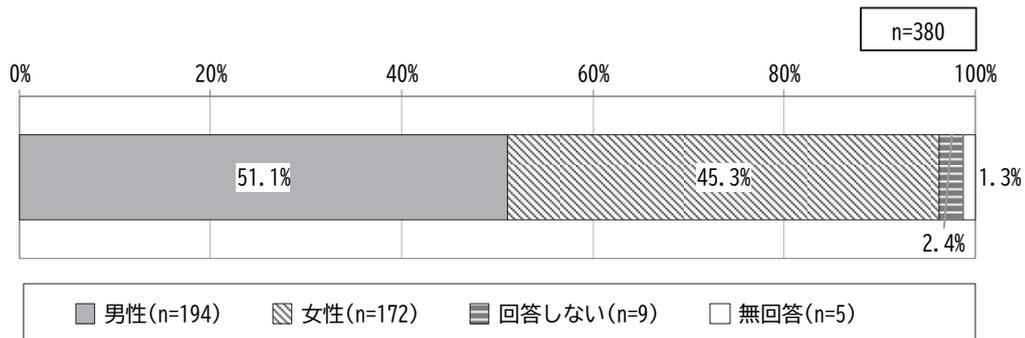
この調査票に記入する方はどなたですか。(○は1つ)

調査票に記入された方については、「本人が記入」が71.8%と最も多く、次いで「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が14.7%となっています。



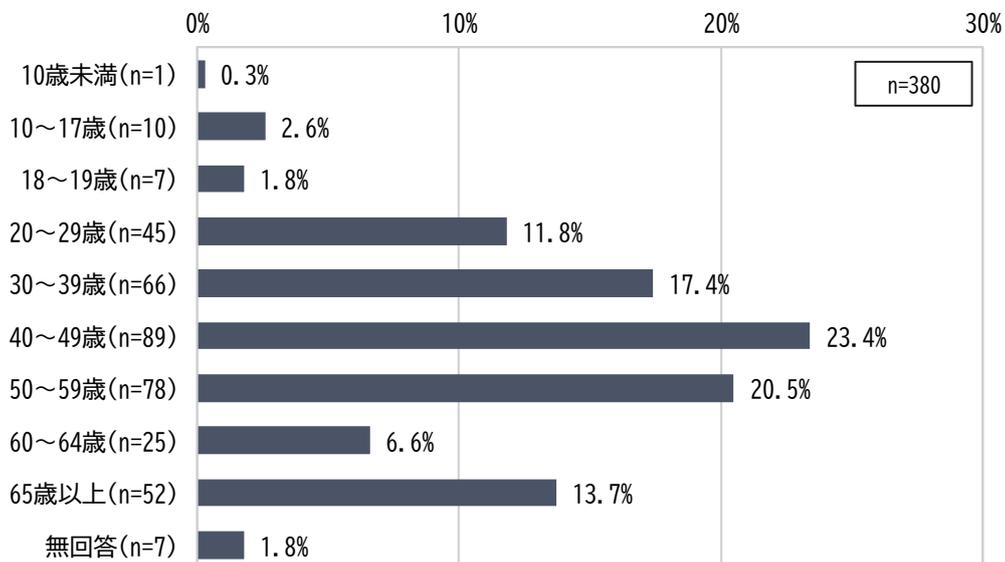
あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が51.1%、「女性」が45.3%となっています。



あなたの年齢(令和4年9月1日現在)を記入してください。(○は1つ)

年齢については、「40～49歳」が23.4%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.5%となっています。



現在、あなたはどこで暮らしていますか。(〇は1つ)

暮らしている場所については、「本人または家族の持ち家」が64.7%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が27.9%となっています。

n=380	本人または家族の持ち家 (n=246)	民間の賃貸住宅 (n=106)	公営の賃貸住宅 (n=14)	高齢者施設(特養等) (n=3)	障害者グループホーム (n=1)	障害者の入所施設 (n=1)	病院に入院中 (n=1)	その他 (n=4)	無回答 (n=4)
	64.7%	27.9%	3.7%	0.8%	0.3%	0.3%	0.3%	1.1%	1.1%

現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

一緒に暮らしている人については、「父母」が41.3%と最も多く、次いで「配偶者(夫または妻)」が25.5%となっています。

年齢	n	父母	配偶者(夫または妻)	一人暮らし	兄弟姉妹	子ども(子どもの配偶者も含む)	祖父母	障害者グループホーム・施設等の同居人	その他の親せき	その他	無回答
		全体	380	41.3%	25.5%	23.9%	17.9%	16.1%	2.1%	1.3%	0.5%
10歳未満	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～17歳	10	90.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳	7	100.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	84.4%	11.1%	4.4%	35.6%	4.4%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	66	56.1%	25.8%	10.6%	22.7%	13.6%	1.5%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
40～49歳	89	44.9%	28.1%	22.5%	6.7%	18.0%	0.0%	0.0%	2.2%	4.5%	0.0%
50～59歳	78	25.6%	26.9%	37.2%	14.1%	19.2%	0.0%	1.3%	0.0%	2.6%	0.0%
60～64歳	25	12.0%	28.0%	52.0%	8.0%	12.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	52	1.9%	42.3%	36.5%	7.7%	30.8%	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%

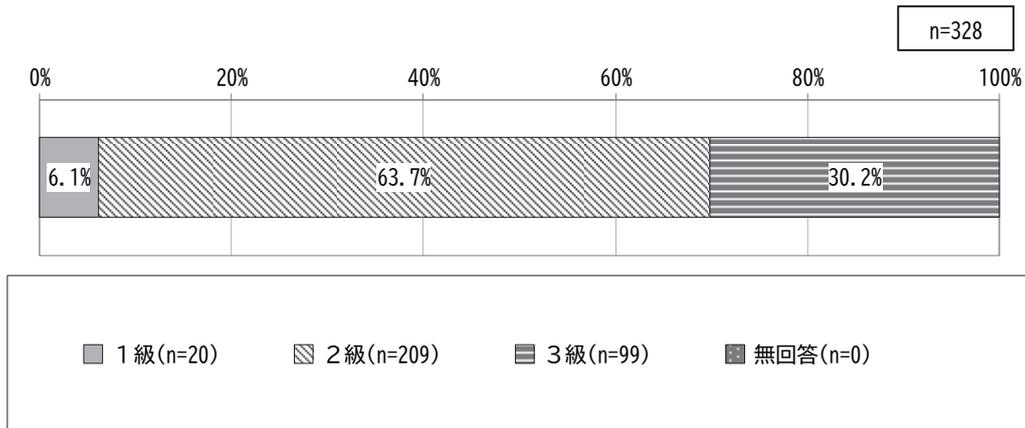
《障害の状況について》

問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

障害種別で「精神障害」を選択した方は、380人となっています。

問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

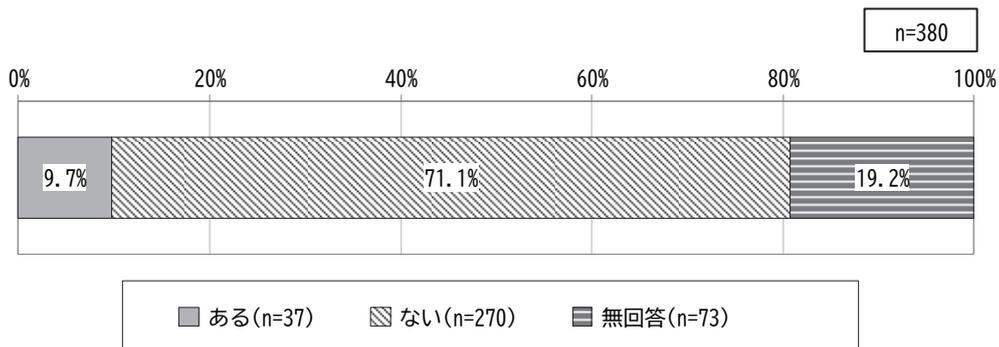
「精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答した方のうち、手帳に記載された障害の程度は、「2級」が63.7%と最も多く、次いで「3級」が30.2%となっています。



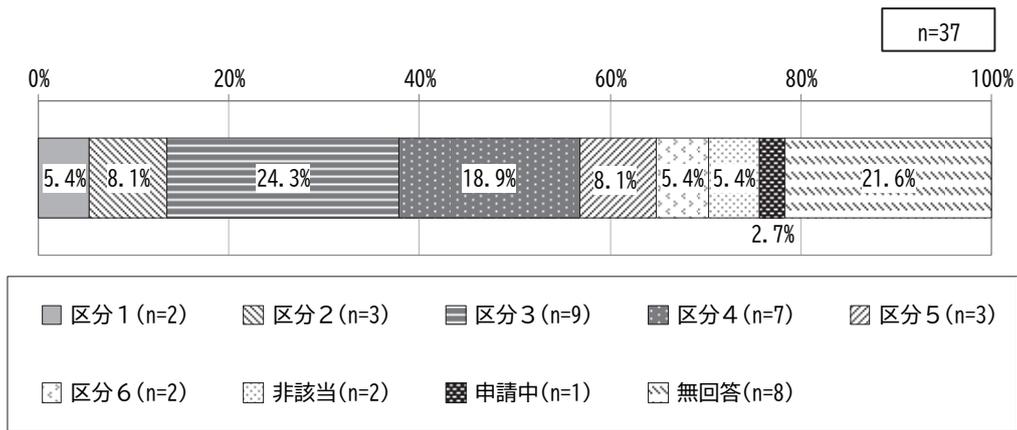
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が9.7%となっています。また、障害支援区分では「区分3」が24.3%となっています。

■障害支援区分の認定



■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。（○は1つ）

主な介助者等については、「特に介助等は受けていない」が40.0%と最も多く、次いで「父母」が22.4%、「配偶者（夫または妻）」が15.3%となっています。

年齢	n	父母	配偶者（夫または妻）	兄弟姉妹	子ども（子どもの配偶者も含む）	ホームヘルパー	祖父母	近所の人、知人・友人	その他の親せき	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		全体	380	22.4%	15.3%	2.9%	1.8%	1.8%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	2.6%
10歳未満	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10～17歳	10	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%
18～19歳	7	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
20～29歳	45	48.9%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	8.9%
30～39歳	66	19.7%	15.2%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	48.5%	9.1%
40～49歳	89	25.8%	15.7%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	41.6%	13.5%
50～59歳	78	15.4%	17.9%	3.8%	2.6%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	46.2%	10.3%
60～64歳	25	4.0%	20.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	52.0%	12.0%
65歳以上	52	1.9%	19.2%	9.6%	9.6%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	28.8%	21.2%

【問4で1～10に○をつけた方にお聞きします】

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

どのようなときに介助等を受けているかについては、「書類等の手続きのとき」が63.3%と最も多く、次いで「通院するとき」が55.0%となっています。

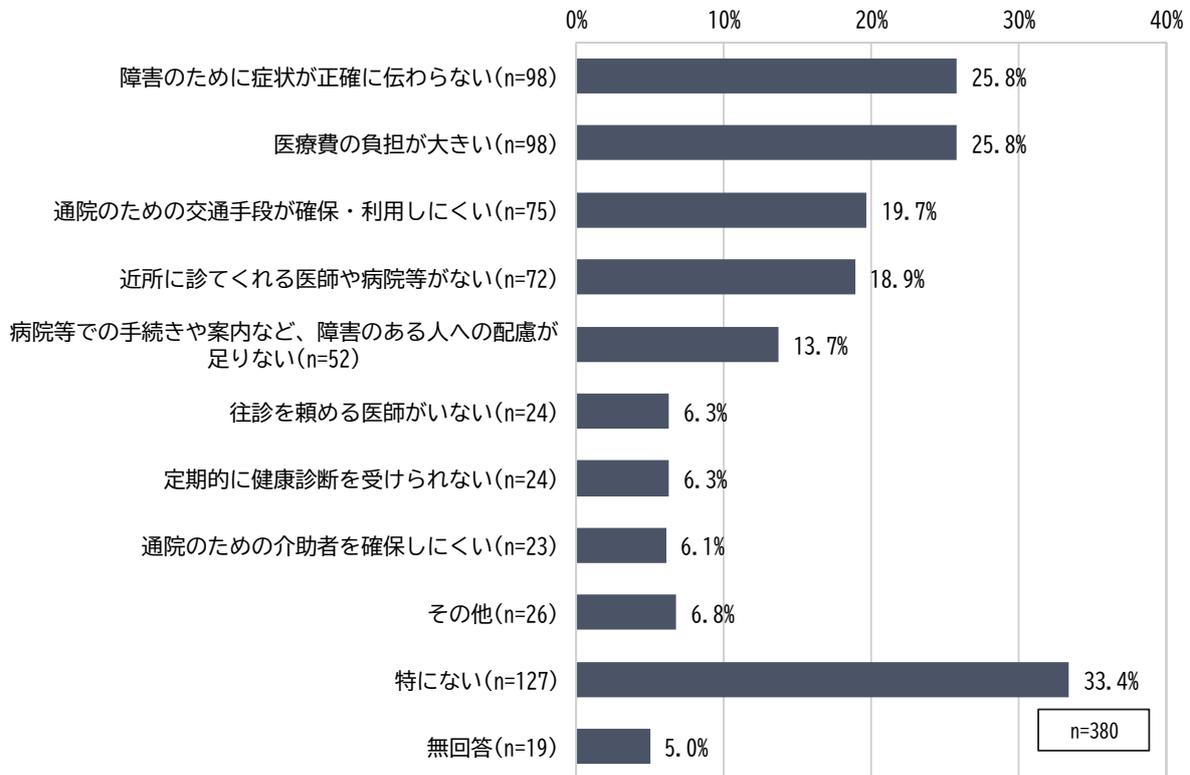
	n	書類等の手続きのとき	通院するとき	お金の管理をするとき	外出するとき	洗濯、掃除をするとき	見守りが必要な状態のとき	人とコミュニケーションをとるとき	服薬のとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	家の中を移動するとき	医療的ケア（経管栄養、痰の吸引等）の対応のとき	その他	無回答
全体	180	63.3%	55.0%	50.0%	42.2%	40.6%	35.0%	31.1%	30.0%	25.0%	7.8%	3.9%	4.4%	2.2%

《健康状態や医療について》

【ここからは、全員にお聞きします】

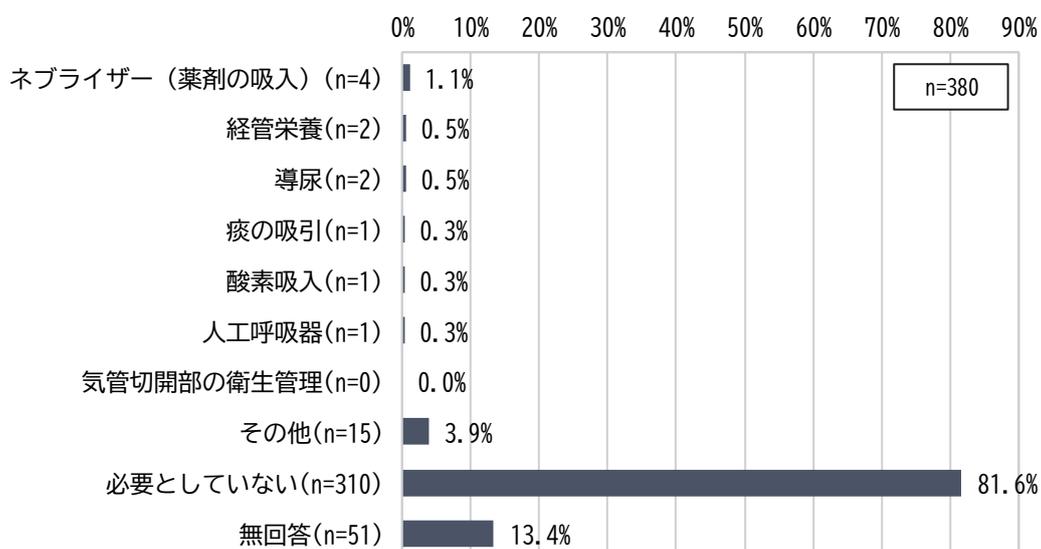
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「特にない」が33.4%と最も多く、次いで「障害のために症状が正確に伝わらない」、「医療費の負担が大きい」がそれぞれ25.8%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

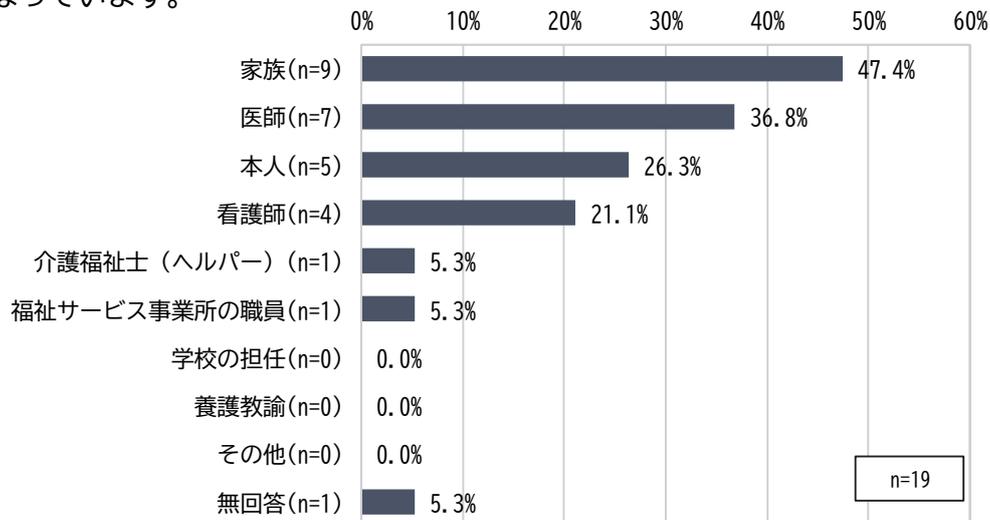
医療的ケアを必要としている方については、「ネブライザー（薬剤の吸入）」が1.1%と最も多く、次いで「経管栄養」、「導尿」がそれぞれ0.5%となっています。



〔問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします〕

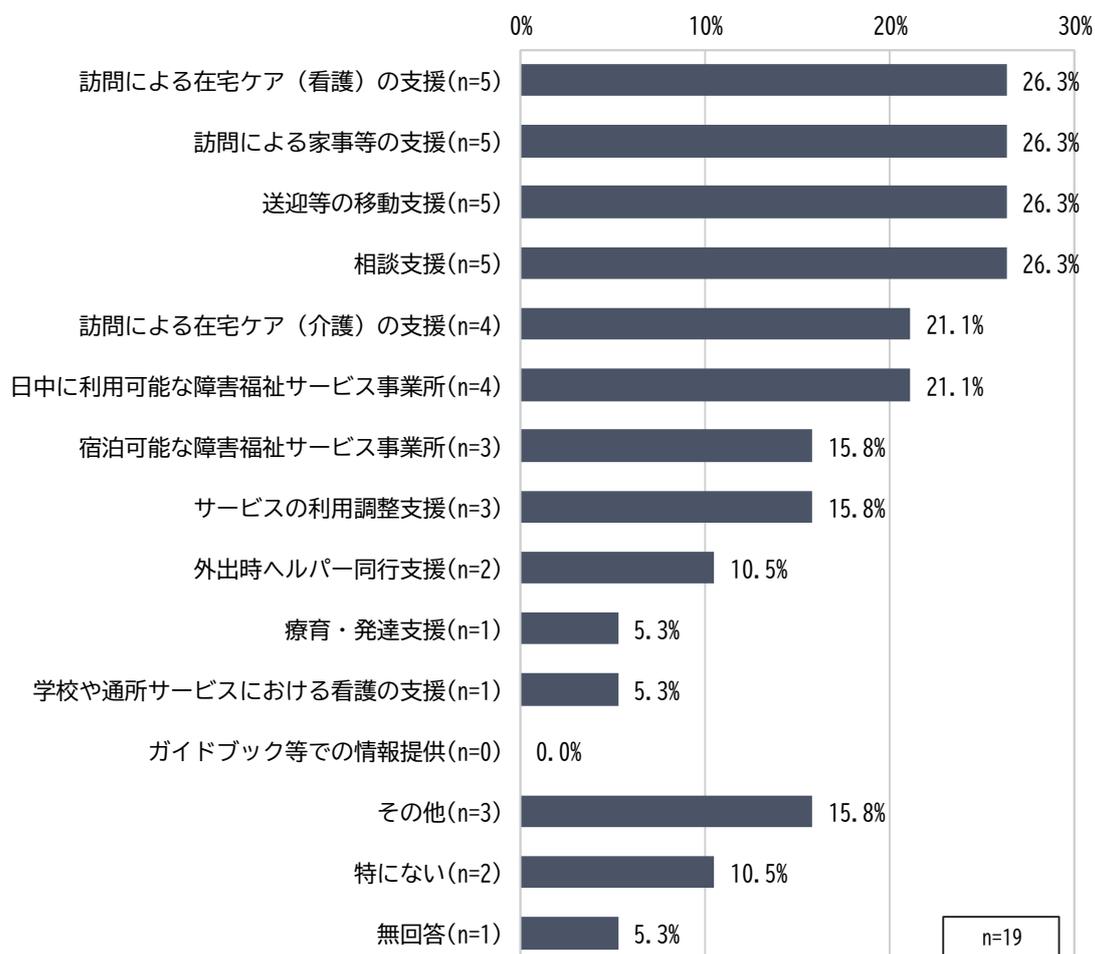
問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が47.4%と最も多く、次いで「医師」が36.8%となっています。



問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方のうち、日常生活を送る上で必要な支援については、「訪問による在宅ケア（看護）の支援」、「訪問による家事等の支援」、「送迎等の移動支援」、「相談支援」がそれぞれ26.3%と最も多くなっています。

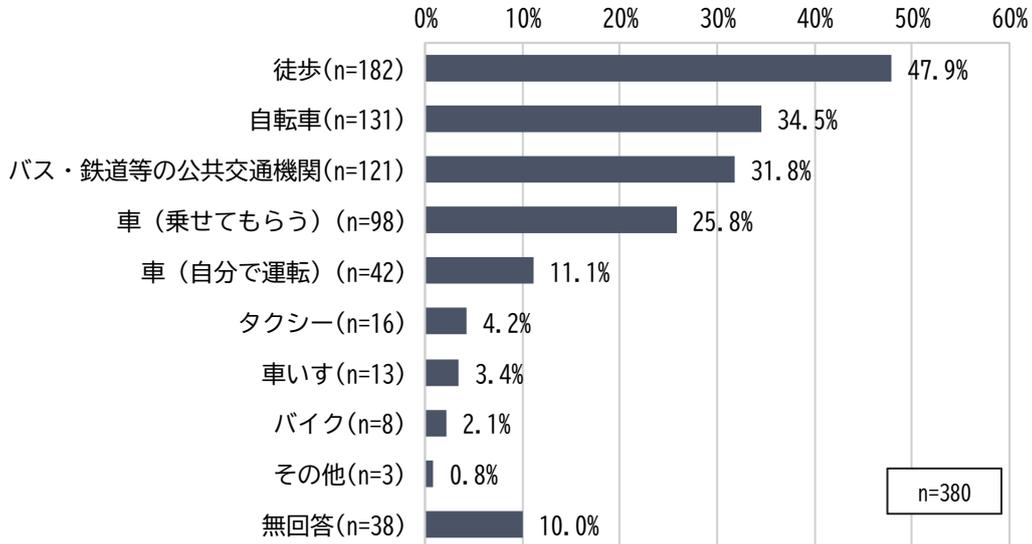


《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

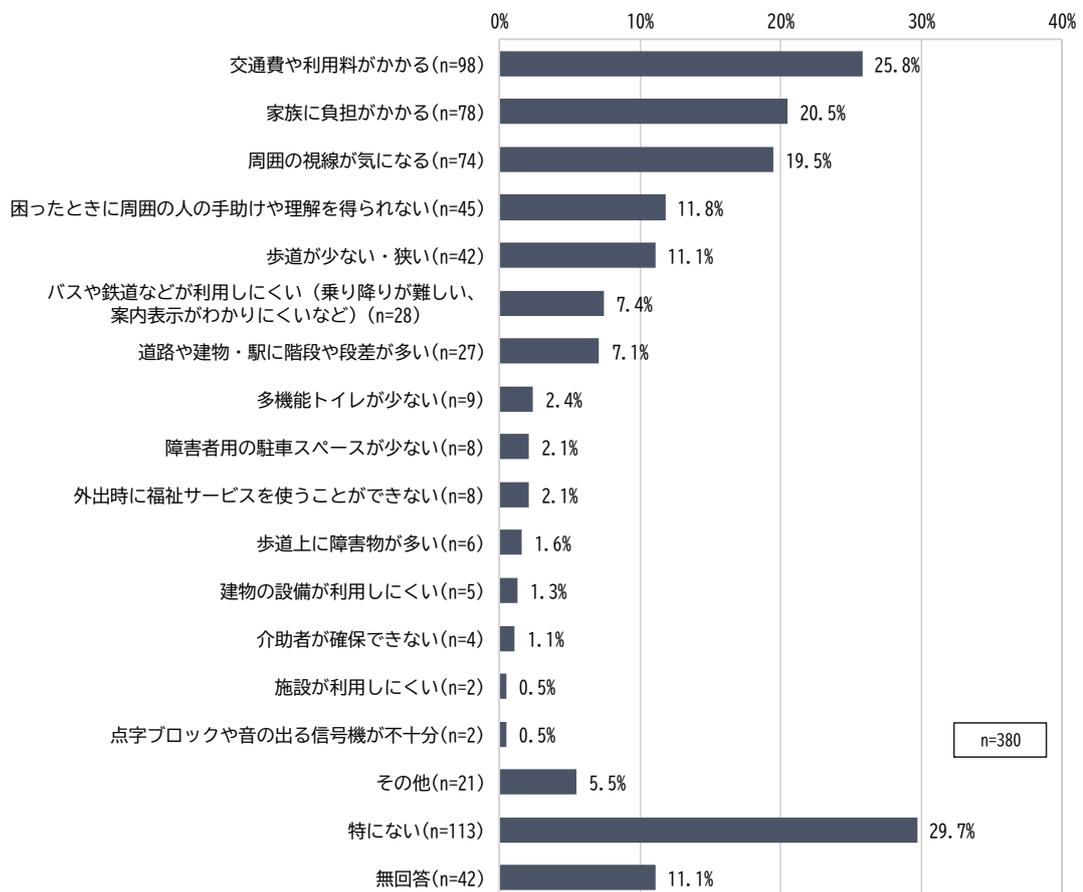
問10 外出の主な手段は何ですか。(〇は2つまで)

外出の主な手段については、「徒歩」が47.9%と最も多く、次いで「自転車」が34.5%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「特にない」が29.7%と最も多く、次いで「交通費や利用料がかかる」が25.8%、「家族に負担がかかる」が20.5%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

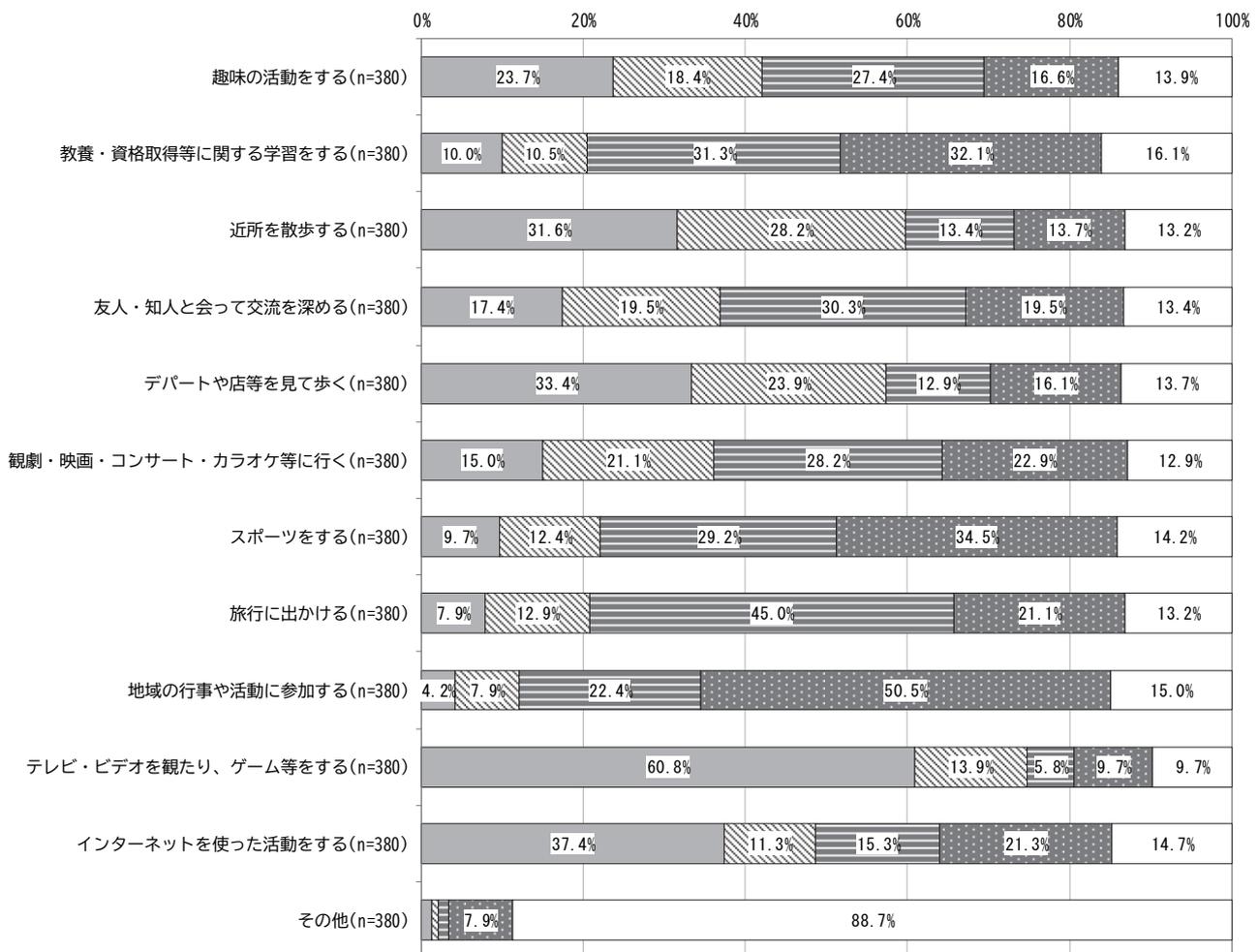
R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
外出するとお金がかかる	35.6%	特にない	29.7%
特に困っていることはない	29.7%	交通費や利用料がかかる	25.8%
周囲の視線が気になる	27.1%	家族に負担がかかる	20.5%
家族に負担がかかる	23.3%	周囲の視線が気になる	19.5%
自動車や自転車がなくて危険を感じる	13.1%	困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	11.8%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が60.8%と最も多く、次いで「インターネットを使った活動をする」が37.4%となっています。

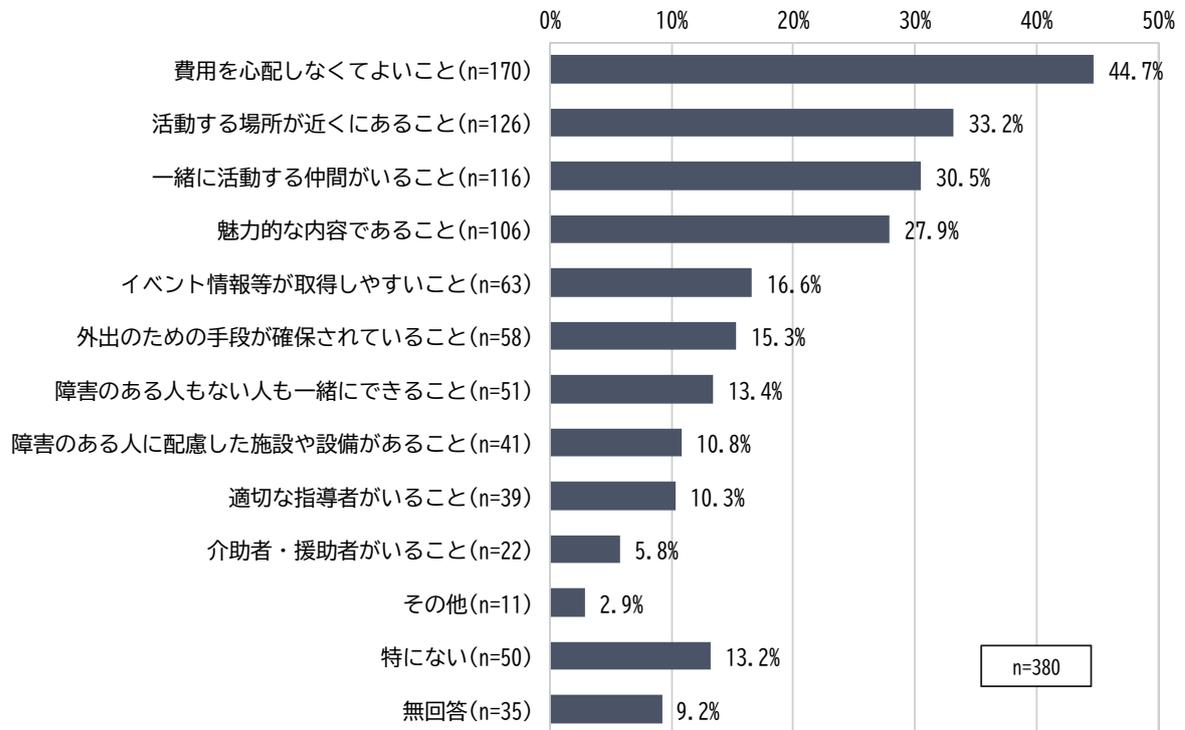
また、機会はないが、ほしいと思う活動については、「旅行に出かける」が45.0%と最も多く、次いで「教養・資格取得等に関する学習をする」が31.3%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ▩ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「費用を心配しなくてよいこと」が44.7%と最も多く、次いで「活動する場所が近くにあること」が33.2%となっています。



《日中の過ごし方について》

問14 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

日中の過ごし方については、「家で過ごしている」が59.5%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしている(福祉的就労を含む)」が23.4%となっています。

年齢(3区分)	n	家で過ごしている	収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)	家の仕事を手伝っている	障害者の通所施設・事業所に通っている	求職活動をしている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	病院等(デイケア等)で過ごしている	幼稚園や保育所、学校等に通っている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	入所施設で過ごしている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	その他	無回答
		全体	380	59.5%	23.4%	11.6%	10.5%	5.5%	3.7%	3.4%	3.2%	1.8%	1.3%	1.1%
18歳未満	11	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18~64歳	310	59.4%	27.4%	11.9%	12.3%	6.1%	0.3%	3.5%	0.6%	1.9%	1.3%	1.0%	3.2%	2.6%
65歳以上	52	67.3%	5.8%	11.5%	1.9%	0.0%	25.0%	3.8%	0.0%	1.9%	1.9%	1.9%	3.8%	5.8%

■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
家庭内で過ごしている	52.5%	家で過ごしている	59.5%
収入を伴う仕事をしている	28.4%	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	23.4%
家の仕事を手伝っている	15.3%	家の仕事を手伝っている	11.6%
通所サービスを利用している	8.5%	障害者の通所施設・事業所に通っている	10.5%
施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けている	7.6%	求職活動をしている	5.5%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《幼稚園や保育所、学校などについて》

【問15～17は、問14で「1. 幼稚園や保育所、学校等に通っている」に○をつけた方にお聞きします】

問15 主に通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育所、学校等に通っている人の通園通学先については、12件中「小学校、中学校、高等学校」が5件と最も多く、次いで「特別支援学級」、「特別支援学校」がそれぞれ2件となっています。

n=12	小学校、中学校、高等学校	特別支援学級	特別支援学校	短大・大学・大学院	幼稚園、保育所	障害児通所支援事業所	専門学校・専修学校・高等技術専門学校等	その他	無回答
	5	2	2	1	0	0	0	0	2

問16 学校で勉強する場合にどのような学習形態を望みますか。(○は1つ)

学校で勉強する場合の学習形態については、12件中「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」が5件と最も多く、次いで「同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい」が3件となっています。

n=12	障害のある仲間とも勉強したい	同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい	障害のある仲間と勉強したい	わからない	その他	無回答
	5	3	0	2	0	2

問17 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることについては、12件中「授業についていけない」が5件と最も多く、次いで「通うための交通手段が確保・利用しにくい」、「特にない」がそれぞれ4件となっています。

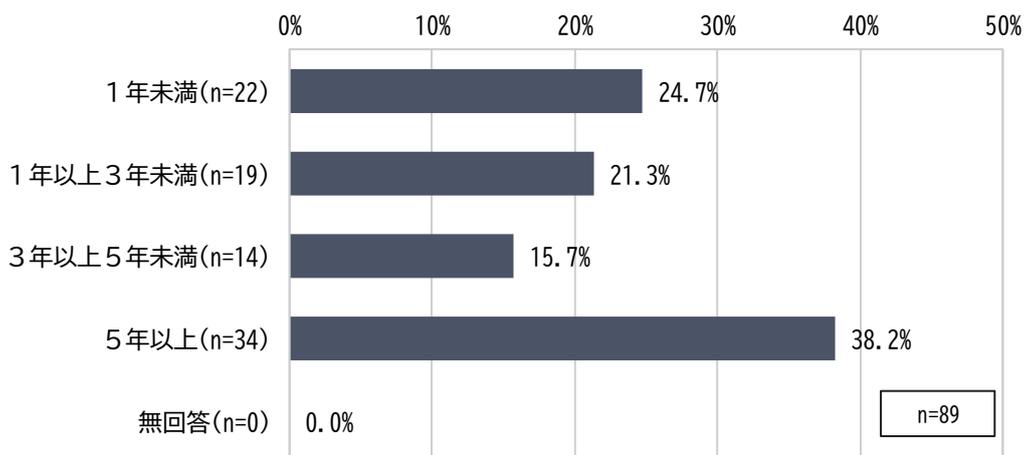
n=12	授業についていけない	通うための交通手段が確保・利用しにくい	家族の同伴を求められる	通うための介助者を確保しにくい	友だちができない	教職員の理解が得られない	学校の数が少ない	トイレなどの設備が不十分	児童・生徒の理解が得られない	受け入れてくれる学校がない	校内・園内での支援が不十分	医療的ケアが受けられない	通常の学級に入れない	その他	特にない	無回答
	5	4	3	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	4	2

《雇用・就労について》

[問18~21は、問14で「2. 収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」に○をつけた方にお聞きします]

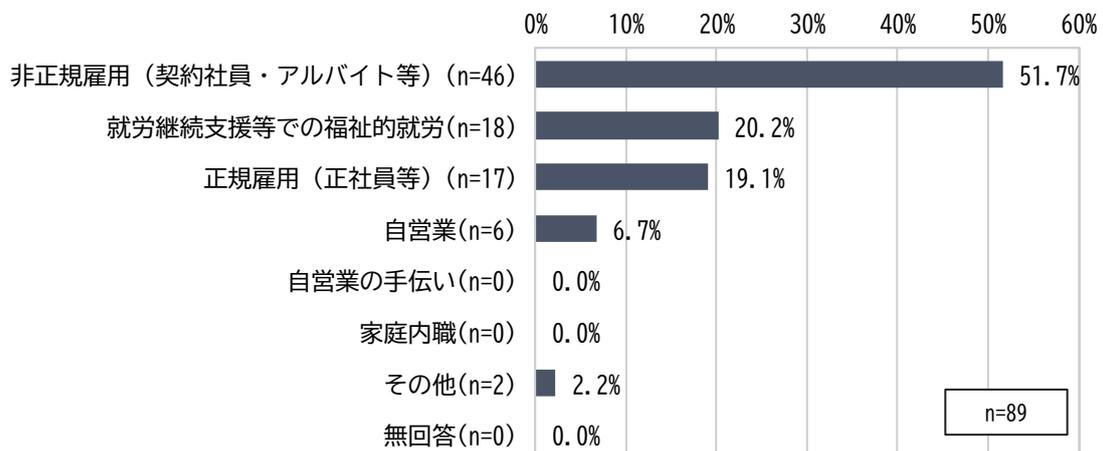
問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「5年以上」が38.2%と最も多く、次いで「1年未満」が24.7%となっています。



問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「非正規雇用(契約社員・アルバイト等)」が51.7%と最も多く、次いで「就労継続支援等での福祉的就労」が20.2%となっています。

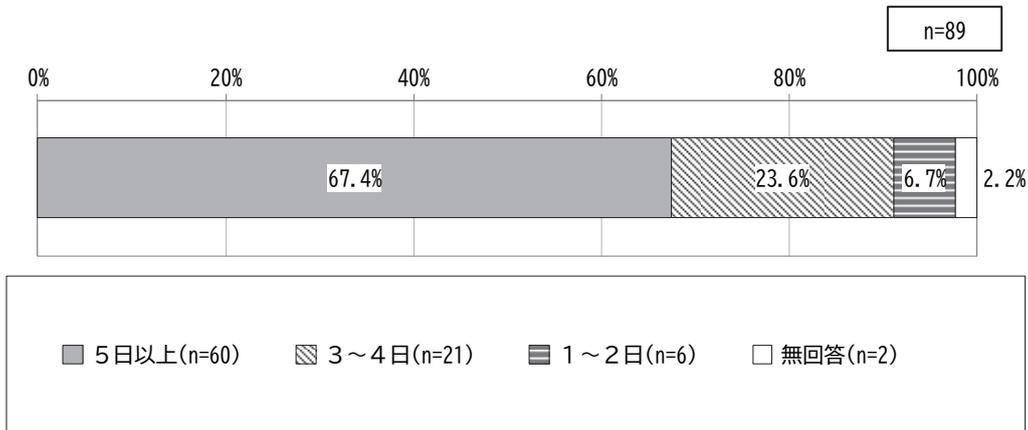


問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。((1)(2)それぞれ○は1つ)

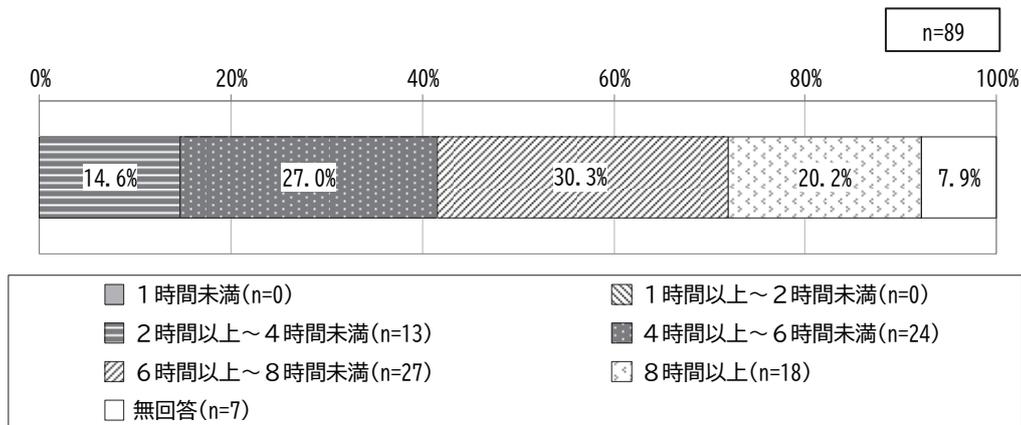
1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が67.4%と最も多く、次いで「3～4日」が23.6%となっています。

1日あたりの就労時間については、「6時間以上～8時間未満」が30.3%と最も多く、次いで「4時間以上～6時間未満」が27.0%となっています。

(1) 1週間あたり



(2) 1日あたり



問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

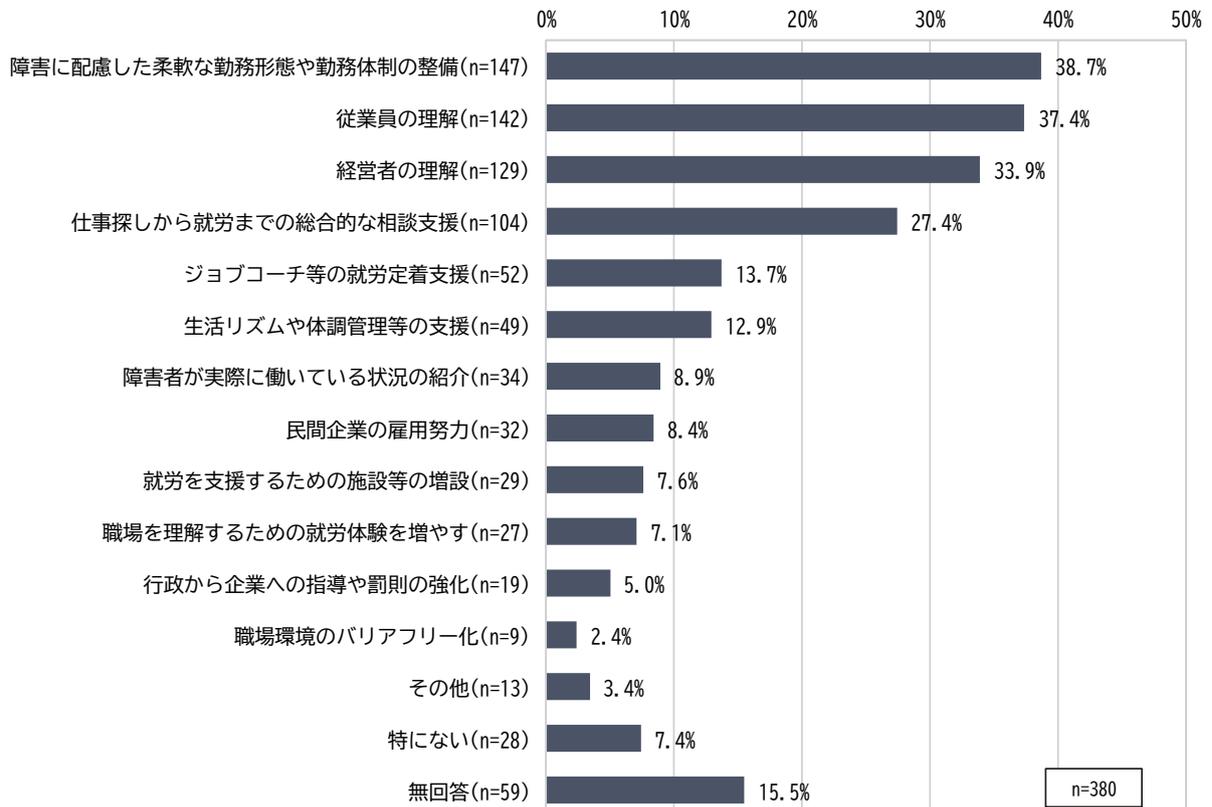
仕事をする上で困っていることについては、「収入が少ない」が53.9%と最も多く、次いで「体調のコントロールが難しい」が51.7%となっています。

就労形態	n	収入が少ない	体調のコントロールが難しい	職場の人間関係	通勤が大変	コミュニケーションができない	職場の理解が得られない	仕事がついつい	業務内容が合わない	能力を發揮できない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	就業時間が合わない	その他	特にない	無回答
		全体	89	53.9%	51.7%	29.2%	24.7%	23.6%	15.7%	14.6%	14.6%	12.4%	3.4%	2.2%	3.4%
正規雇用(正社員等)	17	41.2%	52.9%	47.1%	52.9%	29.4%	41.2%	23.5%	35.3%	29.4%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	0.0%
非正規雇用(契約社員・アルバイト等)	46	52.2%	45.7%	28.3%	23.9%	30.4%	13.0%	13.0%	13.0%	10.9%	6.5%	4.3%	4.3%	15.2%	0.0%
自営業	6	83.3%	83.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	18	61.1%	55.6%	27.8%	5.6%	5.6%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%

[ここからは、全員にお聞きします]

問22 障害のある人の就労を促進するために、あなたはどのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が38.7%と最も多く、次いで「従業員の理解」が37.4%となっています。



問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が42.6%と最も多く、次いで「わからない・答えたくない」が16.3%、「年収100万円以上150万円未満」が14.7%となっています。

	n	年収100万円未満	年収100万円以上150万円未満	年収150万円以上200万円未満	年収200万円以上300万円未満	年収300万円以上500万円未満	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
全体	380	42.6%	14.7%	5.5%	4.2%	2.6%	1.3%	16.3%	12.6%
就労形態									
正規雇用（正社員等）	17	5.9%	5.9%	17.6%	11.8%	29.4%	23.5%	5.9%	0.0%
非正規雇用（契約社員・アルバイト等）	46	37.0%	32.6%	10.9%	6.5%	2.2%	0.0%	6.5%	4.3%
自営業	6	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	18	88.9%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
主な収入									
給与・賃金	90	40.0%	22.2%	11.1%	6.7%	6.7%	4.4%	7.8%	1.1%
事業収入	7	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
就労継続支援施設や作業所の工賃	13	84.6%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
家族の収入（仕送り・援助含む）	151	60.3%	8.6%	3.3%	2.0%	1.3%	0.7%	16.6%	7.3%
年金	45	37.8%	17.8%	4.4%	15.6%	0.0%	0.0%	17.8%	6.7%
障害年金	153	46.4%	20.9%	2.0%	3.3%	0.0%	0.0%	16.3%	11.1%
生活保護	50	20.0%	24.0%	4.0%	2.0%	0.0%	0.0%	34.0%	16.0%

問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

生活を支えている収入については、「障害年金」が40.3%と最も多く、次いで「家族の収入（仕送り・援助含む）」が39.7%となっています。

年齢（3区分）	n	障害年金	家族の収入（仕送り・援助含む）	給与・賃金	生活保護	年金	就労継続支援施設や作業所の工賃	事業収入	その他	無回答
		全体	380	40.3%	39.7%	23.7%	13.2%	11.8%	3.4%	1.8%
18歳未満	11	0.0%	63.6%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%
18～64歳	310	42.6%	43.2%	28.1%	13.2%	3.9%	3.5%	1.6%	8.4%	4.8%
65歳以上	52	34.6%	15.4%	1.9%	11.5%	63.5%	1.9%	3.8%	3.8%	1.9%

《今後の希望について》

問25 近い将来（今後3年以内）に、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）に、どこで暮らしたいと思うかについては、「家族と一緒に暮らしたい」が58.4%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」が17.9%となっています。

生活場所	n	家族と一緒に暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	共同生活する住居（障害者グループホーム等）で暮らしたい	高齢者施設で暮らしたい	障害者施設で暮らしたい	その他	無回答
		全体	380	58.4%	17.9%	2.9%	1.1%	0.8%
本人または家族の持ち家	246	65.0%	17.9%	2.8%	1.2%	0.8%	4.1%	8.1%
民間の賃貸住宅	106	48.1%	19.8%	1.9%	0.0%	0.0%	22.6%	7.5%
公営の賃貸住宅	14	50.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	21.4%	21.4%
障害者グループホーム	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
障害者の入所施設	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
高齢者施設（特養等）	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
病院に入院中	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問26 近い将来（今後3年以内）に、あなたは日中を主にどのように過ごしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）の日中の過ごし方については、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が39.2%と最も多く、次いで「家庭内で過ごしたい」が20.3%となっています。

日中の過ごし方	n	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	家庭内で過ごしたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	家の仕事を手伝いたい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	障害者の入所施設で過ごしたい	ボランティアなどをしたい	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	その他	無回答
		全体	380	39.2%	20.3%	4.7%	2.9%	2.6%	2.4%	2.1%	2.1%	1.8%	1.1%	0.5%
幼稚園や保育所、学校等に通っている	12	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	89	65.2%	5.6%	7.9%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	9.0%	9.0%
無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	40	40.0%	0.0%	2.5%	22.5%	2.5%	2.5%	2.5%	5.0%	2.5%	5.0%	0.0%	5.0%	10.0%
高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	14	7.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	21.4%
入所施設で過ごしている	5	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
病院等（デイケア等）で過ごしている	13	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%
創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	7	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
求職活動をしている	21	76.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	9.5%
家の仕事を手伝っている	44	36.4%	9.1%	4.5%	2.3%	15.9%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	2.3%	20.5%
家で過ごしている	226	33.2%	30.5%	4.9%	2.2%	2.2%	1.3%	0.9%	3.1%	2.2%	0.9%	0.0%	8.0%	10.6%

■前回調査（R1）比較

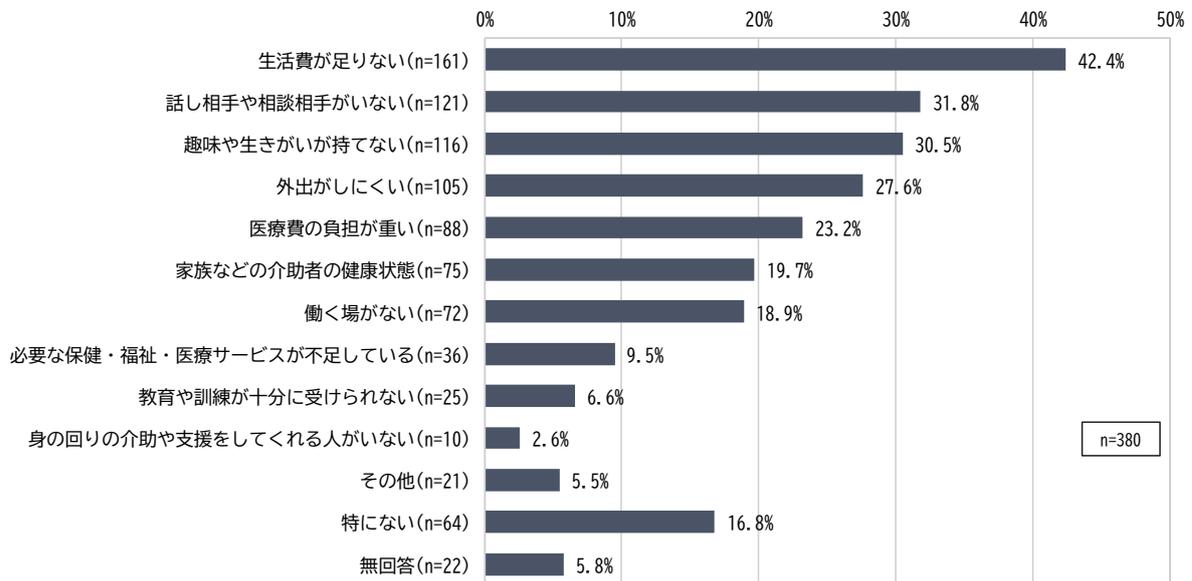
R1 調査（前回）		R4 調査（今回）	
家庭内で過ごしたい	38.1%	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	39.2%
一般企業などで働きたい	32.6%	家庭内で過ごしたい	20.3%
施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい/家の仕事を手伝いたい	13.1%	その他	8.2%
わからない	12.7%	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	4.7%
自立した日常生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための必要な訓練を受けたい	11.9%	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	2.9%

※今回（R4）調査と前回（R1）調査で、選択肢が異なる部分があります。

《相談や情報入手について》

問27 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「生活費が足りない」が42.4%と最も多く、次いで「話し相手や相談相手がない」が31.8%となっています。



問28 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

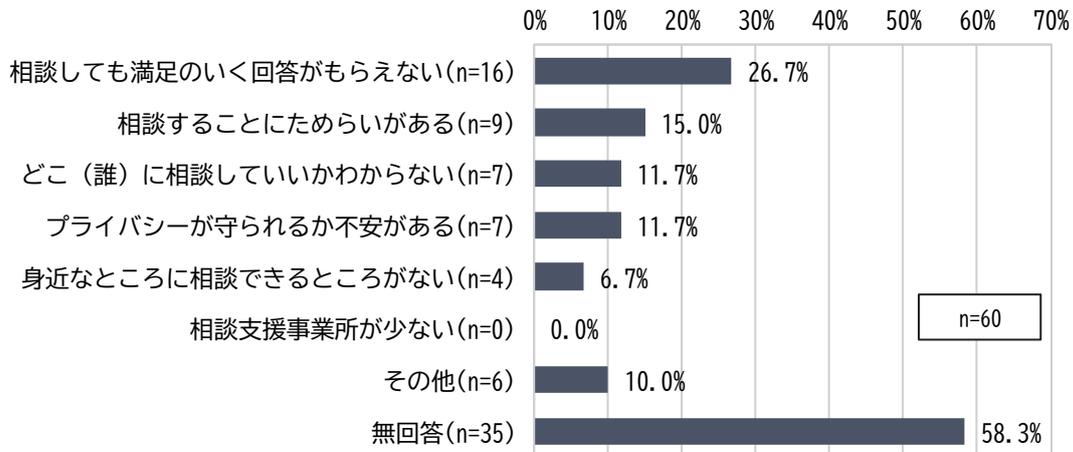
悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談するかについては、「家族や親せき」が60.3%と最も多く、次いで「病院・医師・看護師」が37.4%となっています。

年齢	n	家族や親せき	病院・医師・看護師	近所の人、知人・友人	障害者施設や事業所の職員	インターネット上のコミュニティ	川崎市障害者総合相談支援センター	相談支援事業所	国・県・市などの相談窓口	職場の仲間	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	身体障害者・知的障害者相談員	ボランティア	障害者団体や家族会	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	医療的ケア児等コーディネーター	その他	相談したいが、できない	相談したいと思わない	無回答	
		全体	380	60.3%	37.4%	21.8%	13.7%	7.6%	7.4%	6.3%	4.7%	4.5%	2.1%	1.6%	1.3%	1.1%	0.8%	0.5%	0.0%	5.0%	15.8%	3.7%
10歳未満	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～17歳	10	50.0%	10.0%	30.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	
18～19歳	7	100.0%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
20～29歳	45	73.3%	37.8%	22.2%	15.6%	8.9%	15.6%	6.7%	2.2%	4.4%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	17.8%	4.4%	0.0%	
30～39歳	66	68.2%	43.9%	24.2%	21.2%	9.1%	9.1%	10.6%	4.5%	13.6%	3.0%	1.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	13.6%	1.5%	4.5%	
40～49歳	89	66.3%	46.1%	23.6%	12.4%	11.2%	6.7%	4.5%	4.5%	5.6%	1.1%	0.0%	2.2%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	5.6%	19.1%	2.2%	2.2%	
50～59歳	78	43.6%	34.6%	17.9%	14.1%	3.8%	7.7%	5.1%	6.4%	1.3%	1.3%	3.8%	1.3%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	5.1%	21.8%	2.6%	2.6%	
60～64歳	25	40.0%	36.0%	32.0%	20.0%	0.0%	8.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	4.0%	12.0%	8.0%	
65歳以上	52	61.5%	26.9%	13.5%	5.8%	1.9%	0.0%	3.8%	5.8%	0.0%	5.8%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	11.5%	3.8%	5.8%	

【問28で「18. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問29 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

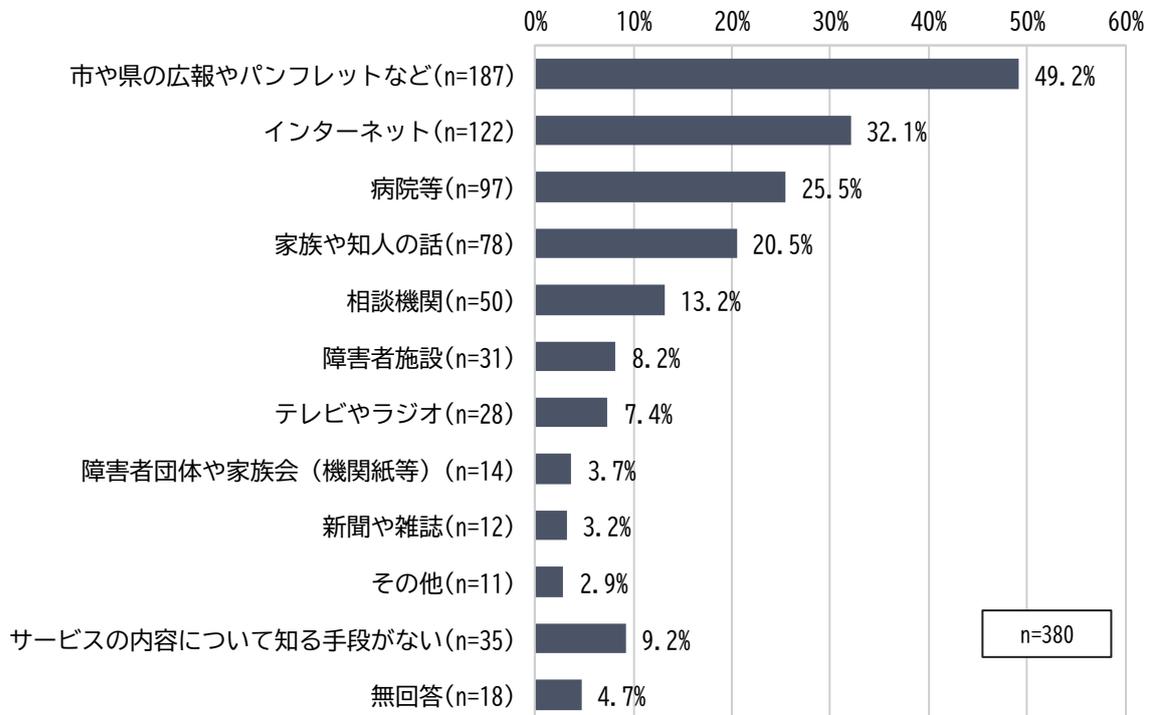
相談できない理由については、「相談しても満足いく回答がもらえない」が26.7%と最も多く、次いで「相談すること自体にためらいがある」が15.0%となっています。



【ここからは、全員にお聞きします】

問30 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が49.2%と最も多く、次いで「インターネット」が32.1%となっています。



問31 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が35.5%と最も多く、次いで「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が29.7%となっています。

		話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	複雑な文章表現がわかりにくい	どこを調べればよいかわからない	相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	相手の意思や情報を把握できない	希望している福祉サービスについての情報が少ない、内容がわかりにくい	パソコンやスマートフォンなどの操作がわからない	案内表示がわかりにくい	Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない	音声情報や点字など視覚障害に配慮した情報が少ない	文字情報やヒアリンググループなど聴覚障害に配慮した情報が少ない	手話通訳者がいない	要約筆記者がいない	その他	特になし	無回答
全体	n 380	35.5%	29.7%	28.2%	27.6%	23.7%	21.1%	17.1%	15.8%	8.4%	1.8%	0.5%	0.5%	0.3%	0.0%	4.2%	23.2%	7.6%

《福祉サービスについて》

問32 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。
サービス等を利用していない場合は、問33へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「就労継続支援B型」が21人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が76.2%となっています。次いで「就労移行支援」が15人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が46.2%となっています。

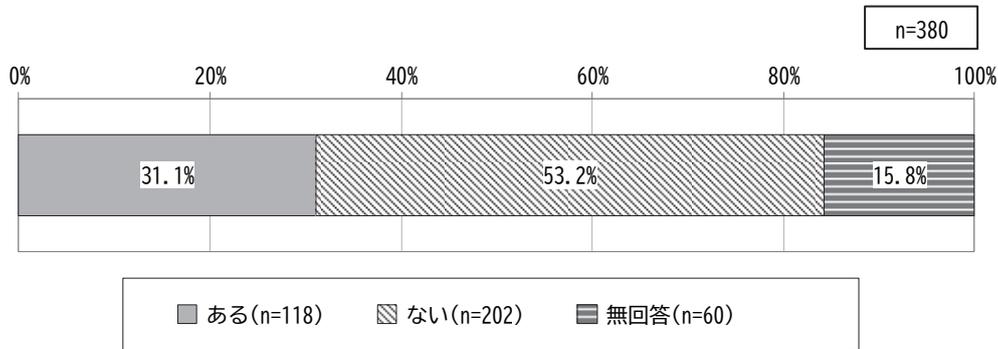
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
就労継続支援B型	21	76.2%	19.0%	4.8%
就労移行支援	15	46.2%	15.4%	38.5%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	10	90.0%	10.0%	0.0%
就労定着支援	10	40.0%	30.0%	30.0%
就労継続支援A型	8	85.7%	14.3%	0.0%
計画相談支援	8	100.0%	0.0%	0.0%
自立訓練（生活訓練）	7	66.7%	16.7%	16.7%
同行援護	6	66.7%	16.7%	16.7%
自立訓練（機能訓練）	6	75.0%	0.0%	25.0%
生活介護	5	60.0%	20.0%	20.0%
自立生活援助	5	100.0%	0.0%	0.0%
放課後等デイサービス	4	50.0%	50.0%	0.0%
短期入所（ショートステイ）	3	100.0%	0.0%	0.0%
施設入所支援	3	100.0%	0.0%	0.0%
行動援護	2	0.0%	100.0%	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	2	50.0%	50.0%	0.0%
障害児相談支援	2	100.0%	0.0%	0.0%
療養介護	1	100.0%	0.0%	0.0%
児童発達支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
重度訪問介護	0	-	-	-
重度障害者等包括支援	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
居宅訪問型児童発達支援	0	-	-	-
障害児入所支援(福祉型)	0	-	-	-
障害児入所支援(医療型)	0	-	-	-

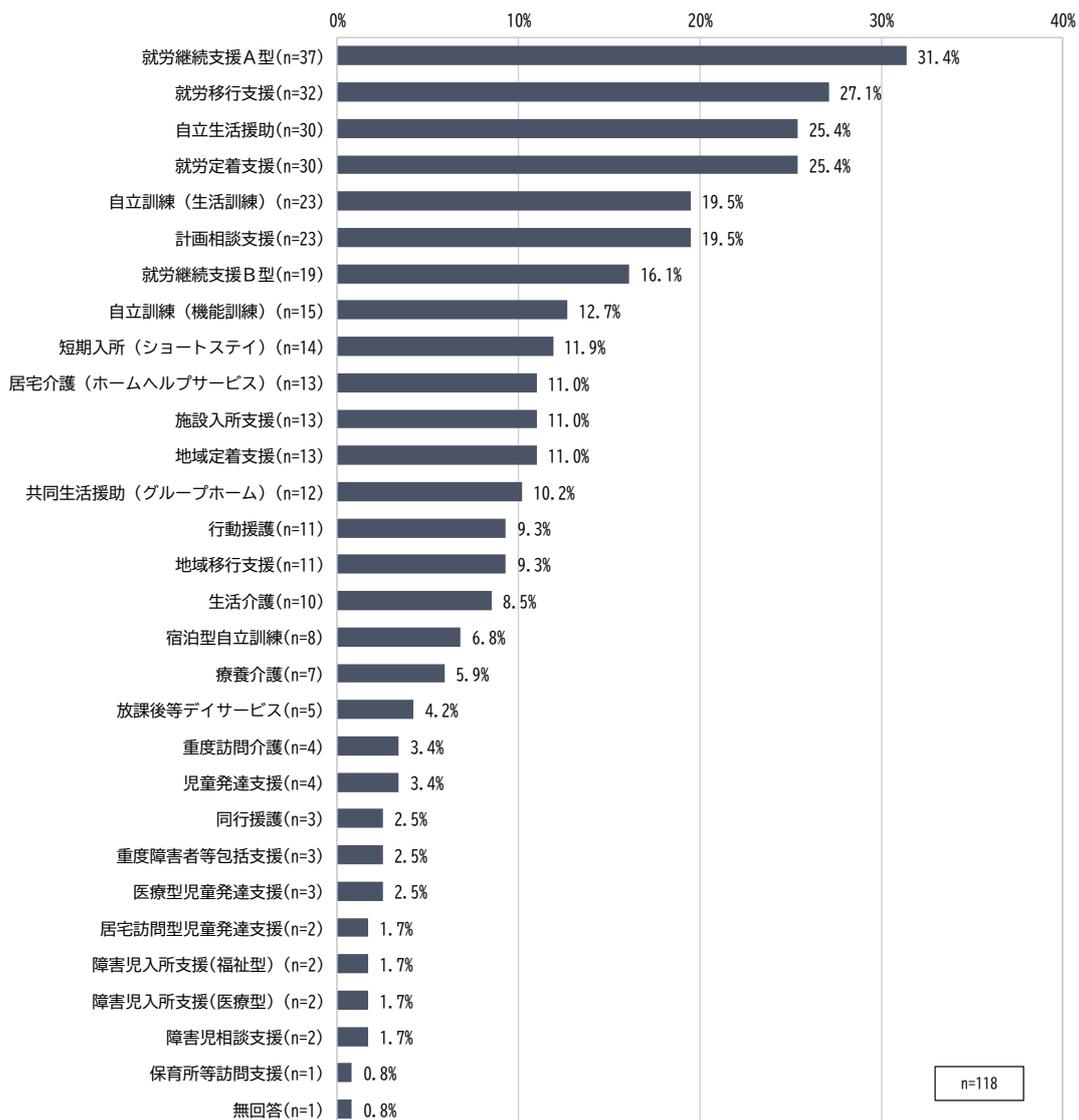
問33 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が31.1%、「ない」が53.2%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「就労継続支援A型」が31.4%と最も多く、次いで、「就労移行支援」が27.1%となっています。

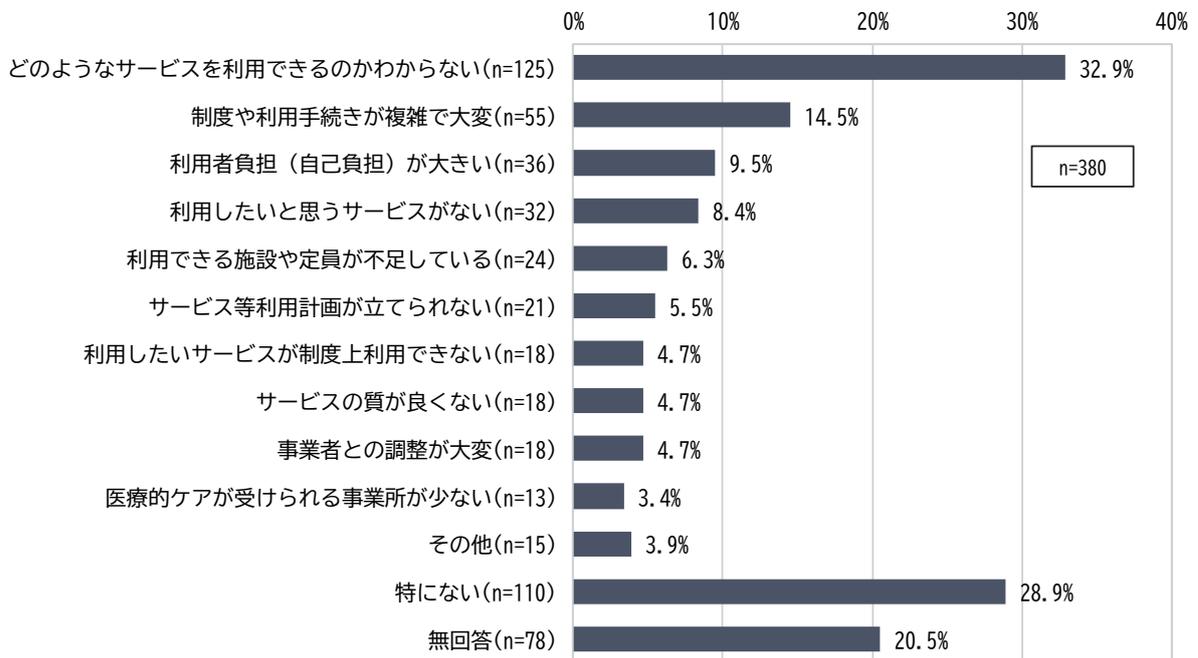


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



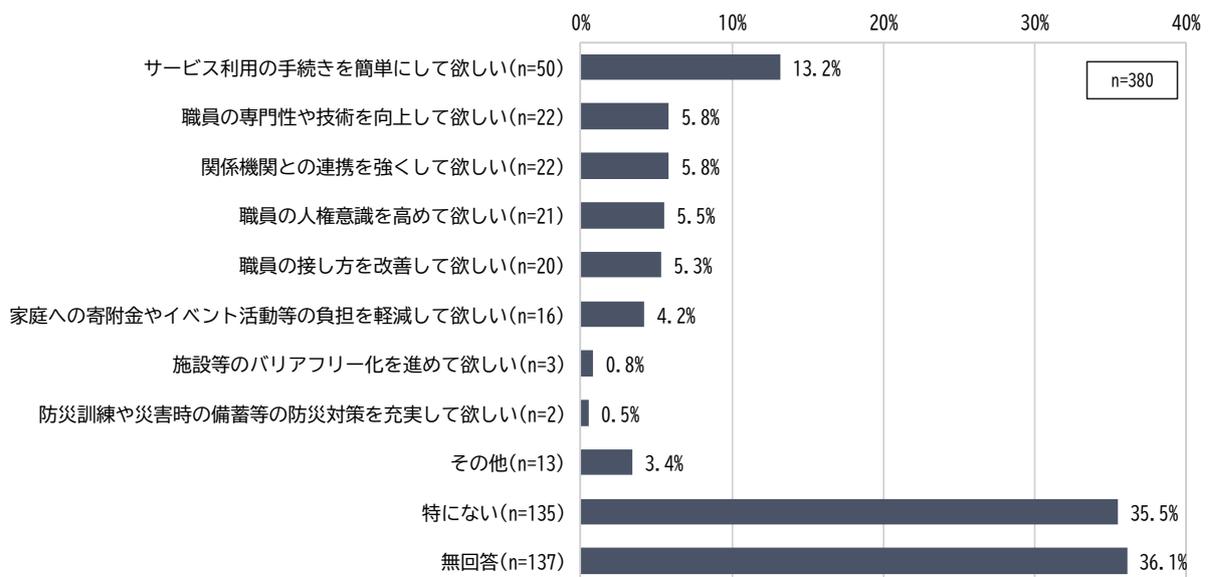
問34 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が32.9%と最も多く、次いで「特にない」が28.9%、「制度や利用手続きが複雑で大変」が14.5%となっています。



問35 障害（児）福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

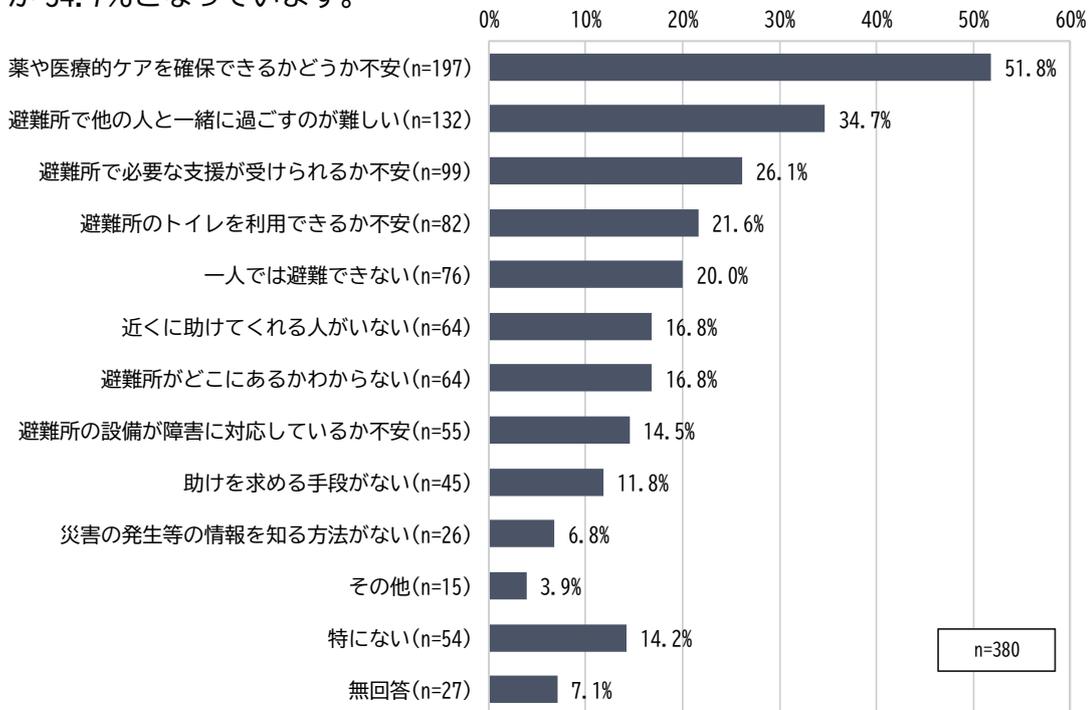
障害（児）福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が35.5%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にしたい」が13.2%、「職員の専門性や技術を向上して欲しい」、「関係機関との連携を強くして欲しい」がそれぞれ5.8%となっています。



《災害時の支援等について》

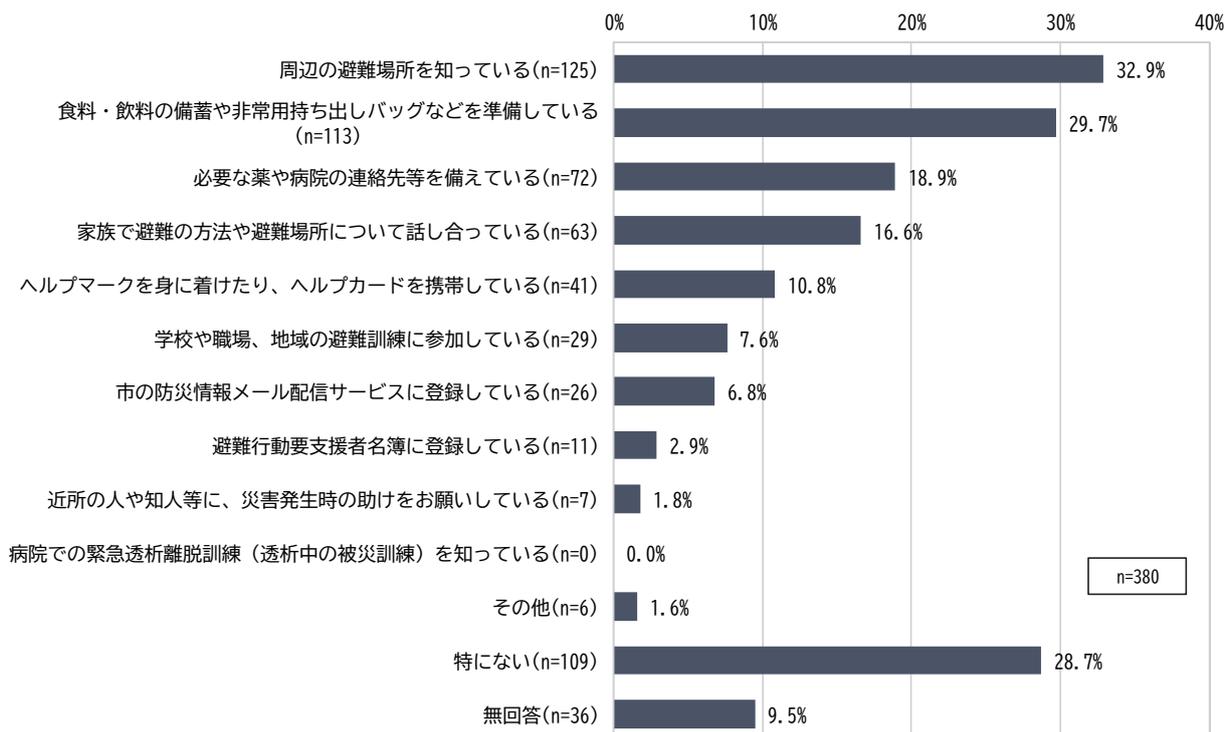
問36 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が51.8%と最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が34.7%となっています。



問37 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「周辺の避難場所を知っている」が32.9%と最も多く、次いで「食料・飲料の備蓄や非常用持ち出しバッグなどを準備している」が29.7%となっています。



問38 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(○は3つまで)

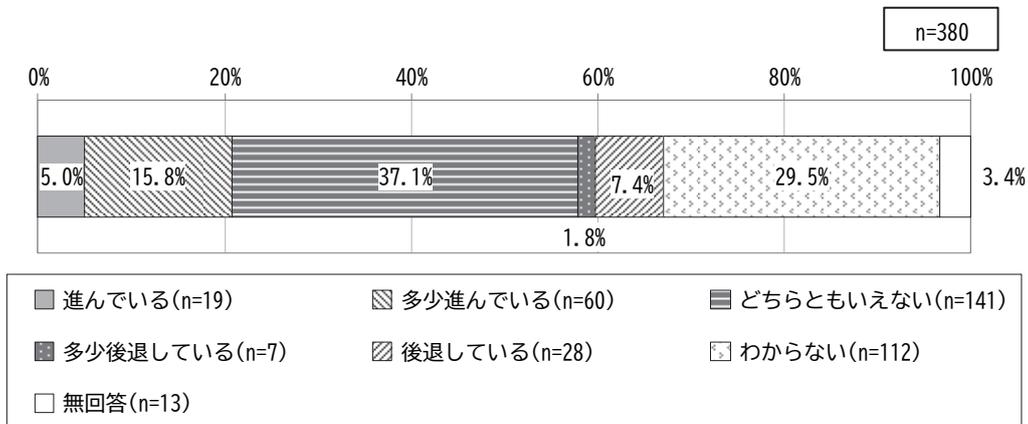
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「必要な医療的ケアを受けられる」が35.3%と最も多く、次いで「避難所でプライバシーが守られる」が28.4%となっています。

	n	必要な医療的ケアを受けられる	避難所でプライバシーが守られる	避難所の設備（トイレ等）を充実させる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	避難を手助けしてくれる	救助や避難時に声かけをしてくれる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	その他	特にない	無回答
全体	380	35.3%	28.4%	22.6%	20.3%	18.7%	16.6%	15.0%	11.6%	10.5%	10.3%	1.6%	1.6%	8.2%	13.7%

《障害者への理解や権利擁護について》

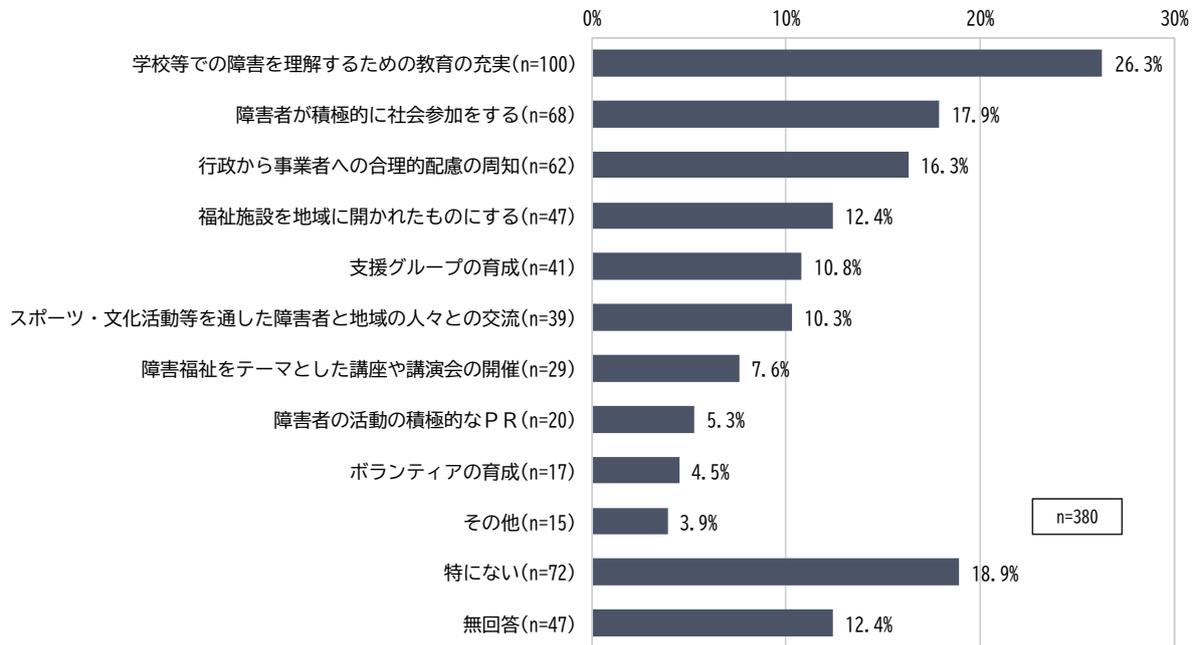
問39 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(○は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が37.1%と最も多く、「わからない」が29.5%となっています。



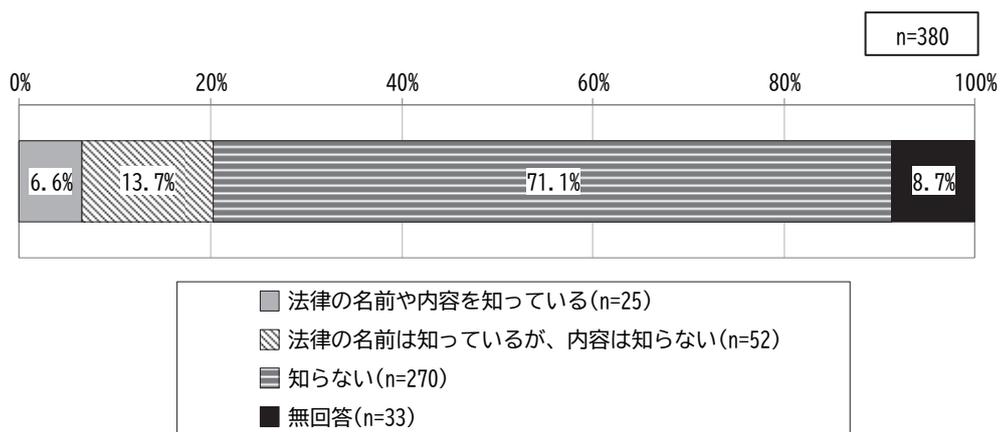
問40 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が26.3%と最も多く、次いで「特にない」が18.9%、「障害者が積極的に社会参加をする」が17.9%となっています。



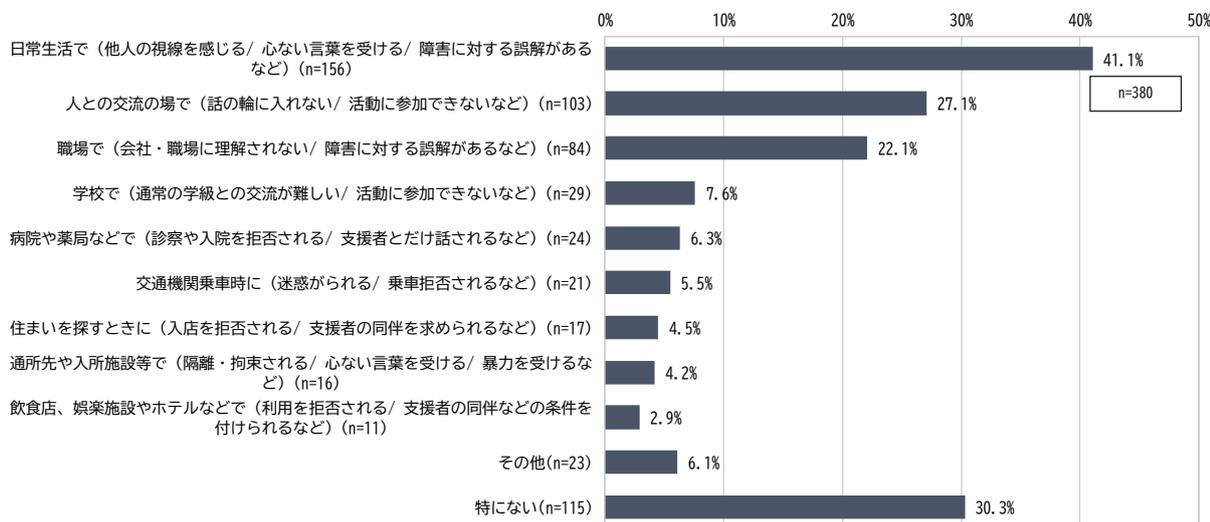
問41 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が71.1%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が13.7%となっています。



問42 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「日常生活で（他人の視線を感じる/ 心ない言葉を受ける/ 障害に対する誤解があるなど）」が41.1%と最も多く、次いで「特にない」が30.3%、「人との交流の場で（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）」が27.1%となっています。

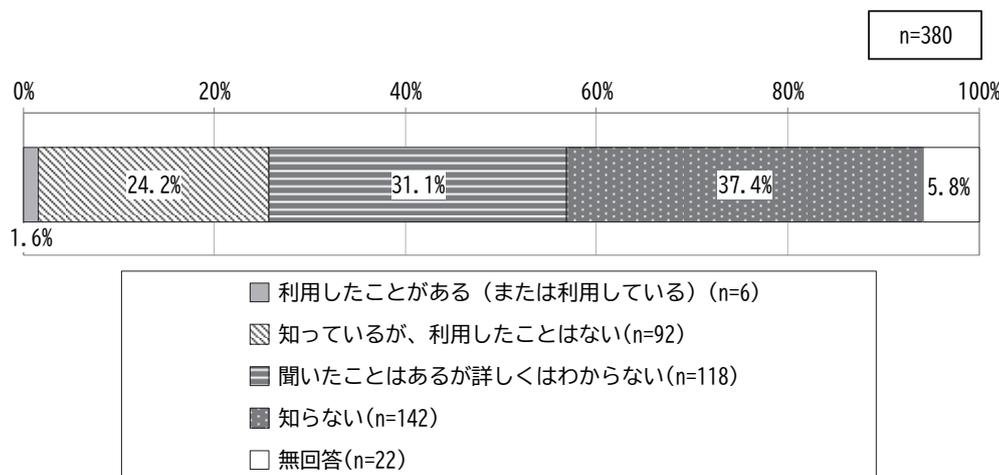


問43 経験したり、見聞きしたことのある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があったて助かったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問44 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

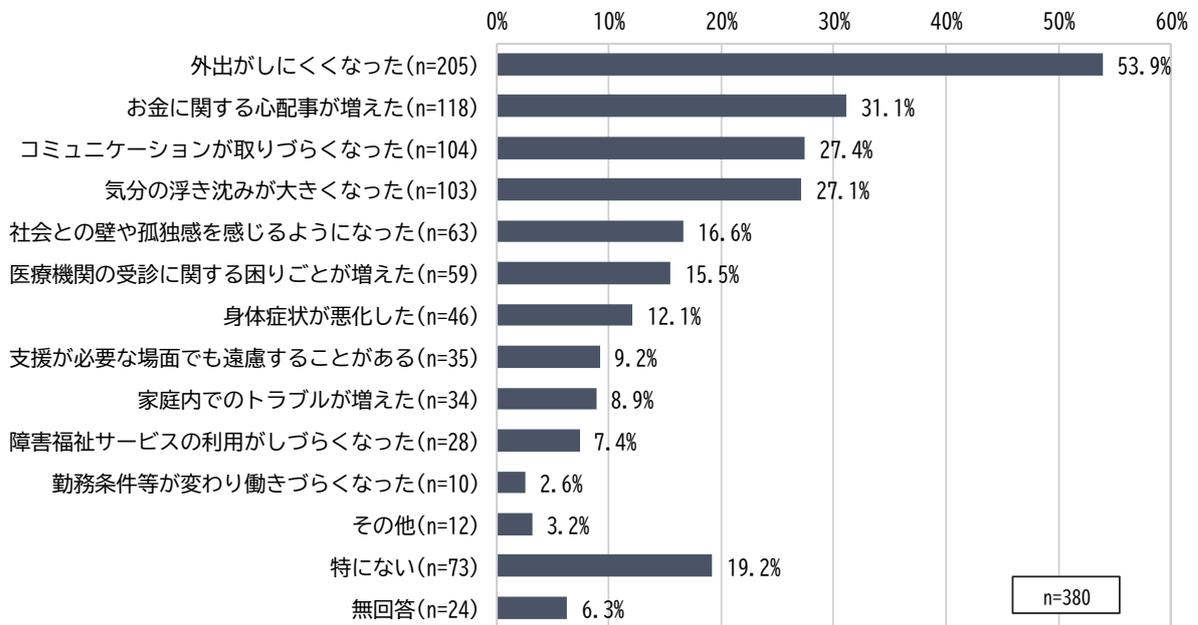
「成年後見制度」については、「知らない」が37.4%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が31.1%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

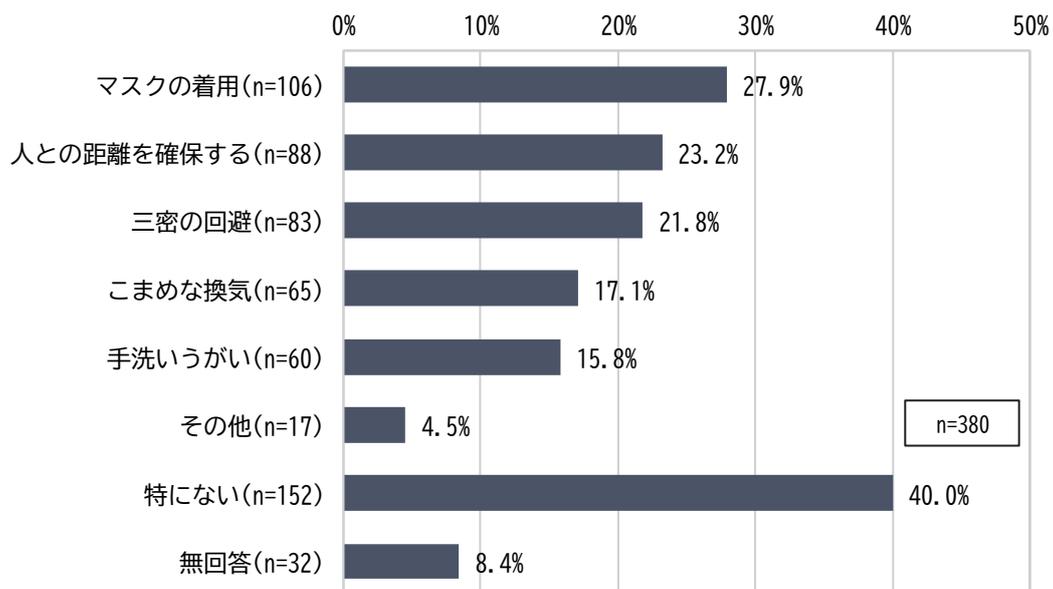
問45 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が53.9%と最も多く、次いで「お金に関する心配事が増えた」が31.1%となっています。



問46 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

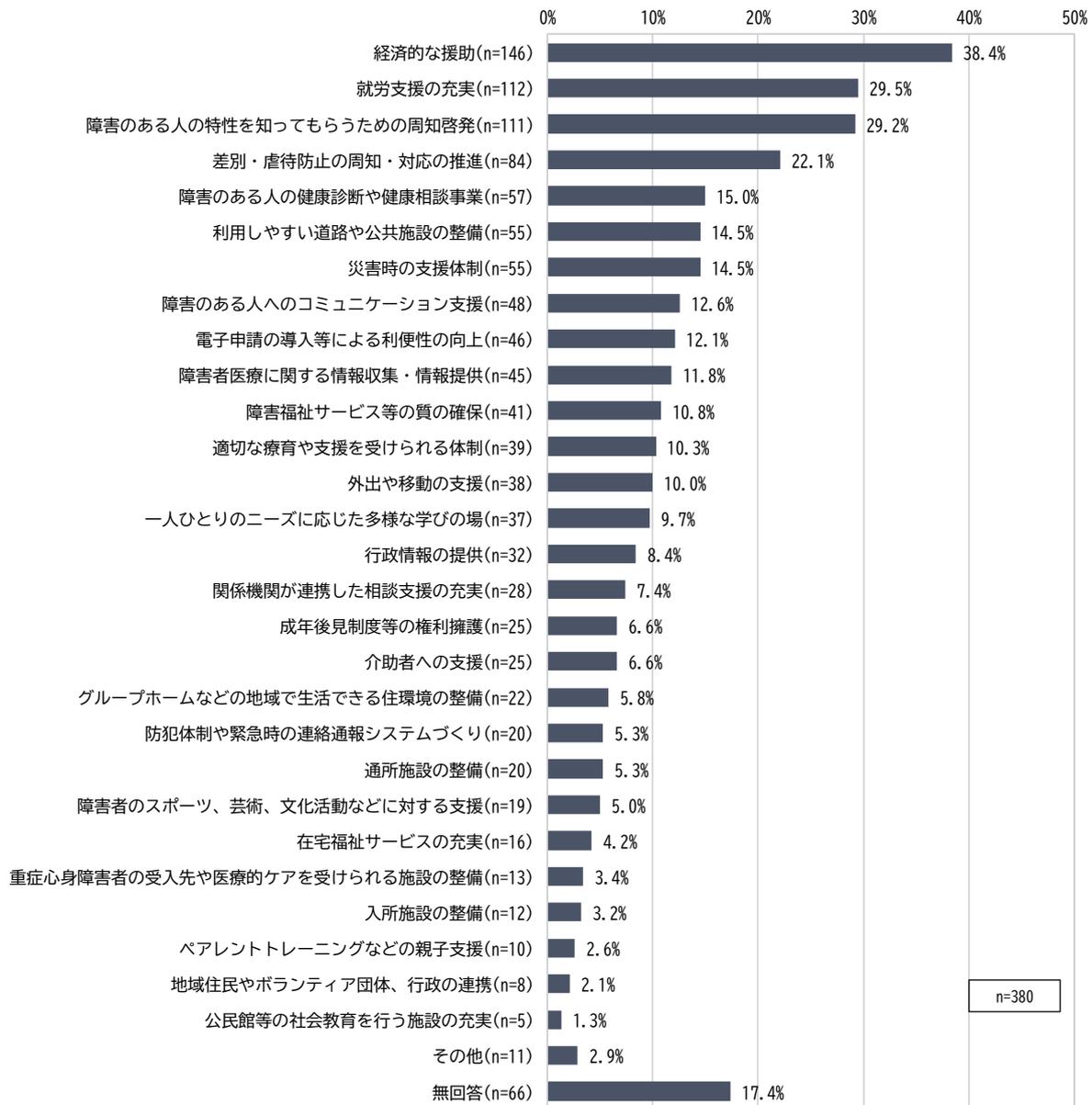
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「特にない」が40.0%と最も多く、次いで「マスクの着用」が27.9%、「人との距離を確保する」が23.2%となっています。



《市の取り組み等について》

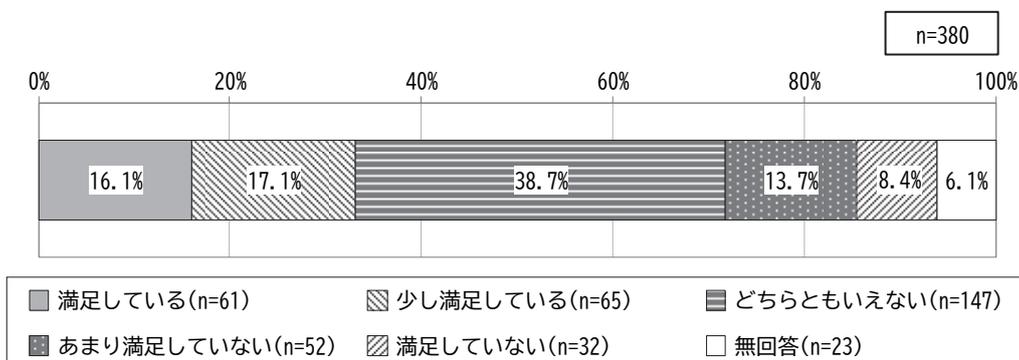
問47 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「経済的な援助」が38.4%と最も多く、次いで「就労支援の充実」が29.5%となっています。



問48 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(○は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が16.1%、「少し満足している」が17.1%となっています。また、「あまり満足していない」は13.7%、「満足していない」は8.4%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

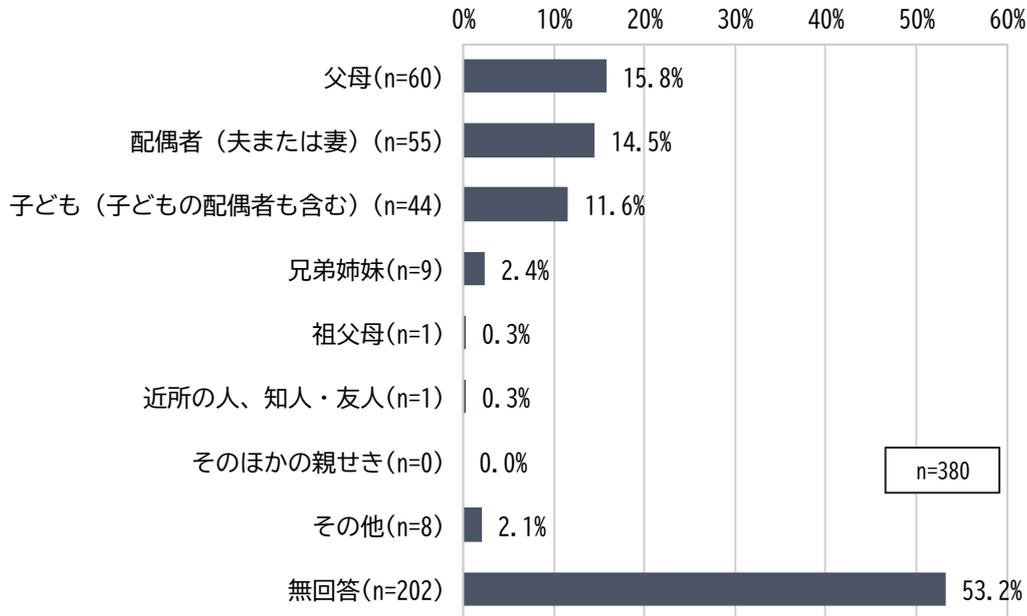
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

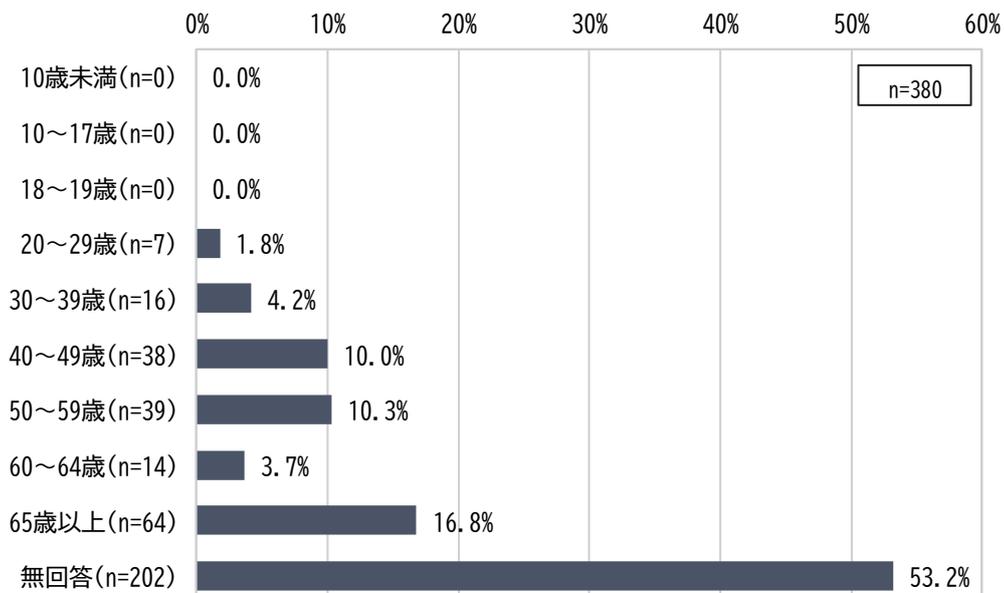
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「父母」が15.8%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が14.5%となっています。



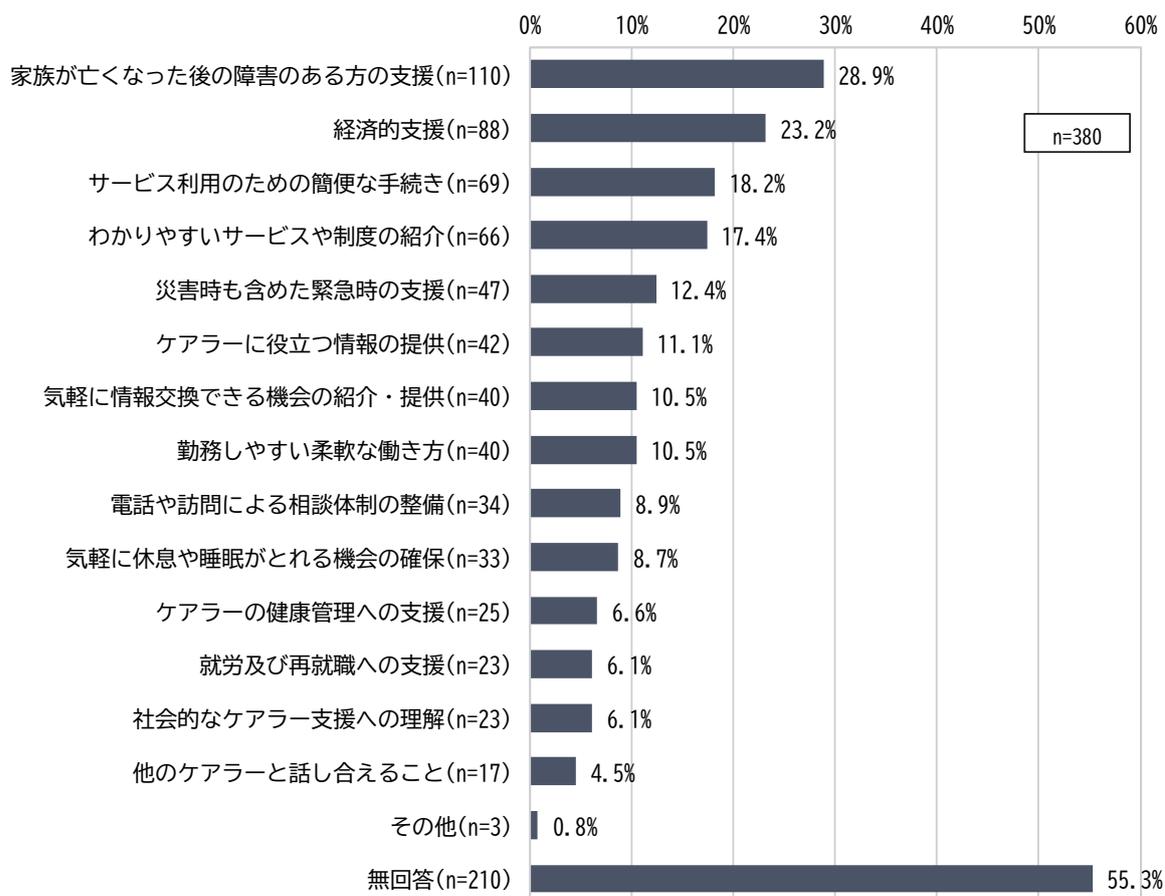
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が16.8%と最も多く、次いで「50～59歳」が10.3%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が28.9%と最も多く、次いで「経済的支援」が23.2%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

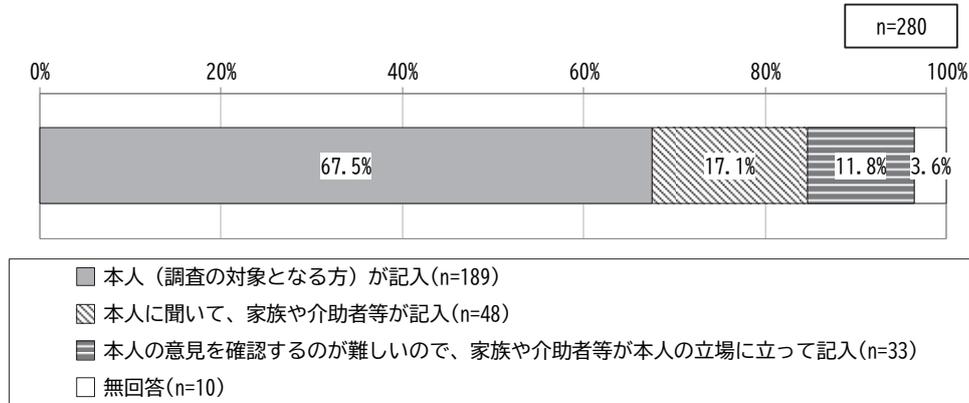
[自由記述編を参照]

調査結果 4. 難病患者

《記入者・ご本人について》

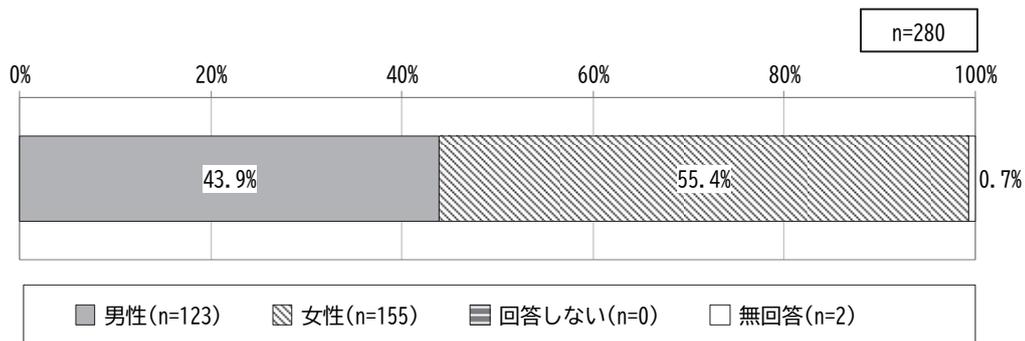
この調査票に記入する方はどなたですか。(〇は1つ)

調査票に記入された方については、「本人が記入」が67.5%と最も多く、次いで「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が17.1%となっています。



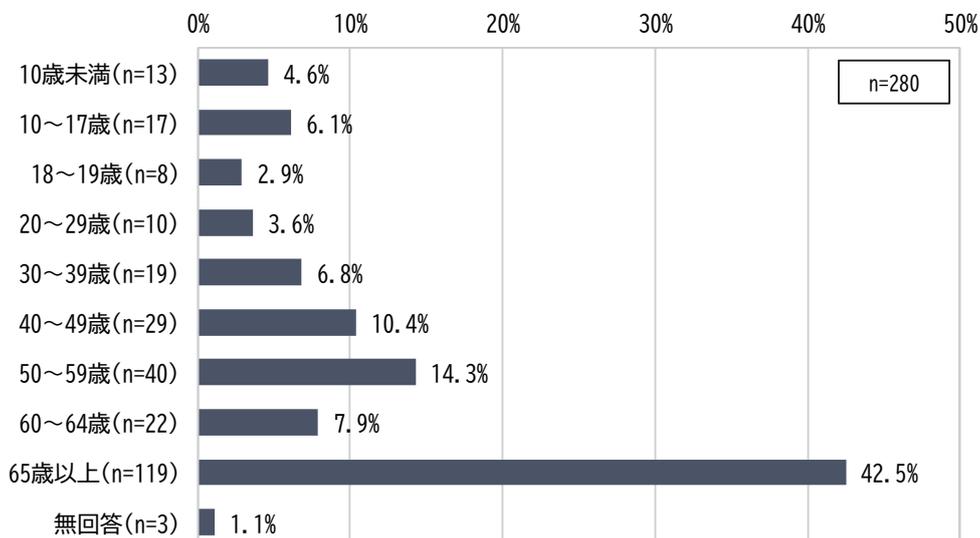
あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

性別については、「男性」が43.9%、「女性」が55.4%となっています。



あなたの年齢(令和4年9月1日現在)を記入してください。(〇は1つ)

年齢については、「65歳以上」が42.5%と最も多く、次いで「50~59歳」が14.3%となっています。



現在、あなたはどこで暮らしていますか。(〇は1つ)

暮らしている場所については、「本人または家族の持ち家」が82.1%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.3%となっています。

n=280	本人または家族の持ち家 (n=230)	民間の賃貸住宅 (n=26)	公営の賃貸住宅 (n=10)	病院に入院中 (n=8)	障害者の入所施設 (n=2)	高齢者施設(特養等) (n=1)	障害者グループホーム (n=0)	その他 (n=1)	無回答 (n=2)
	82.1%	9.3%	3.6%	2.9%	0.7%	0.4%	0.0%	0.4%	0.7%

現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

一緒に暮らしている人については、「配偶者(夫または妻)」が54.3%と最も多く、次いで「子ども(子どもの配偶者も含む)」が33.2%となっています。

年齢	n	配偶者(夫または妻)	子ども(子どもの配偶者も含む)	父母	兄弟姉妹	一人暮らし	祖父母	その他の親せき	障害者グループホーム・施設等の同居人	その他	無回答
全体	280	54.3%	33.2%	24.3%	16.1%	10.4%	3.6%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%
10歳未満	13	0.0%	0.0%	92.3%	84.6%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%
10～17歳	17	5.9%	0.0%	88.2%	70.6%	0.0%	35.3%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%
18～19歳	8	0.0%	0.0%	100.0%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	10	10.0%	0.0%	90.0%	60.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	19	26.3%	15.8%	36.8%	10.5%	26.3%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
40～49歳	29	58.6%	58.6%	31.0%	3.4%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	40	67.5%	45.0%	10.0%	7.5%	17.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
60～64歳	22	68.2%	31.8%	18.2%	0.0%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	119	71.4%	39.5%	0.0%	2.5%	10.9%	0.0%	0.8%	0.8%	1.7%	0.0%

《障害の状況について》

問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

障害種別で「難病（指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病）」を選択した方は、280人となっています。

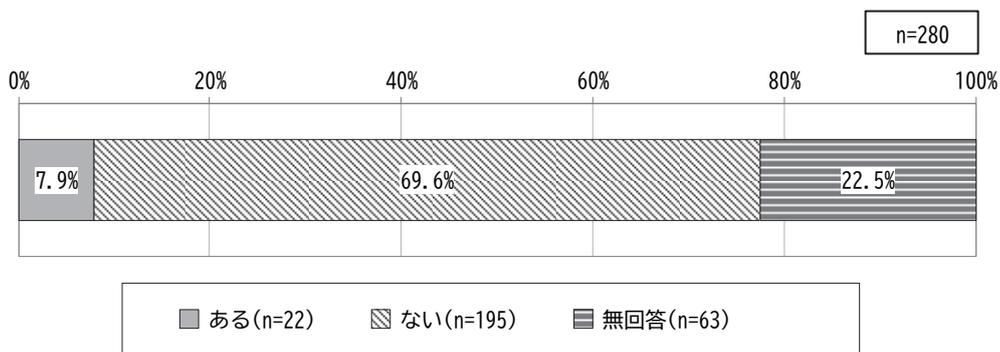
問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

障害者手帳等に関する設問のため省略。

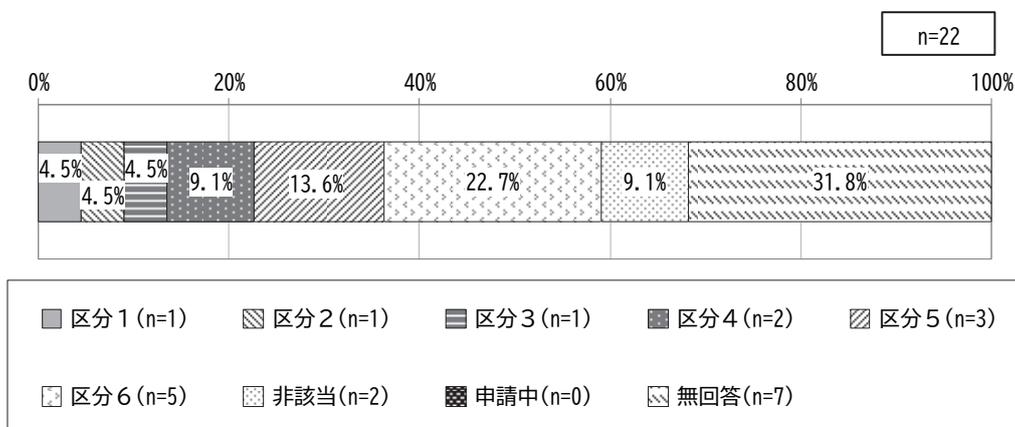
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が7.9%となっています。また、障害支援区分では「区分6」が22.7%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助者等については、「特に介助等は受けていない」が42.5%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が18.2%、「父母」が13.2%となっています。

年齢	n	配偶者（夫または妻）	父母	子ども（子どもの配偶者も含む）	兄弟姉妹	ホームヘルパー	祖父母	そのほかの親せき	近所の人、知人・友人	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		全体	280	18.2%	13.2%	4.3%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
10歳未満	13	0.0%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%
10～17歳	17	0.0%	47.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	23.5%
18～19歳	8	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%
20～29歳	10	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
30～39歳	19	5.3%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	47.4%	15.8%
40～49歳	29	6.9%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	55.2%	13.8%
50～59歳	40	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	62.5%	12.5%
60～64歳	22	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	68.2%	13.6%
65歳以上	119	33.6%	0.0%	10.1%	2.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	31.1%	18.5%

【問4で1～10に○をつけた方にお聞きします】

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときに介助等を受けているかについては、「通院するとき」が78.8%と最も多く、次いで「外出するとき」が66.1%となっています。

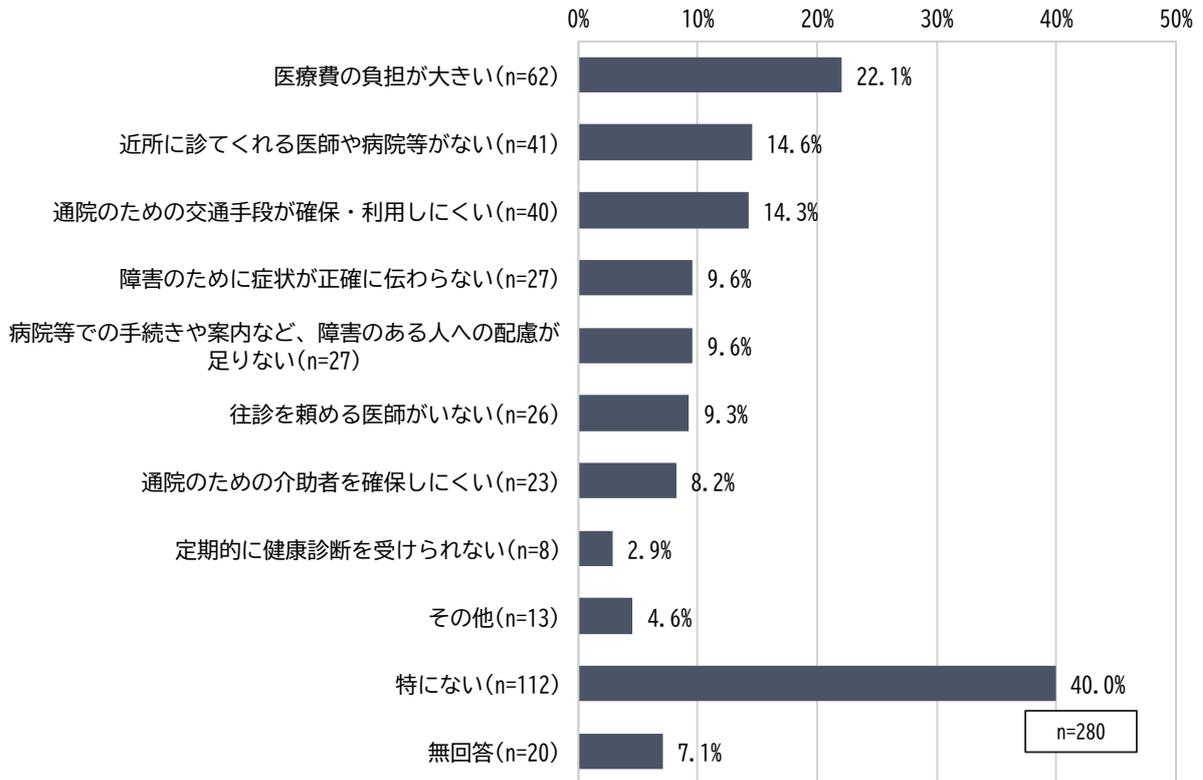
	n	通院するとき	外出するとき	書類等の手続きのとき	洗濯、掃除をするとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	服薬のとき	お金の管理をするとき	見守りが必要な状態のとき	人とコミュニケーションをとるとき	家の中を移動するとき	医療的ケア（経管栄養、痰の吸引等）の対応のとき	その他	無回答
		全体	118	78.8%	66.1%	61.0%	52.5%	49.2%	40.7%	39.8%	32.2%	26.3%	22.0%	17.8%

《健康状態や医療について》

【ここからは、全員にお聞きします】

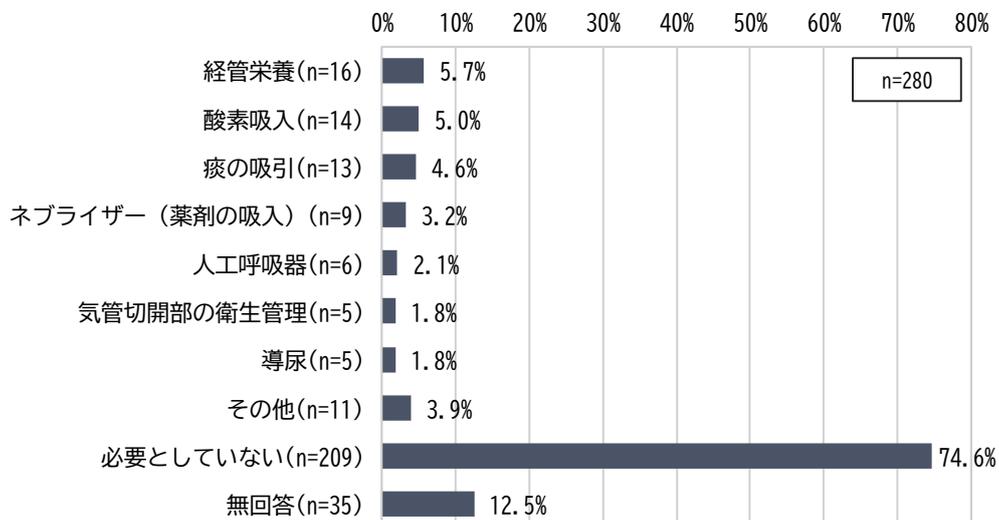
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「特にない」が40.0%と最も多く、次いで「医療費の負担が大きい」が22.1%、「近所に診てくれる医師や病院等がない」が14.6%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

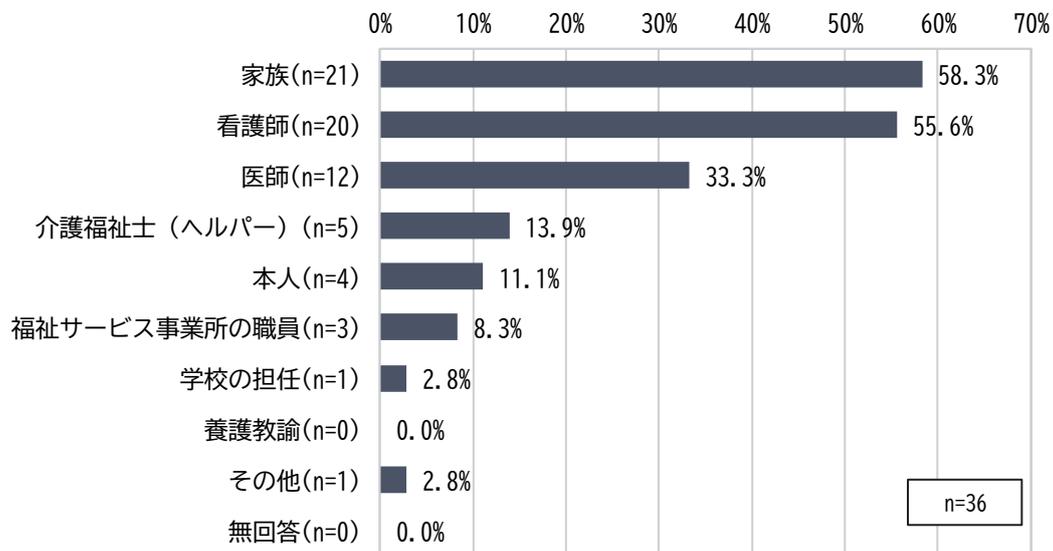
医療的ケアを必要としている方については、「経管栄養」が5.7%と最も多く、次いで「酸素吸入」が5.0%となっています。



〔問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします〕

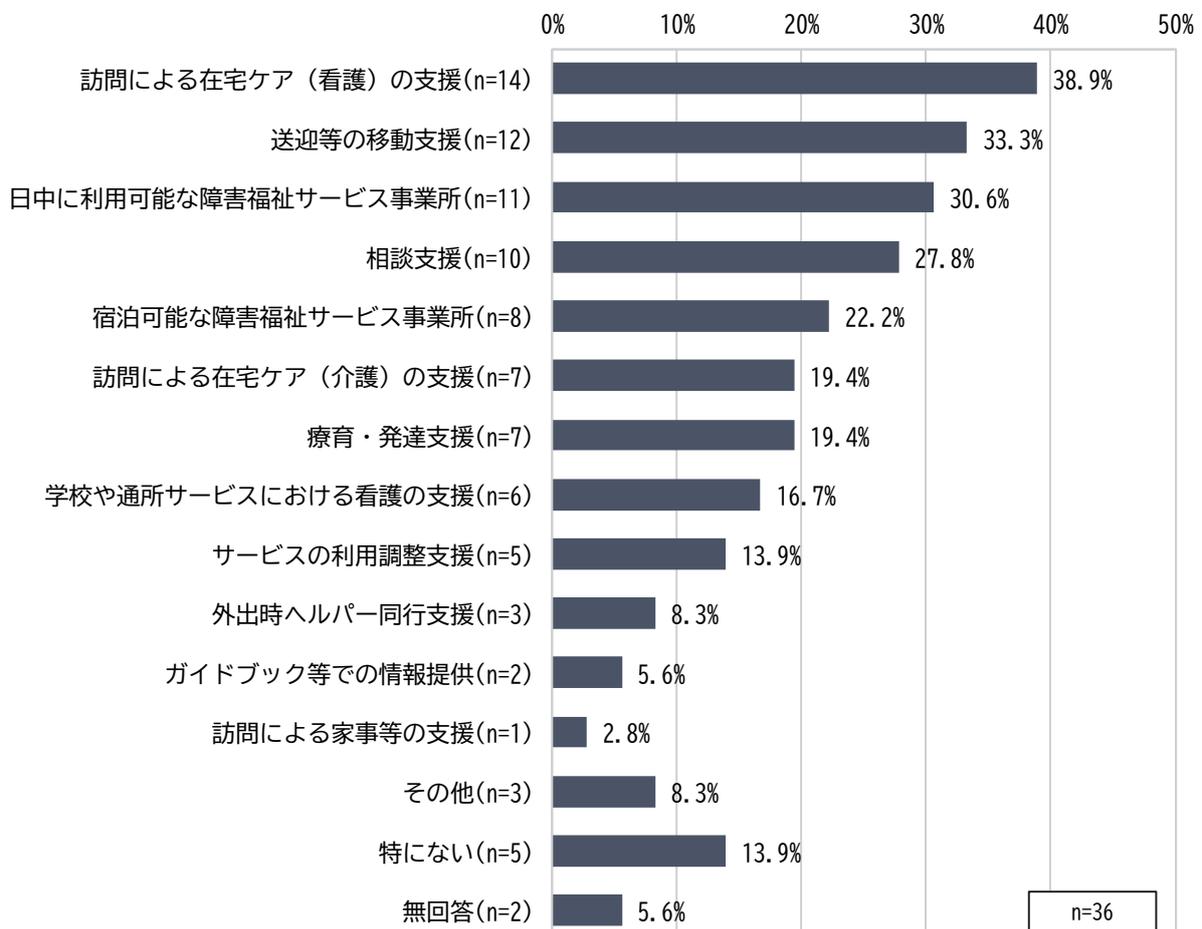
問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が58.3%と最も多く、次いで「看護師」が55.6%となっています。



問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方のうち、日常生活を送る上で必要な支援については、「訪問による在宅ケア (看護) の支援」が38.9%と最も多く、次いで「送迎等の移動支援」が33.3%となっています。

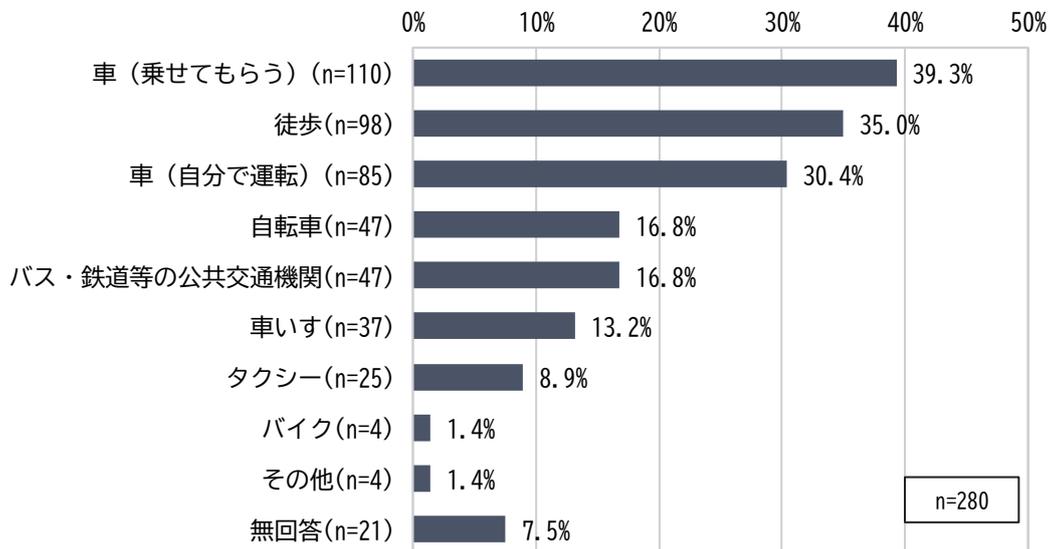


《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

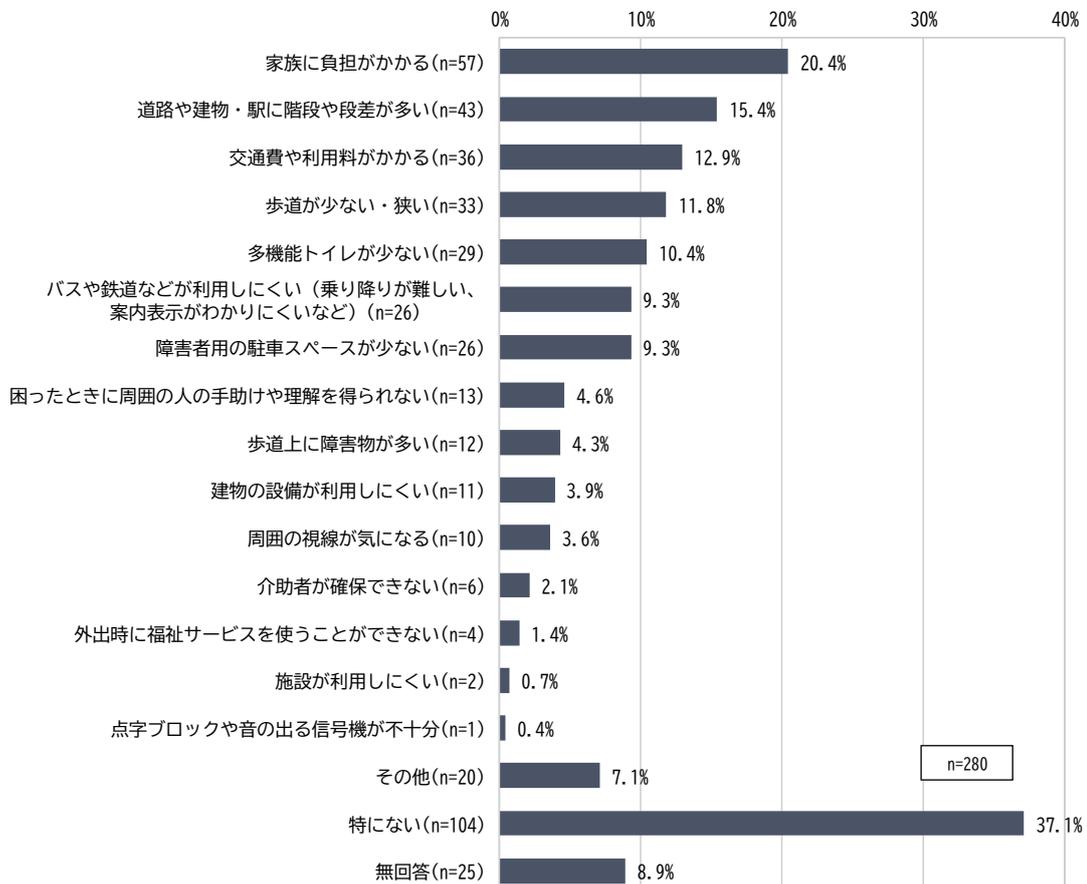
問10 外出の主な手段は何ですか。(〇は2つまで)

外出の主な手段については、「車（乗せてもらう）」が39.3%と最も多く、次いで「徒歩」が35.0%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「特にない」が37.1%と最も多く、次いで「家族に負担がかかる」が20.4%、「道路や建物・駅に階段や段差が多い」が15.4%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

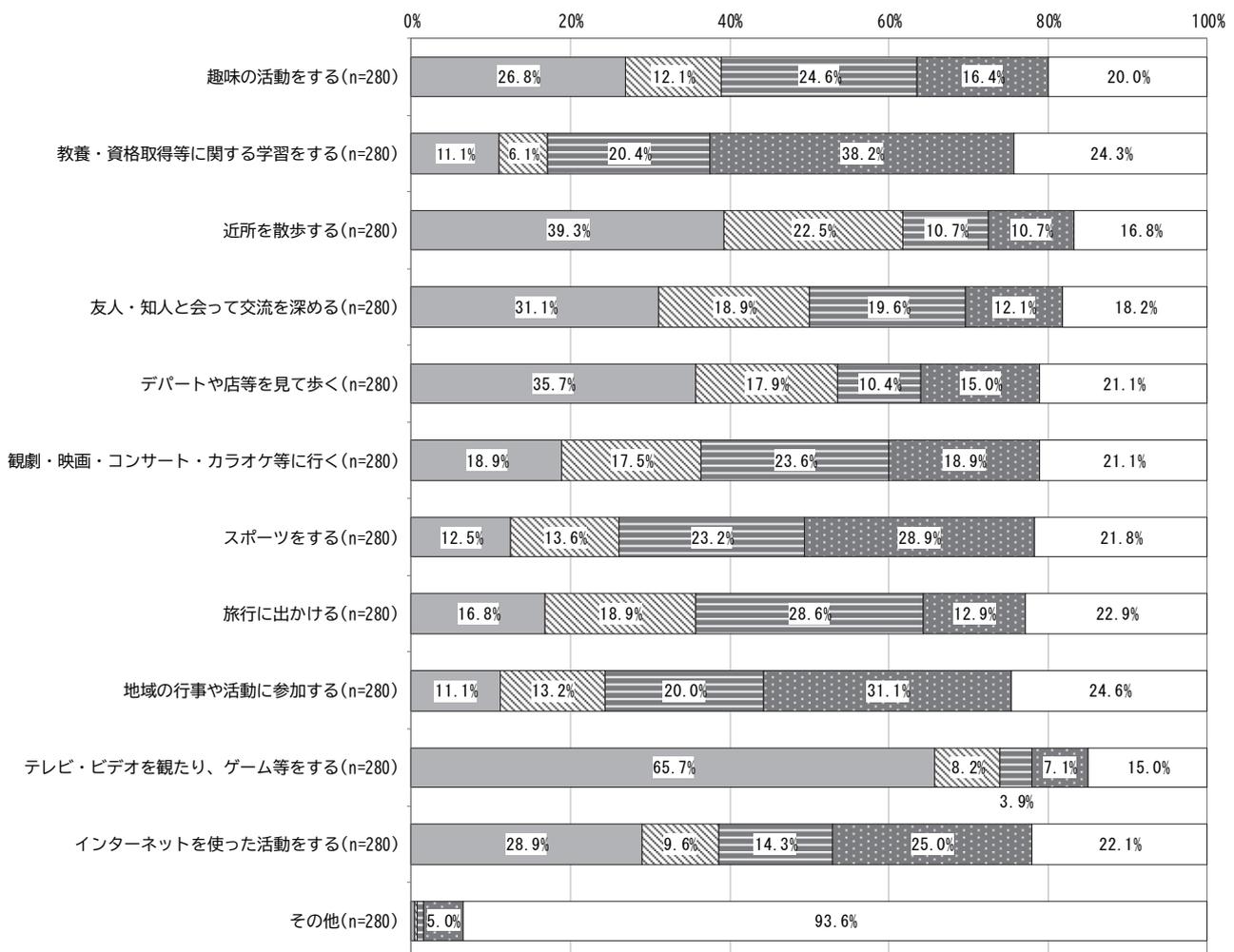
R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
特に困っていることはない	31.9%	特にな	37.1%
道路や建物・駅に階段や段差が多い	26.9%	家族に負担がかかる	20.4%
歩道が整備されていない	14.3%	道路や建物・駅に階段や段差が多い	15.4%
自動車や自転車が多くて危険を感じる	13.7%	交通費や利用料がかかる	12.9%
障害者用トイレが少ない/バスや電車の乗り降りが困難/外出するとお金がかかる	13.2%	歩道が少ない・狭い	11.8%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が 65.7%と最も多く、次いで「近所を散歩する」が 39.3%となっています。

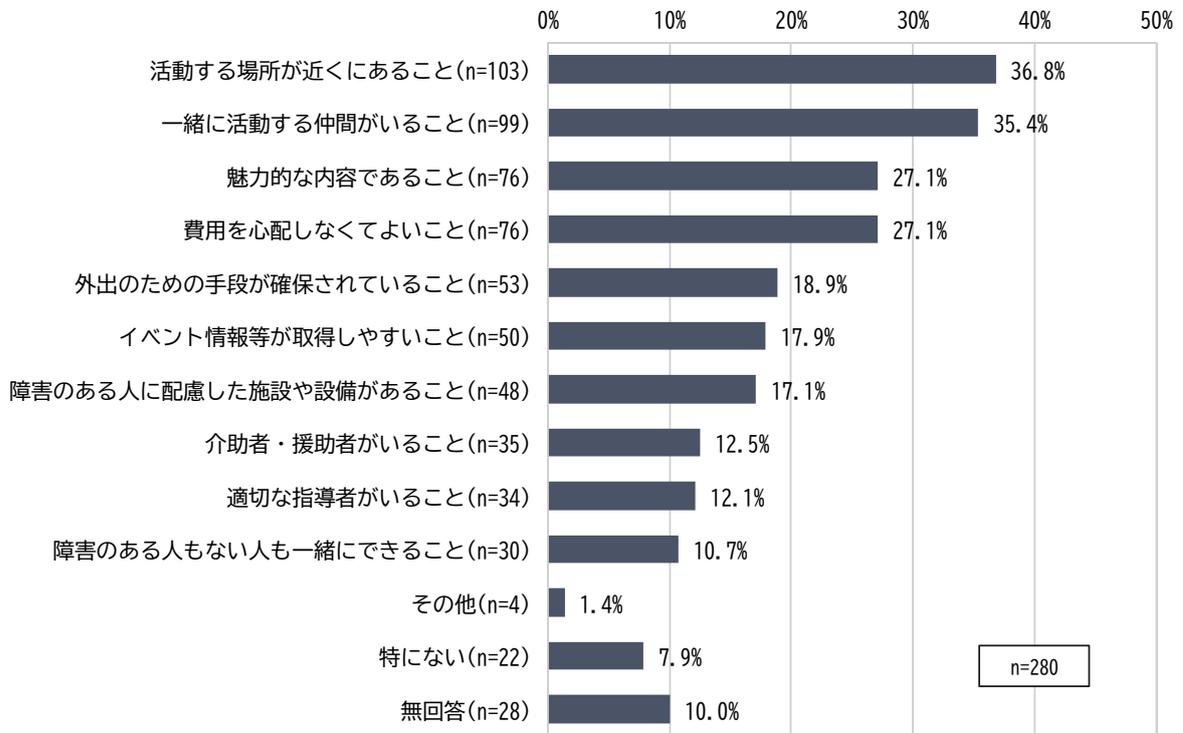
また、機会はないが、ほしいと思う活動については、「旅行に出かける」が 28.6%と最も多く、次いで「趣味の活動をする」が 24.6%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ▩ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「活動する場所が近くにあること」が36.8%と最も多く、次いで「一緒に活動する仲間がいること」が35.4%となっています。



《日中の過ごし方について》

問14 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

日中の過ごし方については、「家で過ごしている」が50.4%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」が22.9%となっています。

年齢 (3区分)	n	家で過ごしている	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	幼稚園や保育所、学校等に通っている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	障害者の通所施設・事業所に通っている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	病院等 (デイケア等) で過ごしている	家の仕事を手伝っている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	求職活動をしている	入所施設で過ごしている	その他	無回答
		全体	280	50.4%	22.9%	11.4%	9.3%	7.1%	5.0%	4.3%	2.5%	2.1%	1.4%	1.1%
18歳未満	30	13.3%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	3.3%
18~64歳	128	39.1%	41.4%	6.3%	2.3%	11.7%	3.1%	2.3%	0.8%	0.8%	3.1%	0.0%	3.9%	4.7%
65歳以上	119	72.3%	7.6%	0.0%	19.3%	4.2%	7.6%	7.6%	4.2%	4.2%	0.0%	0.8%	4.2%	5.0%

■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
家庭内で過ごしている	44.0%	家で過ごしている	50.4%
収入を伴う仕事をしている	31.9%	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	22.9%
幼稚園や保育所、学校などに通っている	13.2%	幼稚園や保育所、学校等に通っている	11.4%
家の仕事を手伝っている/通所サービスを利用している	6.0%	高齢者の通所施設・事業所に通っている	9.3%
入居施設で過ごしている/その他	4.4%	障害者の通所施設・事業所に通っている	7.1%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《幼稚園や保育所、学校などについて》

【問15~17は、問14で「1. 幼稚園や保育所、学校等に通っている」に○をつけた方にお聞きします】

問15 主に通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育所、学校等に通っている人の通園通学先については、32件中「小学校、中学校、高等学校」が13件と最も多く、次いで「特別支援学校」が8件となっています。

n=32	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校	短大・大学・大学院	幼稚園、保育所	特別支援学級	障害児通所支援事業所	専門学校・専修学校・高等技術専門学校等	その他	無回答
	13	8	4	2	2	2	1	0	0

問16 学校で勉強する場合にどのような学習形態を望みますか。(○は1つ)

学校で勉強する場合の学習形態については、32件中「障害のあるなしにかかわらず、一緒にクラスで勉強したい」が15件と最も多く、次いで「わからない」が7件となっています。

n=32	障害のあるなしにかかわらず一緒にクラスで勉強したい	障害のある仲間との勉強、障害のある仲間の勉強、障害のある仲間の勉強	同じような障害のある仲間と勉強したい	わからない	その他	無回答
	15	5	4	7	1	0

問17 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることについては、32件中「特になし」が20件と最も多く、次いで「通うための介助者を確保しにくい」、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」、「家族の同伴を求められる」がそれぞれ4件となっています。

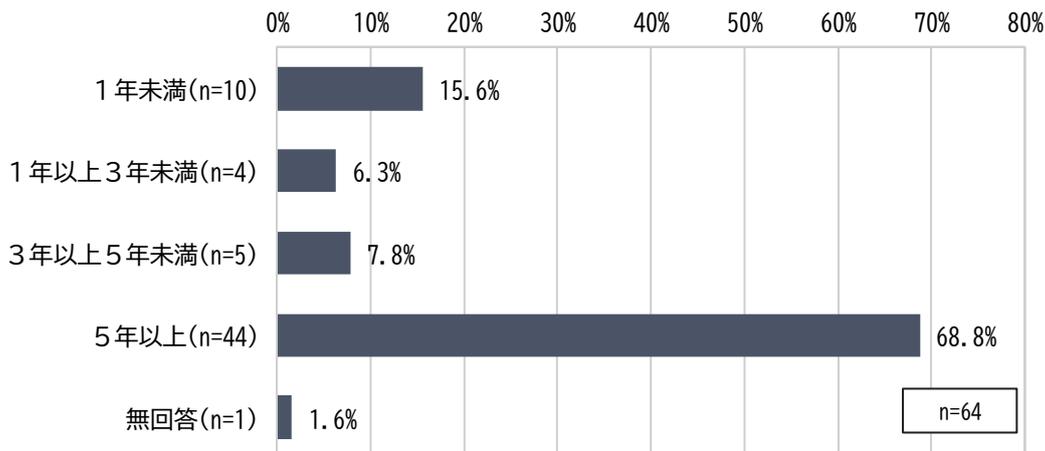
n=32	通うための介助者を確保しにくい	通うための交通手段が確保・利用しにくい	家族の同伴を求められる	教職員の理解が得られない	児童・生徒の理解が得られない	授業についていけない	トイレなどの設備が不十分	医療的ケアが受けられない	友だちができない	学校の数が少ない	受け入れてくれる学校がない	通常の学級に入れない	校内・園内での支援が不十分	その他	特になし	無回答
	4	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	2	20	0

《雇用・就労について》

[問18~21は、問14で「2. 収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」に○をつけた方にお聞きします]

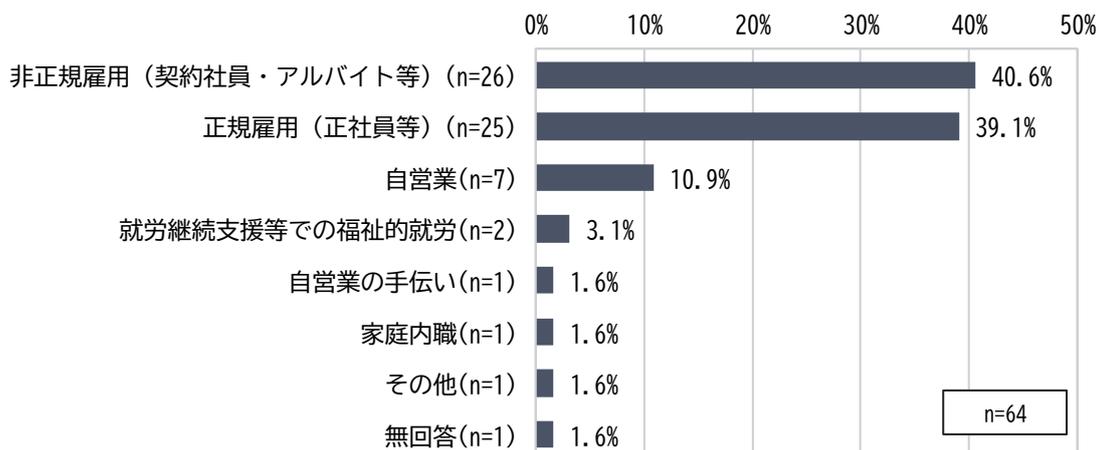
問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「5年以上」が68.8%と最も多く、次いで「1年未満」が15.6%となっています。



問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「非正規雇用(契約社員・アルバイト等)」が40.6%と最も多く、次いで「正規雇用(正社員等)」が39.1%となっています。

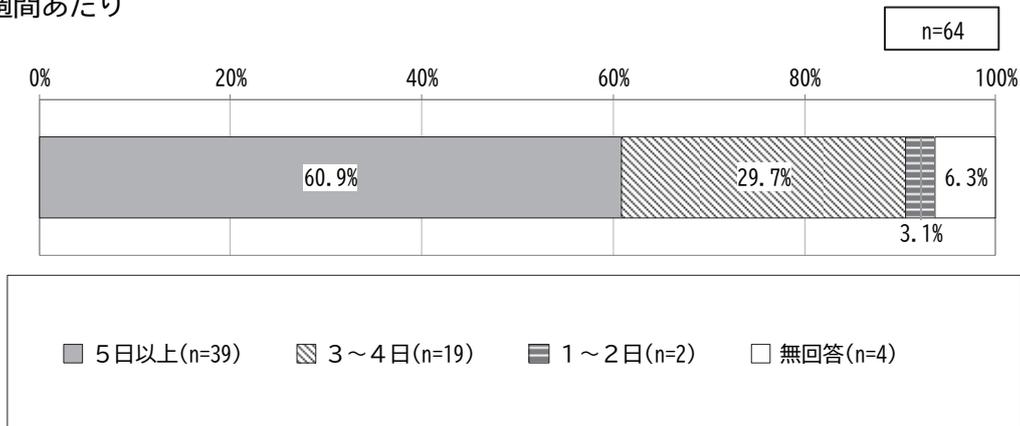


問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。((1)(2)それぞれ○は1つ)

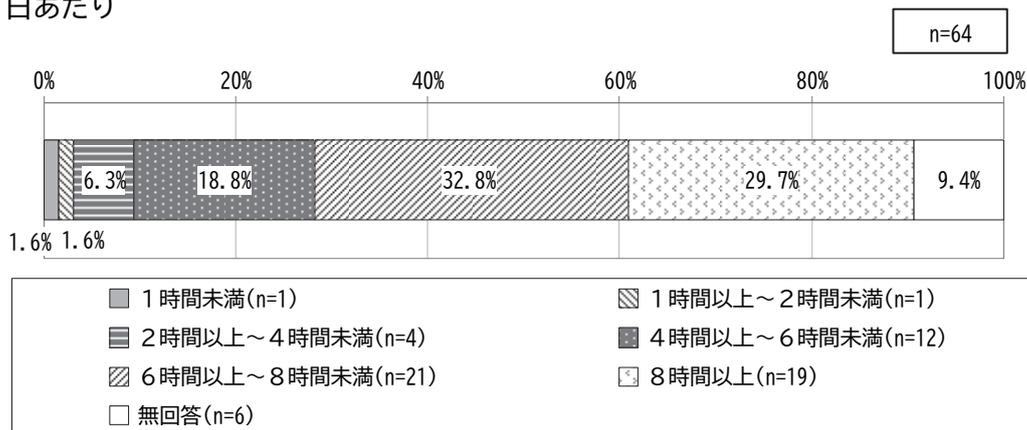
1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が60.9%と最も多く、次いで「3～4日」が29.7%となっています。

1日あたりの就労時間については、「6時間以上～8時間未満」が32.8%と最も多く、次いで「8時間以上」が29.7%となっています。

(1) 1週間あたり



(2) 1日あたり



問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

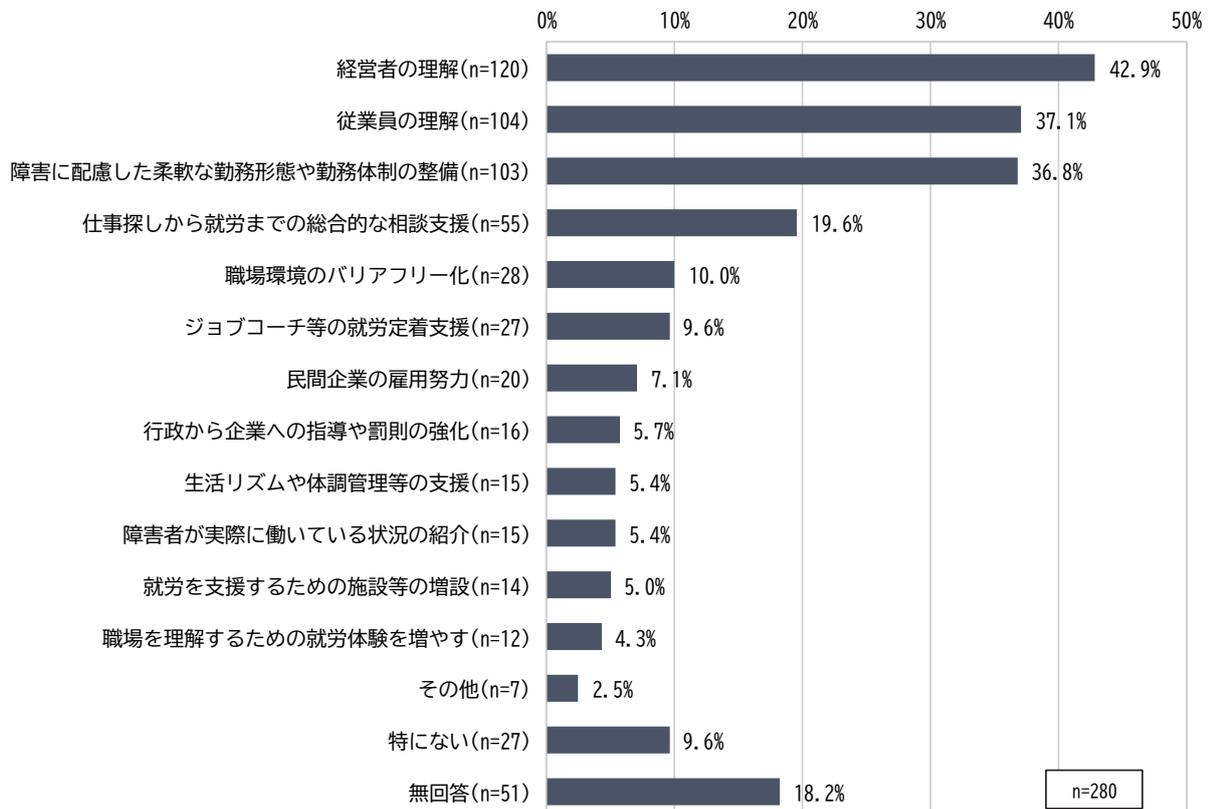
仕事をする上で困っていることについては、「収入が少ない」が42.2%と最も多く、次いで「体調のコントロールが難しい」が32.8%となっています。

就労形態	n	収入が少ない	体調のコントロールが難しい	通勤が大変	仕事がつたい	能力を発揮できない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	職場の人間関係	業務内容が合わない	職場の理解が得られない	就業時間が合わない	コミュニケーションができない	その他	特にない	無回答
全体	64	42.2%	32.8%	14.1%	14.1%	9.4%	7.8%	6.3%	4.7%	4.7%	3.1%	1.6%	4.7%	21.9%	1.6%
正規雇用(正社員等)	25	40.0%	32.0%	20.0%	16.0%	16.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	4.0%	0.0%	4.0%	20.0%	0.0%
非正規雇用(契約社員・アルバイト等)	26	46.2%	34.6%	15.4%	15.4%	0.0%	11.5%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	3.8%	19.2%	0.0%
自営業	7	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
自営業の手伝い	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
家庭内職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【ここからは、全員にお聞きします】

問22 障害のある人の就労を促進するために、あなたはどのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「経営者の理解」が42.9%と最も多く、次いで「従業員の理解」が37.1%となっています。



問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が35.4%と最も多く、次いで「わからない・答えたくない」が11.1%、「年収200万円以上300万円未満」が9.6%となっています。

	n	年収100万円未満	年収100万円以上150万円未満	年収150万円以上200万円未満	年収200万円以上300万円未満	年収300万円以上500万円未満	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
全体	280	35.4%	6.1%	8.6%	9.6%	6.1%	6.4%	11.1%	16.8%
就労形態									
正規雇用（正社員等）	25	4.0%	0.0%	4.0%	8.0%	28.0%	56.0%	0.0%	0.0%
非正規雇用（契約社員・アルバイト等）	26	38.5%	11.5%	15.4%	19.2%	0.0%	0.0%	11.5%	3.8%
自営業	7	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
主な収入									
給与・賃金	62	16.1%	4.8%	8.1%	19.4%	12.9%	25.8%	9.7%	3.2%
事業収入	4	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援施設や作業所の工賃	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族の収入（仕送り・援助含む）	104	59.6%	2.9%	3.8%	2.9%	1.0%	3.8%	16.3%	9.6%
年金	109	30.3%	8.3%	15.6%	14.7%	6.4%	0.9%	8.3%	15.6%
障害年金	35	31.4%	22.9%	8.6%	5.7%	5.7%	2.9%	11.4%	11.4%
生活保護	6	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を支えている収入については、「年金」が38.9%と最も多く、次いで「家族の収入（仕送り・援助含む）」が37.1%となっています。

年齢（3区分）	n	年金	家族の収入（仕送り・援助含む）	給与・賃金	障害年金	生活保護	事業収入	就労継続支援施設や作業所の工賃	その他	無回答
		全体	280	38.9%	37.1%	22.1%	12.5%	2.1%	1.4%	0.7%
18歳未満	30	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%
18～64歳	128	6.3%	43.0%	41.4%	21.1%	3.9%	0.0%	1.6%	7.0%	4.7%
65歳以上	119	84.0%	21.0%	5.9%	5.9%	0.8%	3.4%	0.0%	4.2%	6.7%

《今後の希望について》

問25 近い将来（今後3年以内）に、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）に、どこで暮らしたいと思うかについては、「家族と一緒に暮らしたい」が76.8%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」が7.1%となっています。

生活場所	n	家族と一緒に暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	障害者施設で暮らしたい	高齢者施設で暮らしたい	共同生活する住居（障害者グループホーム等）で暮らしたい	その他	無回答
		全体	280	76.8%	7.1%	2.1%	1.1%	0.7%
本人または家族の持ち家	230	82.2%	4.8%	1.3%	1.3%	0.4%	4.3%	5.7%
民間の賃貸住宅	26	61.5%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%
公営の賃貸住宅	10	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%
障害者グループホーム	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の入所施設	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者施設（特養等）	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
病院に入院中	8	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%

問26 近い将来（今後3年以内）に、あなたは日中を主にどのように過ごしたいと思いますか。
 (○は1つ)

近い将来（今後3年以内）の日中の過ごし方については、「家庭内で過ごしたい」が33.6%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が26.8%となっています。

日中の過ごし方	n	家庭内で過ごしたい	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	障害者の入所施設で過ごしたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	ボランティアなどをしたい	家の仕事を手伝いたい	その他	無回答
		全体	280	33.6%	26.8%	8.9%	5.0%	3.6%	3.2%	2.5%	1.4%	1.1%	0.7%	0.4%
幼稚園や保育所、学校等に通っている	32	3.1%	15.6%	68.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	64	9.4%	79.7%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	4.7%
無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	6	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	20	0.0%	15.0%	0.0%	60.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	26	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.6%	11.5%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.2%
入所施設で過ごしている	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院等（デイケア等）で過ごしている	12	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	14	35.7%	7.1%	0.0%	14.3%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
求職活動をしている	4	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家の仕事を手伝っている	7	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
家で過ごしている	141	55.3%	12.8%	1.4%	3.5%	5.7%	3.5%	2.1%	2.8%	0.0%	0.7%	0.7%	2.8%	8.5%

■前回調査（R1）比較

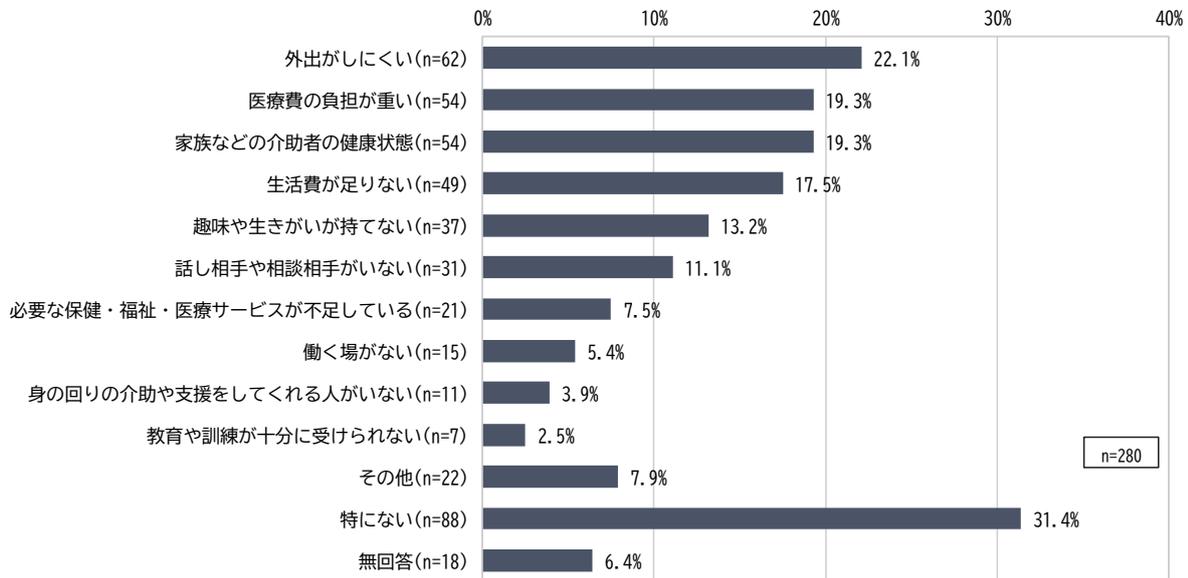
R1 調査（前回）		R4 調査（今回）	
家庭内で過ごしたい	40.1%	家庭内で過ごしたい	33.6%
一般企業などで働きたい	24.2%	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	26.8%
創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	11.0%	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	8.9%
自立した日常生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための必要な訓練を受けたい	8.8%	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	5.0%
通所サービスを利用したい	7.7%	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	3.6%

※今回（R4）調査と前回（R1）調査で、選択肢が異なる部分があります。

《相談や情報入手について》

問27 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「特にない」が31.4%と最も多く、次いで「外出がしにくい」が22.1%、「医療費の負担が重い」、「家族などの介助者の健康状態」がそれぞれ19.3%となっています。



問28 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

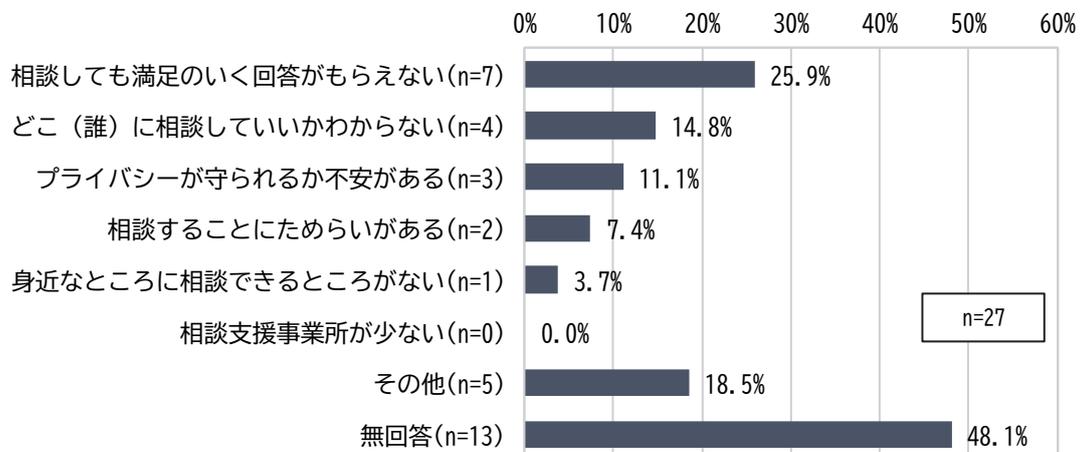
悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談するかについては、「家族や親せき」が75.4%と最も多く、次いで「近所の人、知人・友人」が20.4%となっています。

年齢	n	家族や親せき	近所の人、知人・友人	病院・医師・看護師	職場の仲間	障害者施設や事業所の職員	相談支援事業所	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	川崎市障害者総合相談支援センター	身体障害者・知的障害者相談員	国・県・市などの相談窓口	インターネット上のコミュニティ	障害者団体や家族会	民生委員・児童委員	医療的ケア児等コーディネーター	社会福祉協議会	ボランティア	その他	相談したいが、できない	相談したいと思わない	無回答
		全体	280	75.4%	20.4%	20.0%	6.4%	6.1%	3.6%	2.1%	2.1%	1.8%	1.4%	1.4%	0.7%	0.7%	0.7%	0.4%	0.0%	2.9%	9.6%
10歳未満	13	69.2%	7.7%	30.8%	0.0%	15.4%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%
10～17歳	17	88.2%	29.4%	23.5%	0.0%	0.0%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%
18～19歳	8	62.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
20～29歳	10	80.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
30～39歳	19	89.5%	36.8%	31.6%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	0.0%
40～49歳	29	79.3%	17.2%	20.7%	6.9%	10.3%	3.4%	0.0%	3.4%	6.9%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	13.8%	6.9%	0.0%
50～59歳	40	72.5%	27.5%	15.0%	20.0%	5.0%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	2.5%	10.0%	5.0%	2.5%
60～64歳	22	50.0%	18.2%	18.2%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	13.6%	9.1%
65歳以上	119	77.3%	16.8%	18.5%	1.7%	4.2%	0.8%	0.0%	1.7%	0.8%	1.7%	0.8%	0.8%	1.7%	0.8%	0.0%	0.0%	4.2%	7.6%	5.0%	8.4%

【問28で「18. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問29 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

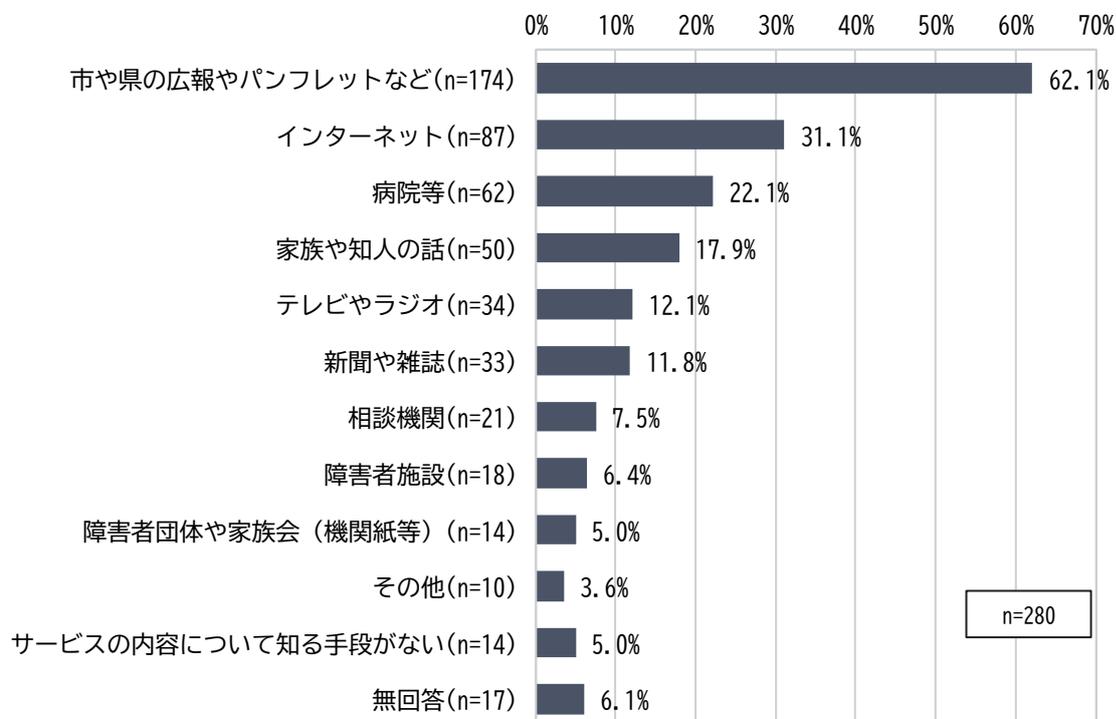
相談できない理由については、「相談しても満足いく回答がもらえない」が25.9%と最も多く、次いで「その他」が18.5%となっています。



【ここからは、全員にお聞きします】

問30 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が62.1%と最も多く、次いで「インターネット」が31.1%となっています。



《福祉サービスについて》

問32 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。
サービス等を利用していない場合は、問33へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が14人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が76.9%となっています。次いで「短期入所（ショートステイ）」が11人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が63.6%となっています。

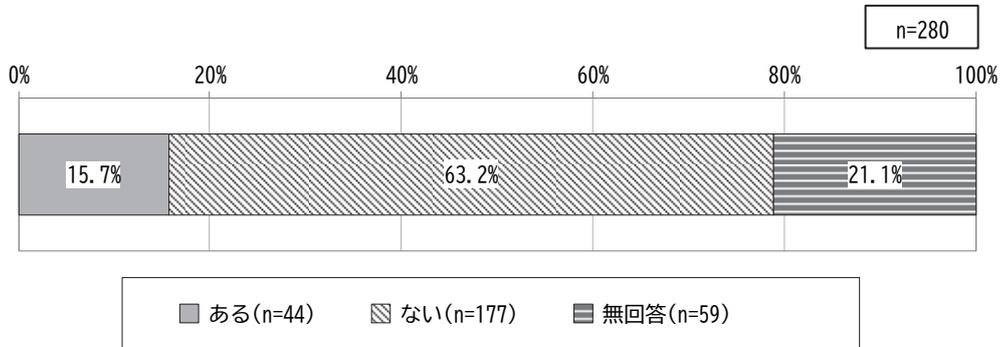
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
居宅介護（ホームヘルプサービス）	14	76.9%	23.1%	0.0%
短期入所（ショートステイ）	11	63.6%	36.4%	0.0%
生活介護	9	88.9%	11.1%	0.0%
放課後等デイサービス	6	100.0%	0.0%	0.0%
自立訓練（機能訓練）	4	66.7%	33.3%	0.0%
計画相談支援	4	75.0%	0.0%	25.0%
同行援護	3	100.0%	0.0%	0.0%
自立訓練（生活訓練）	3	50.0%	0.0%	50.0%
就労継続支援A型	3	50.0%	50.0%	0.0%
就労継続支援B型	3	100.0%	0.0%	0.0%
障害児入所支援（医療型）	3	100.0%	0.0%	0.0%
障害児相談支援	3	100.0%	0.0%	0.0%
行動援護	2	100.0%	0.0%	0.0%
療養介護	2	100.0%	0.0%	0.0%
児童発達支援	2	50.0%	0.0%	50.0%
重度障害者等包括支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
就労定着支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
地域定着支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
重度訪問介護	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
共同生活援助（グループホーム）	0	-	-	-
施設入所支援	0	-	-	-
就労移行支援	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
居宅訪問型児童発達支援	0	-	-	-
障害児入所支援（福祉型）	0	-	-	-

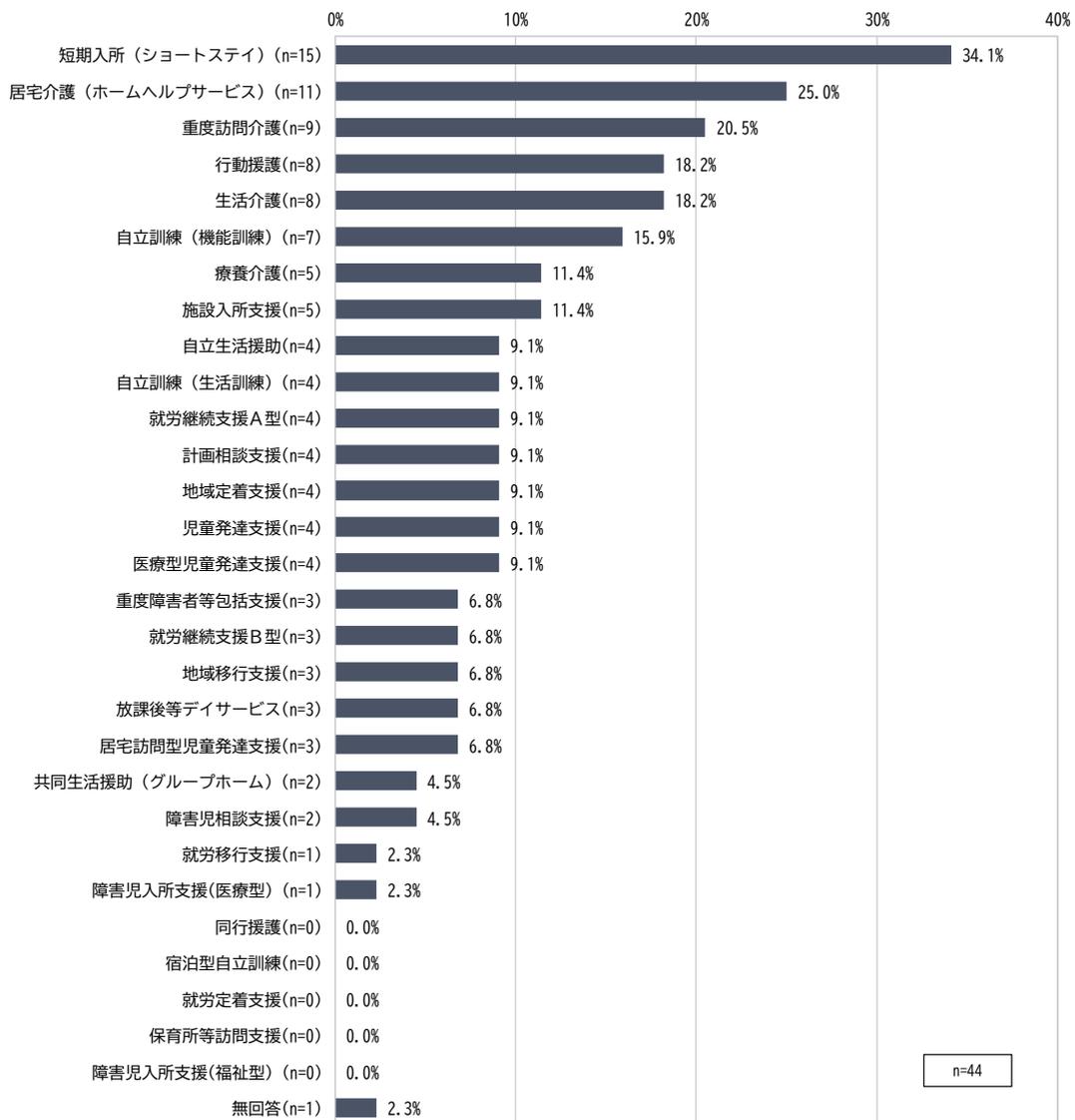
問33 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が15.7%、「ない」が63.2%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が34.1%と最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が25.0%となっています。

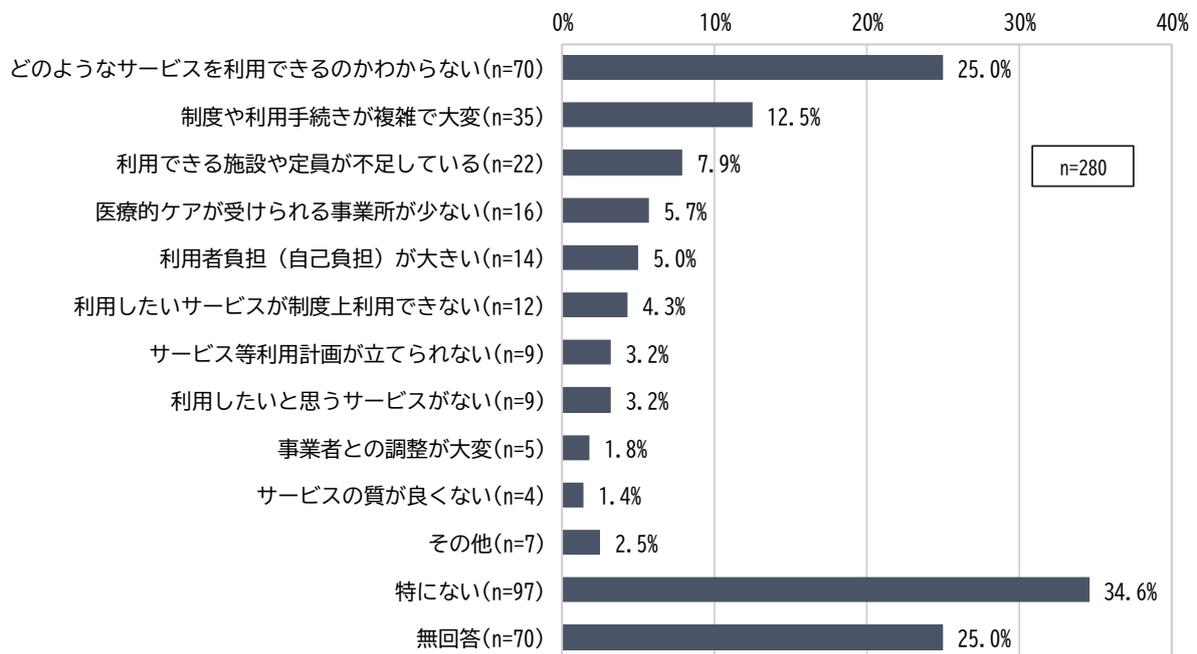


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



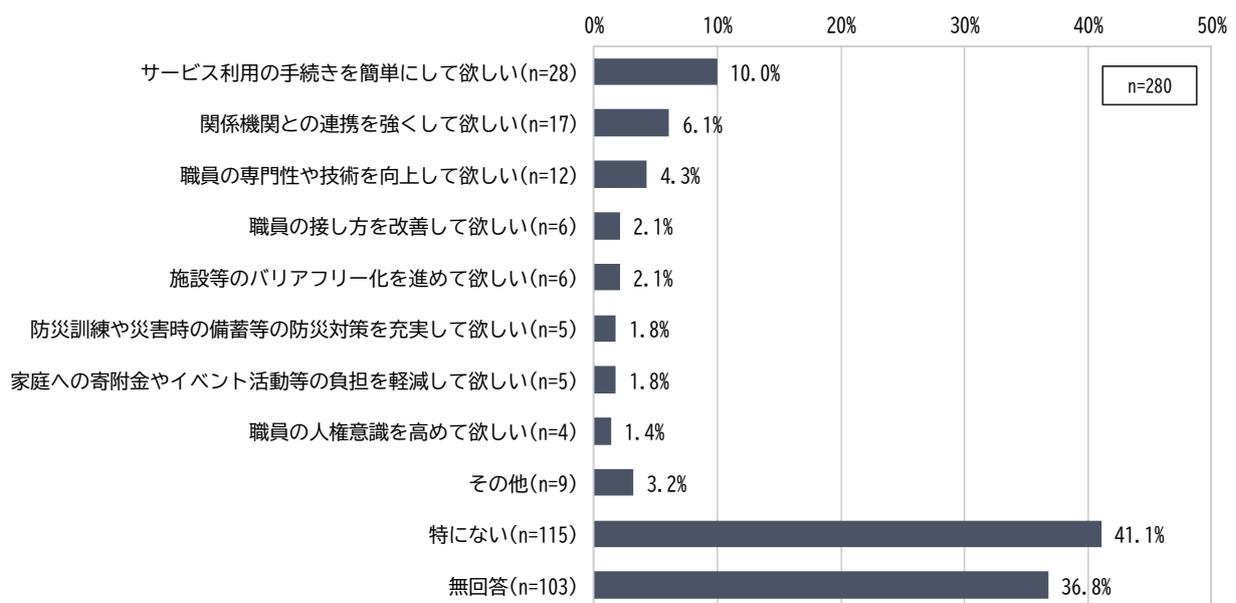
問34 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「特にない」が34.6%と最も多く、次いで「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が25.0%、「制度や利用手続きが複雑で大変」が12.5%となっています。



問35 障害（児）福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

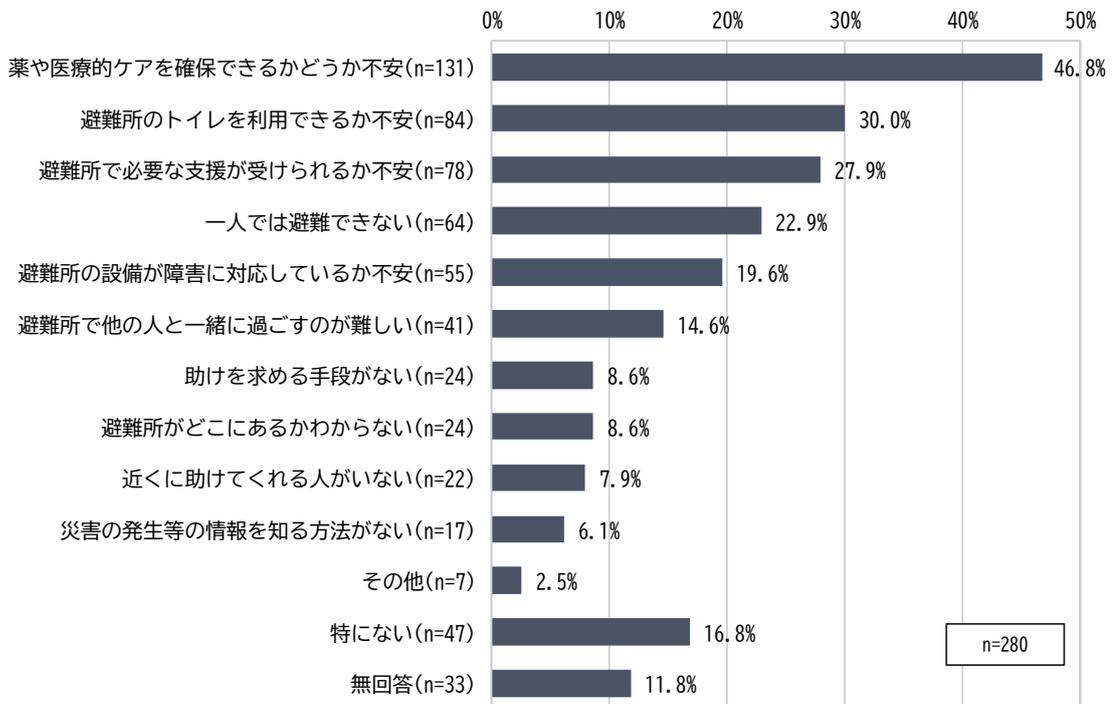
障害（児）福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が41.1%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にしたい」が10.0%、「関係機関との連携を強くしてほしい」が6.1%となっています。



《災害時の支援等について》

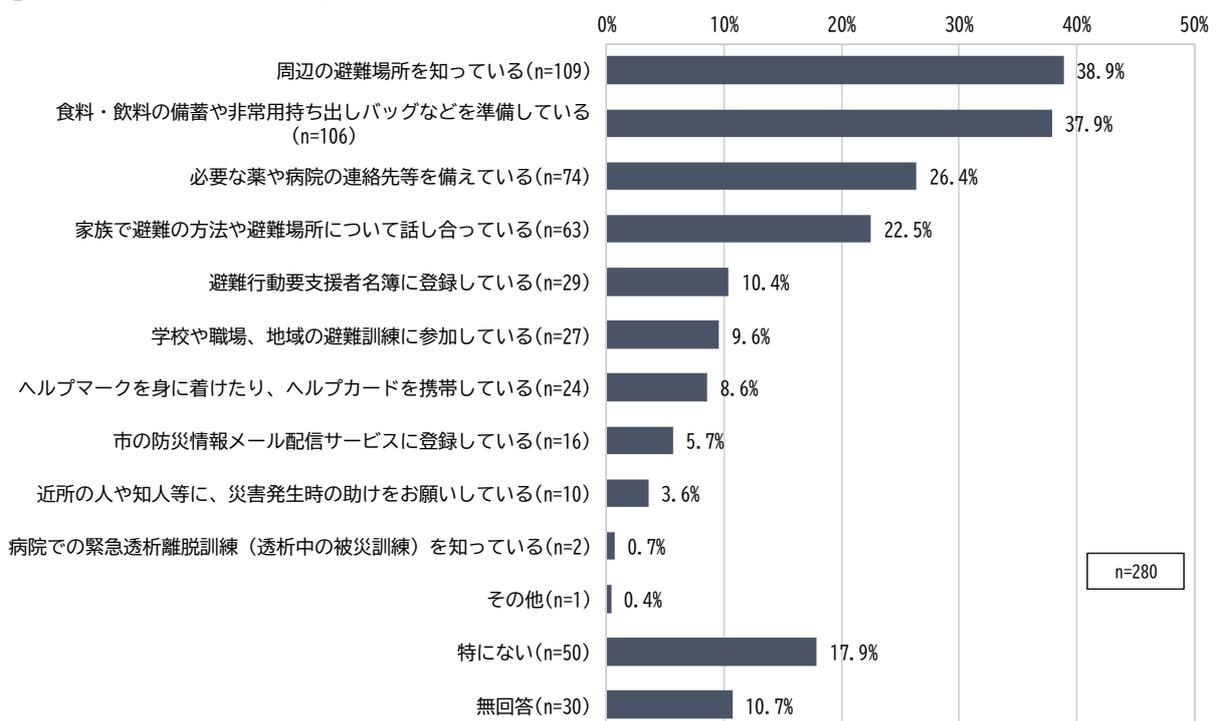
問36 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が46.8%と最も多く、次いで「避難所のトイレを利用できるか不安」が30.0%となっています。



問37 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「周辺の避難場所を知っている」が38.9%と最も多く、次いで「食料・飲料の備蓄や非常用持ち出しバッグなどを準備している」が37.9%となっています。



問38 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

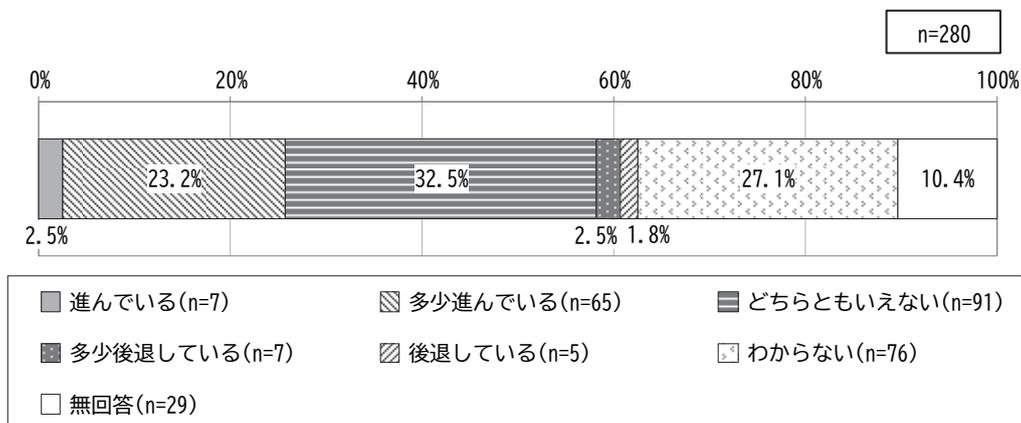
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「必要な医療的ケアを受けられる」が41.4%と最も多く、次いで「避難所の設備（トイレ等）を充実させる」が29.3%となっています。

	n	必要な医療的ケアを受けられる	避難所の設備（トイレ等）を充実させる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	避難所でプライバシーが守られる	避難を手助けしてくれる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	救助や避難時に声かけをしてくれる	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	その他	特にない	無回答
全体	280	41.4%	29.3%	19.3%	18.9%	17.1%	16.1%	16.1%	12.9%	8.2%	7.5%	3.2%	2.1%	5.7%	14.6%

《障害者への理解や権利擁護について》

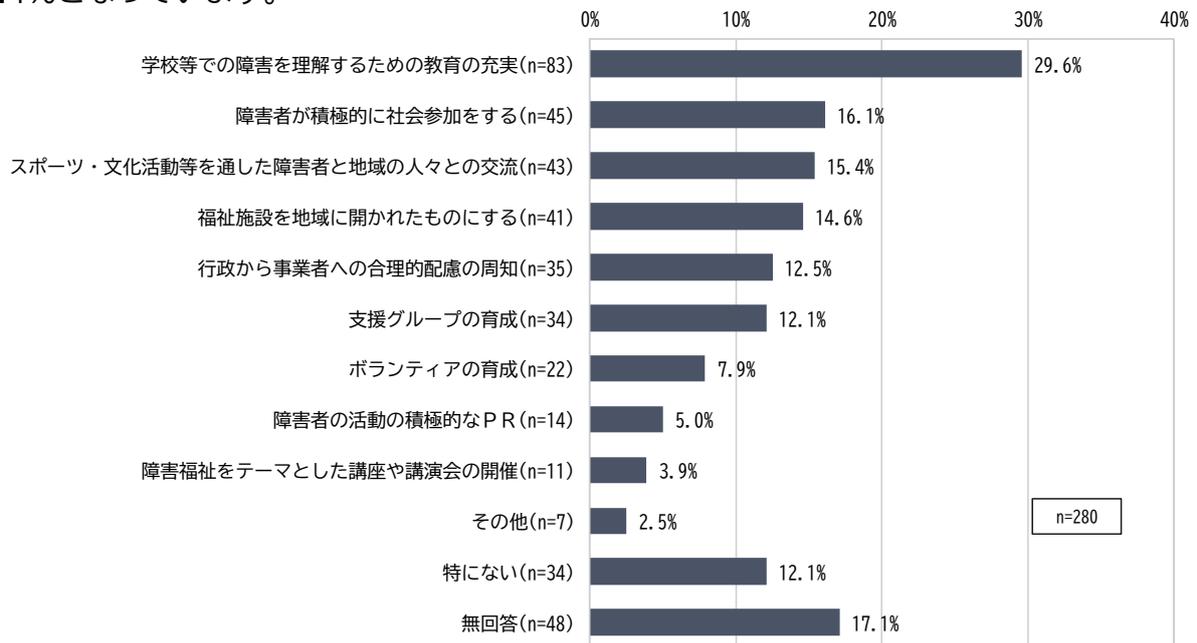
問39 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(〇は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が32.5%と最も多く、次いで「わからない」が27.1%となっています。



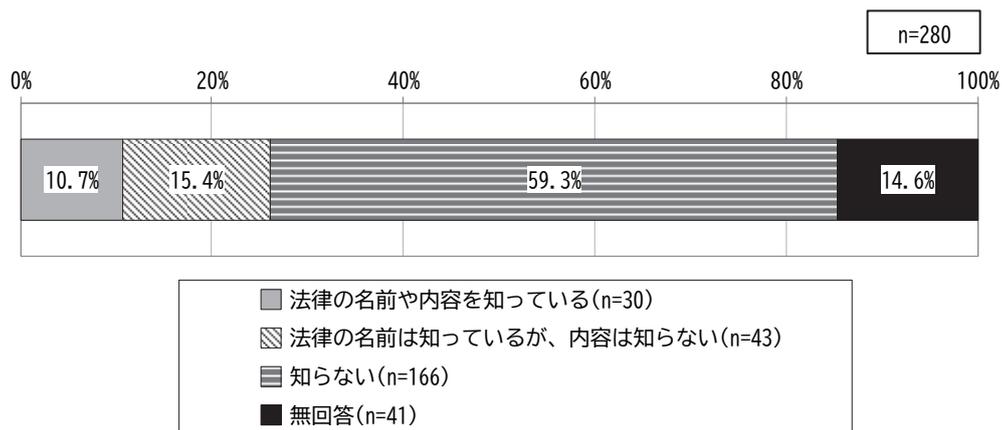
問40 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が29.6%と最も多く、次いで「障害者が積極的に社会参加をする」が16.1%となっています。



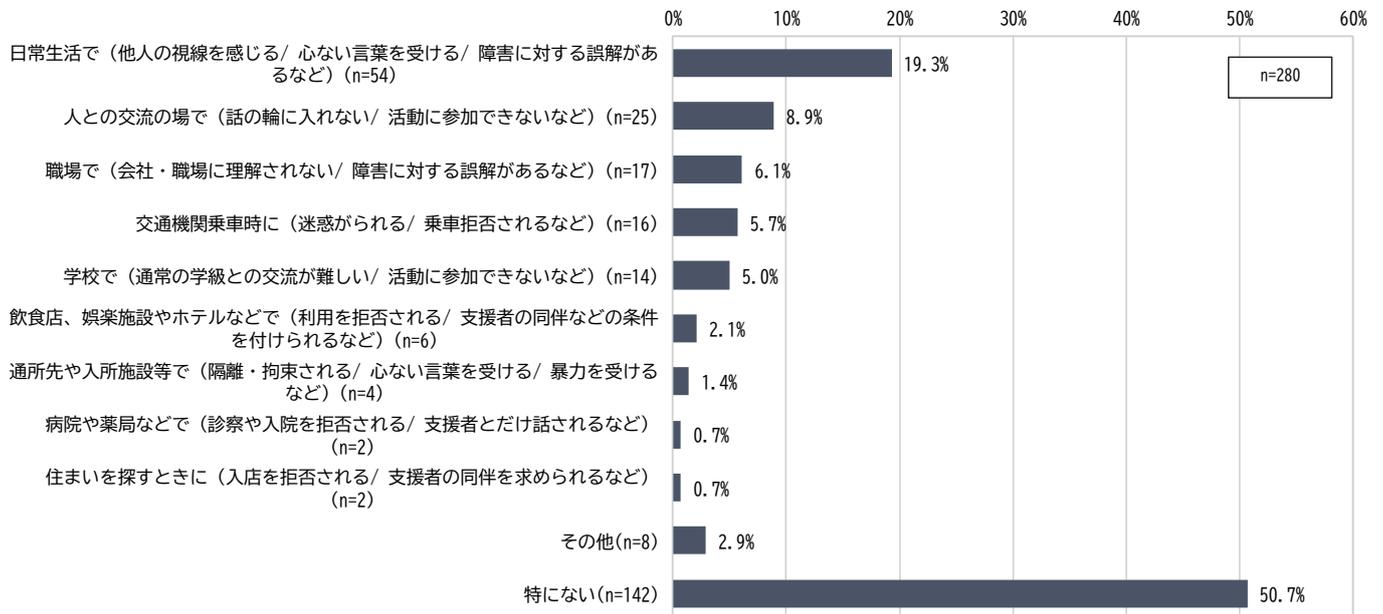
問41 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が59.3%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が15.4%となっています。



問42 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「特でない」が50.7%と最も多く、次いで「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」が19.3%、「人との交流の場で（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）」が8.9%となっています。

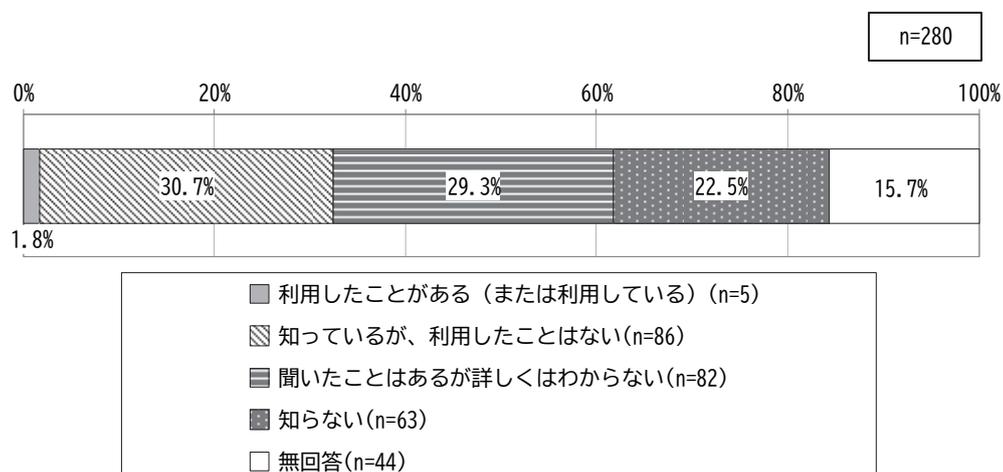


問43 経験したり、見聞きしたことがある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があったり助かったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問44 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

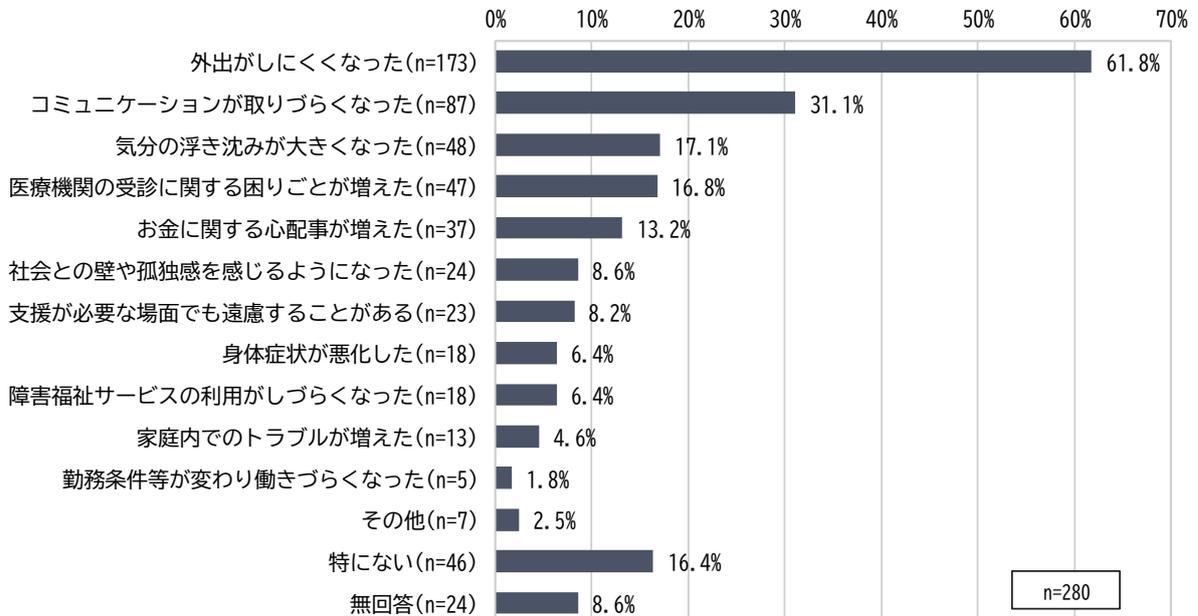
「成年後見制度」については、「知っているが、利用したことはない」が30.7%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が29.3%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

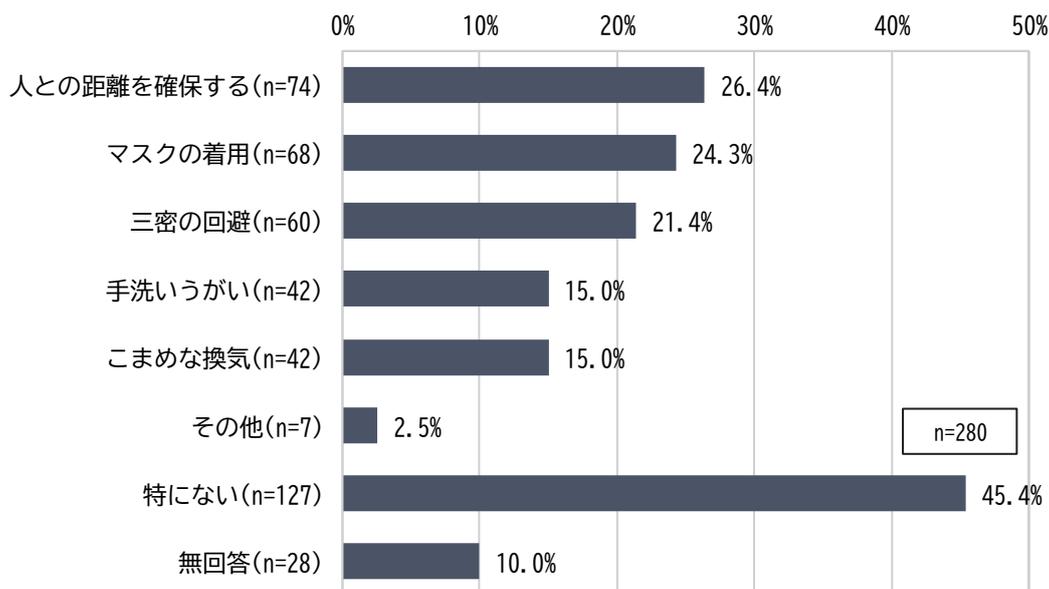
問45 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が61.8%と最も多く、次いで「コミュニケーションが取りづらくなった」が31.1%となっています。



問46 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

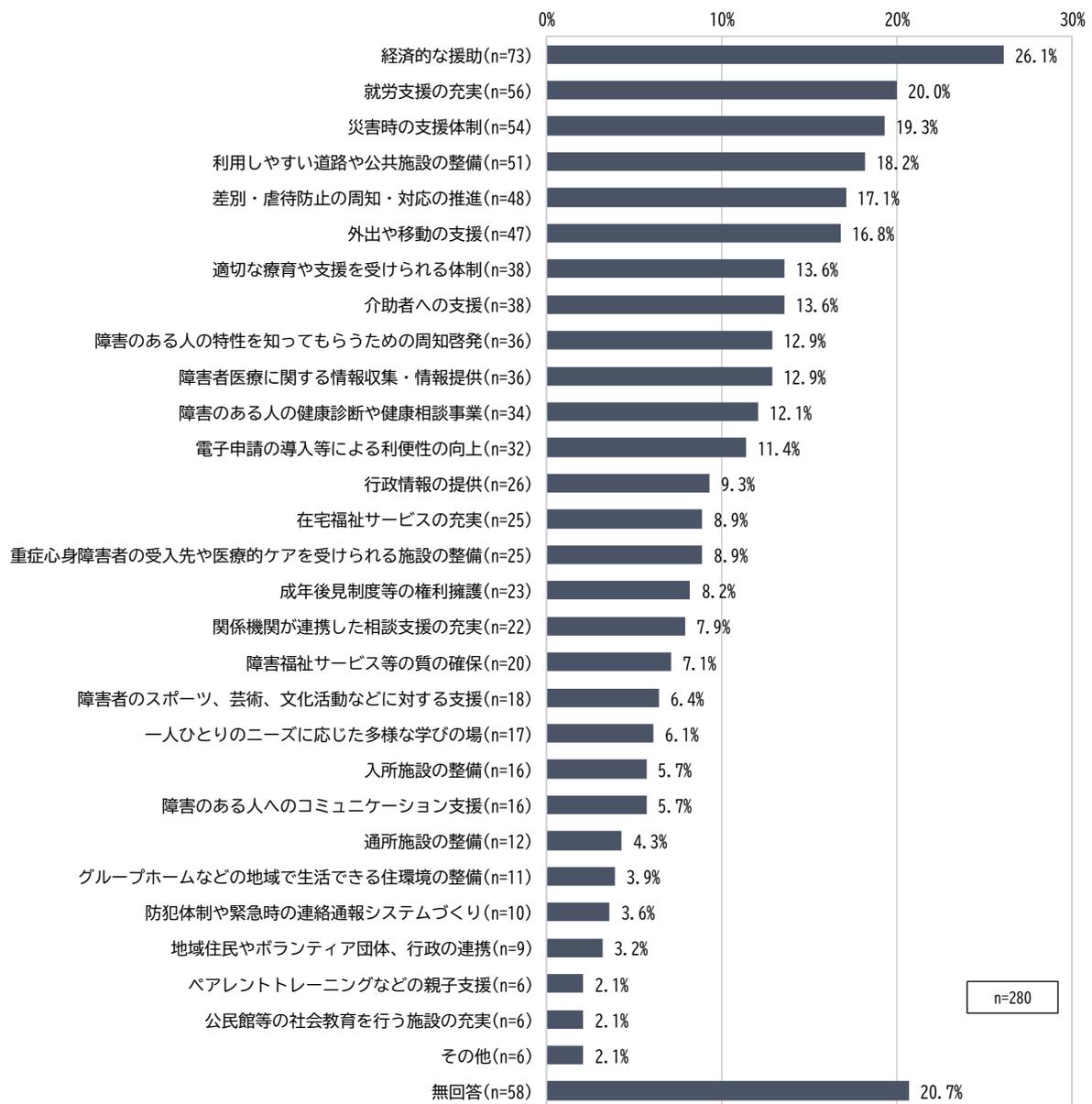
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「特にない」が45.4%と最も多く、次いで「人との距離を確保する」が26.4%、「マスクの着用」が24.3%となっています。



《市の取り組み等について》

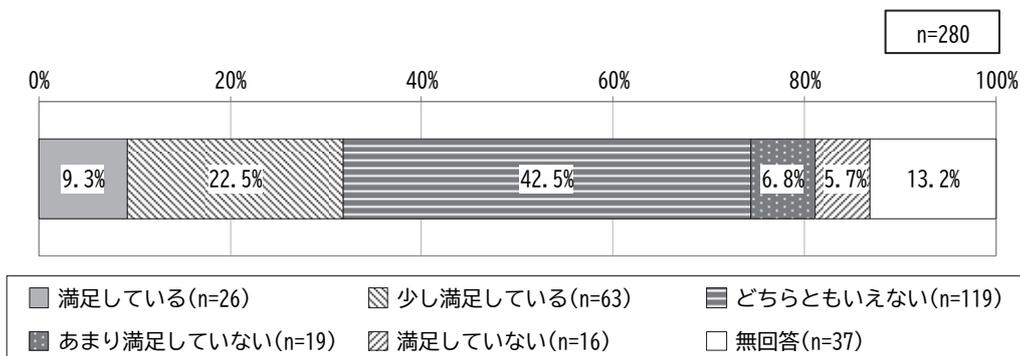
問47 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「経済的な援助」が26.1%と最も多く、次いで「就労支援の充実」が20.0%となっています。



問48 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が9.3%、「少し満足している」が22.5%となっています。また、「あまり満足していない」が6.8%、「満足していない」が5.7%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

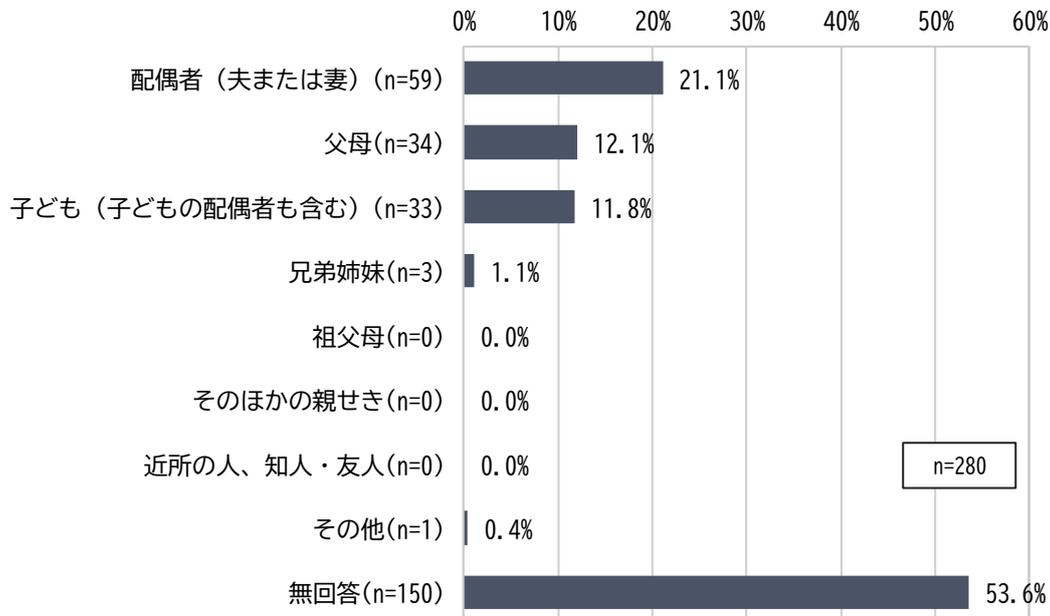
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

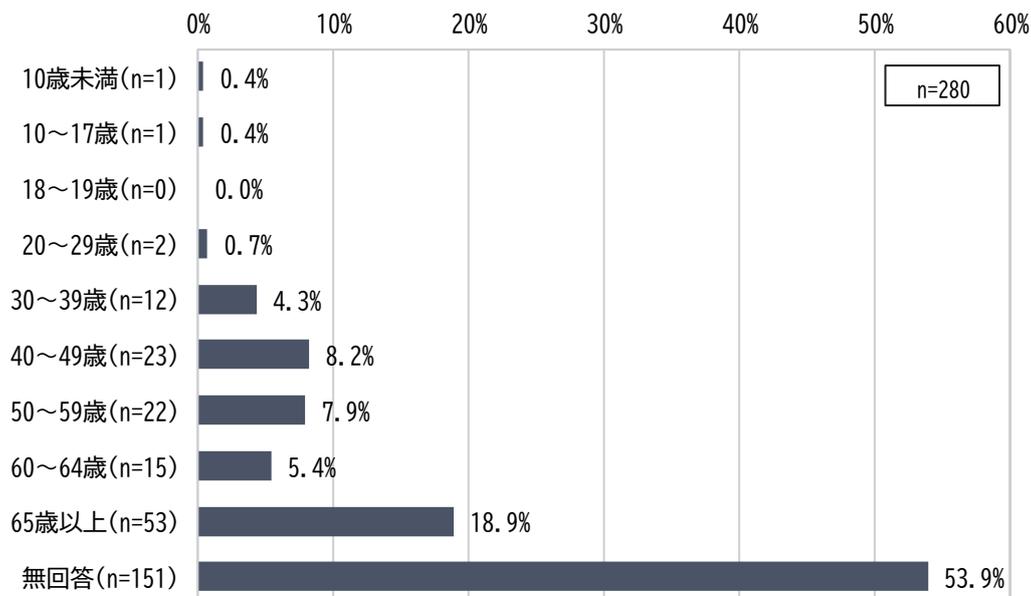
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「配偶者（夫または妻）」が21.1%と最も多く、次いで「父母」が12.1%となっています。



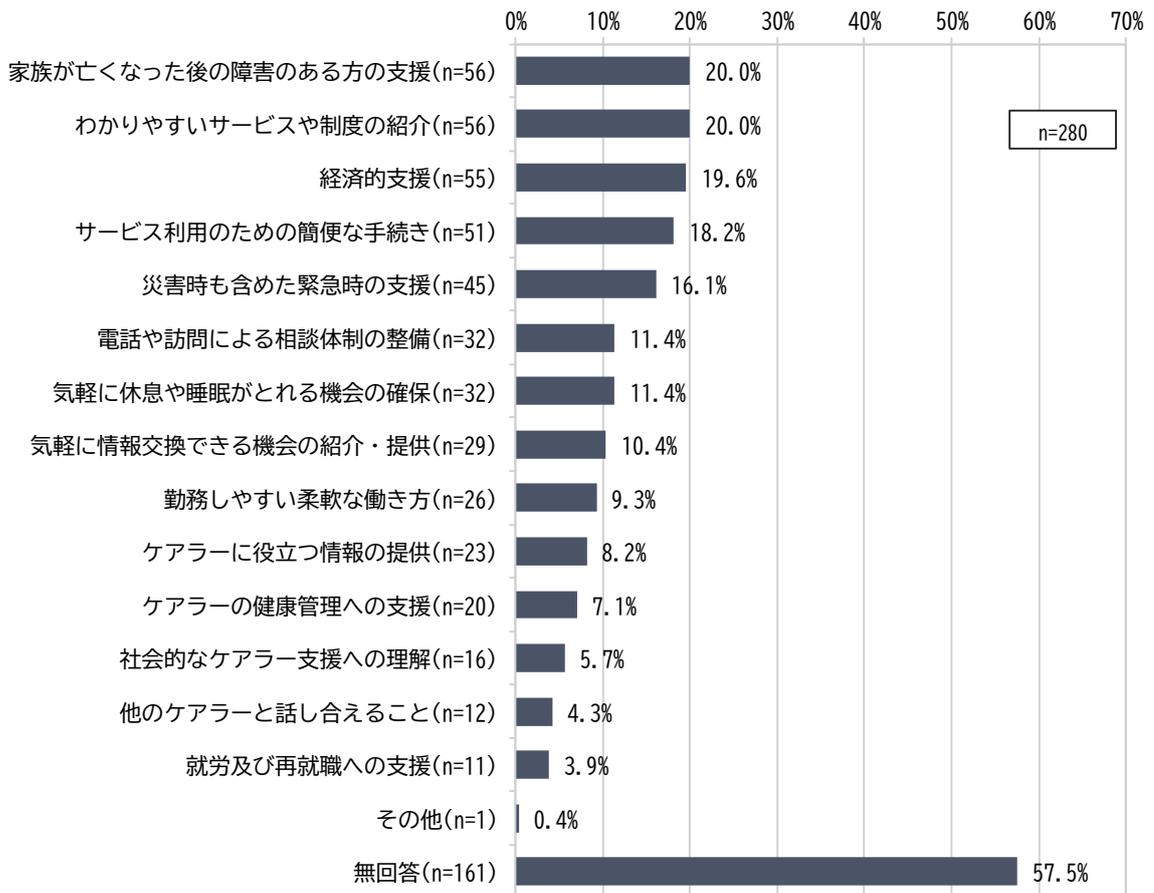
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が18.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が8.2%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」、「わかりやすいサービスや制度の紹介」がそれぞれ 20.0%と最も多くなっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

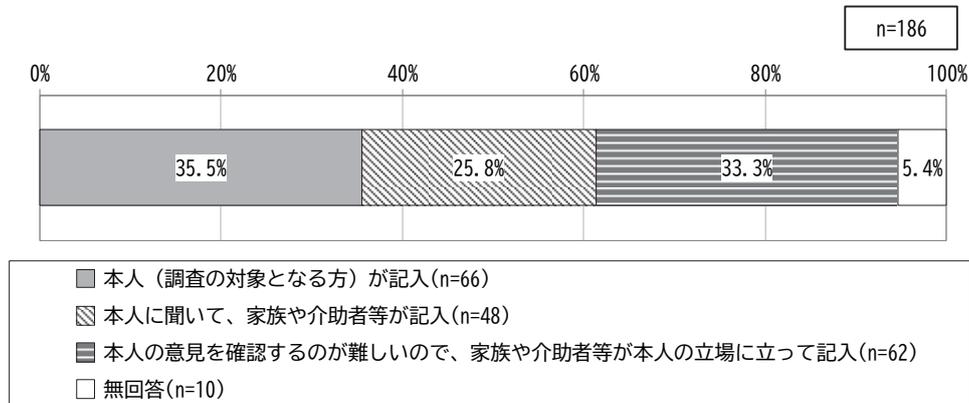
[自由記述編を参照]

調査結果 5. 発達障害者

《記入者・ご本人について》

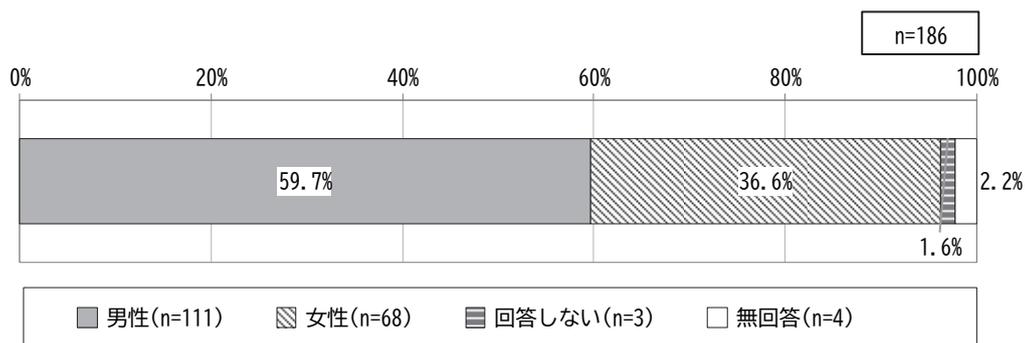
この調査票に記入する方はどなたですか。(○は1つ)

調査票に記入された方については、「本人が記入」が35.5%と最も多く、次いで「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が33.3%となっています。



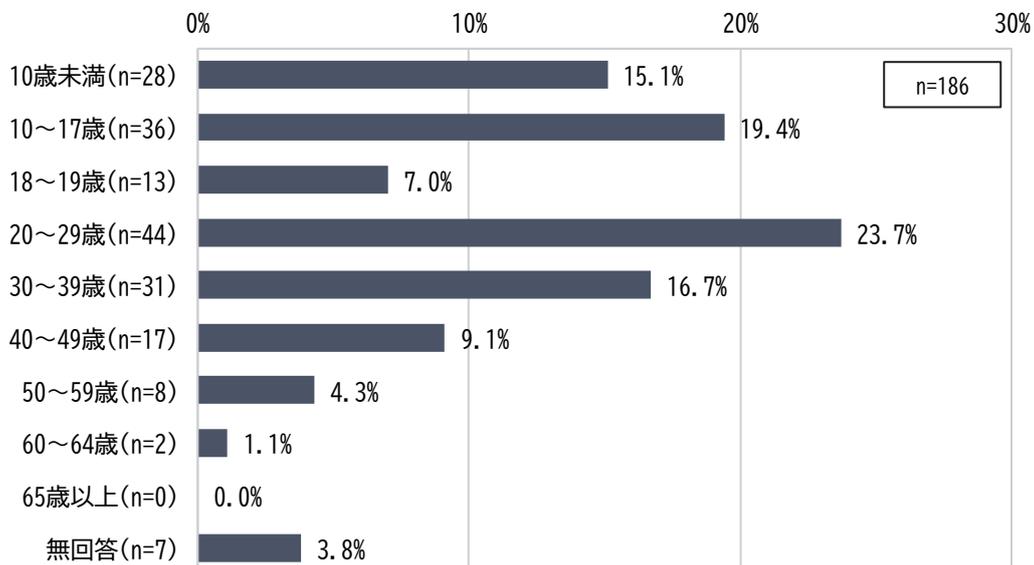
あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が59.7%、「女性」が36.6%となっています。



あなたの年齢 (令和4年9月1日現在) を記入してください。(○は1つ)

年齢については、「20～29歳」が23.7%と最も多く、次いで「10～17歳」が19.4%となっています。



現在、あなたはどこで暮らしていますか。(〇は1つ)

暮らしている場所については、「本人または家族の持ち家」が82.8%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が13.4%となっています。

n=186	本人または家族の持ち家 (n=154)	民間の賃貸住宅 (n=25)	公営の賃貸住宅 (n=2)	障害者グループホーム (n=0)	障害者の入所施設 (n=0)	高齢者施設(特養等) (n=0)	病院に入院中 (n=0)	その他 (n=0)	無回答 (n=5)
	82.8%	13.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%

現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

一緒に暮らしている人については、「父母」が79.6%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が43.0%となっています。

年齢	n	父母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者(夫または妻)	一人暮らし	子ども(子どもの配偶者も含む)	その他の親せき	障害者グループホーム・施設等の同居人	その他	無回答
全体	186	79.6%	43.0%	12.9%	6.5%	5.4%	3.8%	1.6%	0.0%	2.2%	2.7%
10歳未満	28	85.7%	50.0%	25.0%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
10～17歳	36	97.2%	61.1%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳	13	76.9%	46.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	44	88.6%	43.2%	6.8%	2.3%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%
30～39歳	31	77.4%	38.7%	16.1%	12.9%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	17	52.9%	17.6%	0.0%	11.8%	29.4%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
50～59歳	8	50.0%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～64歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

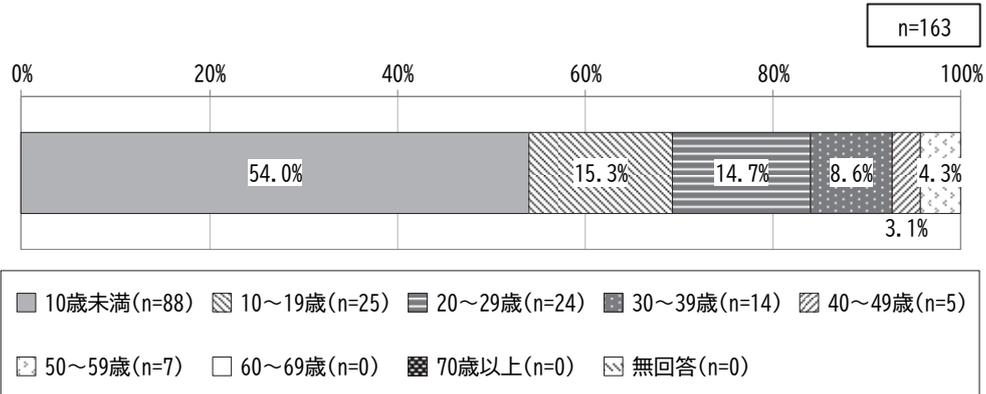
《障害の状況について》

問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

障害種別で「発達障害」を選択した方は、186人となっています。

問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

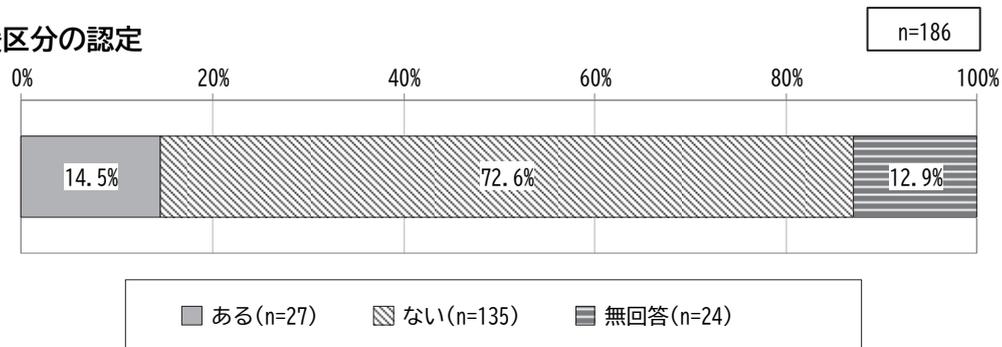
「発達障害または高次脳機能障害と診断された」と回答した方のうち、発達障害と診断された年齢は、「10歳未満」が54.0%と最も多く、次いで「10～19歳」が15.3%となっています。



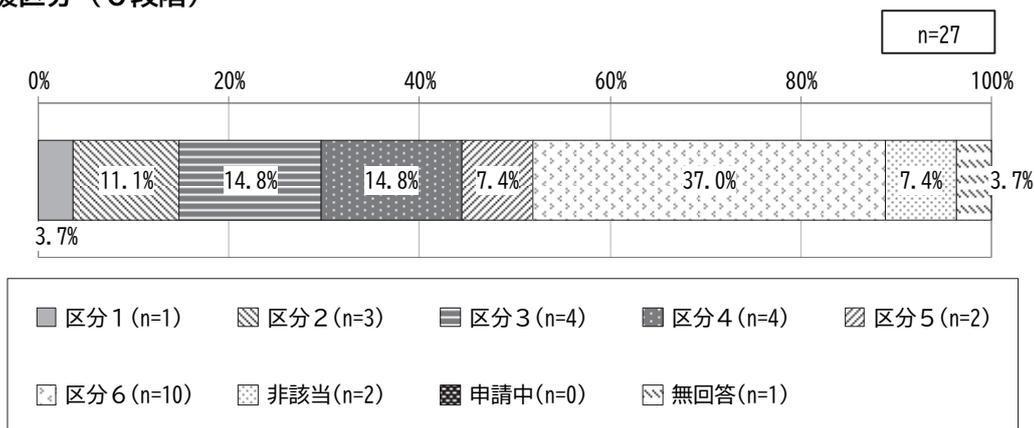
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が14.5%となっています。また、障害支援区分では「区分6」が37.0%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。（○は1つ）

主な介助者等については、「父母」が61.8%と最も多く、次いで「特に介助等は受けていない」が22.0%、「配偶者（夫または妻）」が3.2%となっています。

年齢	n	父母	配偶者（夫または妻）	祖父母	兄弟姉妹	その他の親せき	ホームヘルパー	子ども（子どもの配偶者も含む）	近所の人、知人・友人	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		全体	186	61.8%	3.2%	2.2%	1.1%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
10歳未満	28	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	10.7%
10～17歳	36	91.7%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%
18～19歳	13	69.2%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%
20～29歳	44	68.2%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	2.3%
30～39歳	31	25.8%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	41.9%	16.1%
40～49歳	17	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	11.8%
50～59歳	8	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
60～64歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
65歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【問4で1～10に○をつけた方にお聞きします】

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

どのようなときに介助等を受けているかについては、「書類等の手続きのとき」が88.6%と最も多く、次いで「通院するとき」が80.3%となっています。

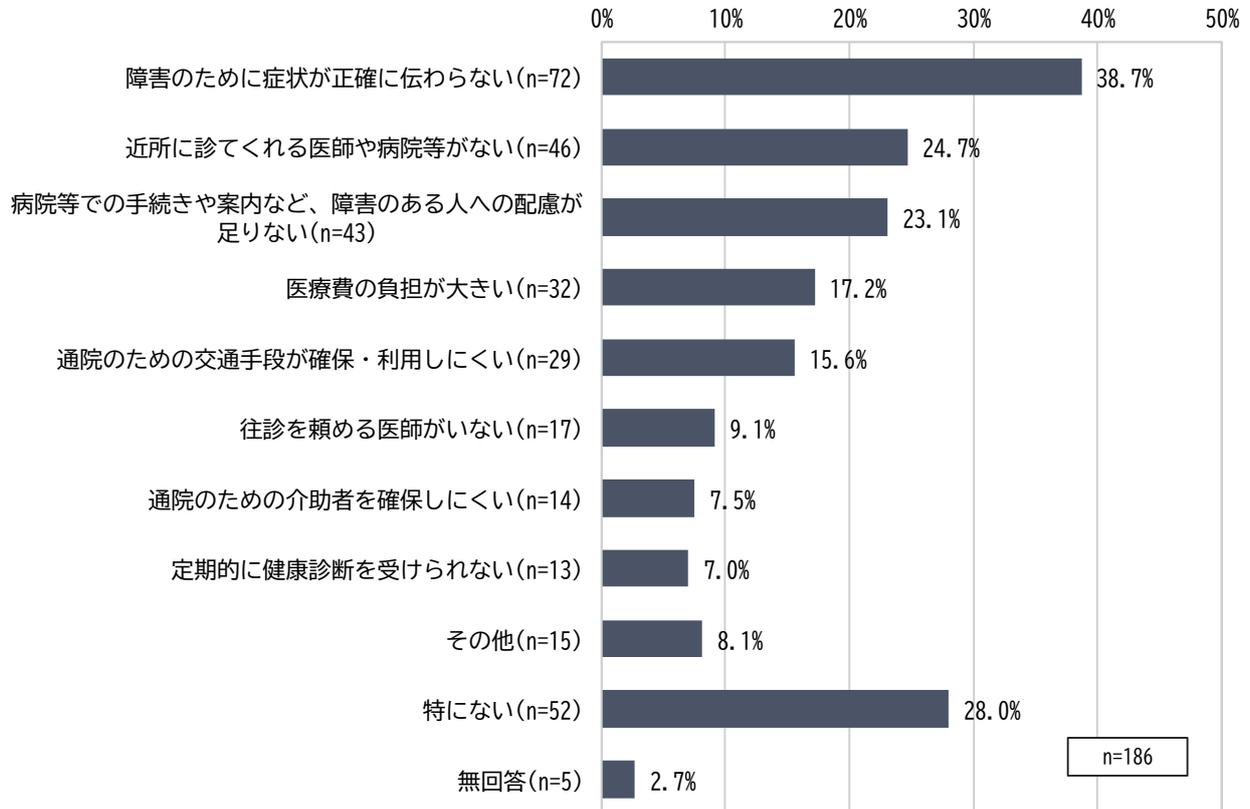
	n	書類等の手続きのとき	通院するとき	お金の管理をするとき	見守りが必要な状態のとき	外出するとき	人とコミュニケーションをとるとき	服薬のとき	洗濯、掃除をするとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	家の中を移動するとき	医療的ケア（経管栄養、痰の吸引等）の対応のとき	その他	無回答
全体	132	88.6%	80.3%	74.2%	72.0%	65.9%	63.6%	56.1%	53.0%	41.7%	9.1%	4.5%	3.0%	2.3%

《健康状態や医療について》

【ここからは、全員にお聞きします】

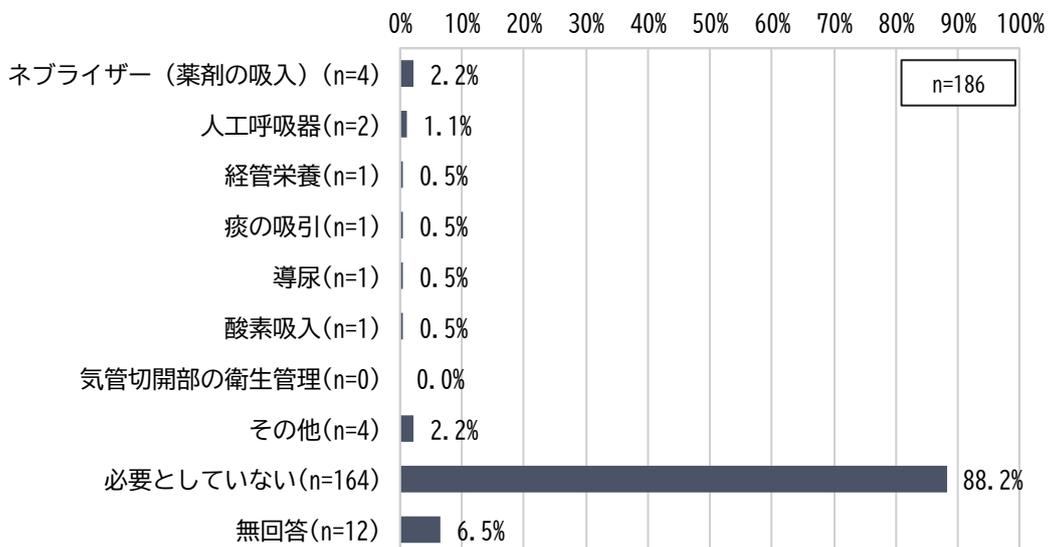
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「障害のために症状が正確に伝わらない」が38.7%と最も多く、次いで「特にない」が28.0%、「近所に診てくれる医師や病院等がない」が24.7%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

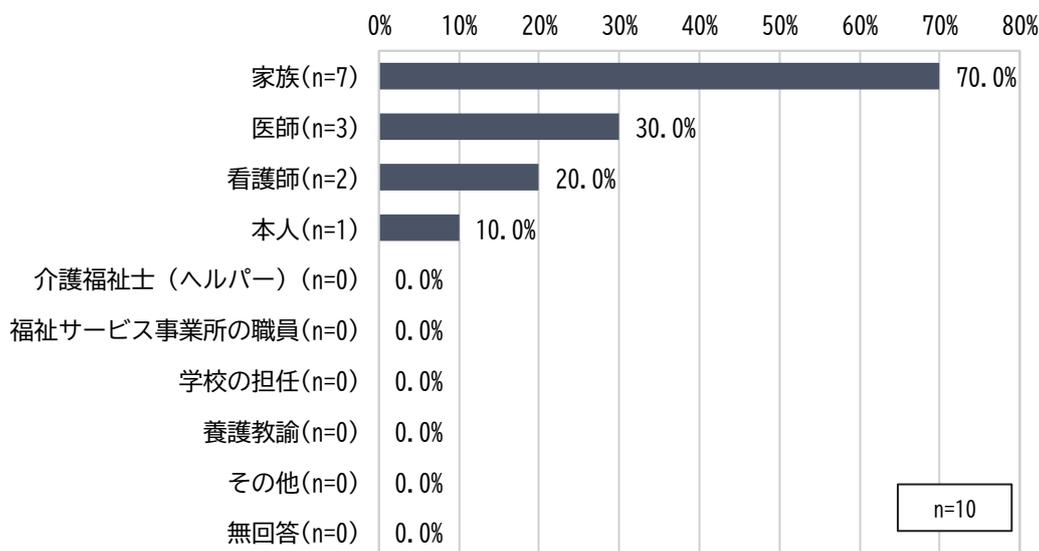
医療的ケアを必要としている方については、「ネブライザー（薬剤の吸入）」、「その他」がそれぞれ2.2%と最も多くなっています。



〔問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします〕

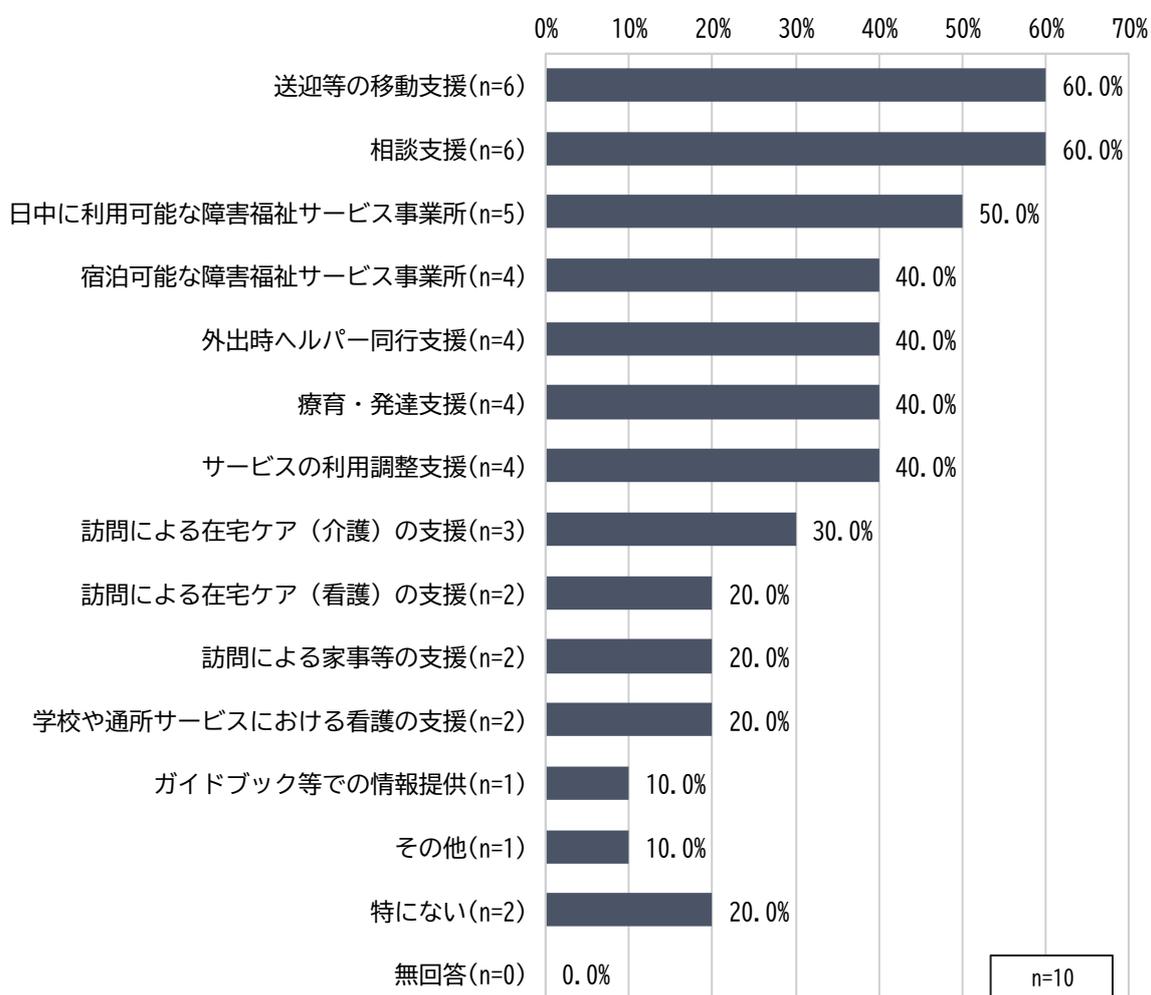
問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が70.0%と最も多く、次いで「医師」が30.0%となっています。



問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方のうち、日常生活を送る上で必要な支援については、「送迎等の移動支援」、「相談支援」がそれぞれ60.0%と最も多くなっています。

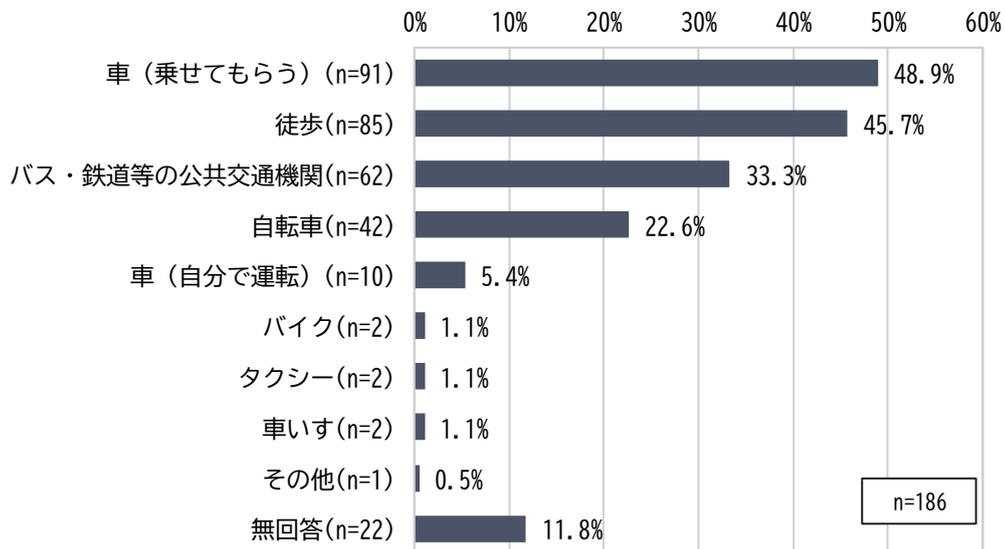


《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

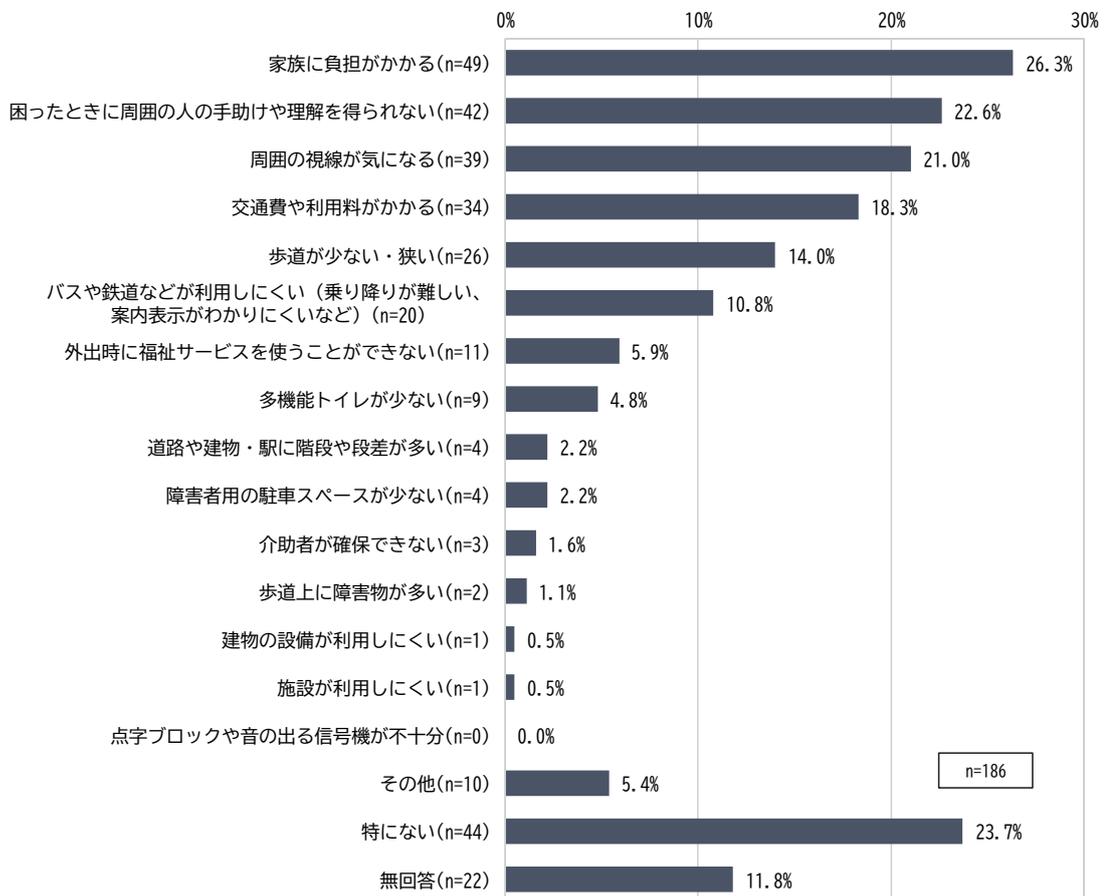
問10 外出の主な手段は何ですか。(〇は2つまで)

外出の主な手段については、「車（乗せてもらう）」が48.9%と最も多く、次いで「徒歩」が45.7%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「家族に負担がかかる」が26.3%と最も多く、次いで「特にない」が23.7%、「困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない」が22.6%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

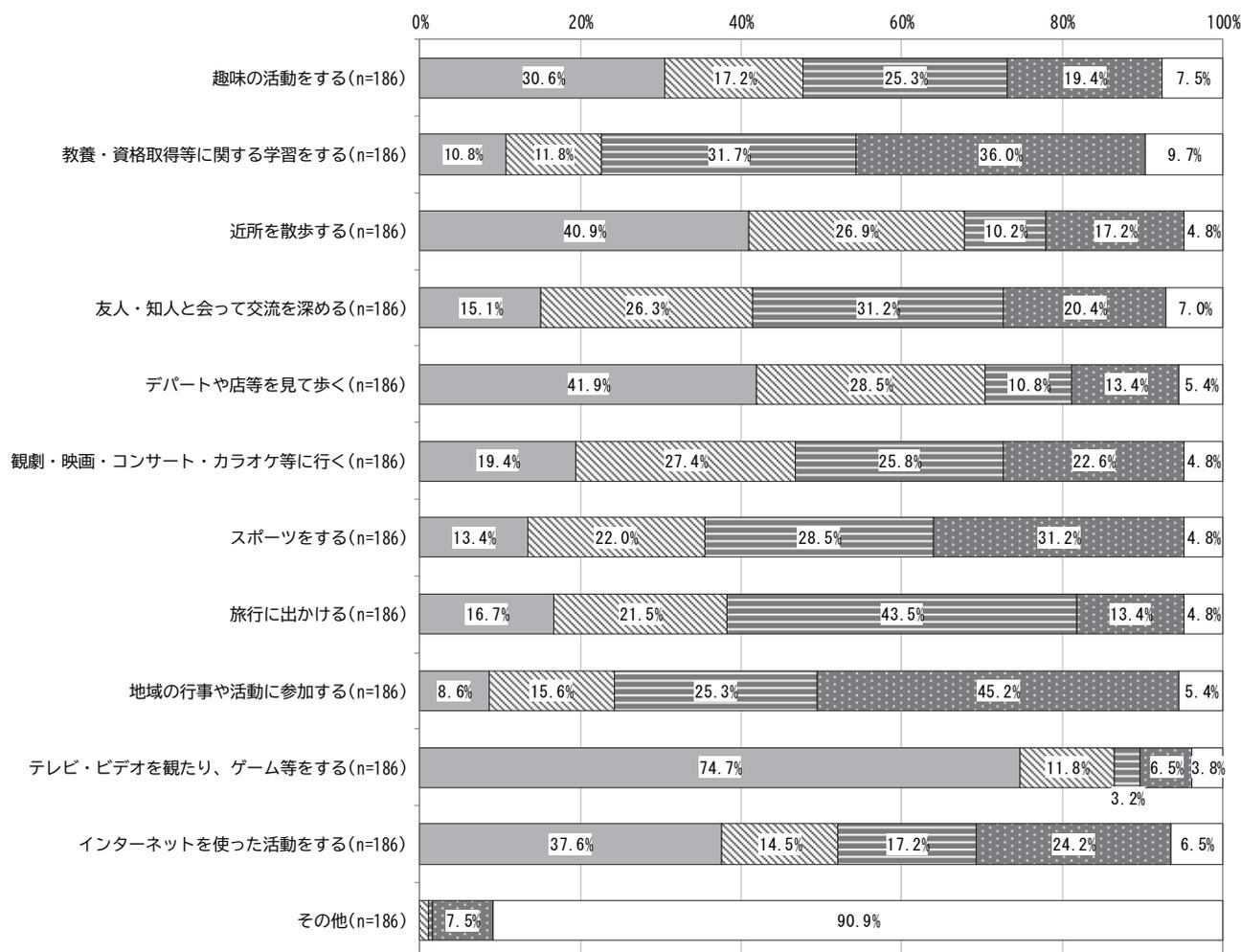
R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
外出するとお金がかかる	38.8%	家族に負担がかかる	26.3%
周囲の視線が気になる	35.8%	特にない	23.7%
特に困っていることはない	31.3%	困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	22.6%
家族に負担がかかる	28.4%	周囲の視線が気になる	21.0%
自分の意思を理解してもらえない	23.9%	交通費や利用料がかかる	18.3%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が74.7%と最も多く、次いで「デパートや店等を見て歩く」が41.9%となっています。

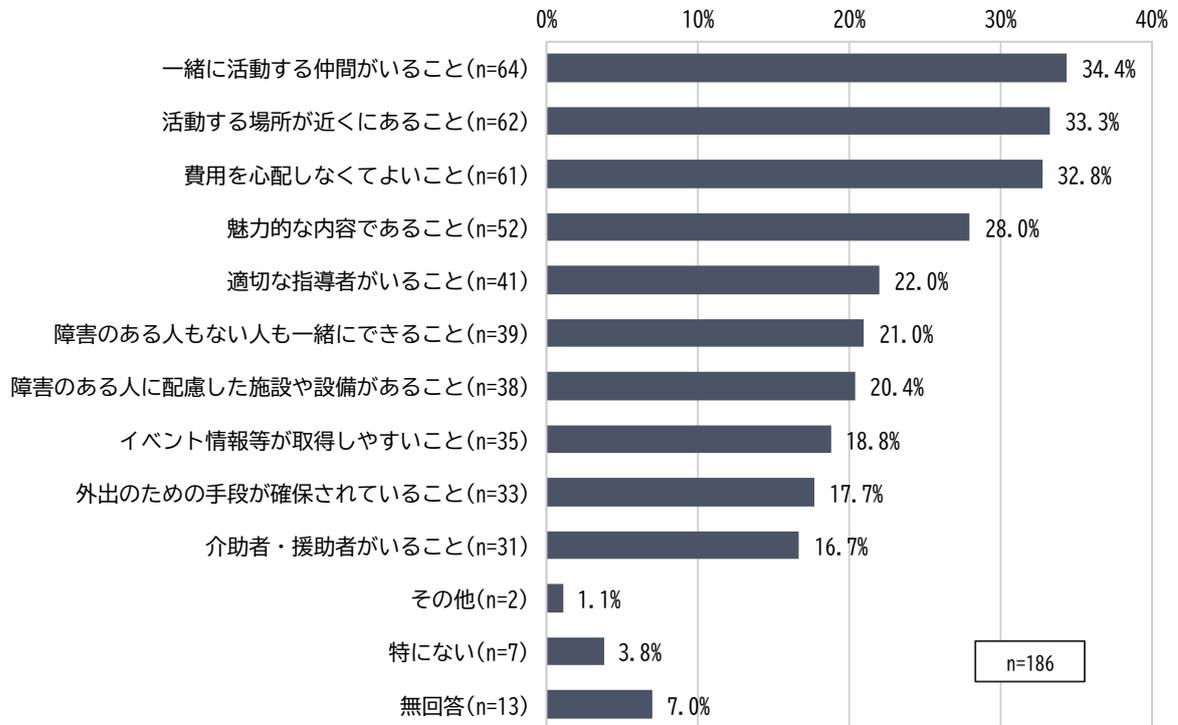
また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「旅行に出かける」が43.5%と最も多く、次いで「教養・資格取得等に関する学習をする」が31.7%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ▩ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「一緒に活動する仲間がいること」が34.4%と最も多く、次いで「活動する場所が近くにあること」が33.3%となっています。



《日中の過ごし方について》

問14 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

日中の過ごし方については、「幼稚園や保育所、学校等に通っている」が33.3%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしている（福祉的就労を含む）」が28.5%となっています。

年齢 (3区分)	n	幼稚園や保育所、学校等に通っている	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	家で過ごしている	障害者の通所施設・事業所に通っている	家の仕事を手伝っている	求職活動をしている	病院等 (デイケア等) で過ごしている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	入所施設で過ごしている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	その他	無回答
全体	186	33.3%	28.5%	26.3%	16.7%	6.5%	3.2%	1.1%	1.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	4.3%
18歳未満	64	90.6%	0.0%	4.7%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
18~64歳	115	2.6%	45.2%	39.1%	24.3%	9.6%	5.2%	1.7%	1.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	2.6%
65歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
家庭内で過ごしている	44.8%	幼稚園や保育所、学校等に通っている	33.3%
収入を伴う仕事をしている	34.3%	収入を伴う仕事をしている (福祉的就労含む)	28.5%
施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けている	19.4%	家で過ごしている	26.3%
家の仕事を手伝っている	16.4%	障害者の通所施設・事業所に通っている	16.7%
通所サービスを利用している	10.4%	家の仕事を手伝っている	6.5%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《幼稚園や保育所、学校などについて》

[問15~17は、問14で「1. 幼稚園や保育所、学校等に通っている」に○をつけた方にお聞きします]

問15 主に通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育所、学校等に通っている人の通園通学先については、62件中「特別支援学校」が17件と最も多く、次いで「特別支援学級」が14件となっています。

n=62	特別支援学校	特別支援学級	小学校、中学校、高等学校	幼稚園、保育所	障害児通所支援事業所	短大・大学・大学院	専門学校・専修学校・高等技術専門学校等	その他	無回答
	17	14	12	6	5	2	1	0	5

問16 学校で勉強する場合にどのような学習形態を望みますか。(○は1つ)

学校で勉強する場合の学習形態については、62件中「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」が33件と最も多く、次いで「同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい」が15件となっています。

n=62	障害のある仲間とも勉強したい	同じような障害のある仲間たちのクラスで勉強したい	障害のある仲間と勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい	わからない	その他	無回答
	33	15	4	4	1	5

問17 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることについては、62件中「特になし」が21件と最も多く、次いで「授業についていけない」が14件、「校内・園内での支援が不十分」、「友だちができない」がそれぞれ10件となっています。

n=62	授業についていけない	校内・園内での支援が不十分	友だちができない	教職員の理解が得られない	学校の数が少ない	家族の同伴を求められる	通うための介助者を確保しにくい	通うための交通手段が確保・利用しにくい	児童・生徒の理解が得られない	トイレなどの設備が不十分	受け入れてくれる学校がない	医療的ケアが受けられない	通常の学級に入れない	その他	特になし	無回答
		14	10	10	9	9	8	6	6	5	3	3	1	1	6	21

《雇用・就労について》

[問18~21は、問14で「2. 収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」に○をつけた方にお聞きします]

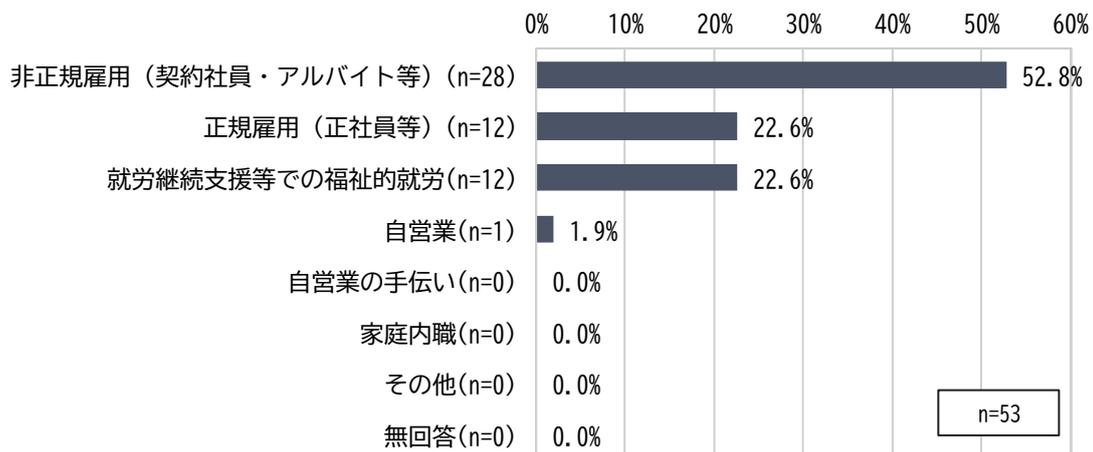
問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「1年未満」、「5年以上」がそれぞれ28.3%と最も多くなっています。



問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「非正規雇用(契約社員・アルバイト等)」が52.8%と最も多く、次いで「正規雇用(正社員等)」、「就労継続支援等での福祉的就労」がそれぞれ22.6%となっています。

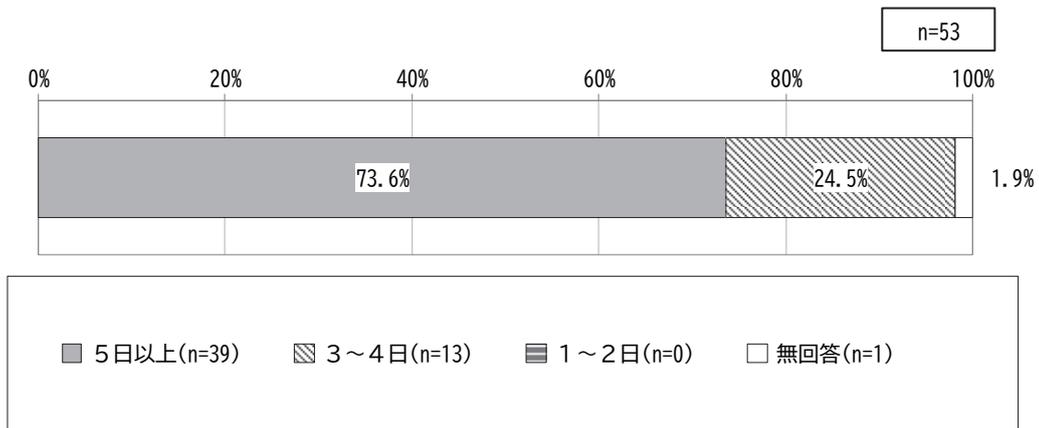


**問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。((1) (2) それぞれ○は1つ)**

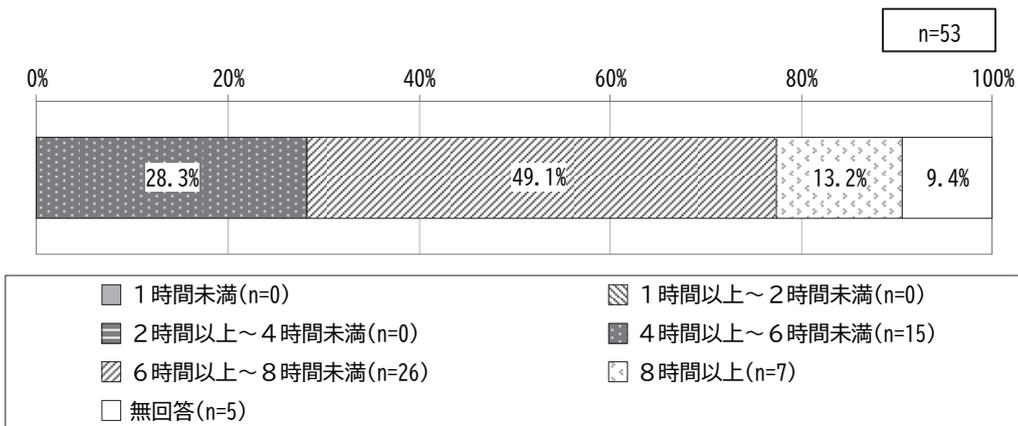
1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が73.6%と最も多く、次いで「3～4日」が24.5%となっています。

1日あたりの就労時間については、「6時間以上～8時間未満」が49.1%と最も多く、次いで「4時間以上～6時間未満」が28.3%となっています。

(1) 1週間あたり



(2) 1日あたり



問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

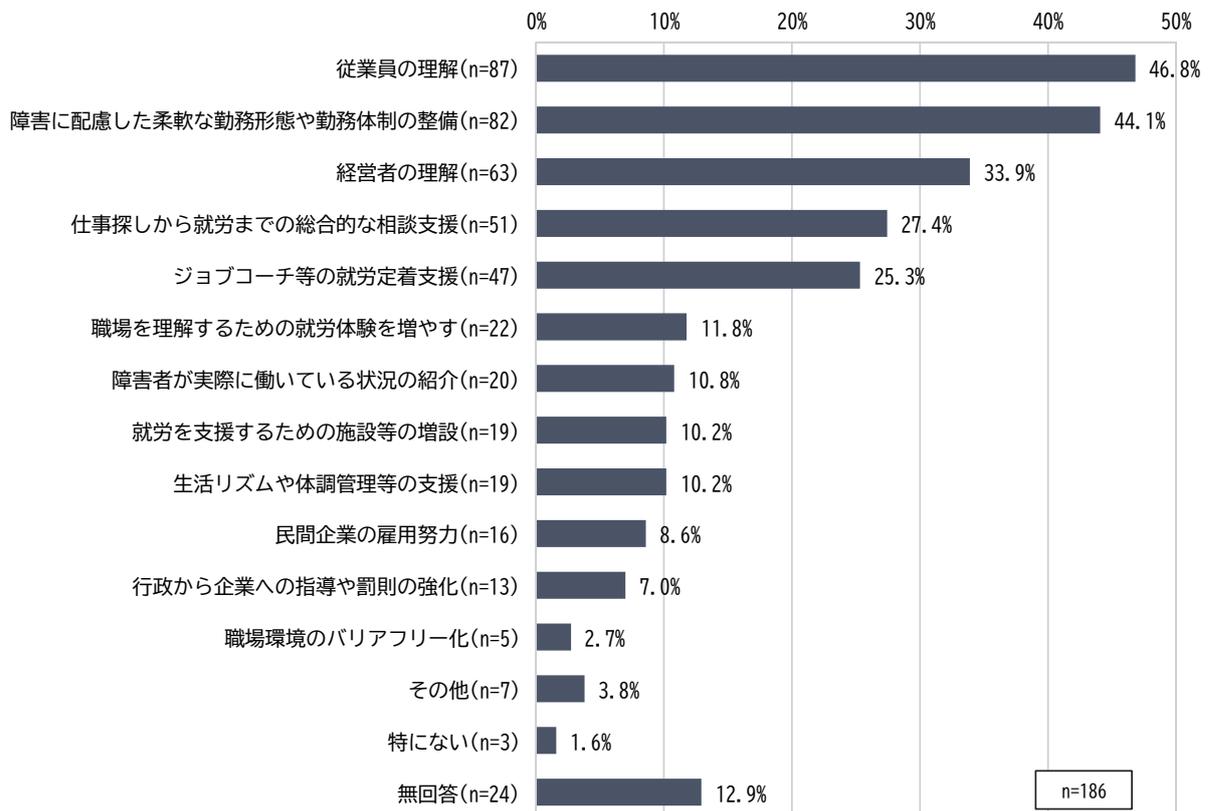
仕事をする上で困っていることについては、「収入が少ない」が50.9%と最も多く、次いで「職場の人間関係」、「コミュニケーションができない」がそれぞれ35.8%となっています。

就労形態	n	収入が少ない	職場の人間関係	コミュニケーションができない	体調のコントロールが難しい	通勤が大変	職場の理解が得られない	能力を發揮できない	業務内容が合わない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	仕事がついつい	就業時間が合わない	その他	特にない	無回答
		全体	53	50.9%	35.8%	35.8%	24.5%	20.8%	13.2%	11.3%	5.7%	5.7%	3.8%	3.8%	1.9%
正規雇用(正社員等)	12	16.7%	66.7%	58.3%	16.7%	33.3%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
非正規雇用(契約社員・アルバイト等)	28	67.9%	32.1%	32.1%	28.6%	14.3%	17.9%	17.9%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	3.6%	17.9%	0.0%
自営業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	12	50.0%	16.7%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

【ここからは、全員にお聞きします】

問22 障害のある人の就労を促進するために、あなたはどのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「従業員の理解」が46.8%と最も多く、次いで「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が44.1%となっています。



問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が39.8%と最も多く、次いで「わからない・答えたくない」が21.0%、「年収100万円以上150万円未満」が10.8%となっています。

	n	年収100万円未満	年収100万円以上150万円未満	年収150万円以上200万円未満	年収200万円以上300万円未満	年収300万円以上500万円未満	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
全体	186	39.8%	10.8%	4.3%	4.3%	2.2%	1.1%	21.0%	16.7%
就労形態									
正規雇用（正社員等）	12	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%
非正規雇用（契約社員・アルバイト等）	28	17.9%	39.3%	21.4%	3.6%	0.0%	0.0%	14.3%	3.6%
自営業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	12	66.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%
主な収入									
給与・賃金	49	18.4%	34.7%	12.2%	14.3%	2.0%	2.0%	16.3%	0.0%
事業収入	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援施設や作業所の工賃	8	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
家族の収入（仕送り・援助含む）	113	53.1%	8.8%	1.8%	1.8%	0.9%	0.9%	23.9%	8.8%
年金	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
障害年金	49	49.0%	16.3%	4.1%	4.1%	0.0%	2.0%	22.4%	2.0%
生活保護	4	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%

問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を支えている収入については、「家族の収入（仕送り・援助含む）」が60.8%と最も多く、次いで「給与・賃金」、「障害年金」がそれぞれ26.3%となっています。

年齢（3区分）	n	家族の収入（仕送り・援助含む）	給与・賃金	障害年金	就労継続支援施設や作業所の工賃	生活保護	事業収入	年金	その他	無回答
		全体	186	60.8%	26.3%	26.3%	4.3%	2.2%	1.1%	1.1%
18歳未満	64	68.8%	4.7%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	6.3%	23.4%
18～64歳	115	55.7%	39.1%	40.9%	7.0%	2.6%	1.7%	1.7%	6.1%	4.3%
65歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

《今後の希望について》

問25 近い将来（今後3年以内）に、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）に、どこで暮らしたいと思うかについては、「家族と一緒に暮らしたい」が71.5%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」が14.0%となっています。

生活場所	n	家族と一緒に暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	共同生活する住居（障害者グループホーム等）で暮らしたい	障害者施設で暮らしたい	高齢者施設で暮らしたい	その他	無回答
		全体	186	71.5%	14.0%	4.3%	2.7%	0.0%
本人または家族の持ち家	154	71.4%	14.3%	3.9%	3.2%	0.0%	0.6%	6.5%
民間の賃貸住宅	25	72.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%
公営の賃貸住宅	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者グループホーム	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の入所施設	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者施設（特養等）	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院に入院中	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問26 近い将来（今後3年以内）に、あなたは日中を主にどのように過ごしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）の日中の過ごし方については、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が42.5%と最も多く、次いで「幼稚園や保育所、学校等に通いたい」が26.3%となっています。

日中の過ごし方	n	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	家庭内で過ごしたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	障害者の入所施設で過ごしたい	家の仕事を手伝いたい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	ボランティアなどをしてほしい	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	その他	無回答
		全体	186	42.5%	26.3%	9.1%	7.0%	3.2%	1.6%	1.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
幼稚園や保育所、学校等に通っている	62	9.7%	74.2%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%
収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	53	77.4%	0.0%	3.8%	3.8%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%
無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	31	48.4%	0.0%	45.2%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
入所施設で過ごしている	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院等（デイケア等）で過ごしている	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
求職活動をしている	6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家の仕事を手伝っている	12	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
家で過ごしている	49	49.0%	0.0%	10.2%	16.3%	10.2%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	8.2%

■前回調査（R1）比較

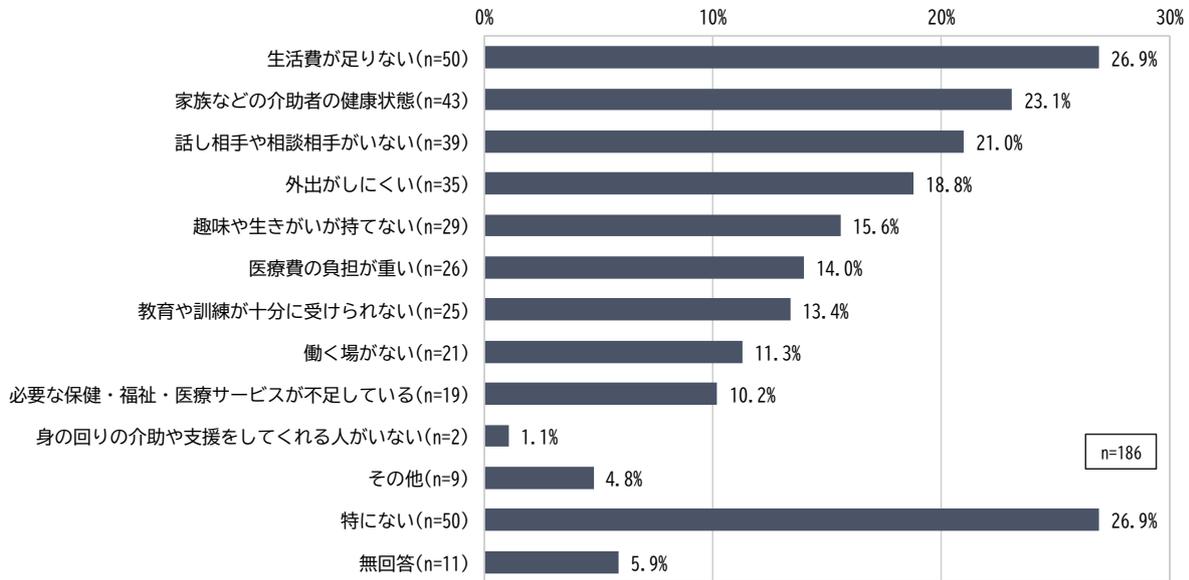
R1 調査（前回）		R4 調査（今回）	
一般企業などで働きたい	50.7%	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	42.5%
家庭内で過ごしたい	28.4%	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	26.3%
自立した日常生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための必要な訓練を受けたい	20.9%	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	9.1%
創作活動や社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	16.4%	家庭内で過ごしたい	7.0%
施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	14.9%	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	3.2%

※今回（R4）調査と前回（R1）調査で、選択肢が異なる部分があります。

《相談や情報入手について》

問27 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「生活費が足りない」、「特にない」がそれぞれ26.9%と最も多く、次いで「家族などの介助者の健康状態」が23.1%となっています。



問28 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

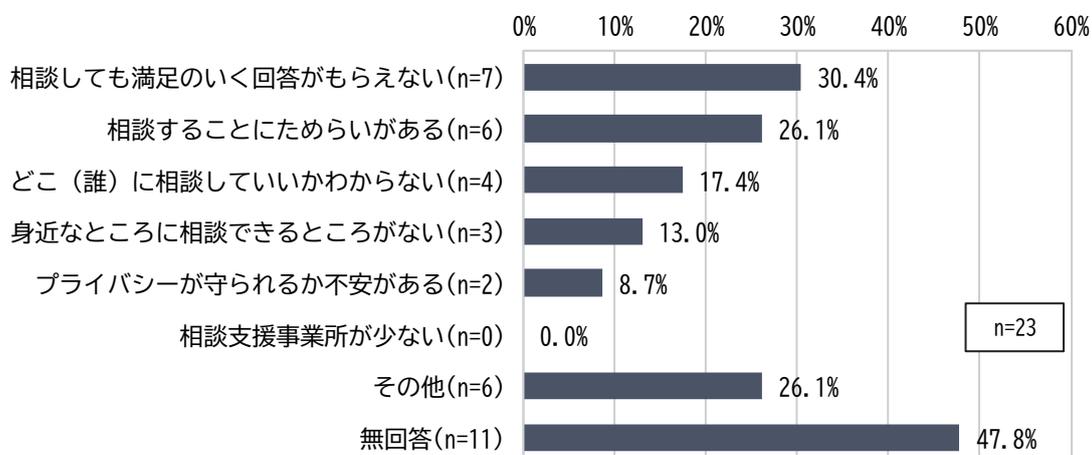
悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談するかについては、「家族や親せき」が69.9%と最も多く、次いで「障害者施設や事業所の職員」が24.2%となっています。

年齢	n	家族や親せき	障害者施設や事業所の職員	病院・医師・看護師	近所の人、知人・友人	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所	職場の仲間	インターネット上のコミュニティ	川越市障害者総合相談支援センター	国・県・市などの相談窓口	身体障害者・知的障害者相談員	社会福祉協議会	障害者団体や家族会	民生委員・児童委員	ボランティア	医療的ケア児等コーディネーター	その他	相談したいが、できない	相談したいと思わない	無回答
		全体	186	69.9%	24.2%	21.0%	14.5%	13.4%	12.4%	10.2%	5.9%	4.3%	3.8%	3.2%	2.2%	1.6%	1.6%	0.5%	0.0%	3.2%	12.4%
10歳未満	28	78.6%	25.0%	7.1%	7.1%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	10.7%	0.0%	7.1%
10～17歳	36	58.3%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	8.3%	11.1%
18～19歳	13	69.2%	23.1%	46.2%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
20～29歳	44	79.5%	31.8%	15.9%	18.2%	2.3%	15.9%	15.9%	2.3%	4.5%	0.0%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	11.4%	4.5%	0.0%
30～39歳	31	77.4%	25.8%	32.3%	16.1%	0.0%	9.7%	22.6%	6.5%	12.9%	9.7%	3.2%	6.5%	0.0%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	6.5%
40～49歳	17	58.8%	17.6%	41.2%	29.4%	0.0%	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	23.5%	11.8%	0.0%
50～59歳	8	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%
60～64歳	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【問28で「18. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問29 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

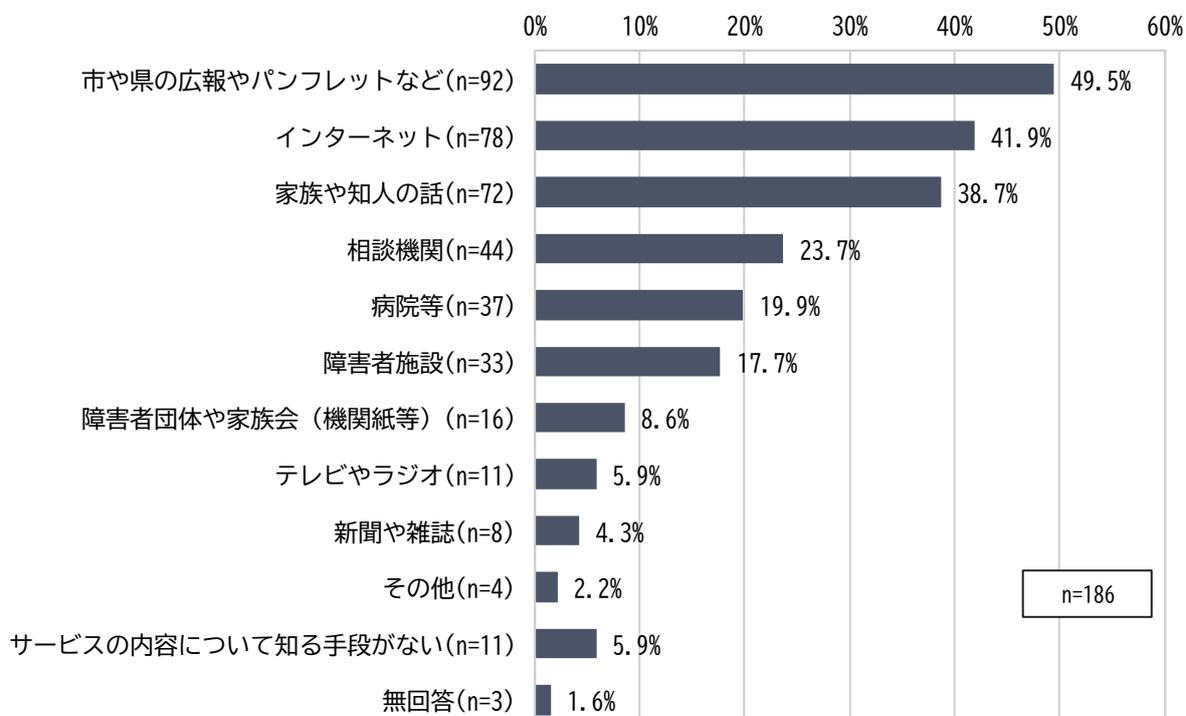
相談できない理由については、「相談しても満足いく回答がもらえない」が30.4%と最も多く、次いで「相談することにとめらいがある」、「その他」がそれぞれ26.1%となっています。



【ここからは、全員にお聞きします】

問30 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が49.5%と最も多く、次いで「インターネット」が41.9%となっています。



問31 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が51.1%と最も多く、次いで「複雑な文章表現がわかりにくい」が48.9%となっています。

		話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	複雑な文章表現がわかりにくい	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	相手の意思や情報を把握できない	相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	どこを調べればよいかわからない	希望している福祉サービスについての情報が少ない、内容がわかりにくい	パソコンやスマートフォンなどの操作がわからない	案内表示がわかりにくい	Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない	要約筆記者がいない	音声情報や点字など視覚障害に配慮した情報が少ない	文字情報やヒアリンググループなど聴覚障害に配慮した情報が少ない	手話通訳者がいない	その他	特になし	無回答
全体	n 186	51.1%	48.9%	47.8%	36.0%	32.3%	29.6%	15.6%	10.2%	9.7%	1.6%	1.6%	1.1%	0.5%	0.5%	3.8%	17.2%	4.8%

《福祉サービスについて》

問32 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。
サービス等を利用していない場合は、問33へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「放課後等デイサービス」が37人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が83.8%となっています。次いで「就労継続支援B型」が16人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が86.7%となっています。

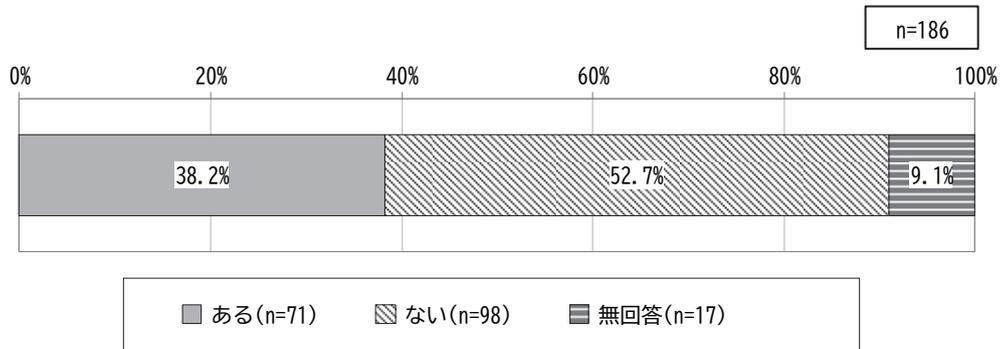
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
放課後等デイサービス	37	83.8%	10.8%	5.4%
就労継続支援B型	16	86.7%	13.3%	0.0%
計画相談支援	12	83.3%	8.3%	8.3%
行動援護	11	55.6%	33.3%	11.1%
生活介護	11	90.0%	10.0%	0.0%
短期入所（ショートステイ）	11	44.4%	44.4%	11.1%
児童発達支援	11	90.9%	9.1%	0.0%
就労定着支援	9	55.6%	11.1%	33.3%
就労移行支援	8	14.3%	28.6%	57.1%
自立訓練（生活訓練）	5	33.3%	33.3%	33.3%
障害児相談支援	5	100.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援A型	4	100.0%	0.0%	0.0%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	3	100.0%	0.0%	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	2	50.0%	50.0%	0.0%
自立訓練（機能訓練）	2	100.0%	0.0%	0.0%
重度訪問介護	1	100.0%	0.0%	0.0%
療養介護	1	100.0%	0.0%	0.0%
同行援護	0	-	-	-
重度障害者等包括支援	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
施設入所支援	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
居宅訪問型児童発達支援	0	-	-	-
障害児入所支援(福祉型)	0	-	-	-
障害児入所支援(医療型)	0	-	-	-

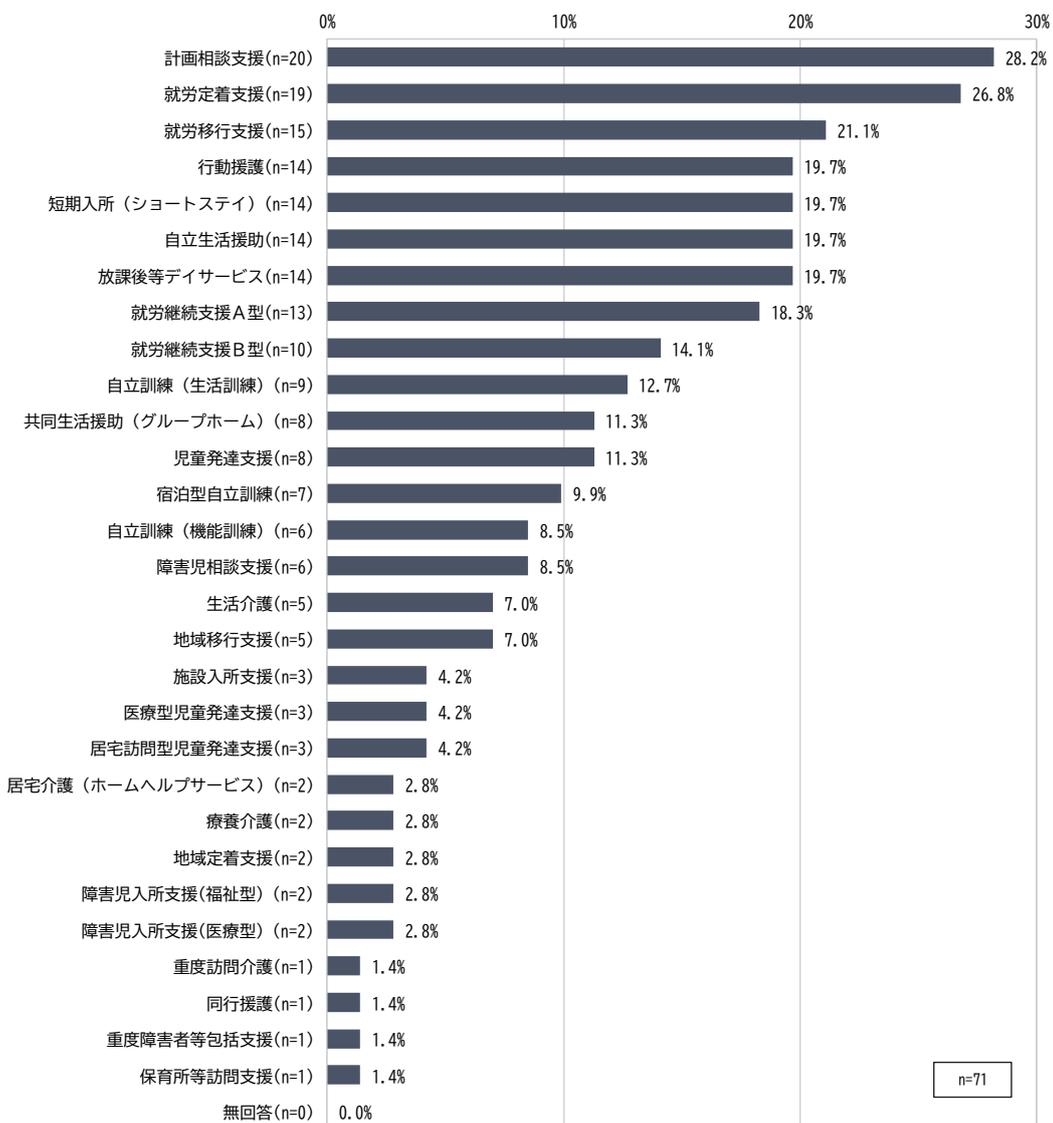
問33 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が38.2%、「ない」が52.7%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「計画相談支援」が28.2%と最も多く、次いで「就労定着支援」が26.8%となっています。

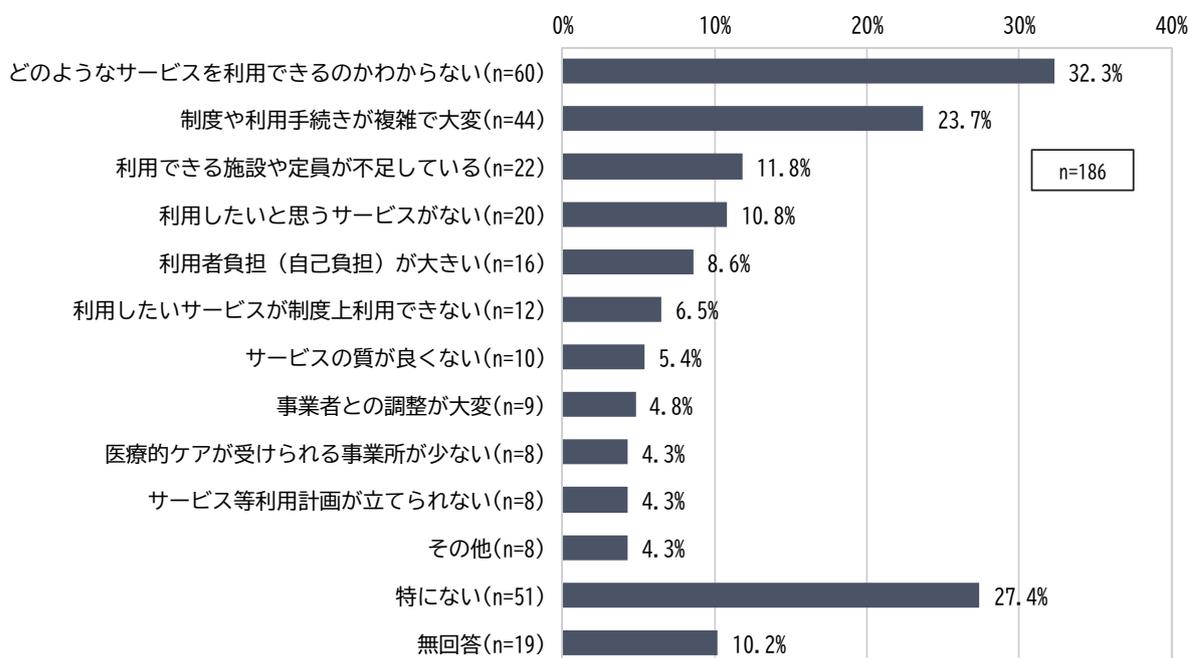


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



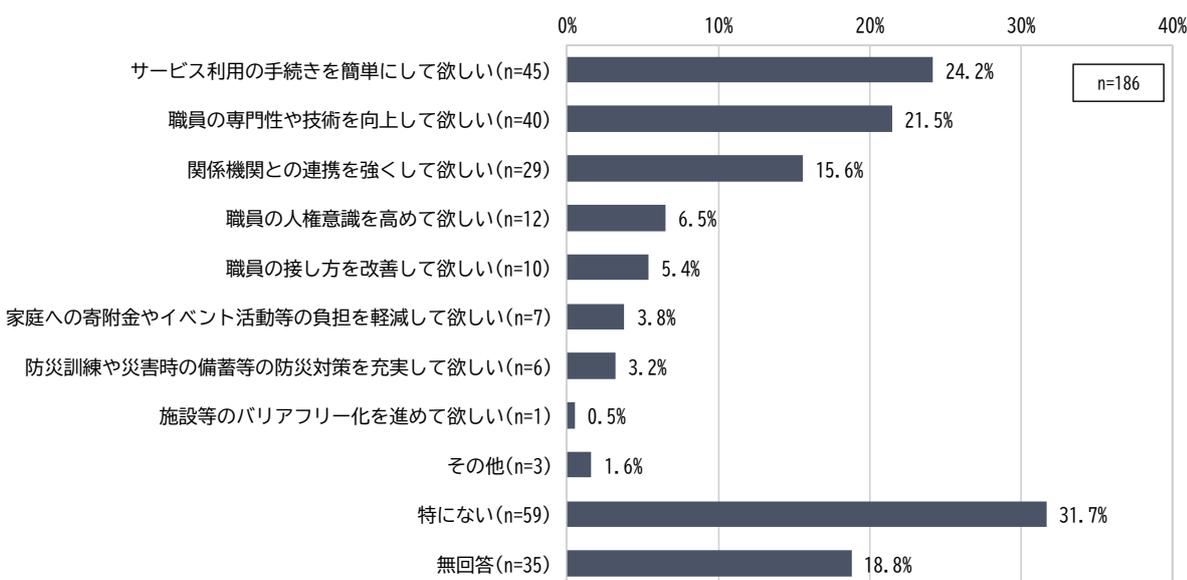
問34 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が32.3%と最も多く、次いで「特にない」が27.4%、「制度や利用手続きが複雑で大変」が23.7%となっています。



問35 障害（児）福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

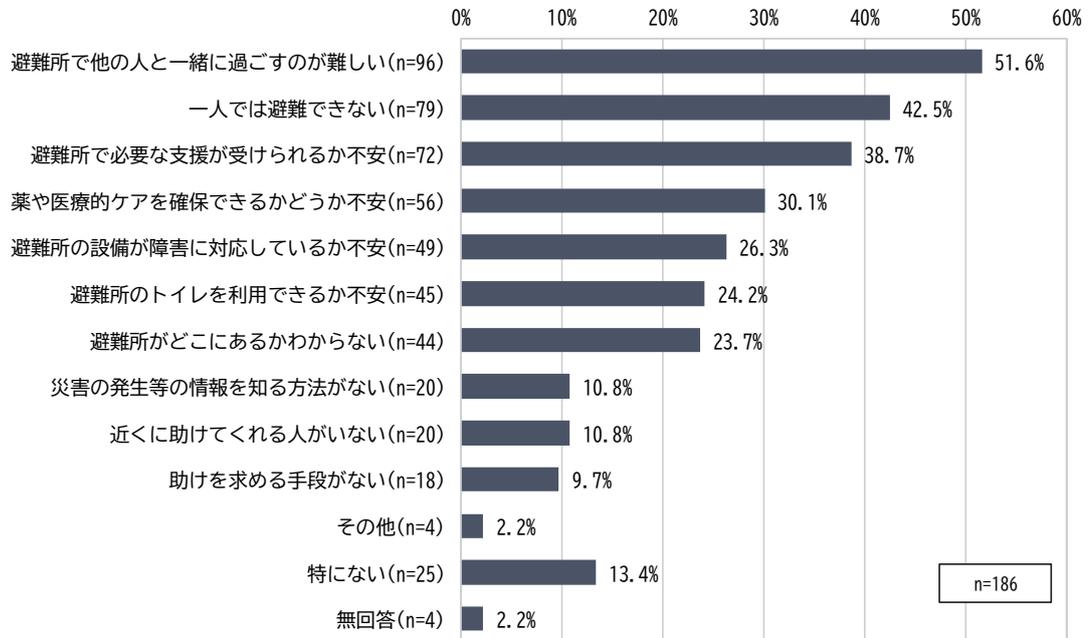
障害（児）福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が31.7%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にしたい」が24.2%、「職員の専門性や技術を向上して欲しい」が21.5%となっています。



《災害時の支援等について》

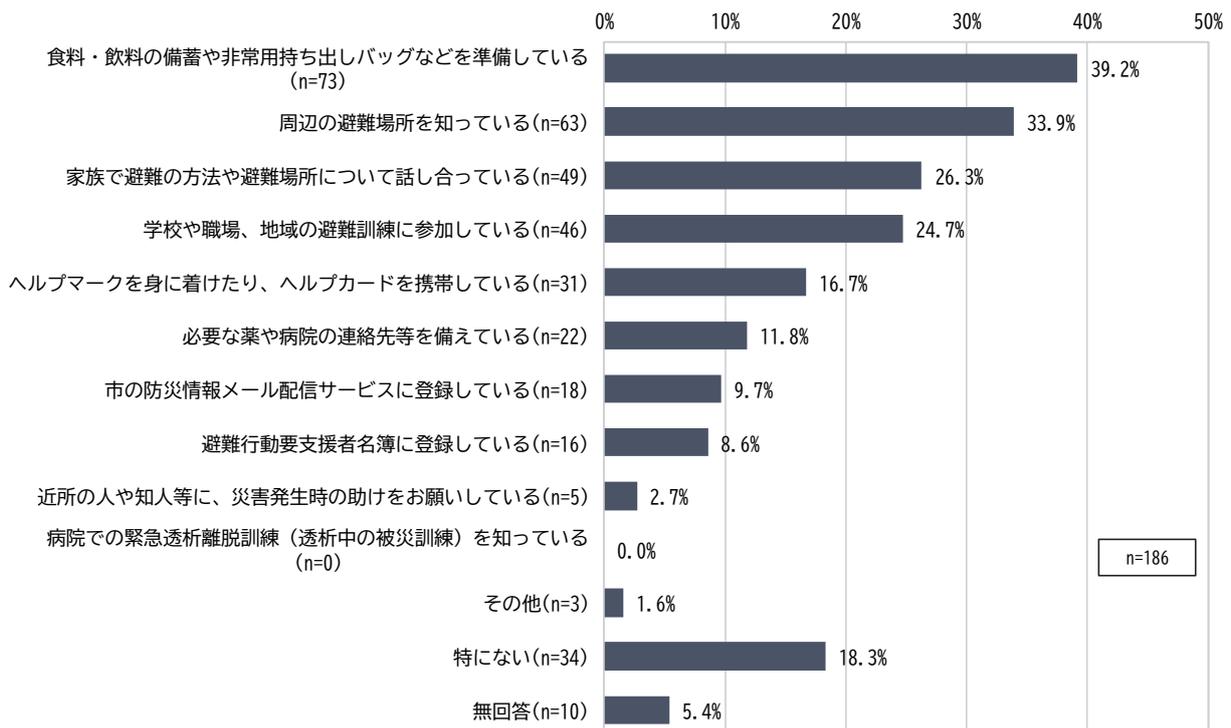
問36 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が51.6%と最も多く、次いで「一人では避難できない」が42.5%となっています。



問37 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「食料・飲料の備蓄や非常用持ち出しバッグなどを準備している」が39.2%と最も多く、次いで「周辺の避難場所を知っている」が33.9%となっています。



問38 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

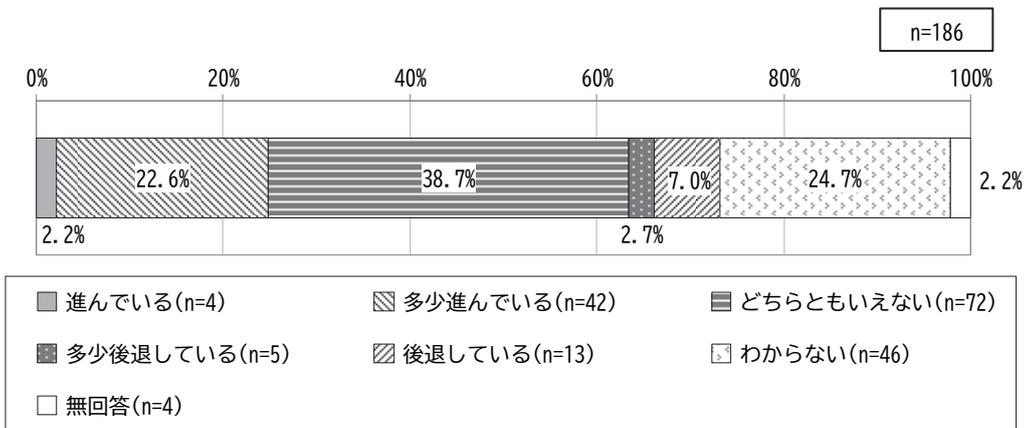
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「避難所でプライバシーが守られる」が30.6%と最も多く、次いで「避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる」が26.3%となっています。

	n	避難所でプライバシーが守られる	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	救助や避難時に声かけをしてくれる	避難を手助けしてくれる	避難所の設備（トイレ等）を充実させる	必要な医療的ケアを受けられる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	その他	特にない	無回答
全体	186	30.6%	26.3%	25.3%	24.2%	22.6%	22.0%	19.9%	19.4%	17.7%	8.1%	1.6%	2.7%	3.8%	8.1%

《障害者への理解や権利擁護について》

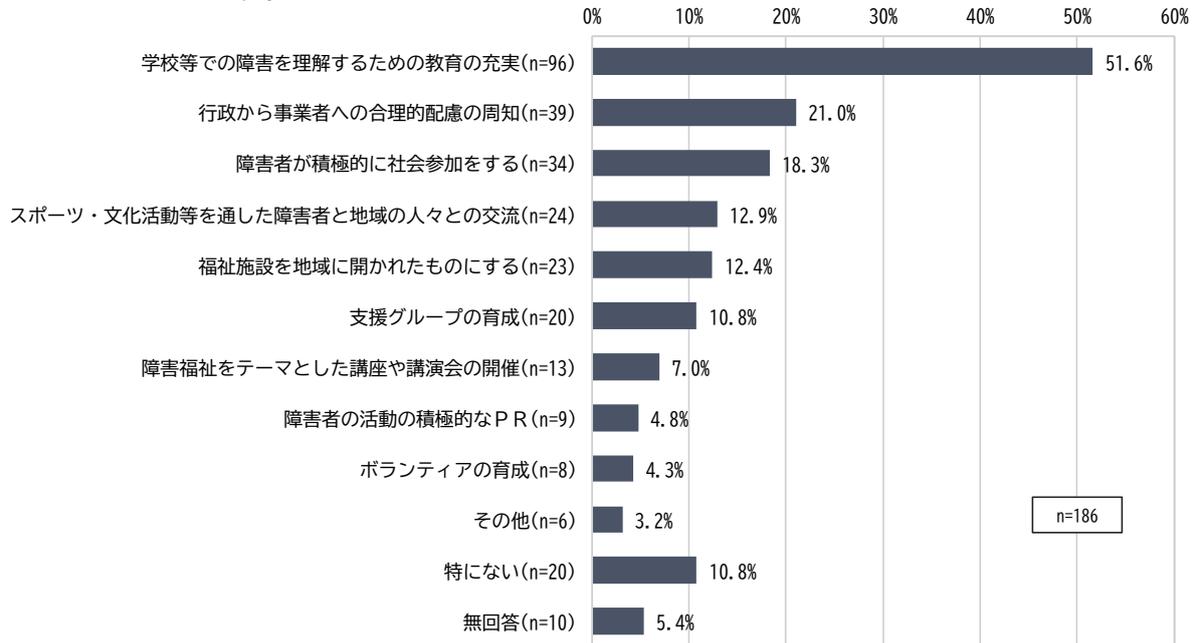
問39 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(〇は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が38.7%と最も多く、次いで「わからない」が24.7%となっています。



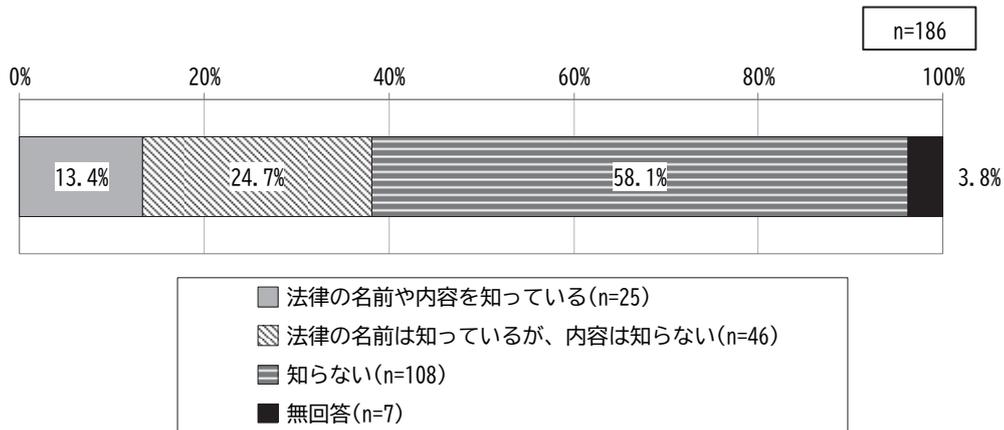
問40 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が51.6%と最も多く、次いで「行政から事業者への合理的配慮の周知」が21.0%となっています。



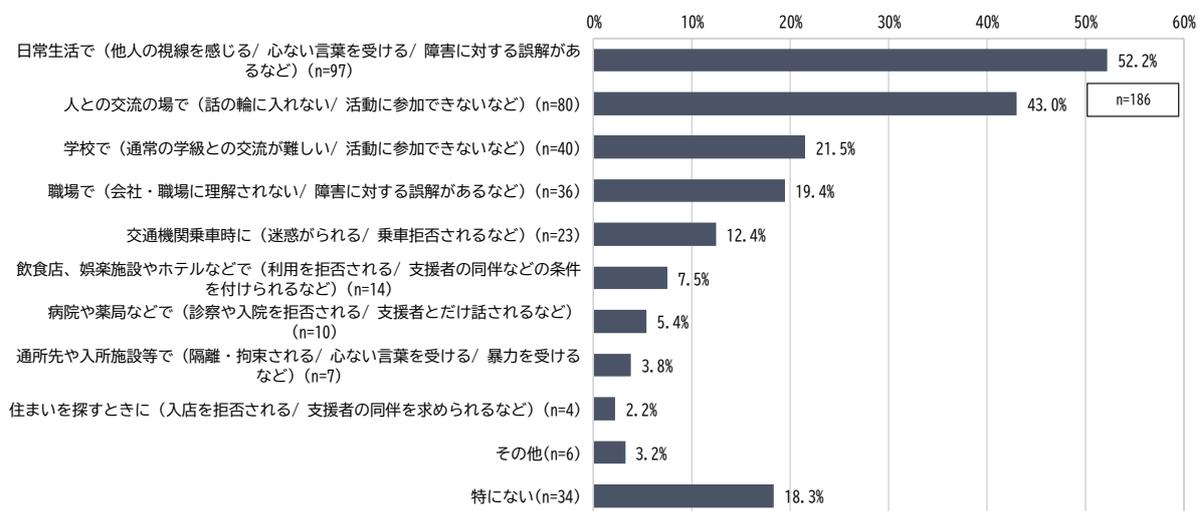
問41 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が58.1%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が24.7%となっています。



問42 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「日常生活で（他人の視線を感じる/ 心ない言葉を受ける/ 障害に対する誤解があるなど）」が52.2%と最も多く、次いで「人との交流の場で（話の輪に入れない/ 活動に参加できないなど）」が43.0%となっています。

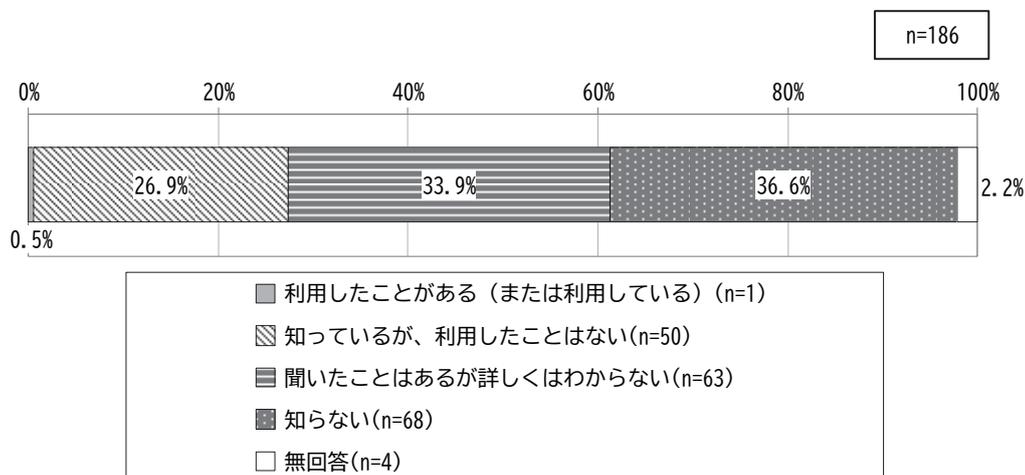


問43 経験したり、見聞きしたことのある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があったことがあったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

【自由記述編を参照】

問44 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

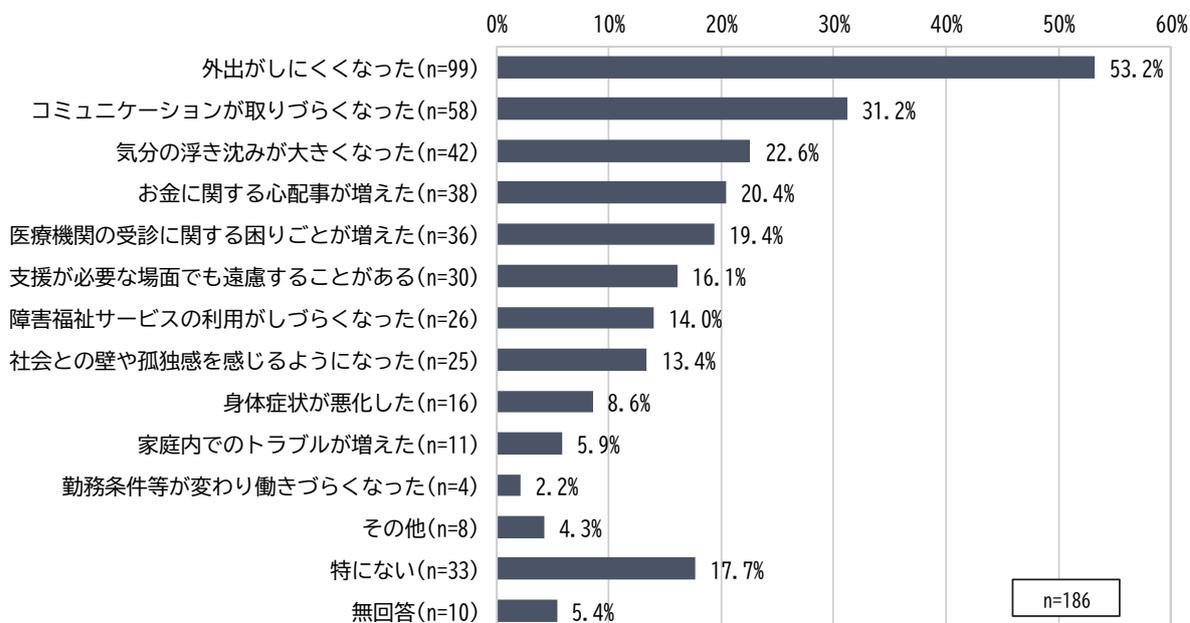
「成年後見制度」については、「知らない」が36.6%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が33.9%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

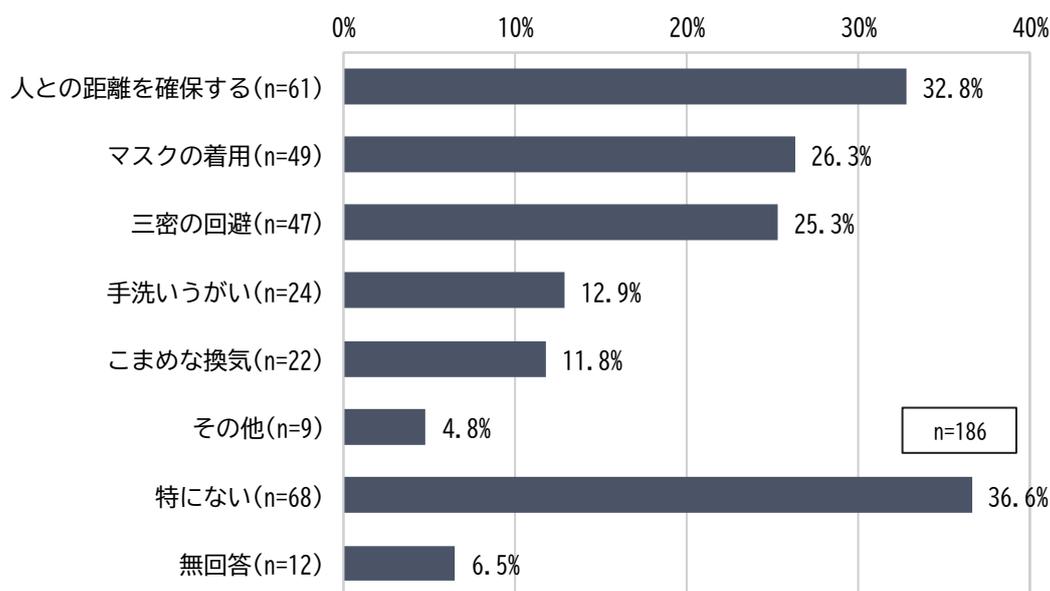
問45 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が53.2%と最も多く、次いで「コミュニケーションが取りづらくなった」が31.2%となっています。



問46 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

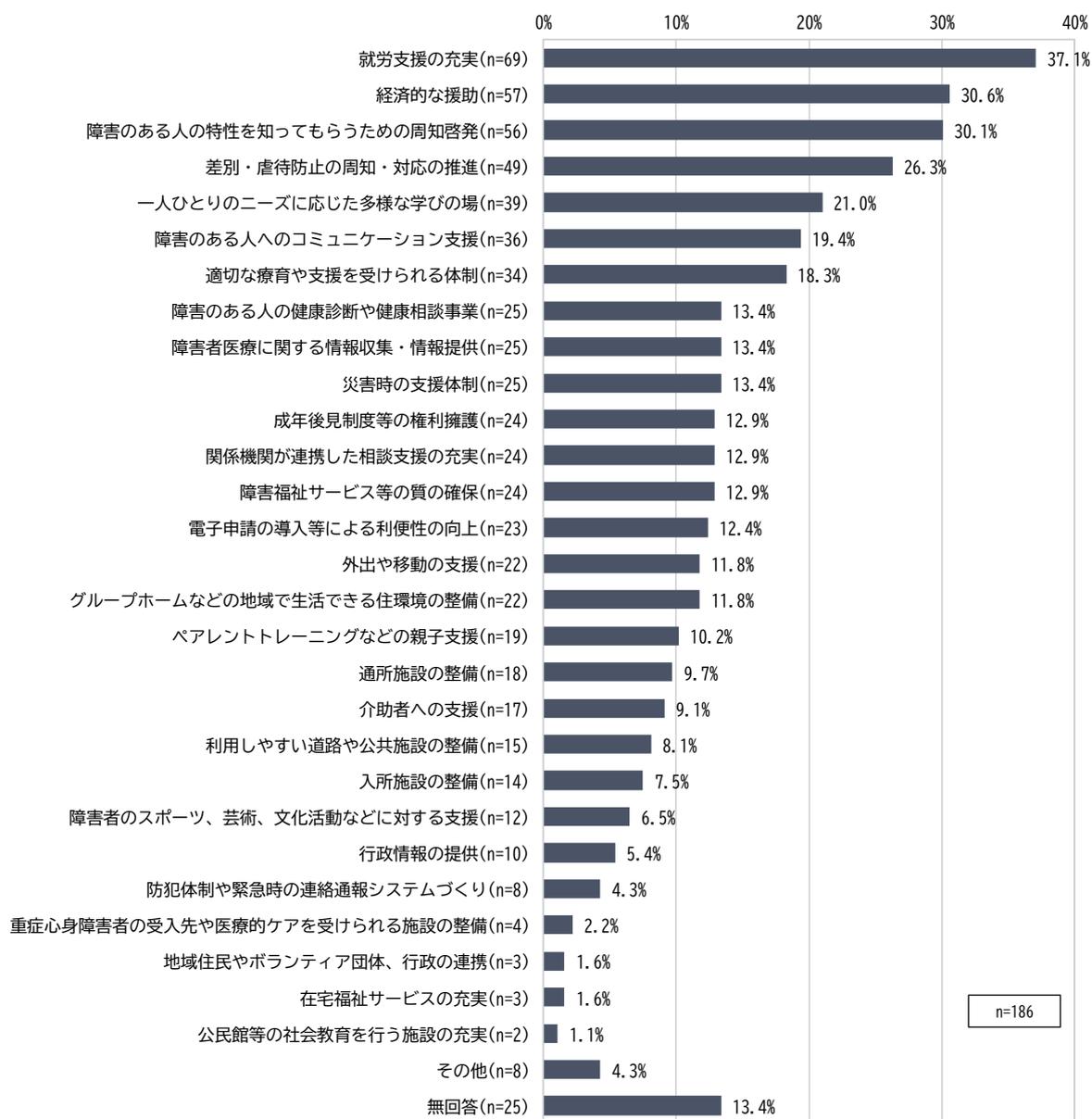
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「特にない」が36.6%と最も多く、次いで「人との距離を確保する」が32.8%、「マスクの着用」が26.3%となっています。



《市の取り組み等について》

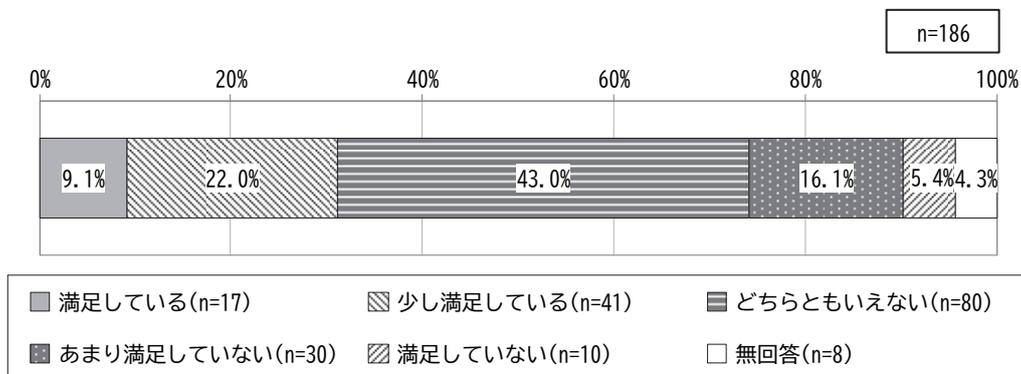
問47 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「就労支援の充実」が37.1%と最も多く、次いで「経済的な援助」が30.6%となっています。



問48 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(○は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が9.1%、「少し満足している」が22.0%となっています。また、「あまり満足していない」は16.1%、「満足していない」は5.4%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

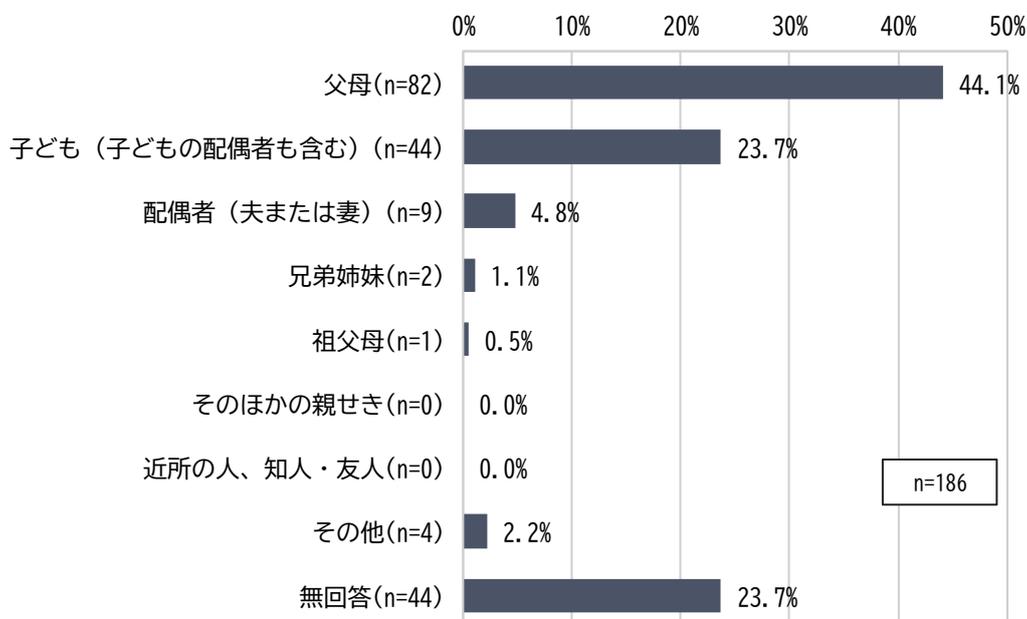
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

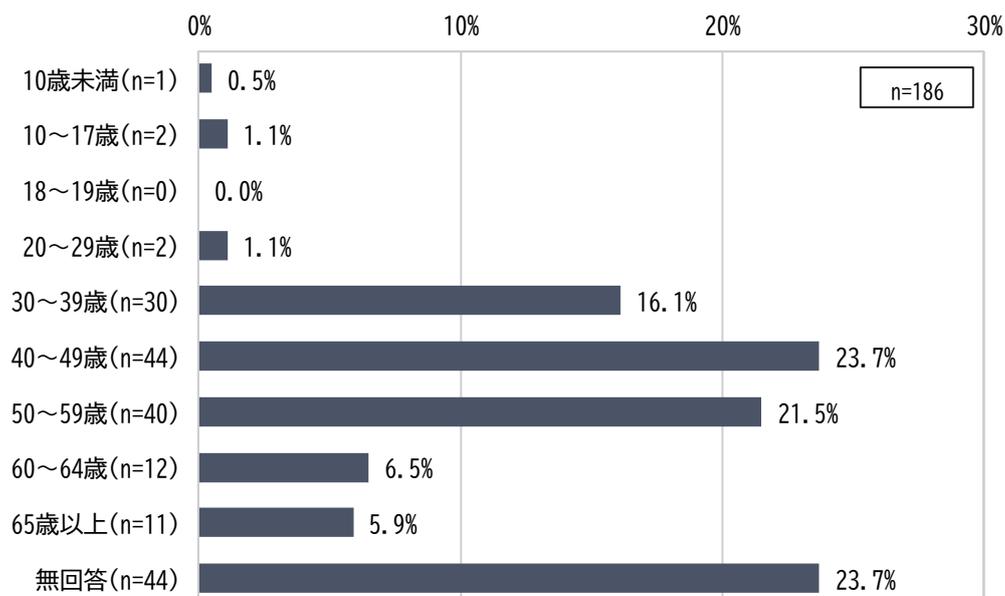
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「父母」が44.1%と最も多く、次いで「子ども（子どもの配偶者も含む）」が23.7%となっています。



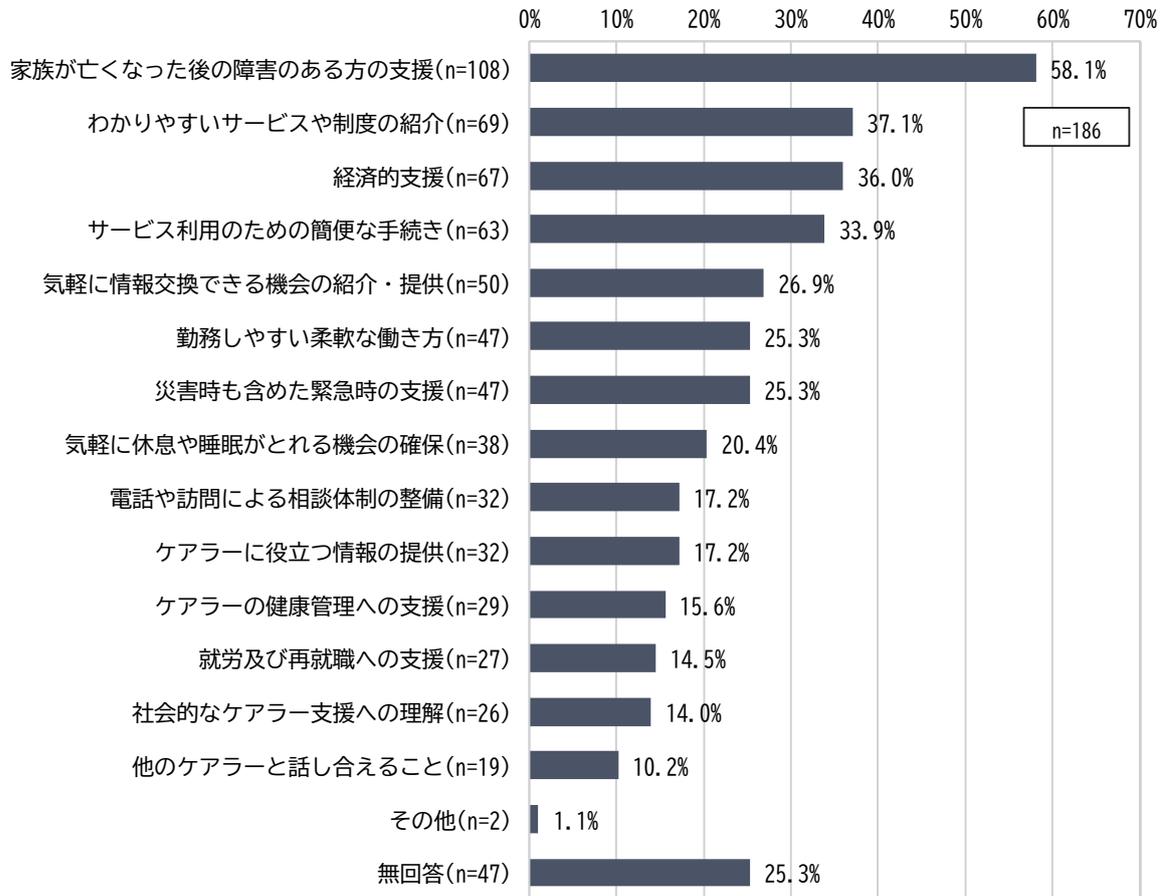
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「40～49歳」が23.7%と最も多く、次いで「50～59歳」が21.5%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が58.1%と最も多く、次いで「わかりやすいサービスや制度の紹介」が37.1%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

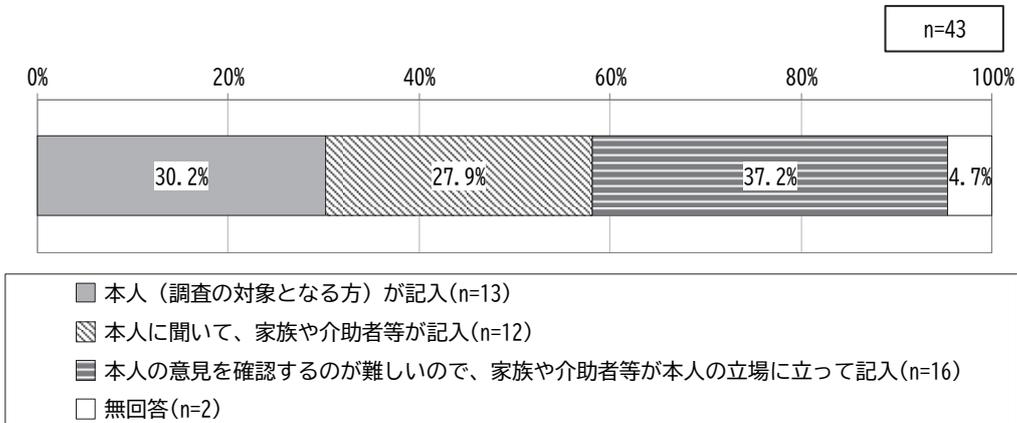
[自由記述編を参照]

調査結果 6. 高次脳機能障害者

《記入者・ご本人について》

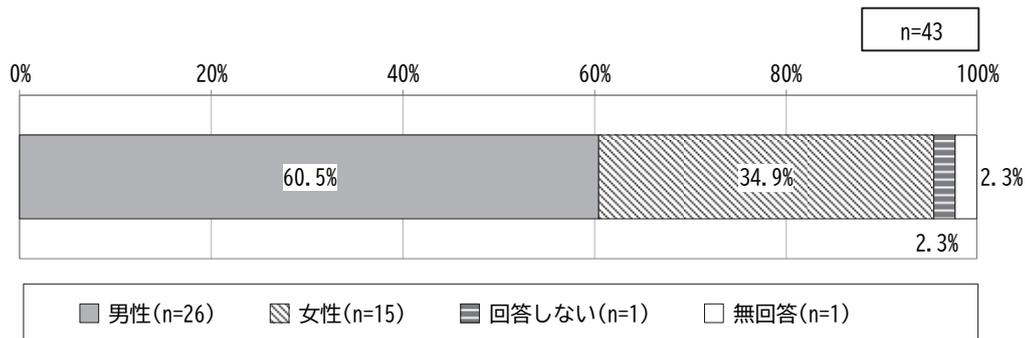
この調査票に記入する方はどなたですか。(○は1つ)

調査票に記入された方については、「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が37.2%と最も多く、次いで「本人が記入」が30.2%となっています。



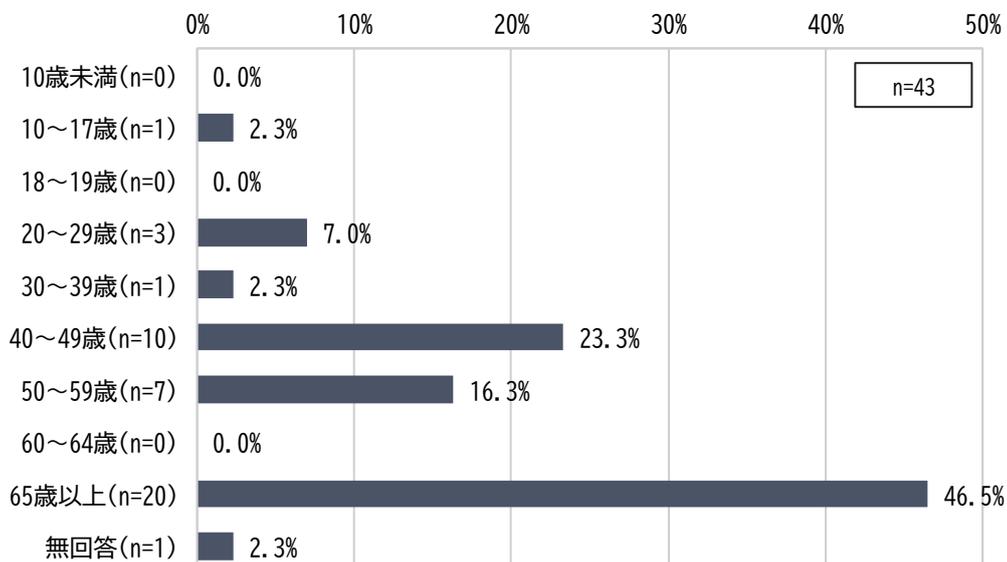
あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が60.5%、「女性」が34.9%となっています。



あなたの年齢 (令和4年9月1日現在) を記入してください。(○は1つ)

年齢については、「65歳以上」が46.5%と最も多く、次いで「40～49歳」が23.3%となっています。



現在、あなたはどこで暮らしていますか。(〇は1つ)

暮らしている場所については、「本人または家族の持ち家」が65.1%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が14.0%となっています。

n=43	本人または家族の持ち家 (n=28)	民間の賃貸住宅 (n=6)	高齢者施設(特養等) (n=4)	公営の賃貸住宅 (n=2)	障害者の入所施設 (n=1)	障害者グループホーム (n=0)	病院に入院中 (n=0)	その他 (n=1)	無回答 (n=1)
	65.1%	14.0%	9.3%	4.7%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%

現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

一緒に暮らしている人については、「配偶者(夫または妻)」が44.2%と最も多く、次いで「子ども(子どもの配偶者も含む)」が32.6%となっています。

年齢	n	配偶者(夫または妻)	子ども(子どもの配偶者も含む)	父母	一人暮らし	兄弟姉妹	そのほかの親せき	障害者グループホーム・施設等の同居人	祖父母	その他	無回答
		全体	43	44.2%	32.6%	25.6%	16.3%	11.6%	4.7%	2.3%	0.0%
10歳未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～17歳	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	10	30.0%	30.0%	40.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	7	28.6%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～64歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	20	65.0%	45.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%

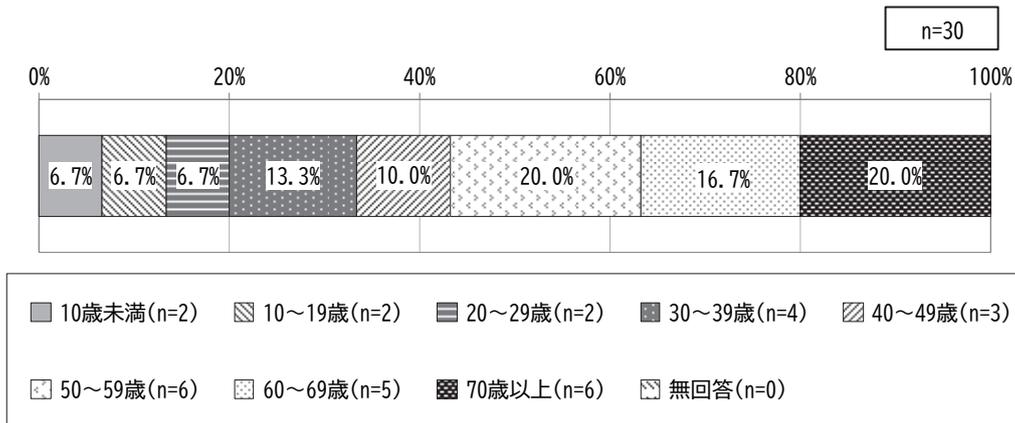
《障害の状況について》

問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

障害種別で「高次脳機能障害」を選択した方は、43人となっています。

問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

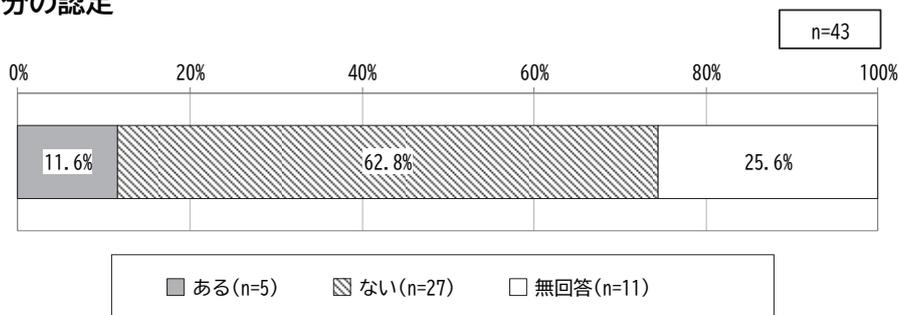
「発達障害または高次脳機能障害と診断された」と回答した方のうち、高次脳機能障害と診断された年齢は、「50～59歳」、「70歳以上」がそれぞれ20.0%と最も多くなっています。



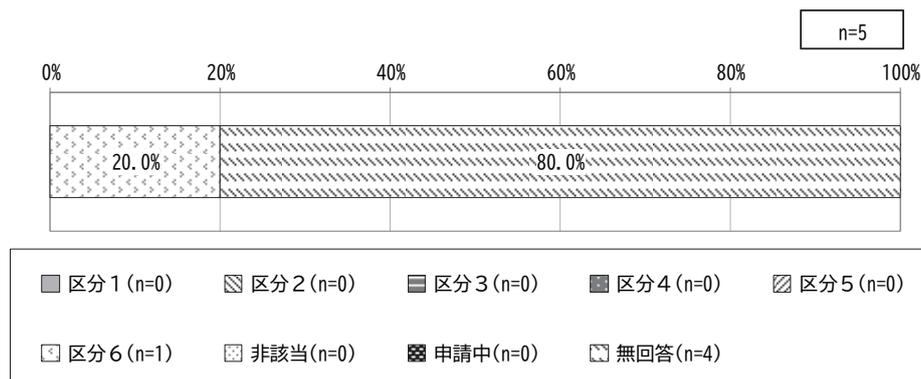
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が11.6%となっています。また、障害支援区分は「区分6」が20.0%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助者等については、「配偶者（夫または妻）」が25.6%と最も多く、次いで「特に介助等は受けていない」が20.9%、「父母」が18.6%となっています。

年齢	n	配偶者（夫または妻）	父母	子ども（子どもの配偶者も含む）	ホームヘルパー	近所の人、知人・友人	祖父母	兄弟姉妹	そのほかの親せき	ボランティア	その他	特に介助等は受けていない	無回答
		全体	43	25.6%	18.6%	7.0%	4.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
10歳未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～17歳	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	3	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
40～49歳	10	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%
50～59歳	7	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%
60～64歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	20	40.0%	0.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	5.0%	20.0%

【問4で1～10に○をつけた方にお聞きします】

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときに介助等を受けているかについては、「書類等の手続きのとき」が85.2%と最も多く、次いで「通院するとき」が77.8%となっています。

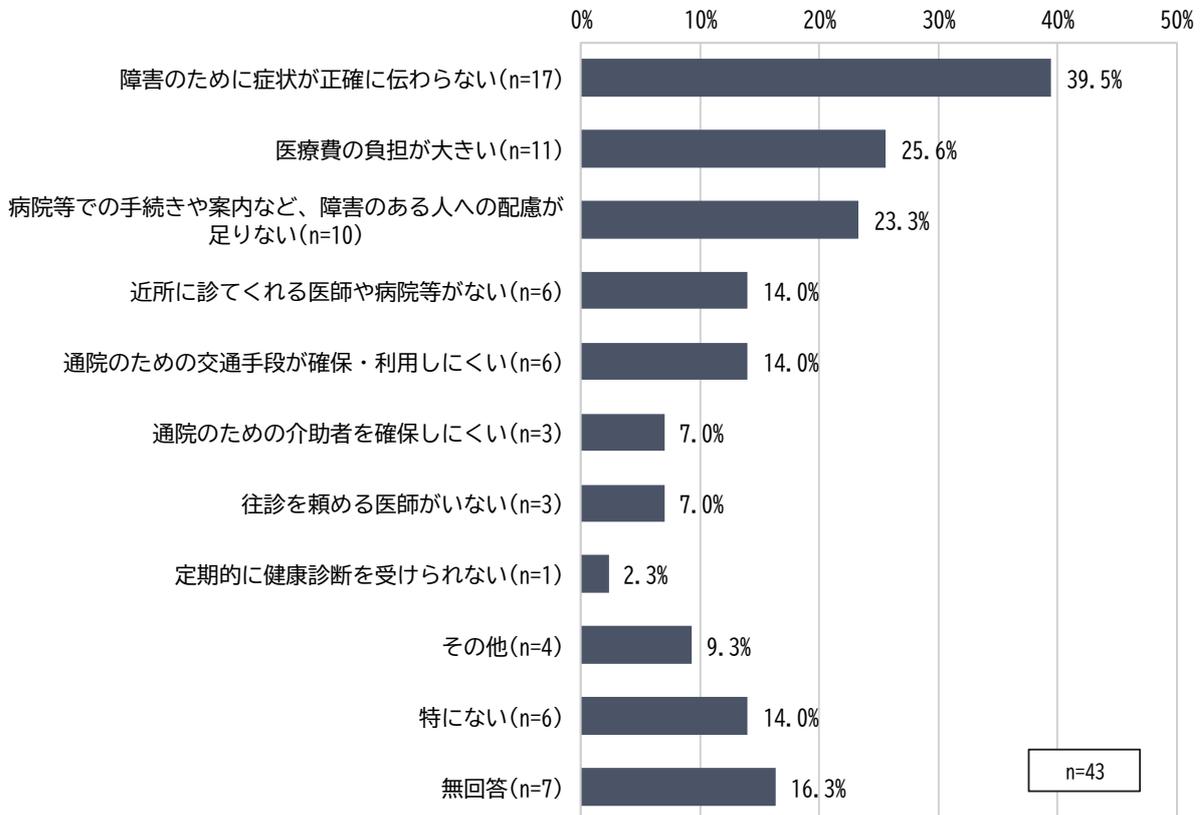
	n	書類等の手続きのとき	通院するとき	着替え、食事、入浴、トイレのとき	外出するとき	お金の管理をするとき	服薬のとき	見守りが必要な状態のとき	洗濯、掃除をするとき	人とコミュニケーションをとるとき	家の中を移動するとき	医療的ケア（経管栄養、痰の吸引等）の対応のとき	その他	無回答
		全体	27	85.2%	77.8%	63.0%	63.0%	63.0%	55.6%	51.9%	48.1%	33.3%	29.6%	29.6%

《健康状態や医療について》

【ここからは、全員にお聞きします】

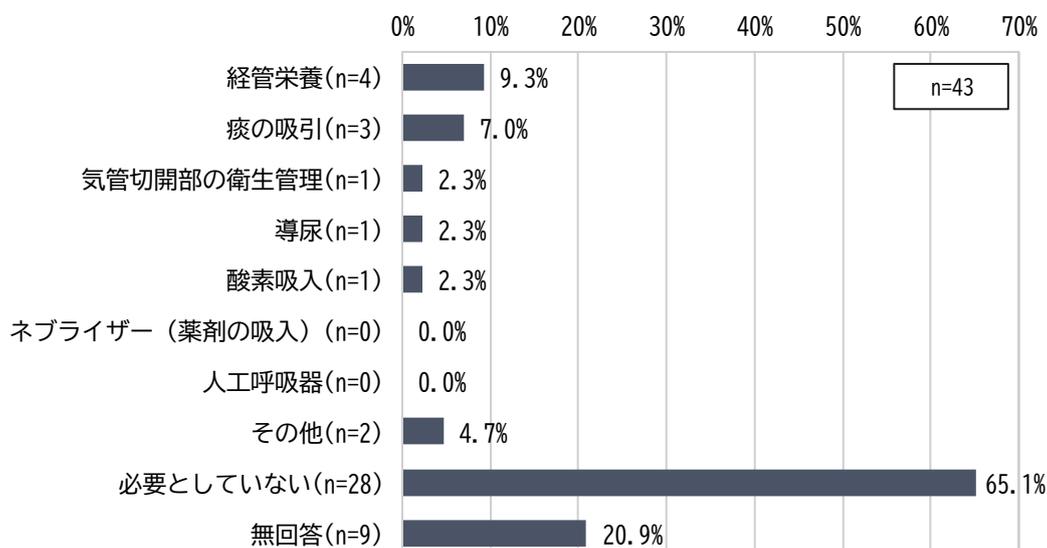
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「障害のために症状が正確に伝わらない」が39.5%と最も多く、次いで「医療費の負担が大きい」が25.6%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

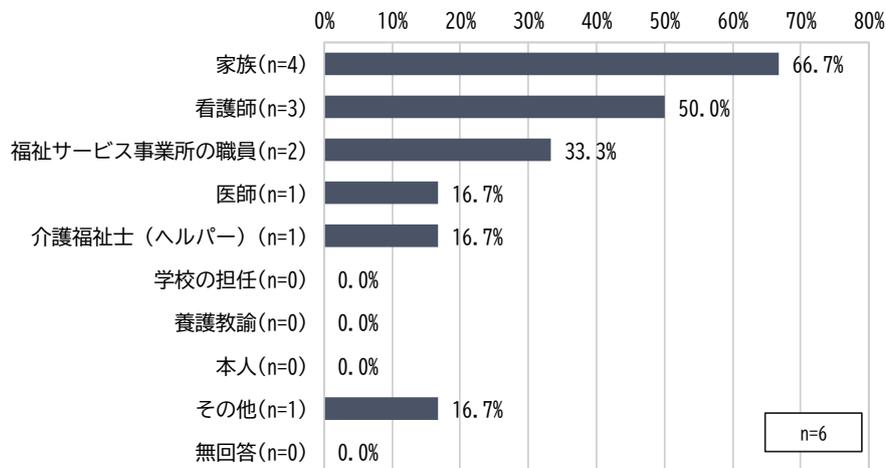
医療的ケアを必要としている方については、「経管栄養」が9.3%と最も多く、次いで「痰の吸引」が7.0%となっています。



【問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします】

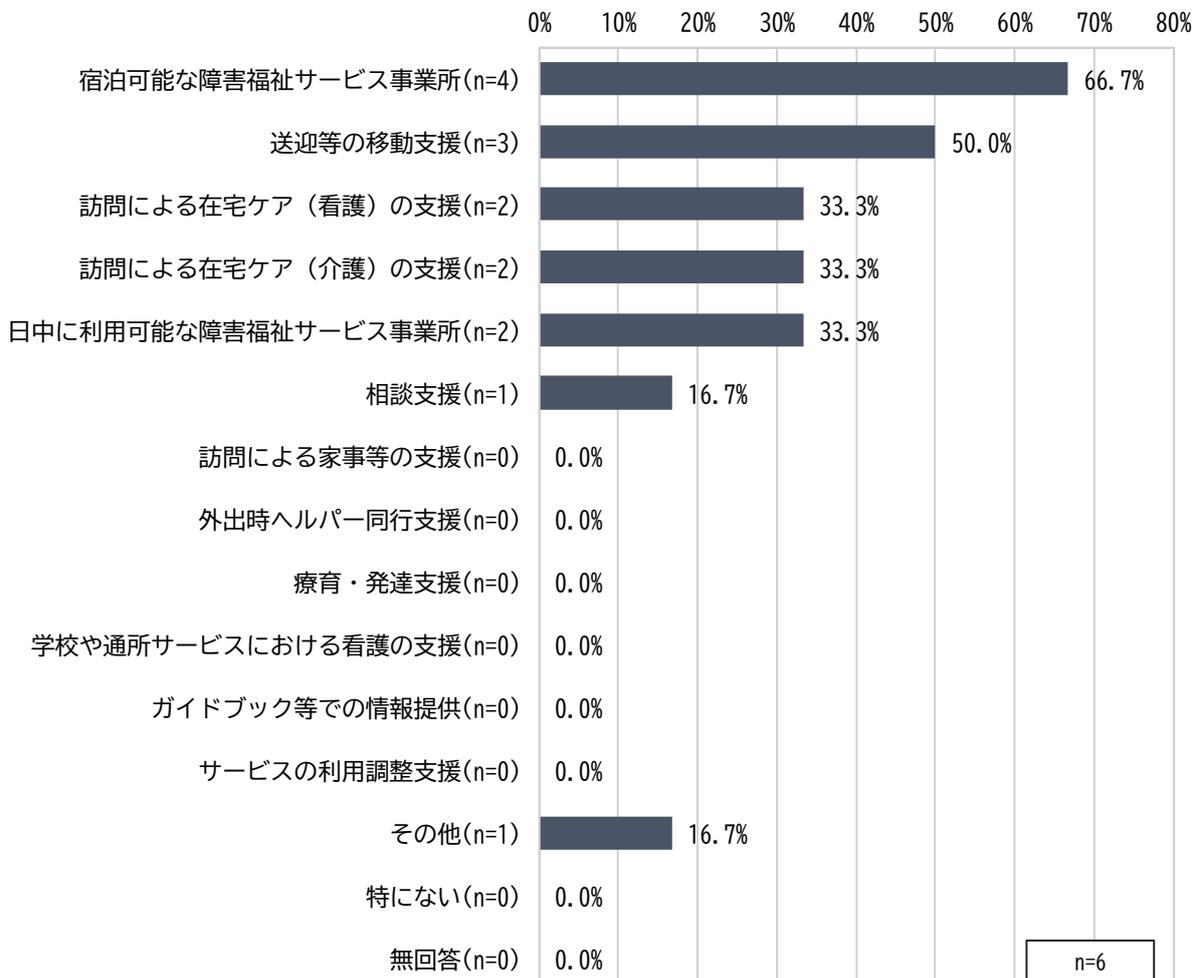
問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が66.7%と最も多く、次いで「看護師」が50.0%となっています。



問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方のうち、日常生活を送る上で必要な支援については、「宿泊可能な障害福祉サービス事業所」が66.7%と最も多く、次いで「送迎等の移動支援」が50.0%となっています。

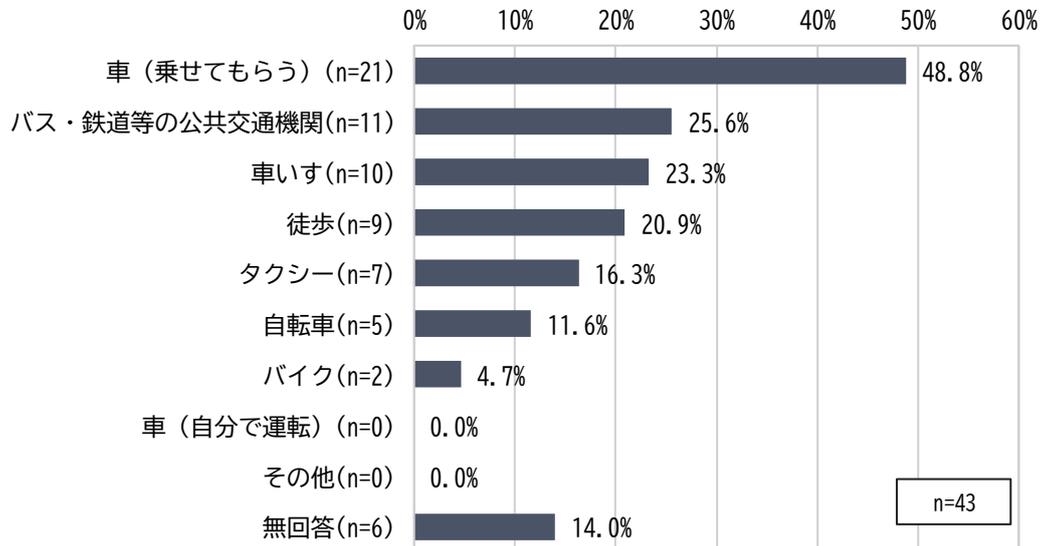


《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

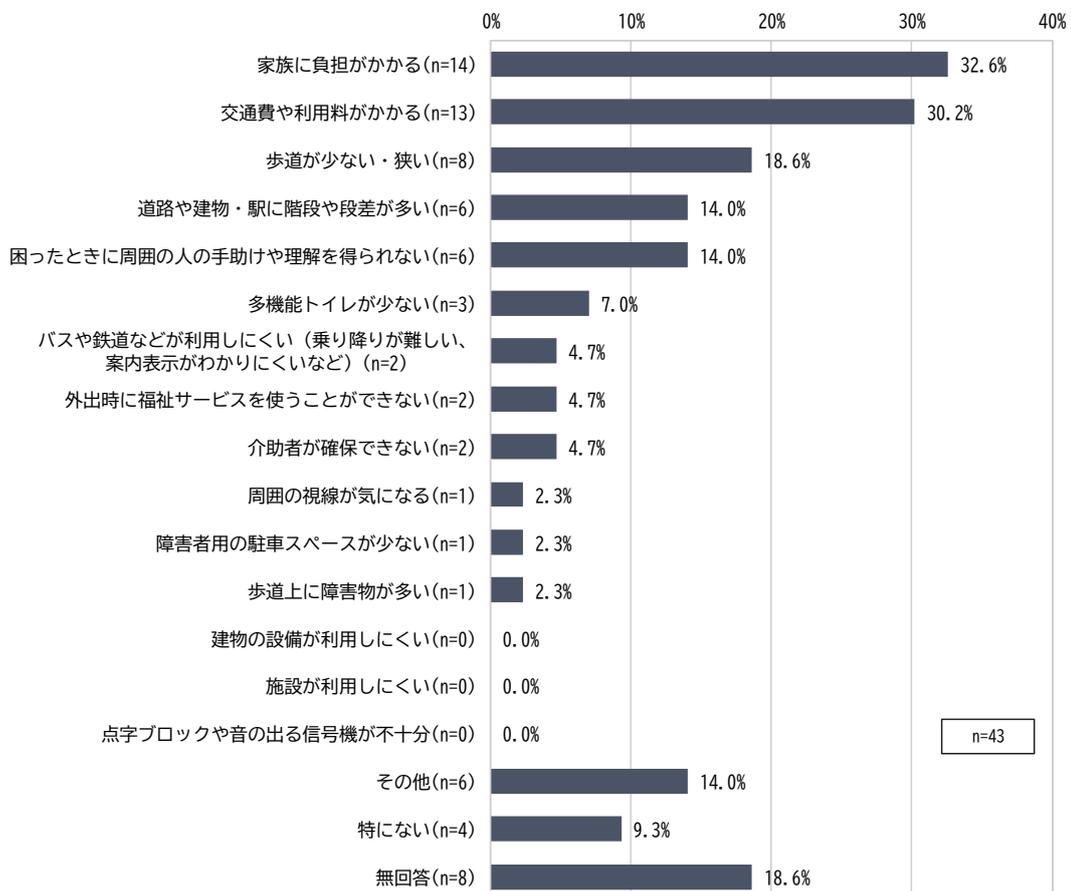
問10 外出の主な手段は何ですか。(〇は2つまで)

外出の主な手段については、「車（乗せてもらう）」が48.8%と最も多く、次いで「バス・鉄道等の公共交通機関」が25.6%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「家族に負担がかかる」が32.6%と最も多く、次いで「交通費や利用料がかかる」が30.2%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

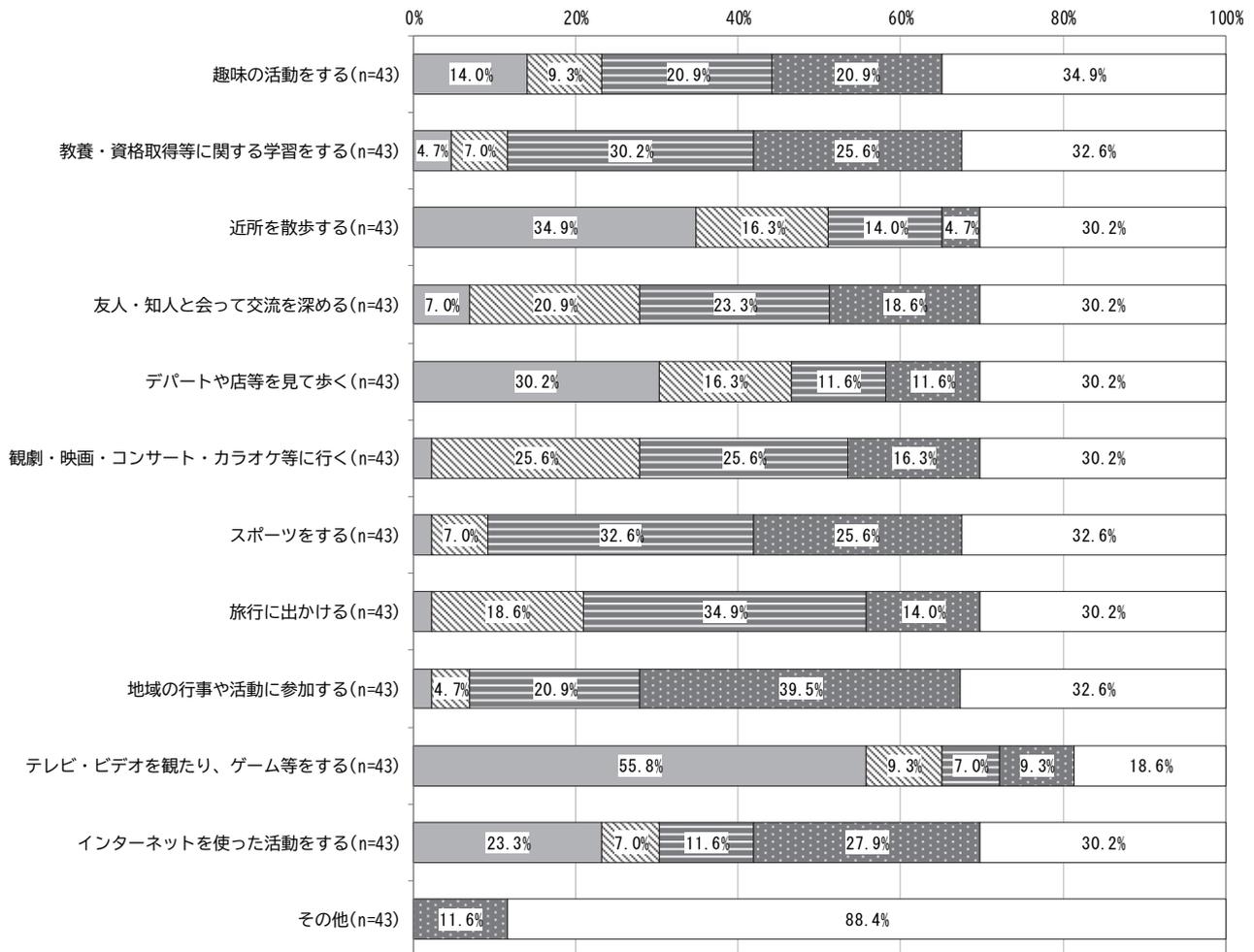
R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
外出するとお金がかかる	71.4%	家族に負担がかかる	32.6%
道路や建物・駅に階段や段差が多い/自分の意思を理解してもらえない/自動車や自転車が多くて危険を感じる	42.9%	交通費や利用料がかかる	30.2%
バスや電車の乗り降りが困難/通路上に自転車や看板などの障害物があって通りにくい/公衆ファクスや障害者用電話が少ない/外出時に利用したい福祉サービスを使うことができない/家族に負担がかかる	28.6%	歩道が少ない・狭い	18.6%
障害者用のトイレが少ない/歩道が整備されていない/低い操作盤や手すり・鏡のついた福祉対応のエレベーターが少ない/建物の出入り口が狭かったり開けにくい/介助者がいない/特に困っていることはない	14.3%	道路や建物・駅に階段や段差が多い/困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない/その他	14.0%
		特になし	9.3%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が55.8%と最も多く、次いで「近所を散歩する」が34.9%となっています。

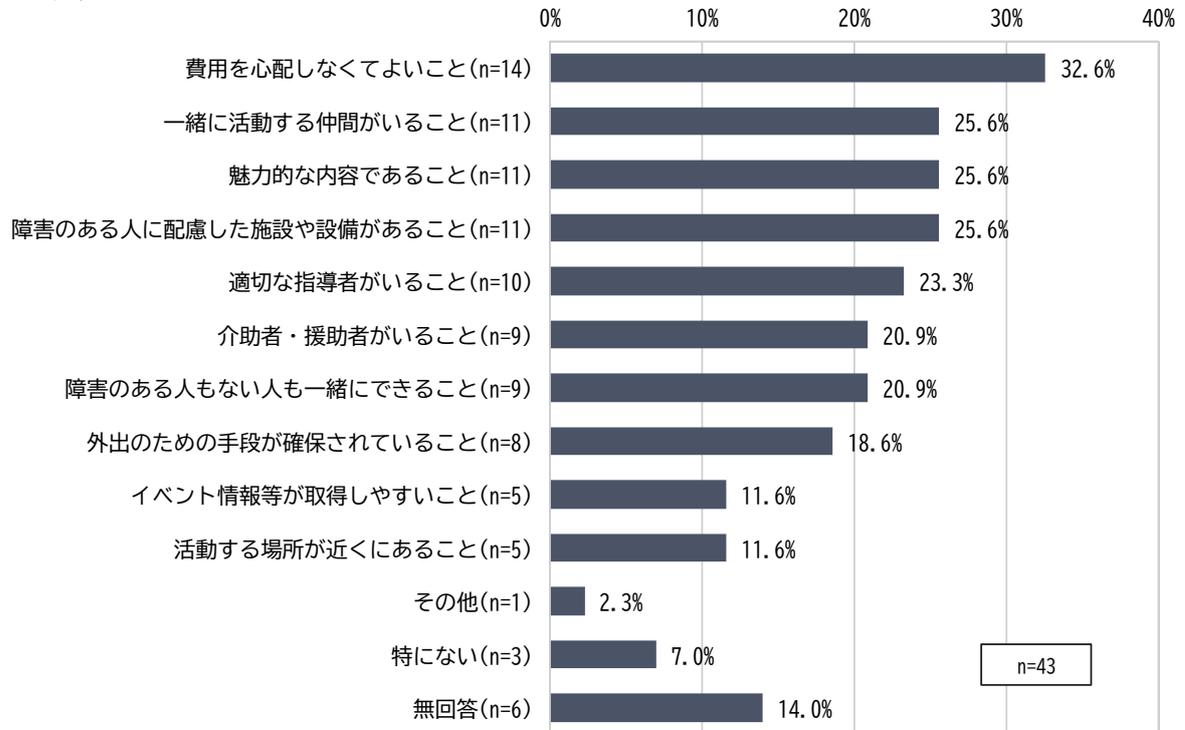
また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「旅行に出かける」が34.9%と最も多く、次いで「スポーツをする」が32.6%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ■ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「費用を心配しなくてよいこと」が32.6%と最も多く、次いで「一緒に活動する仲間がいること」、「魅力的な内容であること」、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」がそれぞれ25.6%となっています。



《日中の過ごし方について》

問14 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

日中の過ごし方については、「家で過ごしている」が48.8%と最も多く、次いで「高齢者の通所施設・事業所(デイサービスなど)に通っている」が25.6%となっています。

年齢(3区分)	n	家で過ごしている	高齢者の通所施設・事業所に通っている	収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)	入所施設で過ごしている	障害者の通所施設・事業所に通っている	求職活動をしている	病院等(デイケア等)で過ごしている	家の仕事を手伝っている	幼稚園や保育所、学校等に通っている	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	その他	無回答
18歳未満	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18~64歳	21	47.6%	9.5%	47.6%	0.0%	9.5%	9.5%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
65歳以上	20	50.0%	45.0%	0.0%	30.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%

■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
収入を伴う仕事をしている	71.4%	家で過ごしている	48.8%
施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けている/求職活動をしている/家庭内で過ごしている	28.6%	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	25.6%
通所サービスを利用している	14.3%	収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	23.3%
		入所施設で過ごしている	14.0%
		障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている/求職活動をしている	7.0%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《幼稚園や保育所、学校などについて》

[問15～17は、問14で「1. 幼稚園や保育所、学校等に通っている」に○をつけた方にお聞きします]

問15 主に通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育所、学校等に通っている人の通園通学先については、「特別支援学級」が1件となっています。

n=1	特別支援学級	幼稚園、保育所	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校	障害児通所支援事業所	専門学校・専修学校・高等技術専門学校等	短大・大学・大学院	その他	無回答
	1	0	0	0	0	0	0	0	0

問16 学校で勉強する場合にどのような学習形態を望みますか。(○は1つ)

学校で勉強する場合の学習形態については、「障害のある仲間のクラスで勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい」が1件となっています。

n=1	障害のある仲間と勉強しながら、障害のない仲間とも勉強したい	障害のある仲間と勉強したい	障害のある仲間と勉強しない	障害のある仲間と勉強しながら、障害のない仲間とも勉強しない	わからない	その他	無回答
	1	0	0	0	0	0	0

問17 幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園や保育所、学校等に通っていて困っていることについては、「特になし」が1件となっています。

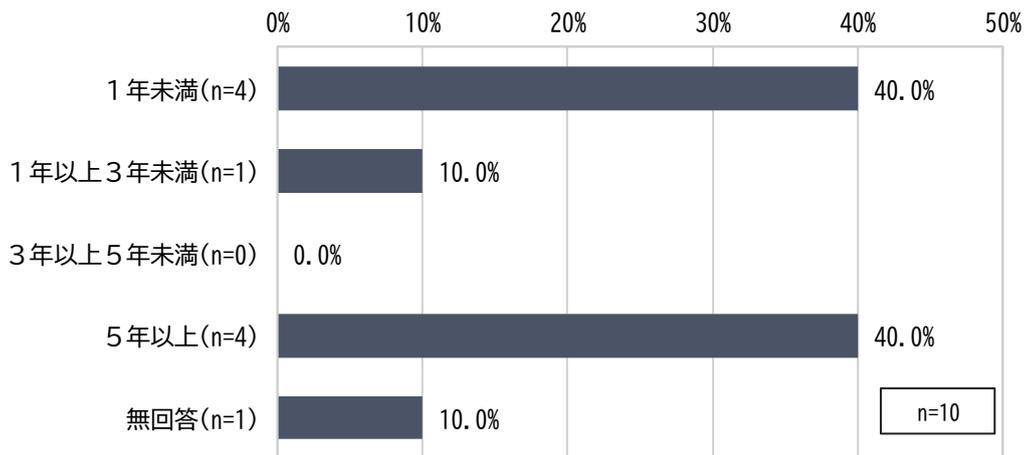
n=1	通うための介助者を確保しにくい	通うための交通手段が確保・利用しにくい	授業についていけない	トイレなどの設備が不十分	校内・園内での支援が不十分	医療的ケアが受けられない	友だちができない	教職員の理解が得られない	学校の数が少ない	児童・生徒の理解が得られない	受け入れてくれる学校がない	通常の学級に入れない	家族の同伴を求められる	その他	特になし	無回答
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

《雇用・就労について》

[問18~21は、問14で「2. 収入を伴う仕事をしている(福祉的就労含む)」に○をつけた方にお聞きします]

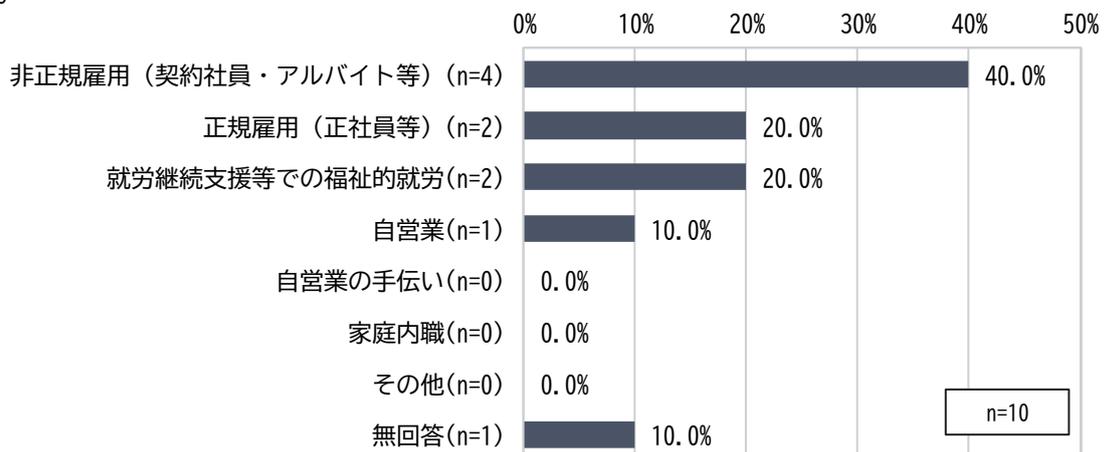
問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「1年未満」、「5年以上」がそれぞれ40.0%と最も多くなっています。



問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「非正規雇用(契約社員・アルバイト等)」が40.0%と最も多く、次いで「正規雇用(正社員等)」、「就労継続支援等での福祉的就労」がそれぞれ20.0%となっています。

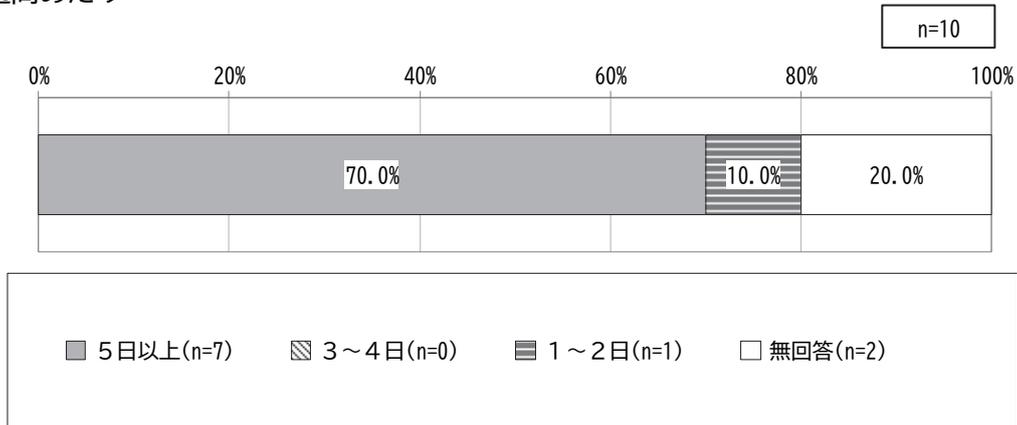


問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。((1)(2)それぞれ〇は1つ)

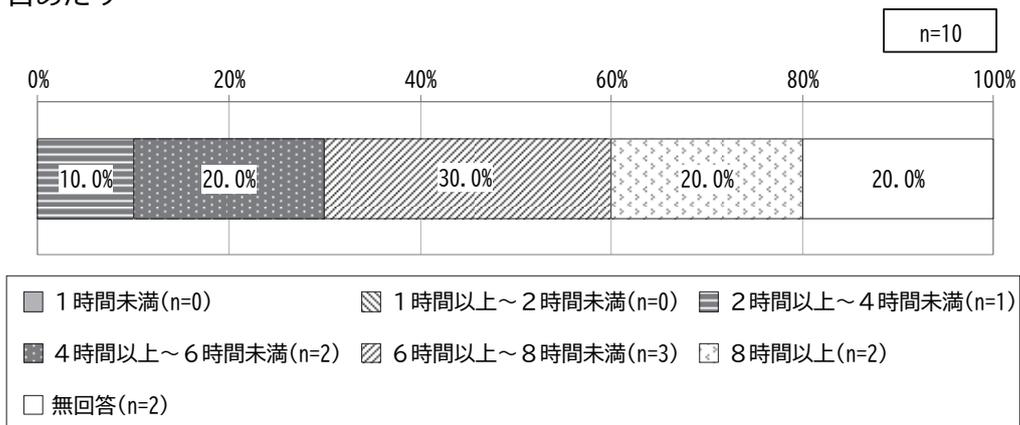
1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が70.0%と最も多く、次いで「1～2日」が10.0%となっています。

1日あたりの就労時間については、「6時間以上～8時間未満」が30.0%と最も多く、次いで「4時間以上～6時間未満」、「8時間以上」がそれぞれ20.0%となっています。

(1) 1週間あたり



(2) 1日あたり



問21 仕事をすることで困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

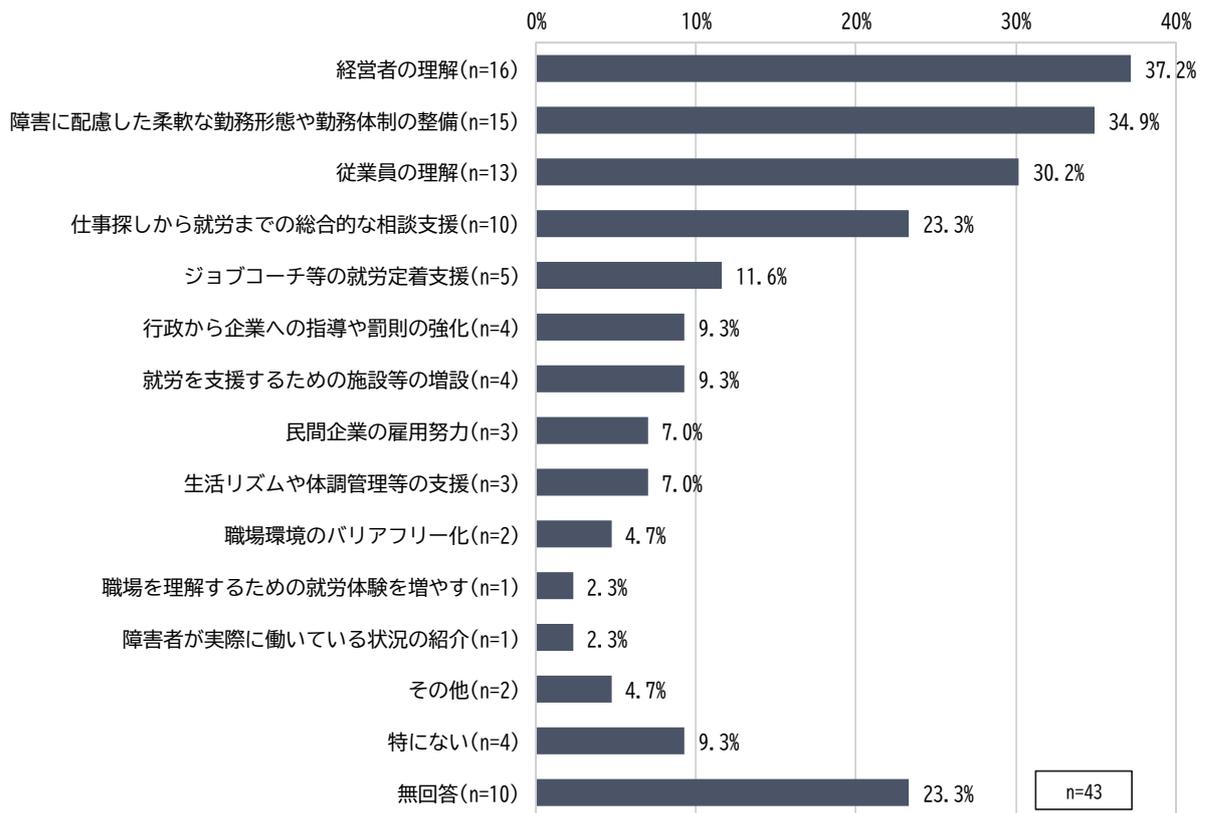
仕事をすることで困っていることについては、「収入が少ない」が60.0%と最も多く、次いで「通勤が大変」、「職場の人間関係」、「体調のコントロールが難しい」がそれぞれ30.0%となっています。

就労形態	n	収入が少ない	通勤が大変	職場の人間関係	体調のコントロールが難しい	業務内容が合わない	職場の理解が得られない	コミュニケーションができない	能力を発揮できない	仕事がついつい	就業時間が合わない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	その他	特にない	無回答
全体	10	60.0%	30.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%
正規雇用(正社員等)	2	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非正規雇用(契約社員・アルバイト等)	4	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
自営業	1	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	2	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【ここからは、全員にお聞きします】

問22 障害のある人の就労を促進するために、あなたはどのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「経営者の理解」が37.2%と最も多く、次いで「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が34.9%となっています。



問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が41.9%と最も多く、次いで「年収200万円以上300万円未満」が18.6%となっています。

	n	年収100万円未満	年収100万円以上150万円未満	年収150万円以上200万円未満	年収200万円以上300万円未満	年収300万円以上500万円未満	年収500万円以上	わからない・答えたくない	無回答
全体	43	41.9%	7.0%	2.3%	18.6%	2.3%	0.0%	11.6%	16.3%
就労形態									
正規雇用（正社員等）	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非正規雇用（契約社員・アルバイト等）	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主な収入									
給与・賃金	6	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業収入	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援施設や作業所の工賃	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族の収入（仕送り・援助含む）	15	60.0%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%
年金	16	31.3%	6.3%	0.0%	31.3%	0.0%	0.0%	18.8%	12.5%
障害年金	11	45.5%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%
生活保護	4	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

生活を支えている収入については、「年金」が37.2%と最も多く、次いで「家族の収入（仕送り・援助含む）」が34.9%となっています。

年齢（3区分）	n	年金	家族の収入（仕送り・援助含む）	障害年金	給与・賃金	生活保護	就労継続支援施設や作業所の工賃	事業収入	その他	無回答
全体	43	37.2%	34.9%	25.6%	14.0%	9.3%	2.3%	0.0%	7.0%	7.0%
18歳未満	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～64歳	21	0.0%	52.4%	38.1%	28.6%	14.3%	4.8%	0.0%	9.5%	4.8%
65歳以上	20	80.0%	10.0%	15.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%

《今後の希望について》

問25 近い将来（今後3年以内）に、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

近い将来（今後3年以内）に、どこで暮らしたいと思うかについては、「家族と一緒に暮らしたい」が60.5%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」が14.0%となっています。

生活場所	n	家族と一緒に暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	高齢者施設で暮らしたい	障害者施設で暮らしたい	グループホーム等（障害者共同生活する住居）で暮らしたい	その他	無回答
		全体	43	60.5%	14.0%	11.6%	4.7%	0.0%
本人または家族の持ち家	28	78.6%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%
民間の賃貸住宅	6	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
公営の賃貸住宅	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者グループホーム	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の入所施設	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者施設（特養等）	4	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
病院に入院中	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問26 近い将来（今後3年以内）に、あなたは日中を主にどのように過ごしたいと思いますか。
 (○は1つ)

近い将来（今後3年以内）の日中の過ごし方については、「収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）」が39.5%と最も多く、次いで「家庭内で過ごしたい」が23.3%となっています。

日中の過ごし方	n	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	家庭内で過ごしたい	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	障害者の入所施設で過ごしたい	ボランティアなどをしたい	高齢者の入所施設で過ごしたい	創作活動や交流などの活動・集まりに参加したい	家の仕事を手伝えたい	幼稚園や保育所、学校等に通いたい	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通いたい	病院等（デイケア等）で過ごしたい	その他	無回答
		全体	43	39.5%	23.3%	9.3%	4.7%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
幼稚園や保育所、学校等に通っている	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	10	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通っている	11	18.2%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
入所施設で過ごしている	6	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
病院等（デイケア等）で過ごしている	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
求職活動をしている	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
家の仕事を手伝っている	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家で過ごしている	21	28.6%	38.1%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%

■前回調査（R1）比較

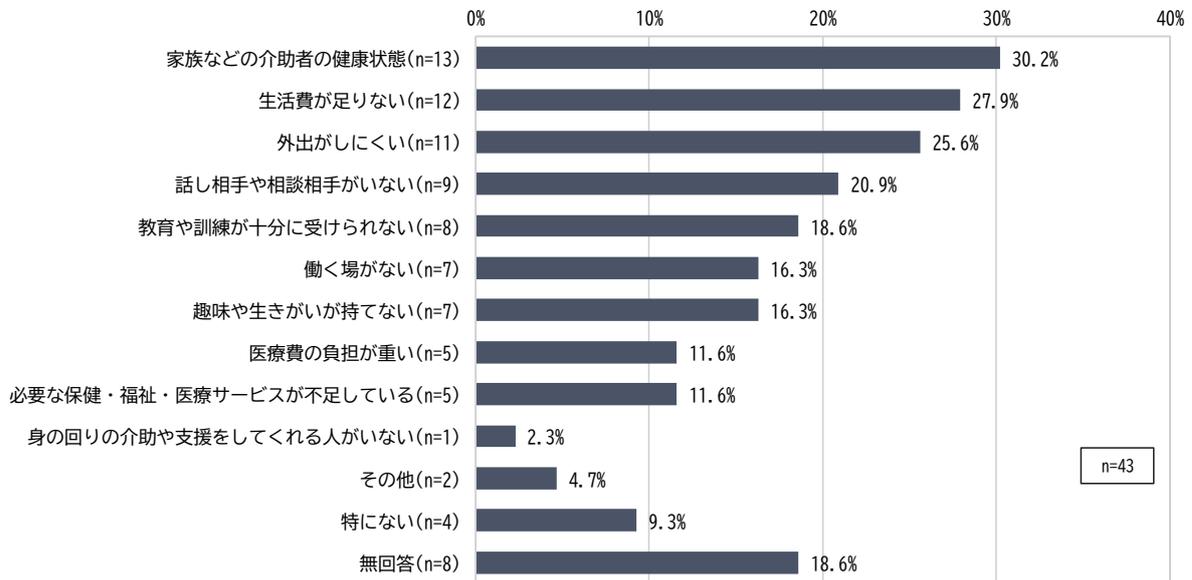
R1 調査（前回）		R4 調査（今回）	
一般企業などで働きたい	71.4%	収入を伴う仕事をしたい（福祉的就労含む）	39.5%
家庭内で過ごしたい	42.9%	家庭内で過ごしたい	23.3%
家の仕事を手伝えたい/通所サービスを利用したい	14.3%	高齢者の通所施設・事業所（デイサービスなど）に通いたい	9.3%
		障害者の入所施設で過ごしたい	4.7%
		ボランティアなどをしたい	2.3%

※今回（R4）調査と前回（R1）調査で、選択肢が異なる部分があります。

《相談や情報入手について》

問27 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「家族などの介助者の健康状態」が30.2%と最も多く、次いで「生活費が足りない」が27.9%となっています。



問28 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

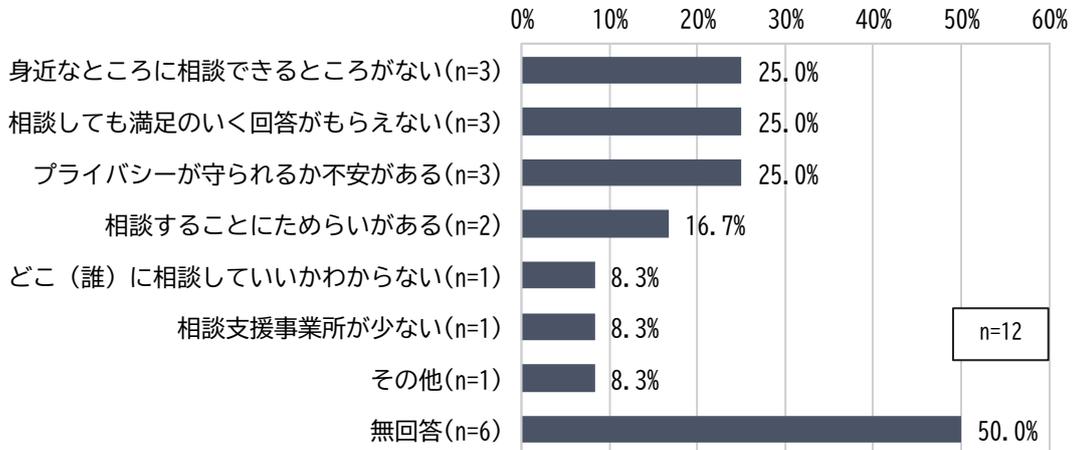
悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談するかについては、「家族や親せき」が39.5%と最も多く、次いで「相談したいが、できない」が27.9%となっています。

年齢	n	家族や親せき	障害者施設や事業所の職員	病院・医師・看護師	近所の人、知人・友人	職場の仲間	相談支援事業所	障害者団体や家族会	民生委員・児童委員	国・県・市などの相談窓口	川越市障害者総合相談支援センター	ボランティア	身体障害者・知的障害者相談員	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	医療的ケア児等コーディネーター	社会福祉協議会	インターネット上のコミュニティ	その他	相談したいが、できない	相談したいと思わない	無回答	
		全体	43	39.5%	25.6%	23.3%	11.6%	4.7%	4.7%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	27.9%	9.3%
10歳未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10～17歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	3	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
30～39歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	10	60.0%	20.0%	40.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	
50～59歳	7	28.6%	42.9%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	
60～64歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65歳以上	20	30.0%	25.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	30.0%	

【問28で「18. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問29 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

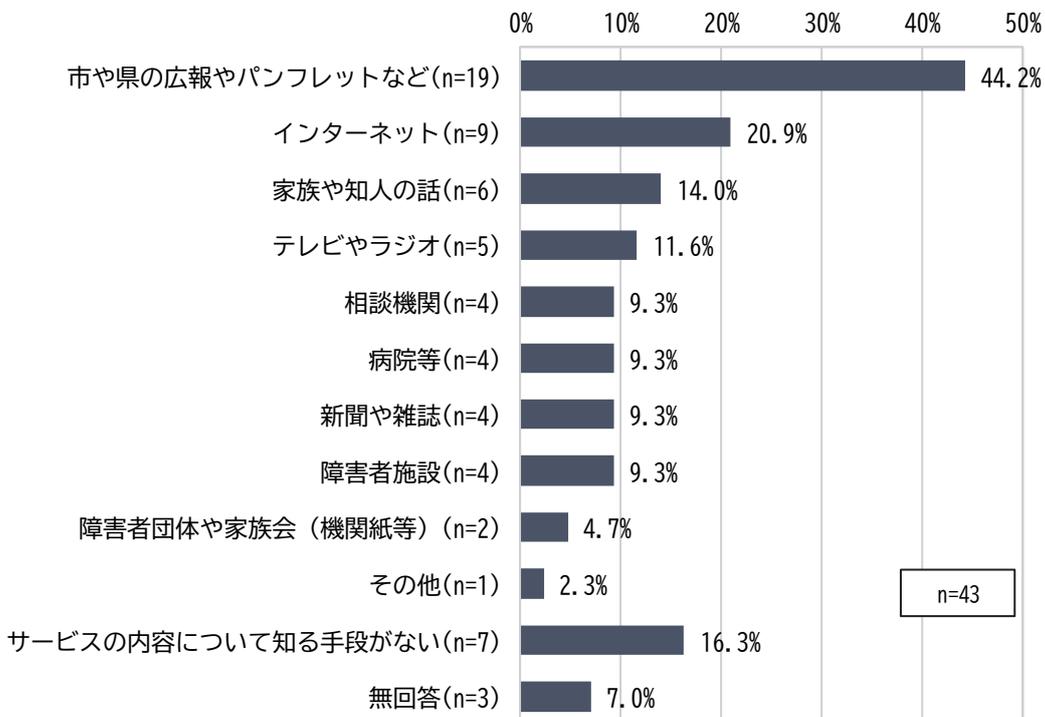
相談できない理由については、「身近なところに相談できるところがない」、「相談しても満足いく回答がもらえない」、「プライバシーが守られるか不安がある」がそれぞれ 25.0%と最も多くなっています。



【ここからは、全員にお聞きします】

問30 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が 44.2%と最も多く、次いで「インターネット」が 20.9%となっています。



問31 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が32.6%と最も多く、次いで「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が30.2%となっています。

		話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	複雑な文章表現がわかりにくい	相手の意思や情報を把握できない	どこを調べればよいかわからない	パソコンやスマートフォンなどの操作がわからない	希望している福祉サービスについての情報が少ない、内容がわかりにくい	案内表示がわかりにくい	相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	音声情報や点字など視覚障害に配慮した情報が少ない	要約筆記者がいない	文字情報やヒアリンググループなど聴覚障害に配慮した情報が少ない	Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない	手話通訳者がいない	その他	特になし	無回答	
全体	n	43	32.6%	30.2%	25.6%	25.6%	25.6%	20.9%	14.0%	9.3%	9.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	11.6%	11.6%

《福祉サービスについて》

問32 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。
サービス等を利用していない場合は、問33へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「短期入所（ショートステイ）」、「就労定着支援」がそれぞれ3人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が「短期入所（ショートステイ）」では100.0%、「就労定着支援」では33.3%となっています。

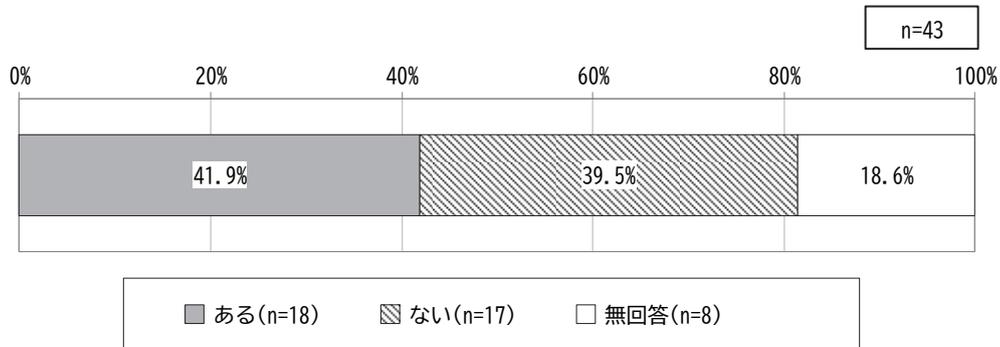
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
短期入所（ショートステイ）	3	100.0%	0.0%	0.0%
就労定着支援	3	33.3%	33.3%	33.3%
自立訓練（生活訓練）	2	50.0%	50.0%	0.0%
就労継続支援B型	2	0.0%	50.0%	50.0%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	1	100.0%	0.0%	0.0%
生活介護	1	0.0%	0.0%	100.0%
療養介護	1	100.0%	0.0%	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	1	0.0%	100.0%	0.0%
自立訓練（機能訓練）	1	0.0%	0.0%	100.0%
就労移行支援	1	0.0%	0.0%	100.0%
計画相談支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
放課後等デイサービス	1	100.0%	0.0%	0.0%
重度訪問介護	0	-	-	-
同行援護	0	-	-	-
行動援護	0	-	-	-
重度障害者等包括支援	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
施設入所支援	0	-	-	-
就労継続支援A型	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-
児童発達支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
居宅訪問型児童発達支援	0	-	-	-
障害児入所支援(福祉型)	0	-	-	-
障害児入所支援(医療型)	0	-	-	-
障害児相談支援	0	-	-	-

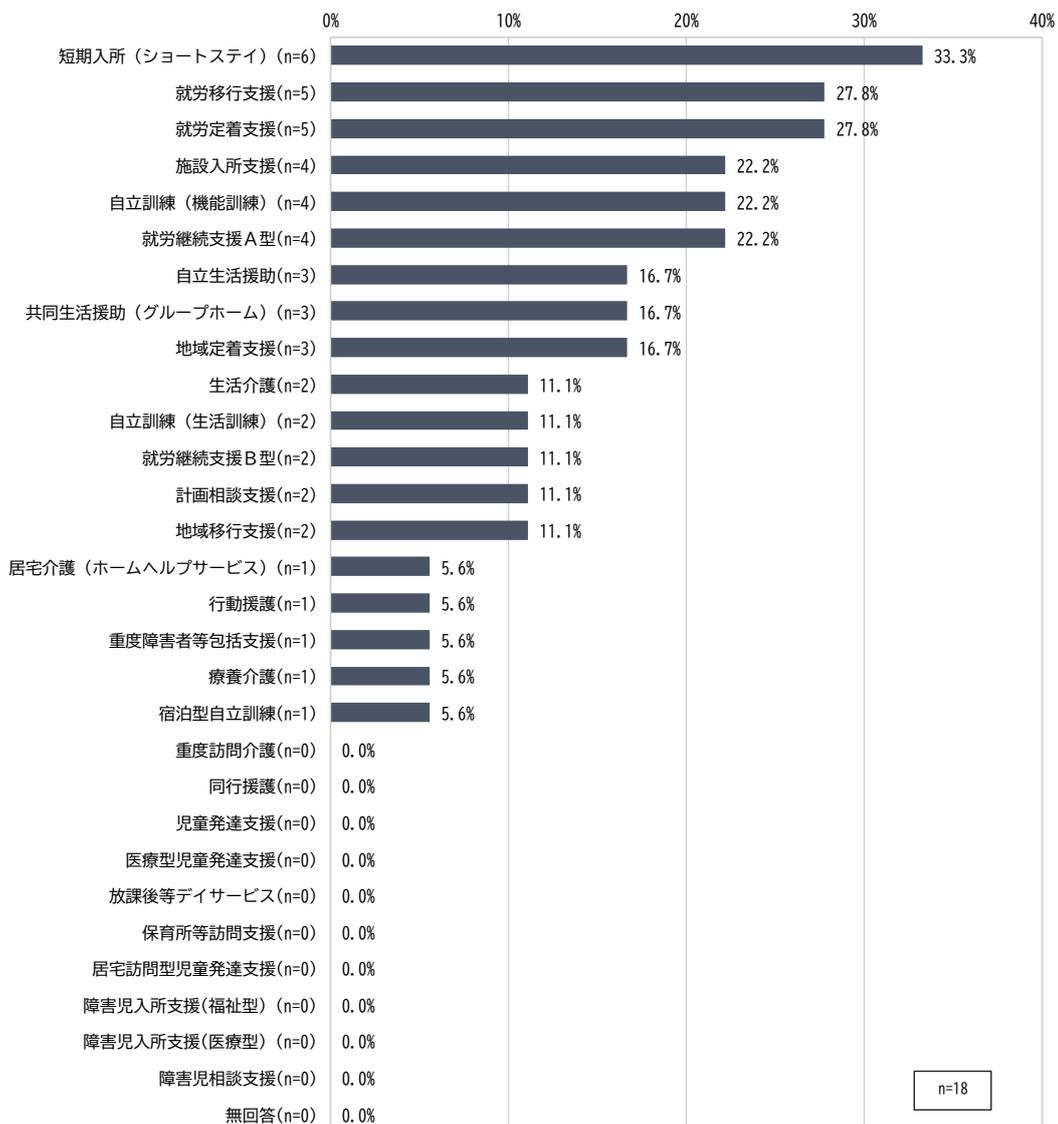
問33 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が41.9%、「ない」が39.5%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が33.3%と最も多く、次いで「就労移行支援」、「就労定着支援」がそれぞれ27.8%となっています。

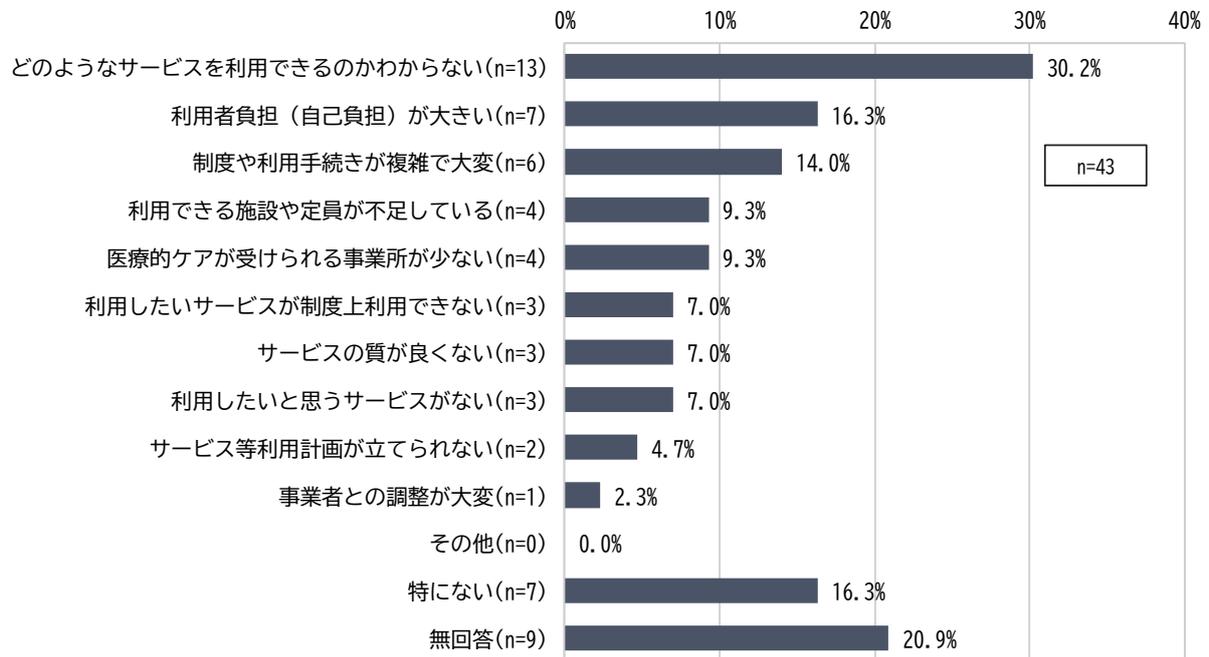


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



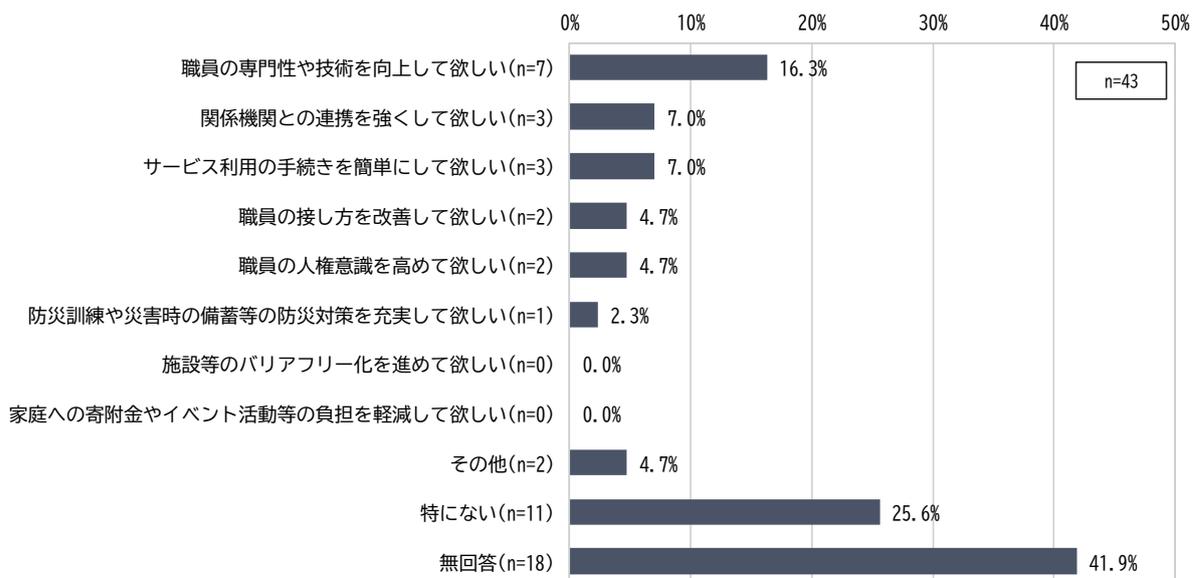
問34 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が30.2%と最も多く、次いで「利用者負担（自己負担）が大きい」、「特にない」がそれぞれ16.3%となっています。



問35 障害（児）福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

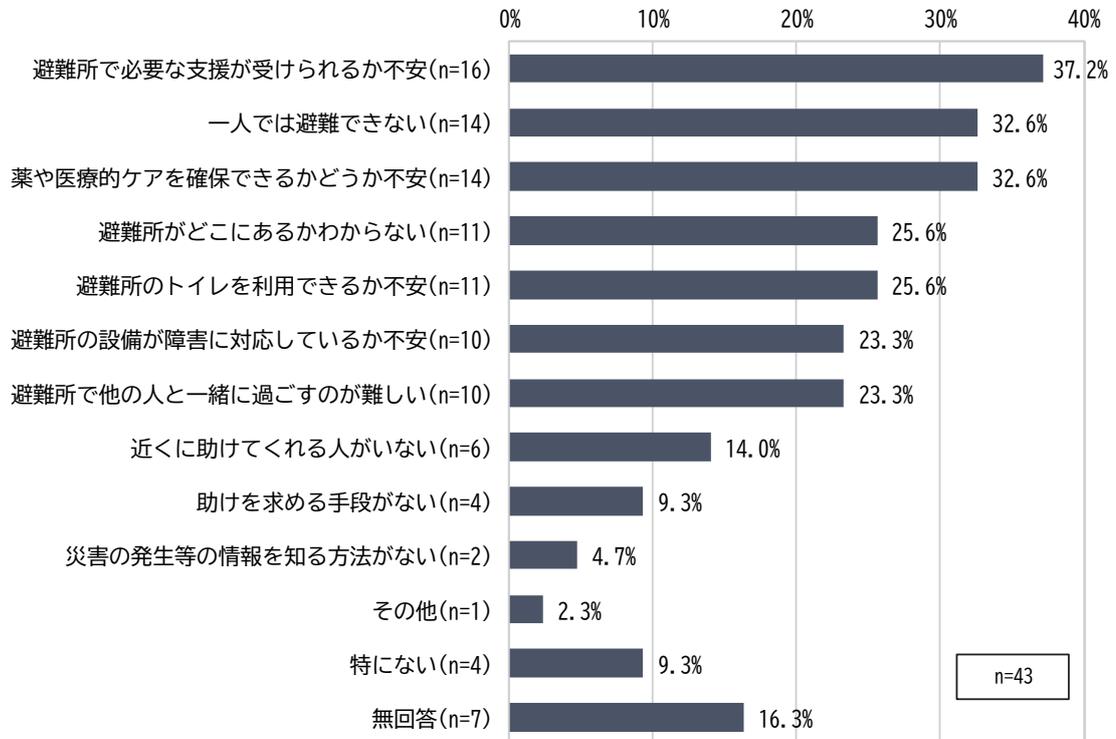
障害（児）福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が25.6%と最も多く、次いで「職員の専門性や技術を向上して欲しい」が16.3%、「関係機関との連携を強くして欲しい」、「サービス利用の手続きを簡単にして欲しい」がそれぞれ7.0%となっています。



《災害時の支援等について》

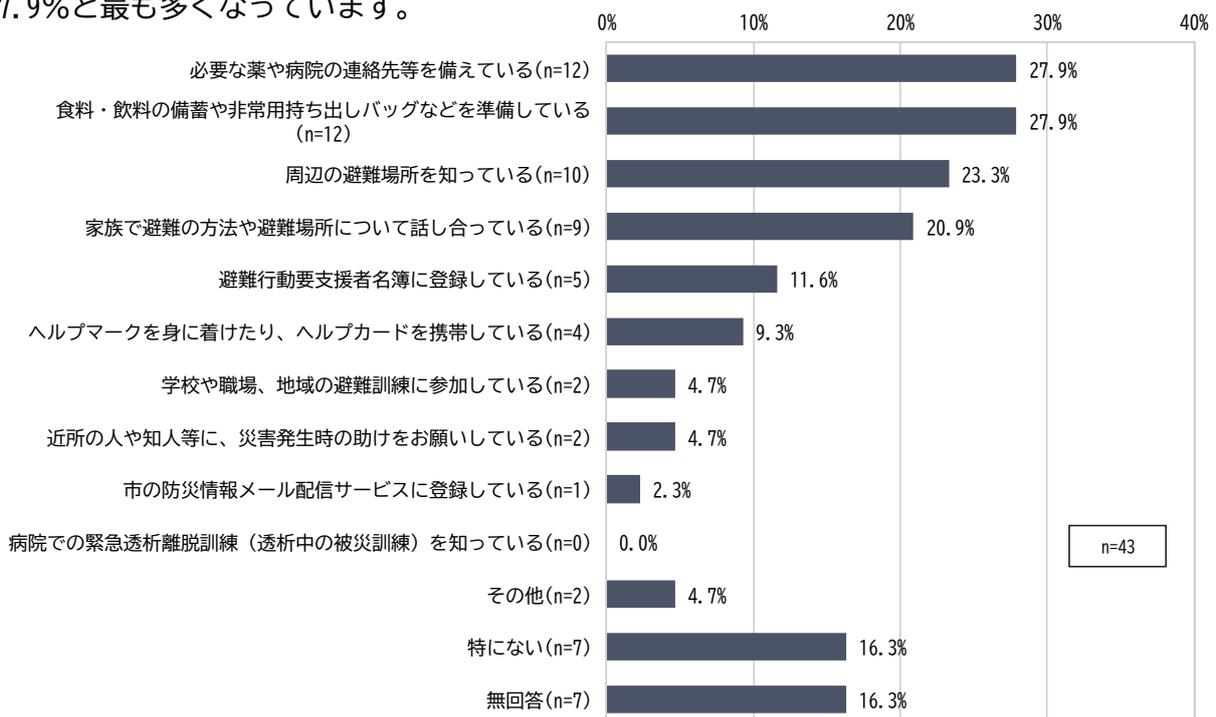
問36 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が37.2%と最も多く、次いで「一人では避難できない」、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」がそれぞれ32.6%となっています。



問37 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「必要な薬や病院の連絡先等を備えている」、「食料・飲料の備蓄や非常用持ち出しバッグなどを準備している」がそれぞれ27.9%と最も多くなっています。



問38 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

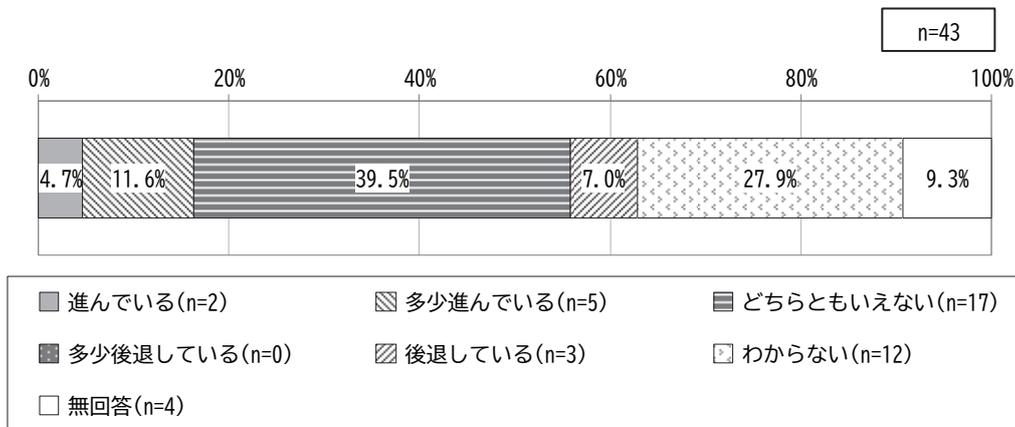
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「必要な医療的ケアを受けられる」、「避難を手助けしてくれる」がそれぞれ 34.9%と最も多くなっています。

	n	必要な医療的ケアを受けられる	避難を手助けしてくれる	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所がある	避難できないので自宅に支援物資などを届けてくれる	避難所でプライバシーが守られる	避難所の設備（トイレ等）を充実させる	被害状況、避難所の場所、物資の入手方法等の情報を知らせてくれる	周囲の人とのコミュニケーションを手助けしてくれる	必要な補装具や日常生活用具を支給してくれる	救助や避難時に声かけをしてもらえる	電動車椅子や人工呼吸器などを使用するための電源の確保	その他	特にない	無回答
全体	43	34.9%	34.9%	20.9%	20.9%	18.6%	16.3%	14.0%	11.6%	9.3%	9.3%	2.3%	4.7%	4.7%	14.0%

《障害者への理解や権利擁護について》

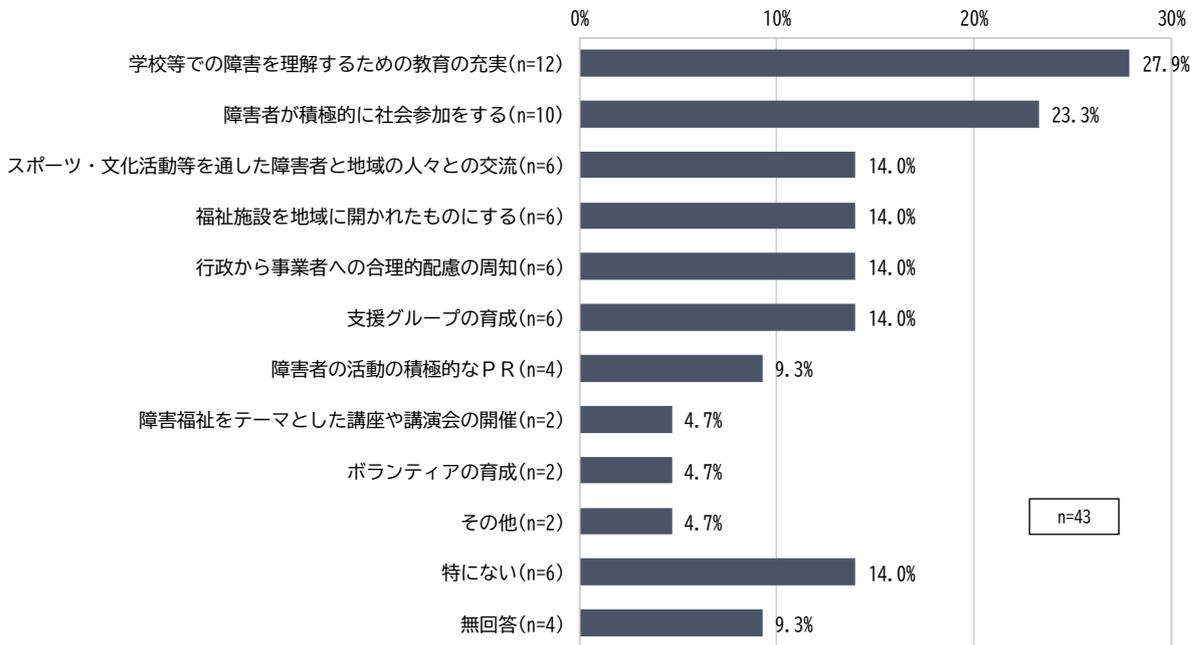
問39 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(〇は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が 39.5%と最も多く、「わからない」が 27.9%となっています。



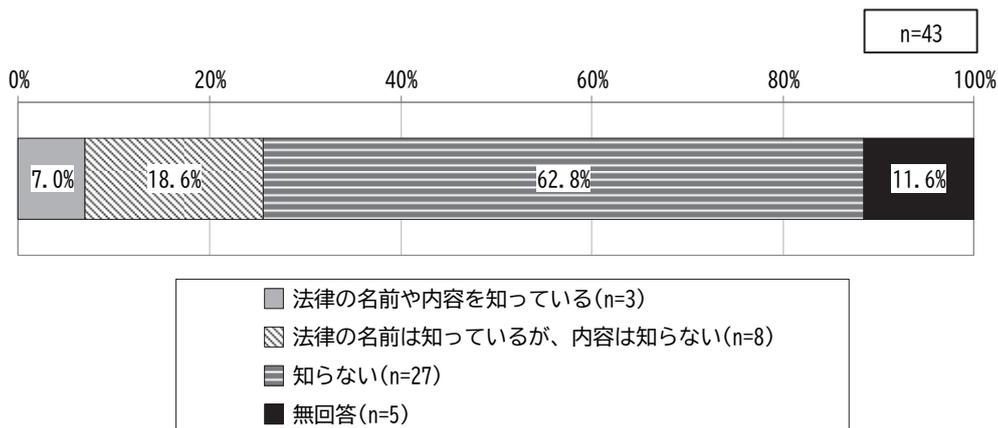
問40 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が27.9%と最も多く、次いで「障害者が積極的に社会参加をする」が23.3%となっています。



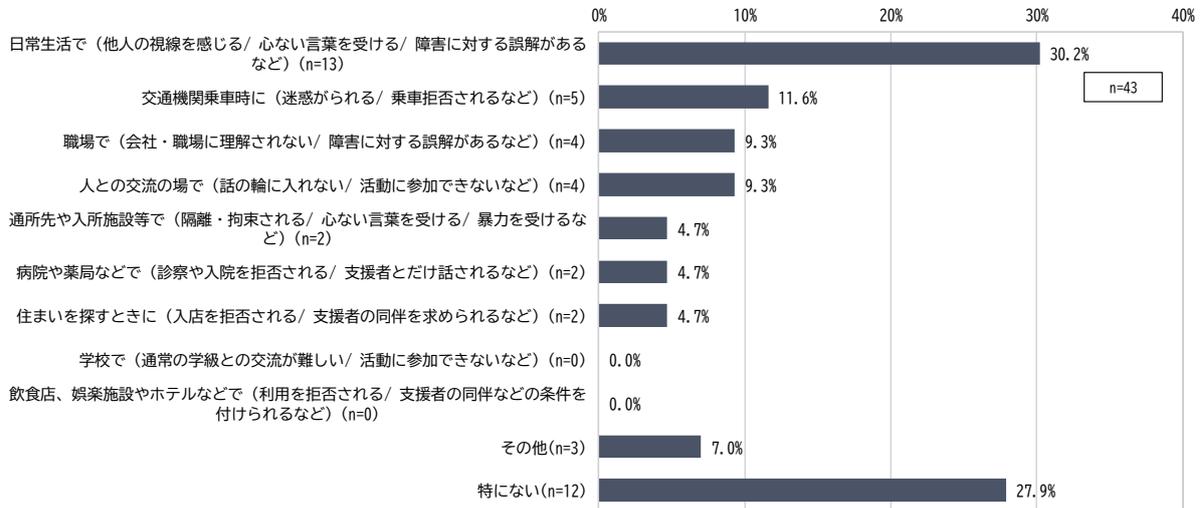
問41 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が62.8%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が18.6%となっています。



問42 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」が30.2%と最も多く、次いで「特にない」が27.9%、「交通機関乗車時に（迷惑がられる/乗車拒否されるなど）」が11.6%となっています。

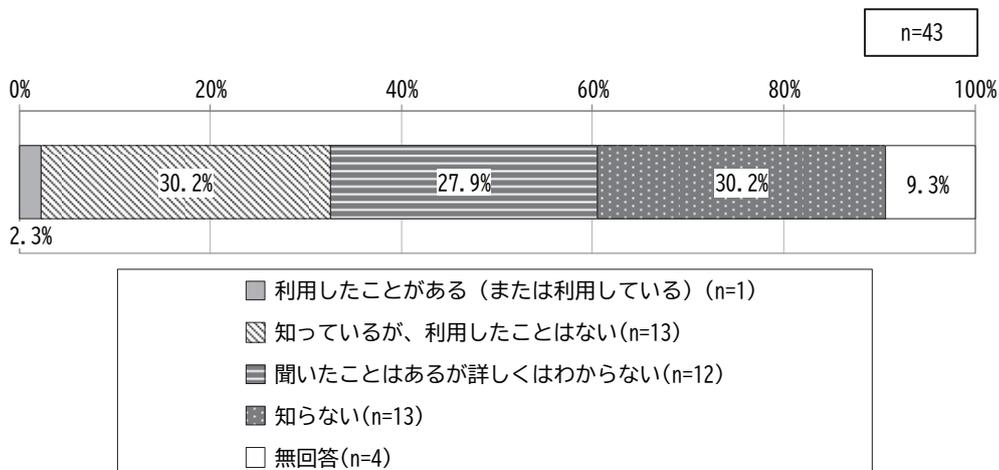


問43 経験したり、見聞きしたことのある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があったことがあったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問44 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

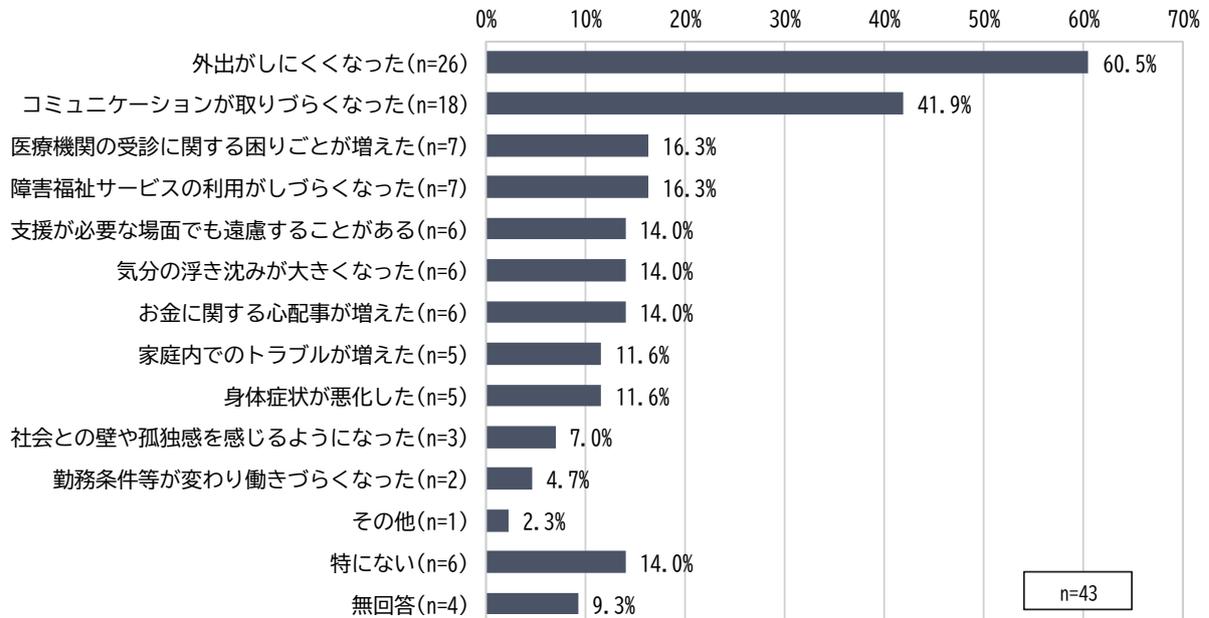
「成年後見制度」については、「知っているが、利用したことはない」、「知らない」がそれぞれ30.2%と最も多くなっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

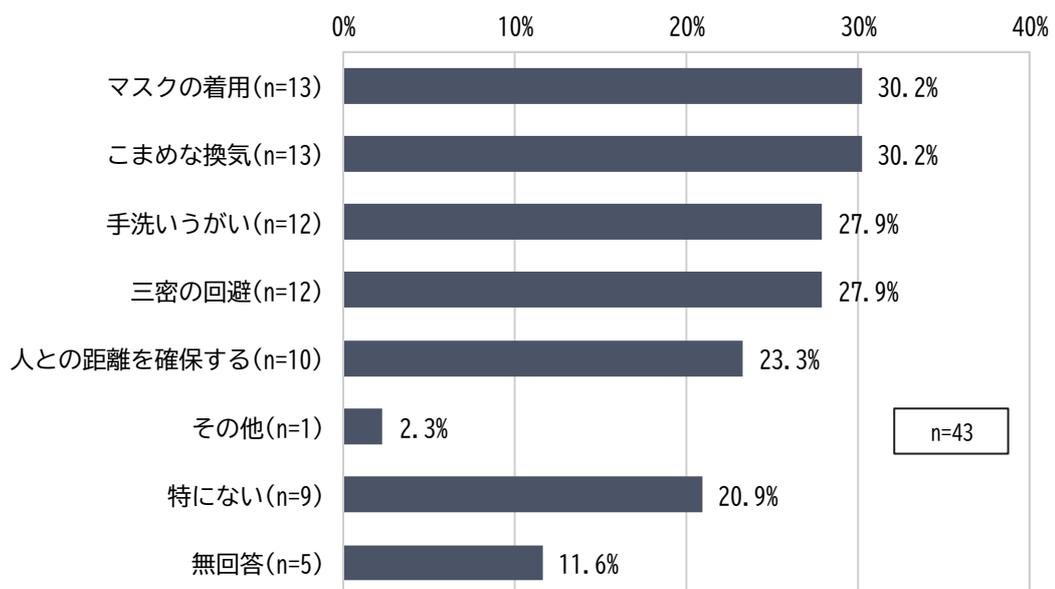
問45 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が60.5%と最も多く、次いで「コミュニケーションが取りづらくなった」が41.9%となっています。



問46 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

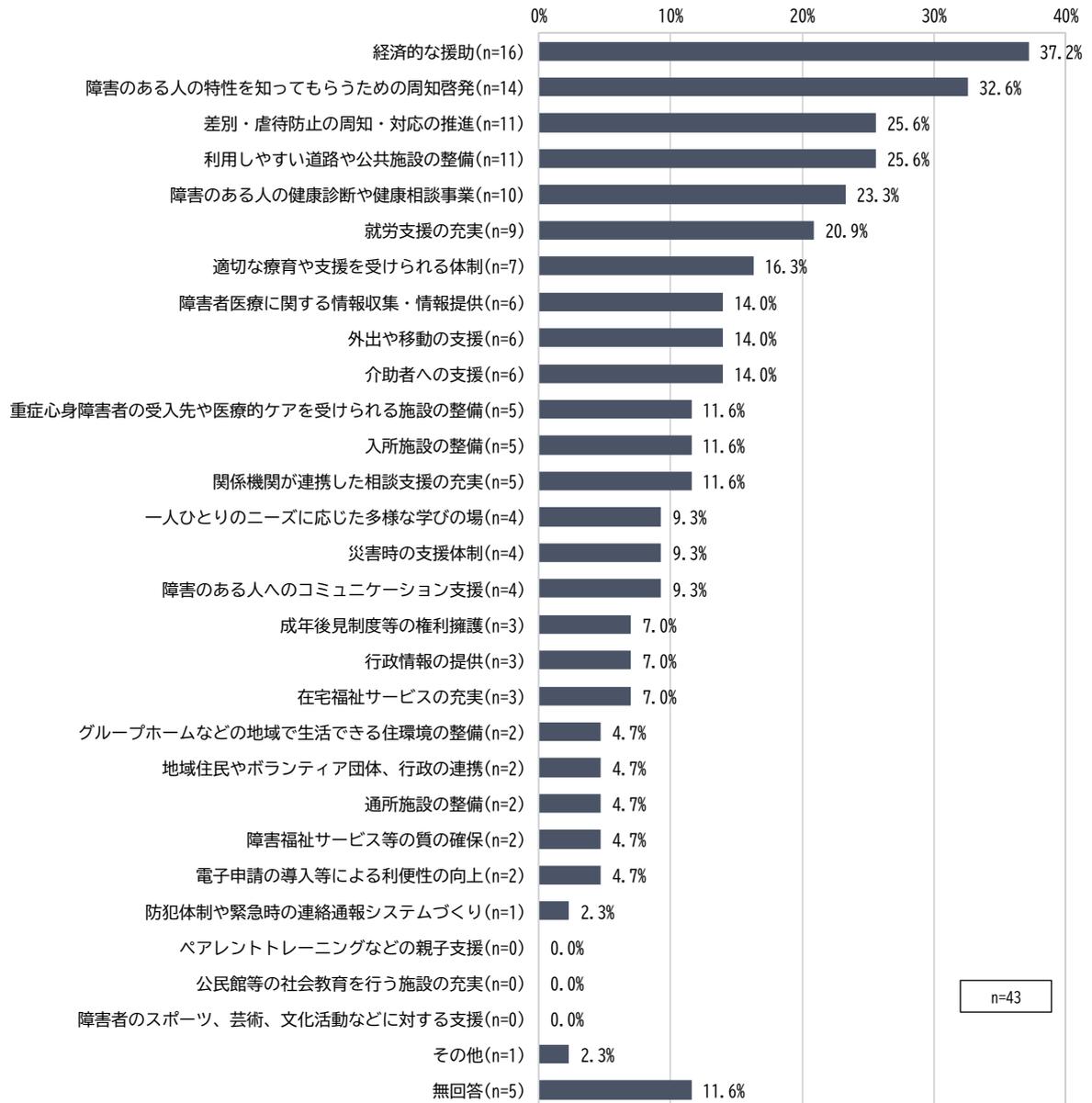
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「マスクの着用」、「こまめな換気」がそれぞれ30.2%と最も多くなっています。



《市の取り組み等について》

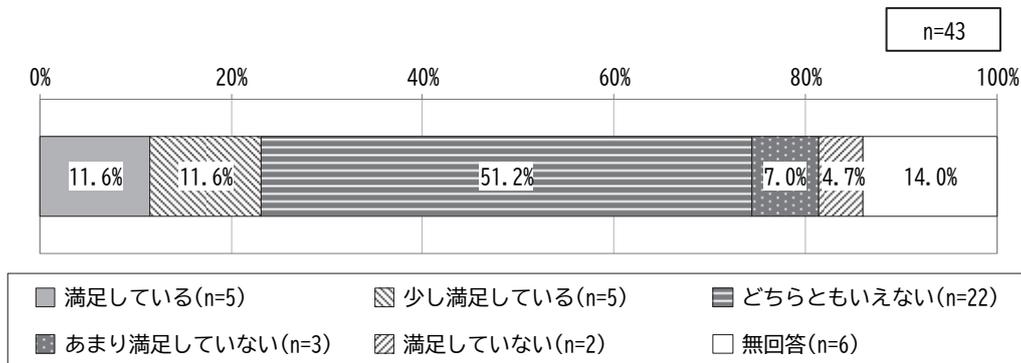
問47 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「経済的な援助」が37.2%と最も多く、次いで「障害のある人の特性を知ってもらうための周知啓発」が32.6%となっています。



問48 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(○は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」、「少し満足している」がそれぞれ11.6%となっています。また「あまり満足していない」が7.0%、「満足していない」が4.7%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

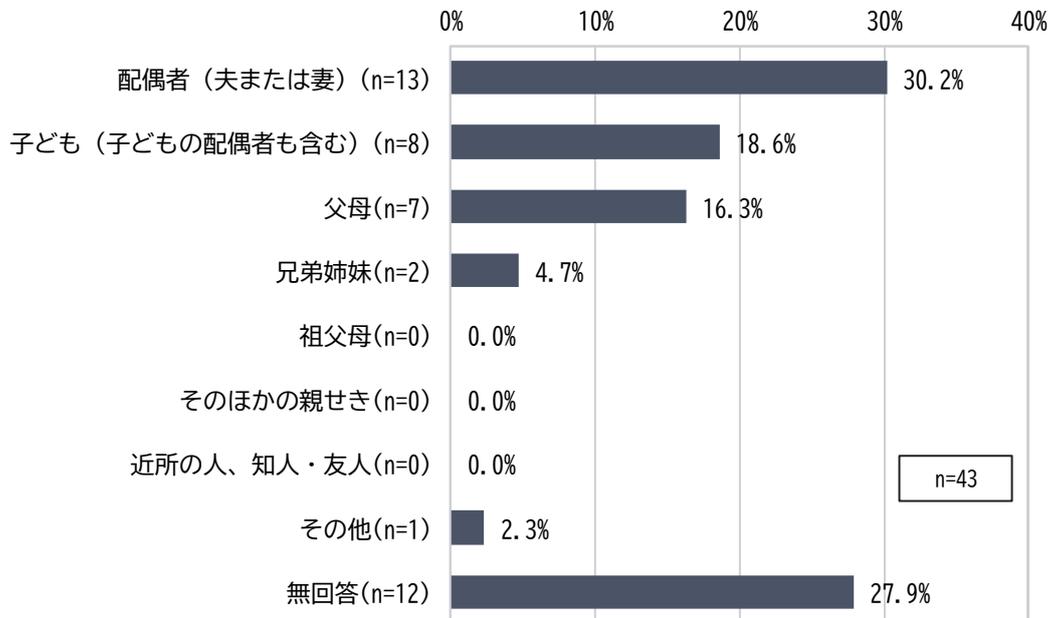
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

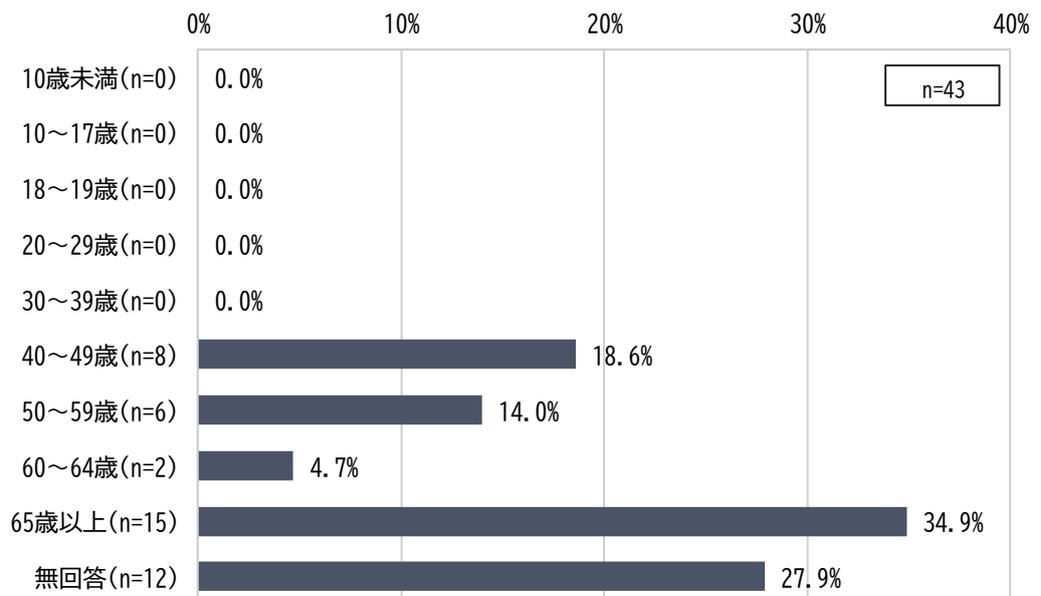
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「配偶者（夫または妻）」が30.2%と最も多く、次いで「子ども（子どもの配偶者も含む）」が18.6%となっています。



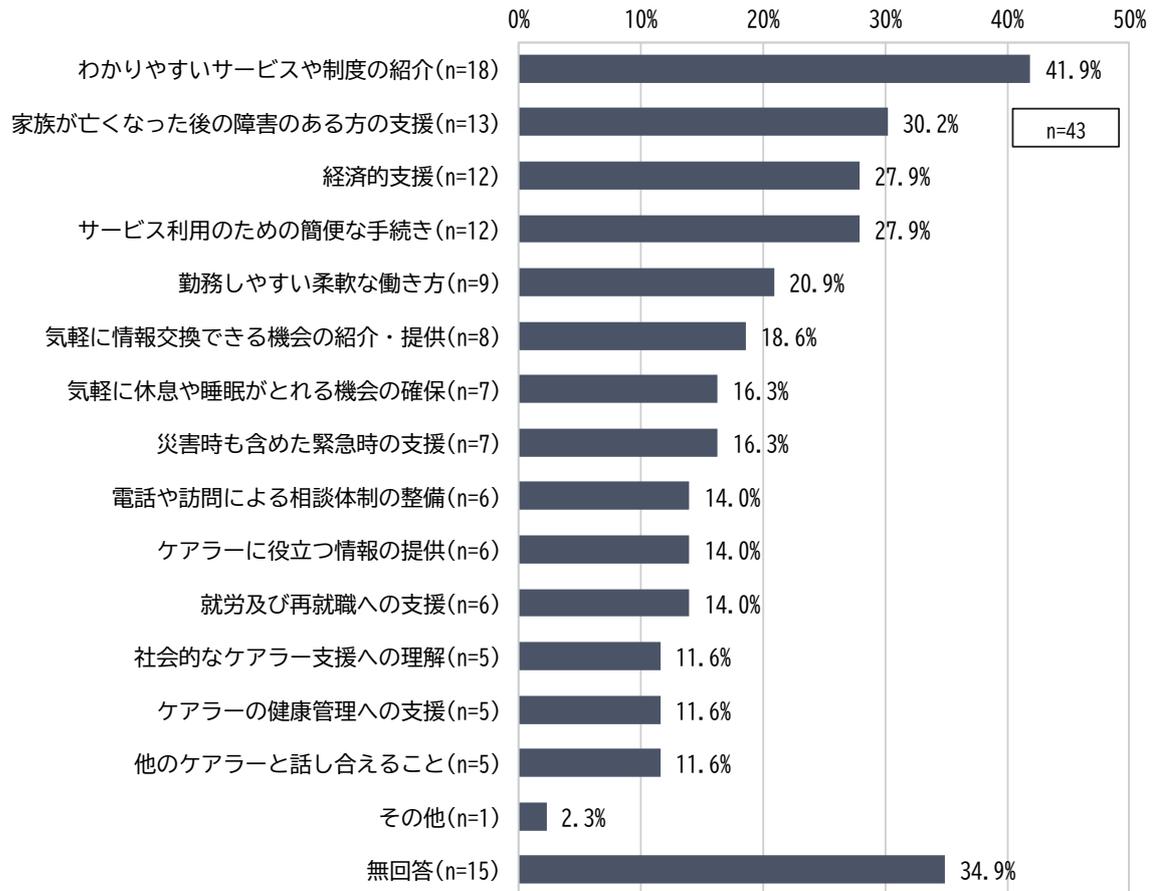
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が34.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が18.6%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「わかりやすいサービスや制度の紹介」が41.9%と最も多く、次いで「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が30.2%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

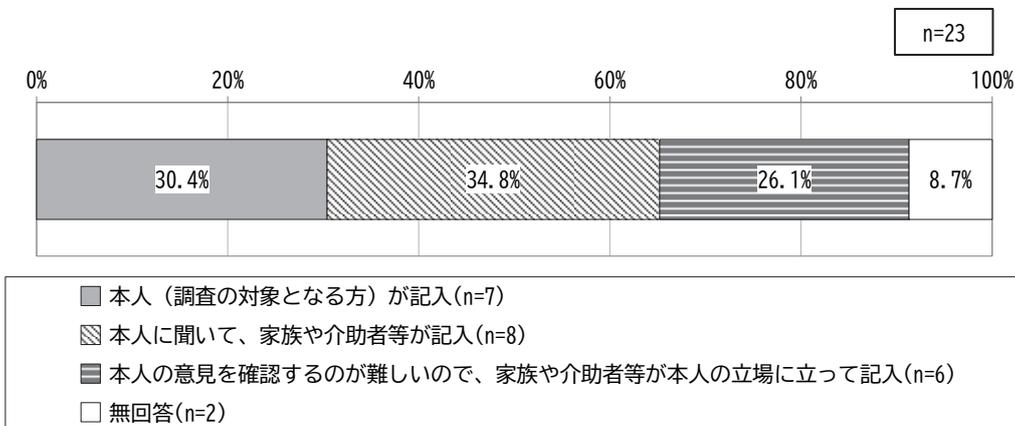
[自由記述編を参照]

調査結果 7. 特別支援学校高等部3年生

《記入者・ご本人について》

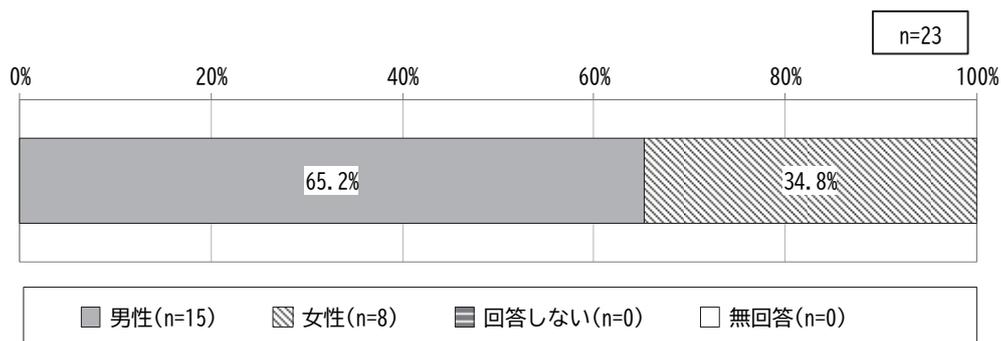
この調査票に記入する方はどなたですか。(○は1つ)

調査票に記入された方については、「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が 34.8%と最も多く、次いで「本人が記入」が 30.4%となっています。



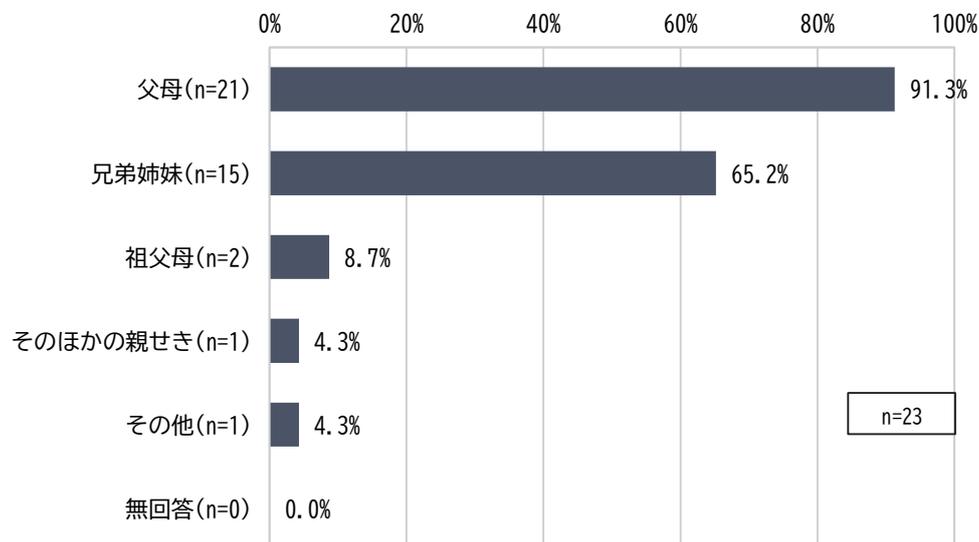
あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が 65.2%、「女性」が 34.8%となっています。



現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

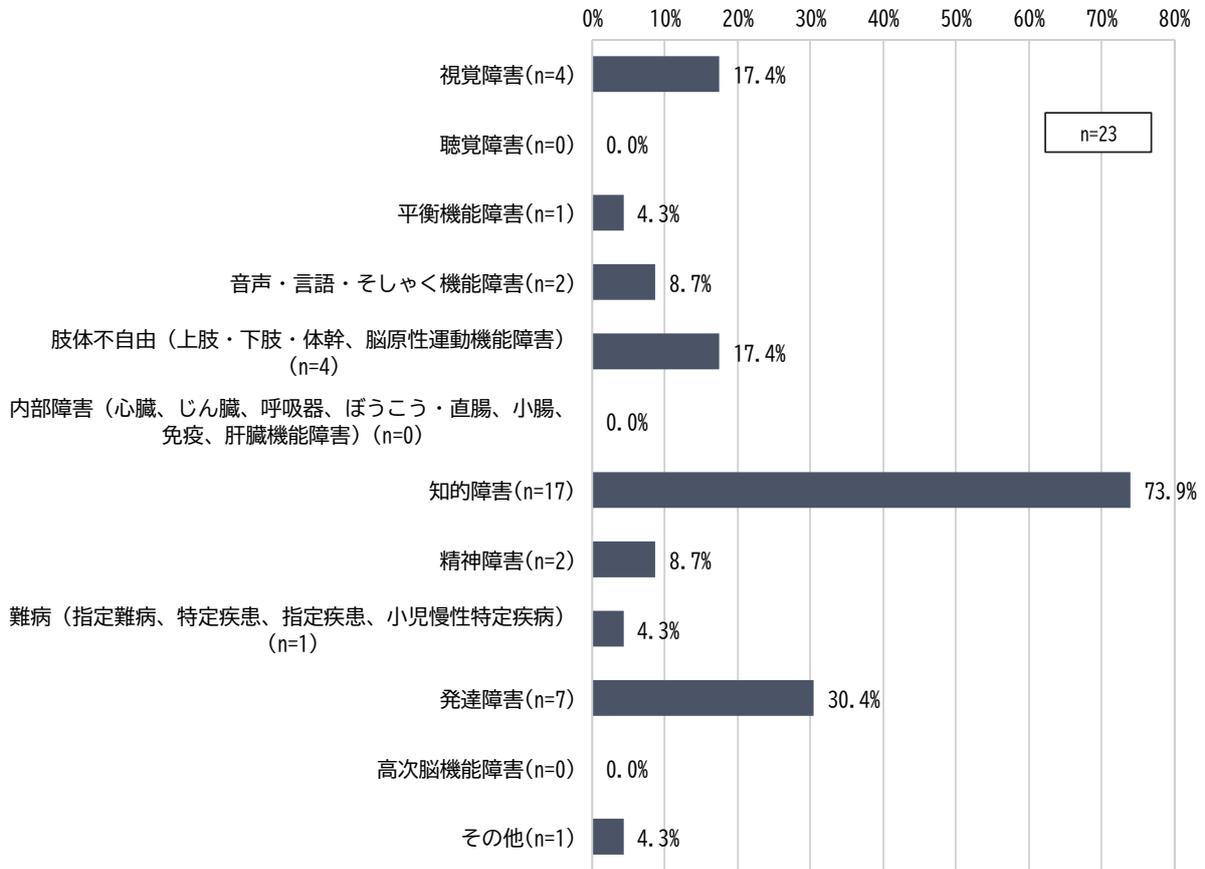
一緒に暮らしている人については、「父母」が 91.3%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が 65.2%となっています。



《障害の状況について》

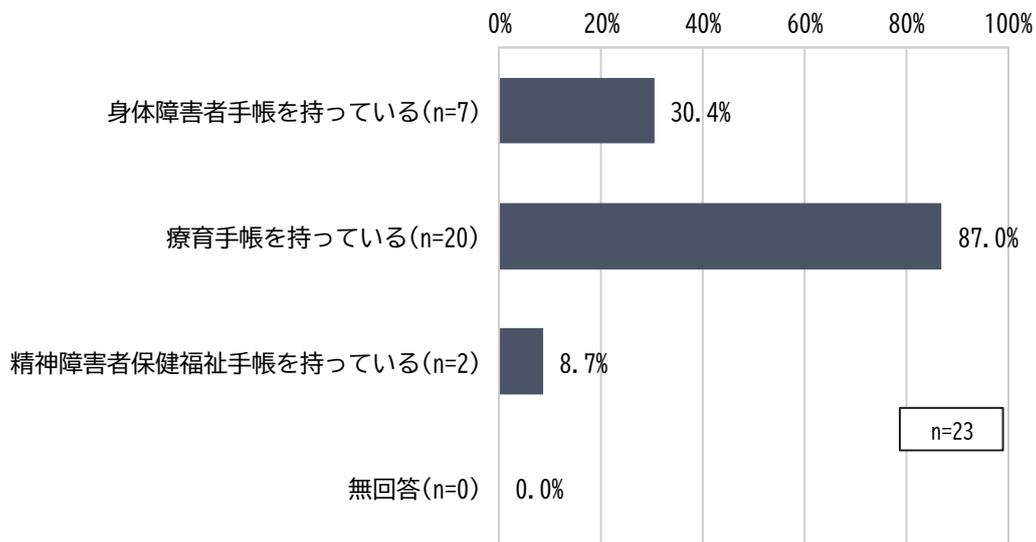
問1 あなたの障害についてお聞きます。(あてはまるものすべてに○)

「知的障害」が73.9%と最も多く、次いで「発達障害」が30.4%となっています。



問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

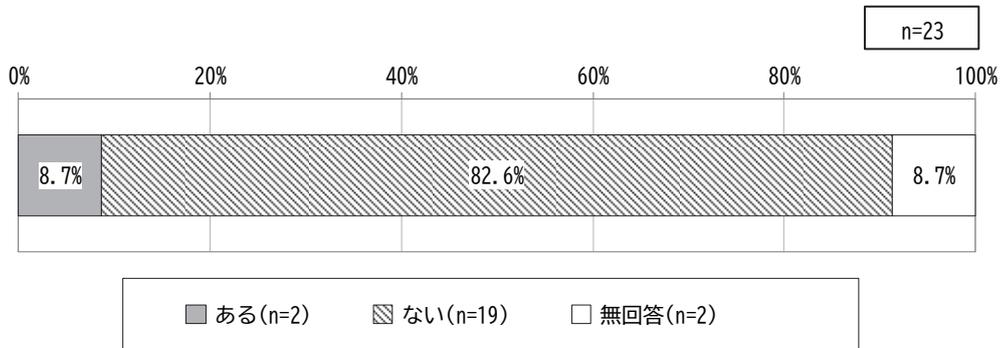
「療育手帳を持っている」が87.0%と最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が30.4%となっています。



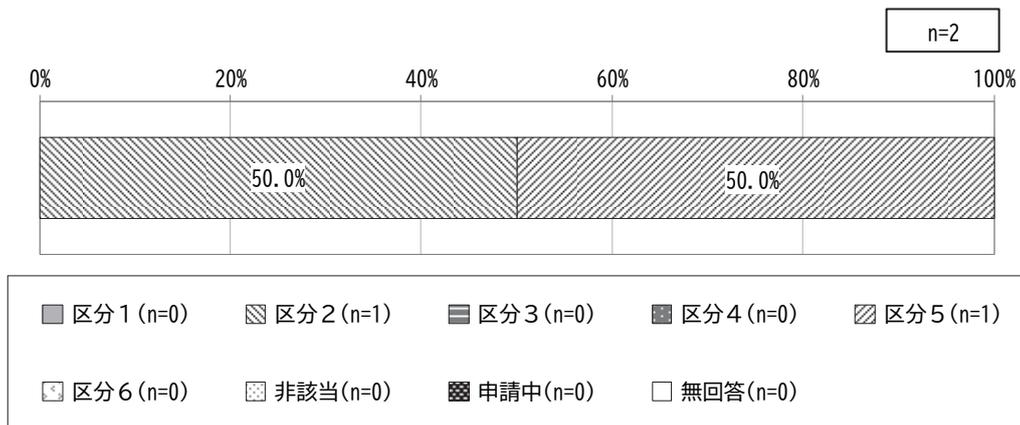
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。（○は1つ）

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が8.7%となっています。また、障害支援区分では「区分2」、「区分5」がそれぞれ50.0%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



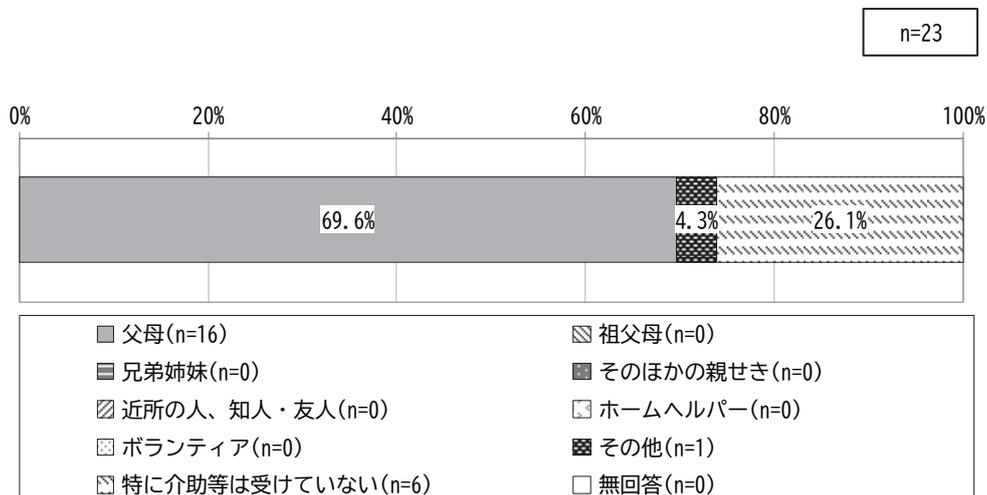
■障害支援区分（6段階）



《介助等の状況について》

問4 普段、あなたを主に介助等しているのはどなたですか。（○は1つ）

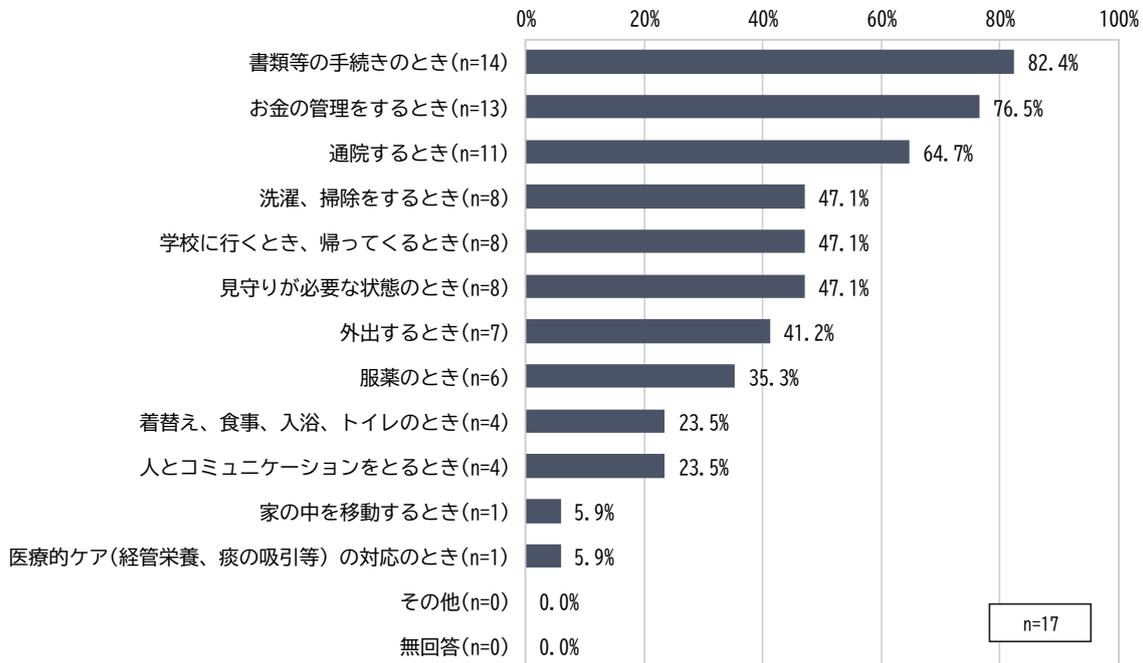
主な介助者等については、「父母」が69.6%と最も多く、次いで「特に介助等を受けていない」が26.1%、「その他」が4.3%となっています。



[問4で1～8に○をつけた方にお聞きします]

問5 どのようなときに介助等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなときに介助等を受けているかについては、「書類等の手続きのとき」が82.4%と最も多く、次いで「お金の管理をするとき」が76.5%となっています。

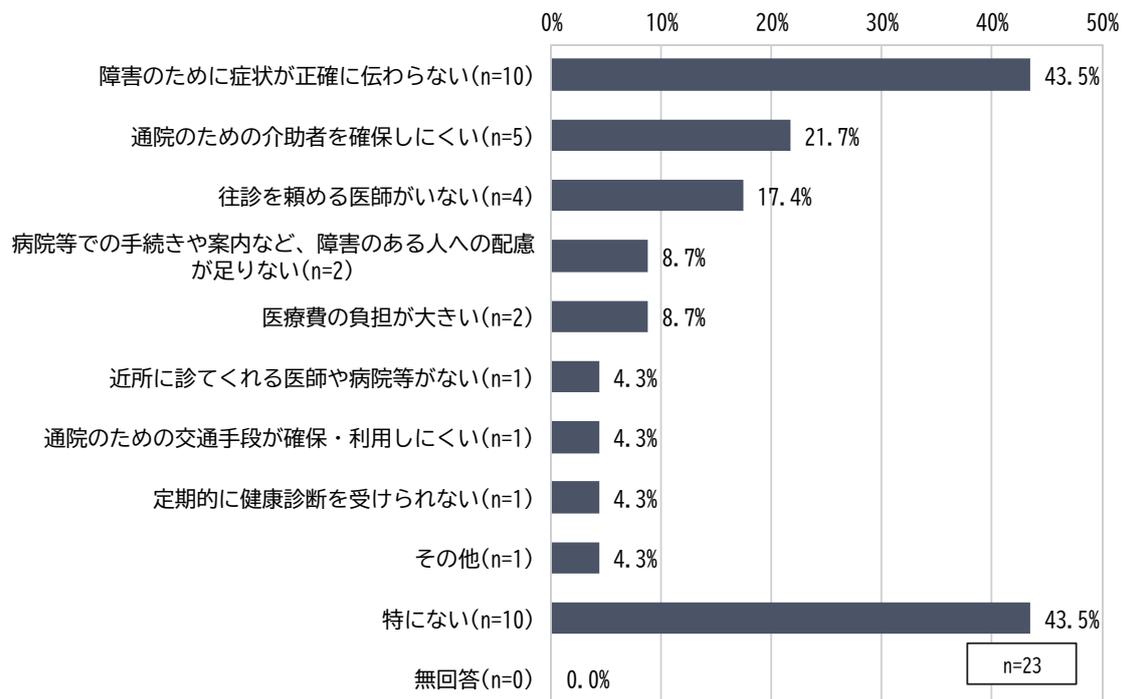


《健康状態や医療について》

[ここからは、全員にお聞きします]

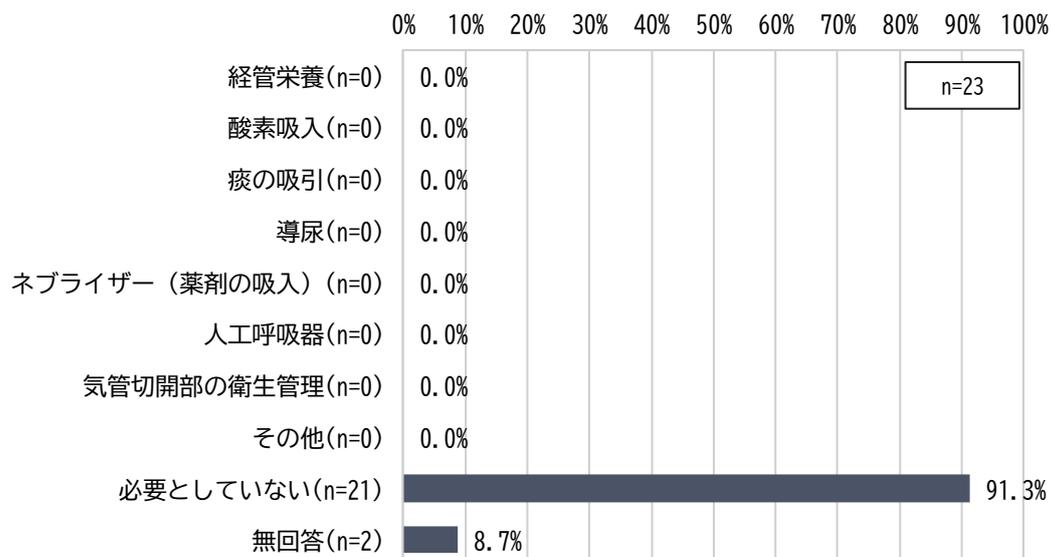
問6 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「障害のために症状が正確に伝わらない」、「特にない」がそれぞれ43.5%と最も多く、次いで「通院のための介助者を確保しにくい」が21.7%となっています。



問7 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを「必要としていない」を選択した方が91.3%と最も多くなっています。



[問8、問9は、問7で1～8に○をつけた方にお聞きします]

問8 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

該当者なし。

問9 日常生活を送る上で必要な支援について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

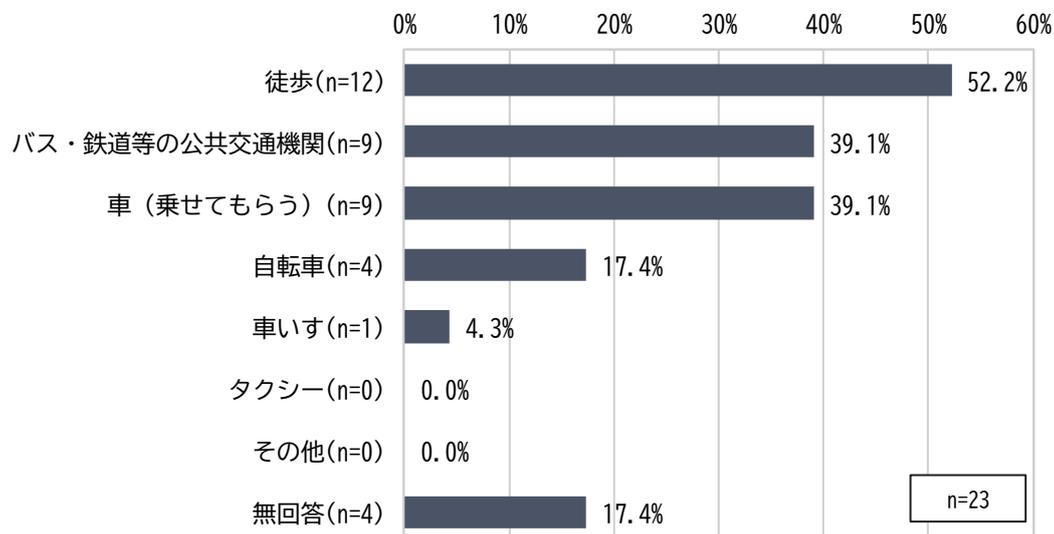
該当者なし。

《外出や余暇の過ごし方について》

[ここからは、全員にお聞きします]

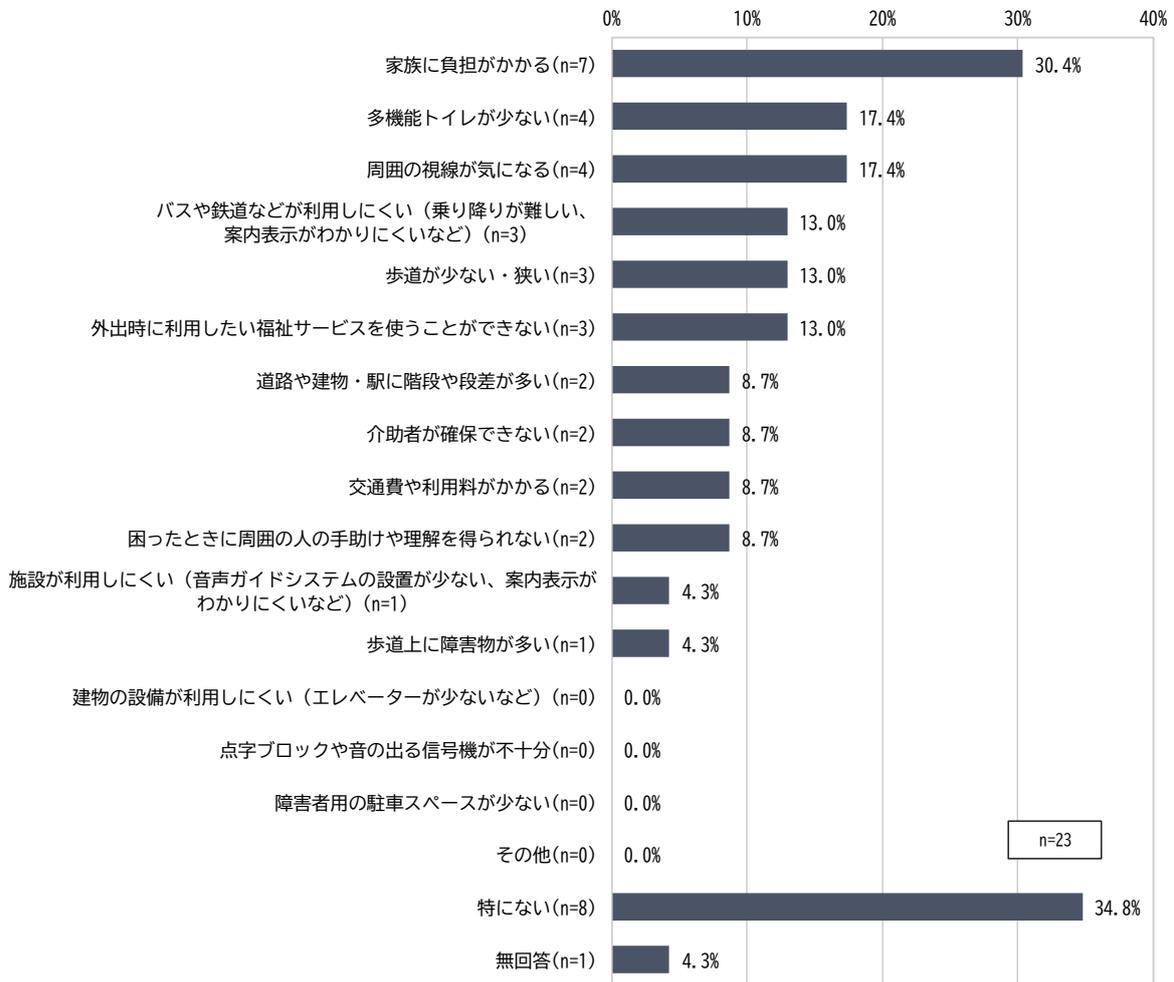
問10 外出の主な手段は何ですか。(○は2つまで)

外出の主な手段については、「徒歩」が52.2%と最も多く、次いで「バス・鉄道等の公共交通機関」、「車(乗せてもらう)」がそれぞれ39.1%となっています。



問11 外出の際に特に困っていることはありますか。(〇は3つまで)

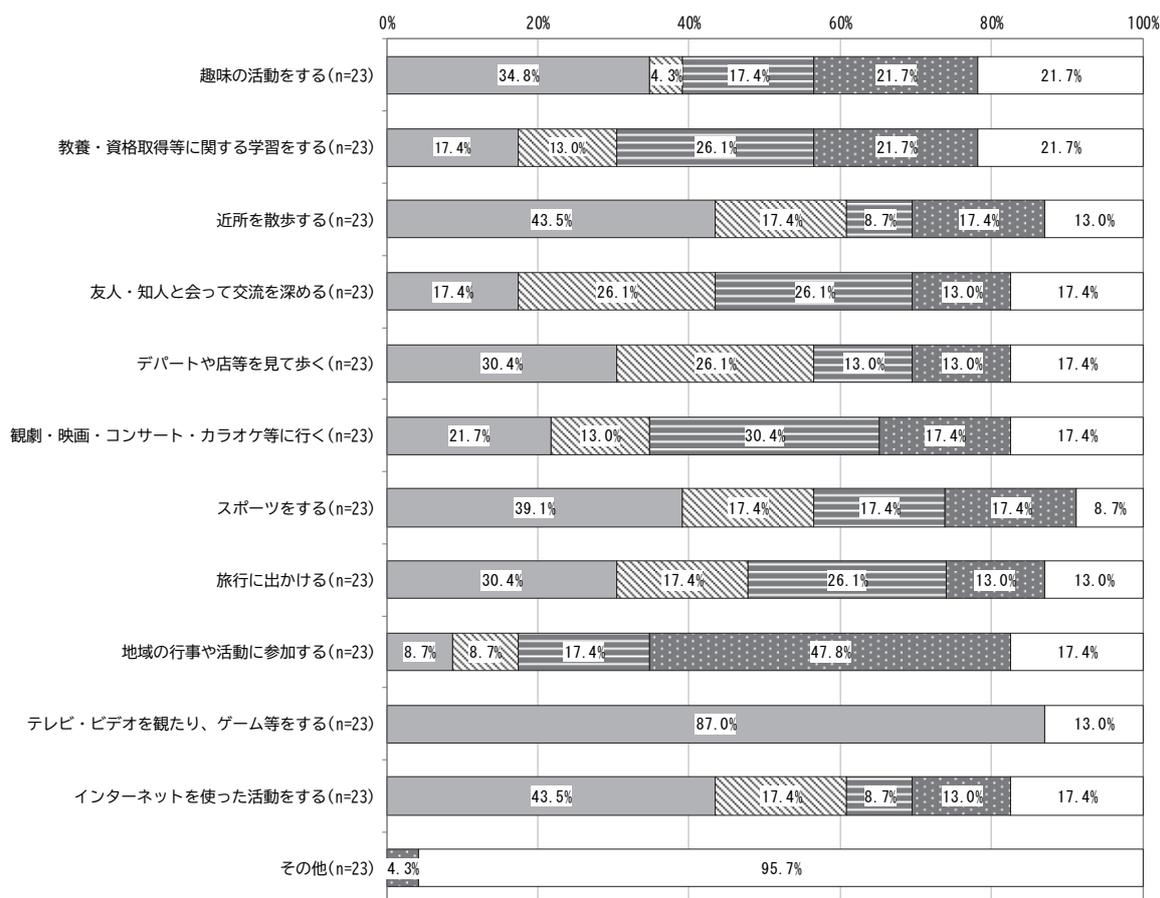
外出の際に特に困っていることについては、「特にない」が34.8%と最も多く、次いで「家族に負担がかかる」が30.4%、「多機能トイレが少ない」、「周囲の視線が気になる」がそれぞれ17.4%となっています。



問12 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が 87.0%と最も多く、次いで「近所を散歩する」、「インターネットを使った活動をする」がそれぞれ 43.5%となっています。

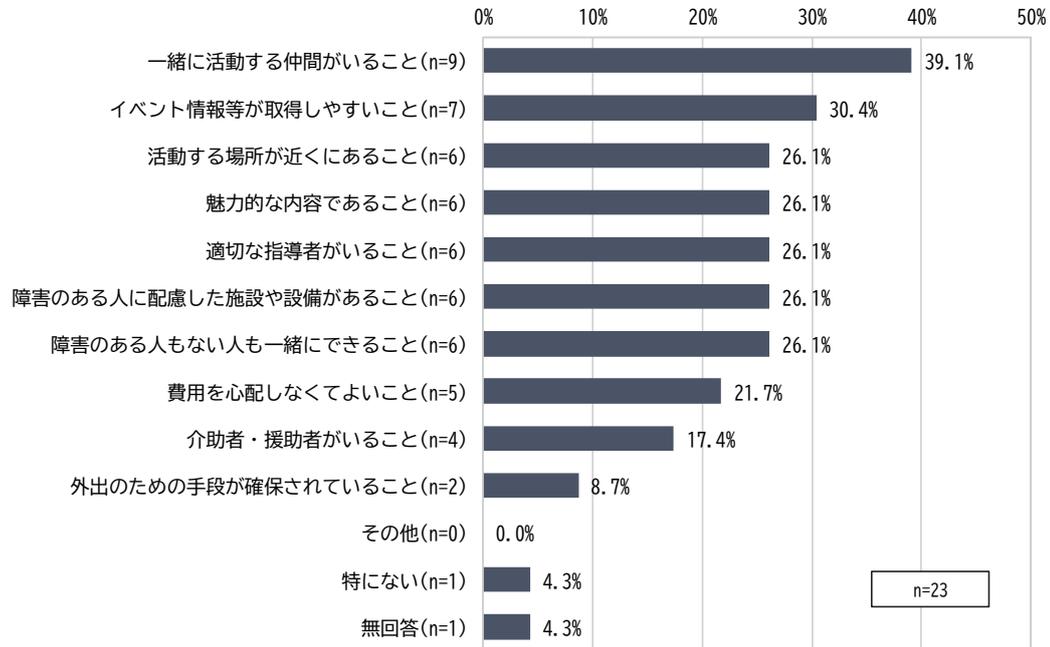
また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「観劇・映画・コンサート・カラオケ等に行く」が 30.4%と最も多く、次いで「教養・資格取得等に関する学習をする」、「友人・知人と会って交流を深める」、「旅行に出かける」がそれぞれ 26.1%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ▩ 必要性を感じていない □ 無回答

問13 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

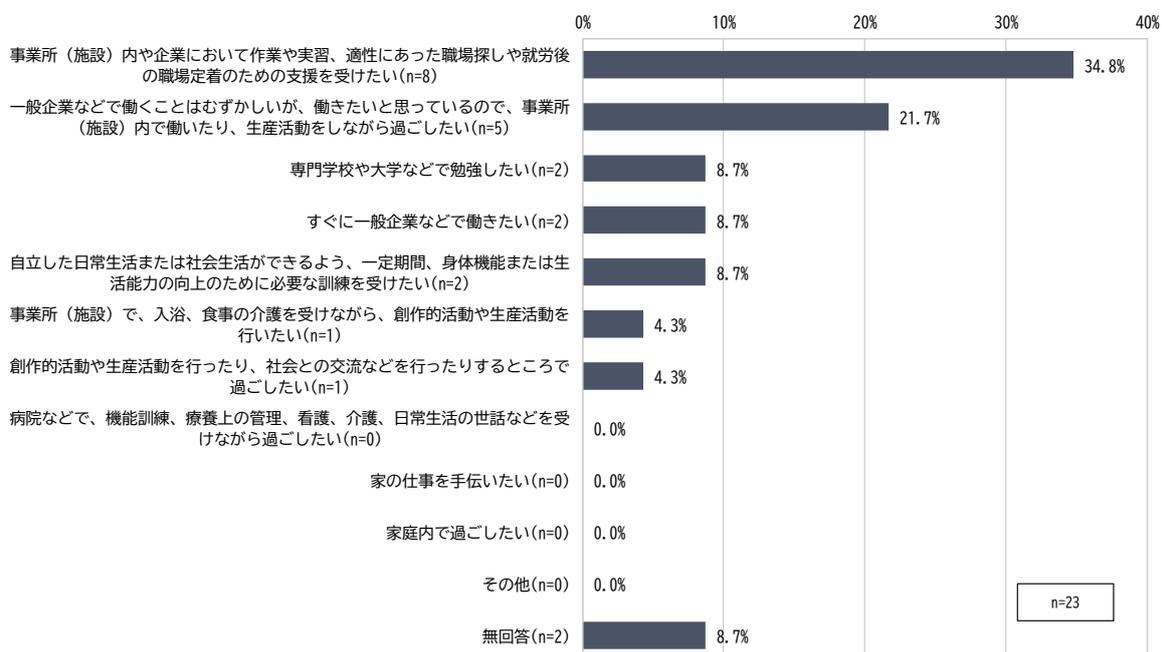
文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「一緒に活動する仲間がいること」が39.1%と最も多く、次いで「イベント情報等が取得しやすいこと」が30.4%となっています。



《学校卒業後の日中の過ごし方についてお聞きします》

問14 学校を卒業したら、どのように日中を過ごしたいと思えますか。過ごしたいと思うところ(過ごし方)を選んで〇をつけてください。(〇は1つ)

日中の過ごし方については、「事業所(施設)内や企業において作業や実習、適性にあった職場探しや就労後の職場定着のための支援を受けたい」が34.8%と最も多く、次いで「一般企業などで働くことはむずかしいが、働きたいと思っているので、事業所(施設)内で働いたり、生産活動をしながら過ごしたい」が21.7%となっています。



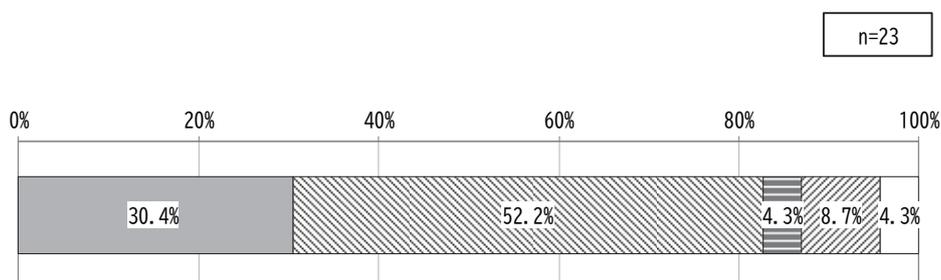
■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
すぐに一般企業などで働きたい	36.0%	事業所 (施設) 内や企業において作業や実習、適性にあった職場探しや就労後の職場定着のための支援を受けたい	34.8%
事業所 (施設) 内や企業において作業や実習、適性にあった職場探しや就労後の職場定着のための支援を受けたい	32.0%	一般企業などで働くことはむずかしいが、働きたいと思っているので、事業所 (施設) 内で働いたり、生産活動をしながら過ごしたい	21.7%
一般企業などで働くことはむずかしいが、働きたいと思っているので、事業所 (施設) 内で働いたり、生産活動をしながら過ごしたい	28.0%	専門学校や大学などで勉強したい/すぐに一般企業などで働きたい/自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を受けたい	8.7%
自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を受けたい	20.0%	事業所 (施設) で、入浴、食事の介護を受けながら、創作的活動や生産活動を行いたい/創作的活動や生産活動を行ったり、社会との交流などを行ったりするところで過ごしたい	4.3%
事業所 (施設) で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作活動や生産活動を行いたい	12.0%		

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問15 今後、あなたは、一般の会社などで働いてみたいと思いますか。(卒業してすぐにはではなく、将来、さまざまな条件・支援が整った場合を想定してお答えください。)(○は1つ)

今後の働き方については、「一般企業ではなく、施設などで、同じ障害のある仲間といっしょに働きたい」が 52.2%と最も多く、次いで「一般企業などで働きたい」が 30.4%となっています。



- 一般企業などで働きたい(n=7)
- ▨ 一般企業ではなく、施設などで、同じ障害のある仲間といっしょに働きたい(n=12)
- 働きたくない(n=1)
- その他(n=0)
- ▨ わからない(n=2)
- 無回答(n=1)

【問15で「1」または「2」に○をつけた方にお聞きします】

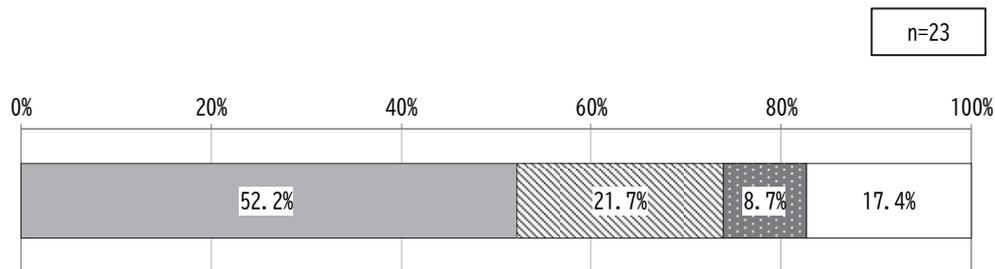
問16 そのような働き方をするためには、どのような環境が整っていればよいと思いますか。また、どのような支援が必要になるとおもいますか。

【自由記述編を参照】

【ここからは、全員にお聞きします】

問17 将来（今後）、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

将来（今後）の暮らし方については、「家族といっしょに暮らしたい」が52.2%と最も多く、次いで「独立して一人で暮らしたい」が21.7%となっています。



- 家族といっしょに暮らしたい(n=12)
- ▨ 独立して一人で暮らしたい(n=5)
- 夜間や休日、介護や日常生活の援助を受けながら共同生活する住居で暮らしたい(n=0)
- 施設に入所して暮らしたい(n=2)
- ▨ その他(n=0)
- 無回答(n=4)

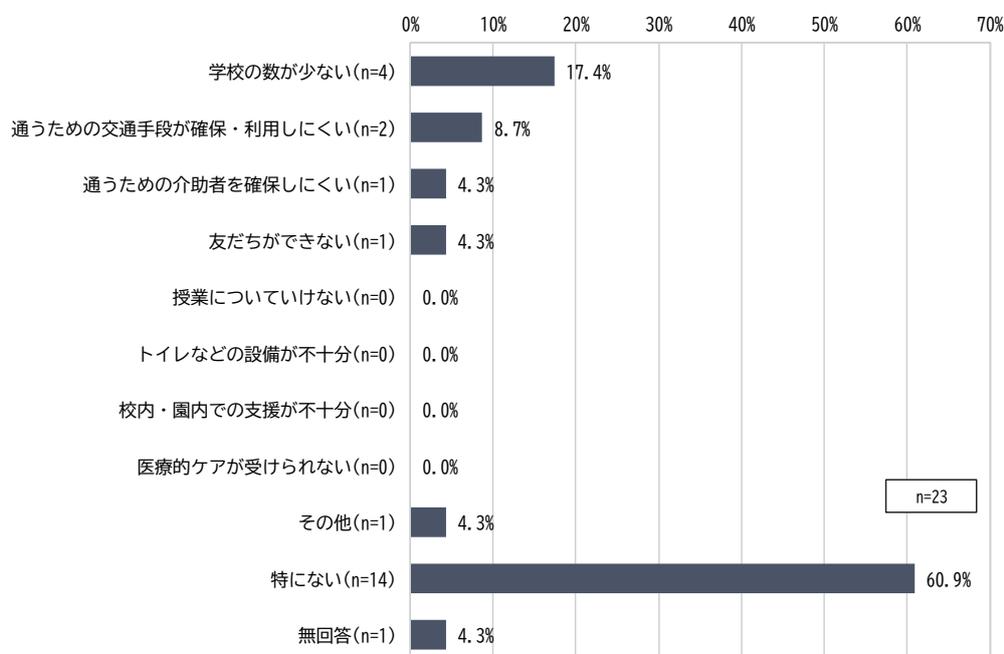
問18 そのような暮らしをするためには、どのような支援が必要になるとおもいますか。また、不安な点などがありましたら、自由にお書きください。

【自由記述編を参照】

《相談や情報入手について》

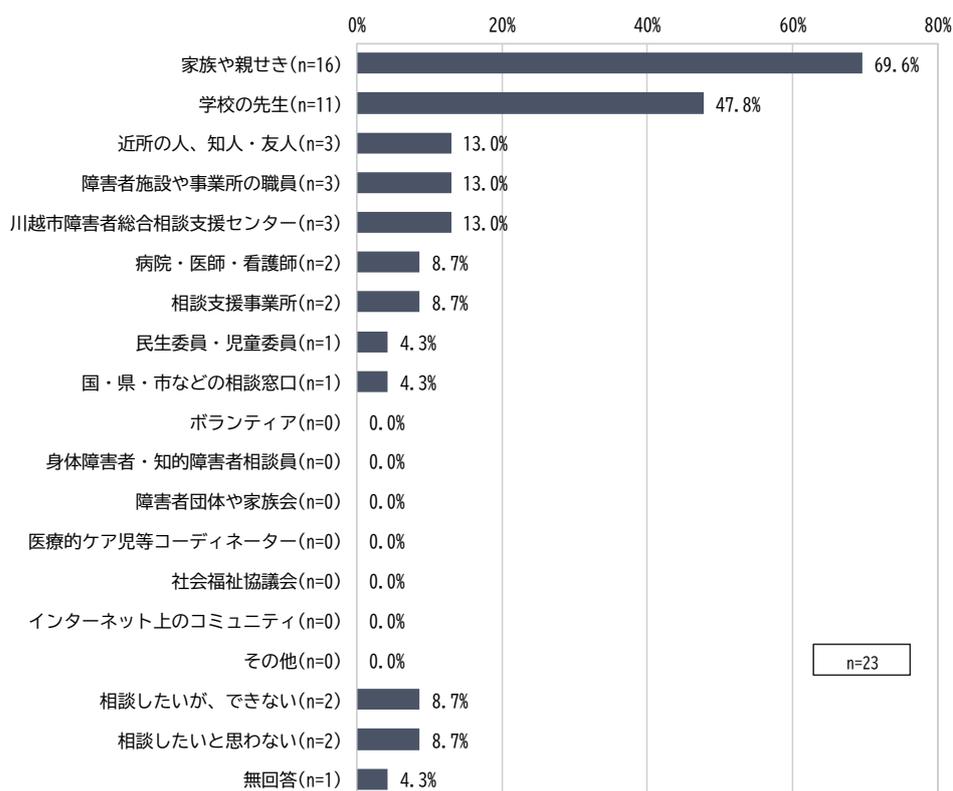
問19 学校に通っていて困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

学校に通っていて困っていることについては、「特にない」が60.9%と最も多く、次いで「学校の数が少ない」が17.4%、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」が8.7%となっています。



問20 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談するかについては、「家族や親せき」が69.6%と最も多く、次いで「学校の先生」が47.8%となっています。



【問20で「17.相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問21 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

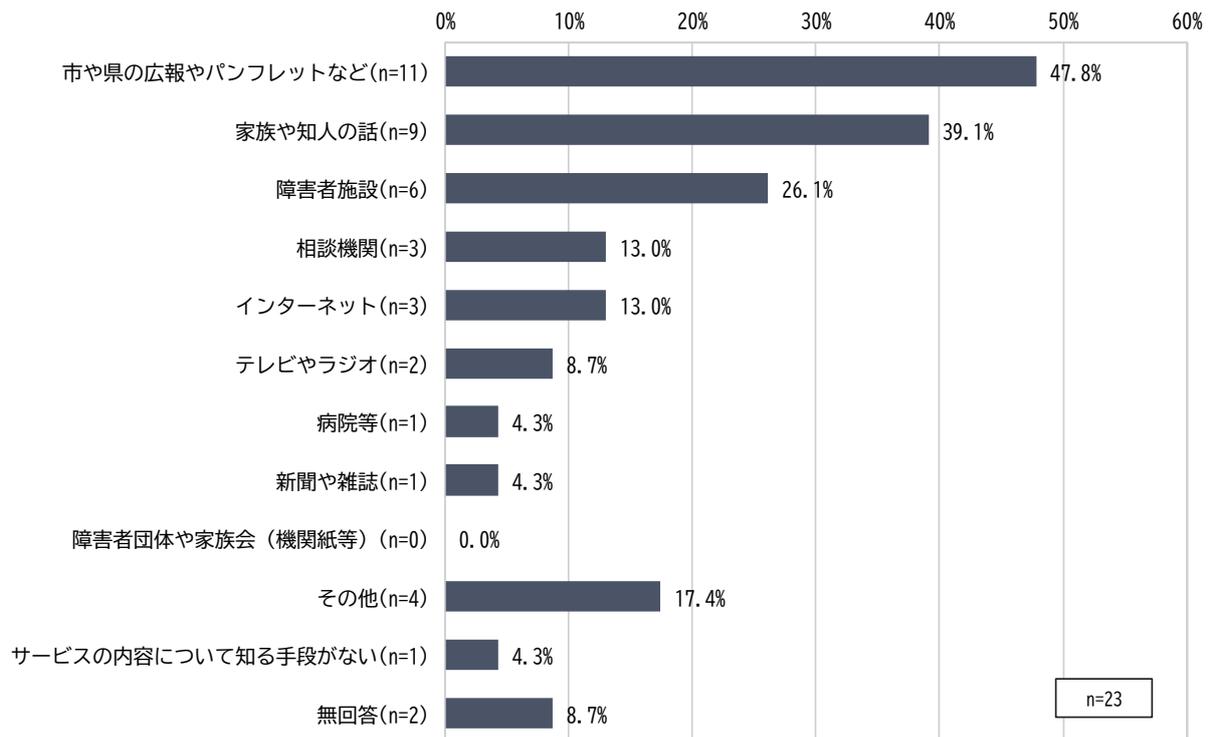
相談できない理由については、「どこ（誰）に相談していいかわからない」、「相談しても満足いく回答がもらえない」がそれぞれ2件と最も多くなっています。

n=2	どこ（誰）に相談していいかわからない	相談しても満足いく回答がもらえない	身近なところに相談できるところがない	プライバシーが守られるか不安がある	相談することためらいがある	相談支援事業所が少ない	その他	無回答
	2	2	1	1	1	0	0	0

【ここからは、全員にお聞きします】

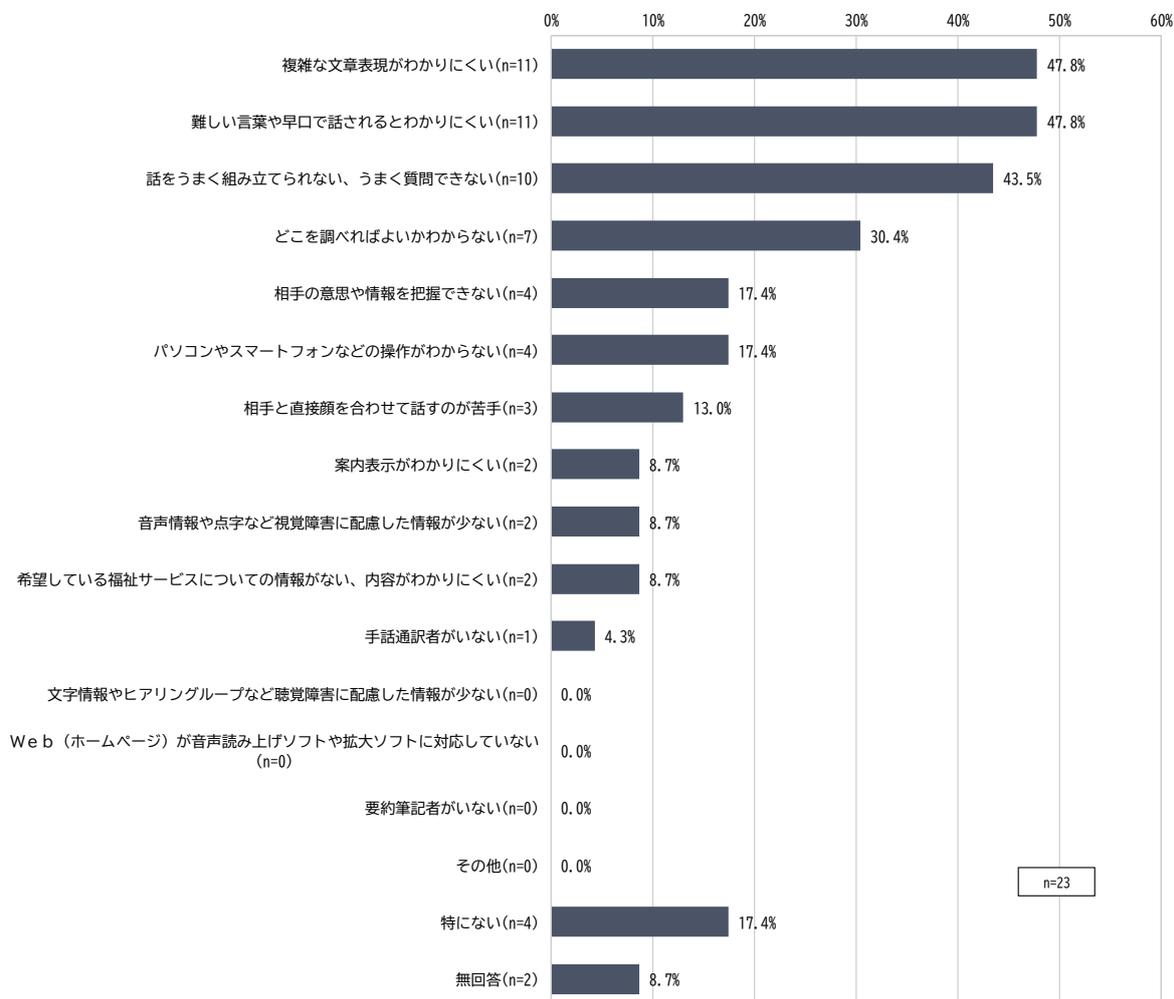
問22 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人のための福祉サービス内容を知る手段については、「市や県の広報やパンフレットなど」が47.8%と最も多く、次いで「家族や知人の話」が39.1%となっています。



問23 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「複雑な文章表現がわかりにくい」、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」がそれぞれ 47.8%と最も多くなっています。



《福祉サービスについて》

問24 次の障害（児）福祉サービス等を利用していますか。（「障害（児）福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～29の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。

サービス等を利用していない場合は、問25へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「放課後等デイサービス」が6人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が33.3%となっています。次いで「行動援護」、「生活介護」、「短期入所（ショートステイ）」、「障害児相談支援」がそれぞれ2人となっており、「行動援護」以外では、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が50.0%となっています。

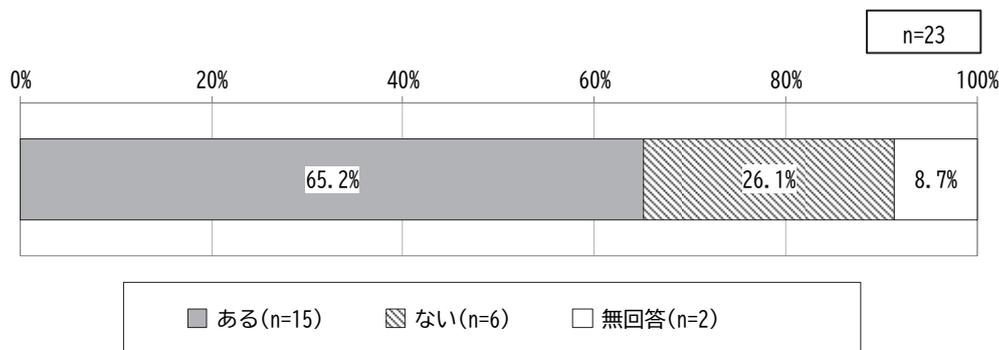
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
放課後等デイサービス	6	33.3%	0.0%	66.7%
行動援護	2	0.0%	100.0%	0.0%
生活介護	2	50.0%	0.0%	50.0%
短期入所（ショートステイ）	2	50.0%	50.0%	0.0%
障害児相談支援	2	50.0%	50.0%	0.0%
施設入所支援	1	0.0%	0.0%	100.0%
就労継続支援B型	1	0.0%	100.0%	0.0%
計画相談支援	1	0.0%	100.0%	0.0%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	0	-	-	-
重度訪問介護	0	-	-	-
同行援護	0	-	-	-
重度障害者等包括支援	0	-	-	-
療養介護	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
共同生活援助（グループホーム）	0	-	-	-
自立訓練（機能訓練）	0	-	-	-
自立訓練（生活訓練）	0	-	-	-
就労移行支援	0	-	-	-
就労継続支援A型	0	-	-	-
就労定着支援	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-
児童発達支援	0	-	-	-
医療型児童発達支援	0	-	-	-
保育所等訪問支援	0	-	-	-
居宅訪問型児童発達支援	0	-	-	-
障害児入所支援(福祉型)	0	-	-	-
障害児入所支援(医療型)	0	-	-	-

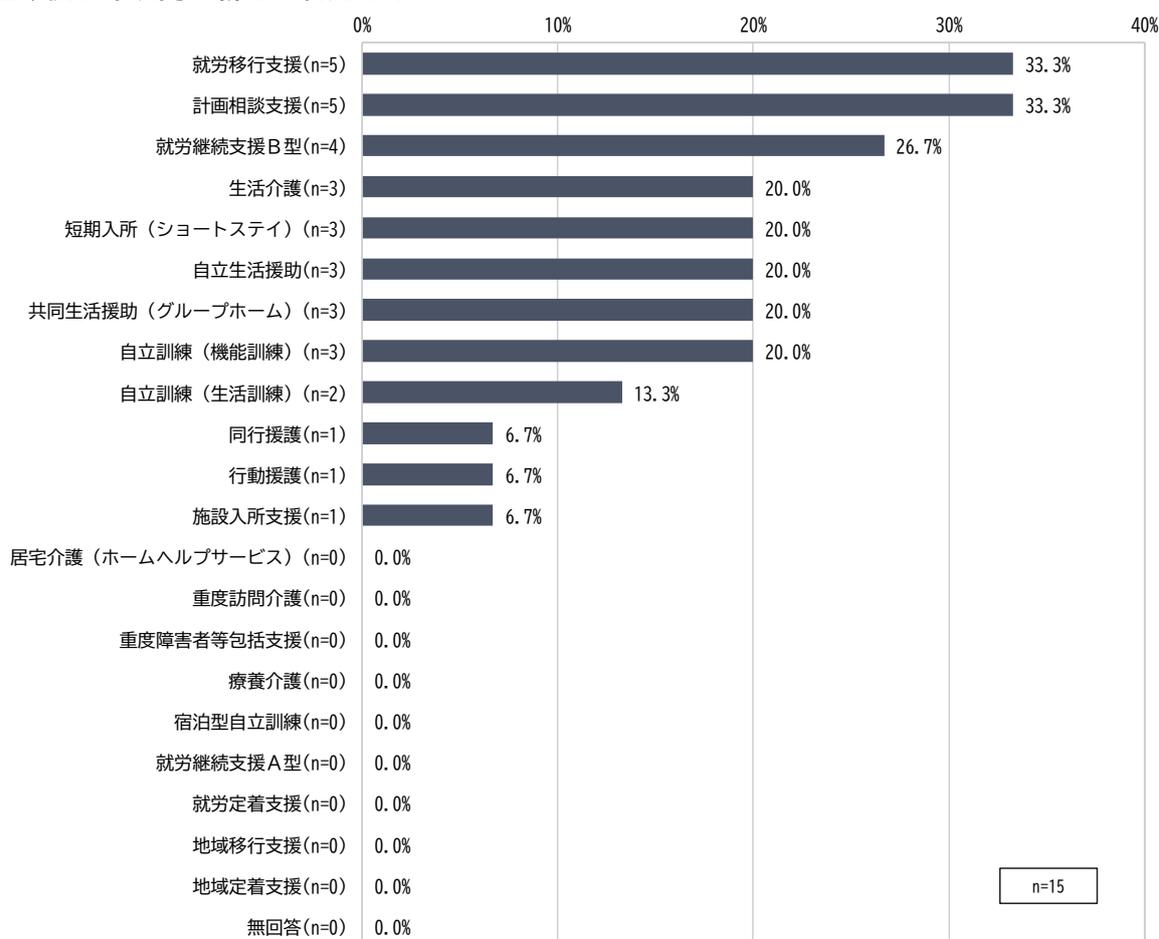
問25 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が65.2%、「ない」が26.1%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「就労移行支援」、「計画相談支援」がそれぞれ33.3%と最も多くなっています。

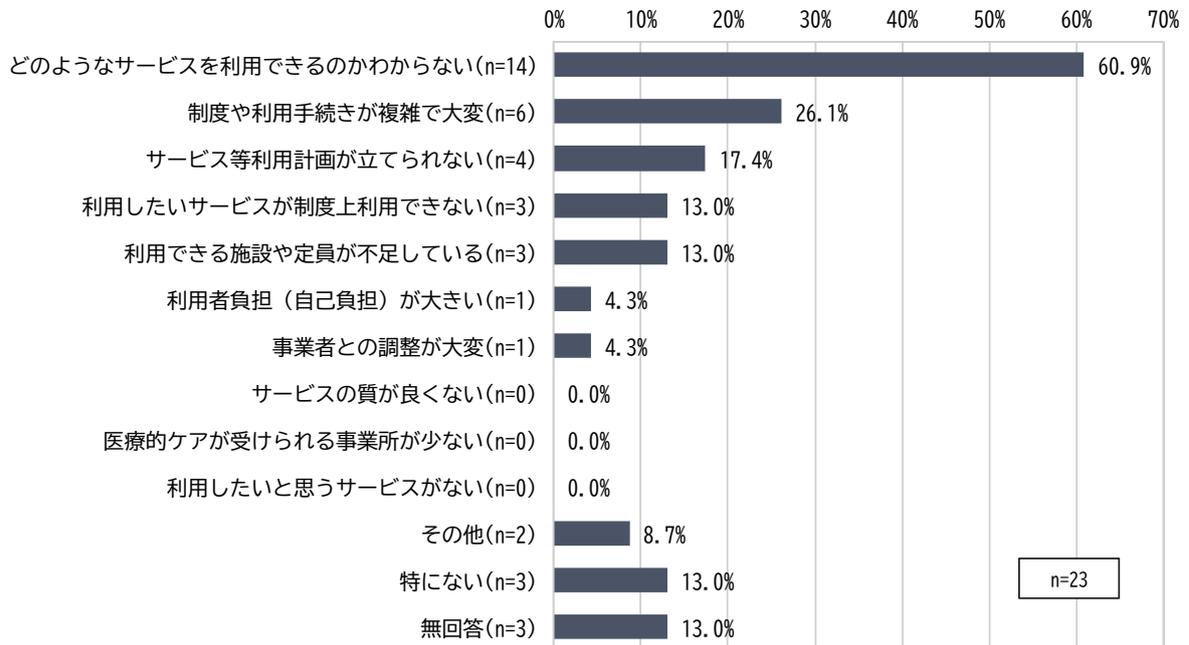


■今後3年以内に新たに利用したいサービス



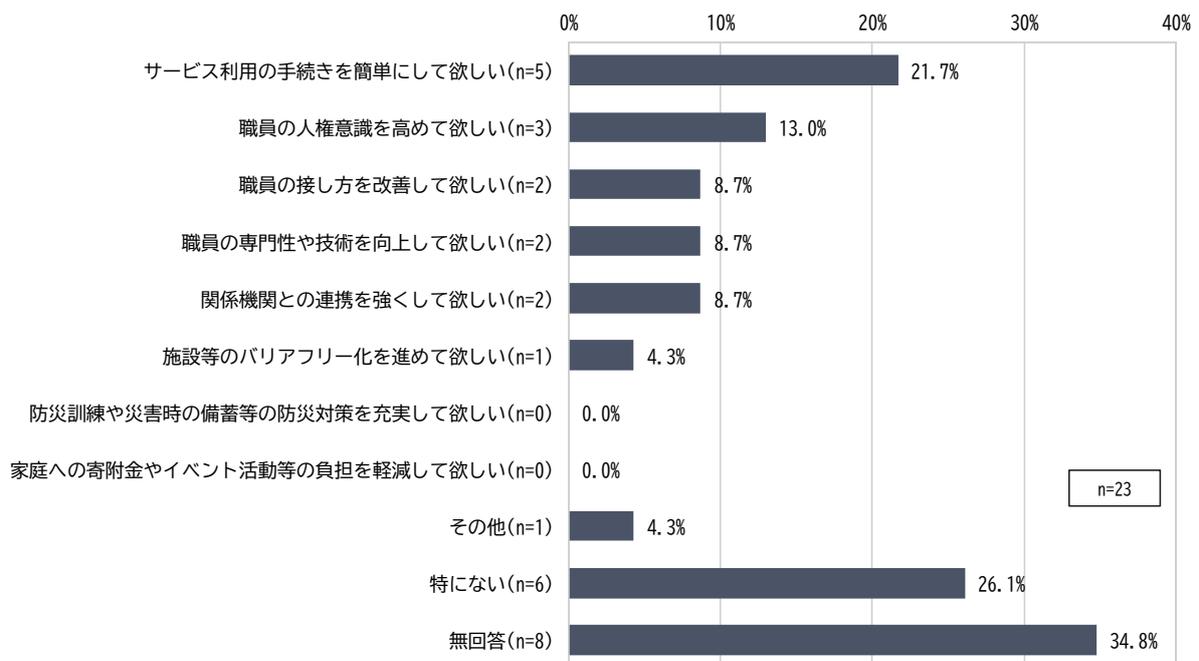
問26 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が60.9%と最も多く、次いで「制度や利用手続きが複雑で大変」が26.1%となっています。



問27 障害(児)福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

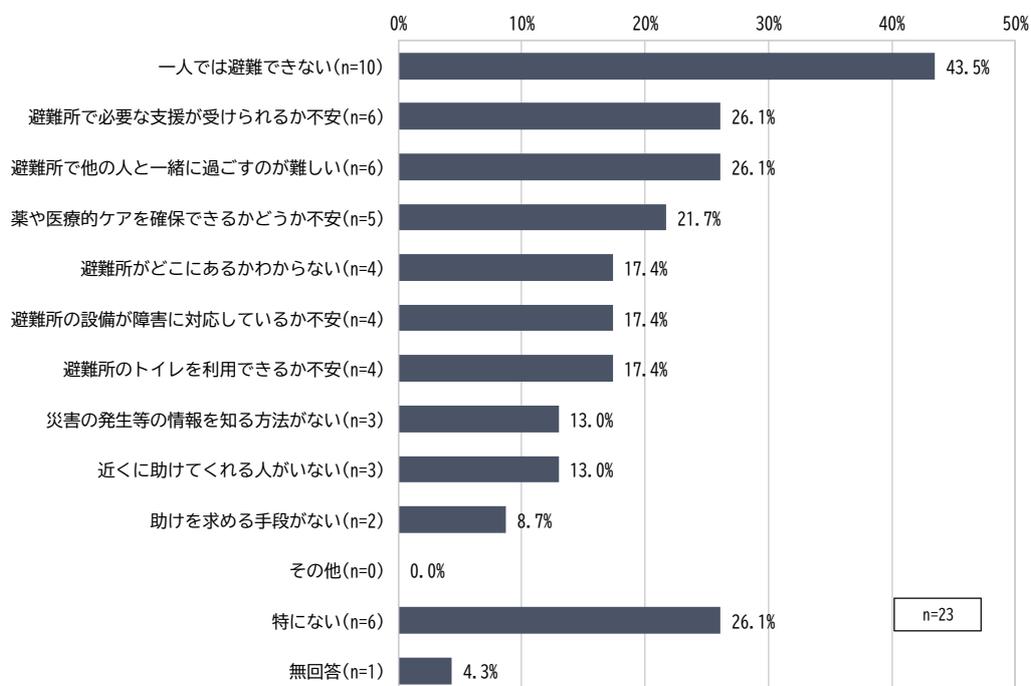
障害(児)福祉サービス事業所について望むことについては、「特にない」が26.1%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きを簡単にしたい」が21.7%、「職員の人権意識を高めて欲しい」が13.0%となっています。



《災害時の支援等について》

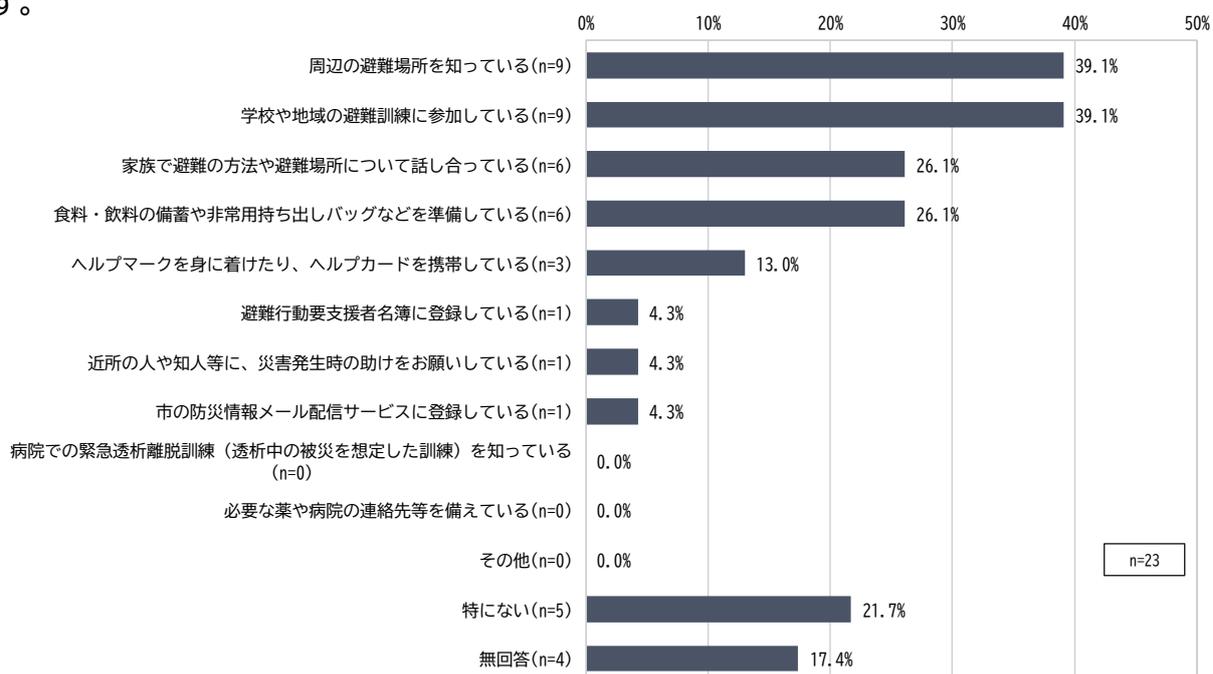
問28 あなたが、台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害が発生したときに困ることや不安なことについては、「一人では避難できない」が43.5%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」、「特にない」がそれぞれ26.1%となっています。



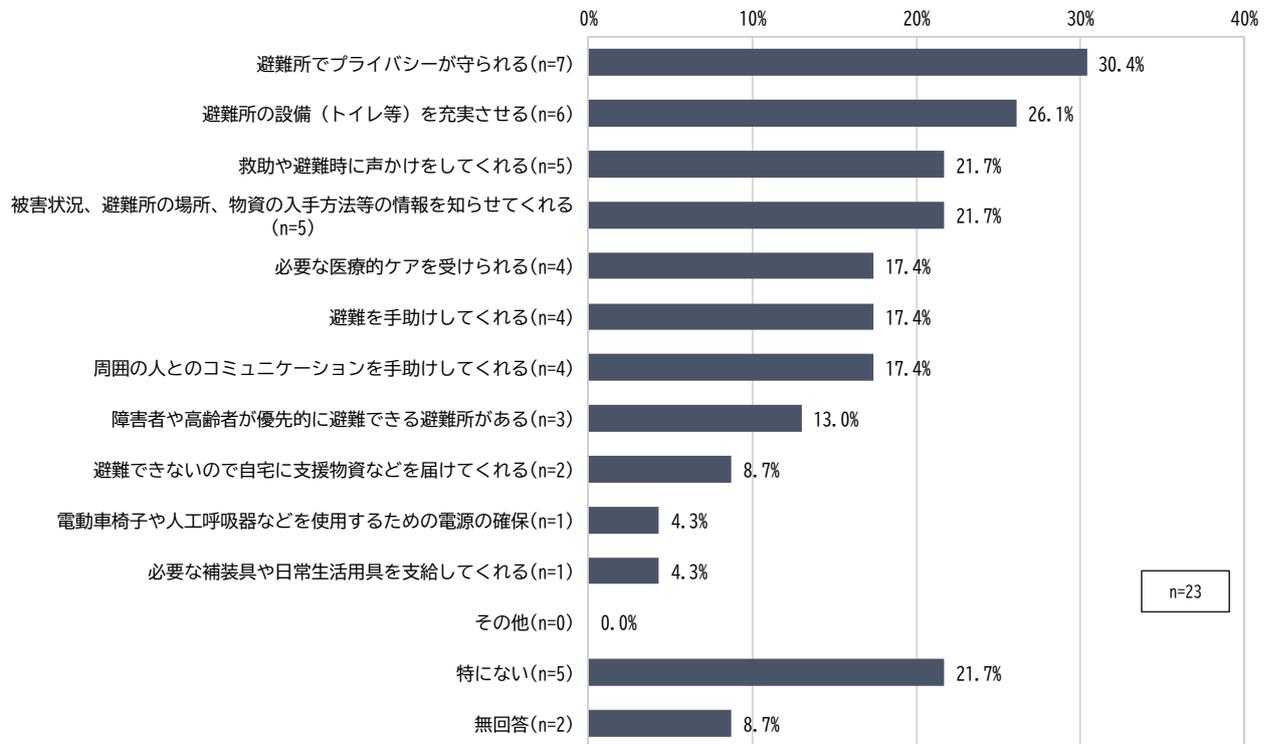
問29 台風や地震等の災害に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害に備え、準備しているものについては、「周辺の避難場所を知っている」、「学校や地域の避難訓練に参加している」がそれぞれ39.1%と最も多くなっています。



問30 災害時にどのような支援があるとよいと思いますか。(○は3つまで)

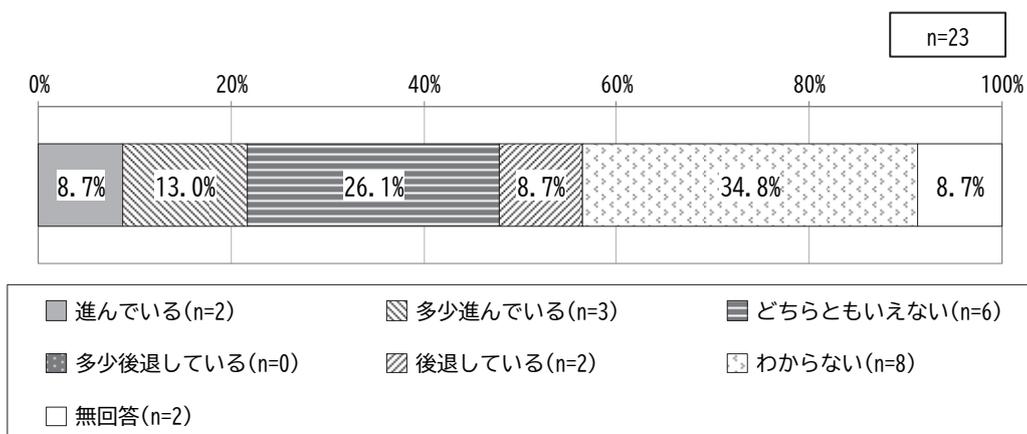
災害時にどのような支援があるとよいかについては、「避難所でプライバシーが守られる」が30.4%と最も多く、次いで「避難所の設備(トイレ等)を充実させる」が26.1%となっています。



《障害者への理解や権利擁護について》

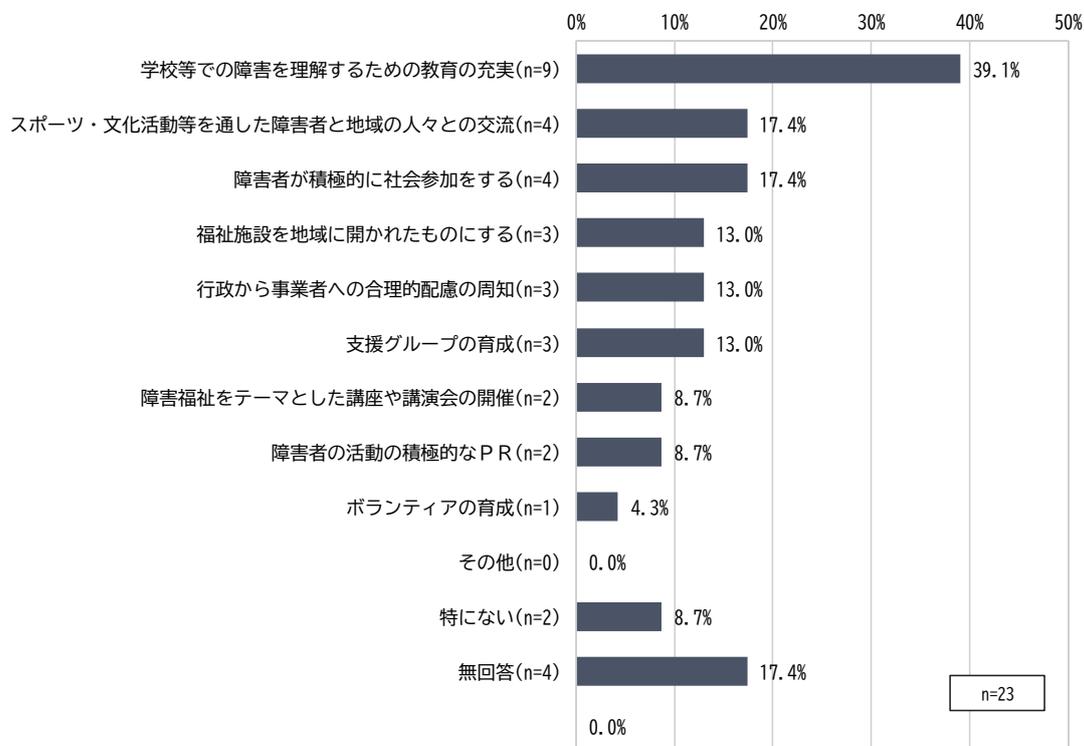
問31 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(○は1つ)

障害に対する市民の理解については、「わからない」が34.8%と最も多く、「どちらともいえない」が26.1%となっています。



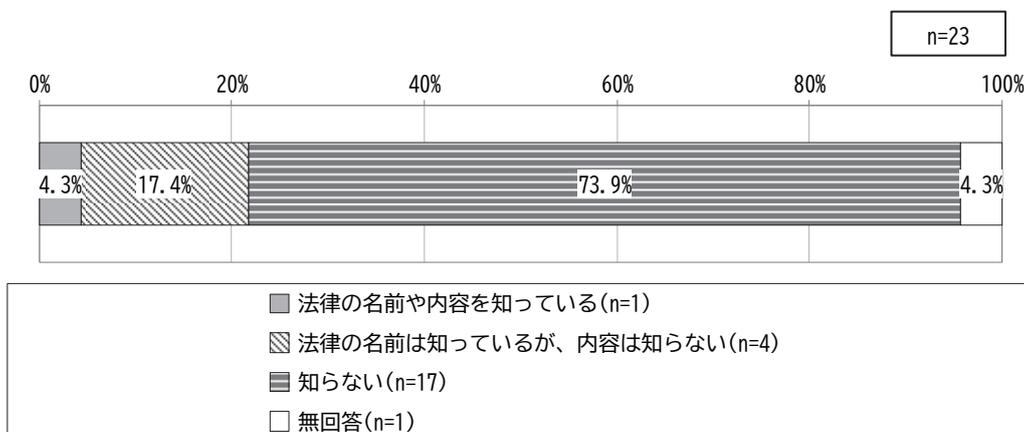
問32 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が 39.1%と最も多く、次いで「スポーツ・文化活動等を通じた障害者と地域の人々との交流」、「障害者が積極的に社会参加をする」がそれぞれ 17.4%となっています。



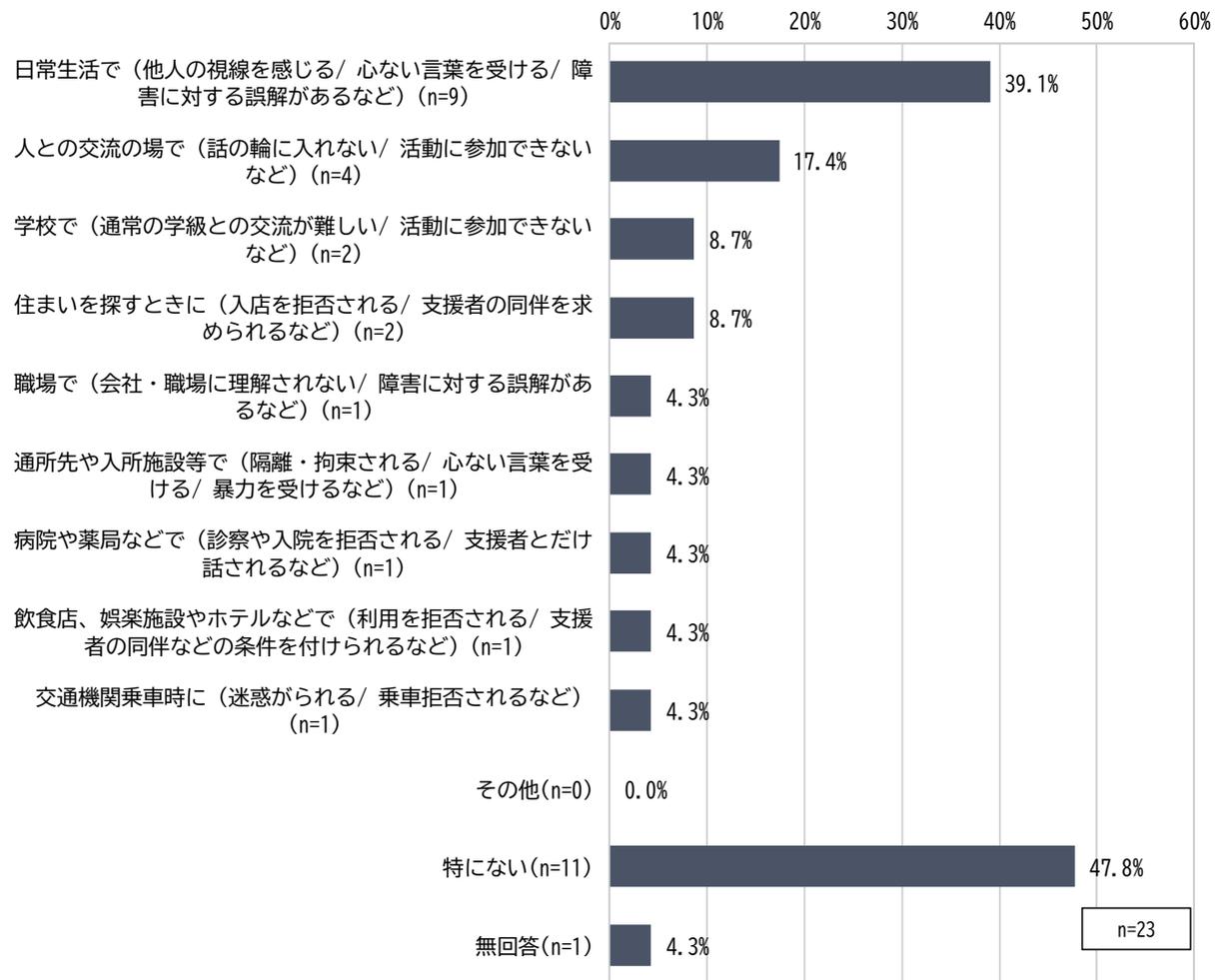
問33 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。(〇は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が 73.9%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が 17.4%となっています。



問34 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「特にない」が47.8%と最も多く、次いで「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」が39.1%、「人との交流の場で（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）」が17.4%となっています。

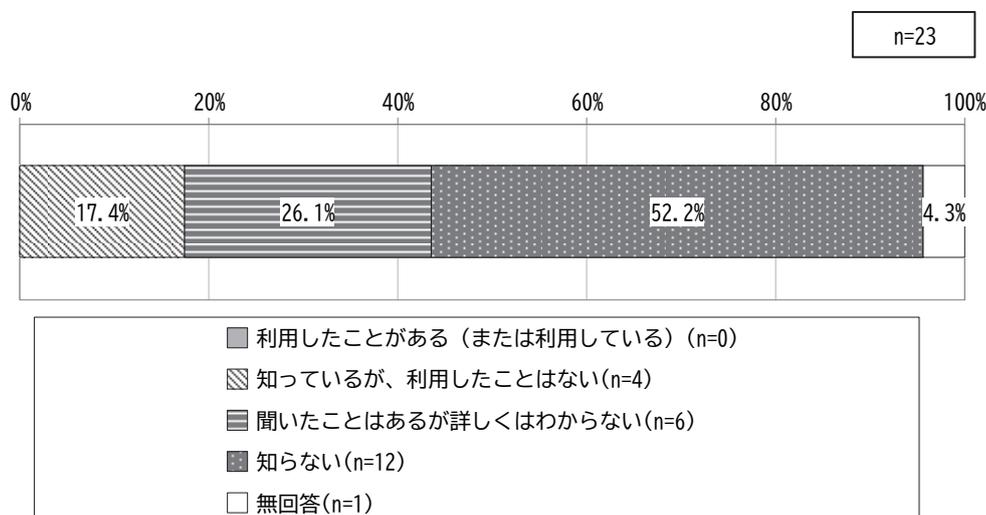


問35 経験したり、見聞きしたことのある、障害のある方への配慮として良いと思ったことや配慮があつて助かったこと、また、どのような合理的配慮があると良いかについて具体的に教えてください。

〔自由記述編を参照〕

問36 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

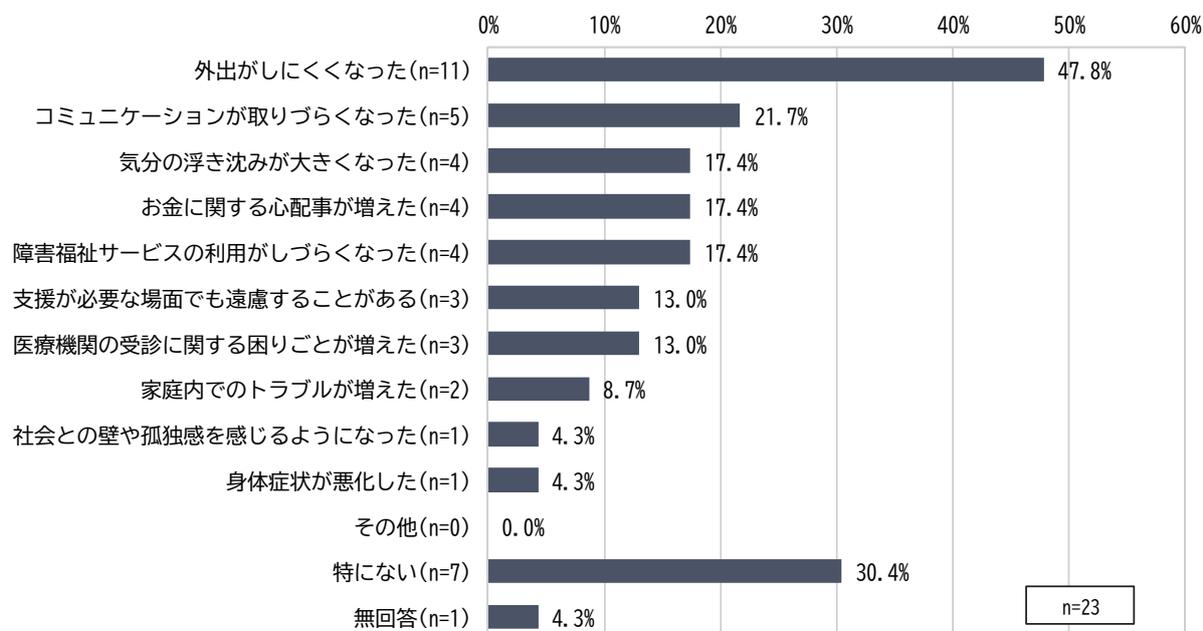
「成年後見制度」については、「知らない」が52.2%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が26.1%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

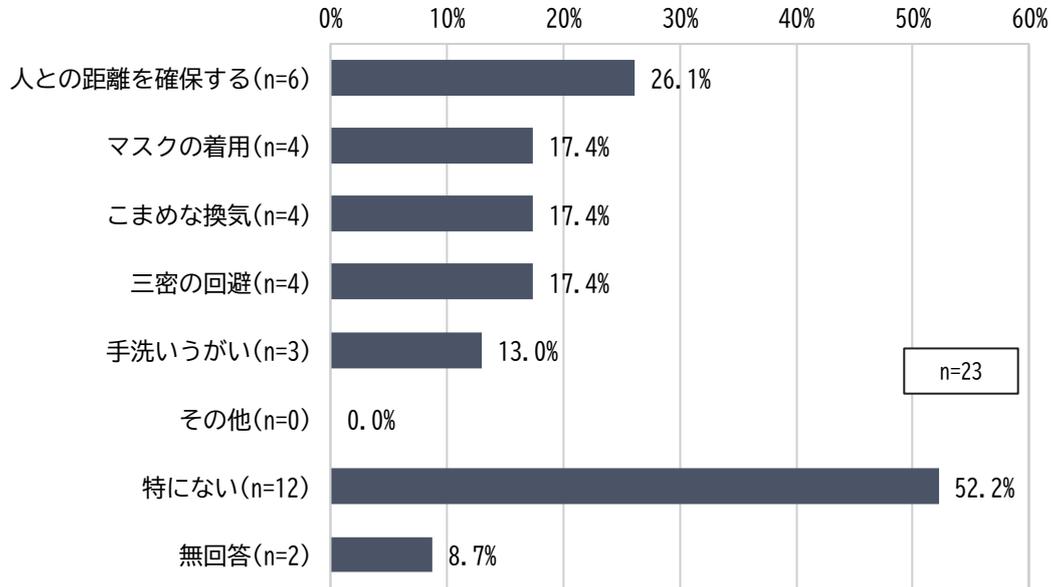
問37 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が47.8%と最も多く、次いで「特にない」が30.4%、「コミュニケーションが取りづらくなった」が21.7%となっています。



問38 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

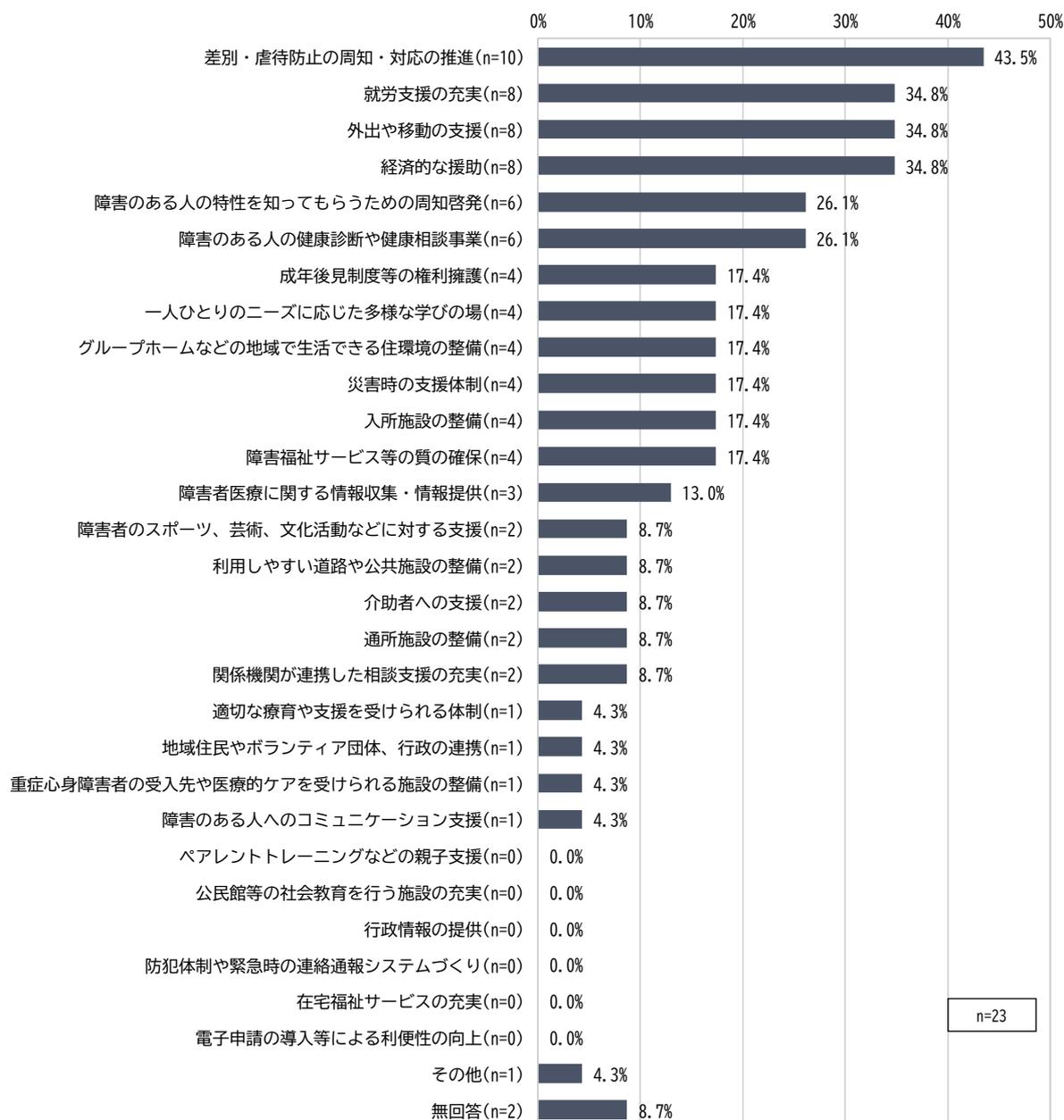
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「特にない」が52.2%と最も多く、次いで「人との距離を確保する」が26.1%、「マスクの着用」、「こまめな換気」、「三密の回避」がそれぞれ17.4%となっています。



《市の取り組み等について》

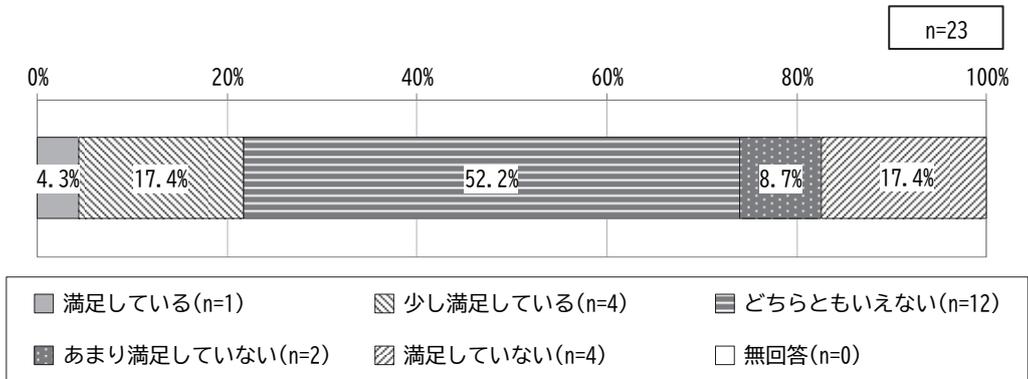
問39 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「差別・虐待防止の周知・対応の推進」が43.5%と最も多く、次いで「就労支援の充実」、「外出や移動の支援」、「経済的な援助」がそれぞれ34.8%となっています。



問40 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が4.3%、「少し満足している」が17.4%となっています。また、「あまり満足していない」は8.7%、「満足していない」は17.4%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

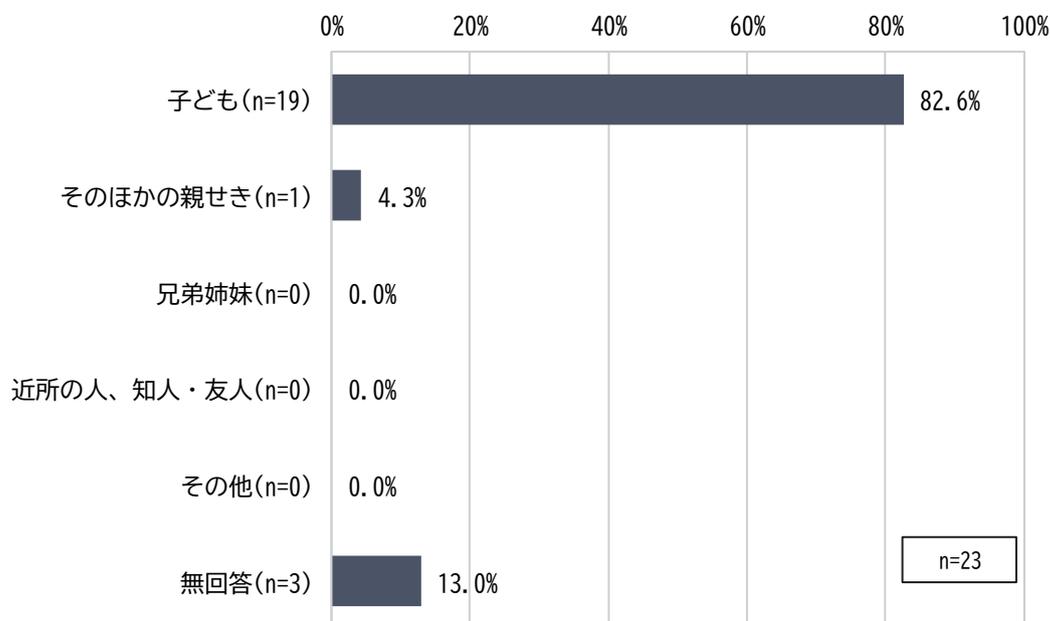
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

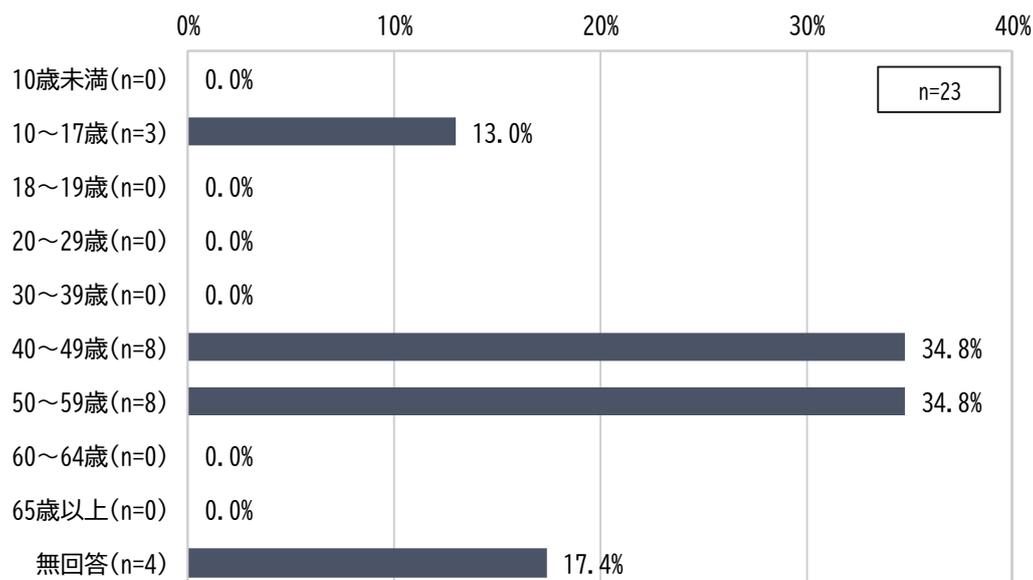
問1 あなた（介助者）から見たご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見たご本人との関係については、「子ども」が 82.6%と最も多く、次いで「そのほかの親せき」が 4.3%となっています。



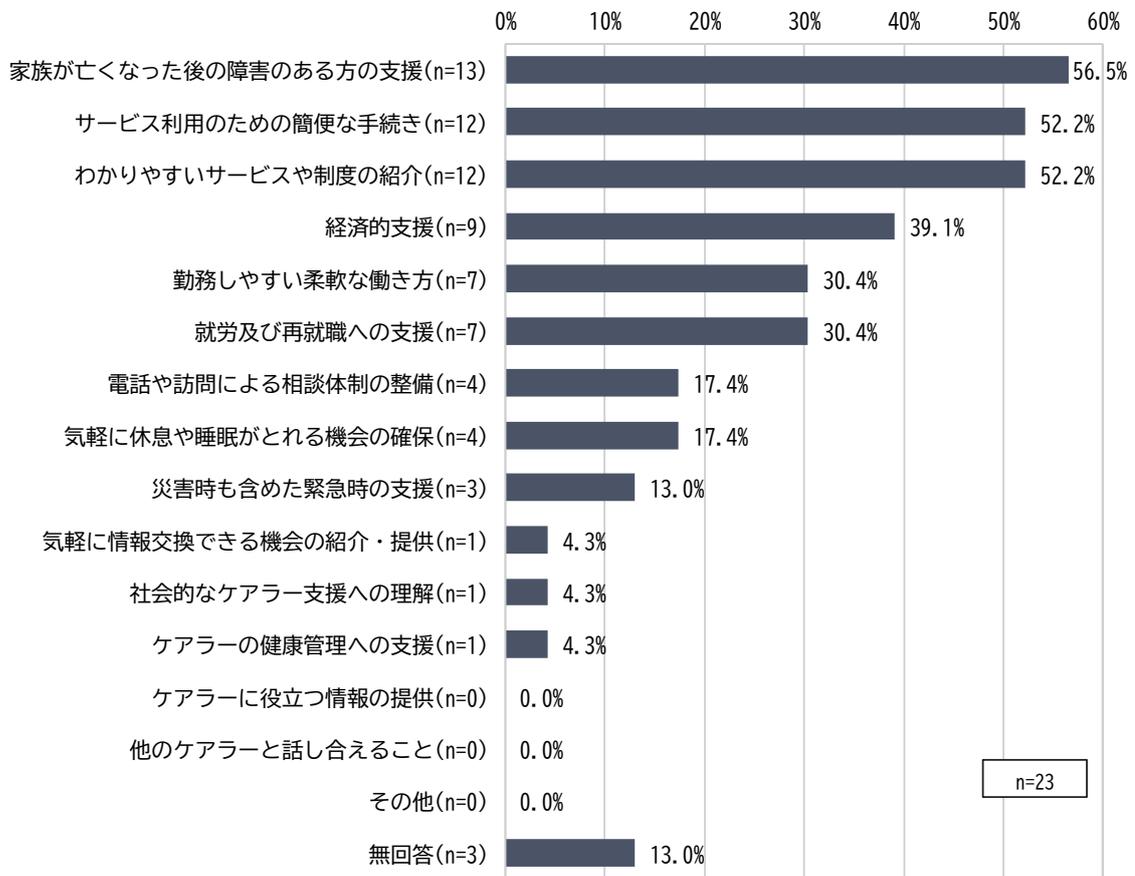
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「40～49歳」、「50～59歳」がそれぞれ 34.8%と最も多くなっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が56.5%と最も多く、次いで「サービス利用のための簡便な手続き」、「わかりやすいサービスや制度の紹介」がそれぞれ52.2%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

[自由記述編を参照]

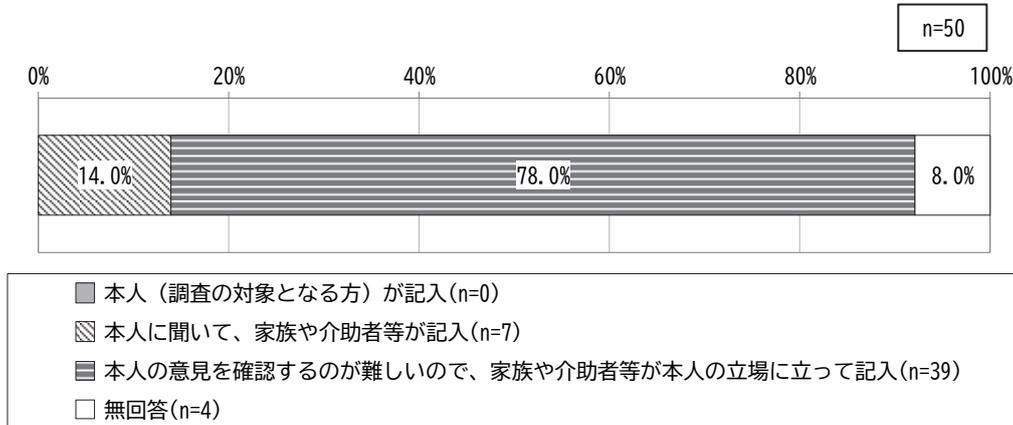
調査結果 7. 特別支援学校高等部 3 年生

調査結果 8. 障害者支援施設利用者

《記入者・ご本人について》

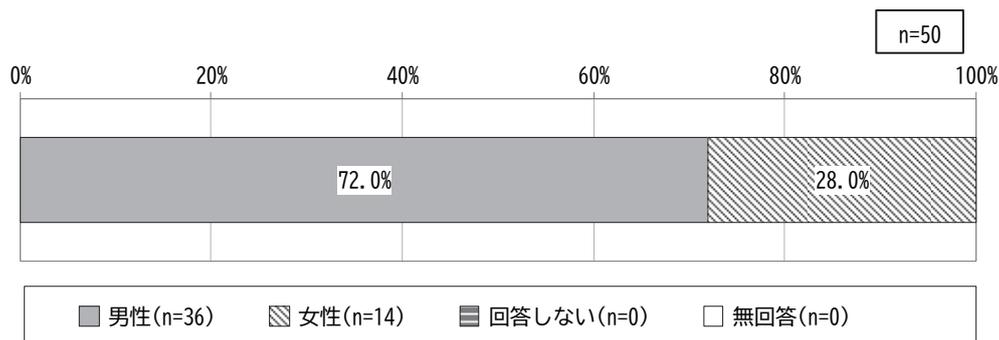
この調査票に記入する方はどなたですか。(○は1つ)

調査票に記入された方については、「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が78.0%と最も多く、次いで「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が14.0%となっています。



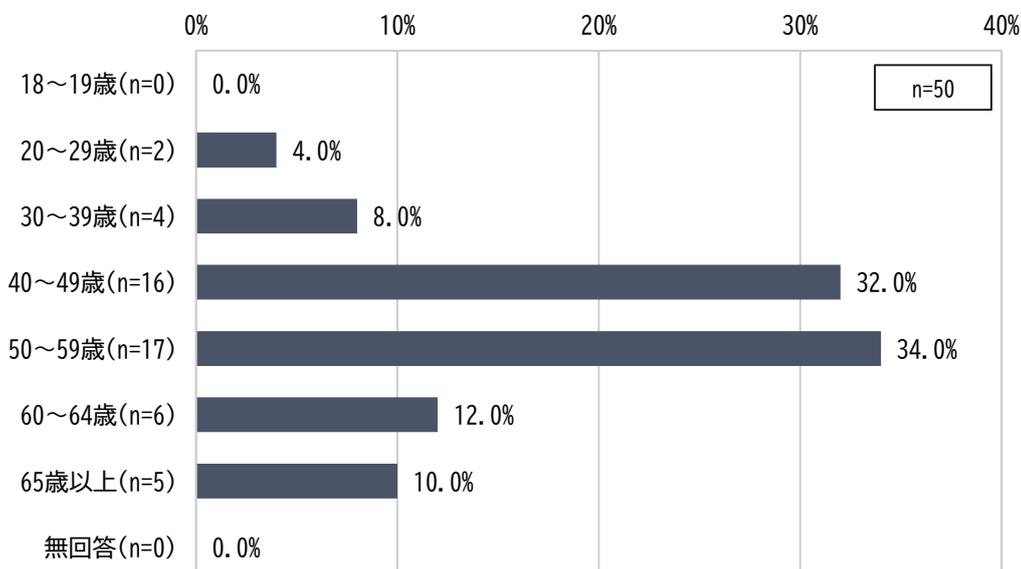
あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が72.0%、「女性」が28.0%となっています。



あなたの年齢 (令和4年9月1日現在) を記入してください。(○は1つ)

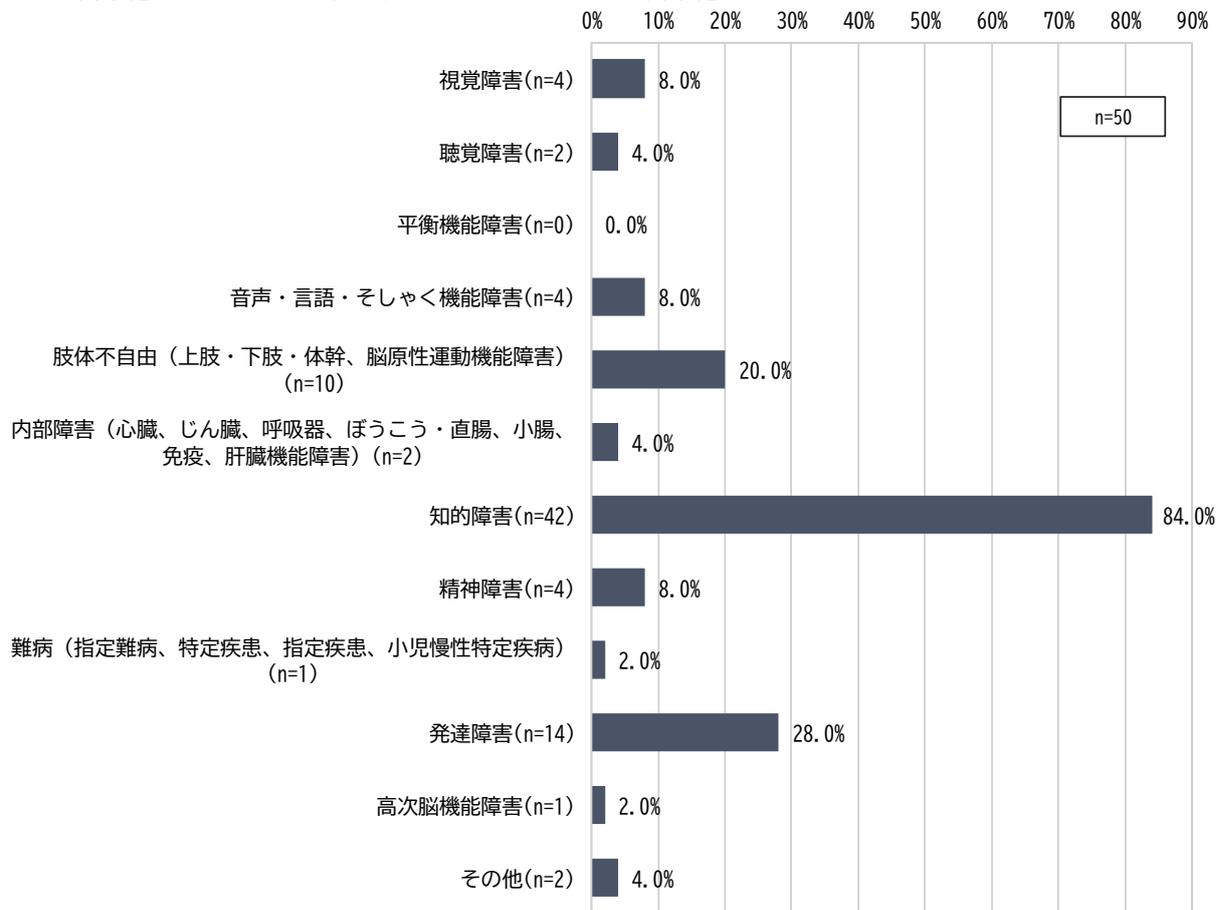
年齢については、「50～59歳」が34.0%と最も多く、次いで「40～49歳」が32.0%となっています。



《障害の状況について》

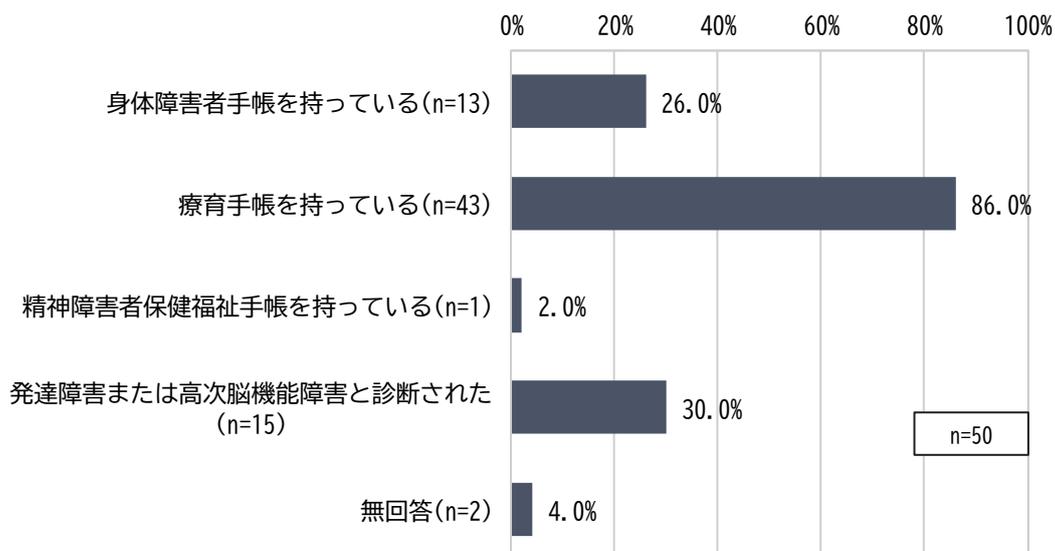
問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

「知的障害」が84.0%と最も多く、次いで「発達障害」が28.0%となっています。



問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

「療育手帳を持っている」が86.0%と最も多く、次いで「発達障害または高次脳機能障害と診断された」が30.0%となっています。



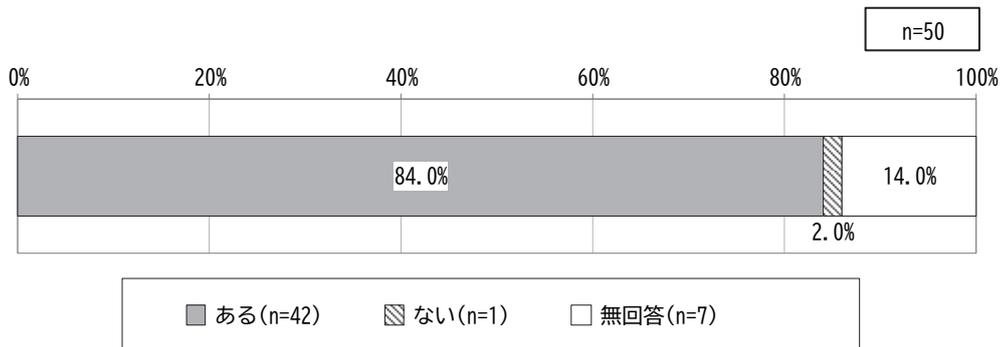
■手帳の等級・診断年齢

身体障害者手帳等級 (n=13)	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		
	9	2	0	1	0	1	0		
療育手帳等級 (n=43)	①		A	B	C	無回答			
	30		9	4	0	0			
精神障害者保健福祉手帳等級 (n=1)	1級		2級		3級		無回答		
	1		0		0		0		
発達障害または高次脳機能障害と診断された年齢 (n=15)	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
	12	3	0	0	0	0	0	0	0

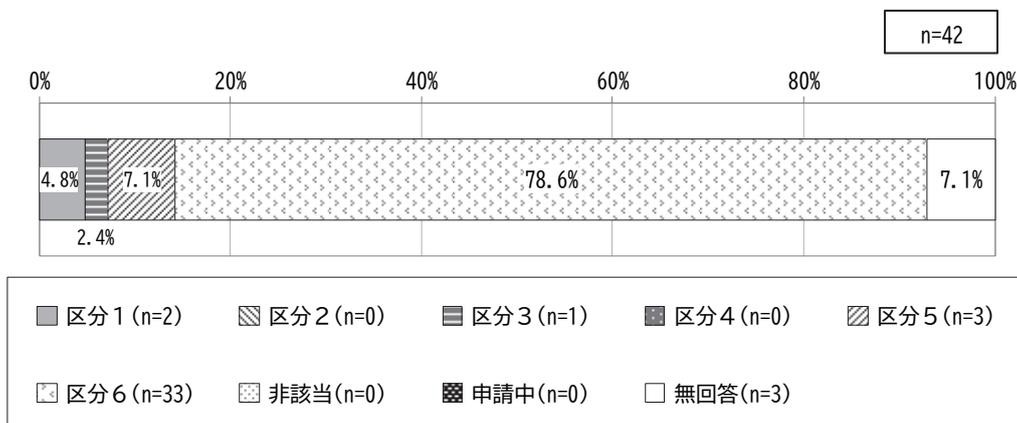
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が84.0%となっています。また、障害支援区分では「区分6」が78.6%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



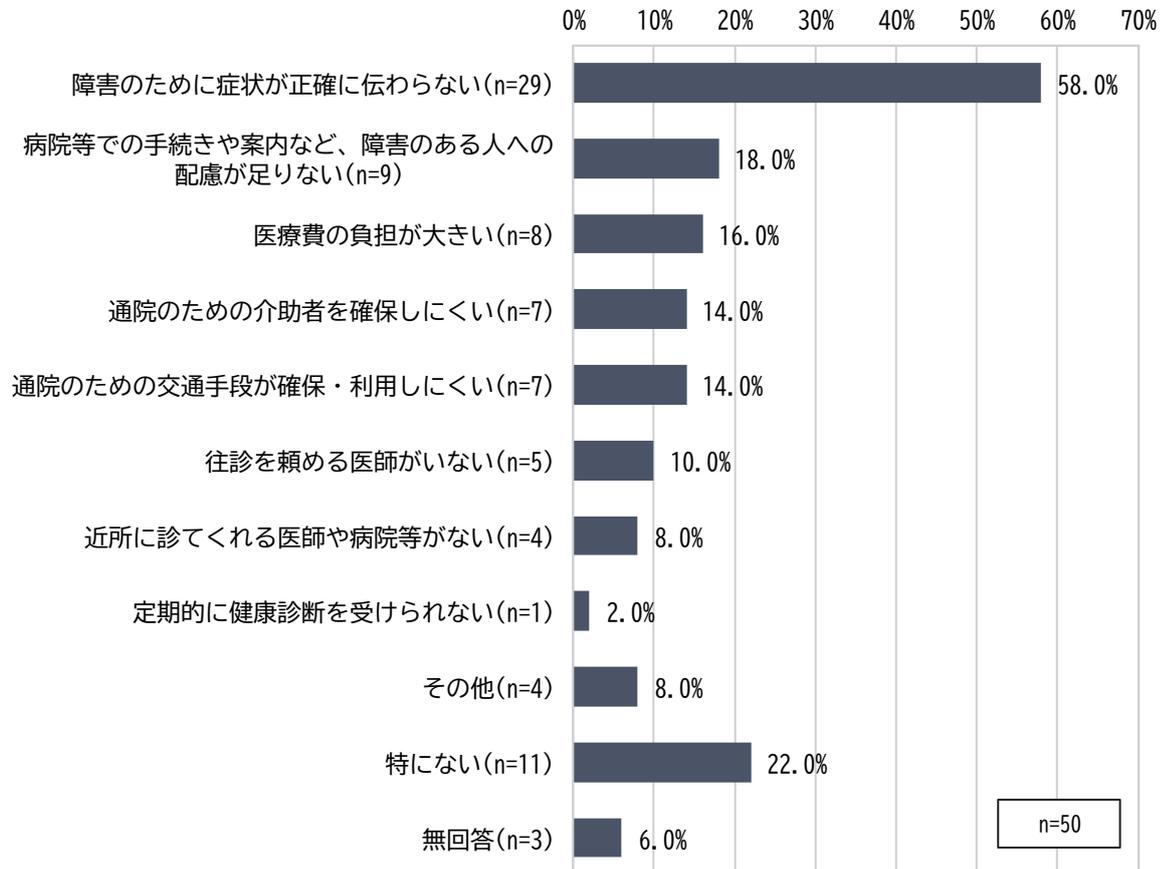
■障害支援区分（6段階）



《健康状態や医療について》

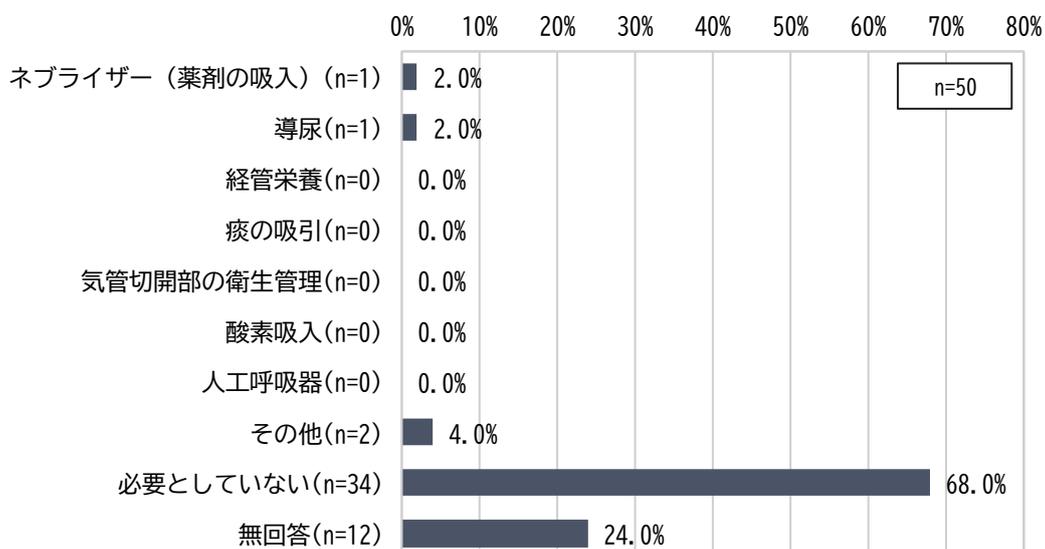
問4 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療については、困ったり不便に思うことについては、「障害のために症状が正確に伝わらない」が58.0%と最も多く、次いで「特にない」が22.0%、「病院等での手続きや案内など、障害のある人への配慮が足りない」が18.0%となっています。



問5 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを必要としている方は、「その他」が4.0%と最も多く、次いで「ネブライザー(薬剤の吸入)」、「導尿」がそれぞれ2.0%となっています。



[問5で1～8に○をつけた方にお聞きします]

問6 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを行っている方については、「家族」が3件と最も多く、次いで「看護師」、「福祉サービス事業所の職員」、「その他」がそれぞれ1件となっています。

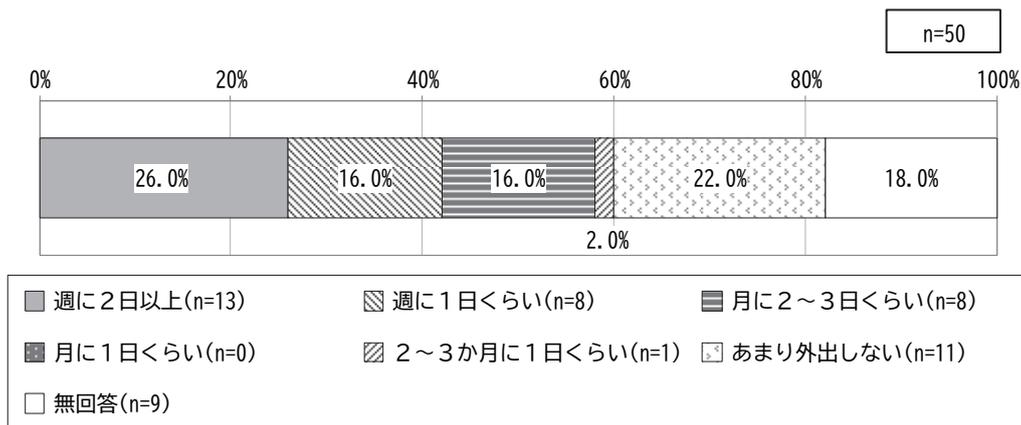
n=4	家族	看護師	福祉サービス事業所の職員	医師	介護福祉士(ヘルパー)	本人	その他	無回答
	3	1	1	0	0	0	1	0

《外出や余暇の過ごし方について》

[ここからは、全員にお聞きします]

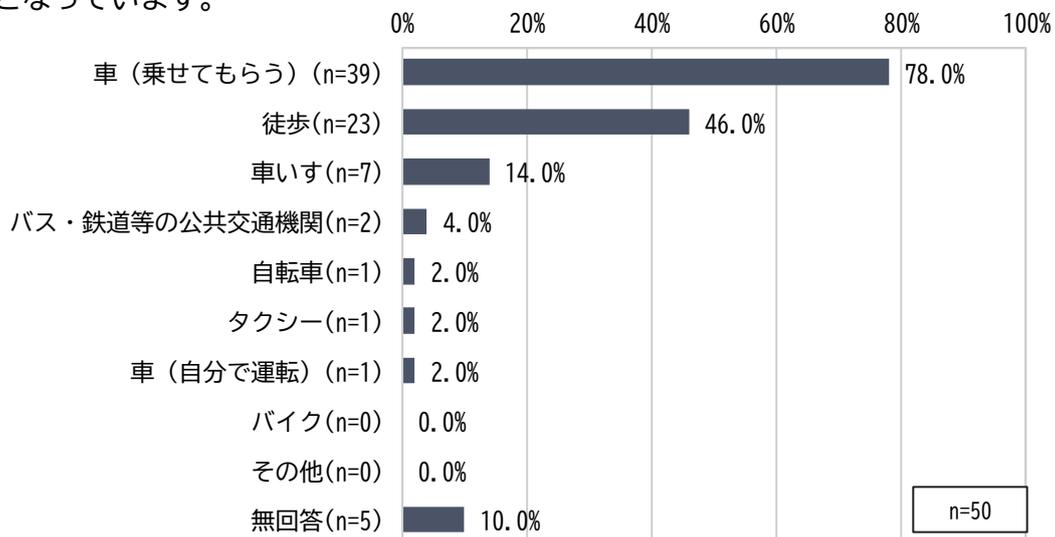
問7 どのくらい外出していますか(施設の敷地内での散歩などは含まないでください)。(○は1つ)

外出頻度については、「週に2日以上」が26.0%と最も多く、次いで「あまり外出しない」が22.0%となっています。



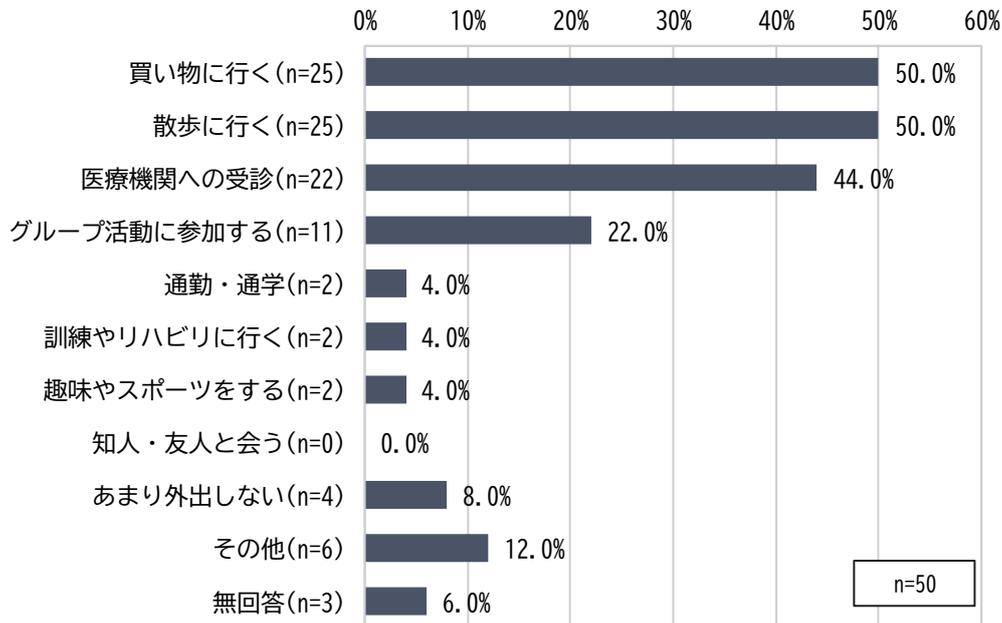
問8 外出の主な手段は何ですか。(○は2つまで)

外出の主な手段については、「車(乗せてもらう)」が78.0%と最も多く、次いで「徒歩」が46.0%となっています。



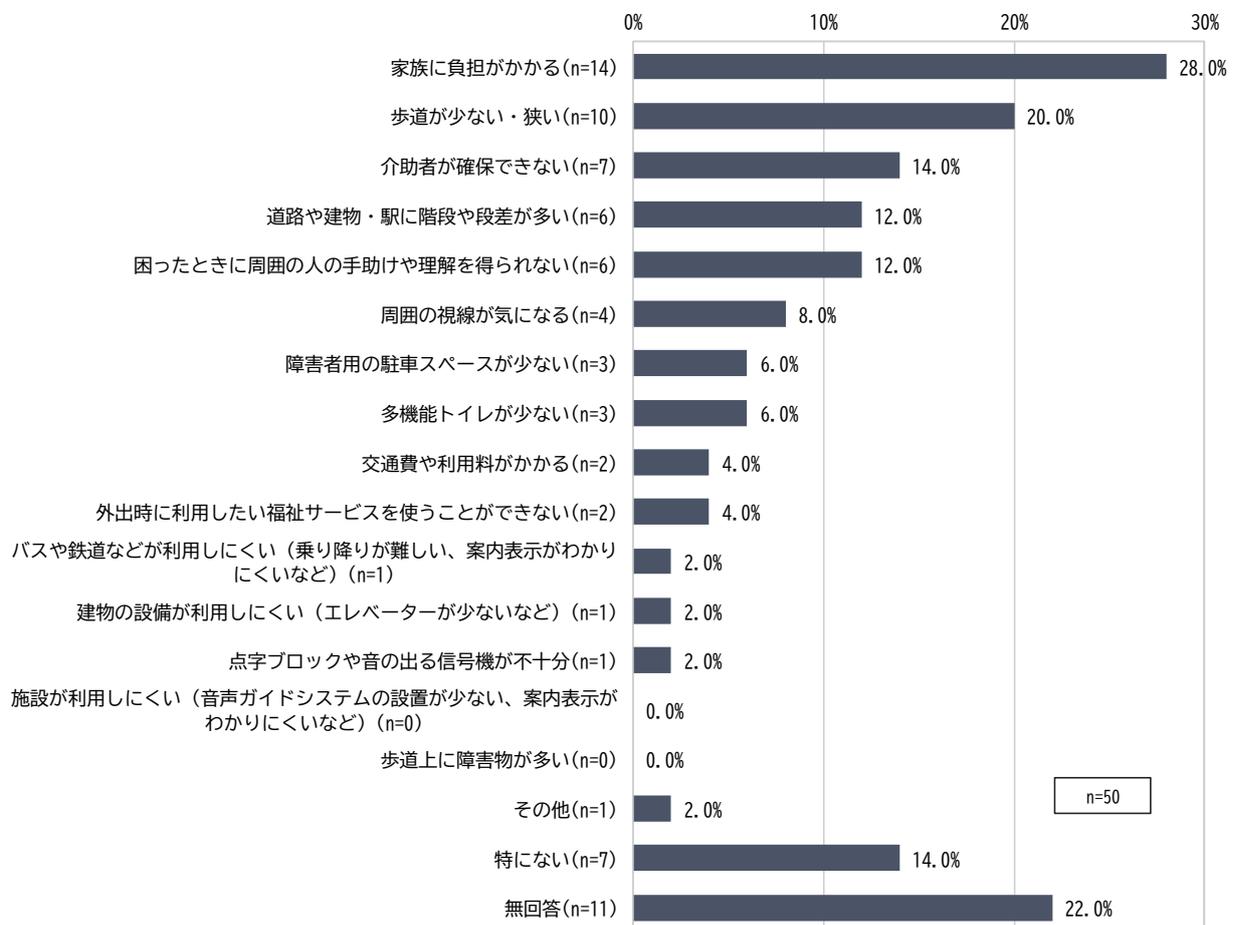
問9 どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

外出の目的については、「買い物に行く」、「散歩に行く」がそれぞれ 50.0%と最も多くなっています。



問10 外出の際に特に困っていることはありますか。(○は3つまで)

外出の際に特に困っていることについては、「家族に負担がかかる」が 28.0%と最も多く、次いで「歩道が少ない・狭い」が 20.0%となっています。



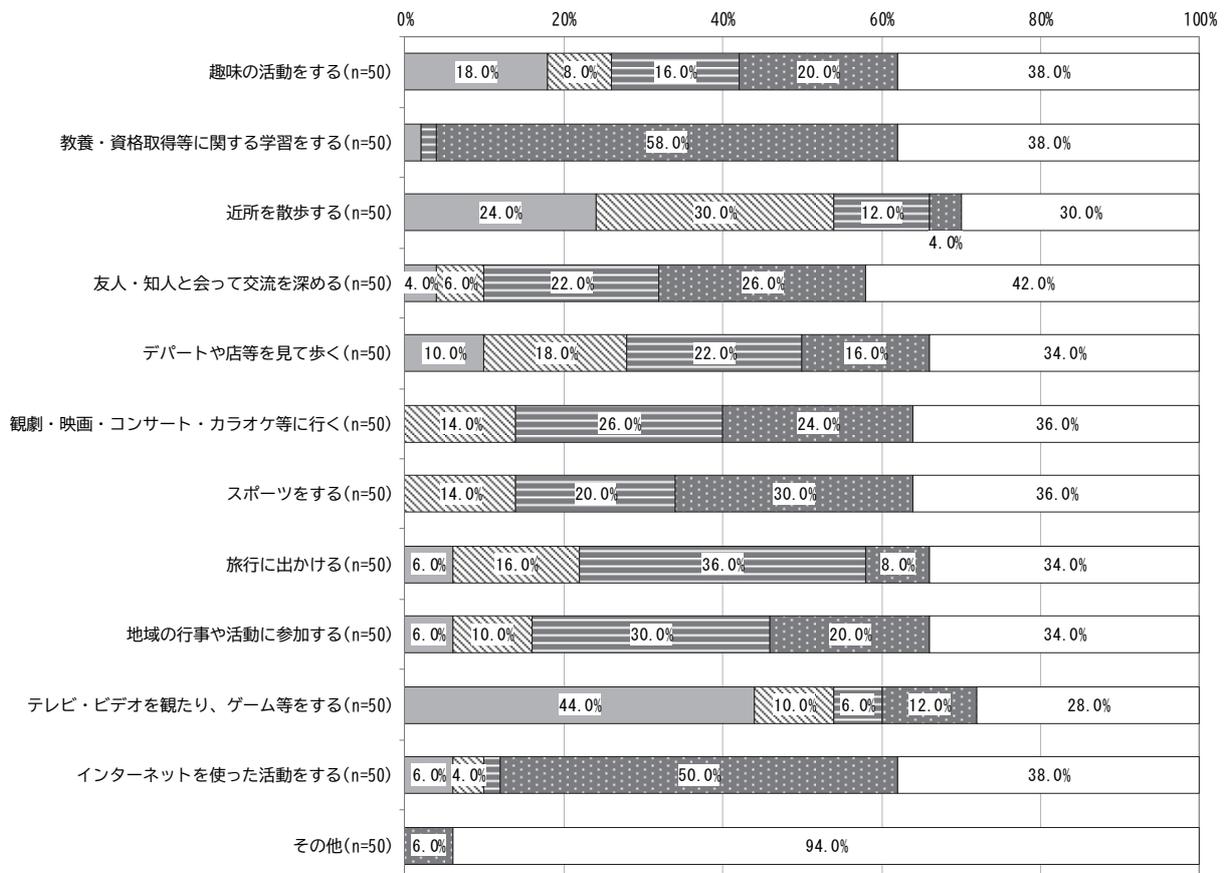
■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
とくに困っていることはない	37.7%	家族に負担がかかる	28.0%
歩道・道路の段差	22.1%	歩道が少ない・狭い	20.0%
トイレの利用	19.7%	介助者が確保できない/特にない	14.0%
歩道・道路の障害物	18.0%	道路や建物・駅に階段や段差が多い/困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない	12.0%
建物の階段・段差	16.4%	障害者用の駐車スペースが少ない/多機能トイレが少ない	6.0%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

問11 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

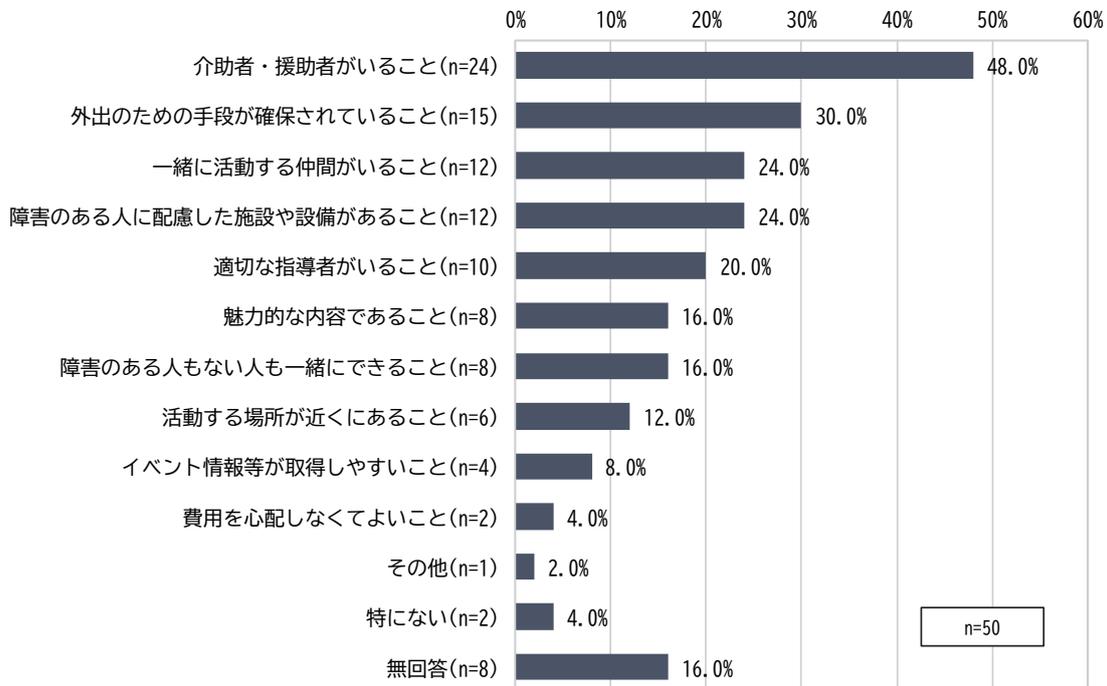
文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が44.0%と最も多く、次いで「近所を散歩する」が24.0%となっています。また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「旅行に出かける」が36.0%と最も多く、次いで「地域の行事や活動に参加する」が30.0%となっています。



■ 現在している ▨ 機会はあるが、十分ではない ▤ 機会はないが、ほしいと思う ■ 必要性を感じていない □ 無回答

問12 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

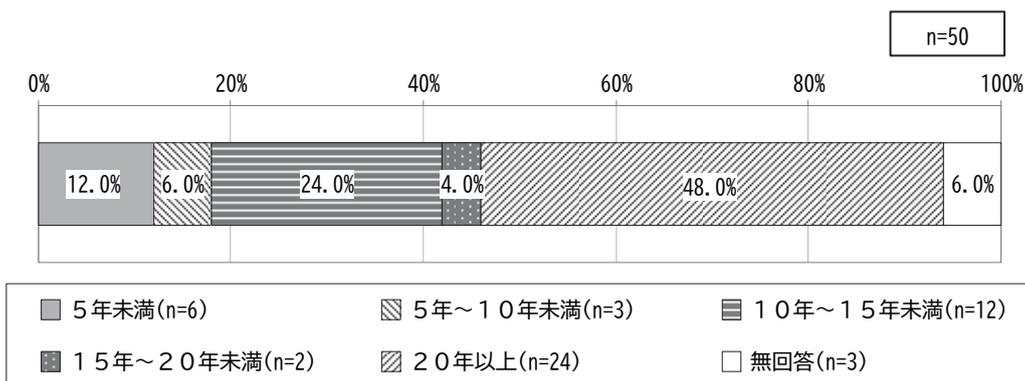
文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「介助者・援助者がいること」が48.0%と最も多く、次いで「外出のための手段が確保されていること」が30.0%となっています。



《入所期間・理由について》

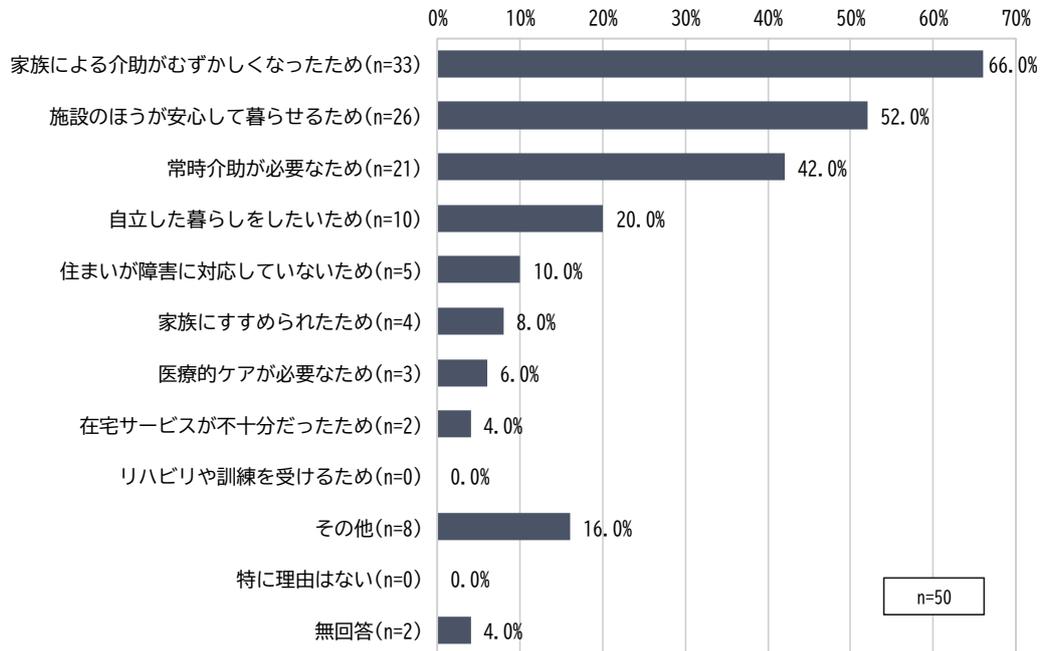
問13 現在の施設に入所してからの期間をお答えください。(〇は1つ)

現在の施設に入所してからの期間については、「20年以上」が48.0%と最も多く、次いで「10年～15年未満」が24.0%となっています。



問14 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

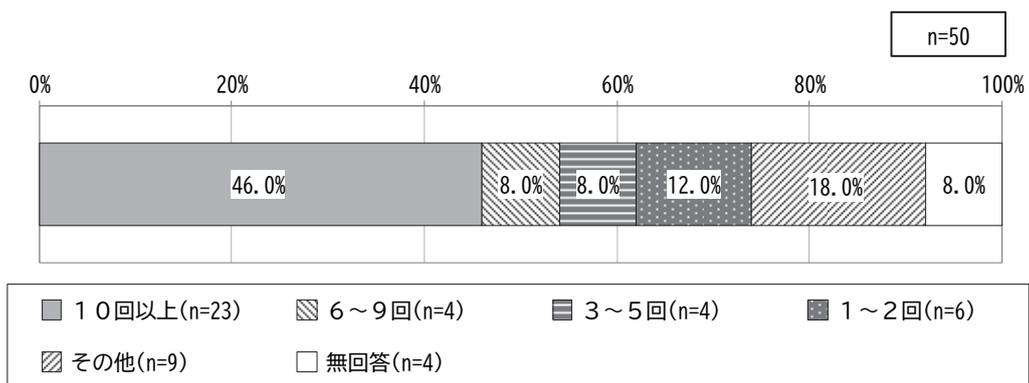
現在の施設へ入所することを決めた理由については、「家族による介助がむずかしくなったため」が66.0%と最も多く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」が52.0%となっています。



《施設での生活について》

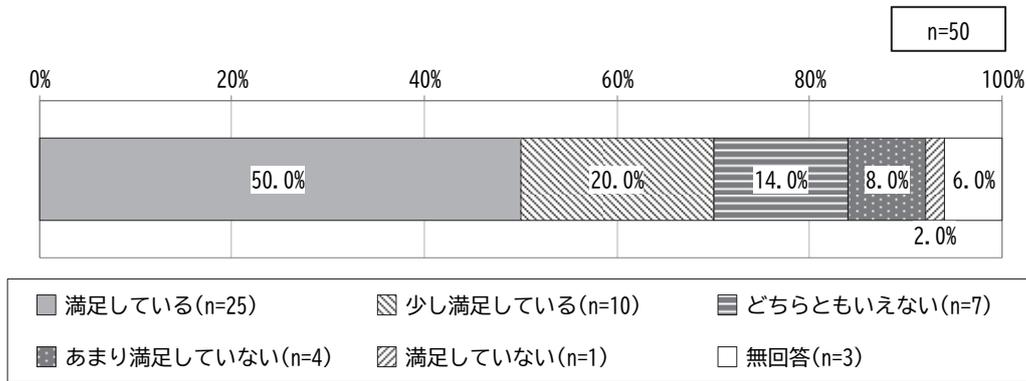
問15 最近1年間、どのくらいご自宅に帰りましたか。(○は1つ)

最近1年間、どのくらいご自宅に帰ったかについては、「10回以上」が46.0%と最も多く、次いで「その他」が18.0%となっています。



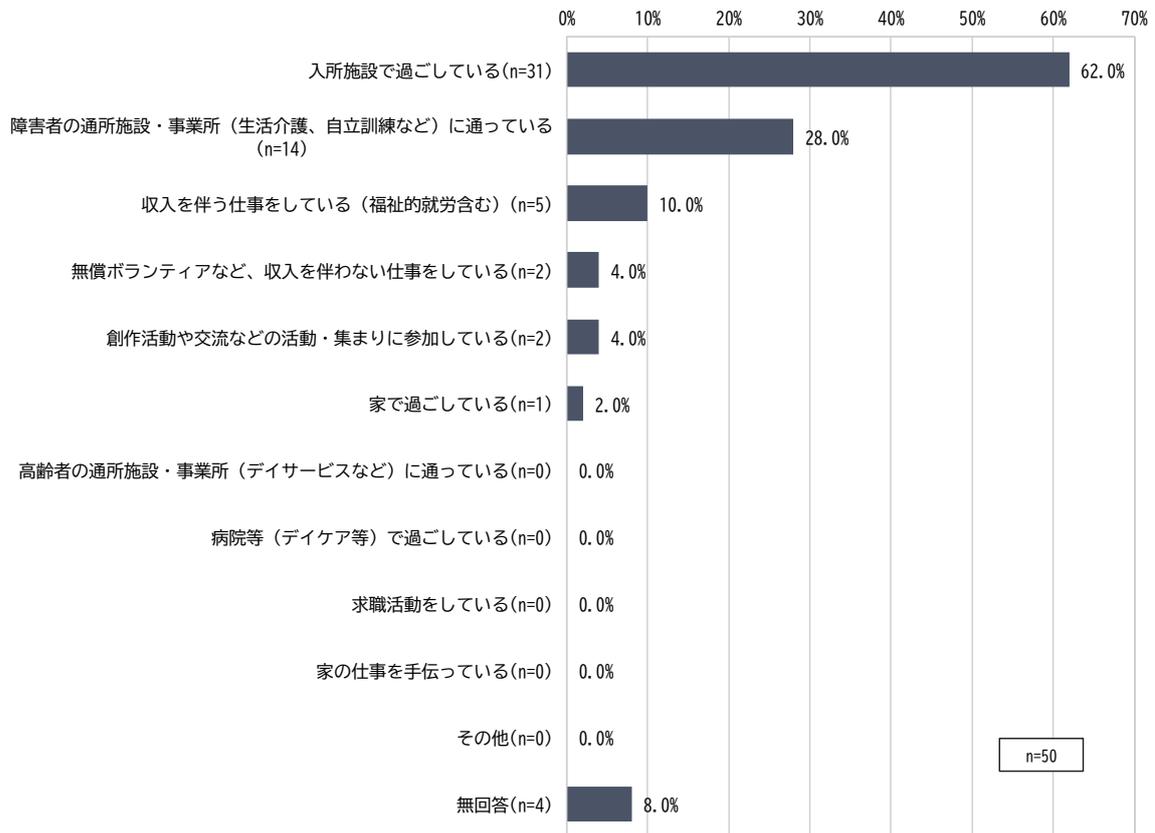
問16 現在入所している施設の生活に満足していますか。(○は1つ)

現在入所している施設の生活に満足しているかについては、「満足している」が50.0%と最も多く、次いで「少し満足している」が20.0%となっています。



問17 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

日中の過ごし方については、「入所施設で過ごしている」が62.0%と最も多く、次いで「障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている」が28.0%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
入所している施設で作業や訓練をしている	50.0%	入所施設で過ごしている	62.0%
入所している施設で看護や介護を受けて過ごしている	30.3%	障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている	28.0%
収入を伴う仕事をしている	9.0%	収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）	10.0%
他の施設に通って作業や訓練をしている	7.4%	無償ボランティアなど、収入を伴わない仕事をしている/創作活動や交流などの活動・集まりに参加している	4.0%
他の施設に通って看護や介護を受けて過ごしている	2.5%		

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

《雇用・就労について》

【問18～21は、問17で「1. 収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）」に○をつけた方にお聞きします】

問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「5年以上」が5件となっています。

n=5	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	無回答
	0	0	0	5	0

問19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「就労継続支援等での福祉的就労」が3件と最も多く、次いで「その他」が1件となっています。

n=5	就労継続支援等での福祉的就労	正規雇用 (正社員等)	非正規雇用 (契約社員・アルバイト等)	自営業	自営業の手伝い	家庭内職	その他	無回答
	3	0	0	0	0	0	1	1

問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。
 (2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。(1)(2)それぞれ○は1つ)

1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が5件となっています。

1日あたりの就労時間については、「4時間以上～6時間未満」が3件と最も多く、次いで「2時間以上～4時間未満」が2件となっています。

(1) 1週間あたり

n=5	5日以上	3～4日	1～2日	無回答
	5	0	0	0

(2) 1日あたり

n=5	1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～4時間未満	4時間以上～6時間未満	6時間以上～8時間未満	8時間以上	無回答
	0	0	2	3	0	0	0

問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

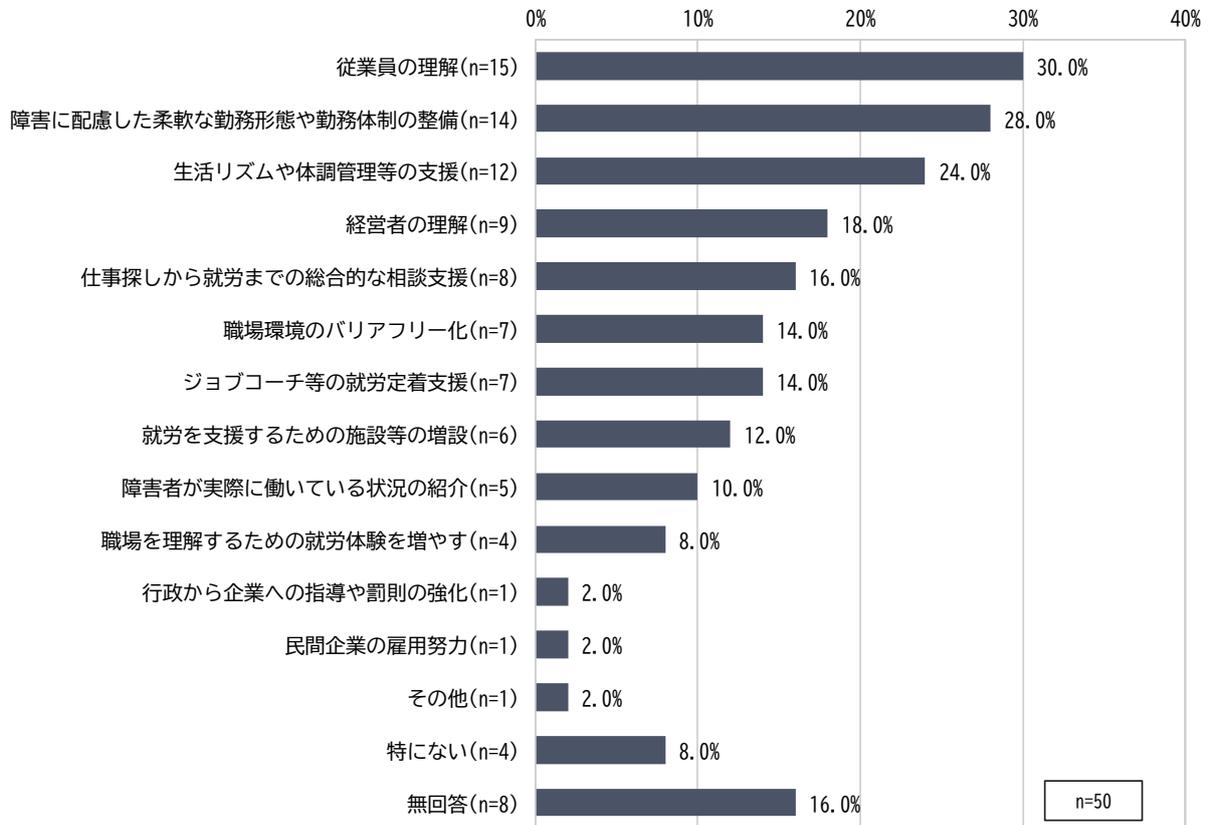
仕事をする上で困っていることについては、「収入が少ない」が3件と最も多く、次いで「特にない」が2件、「業務内容が合わない」、「職場の人間関係」、「コミュニケーションができない」、「能力を発揮できない」がそれぞれ1件となっています。

n=5	収入が少ない	業務内容が合わない	職場の人間関係	コミュニケーションができない	能力を発揮できない	通勤が大変	仕事がきつい	就業時間が合わない	職場の設備が不足(トイレ、休憩室など)	職場の理解が得られない	体調のコントロールが難しい	その他	特にない	無回答
	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0

【ここからは、全員にお聞きします】

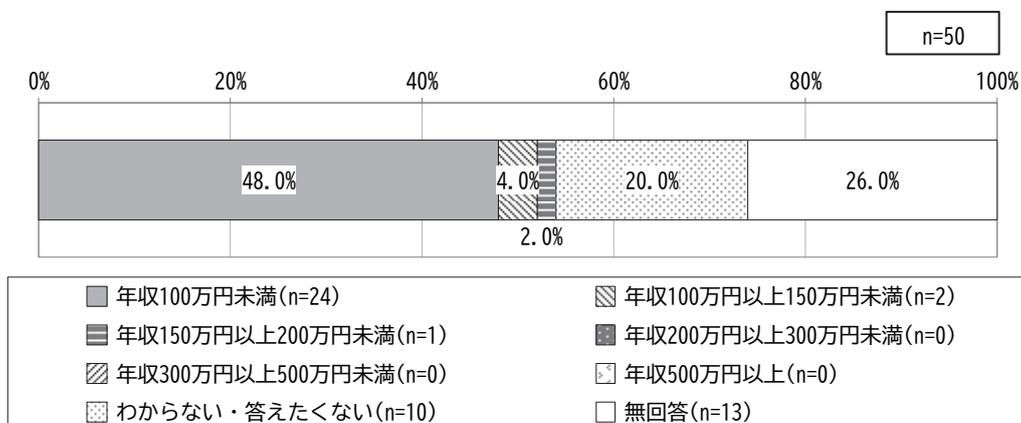
問22 障害のある人の就労を促進するために、どのようなことがあるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「従業員の理解」が30.0%と最も多く、次いで「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が28.0%となっています。



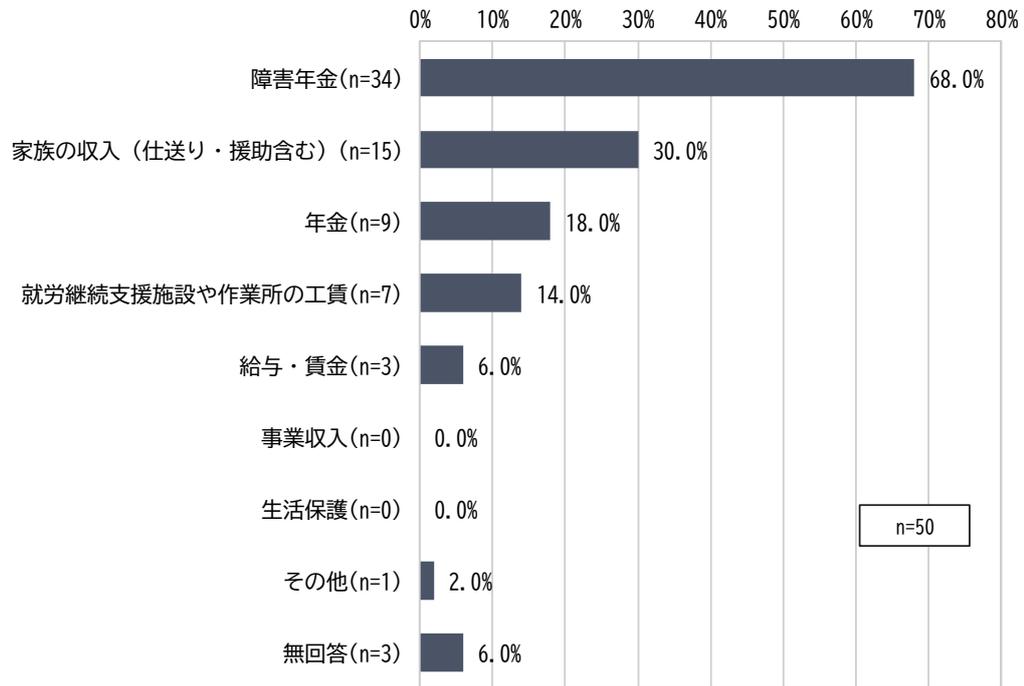
問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が48.0%と最も多く、次いで「わからない・答えたくない」が20.0%となっています。



問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

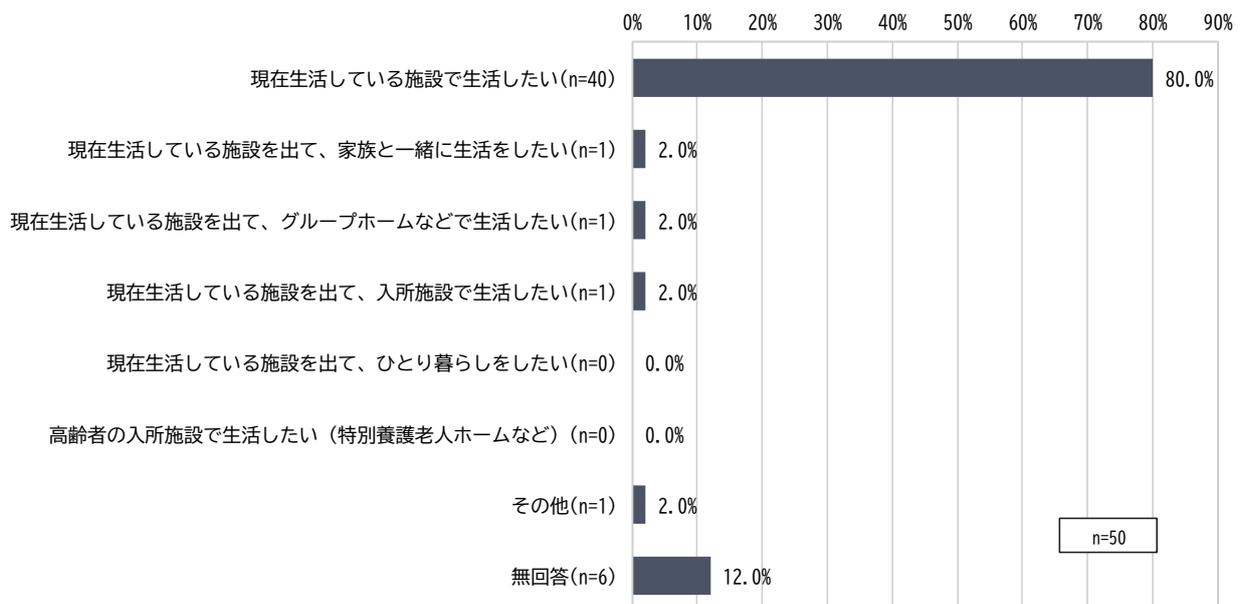
生活を支えている収入については、「障害年金」が68.0%と最も多く、次いで「家族の収入(仕送り・援助含む)」が30.0%となっています。



《今後の希望について》

問25 将来(今後)、あなたはどこで生活したいと思いますか。(○は1つ)

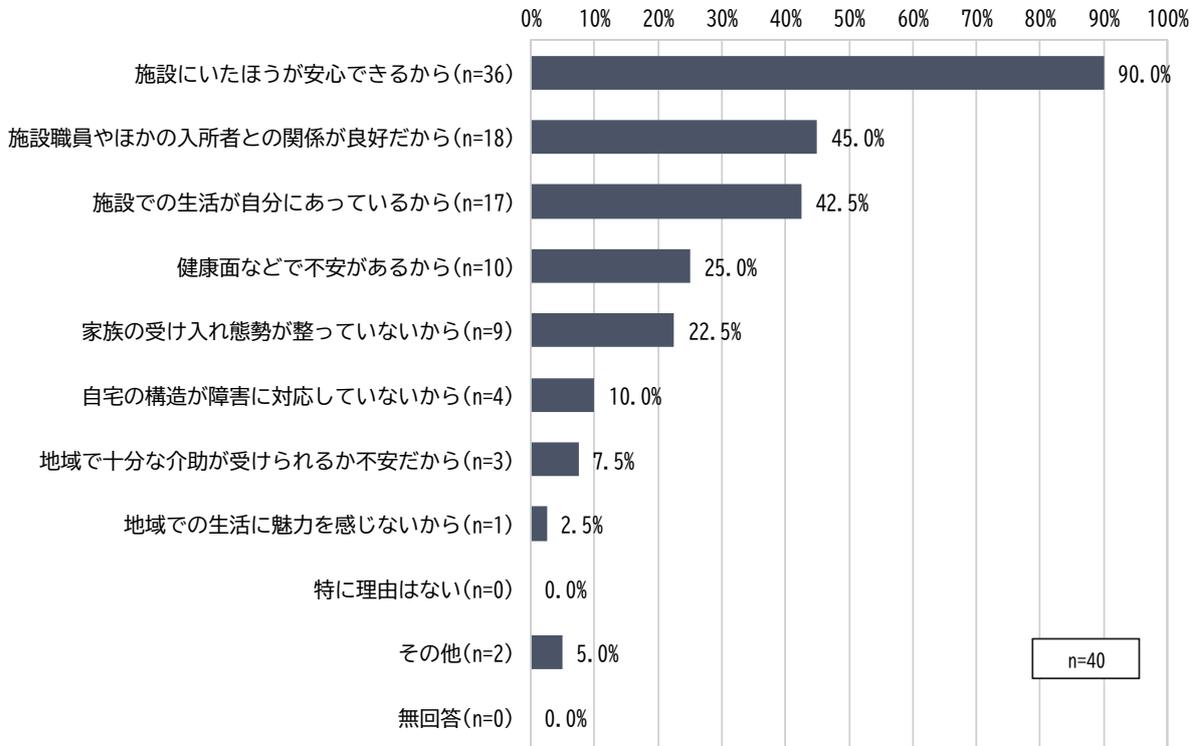
将来(今後)、どこで生活したいと思うかについては、「現在生活している施設で生活したい」が80.0%と最も多く、次いで「現在生活している施設を出て、家族と一緒に生活したい」、「現在生活している施設を出て、グループホームなどで生活したい」、「現在生活している施設を出て、入所施設で生活したい」、「その他」がそれぞれ2.0%となっています。



【問25で「1. 現在生活している施設で生活したい」に○をつけた方にお聞きします】

問26 今の施設での生活を続けたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

今の施設での生活を続けたい理由については、「施設にいたほうが安心できるから」が90.0%と最も多く、次いで「施設職員やほかの入所者との関係が良好だから」が45.0%となっています。



■前回調査 (R1) 比較

R1 調査 (前回)		R4 調査 (今回)	
施設にいたほうが安心できるから	77.8%	施設にいたほうが安心できるから	90.0%
施設での生活が自分にあっているから	41.1%	施設職員やほかの入所者との関係が良好だから	45.0%
施設職員やほかの入所者との関係が良好だから	27.8%	施設での生活が自分にあっているから	42.5%
健康面などで不安があるから	26.7%	健康面などで不安があるから	25.0%
家族の受け入れ態勢が整っていないから	24.4%	家族の受け入れ態勢が整っていないから	22.5%

※今回 (R4) 調査と前回 (R1) 調査で、選択肢が異なる部分があります。

【問25で2～5に○をつけた方にお聞きします】

問27 施設を出たい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

施設を出たい理由については、「家族のそばにいたいから」、「自由な生活がしたいから」、「特に理由はない」がそれぞれ1件となっています。

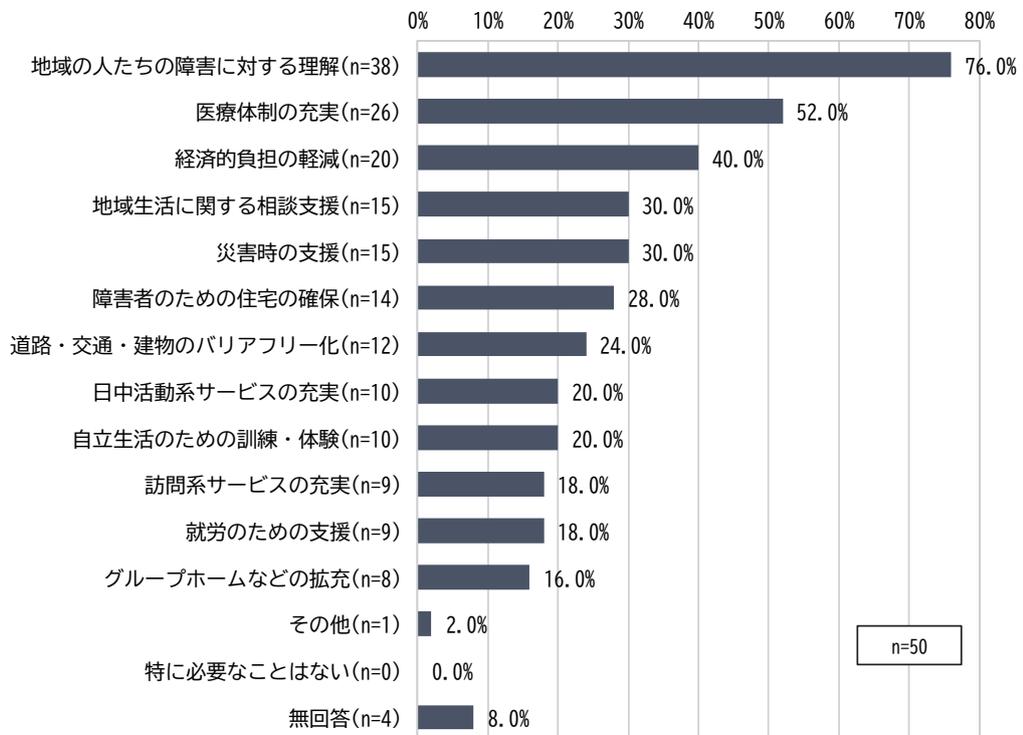
理由	人数
家族のそばにいたいから	1
自由な生活がしたいから	1
ひとり暮らしをしてみたいから	0
社会的に自立したいから	0
施設を出てやりたいことがあるから	0
一般就労してみたいから	0
作業所等で働いてみたいから	0
施設での生活に不満があるから	0
その他	0
特に理由はない	1
無回答	0

総数: n=3

【ここからは、全員にお聞きします】

問28 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

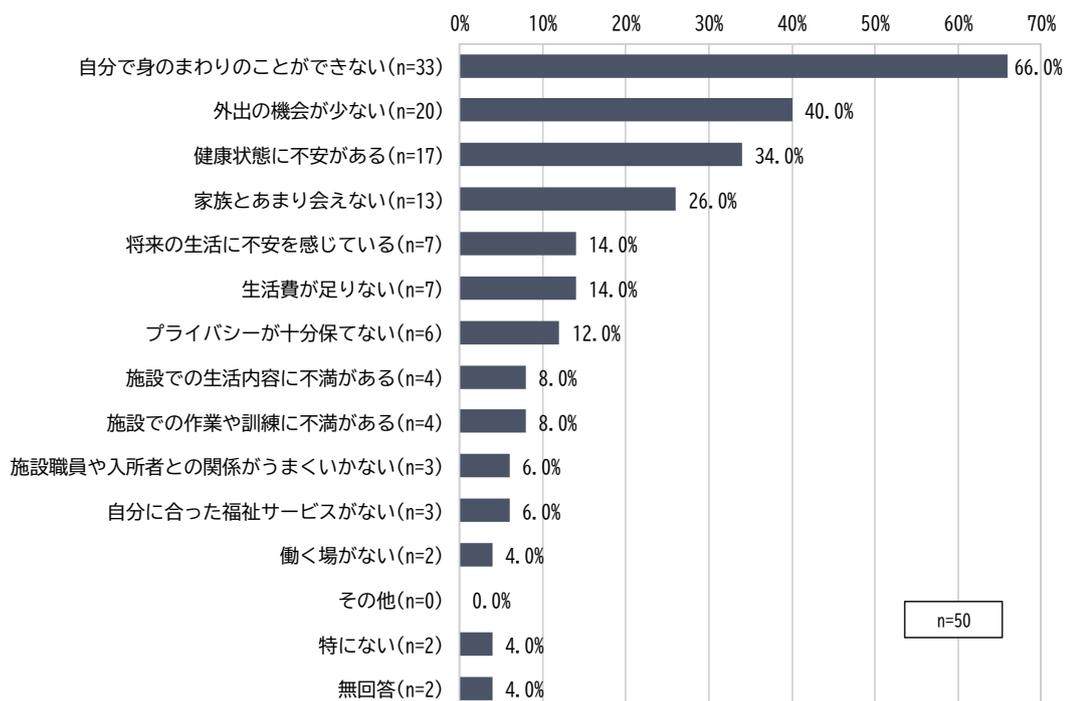
障害のある人が地域で生活していくためには何が必要かについては、「地域の人たちの障害に対する理解」が76.0%と最も多く、次いで「医療体制の充実」が52.0%となっています。



《相談や情報入手について》

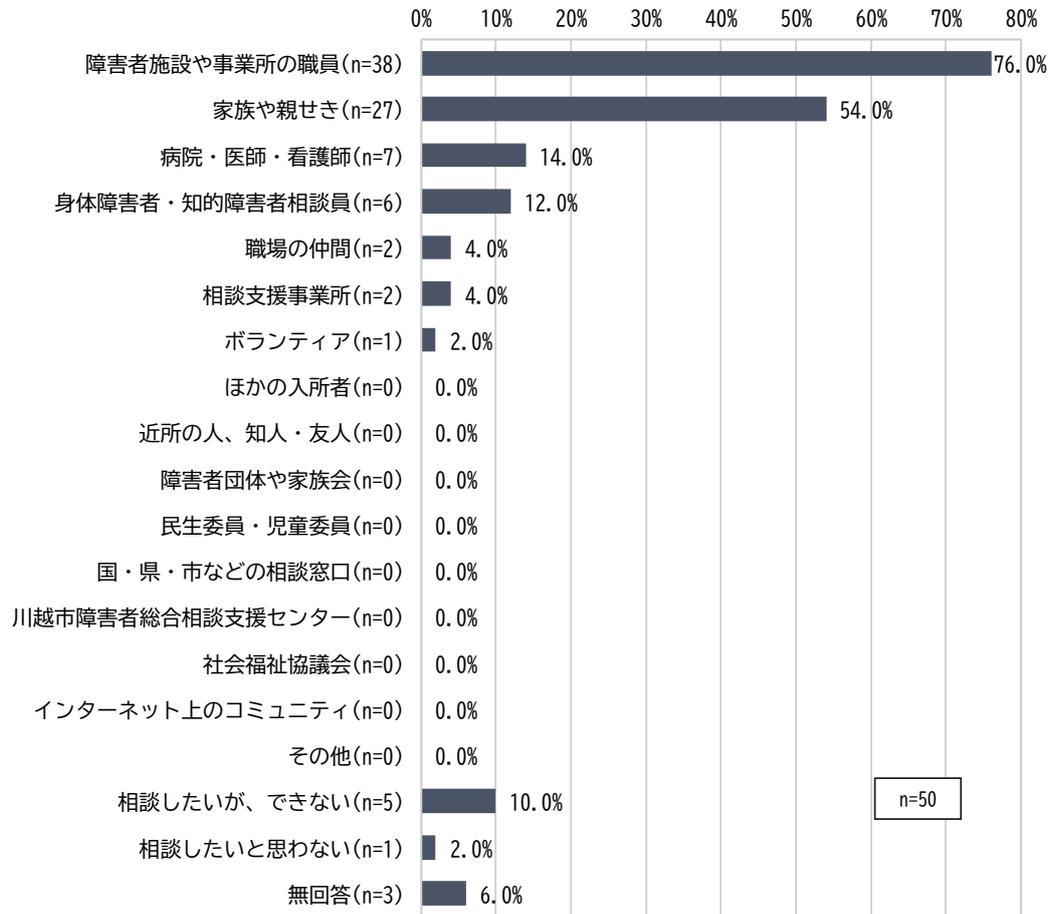
問29 日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活で困っていることについては、「自分で身のまわりのことができない」が66.0%と最も多く、次いで「外出の機会が少ない」が40.0%となっています。



問30 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談するかについては、「障害者施設や事業所の職員」が76.0%と最も多く、次いで「家族や親せき」が54.0%となっています。



【問30で「17. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問31 相談できない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

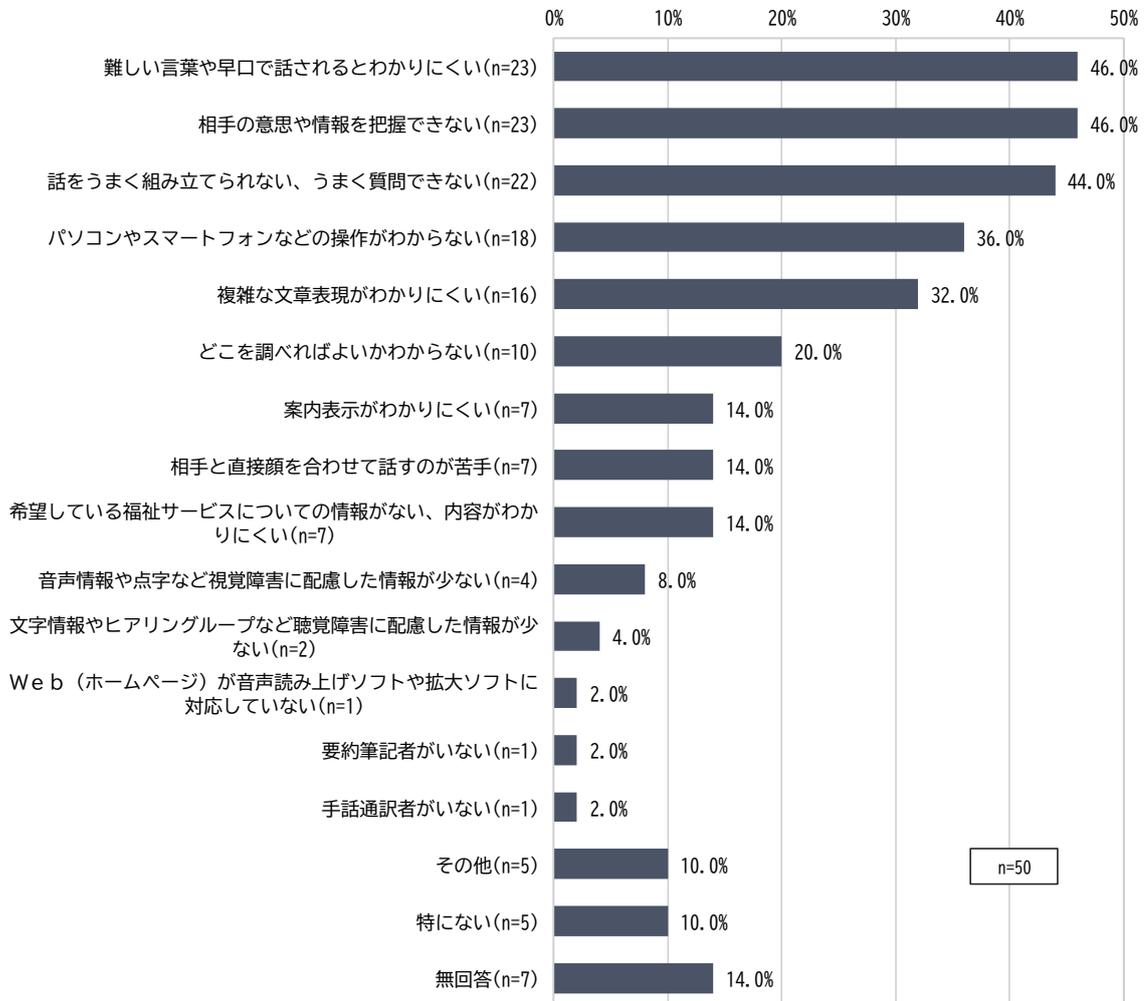
相談できない理由については、「その他」が4件となっています。

n=5	どこ（誰）に相談していいかわからない	身近なところに相談できるところがない	相談しても満足のいく回答がもらえない	プライバシーが守られるか不安がある	相談支援事業所が少ない	相談することにためらいがある	その他	無回答
	0	0	0	0	0	0	4	1

【ここからは、全員にお聞きします】

問32 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」、「相手の意思や情報を把握できない」がそれぞれ46.0%と最も多くなっています。



《福祉サービスについて》

問33 次の障害福祉サービス等を利用していますか。（「障害福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～21の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。

サービス等を利用していない場合は、問34へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「施設入所支援」が40人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が92.5%となっています。次いで「共同生活援助（グループホーム）」が28人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が100.0%となっています。

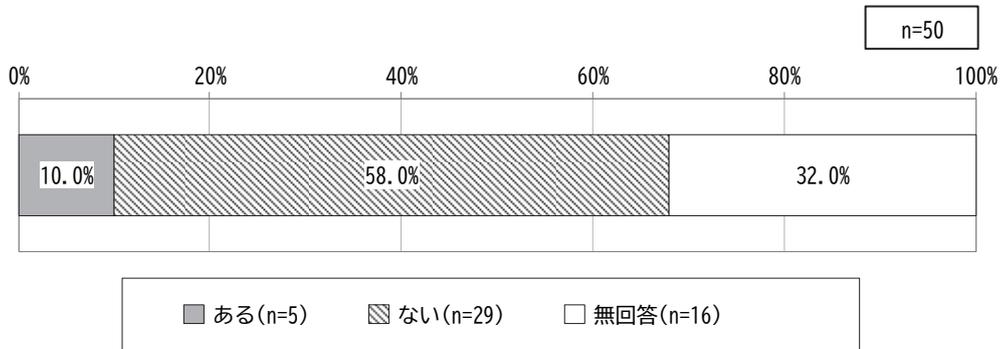
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
施設入所支援	40	92.5%	7.5%	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	28	100.0%	0.0%	0.0%
生活介護	24	100.0%	0.0%	0.0%
計画相談支援	12	100.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援B型	10	0.0%	0.0%	0.0%
行動援護	3	100.0%	0.0%	0.0%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	2	0.0%	0.0%	0.0%
重度訪問介護	2	0.0%	0.0%	0.0%
同行援護	2	0.0%	0.0%	0.0%
就労移行支援	2	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援A型	2	0.0%	100.0%	0.0%
重度障害者等包括支援	1	100.0%	0.0%	0.0%
自立訓練（生活訓練）	1	100.0%	0.0%	0.0%
療養介護	0	-	-	-
短期入所（ショートステイ）	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
自立訓練（機能訓練）	0	-	-	-
就労定着支援	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-

問34 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が10.0%、「ない」が58.0%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「行動援護」が3件と最も多く、次いで、「計画相談支援」が2件となっています。

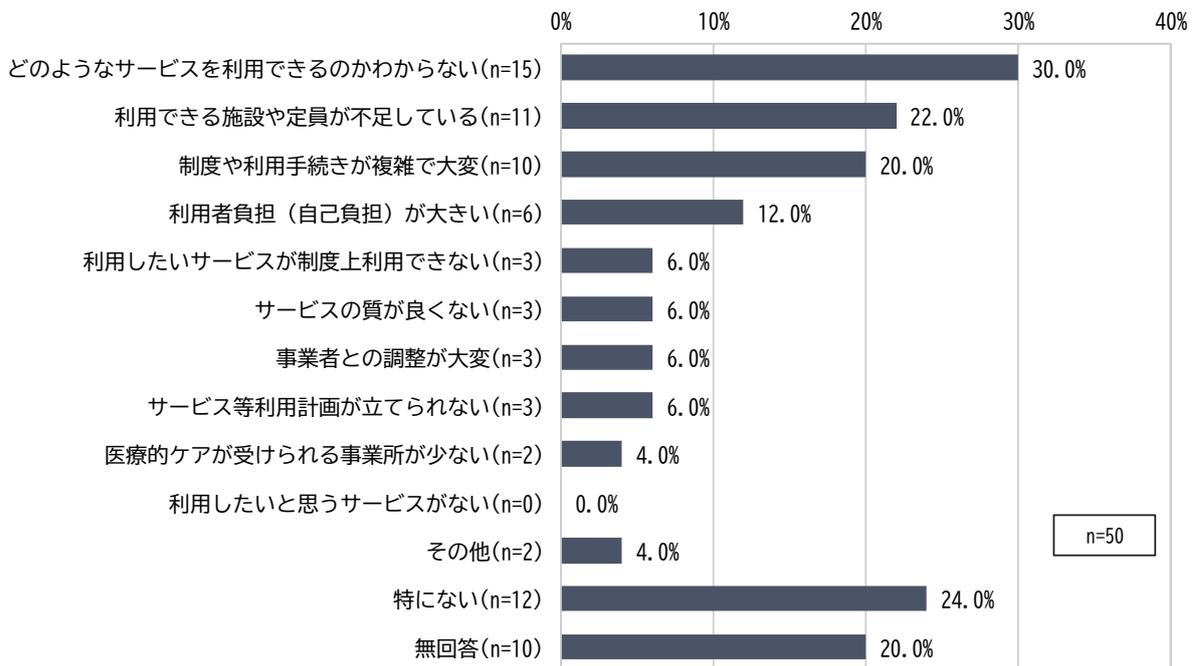


■今後3年以内に新たに利用したいサービス

サービス	件数
行動援護	3
計画相談支援	2
生活介護	1
療養介護	1
自立生活援助	1
施設入所支援	1
自立訓練(機能訓練)	1
居宅介護(ホームヘルプサービス)	0
重度訪問介護	0
同行援護	0
重度障害者等包括支援	0
短期入所(ショートステイ)	0
宿泊型自立訓練	0
共同生活援助(グループホーム)	0
自立訓練(生活訓練)	0
就労移行支援	0
就労継続支援A型	0
就労継続支援B型	0
就労定着支援	0
地域移行支援	0
地域定着支援	0
無回答	0

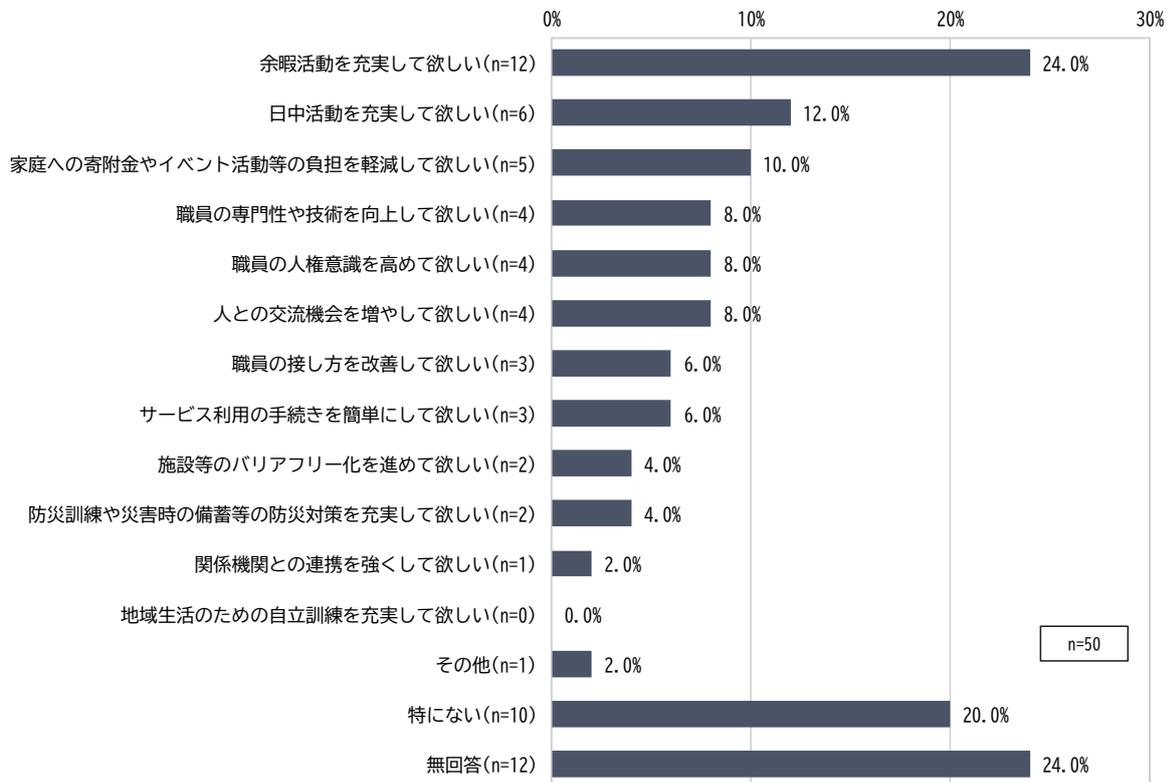
問35 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」が30.0%と最も多く、次いで「特にない」が24.0%、「利用できる施設や定員が不足している」が22.0%となっています。



問36 障害福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

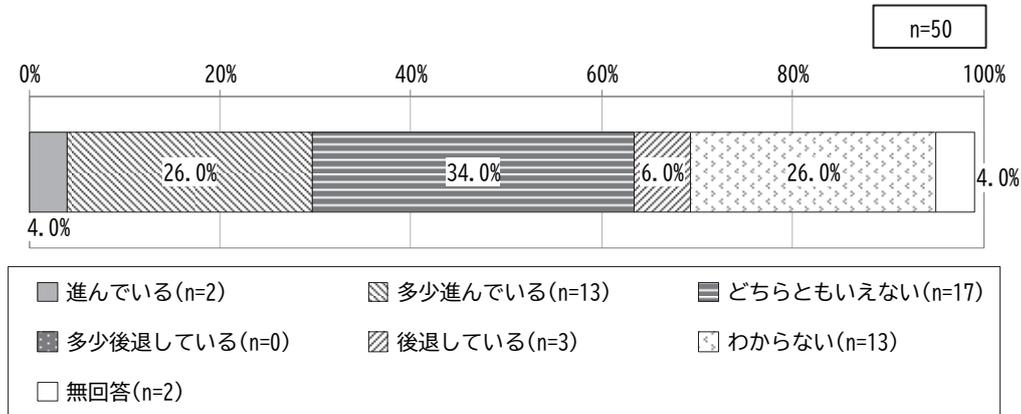
障害福祉サービス事業所について望むことについては、「余暇活動を充実して欲しい」が24.0%と最も多く、次いで「特にない」が20.0%、「日中活動を充実して欲しい」が12.0%となっています。



《障害者への理解や権利擁護について》

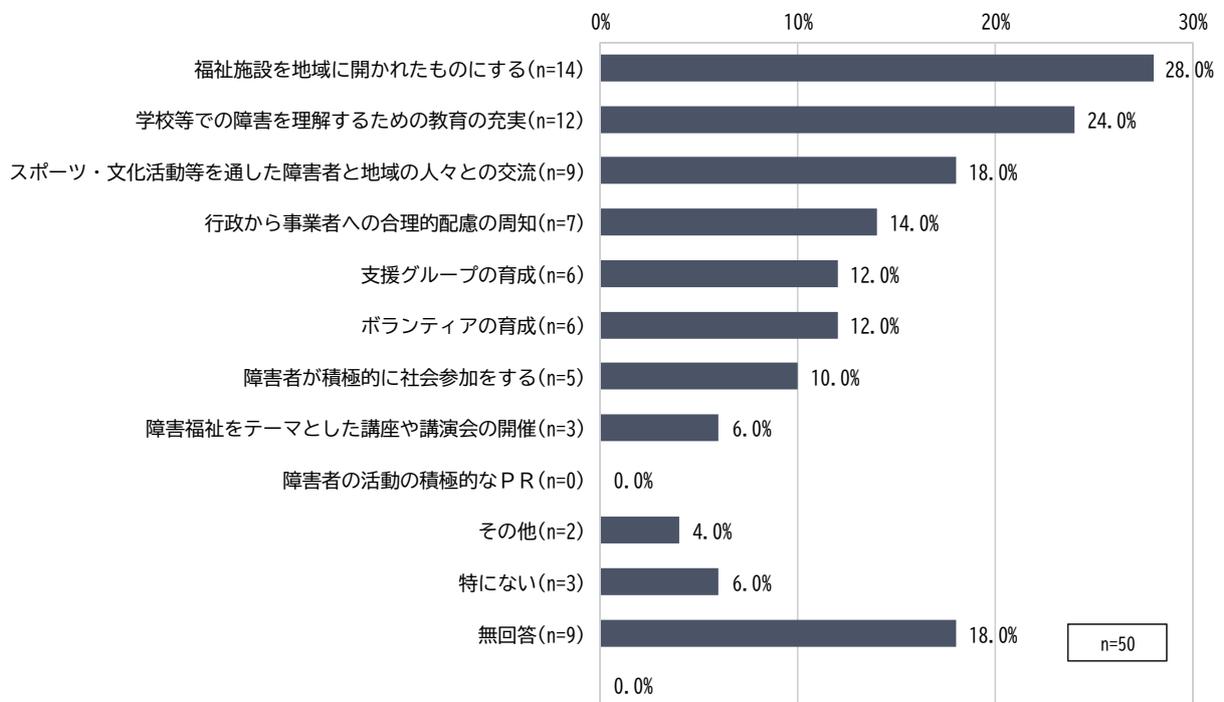
問37 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(○は1つ)

障害に対する市民の理解については、「どちらともいえない」が34.0%と最も多く、次いで「多少進んでいる」、「わからない」がそれぞれ26.0%となっています。



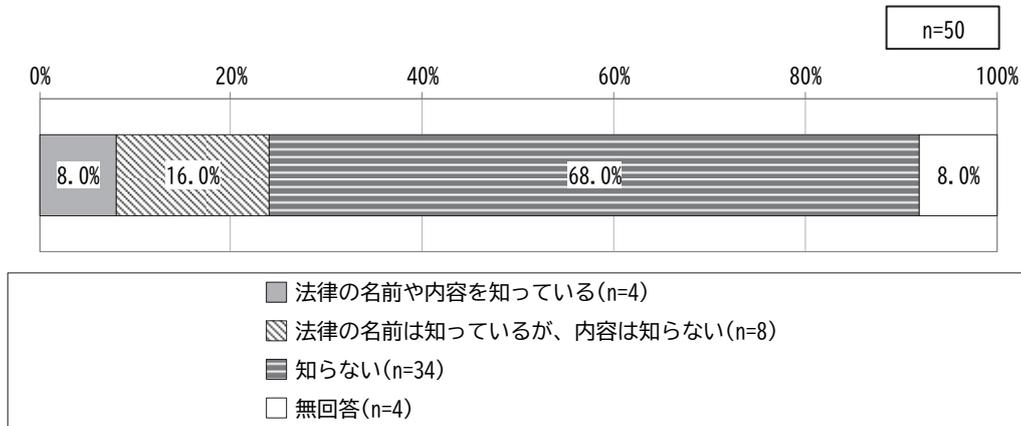
問38 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。(○は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「福祉施設を地域に開かれたものにする」が28.0%と最も多く、次いで「学校等での障害を理解するための教育の充実」が24.0%となっています。



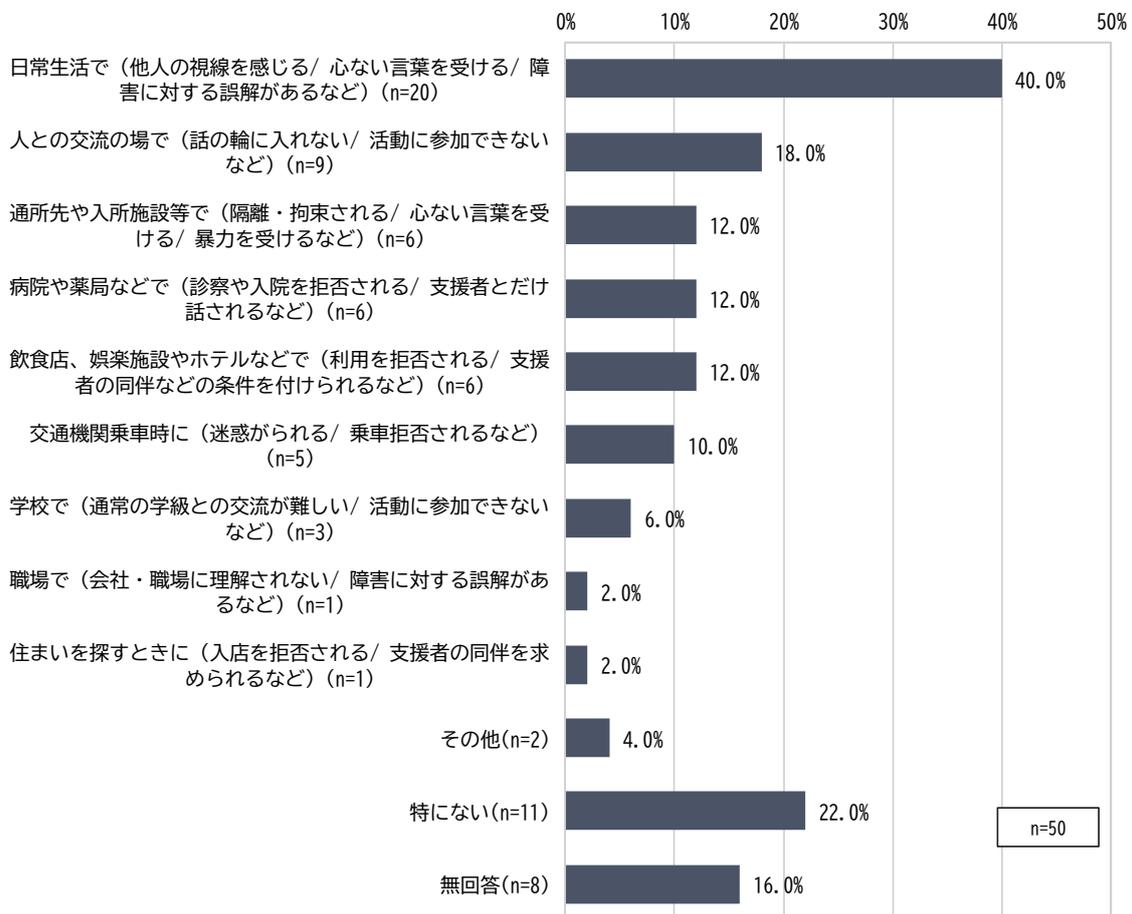
問39 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。（○は1つ）

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が68.0%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が16.0%となっています。



問40 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」が40.0%と最も多く、次いで「特にない」が22.0%、「人との交流の場で（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）」が18.0%となっています。

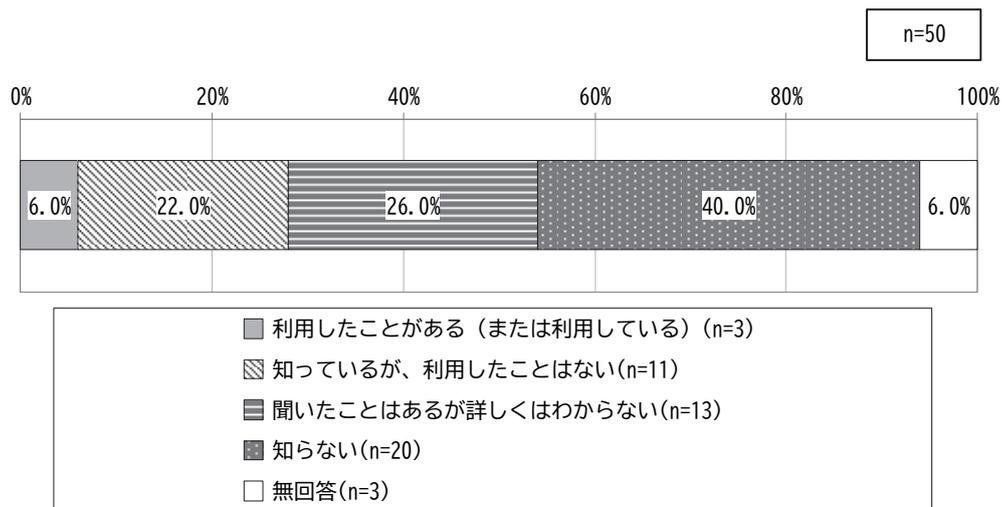


問41 経験したり、見聞きしたことがある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があつて助かったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問42 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

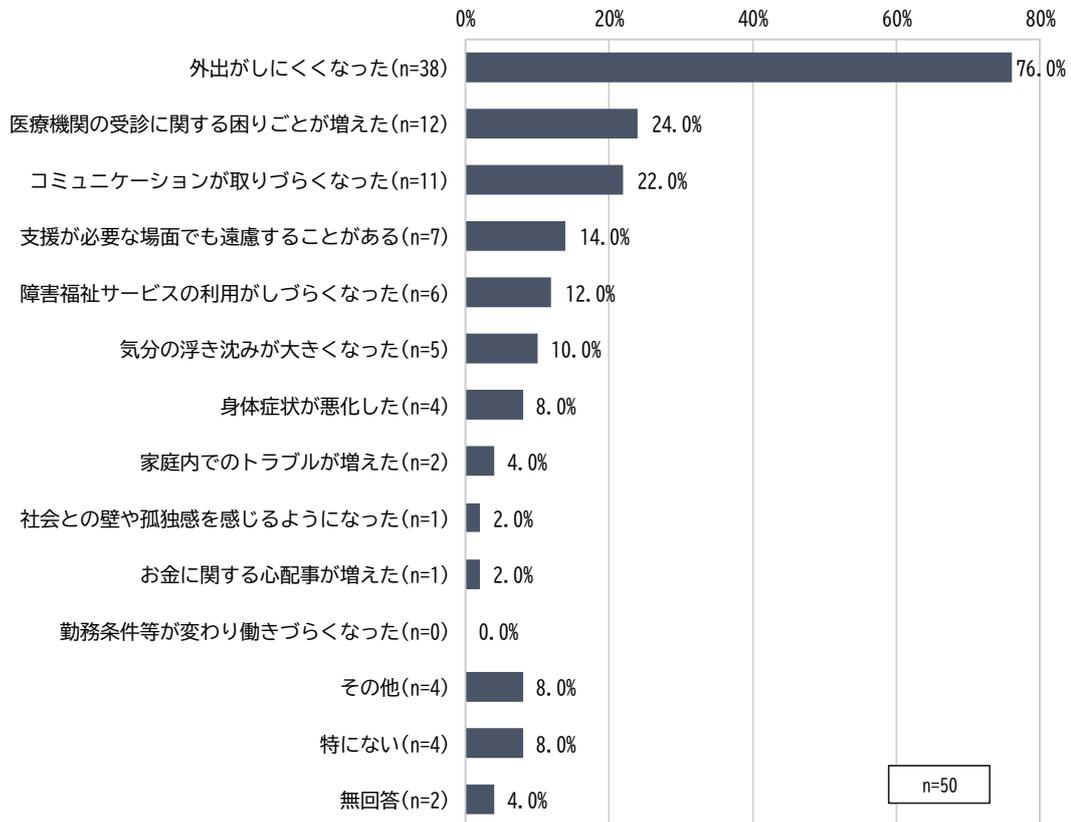
「成年後見制度」については、「知らない」が40.0%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が26.0%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

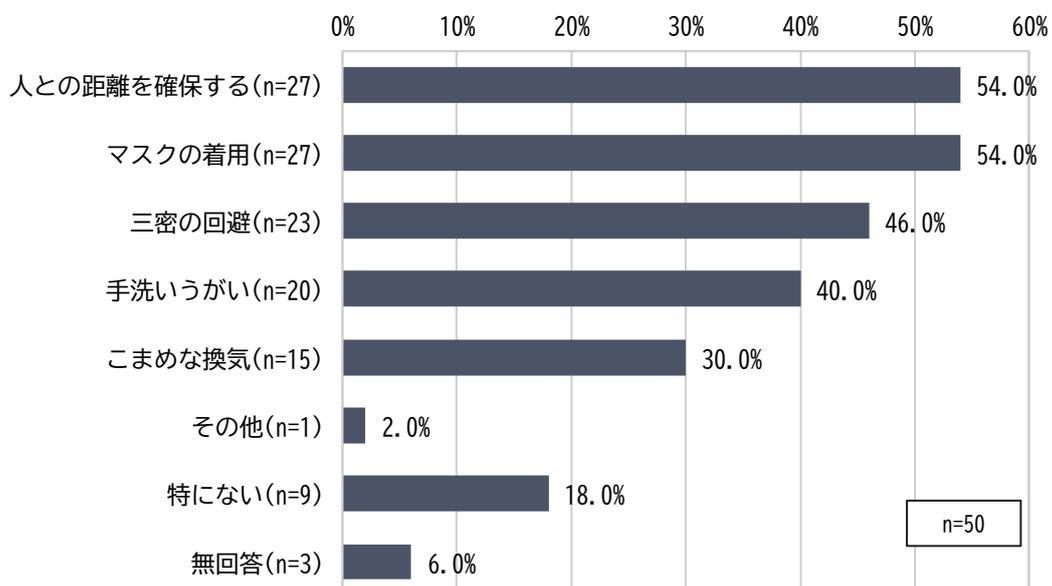
問43 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が76.0%と最も多く、次いで「医療機関の受診に関する困りごとが増えた」が24.0%となっています。



問44 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

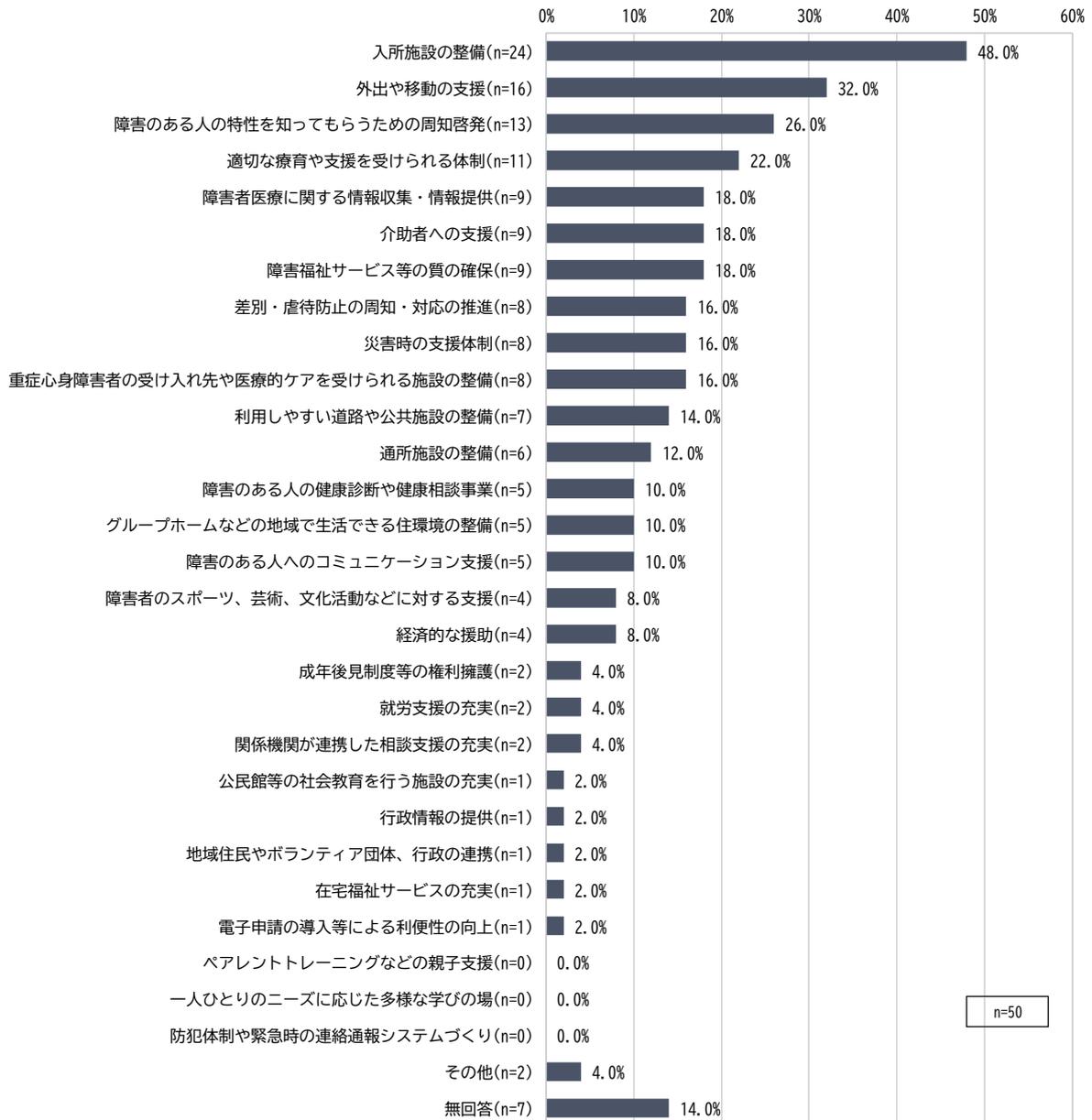
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「人との距離を確保する」、「マスクの着用」がそれぞれ54.0%と最も多くなっています。



《市の取り組み等について》

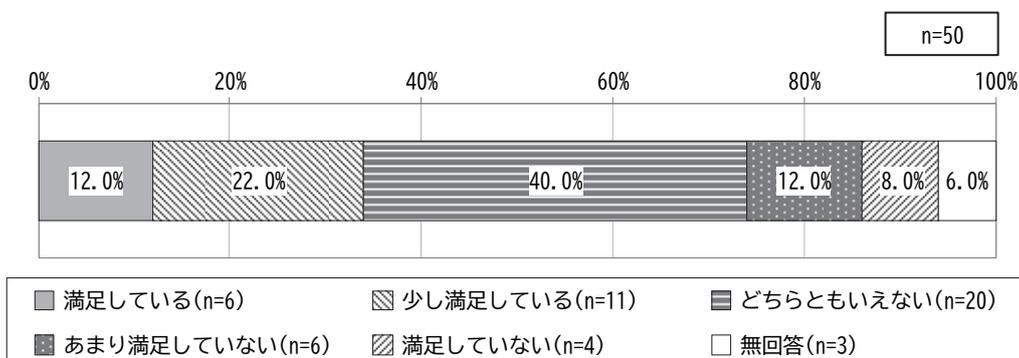
問45 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「入所施設の整備」が48.0%と最も多く、次いで「外出や移動の支援」が32.0%となっています。



問46 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(○は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」が12.0%、「少し満足している」が22.0%となっています。また、「あまり満足していない」は12.0%、「満足していない」は8.0%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

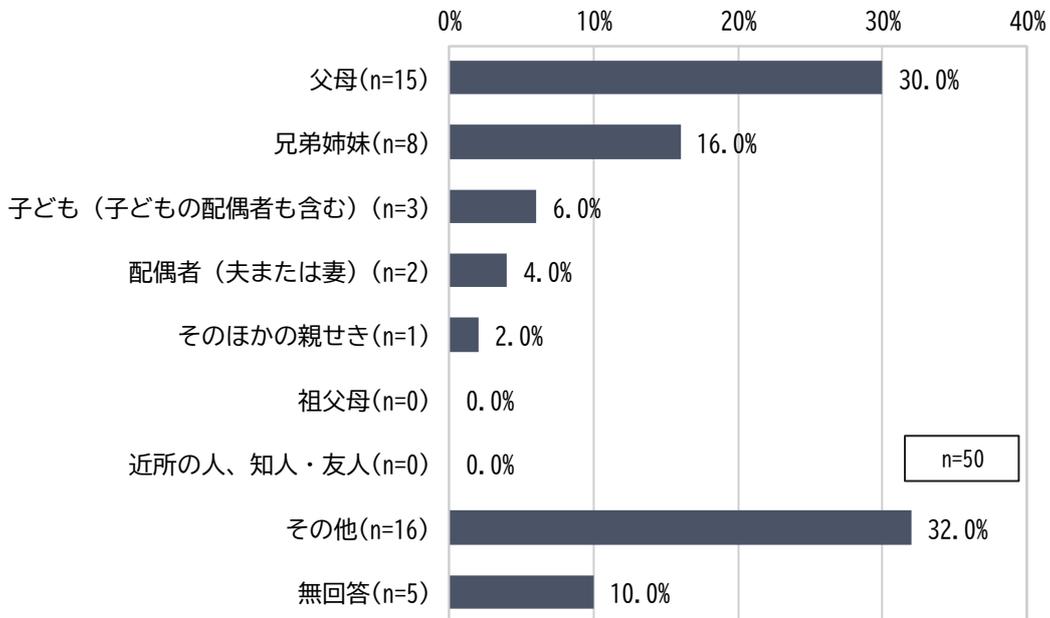
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

【ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください】

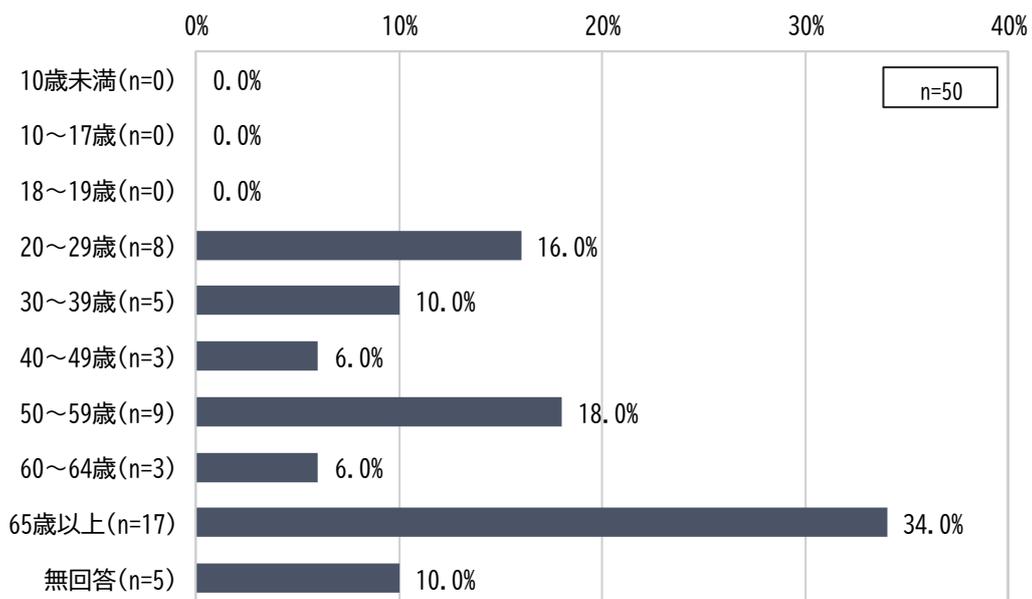
問1 あなた（介助者）から見た、ご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見た、ご本人との関係については、「その他」が32.0%と最も多く、次いで「父母」が30.0%、「兄弟姉妹」が16.0%となっています。



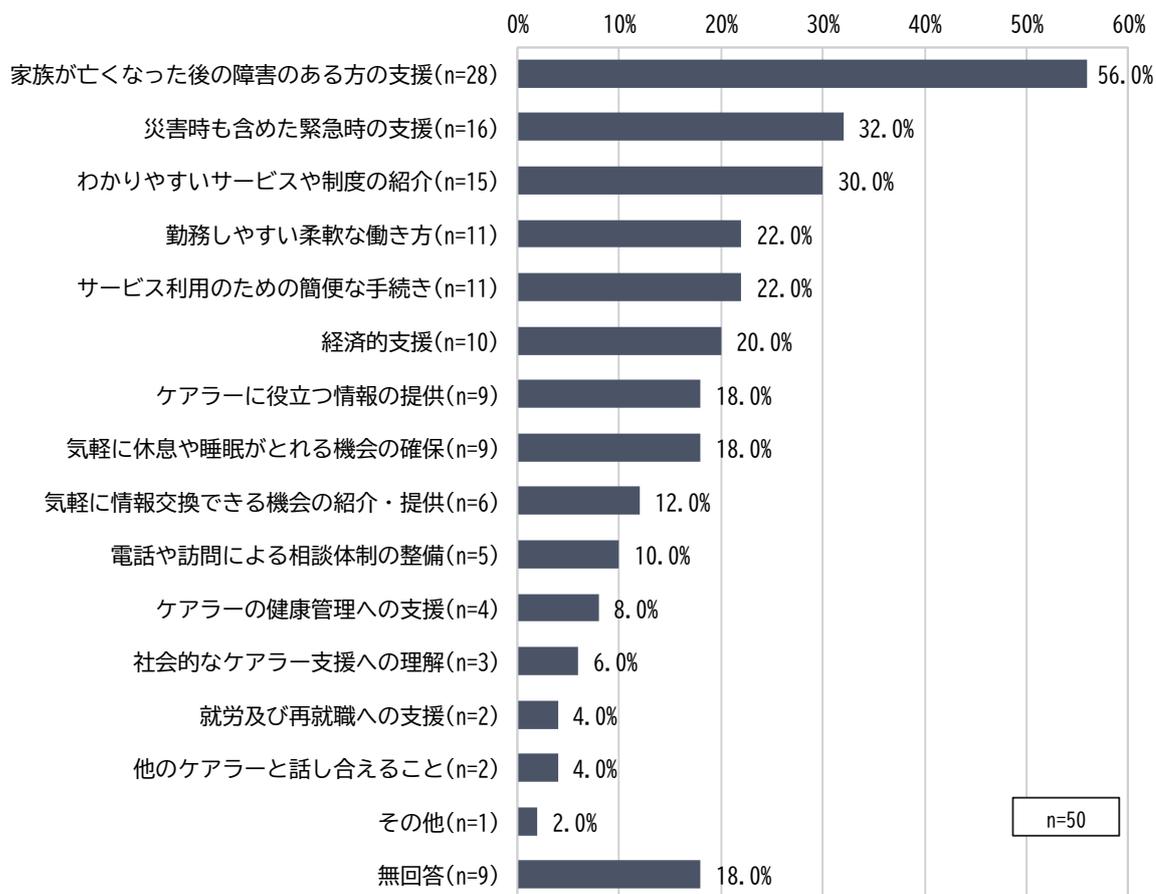
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が34.0%と最も多く、次いで「50～59歳」が18.0%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が56.0%と最も多く、次いで「災害時も含めた緊急時の支援」が32.0%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

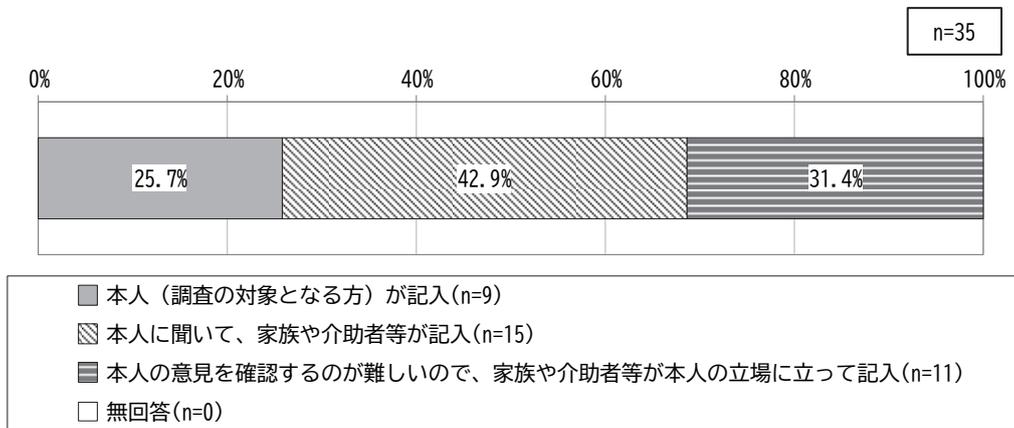
[自由記述編を参照]

調査結果 9. グループホーム利用者

《記入者・ご本人について》

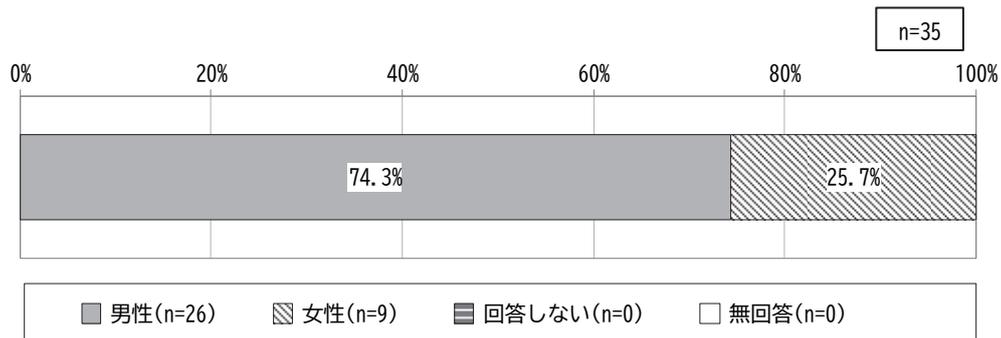
この調査票に記入する方はどなたですか。(〇は1つ)

調査票に記入された方については、「本人に聞いて、家族や介助者等が記入」が42.9%と最も多く、次いで「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が31.4%となっています。



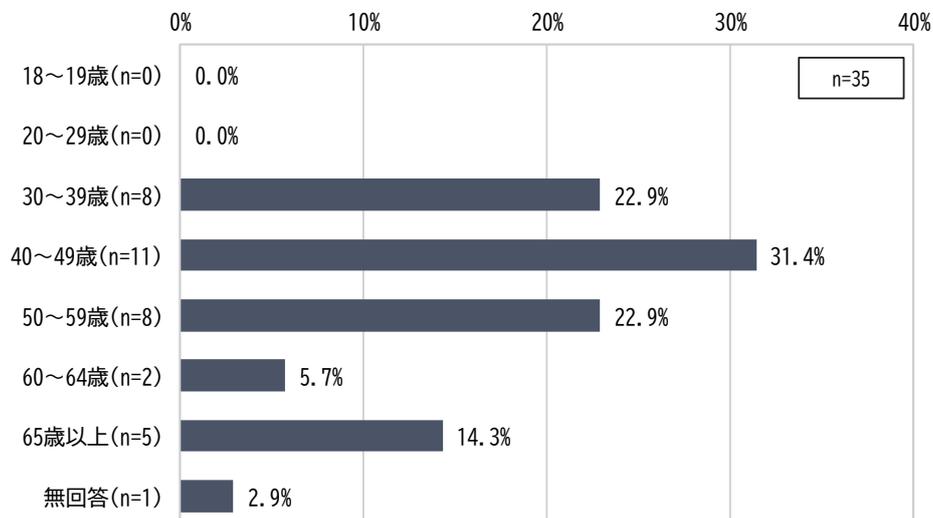
あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

性別については、「男性」が74.3%、「女性」が25.7%となっています。



あなたの年齢 (令和4年9月1日現在) を記入してください。(〇は1つ)

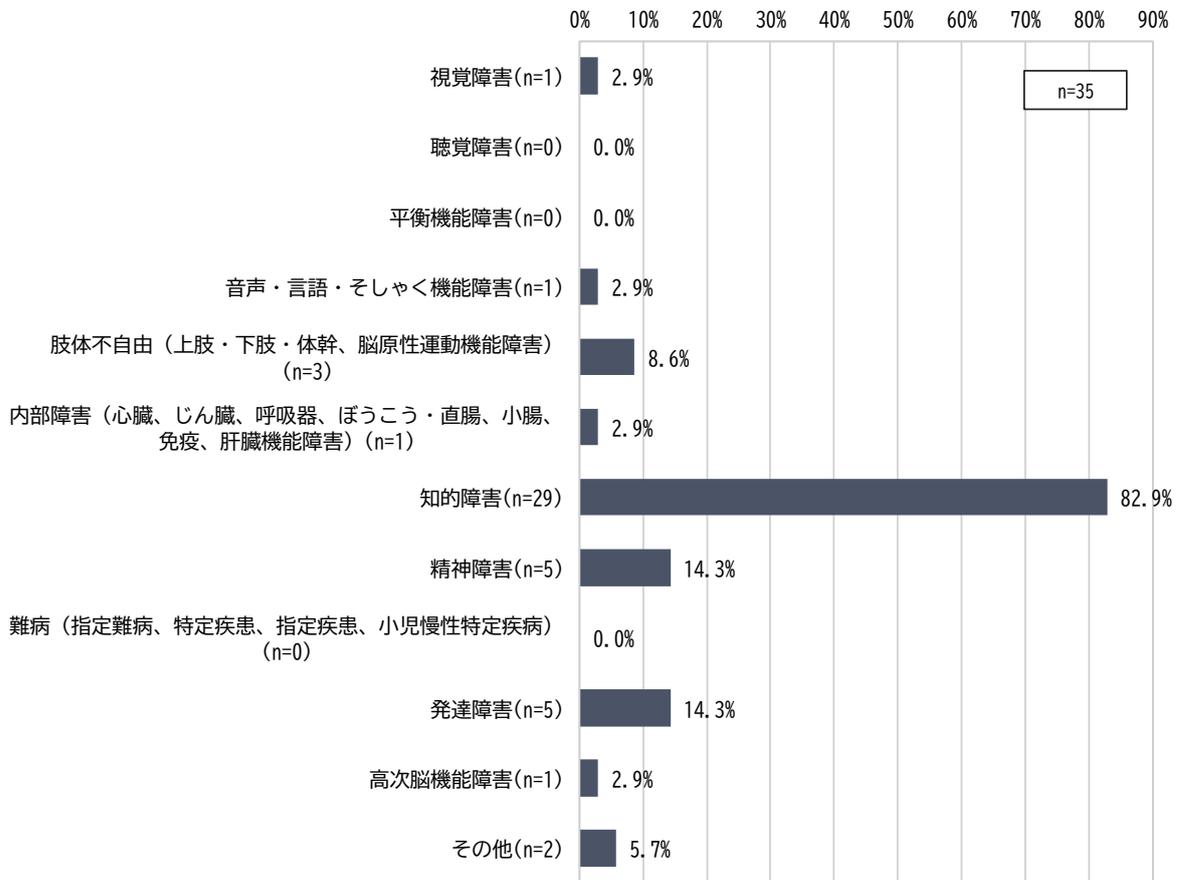
年齢については、「40～49歳」が31.4%と最も多く、次いで「30～39歳」、「50～59歳」がそれぞれ22.9%となっています。



《障害の状況について》

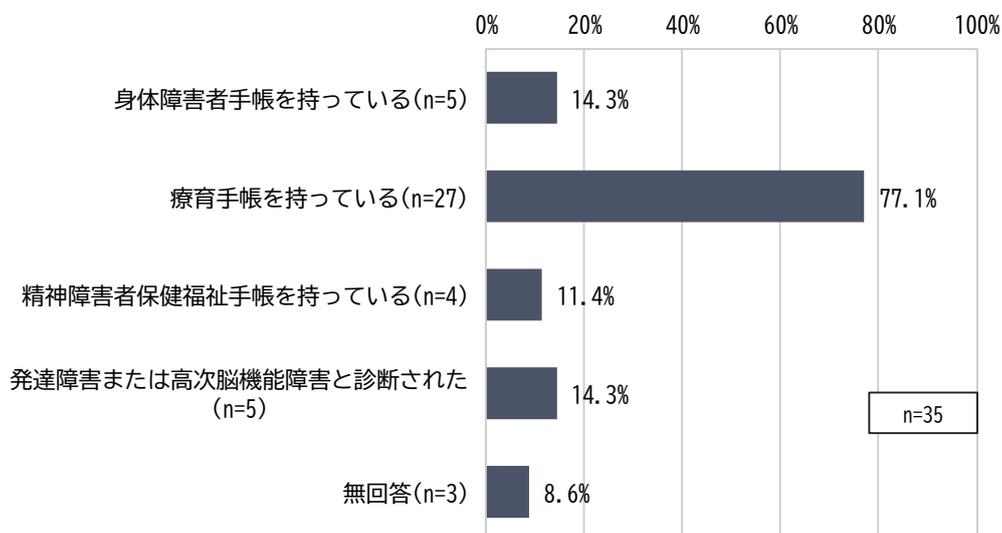
問1 あなたの障害についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

「知的障害」が82.9%と最も多く、次いで「精神障害」、「発達障害」がそれぞれ14.3%となっています。



問2 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

「療育手帳を持っている」が77.1%と最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」、「発達障害または高次脳機能障害と診断された」がそれぞれ14.3%となっています。



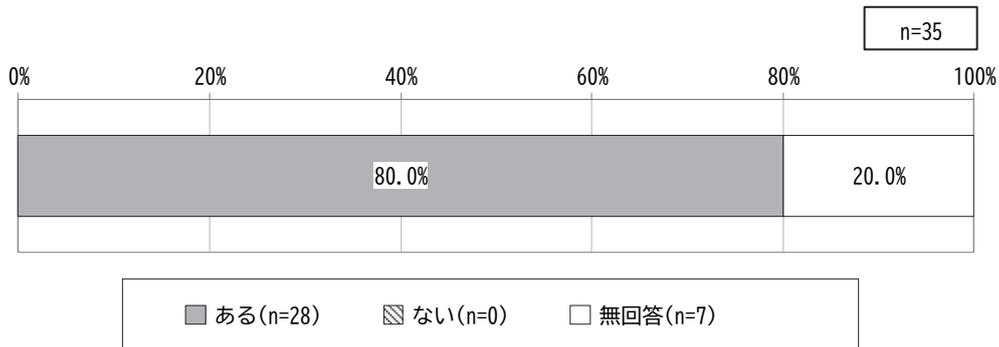
■手帳の等級・診断年齢

身体障害者手帳等級 (n=5)	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		
	2	2	1	0	0	0	0		
療育手帳等級 (n=27)	①		A		B		C	無回答	
	4		9		8		5	1	
精神障害者保健福祉手帳等級 (n=4)	1級		2級			3級		無回答	
	1		3			0		0	
発達障害または高次脳機能障害と診断された年齢 (n=5)	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
	3	0	0	1	1	0	0	0	0

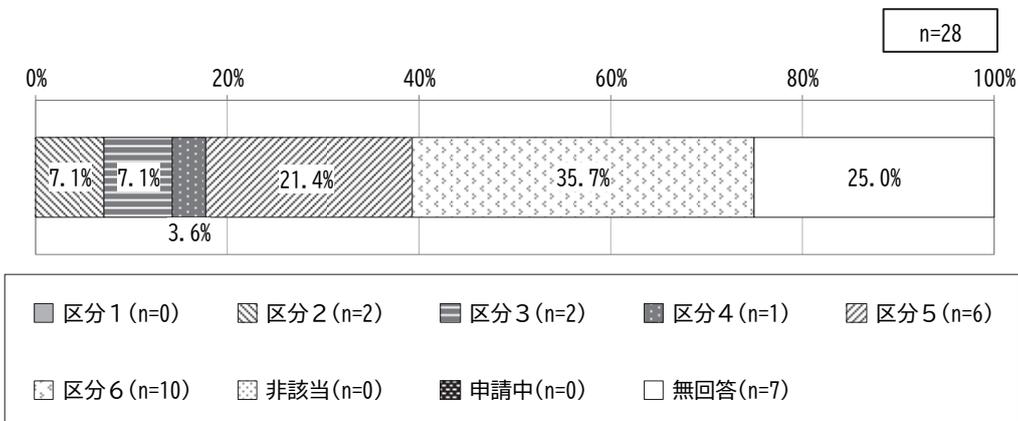
問3 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」が80.0%となっています。また、障害支援区分では「区分6」が35.7%と最も多くなっています。

■障害支援区分の認定



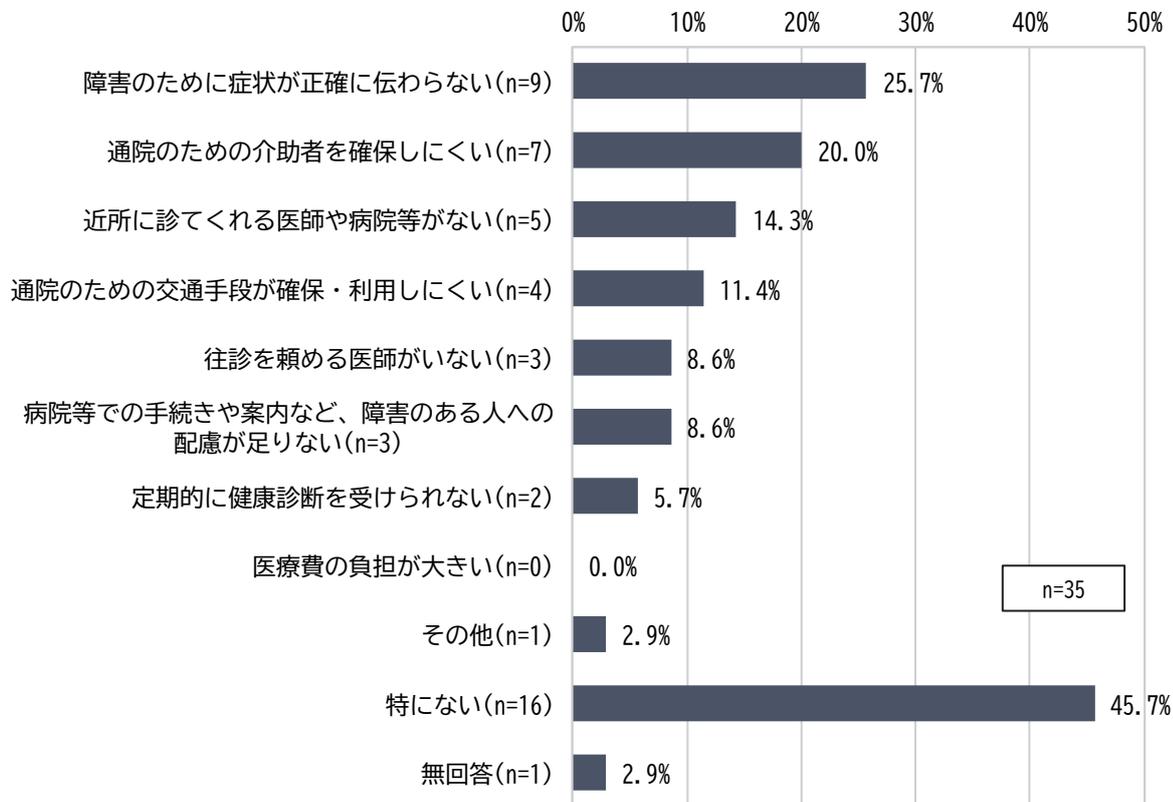
■障害支援区分（6段階）



《健康状態や医療について》

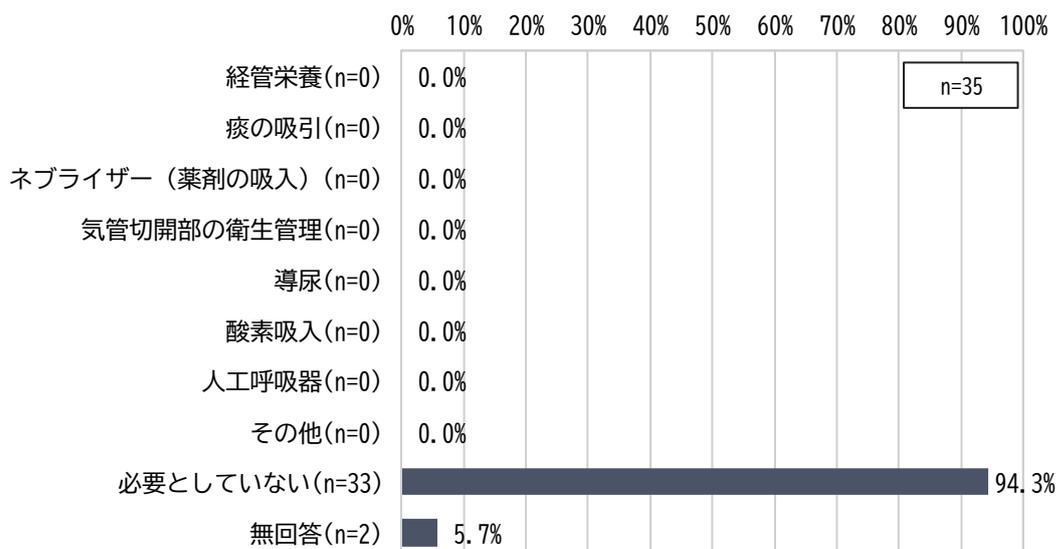
問4 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「特にない」が45.7%と最も多く、次いで「障害のために症状が正確に伝わらない」が25.7%、「通院のための介助者を確保しにくい」が20.0%となっています。



問5 あなたは、以下の医療的ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

医療的ケアを「必要としていない」を選択した方が94.3%と最も多くなっています。



【問5で1～8に○をつけた方にお聞きします】

問6 医療的ケアを行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

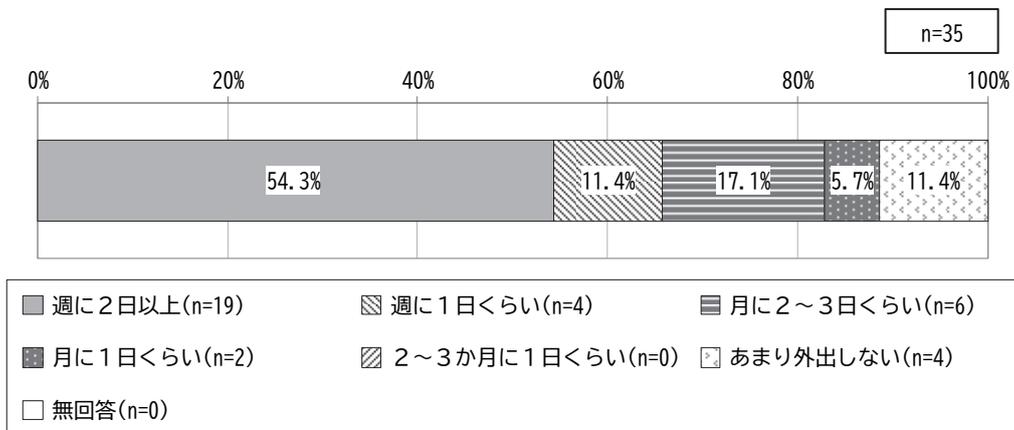
該当者なし

《外出や余暇の過ごし方について》

【ここからは、全員にお聞きします】

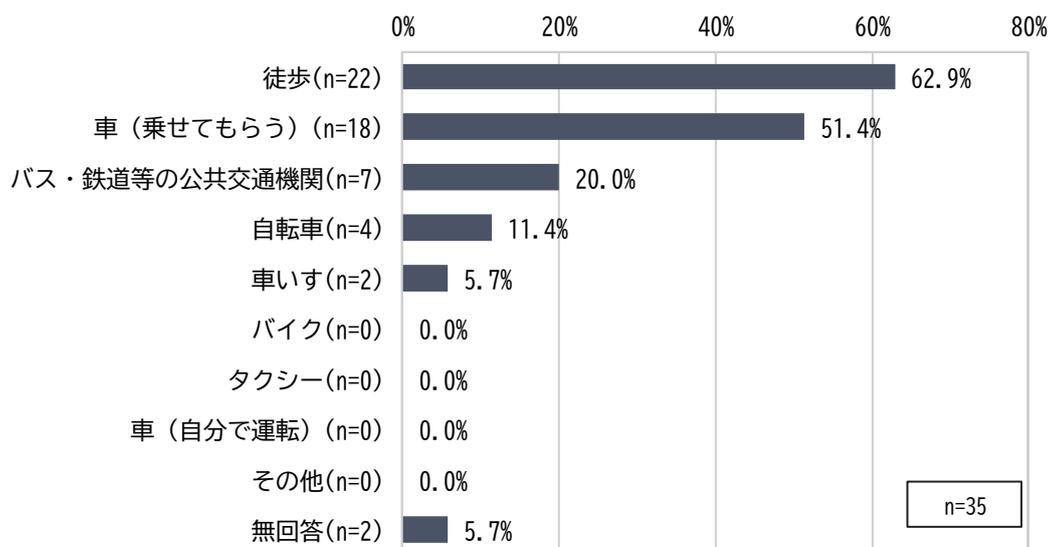
問7 どのくらい外出していますか(施設の敷地内での散歩などは含めないでください)(○は1つ)

外出頻度については、「週に2日以上」が54.3%と最も多く、次いで「月に2～3日くらい」が17.1%となっています。



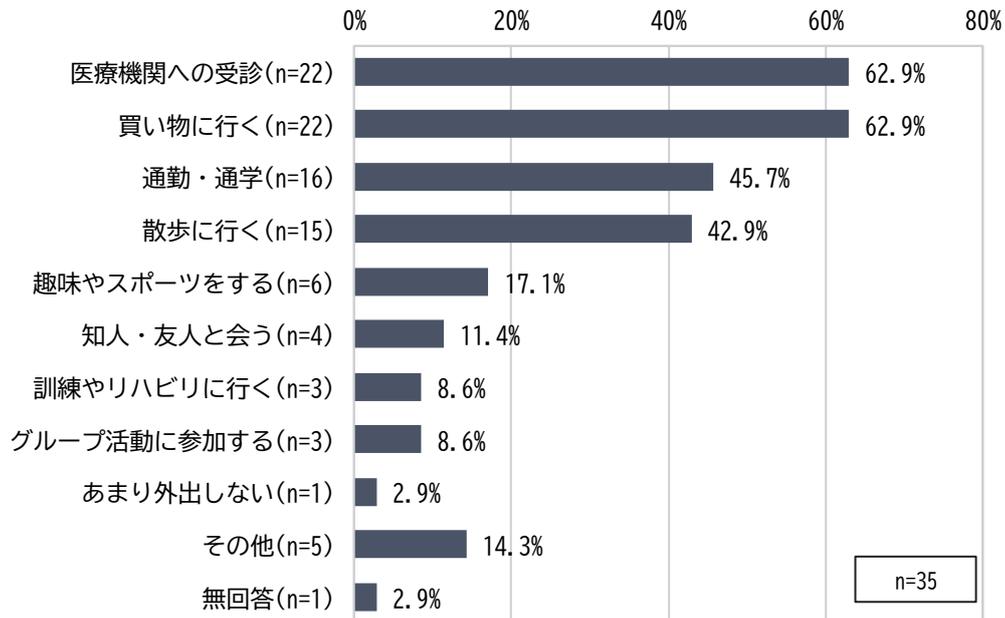
問8 外出の主な手段は何ですか。(○は2つまで)

外出の主な手段については、「徒歩」が62.9%と最も多く、次いで「車(乗せてもらう)」が51.4%となっています。



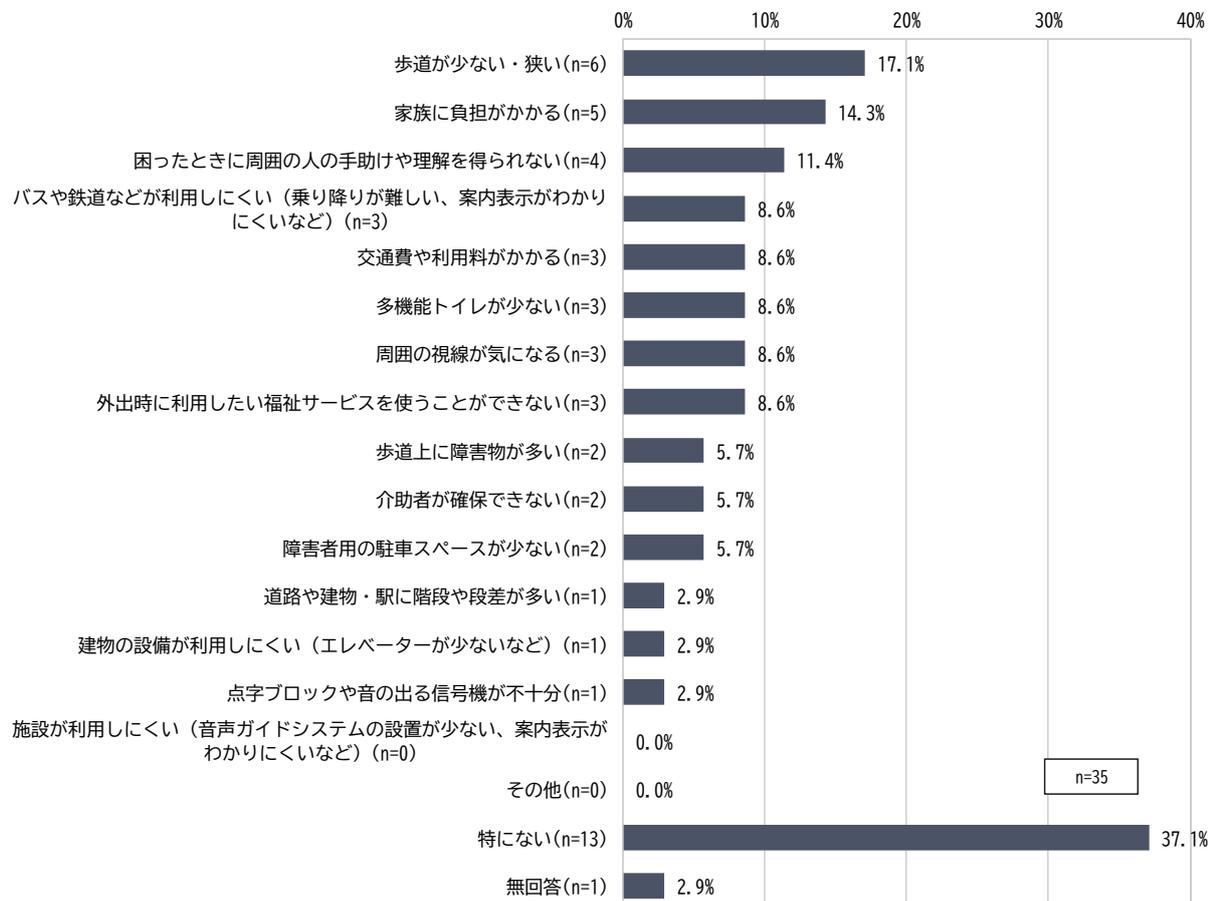
問9 どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

主な外出の目的については、「医療機関への受診」、「買い物に行く」がそれぞれ 62.9%と最も多くなっています。



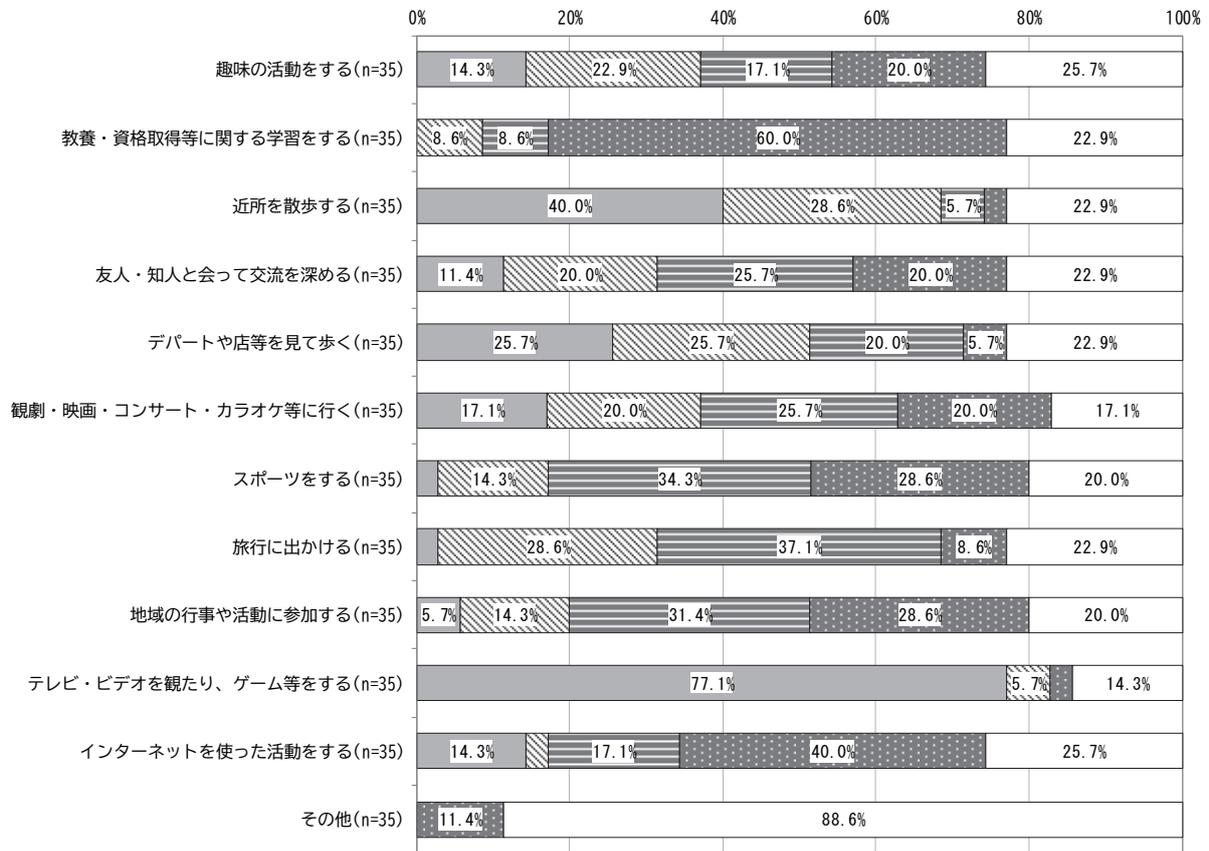
問10 外出の際に特に困っていることはありますか。(○は3つまで)

外出の際に困っていることについては、「特にない」が 37.1%と最も多く、次いで「歩道が少ない・狭い」が 17.1%、「家族に負担がかかる」が 14.3%となっています。



問11 以下のような文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会がありますか。それぞれに○をつけてください。

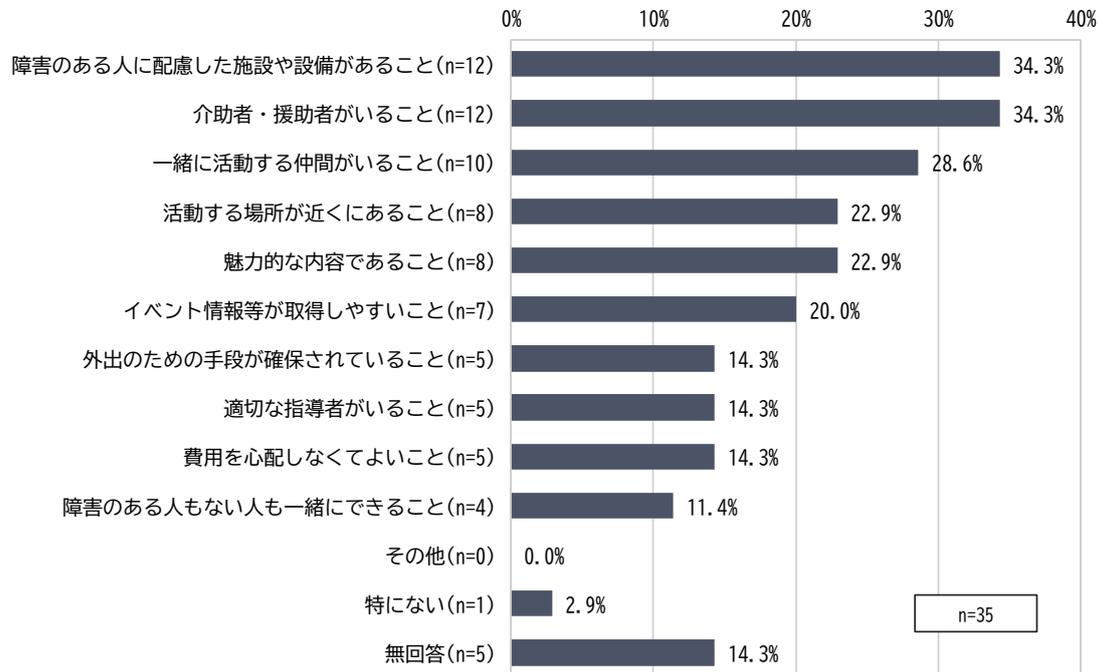
文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等を行う、または活動に参加する機会については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が77.1%と最も多く、次いで「近所を散歩する」が40.0%となっています。また、機会はないが、欲しいと思う活動については、「旅行に出かける」が37.1%と最も多く、次いで「スポーツをする」が34.3%となっています。



現在している
 機会はあるが、十分ではない
 機会はないが、ほしいと思う
 必要性を感じていない
 無回答

問12 文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

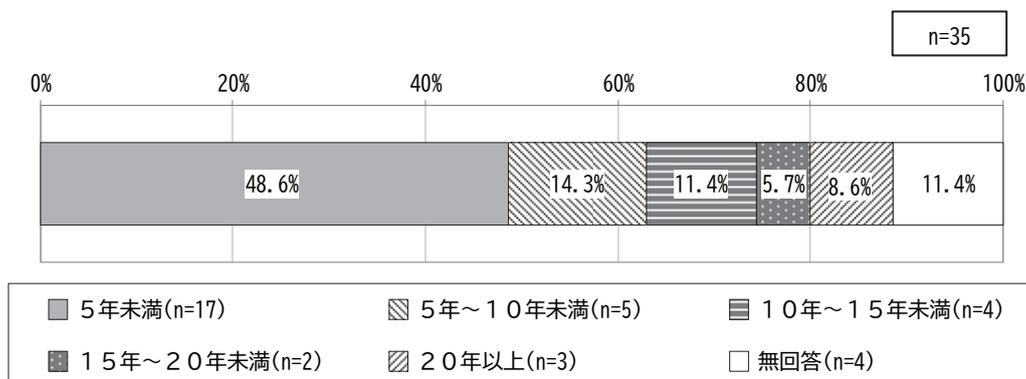
文化芸術活動、スポーツ、余暇活動等をするために、効果的なことについては、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」、「介助者・援助者がいること」がそれぞれ 34.3%と最も多くなっています。



《入所期間・理由について》

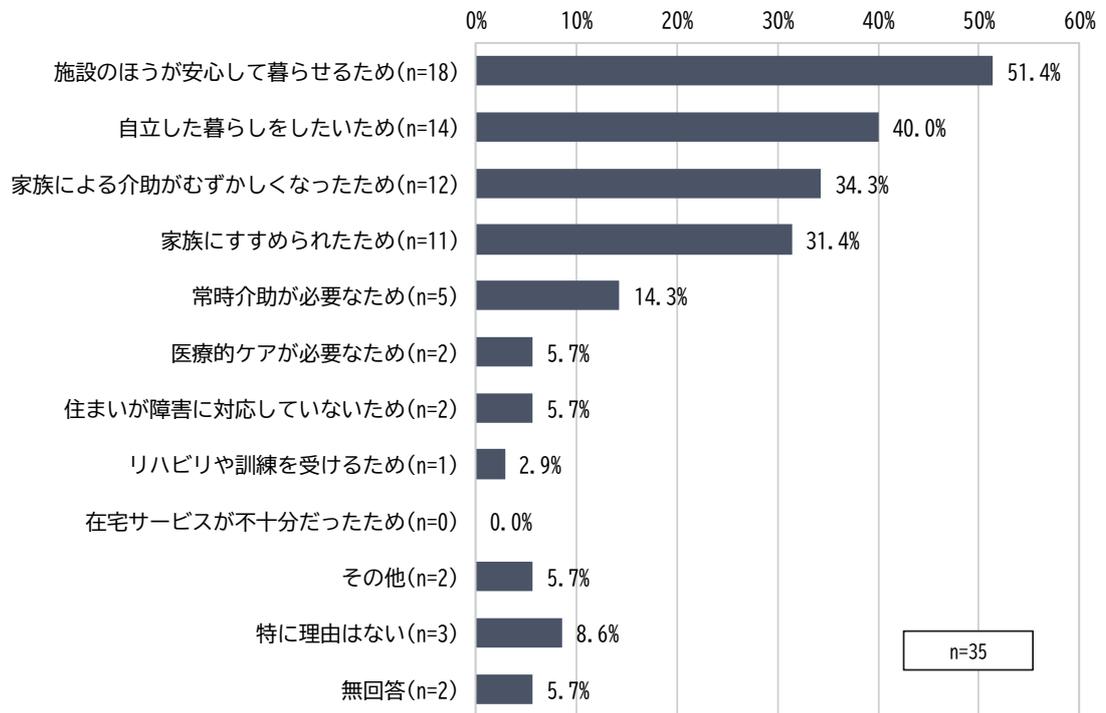
問13 現在の施設に入所してからの期間をお答えください。(〇は1つ)

現在の施設に入所してからの期間については、「5年未満」が 48.6%と最も多く、次いで「5年～10年未満」が 14.3%となっています。



問14 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

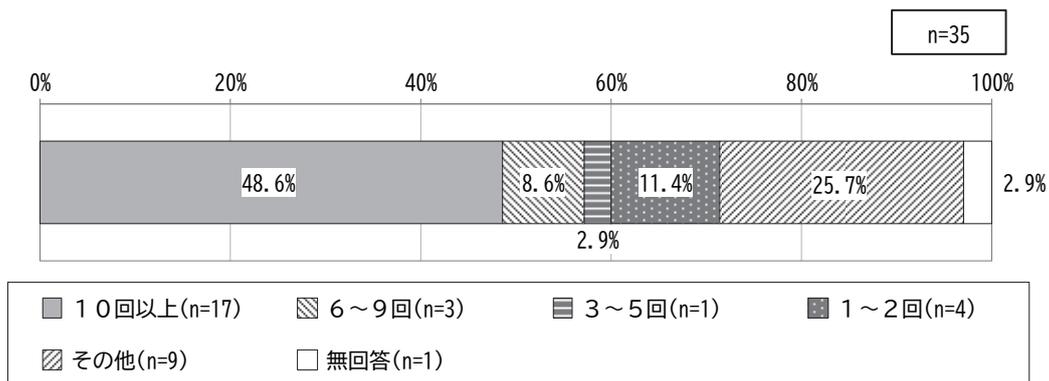
現在の施設へ入所することを決めた理由については、「施設のほうが安心して暮らせるため」が51.4%と最も多く、次いで「自立した暮らしをしたいため」が40.0%となっています。



《施設での生活について》

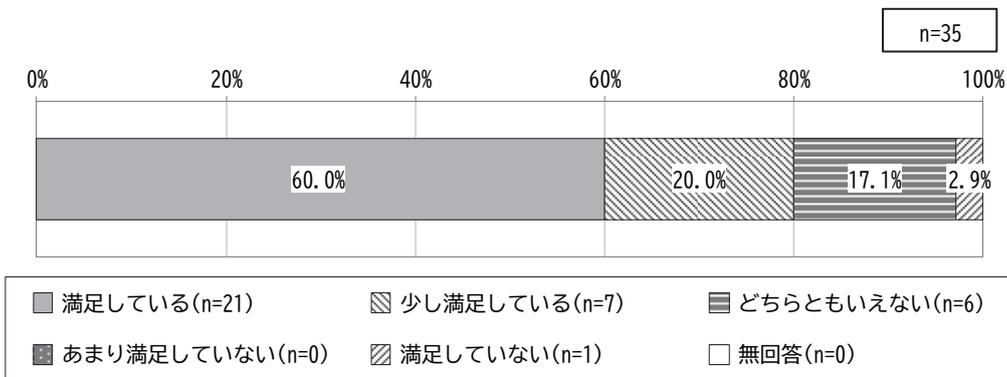
問15 最近1年間、どのくらいご自宅に帰りましたか。(○は1つ)

最近1年間、どのくらいご自宅に帰ったかについては、「10回以上」が48.6%と最も多く、次いで「その他」が25.7%となっています。



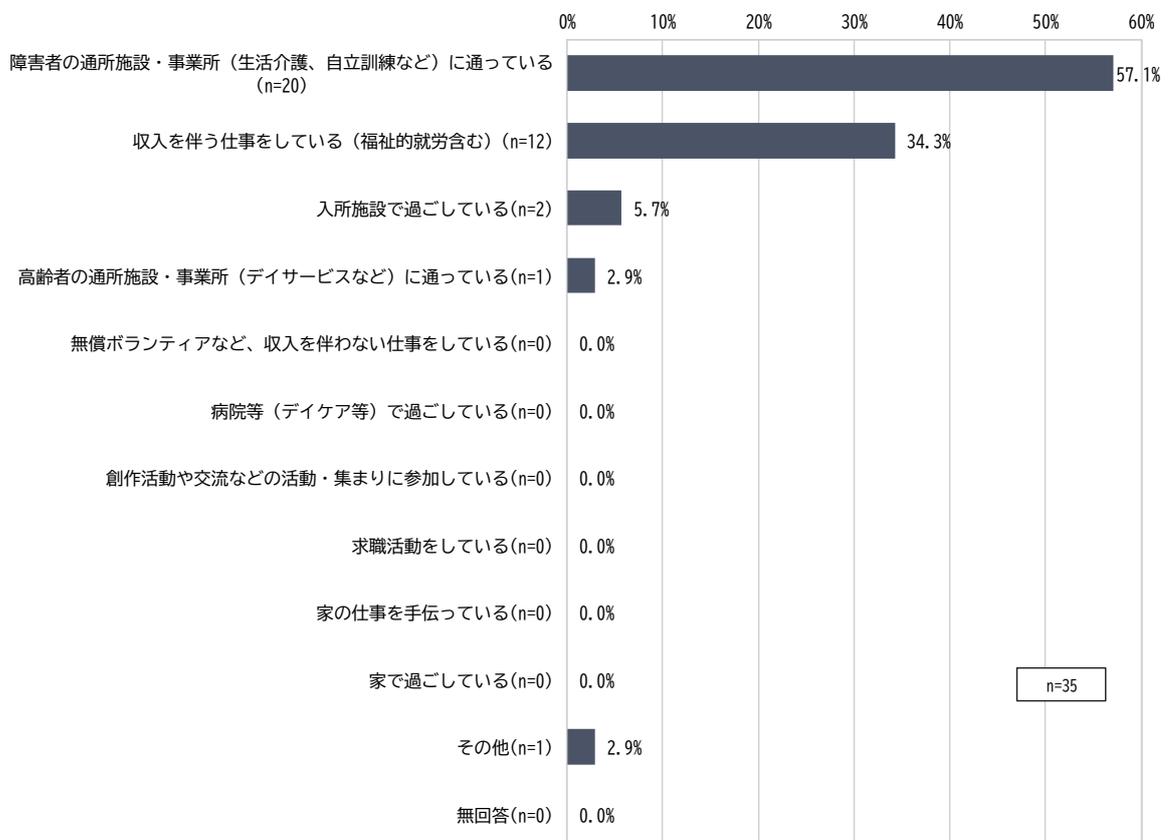
問16 現在入所している施設の生活に満足していますか。(○は1つ)

現在入所している施設の生活に満足しているかについては、「満足している」が60.0%と最も多く、次いで「少し満足している」が20.0%となっています。



問17 あなたは日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

日中の過ごし方については、「障害者の通所施設・事業所（生活介護、自立訓練など）に通っている」が57.1%と最も多く、次いで「収入を伴う仕事をしている（福祉的就労を含む）」が34.3%となっています。



《雇用・就労について》

〔問18～21は、問17で「1. 収入を伴う仕事をしている（福祉的就労含む）」に○をつけた方にお聞きします〕

問18 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。（○は1つ）

収入を伴う仕事をしている人の現在の仕事に従事している期間については、「5年以上」が8件と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が2件となっています。

n=12	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	無回答
	1	2	1	8	0

問19 仕事の形態は次のうちどれですか。（○は1つ）

仕事の形態については、「就労継続支援等での福祉的就労」が7件と最も多く、次いで「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」が3件となっています。

n=12	就労継続支援等での福祉的就労	非正規雇用 (契約社員・アルバイト等)	正規雇用 (正社員等)	自営業	自営業の手伝い	家庭内職	その他	無回答
	7	3	2	0	0	0	0	0

問20 (1) あなたは1週間にどのくらい働いていますか。

(2) また、働いている日は1日にどのくらい働いていますか。（(1) (2) それぞれ○は1つ）

1週間あたりの勤務日数については、「5日以上」が9件と最も多く、次いで「3～4日」が3件となっています。

1日あたりの就労時間については、「4時間以上～6時間未満」が6件と最も多く、次いで「6時間以上～8時間未満」が3件となっています。

(1) 1週間あたり

n=12	5日以上	3～4日	1～2日	無回答
	9	3	0	0

(2) 1日あたり

n=12	1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～4時間未満	4時間以上～6時間未満	6時間以上～8時間未満	8時間以上	無回答
	0	0	1	6	3	0	2

問21 仕事をする上で困っていることは主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

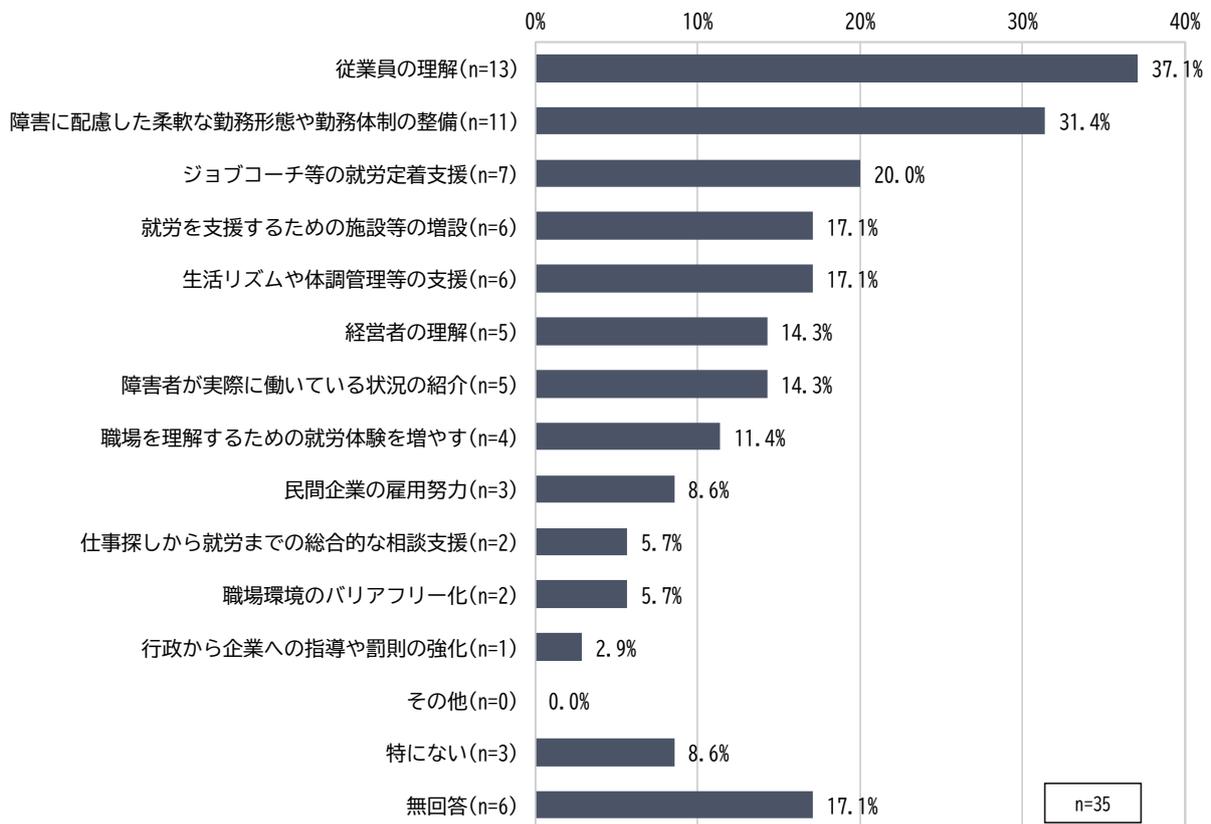
仕事をする上で困っていることについては、「収入が少ない」、「職場の設備が不足（トイレ、休憩室など）」がそれぞれ3件と最も多くなっています。

n=12	収入が少ない	職場の設備が不足（トイレ、休憩室など）	体調のコントロールが難しい	通勤が大変	就業時間が合わない	職場の人間関係	コミュニケーションができない	能力を発揮できない	仕事がつらい	業務内容が合わない	職場の理解が得られない	その他	特にない	無回答
	3	3	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	0

【ここからは、全員にお聞きします】

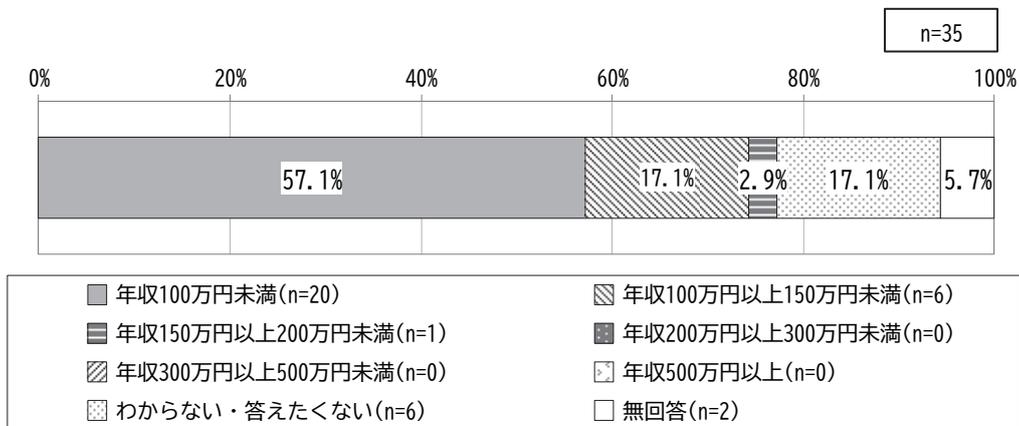
問22 障害のある人の就労を促進するために、どのようなことがあるとよいと思いますか。(○は3つまで)

障害のある人の就労促進のために、どのようなことがあるとよいかについては、「従業員の理解」が37.1%と最も多く、次いで「障害に配慮した柔軟な勤務形態や勤務体制の整備」が31.4%となっています。



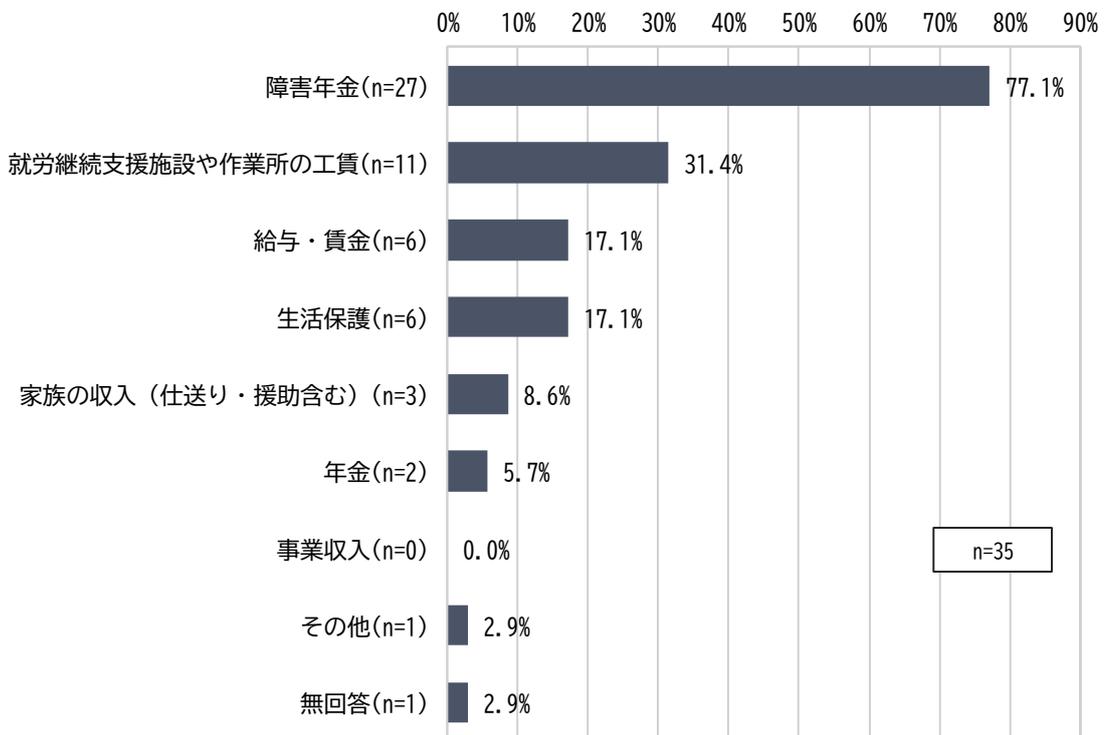
問23 あなたの昨年一年間の総収入の額は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

昨年一年間の総収入の額については、「年収100万円未満」が57.1%と最も多く、次いで「年収100万円以上150万円未満」、「わからない・答えたくない」がそれぞれ17.1%となっています。



問24 あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

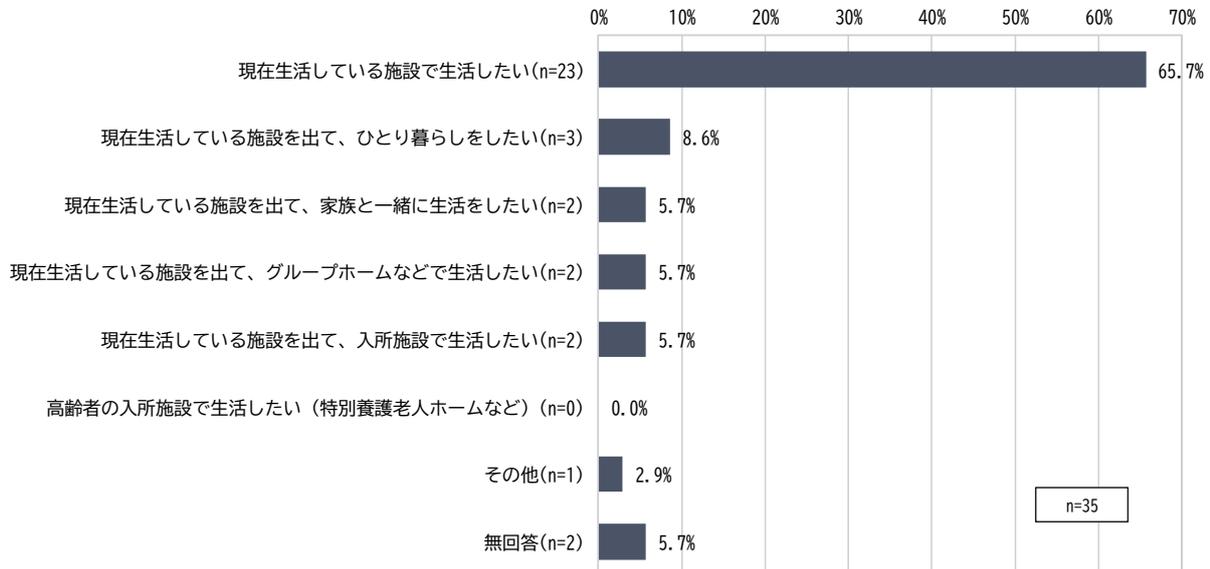
生活を支えている収入については、「障害年金」が77.1%と最も多く、次いで「就労継続支援施設や作業所の工賃」が31.4%となっています。



《今後の希望について》

問25 将来（今後）、あなたはどこで生活したいと思いますか。（○は1つ）

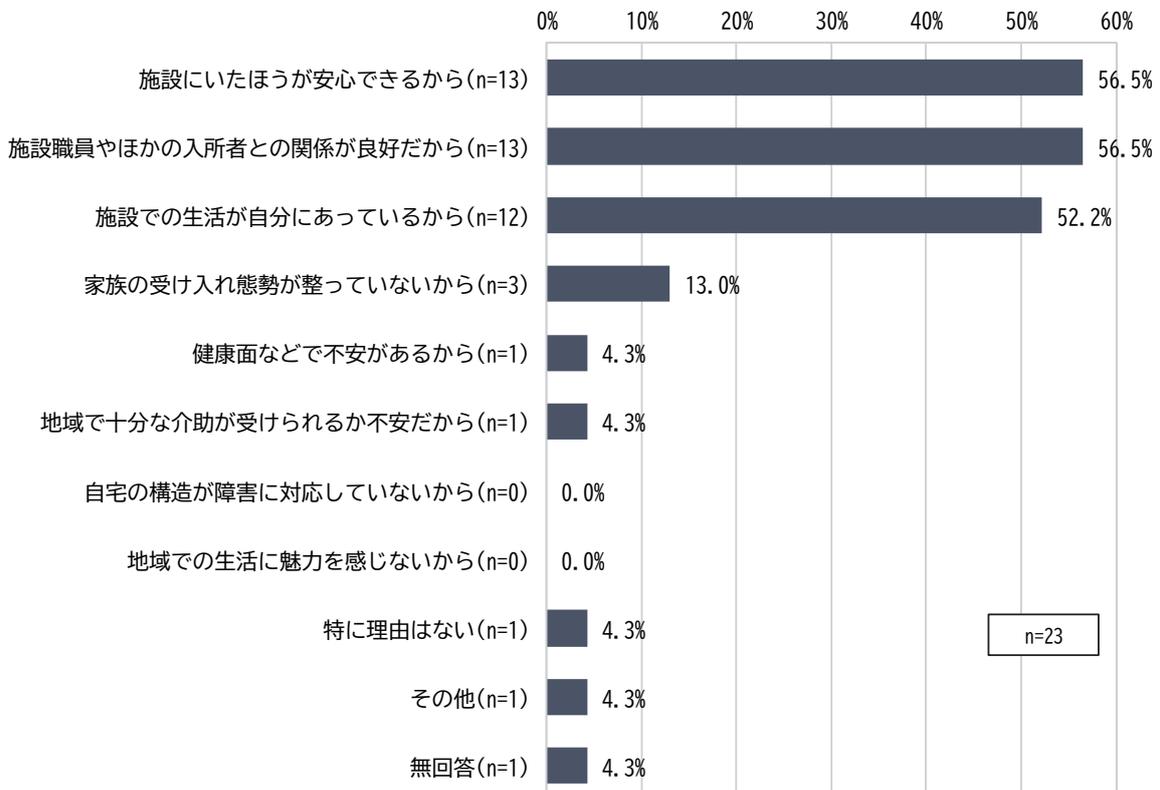
将来（今後）、どこで生活したいと思うかについては、「現在生活している施設で生活したい」が65.7%と最も多く、次いで「現在生活している施設を出て、ひとり暮らしをしたい」が8.6%となっています。



【問25で「1. 現在生活している施設で生活したい」に○をつけた方にお聞きします】

問26 今の施設での生活を続けたい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

今の施設での生活を続けたい理由については、「施設にいたほうが安心できるから」、「施設職員やほかの入所者との関係が良好だから」がそれぞれ56.5%と最も多くなっています。



【問25で2～5に○をつけた方にお聞きします】

問27 施設を出たい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

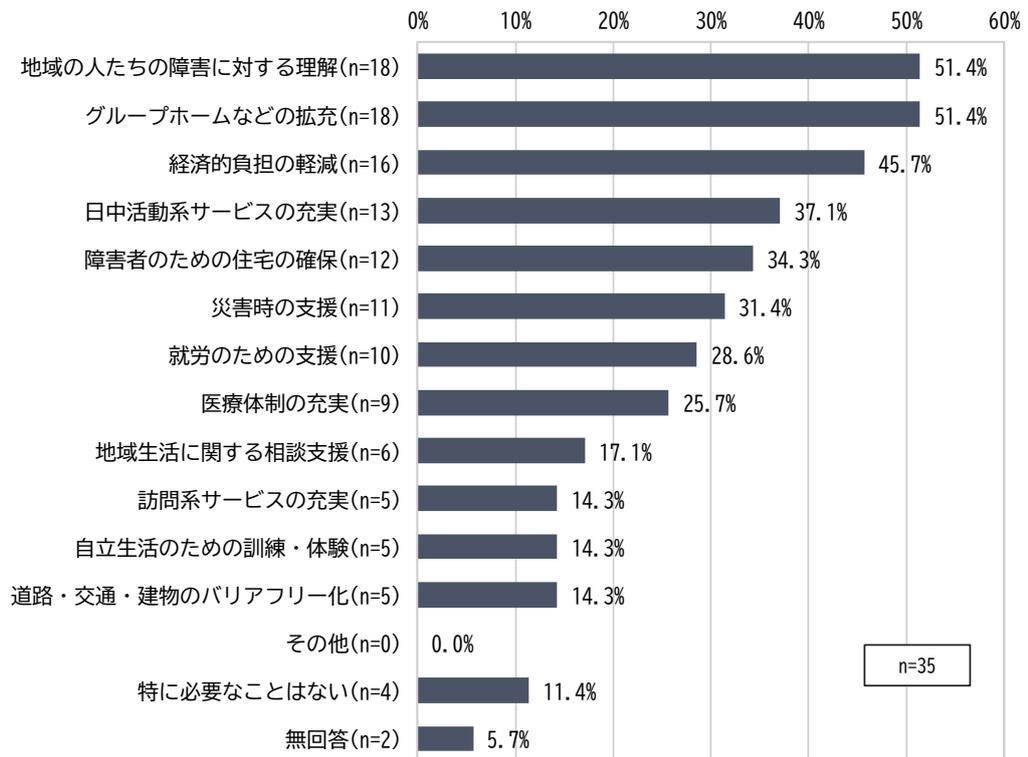
施設を出たい理由については、「ひとり暮らしをしてみたいから」、「自由な生活がしたいから」がそれぞれ3件と最も多くなっています。

n=9	ひとり暮らしをしてみたいから	自由な生活がしたいから	家族のそばにいたいから	社会的に自立したいから	施設を出てやりたいことがあるから	施設での生活に不満があるから	一般就労してみたいから	作業所等で働いてみたいから	その他	特に理由はない	無回答
	3	3	2	2	2	2	1	0	0	0	1

【ここからは、全員にお聞きします】

問28 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

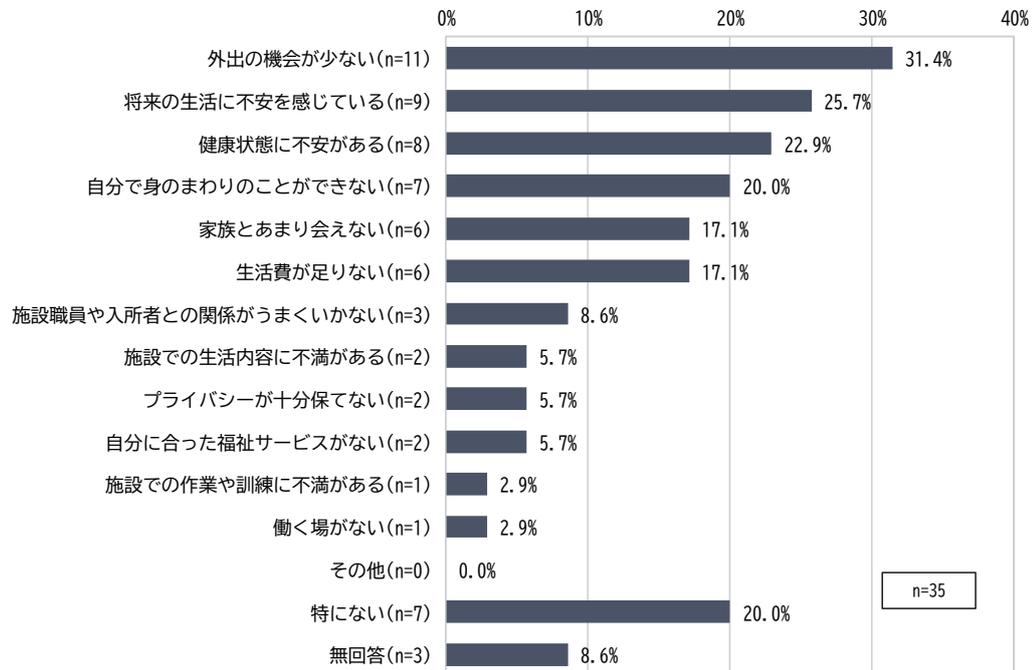
障害のある人が地域で生活していくためには何が必要かについては、「地域の人たちの障害に対する理解」、「グループホームなどの拡充」がそれぞれ51.4%と最も多くなっています。



《相談や情報入手について》

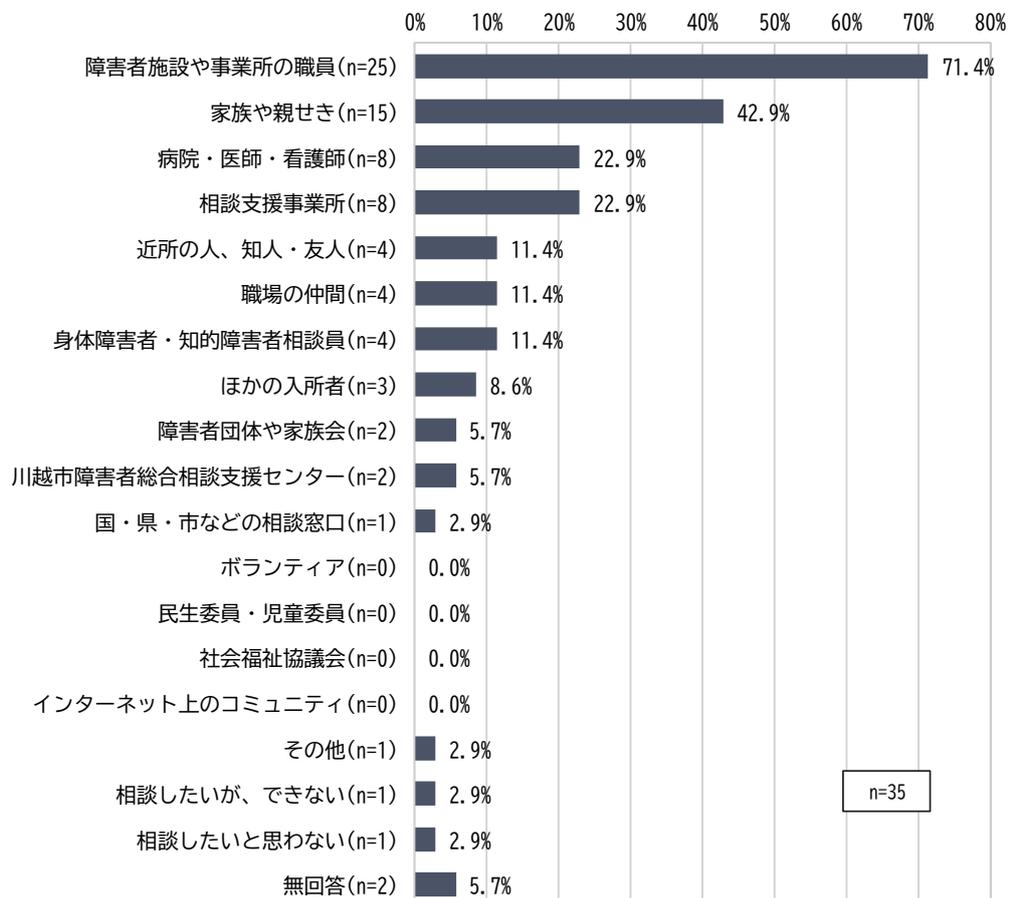
問29 日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活で困っていることについては、「外出の機会が少ない」が31.4%と最も多く、次いで「将来の生活に不安を感じている」が25.7%となっています。



問30 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談するかについては、「障害者施設や事業所の職員」が71.4%と最も多く、次いで「家族や親せき」が42.9%となっています。



【問30で「17. 相談したいが、できない」に○をつけた方にお聞きします】

問31 相談できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

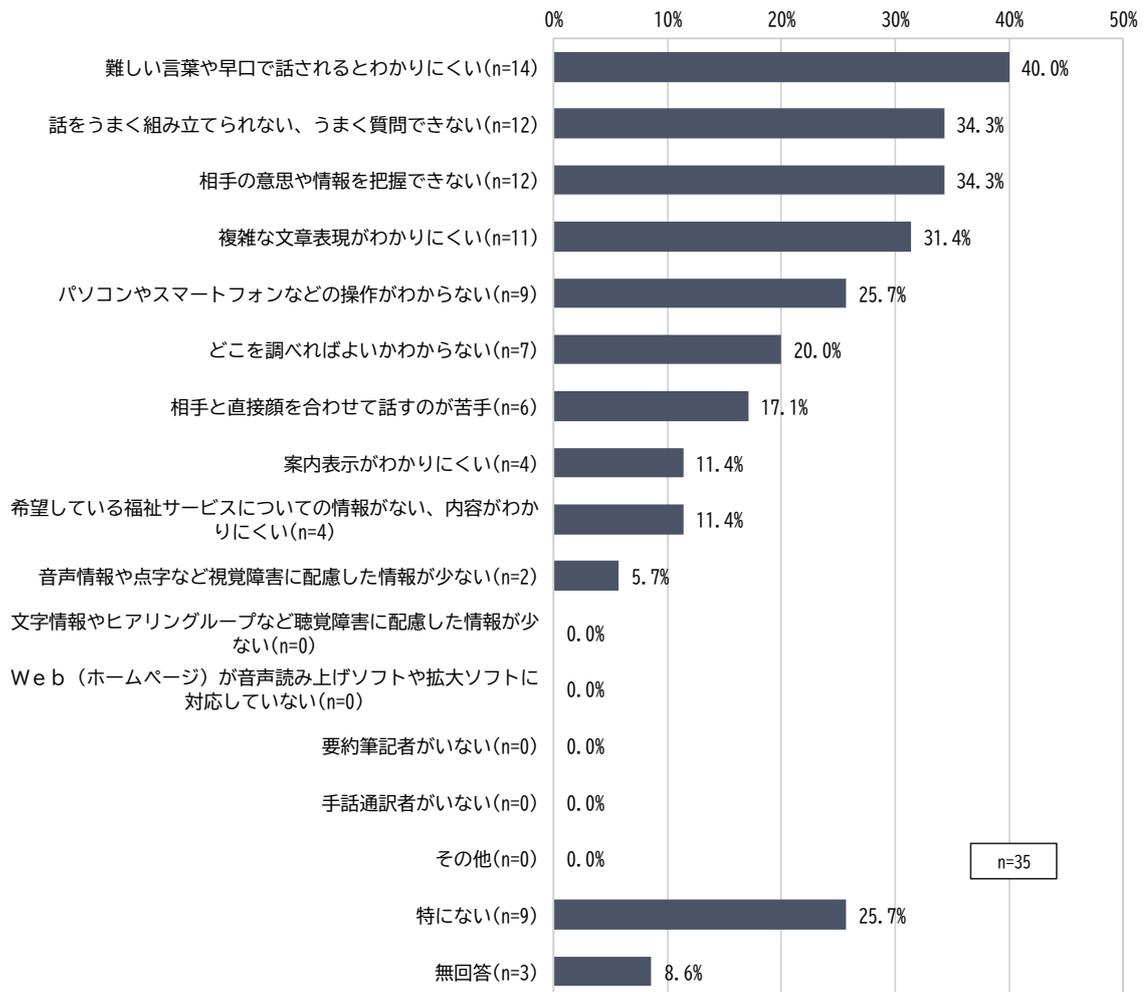
相談できない理由については、「身近なところに相談できる場所がない」が1件となっています。

n=1	身近なところに相談できる場所がない	どこ(誰)に相談していいかわからない	相談しても満足のいく回答がもらえない	プライバシーが守られるか不安がある	相談支援事業所が少ない	相談することにためらいがある	その他	無回答
	1	0	0	0	0	0	0	0

【ここからは、全員にお聞きします】

問32 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることについては、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が40.0%と最も多く、次いで「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」、「相手の意思や情報を把握できない」がそれぞれ34.3%となっています。



《福祉サービスについて》

問33 次の障害福祉サービス等を利用していますか。（「障害福祉サービス等一覧表」を参照）記入例を参考に、現在利用中のサービス等について1～21の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について、あてはまるものに○をつけてください。

サービス等を利用していない場合は、問34へお進みください。

現在利用中と回答した人数については、「共同生活援助（グループホーム）」が27人と最も多く、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が92.6%となっています。次いで「就労継続支援B型」が10人となっており、今後3年以内の利用予定は「同じくらい利用予定」が100.0%となっています。

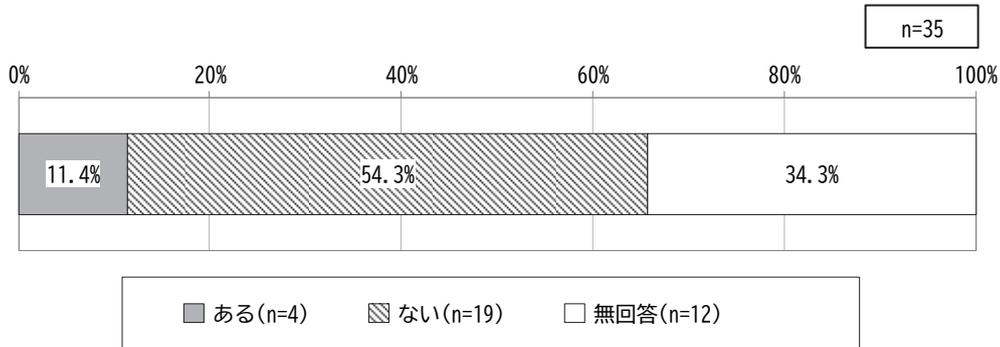
■現在の利用状況と今後3年以内の利用予定

福祉サービス	現在利用中と回答した人数	同じくらい利用予定	増やす予定	減らす予定
共同生活援助（グループホーム）	27	92.6%	0.0%	7.4%
就労継続支援B型	10	100.0%	0.0%	0.0%
生活介護	6	83.3%	16.7%	0.0%
計画相談支援	4	100.0%	0.0%	0.0%
居宅介護（ホームヘルプサービス）	2	50.0%	50.0%	0.0%
重度訪問介護	2	50.0%	50.0%	0.0%
同行援護	2	100.0%	0.0%	0.0%
就労移行支援	2	50.0%	0.0%	50.0%
行動援護	1	0.0%	100.0%	0.0%
就労継続支援A型	1	100.0%	0.0%	0.0%
重度障害者等包括支援	0	-	-	-
療養介護	0	-	-	-
短期入所（ショートステイ）	0	-	-	-
宿泊型自立訓練	0	-	-	-
自立生活援助	0	-	-	-
施設入所支援	0	-	-	-
自立訓練（機能訓練）	0	-	-	-
自立訓練（生活訓練）	0	-	-	-
就労定着支援	0	-	-	-
地域移行支援	0	-	-	-
地域定着支援	0	-	-	-

問34 現在利用していないサービスで、今後3年以内に新たに利用したいサービスはありますか。
 「1. ある」に○をつけた場合には、次の表の中から今後3年以内に新たに利用したいサービスに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

今後3年以内に新たに利用したいサービスの有無については、「ある」が11.4%、「ない」が54.3%となっています。

新たに利用したいサービスについては、「共同生活援助（グループホーム）」が2件と最も多く、次いで、「施設入所支援」、「就労継続支援A型」、「就労定着支援」、「計画相談支援」がそれぞれ1件となっています。

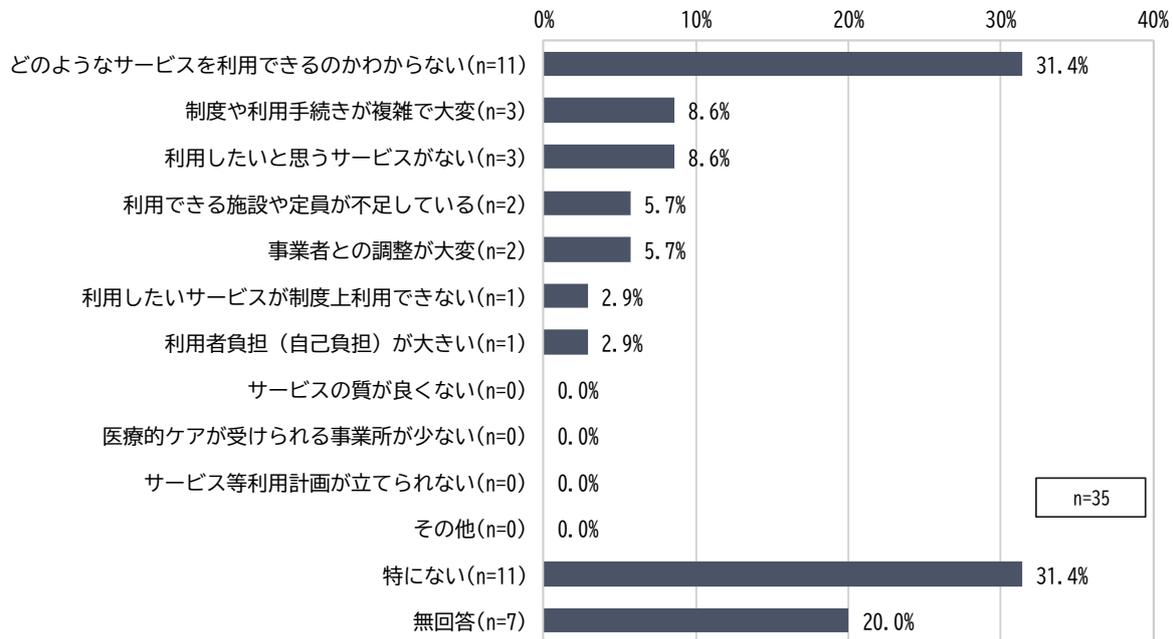


■今後3年以内に新たに利用したいサービス

サービス名	件数
共同生活援助（グループホーム）	2
施設入所支援	1
就労継続支援A型	1
就労定着支援	1
計画相談支援	1
居宅介護（ホームヘルプサービス）	0
重度訪問介護	0
同行支援	0
行動支援	0
重度障害者等包括支援	0
生活介護	0
療養介護	0
短期入所（ショートステイ）	0
宿泊型自立訓練	0
自立生活援助	0
自立訓練（機能訓練）	0
自立訓練（生活訓練）	0
就労移行支援	0
就労継続支援B型	0
地域移行支援	0
地域定着支援	0
無回答	0

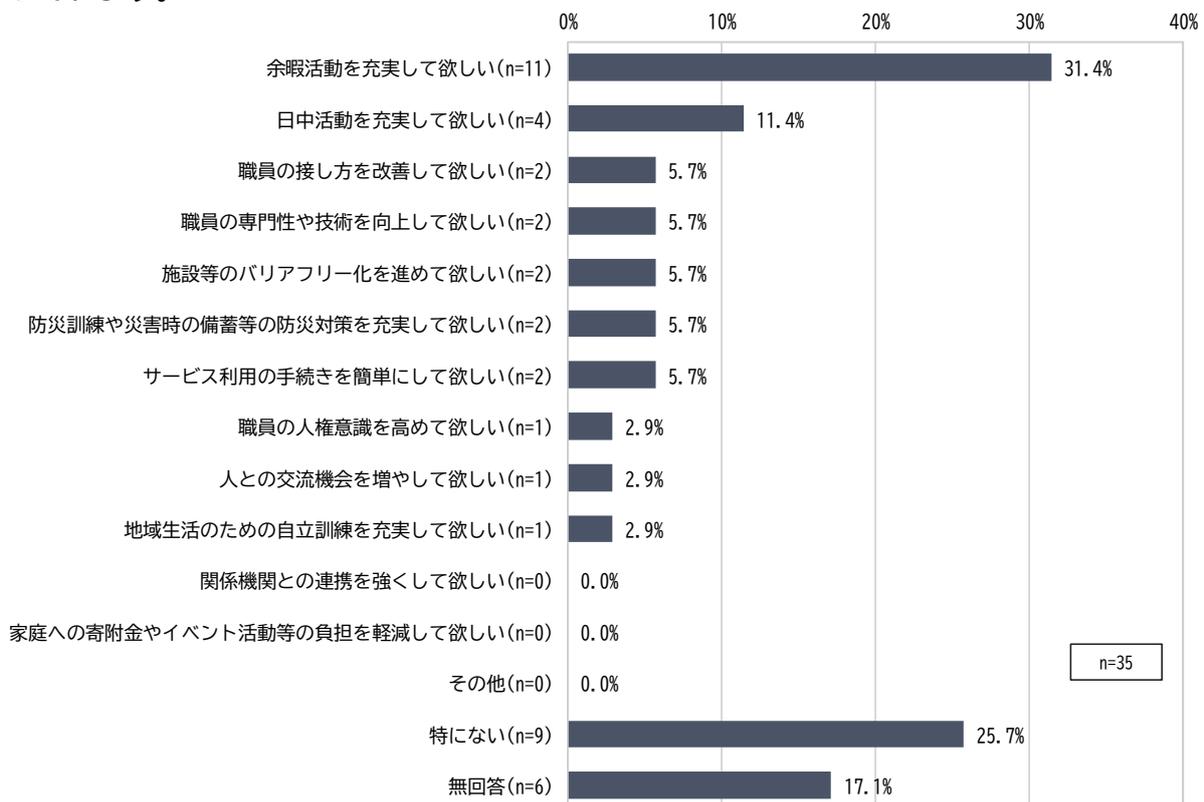
問35 サービス利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービス利用で困っていることについては、「どのようなサービスを利用できるのかわからない」、「特にない」がそれぞれ31.4%と最も多く、次いで「制度や利用手続きが複雑で大変」、「利用したいと思うサービスがない」がそれぞれ8.6%となっています。



問36 障害福祉サービス事業所について望むことはありますか。(○は2つまで)

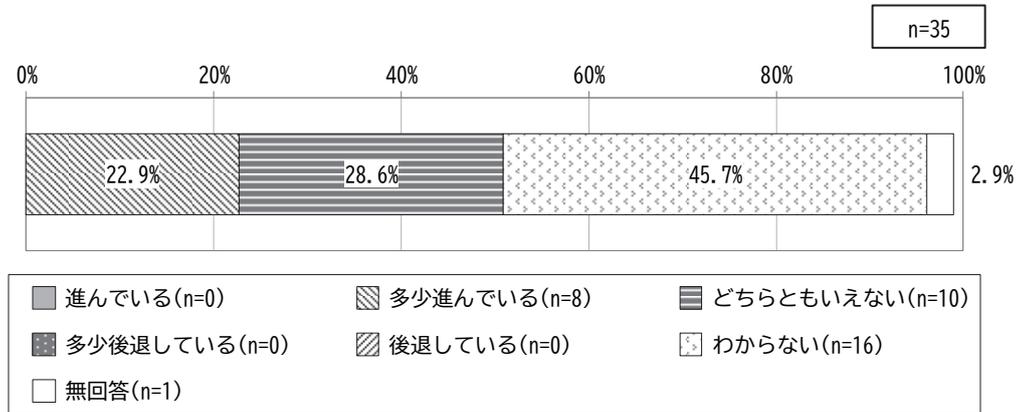
障害福祉サービス事業所について望むことについては、「余暇活動を充実して欲しい」が31.4%と最も多く、次いで「特にない」が25.7%、「日中活動を充実して欲しい」が11.4%となっています。



《障害者への理解や権利擁護について》

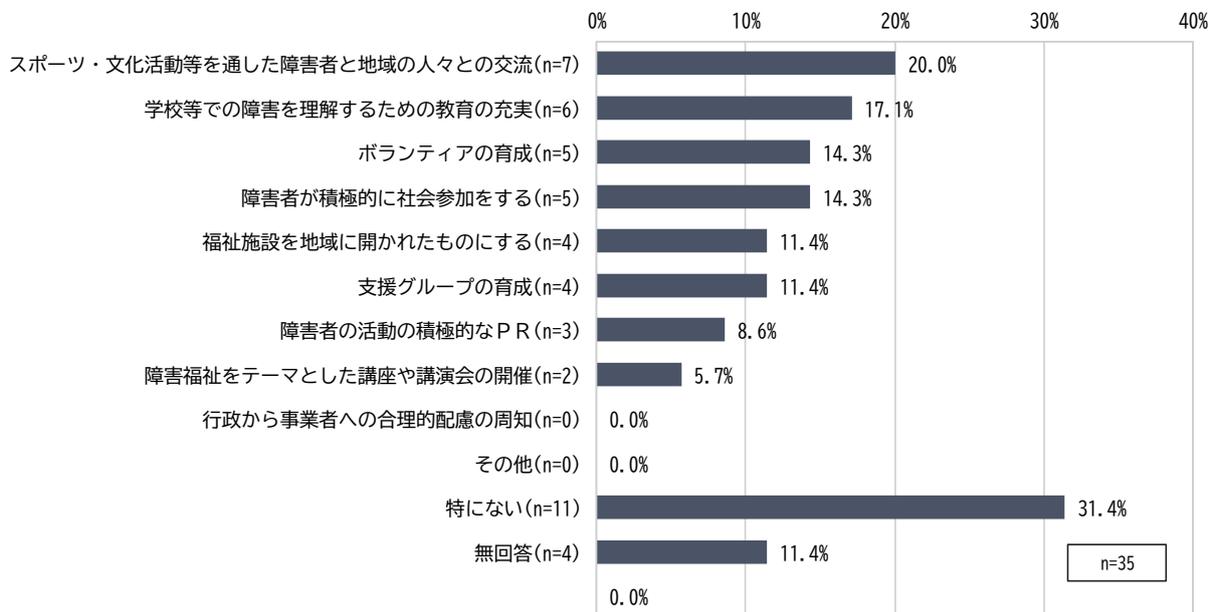
問37 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。(〇は1つ)

障害に対する市民の理解については、「わからない」が45.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が28.6%となっています。



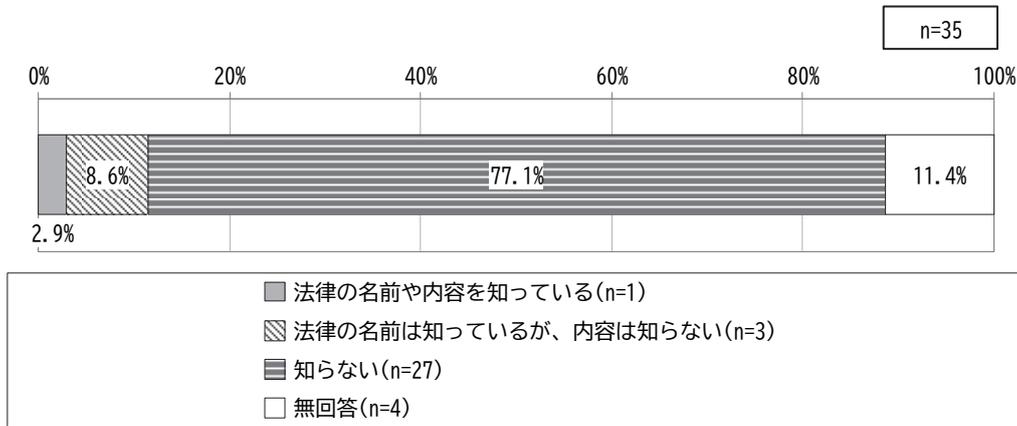
問38 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は2つまで)

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「特にない」が31.4%と最も多く、次いで「スポーツ・文化活動等を通した障害者と地域の人々との交流」が20.0%、「学校等での障害を理解するための教育の充実」が17.1%となっています。



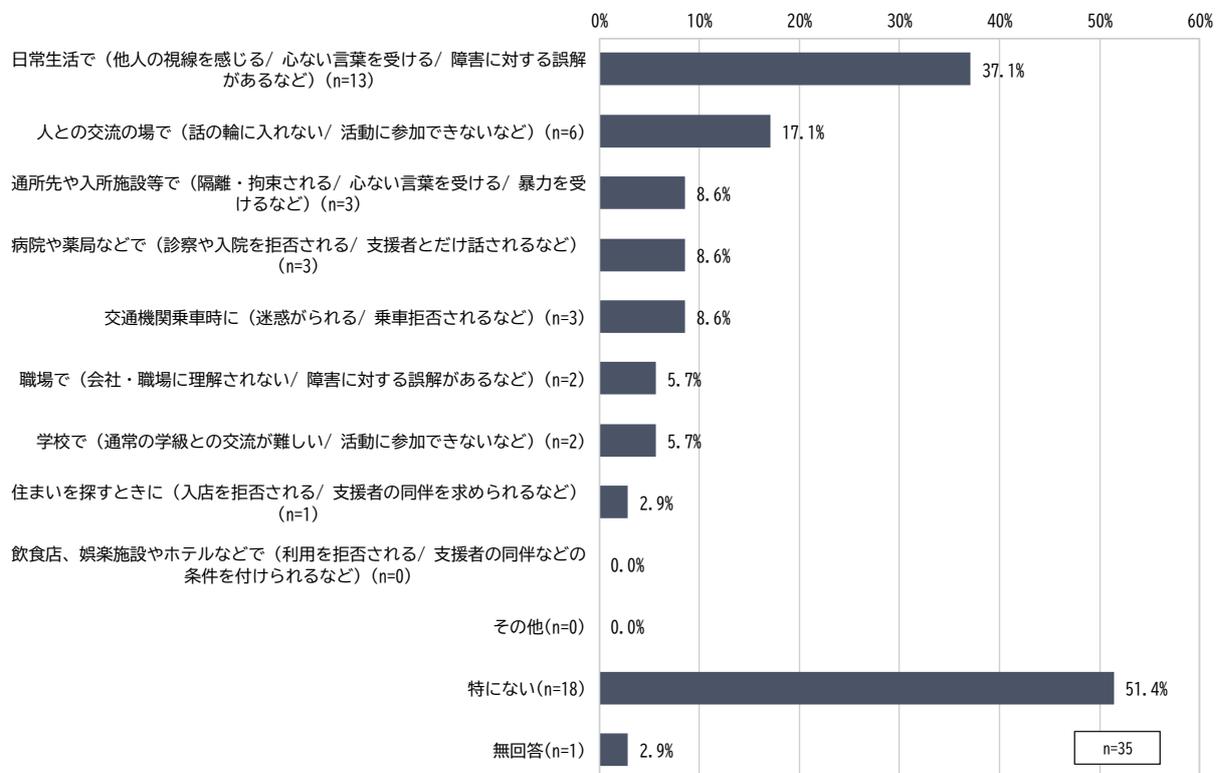
問39 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、行政機関や民間企業等は障害を理由とした差別が禁止され、障害者から社会的障壁を取り除くための配慮を求める意思の表明があった場合、合理的配慮を行うこととされています。あなたは、この法律について知っていますか。（○は1つ）

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が77.1%と最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らない」が8.6%となっています。



問40 あなたは、障害があることにより、どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

どのような場面で、差別を受けていると感じたり嫌な思いをしたことがあるかについては、「特にない」が51.4%と最も多く、次いで「日常生活で（他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解があるなど）」が37.1%、「人との交流の場で（話の輪に入れない/活動に参加できないなど）」が17.1%となっています。

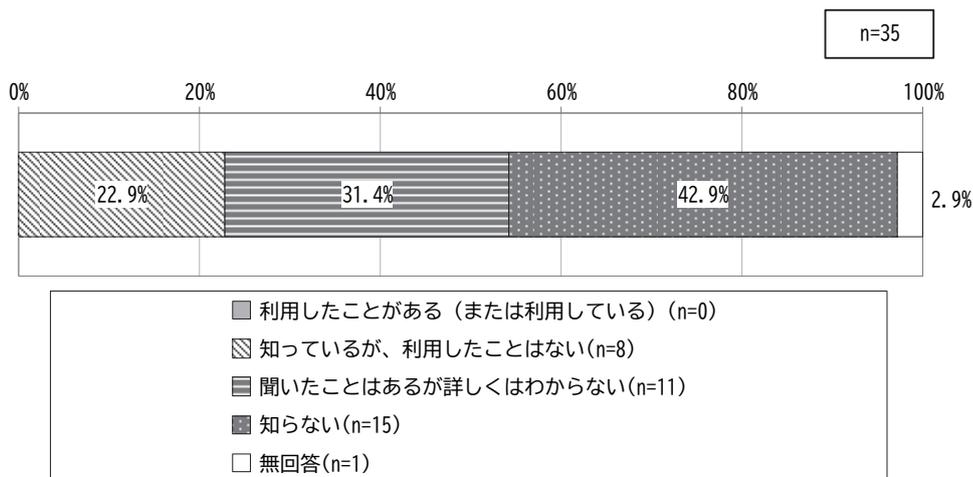


問41 経験したり、見聞きしたことがある、障害のある方への配慮としてよいと思ったことや配慮があったことがあったこと、また、どのような合理的配慮があるとよいかについて具体的に教えてください。

[自由記述編を参照]

問42 障害者への権利擁護制度のひとつとして「成年後見制度」があります。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

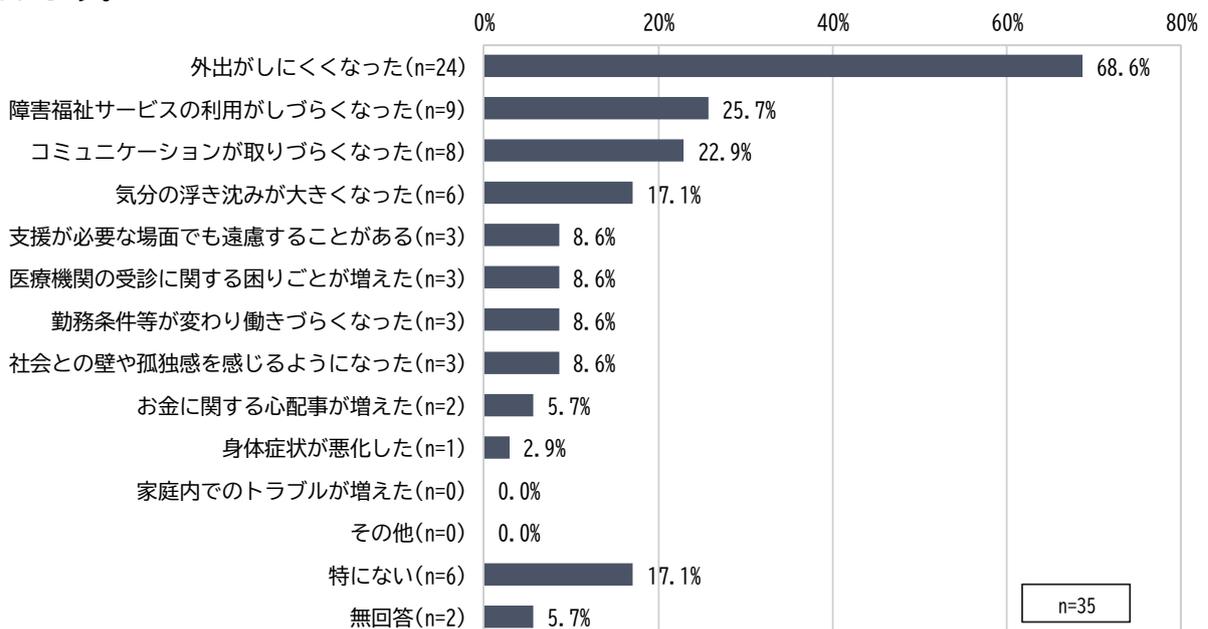
「成年後見制度」については、「知らない」が42.9%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくはわからない」が31.4%となっています。



《新型コロナウイルス感染症の影響について》

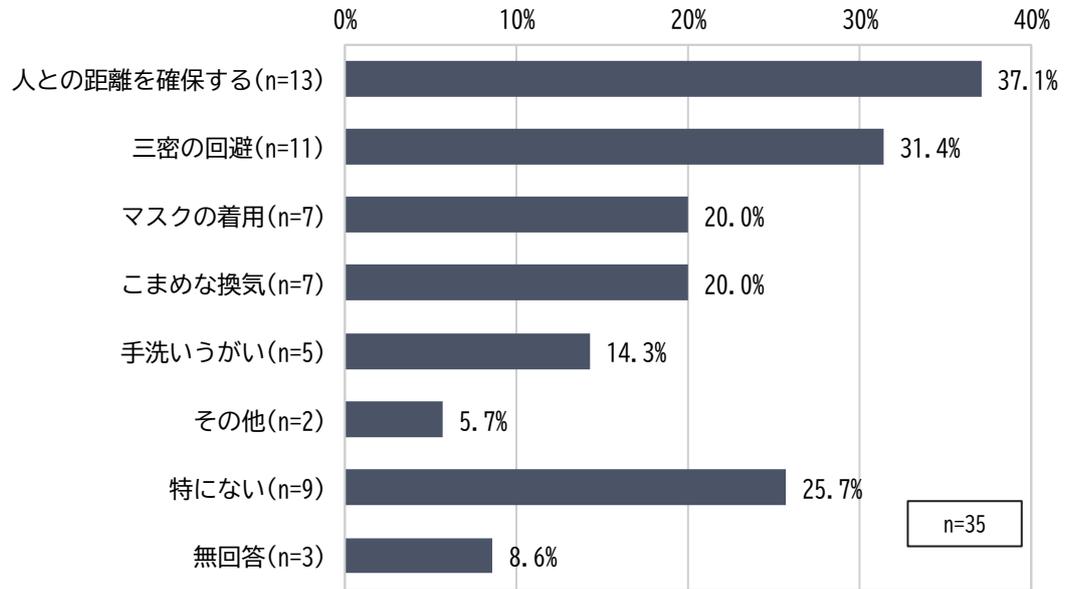
問43 新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活の変化については、「外出がしにくくなった」が68.6%と最も多く、次いで「障害福祉サービスの利用がしづらくなった」が25.7%となっています。



問44 「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

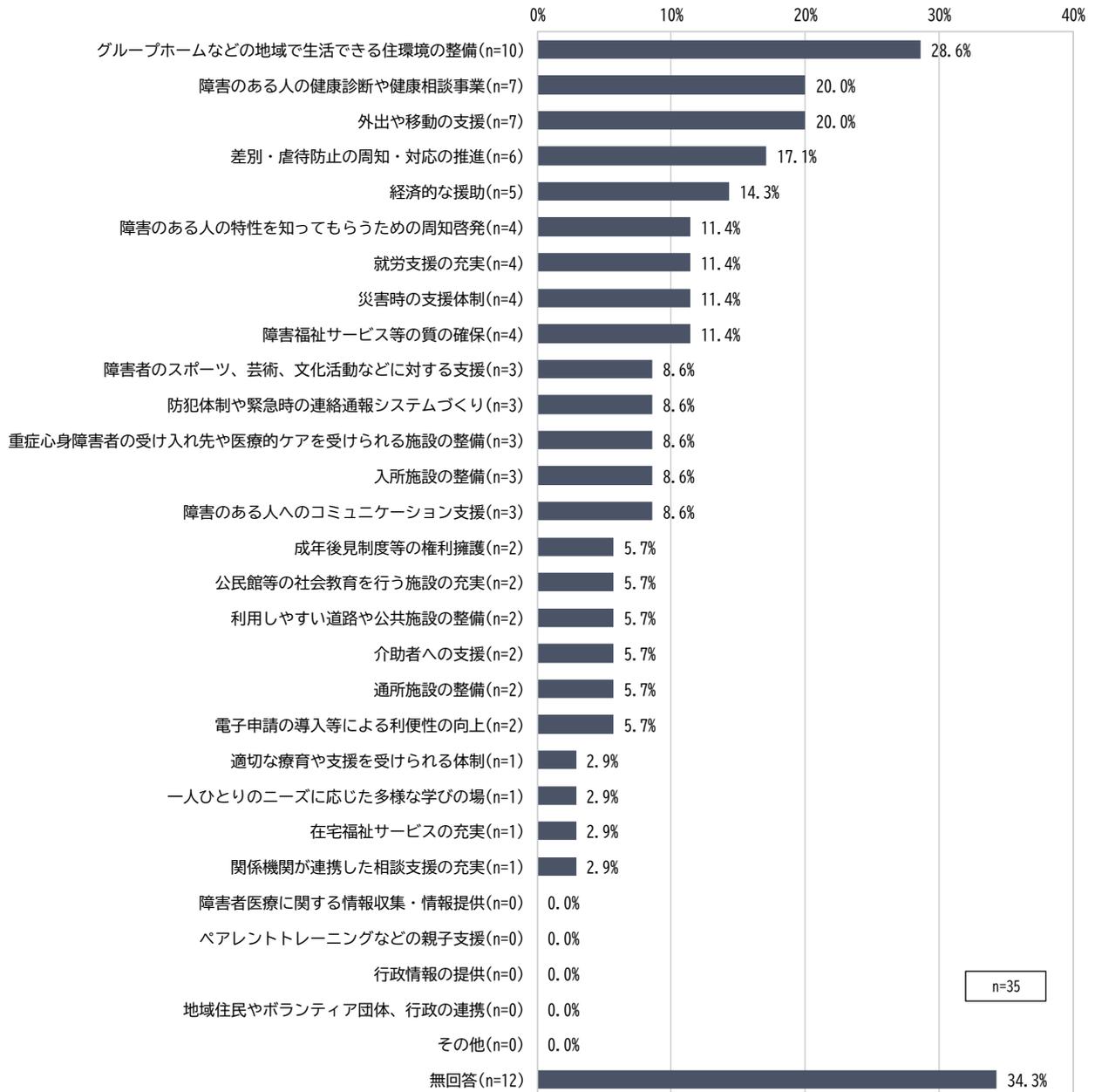
「新しい生活様式」の実践にあたり、難しいことについては、「人との距離を確保する」が37.1%と最も多く、次いで「三密の回避」が31.4%となっています。



《市の取り組み等について》

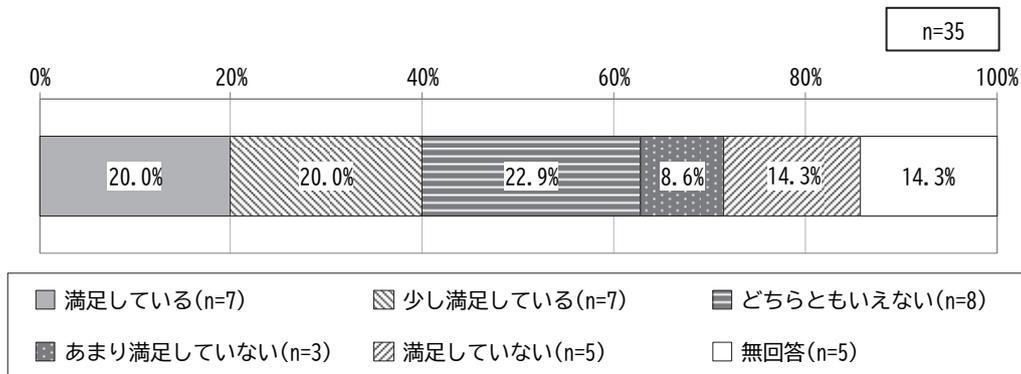
問45 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は5つまで)

市が特に充実させていくべきことについては、「グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備」が28.6%と最も多く、次いで「障害のある人の健康診断や健康相談事業」、「外出や移動の支援」がそれぞれ20.0%となっています。



問46 川越市の障害者施策全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の障害者施策全般については、「満足している」、「少し満足している」がそれぞれ20.0%となっています。また、「あまり満足していない」は8.6%、「満足していない」は14.3%となっています。



最後に、アンケートの選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

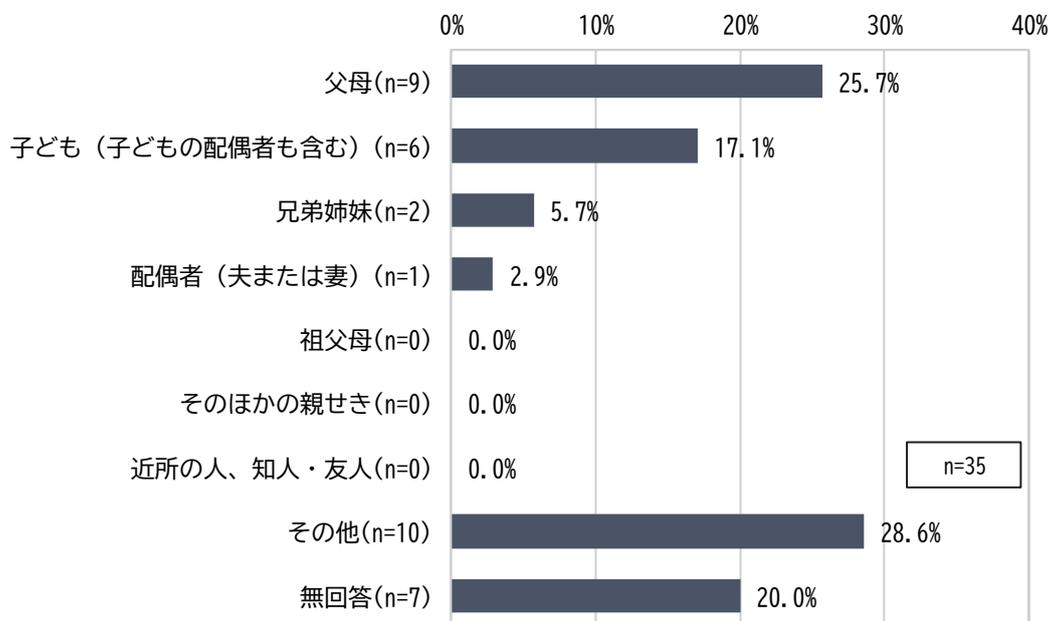
[自由記述編を参照]

○介助者向けアンケート

[ここからは、ご本人の介助等をしている方がご回答ください]

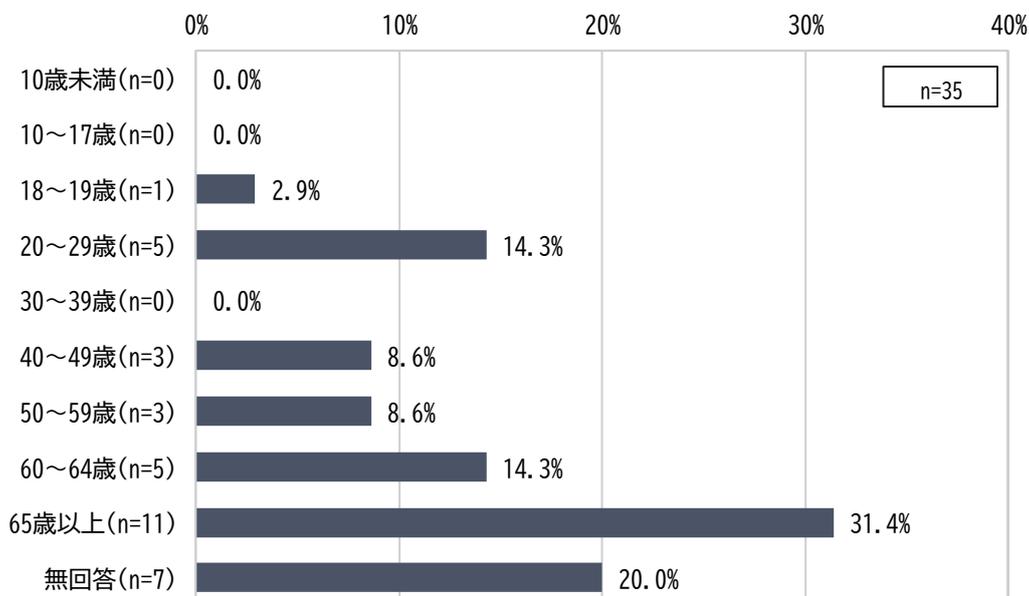
問1 あなた（介助者）から見た、ご本人との関係は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者から見た、ご本人との関係については、「その他」が28.6%と最も多く、次いで「父母」が25.7%となっています。



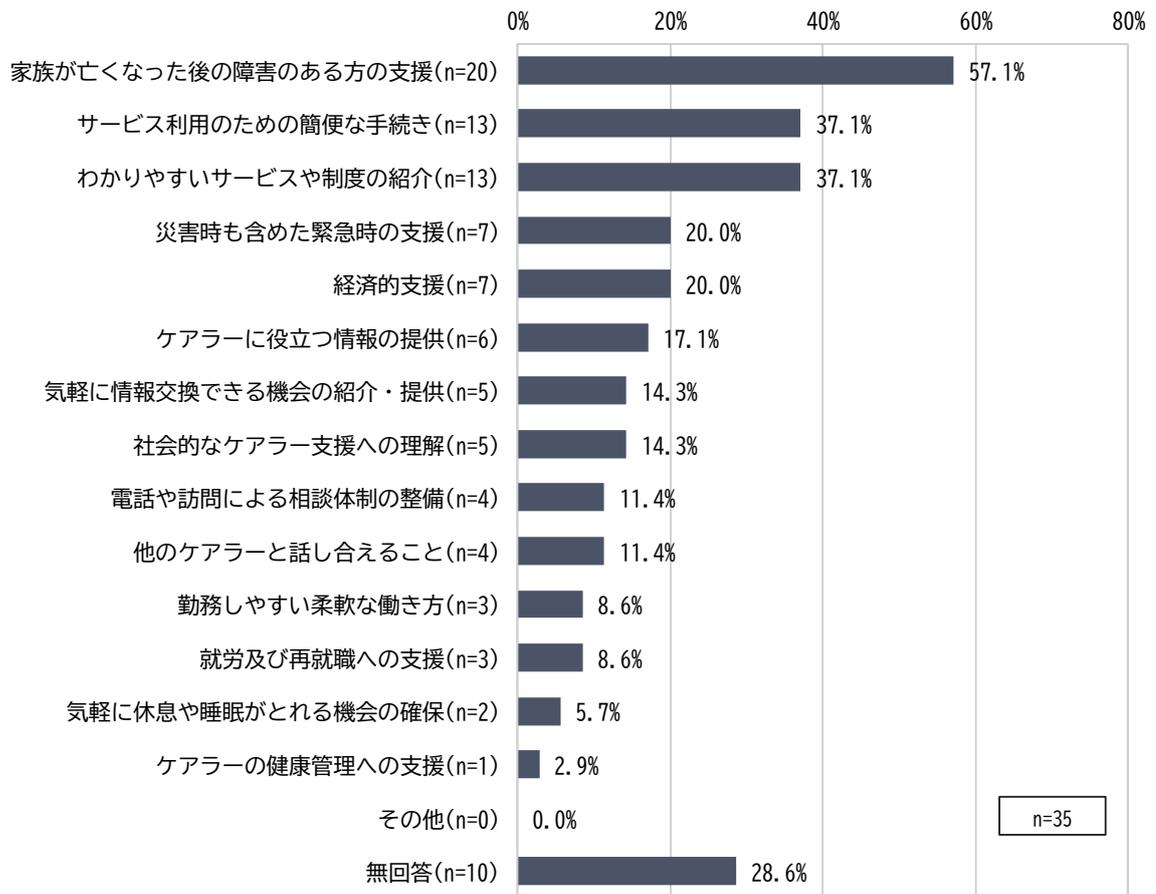
問2 あなた（介助者）の年齢（令和4年9月1日現在）は、次のうちどれですか。（○は1つ）

介助者の年齢については、「65歳以上」が31.4%と最も多く、次いで「20～29歳」、「60～64歳」がそれぞれ14.3%となっています。



問3 介助者に必要と思われる支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者に必要と思われる支援については、「家族が亡くなった後の障害のある方の支援」が57.1%と最も多く、次いで「サービス利用のための簡便な手続き」、「わかりやすいサービスや制度の紹介」がそれぞれ37.1%となっています。



介助等に関して、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

[自由記述編を参照]

川越市障害者福祉に関するアンケート調査報告書

発行日 令和5年3月

発行 川越市福祉部障害者福祉課

川越市元町1丁目3番地1

電話 049-224-6307 (直通)

FAX 049-225-3033